

【日記翻刻】奥田八二日記（連用）（1986～88年）

岡，征二
元福岡県庁国体事務局職員

藤岡，健太郎
九州大学大学文書館：教授

<https://doi.org/10.15017/6781046>

出版情報：奥田八二日記研究会会報. 10, pp.1-325, 2023-03-31. 奥田八二日記研究会(九州大学大学文書館内)

バージョン：

権利関係：

【日記翻刻】

奥田八二日記 (連用) (1986～88 年)

翻刻 岡征二

校訂 藤岡健太郎

凡 例

1. 本翻刻は 1986 年から 1988 年までの三年連用当用日記を年ごとに翻刻したものである。
2. 原文は一部を除き縦書きであるが、横書きに直した。
3. 漢字の旧字体および異体字は固有名詞等を除き、常用漢字体または印刷標準字体に直した。また原文に「𠄎」と記されたものはすべて「経」とした。
4. 明らかな誤字・脱字については適宜修正した。疑問のあるものについては「ママ」を付した。判読できなかったものは「^(不明)□」とした。
5. 踊り字のうち「くの字点」は文字に直して表記した。
6. 原文の振り仮名はそのままとした。
7. 原文では句点と読点が明確に判別できない書き方がなされているため、本翻刻においては文脈等から適宜句点・読点を判断した。また、句読点が打たれていない場合も多いが、その場合についても文脈等から判断して適宜句読点を追加した。
8. [] で記されたものは原文の記述である。
9. 日記本文記入欄以外に記入されたものは【欄外記入】とし、原則として各日の末尾に掲載した。
10. 原文中に差別用語等がみられるが、歴史資料としての意義に鑑み、すべて原文のとおりとした。
11. 日記に貼付または挟み込まれている新聞記事等については、その記事名・掲載紙の情報等を【 】で記し、文面については掲載しないこととした。
12. 翻刻は原則として日記全文を対象としたが、研究会の判断により省略または「○○」とした部分がある。
13. 【 】内は研究会による註記である。

1986年

年頭の所感

久美が6年生、麓衣が4年生。どちらも大きくなってかわいい盛りだ。直美はずっと東京で住友生命に勤めつづける気だろうか。強いてききだす気にもならない。啓二は身のおきどころのないような、退屈な正月を迎えたといっている。3月20日が孫誕生の予定で、ライヤは目立つ身重の状態のようだ。健康であってほしい。私自身、健康にあまり自信がない。歯が全体としてガタガタ。総入歯の時がやってくるだろう。糖尿は一応コントロールされているようだ。十二月にあれこれ心配した通便は年始うまく通じていて快適である。他に心配することはない。今年の主な流れは私にとって知事選をめぐる諸情勢の展開である。2月から3月にかけての当初予算が上程される県議会がまず問題である。知事として最後の予算編成ということで、何か目玉になることをしようとする動きと、させまいとする動きが衝突するだろう。そのほか12月議会で積み残した行政改革と情報公開に関する諸条例をどういう形で仕上げるかである。野党の指導勢力たる自民党は12月議会に際し、すんなり通過させたのでは知事に名をなさしめることになるし、通過させないとなると県民から批判されることになる。落とし前をどうしてくれるんだと今は煩悶しているらしい。勝手にというわけにいかないの、形のよい落とし前を見つけなければならぬ。これが新年明け早々の課題である。知事選については、再出馬の声明をいつ出すかが問題だと人はいっている。私のイニシアティブが必要という人もある。そうなると困ったことだ。相手方首藤氏はもう年末から動いていて明けると更に目立ってくるだろう。これに合わせてマスコミあたりがあれこれいい出す。しばらく静観できないのかと私はいいたい。

1月予記

正月三カ日の休みが終わると突如あわただしくなって、一、二、三月がどんどん過ぎていくだろう。しかも息抜きできぬほど重要な日程が重なっていく。すべては三月当初予算を上程する県議会対策に集約されるといってよい。重要なのは健康の保持だが近頃どうも自信が薄れてきた。睡眠が十分でないこともあって頭が冴えないようにもある。重要日程が次々にあるからよほど用心をしてかからねばと思っている。夏に出版予定しているものの構想も一月中に決めたいのだが、できるかどうか。

1月1日（水）曇

八時半に起床。誰も起きてない。書斎に入って昨年の来翰、新聞・雑誌類を区分し整理する作業に入った。これらは旧年中にしておくべきなのに、残ってしまったものである。十時頃みんな揃って朝食、雑煮をとる。直美は初日の出を見に出て帰ったばかりらしい。ひるまえ、

総務部次長の一ノ宮氏が年賀に来て若干話しこんで行った。啓二に電話したらしい。元気だ
がうちにこもった正月になってしまったとか。年賀状がどんときたので、これを一通りみな
ながら種類分けしていたら大そう時間がかかった。夕方コウ君一家四人で来た。夜夕食後、高
野切を書いたりして時間を費した。一日中書齋にいたような形になった。

1月2日(木)曇時々晴

ゆうべは一彦とOAについて話していたら二時就寝となってしまった。朝食は十時となり、
あと久美・レイに書初めの指導をし、自からも年末残してしまった頼まれもの揮毫をして一
日暮れた感じ。朝風呂にも入った。諸岡さんが孫の信二君を連れて来た。私が名付け者(知
事当選の時の四月二十五日に生まれたという)ということで特別親しみがある。お布施事件
の最中のことだ。今日も話がそれに及んだ。夜になって今日も高野切を書いた。平凡な正月
といえる。一彦達は午後お宮まいりをするといって出て行った。こちら動く気がしない。

1月3日(金)曇

さむざむとした一日。朝のうち一彦一家が早目の新幹線で出発するといつて用意して出た。
高野切を臨書していたら、社会主義協会員がどつと来て、酒、すしで十一時頃から二時半頃
まではしゃいでいた。馬原、中川、衣笠、八丁、熊谷、山川、大塚それに今吉まさえさんも
知事に物申すということであつたらしい。秘書室の佐々木氏も加わって、今年一年をどうや
って渡っていくかを中心に話題が展開した。誰も考えることは同じで、これまでの行政レ
ベルの仕事に政治をどうかましていくかの調整が重要になってきそうだ。夕方、樺島氏が年
始に来た。技術立県という課題をわかりやすく展開しようということになった。

1月4日(土)曇

八時一五分の出発。登庁してあれこれ「あけましておめでとう」の交換がつづく。庁議、記
者会見はすべて年頭の知事方針所感をのべる場である。三階講堂に職員を集めての年頭訓
示。これには多くの人が立席できいていた。なかなか張りのある講話だったし、一五分の予
定が二四分にもなったとの評。これが十一時から。そしてあと、七階の会議室では養護施設
卒園者一六人に来てもらい知事との交歓会三〇分。十二時頃春闘共闘幹部四〇人知事室に
来て新年あいさつ。中食後かえりに、吉塚の松本組、平井重太郎氏年頭あいさつ。帰宅して
河野氏らとマーじゃん。

1月5日(日)小雪

九時に出発して篠栗の社会教育センターへ。県子ども会連合会の主催する第二回新年カル
タ大会に出てあいさつをのべる。寒波、雪のため、参加率が半分以下になったと主催者側の
なげき。十二チーム二二〇人の予定が九チーム九〇人になってしまったからである。あいさ

つの後引揚げようとしたが、子ども達のために、中食も一しょにとの要請があり、カレーでしばらく対話の時間をとった。シニアの人達がよく世話しているのに感心した。昨年度私の提唱で県子連が冬の室内教育の一つとして取りあげてくれ二度目になる。天気がよかったらと残念だったが、それでも成功と思う。帰路林県議宅（名島）に年始にまわったが不在だった。今日も又河野氏を呼んで家族マーじゃん。直美夜八時半空路帰京。

1月6日（月）曇 寒風強し

八時に出発。農政部長（赤保谷）の辞任辞令交付ののち、平和台での福岡市消防出初式に参加。寒風吹きすごい冷たさである。式後、読売、県歯科医師会、朝日、それから北九では安川労組、安川電機、八幡製鉄に新春あいさつ。福岡では時間がとれたので福教組、高教組、社会主義協会にもあいさつに寄った。又午前中は商工会議所（福岡）、薬業新年会に出席してあいさつ。北九州市では西日本工業倶楽部の年賀会。又新幹線で福岡に帰り全日空ホテルでの日本土木工業協会福岡支部の名刺交換会に出席した。一日きりきり舞いの忙しさだったが、とりわけ出初式の寒さは特筆ものであった。年頭のこうした行事がしばらくつづくであろう。

1月7日（火）小雨

曇天が消えない。新農政部長岩村氏に辞令交付。田村九歴館長来訪、大陸への歴史視察研修者派遣の必要を強調された。定例記者会見のあと、市内各地に新年あいさつ、祝賀会出席のためとびまわった。西日本新聞、共同通信、中経協（国際ホール）、建設協、造園業協（ガーデンパレス）、夕方からは測量業協会、次いで建設業協会（どちらもニューオータニ）などがそれ。午後早目に遺族会連合会（坂口県議主導）の陳情をうけた。今年は南太平洋の戦跡を訪問したいといっている。これで戦跡訪問はほぼ一巡ということになる模様。ニューオータニから和多伴に行きマーじゃん会になった。土木部の清水、住宅の松尾、近藤副知事がメンバー。十一時頃まで遊んだ。明日も朝早い。急いで就寝。

1月8日（水）小雪

今日も曇天。全く冬型。風強く小雪すらちらつく。どんどんあいさつまわりに行く。森林組合、KBC、九電、大手門会館では同盟、労福協、県評、会館事務局、中立労連旗びらき、そして県庁近くに行き解同の旗びらき、環衛会館（ここでは千代校区の人達の年始会にも飛入り）、次いで共産党、公明党へ。医師会、商工会連合会の年始会（都ホテル）、新幹線で小倉に行き、朝日、読売、毎日の三新聞社を訪問賀詞。（福岡では日経も行く）、六時からまなづる会館での北九地評の旗びらきに参加した。来年早々に北九市長選があり、松本洋一氏を擁立する熱気がでていた。社共の共闘、市民の会の動きがだんだん表面にでてきている。八時すぎ帰宅できた。

1月9日(木)曇

九時の農協中央会を皮切りに今日も新年あいさつの連続。九経連、西鉄、民社党、毎日新聞、午後には福相、西銀。ひるをはさんで十一時から昨年と同じく東急ホテルで沿岸漁業各組織の代表と知事との懇談会があった。十四時に帰庁し、決裁その他種々事務打合わせを行い、午後六時でら岡で韓国総領事鄭氏、領事李氏と夕食こん親。これは今年五月末の青年の船がはじめて韓国に行くことになったことについての御礼の意味があった。昨夕元県評議長大井重信氏が死去したので、西油山の自宅にお悔みに行った。全駐労出身で県下の労働運動界で多くの足跡を残した人であった。六八歳という。帰宅は八時半。近頃新年あいさつまわりなど日程が過密で疲れ気味だ。あと数日この状態がつづくことを覚悟せねばならぬ。

1月10日(金)曇

晴れない日がつづく。十日えびす、県庁前東公園も夜店でにぎわっている。私は登庁なしで新年あいさつの外まわりばかり。正金相互、時事通信、福銀、FBS、NHK、岩田屋、フクニチ、RKBなどへのあいさつのほか、十時三〇分はサンパレスでの農協大会、ひるの龍鳳での土木連合会、五時からホテルタカクラでの中小企業家同友会の祝賀会に出席した。そして今日の最後が山ノ上ホテルでの国際化問題懇話会の懇親会であった。この懇話会は県に種々意見を出してもらうためのもので、国際交流課所轄で八幡製鉄の水野氏が会長。私はあいさつの中で、技術立県と国際化の関係について積極的姿勢を取るつもりであると発言した。夜帰宅したら満州時代の嘉根博正君の「緋寒桜」(歌集)が送られていた。八年前に死亡したと奥さんからの便りがはさんであった。私の名の年賀状が届いたためで驚きであった。

1月11日(土)晴

久しぶりの晴天だ。九時半に自民党ビルにあいさつに行った。役員不在だった。割合にのんびりの在庁。ひる前に商工部長から六一年度予算要求について意見をきき中食を共にした。一時サム・アップ社の取材に応ず。午後佐々木氏から各部予算要求状況を一括説明してもらう。社会党県本に新年あいさつに行き、後若干時間がとれたので、ショッピングプラザで開かれている高句麗文化展を見に行き、その足で印刷工業組合の新年名刺交換会に出席した。全日空ホテルである。六時頃帰宅。夜は河野氏を呼んでのマージャン会となる。身辺いろいろの用がたまっているのに気が散る毎日である。今年は賀状の返事を書かぬ方針なので、その分楽だが。

1月12日(日)快晴

早目に起きて書斎に入り習字と手紙書きで午前中を費した。気持よく晴れて書斎にも陽ざしがさし込んでいたが、夕方は三時頃にはかげりが出る仕組みになっていて、冷い空気があ

たりに立ちこめる。午後河野氏に連絡して又昨日につづいて雀卓をかこんで夜おそくなってしまった。それでも満足な休日であればそれでよいだろう。高野切が進んでいるので気持がよい。三回通り終るなら、他に移ろうと思う。

1月13日（月）曇

小雨が降る朝だった。午前中に地方課長から県下市町村の財政事情の分析のレクを受けた。筑豊地方とくに田川郡、柳川、甘木、直方など問題が大きい。私学協会からの陳情があった。福岡都市圏自治体からの陳情もあった。県の来年度予算編成を前に陳情が多い。夕方になって、菓子工業組合、アスファルト合材団体その他新年会に出席し、TNCにも当方からあいさつに行く。監査委の藤本氏逝去につきお悔みに片江まで行き、グランドホテルでの福岡青年会議所の新年会に出席して少々長目のあいさつを要請された。田川市長ら、田川の社会保育短大の四年制昇格の陳情もあった。八時半に帰宅し夕食となる。

1月14日（火）晴

東京での晴のような快晴。比較的暖い。庁議記者会見のあと、十一時からサンパレスで漆生附近上山田川崎油須原間鉄道建設促進連合会評議員会というのがあり、いわゆる油須原線の建設断念の会合となった。午後大博多ホールで商工会連合会の新年会があり帰庁して自民党の六十一年度県予算要望をうけた。中島、水戸の両県議からである。三時から三役会、六時から稚加栄で部長会。これは赤保谷農政部長の送別会である。この席に来ていた企業管理者の大坪氏に私の次の出版についての手伝いをお願いした。この準備を急がねばならぬ。三役会では二月県議会の日程や当面する諸問題を討議した。行革がらみの機構改革がむづかしいということ、天皇在位六十年記念会をどう扱うかが課題であった。

1月15日（水）曇

成人の日。福岡県内の該当者六万五千人（男三万三千、女三万二千）ひのえうまとの関係かしら前年より二千人は減っているという。（全国の成人数一八〇万人）今日は知事日程なし、休日で、高野切第三を最後まで書いてしまった。全部で二五枚をこの三日間で書き終ったことになる。考えてみると、もう一回通りは自習してよいのではないかと考えている。午後、森祐行氏を呼んで又マージャン日になった。彼は来るとくさりいろんな感想をきまってまくし立てるのだが、今日は、サラ金苦の例に出くわしたということで、それが誰でも陥りがちな心理的なもので家庭崩壊の原因をつくっているというのである。マガイ商売にひっかかるというのも同様に、「飽食時代病」といってもいいのではないかと私は思う。とくに主婦、若者に事例が多いようだ。

1月16日(木)曇 小雨

八時発。近頃目ざめが早くて睡眠不足気味。レクと称する仕事がいくつかつづいた。それに今日は取材が三つもあった。福岡大学生新聞、地域ミニ新聞「津屋崎の子供たち」、それから東京事務所では「世界画報」誌。最後のは県政の基本にふれるものであった。上京の直前に、住宅管理審の答申をうけ、これは記者によるフラッシュ攻めの中でおこなわれた。十二時四〇分板付発で上京。政府予算原案に対するお礼まいりが今回の目的で文部、大蔵、厚生、建設、外務の各省それから年金事業団、麻生太郎事務所。五時半東京事務所で世界画報の取材に応じ、六時半直美を呼び寄せてふくおか会館で夕食。企画調整課長の樺島君が福岡から同行した。八時すぎ宿室におちつく。

1月17日(金)晴

十時から通産省、エネ庁、農水省、国土庁、北海道開発庁、建設省、運輸省の順で昨日同様予算お礼にかけまわったが、国土は山崎平八郎、北海道は古賀雷四郎氏のそれぞれ大臣、長官就任お祝いが目的で別であった。午後は建設運輸のあと第一、第二参院と議員会館、県選出者へのお礼まいりで、三原、多賀谷の二人は本人がいてあいさつできた。遠藤氏がいなくてよかった。留守者は名刺をおいてくればよかったからだ。一五時三五分羽田を出発。帰福してから東急ホテルでの建設五団体の年賀、三鷹ホールでの共産党県委員の旗びらき、福新楼での記者クラブとの新年会とつづき、最後のところで夕食をとって帰宅は九時四〇分。何するひまもなく、手紙など読むにとどまった。暖い一日だった。

1月18日(土)雨

夕方まで本降りの雨だった。午前中あれこれ在庁中の用務だったが、午後は庁外。途中、一時間余帰宅休憩したが、午後九時すぎまで、行事に追われた。国際センターでの高松光俊氏の受賞祝賀会、婦問研の取材(問研)、大手門会館での共産党系民主団体の合同新春会、グランドホテルでの歯科医師会表彰式、そして青年のつどいパルフィ(PALFY)の新春こんだん会(大手門)、スケートフェスティバル(スポーツセンター)。私が知事当選後できた青年団体だが、新しい運動スタイルを目ざして全県的にたくましく、楽しく伸びているのがこのパルフィだ。スケートを楽もうということ、スポーツセンターを借り切ってやるということは大変によい。私にかんたんなあいさつをさせ、リンクの外枠のところでも多くの滑走中の人達と握手したが初心者子供連れもかなりいたようだ。幅広く連携を求めているというので、それがいいと指摘しておいた。

1月19日(日)晴

午前中高野切を書き、依頼をうけた色紙を書いた。ひる頃約束のとおり安達と森山の二人が来て、次の出版について私の構想を大要説明し、二時に社会主義協会の中川が迎えに来て那

の津荘での協会福岡県支部の新年会に参加した。直方支部の者が正月凧をお祝いにくれたのもって帰って廊下に飾っておいた。協会は運動の仕方を少しずつかえて、メンバーも漸増しているという。労働組合運動の様子がかわってきているので以前と同じプロパガンダでは受けないのでやり方を変えている。衆院の中西績介氏も参加して五時頃まで語り合った。参院選に地方区から渡辺四郎氏が出馬するので大さわぎだ。

1月20日（月）晴

九時から東財務事務所視察。職員に税収の伸びの悪さを背景に訓示。十一時から県地労委創設四〇周年表彰式に出席。西鉄労組三役と中食こんだん。一時、大濠公園での世界画報社写真撮りに行き、その足で西総合庁舎での地方行政連絡会議に出て、訓示。六〇人ばかりの出先機関の所長のあつまりで、本庁から三人の講師がこのあと講演した。帰庁し、明後杷木町で行う対話集会のレクを二時間ばかり行い、四時半三塚運輸大臣来庁。国鉄余剰人員の地方への受け入れ要請を受け、県の立場を説明した。夜は五時半から地方行政連絡会議のこんしん会（大名町の広州酒家）と社会党県議団の新年会（八仙閣）に出席したが、両方ともかなり濃厚につき合っただけで疲れてしまう程だった。大濠は快晴だった。

1月21日（火）晴

庁議、記者会見とつづいたが、後者では特別職の報酬、審議会のことが話題となった。記者たちは引上げに否定的見方をしていることが表明された。一時から四五分間幹部研修会（講堂）に出て講演した。私のあとに上智大のクラーク教授が国際社会での日本について講演した。ひる前の三役会では中国総領事館の建設用地につき福岡市側が県側に土地斡旋の責任をおしつけてきていることについて、問題が焦眉の急であるだけに、福岡市にもっと強硬な態度で臨むべきであるとの結論に達した。夕方、ステーションプラザでの鉄構工業会の新年会、三光園での済生会の新年会に出席した。伊三男君が来て、仕事がないので何か世話をしてくれといったとか。そういう人が多い時代だ。

1月22日（水）晴

午前中は公式日程なく、高野切を臨書した。一時半大手門会館での県評主婦の会に出席あいさつ。一五時、久留米財務事務所視察。終って甘木に移り、農林事務所での地方行政連絡会に出席あいさつ。あと、ニュー松屋での懇親会にしばしつき合い、六時すぎ甘木地区労を訪問して労組代表の集会にあいさつ。すぐ引き返して市町村会館での「明日がみえますか」実行委員会の集りに出てあいさつした。こういうふうで今日も午後はきりきり舞い。七時半原鶴の泰泉閣に着き、町長、議長らに迎えられ、一ぱい飲みながら九時頃まで雑談した。ここで泊ることになる。町長林一二三氏は泰泉閣の経営主。みずから亀井支持だったと名乗りつつ、わいわい雑談したので仲よくなった。明日は杷木での対話集会だ。

1 月 23 日 (木) 曇一時晴

泰泉閣の朝はゆっくりした。十時に杷木町役場につき、十二時まで町内を視察したが、特に山上に予定されている火葬場(広域二町二村運営)の建設現場、及び新築の杷木小学校をみた。役場も新築である。朝羽高校の運動場拡張予定地もみせてもらった。中食は料亭某で、韓国のもを集めている所だった。一時から三時まで「対話の集い」で広報室の平田が司会した。終って車で走り筑後総合庁舎での地方行政連絡会議に出席、昨日久留米と同様私は県政の当面する基本方針について講話した。五時にそれが終了、料亭若代で会員の懇親会。昨日同様、一人一人まわって酒をつぎながら話し、終ってそこそこに福岡に向け八時すぎに帰宅。杷木の選果場を訪ねた時、町長から特産の冷凍柿をいただいた。まだ固く、なかなか価値のあるものだ。

1 月 24 日 (金) 晴

九時、西財務事務所視察。十時半に中国大使章曙氏夫妻の来訪をうける。九月に着任されてからまだ会ってなかった。十一時に NTT の九州支社長の来訪があった。これは未だ非公式ながら現教育会館の跡地を譲ってほしいとの申入れであった。中食は記者クラブ広報室の諸氏と庁議室でカレーライスを食べた。午後は朝の放送録音など。午後四時から外まわりで、まず、八仙閣の建設関連産業協議会の新年会、次は中小企業団地協議会の新年会(ステーションプラザ)、西新福新楼での中国大使歓迎レセプション、三光園での住吉グループとの懇談会とつづいた。これには近藤、林、それから社党林県議も出席。政治的な生ぐさい話も平気で出た。奥田支持の意見表明を得るための会と受けとれた。八時半帰宅。高野切第一の三回目を書き終った。

1 月 25 日 (土) 曇

県の税務システムの機械化に協力している日本電気 NEC の専務瀬古氏らあいさつに来訪。あと、九時半から「虹の会」の女性たちが要望しての知事との対話があった。県の婦人行政への要望がつづいた。集った人達と中食の後、宮田文化センターでの直鞍地区住民総決起大会に出席した。市町の幹部をふくめた住民八〇〇人が集った。主要スローガンは石炭三法の延長などである。又帰福してニューオータニでの日本植木協会全国大会に出席してあいさつ。このあと貝島兼三郎先生の傘寿記念講演会、祝賀会に出席、さらに、六時半から山の上ホテルで自治労福岡県本部の幹部との夕食懇談会に出席した。彼らは再び県地方課が市町村をしめつけていることが奥田県政にマイナスイメージを強めている点を強調した。地方課の人事入替を強く要望。

1 月 26 日 (日) 曇、時に晴、小雨

十時に出発して宇美町中央公民館での江崎淳後援会の大会に私用の形式をとって出席し

た。次期町長選に再選をねらっての大会である。対抗馬が出にくい超党派の支持のようだ。帰りピザに寄って牧坂氏と中食こんだん。二時半からサンパレスで行われた九州山口アマ無線福岡大会に出席あいさつ。社会党の嶋津君の要請によるものだが、熱烈歓迎してくれた。一たん帰宅して小休後、六時半から福新楼で開かれた黄世明中日友好協会秘書長ら一行の訪日団の来福を迎えての歓迎夕食会に出席した。八時半帰宅し、牧坂氏が所望したので明日の尚文堂玄羊会の書初め展への出品のための揮毫に時間を使った。日曜でも日程一ぱいだ。

1月27日（月）晴時々曇

来年度予算編成の詰めの段階にきているが、貯えを使いつくし、赤字になる瀬戸際に立っていると財政課から報告をうけて三役で再認識した次第。十一時から「ふくおか二十一世紀シンポジウムのパネラー、講師（松下電器、唐津氏）らを迎え、医学部前の「かね吉」で中食後、一時からのシンポに臨み、私がいさつ、唐津氏の講演をきいた。技術立県をいったのと同一視点であったので意を強くした。夕方、二宮和土氏の母死亡とのことで土井団地に弔間に行き、引きつづき尚文堂での書初め会、つづいて「いわし屋」での玄羊会尚文堂支部の新年会に出席（十二人）私の方から若干おみやげを贈った。私は昨夜書いた三点を書初めとして出品した。久しぶりに同門の人達と懇談できた。

1月28日（火）晴

庁議につづいて定例記者会見、秘書との日程協議と、午前中は日程はゆっくりした。一時に県社協からの陳情。なぜか急に眠くなってきた。近頃眠りが浅いのだ。このあと、小倉、行橋ととんだが、車中たいてい目をとじたままだった。小倉では財務事務所視察。行橋総合庁舎で地方行政連絡会議、五時に終わって行橋酪農会館で懇親会。六時すぎから行橋地区労で「知事を囲む会」に出席。ここには六〇人ばかり来て熱心な応対ができた。七時すぎ京都ホテルで県議井上勝氏と夕食会。行連に来て説明役をつとめた樺島課長も加わっての四人の会食になった。行橋に来て感ずることは道路事情が悪いことだ。いたるところ車の渋滞である。九時二〇分、このホテルのわが泊室に解放された。久しぶりの一寸落付いた夜の一時である。

1月29日（水）晴

一日すばらしい天気だった。八時二十分行橋を立って田川へ。保育短大、川崎町及び大任の町役場をかけあしでまわり、赤村役場へ。ここで午前中の視察を終ったが、カーネーション、イチゴ、豚を大々的に生産している農家に案内され大へん印象に残った。役場横の村民センターで商工会婦人部の手料理のごちそうをうけ、午後一時から同センターで知事を囲むふるさと対話を二時間。村民約一五〇人が集まり、まじめと印象づけられた対話であった。大

任、赤の両村では油須原線の道床の実態をみた。対話のあと北九州八幡のハイツに行き、ここで八幡地方行政連絡会議での知事訓話と終了後の夕食懇親会に出席。終って帰宅したら七時半であった。昨日アメリカの宇宙船スペースシャトルが打上げ後爆発、乗員の中に、浮羽町出身の二世鬼塚氏が含まれているとの連絡あり。先年県庁来訪の時の印象をのべたのであった。(記者に)

1月30日(木) 晴

もう月末がきた。バタバタ動いた一月だった。今日は来年度当初予算の総務部長内示があるので、午前中はそのヒヤリングに時間をとった。九工大飯塚学部設置に伴い、用地の入口にある一万坪近くを将来のために買ってくれとの陳情。これは高鍋市長と三木県議の主導。とても今十億円のゆとりはない。午後、グランドホテルでの野村証券役員の交代披露宴に出てのち、パーソナルホテルで中食、八丁君を呼んで、「県政ひとすじ」の印税について立入った説明をきいた。このあと済生会病院で定期検診。帰庁し、人事課長から行革関係の機構改革方針についてヒヤリング。二月県議会に向けて問題が山積していることの証左である。中でも財源のないのが一番の問題である。

1月31日(金) 晴

ここ数日比較的暖い。鉱害審査会委員が招集され、その前に辞令を交付した。県の委員に相かわらず同じ人物が顔をならべている。注意したのに、まだ直らない。十年も十五年も顔を出しつづけている心臓の強さにもあきれられる。報酬審議会も今日初会合。五年ぶりというが、これまた同じ傾向だ。マスコミは特別職・議員の「賃上げ」に強い関心を寄せている。議会の方から引上げの圧力がかかったことを、ここに明記しておく必要がある。この審議会が終わったところで中食を共にし、あと飯塚に向い、九工大の新学部建設予定地を視に行く。伊岐須の北、筑豊独特のたかり屋がここにもう問題を投げかけているからだ。ここは一寸見ただけで、今年の最後の地方行政懇談会に出席した。会場は筑豊ハイツ。県の出先機関の所長ら約四〇人が集った。知事が出席し、話したということをよくよこぶ所長が多いときく。近くに見て懇親の杯をかわすことに意義があるというのである。

2月予記

こんどの二月議会は実に重々しい。知事の手で組む最後の予算とひとはいふ。そしてそれが赤字寸前かつ何ほどの目玉のない予算たらざるをえないからである。二月ははじめの一週間に、予算案の骨格が決められる。知事査定といっても何かいいことを査定するのではなくて、いかに切り込むかということなんだから困ったものだ。しかもそれを知りながら野党はそこを突いてくるに違いない。忍の一字でどこまで頑張れるかであるが、実際は正念場ともいえる。突かれるだけで、突いたからとて、どうにかかわるものでもないから根性をすえて

かかるしかないのだが、今から考えると先行きぞっとする。他方来年の知事選のことがあれこれささやかれ雑音は日益しに高まっていくだろう。

2月1日（土）晴

八時半に出発して今日は大川市視察。昨年八月末の十三号台風の爪跡の大きなのには驚かされた。古賀県議が一度は来てみなければとっていて、約束をやっと果たしえたわけである。イチゴ畑、大野島漁港、ノリなどの被害が大きかったわけ。十時から十二時まで視察で、あと中食を共にしつつ陳情をうけた。役場で中村市長、木工業界からも木工まつり（四五〇年祭）への補助について訴えがあった。一時からほんの十分間、地区労の人達に集ってもらっていて、そこであいさつ。（市民会館？）帰福して三光園で解放同盟の幹部の要請をうけた。（三時から四時まで）このあと、松本組の平井さんと弥生に招いてマージャンをした。林県議、近藤副知事が相手。帰宅は十二時に近くなっていた。森山君が送って来て、社会党福岡の選挙もめごとを話して帰った。（小柳をおろした話）

2月2日（日）晴

十時から山ノ上ホテルで来年度県予算案の部長査定が終った段階での社会党系説明会があった。近藤副知事、林出納長、佐々木秘書に対し、県議は長谷川、白石、林、それに八丁氏のメンバーだった。会議は午後六時近くまでつづいた。誰もが会議疲れしただろう。しかし、奥田県政の最後の予算案だということ、又予算が組めないほどに財源がないのでどんな特徴を出すか、どの項目を削るかということが、政治的に重要だということで、みんなが見ているからである。私は、この会議の途中、三時頃から国際センターで開かれていた「見えますか二一世紀」若人の集会に出席した。一時間ばかりだが、八〇〇〇人が全国から集った。社青同系の者ばかりで、中央から深田肇氏も来ていた。

2月3日（月）晴

今日が節分で明日が立春とか。八時半からの決裁などの仕事があつて、七時五〇分に出発。九時から来年度県当初予算部長査定後の各部長知事ヒヤリング。労働部からはじまって教育委員会まで。中食事の小休止をはさんで延々と午後五時まで、つづいた。今日は特別の論議はしなかった。明日一日ねかせて明後日が知事査定である。午後六時国際ホールで開かれた県医師会の新春懇談会に出席してあいさつ。国会議員は山崎拓、河野正、自見、古賀誠、太田、それに遠藤が出席してあいさつした。乾杯のあと私は退席して西中洲「小林」で行われている県三役と公明党との懇親会に出席した。公明はほとんどの県議が出席してみんな上気嫌だった。奥田県政は二期つづけよとはげましてくれた。

2月4日(火) 晴、曇

九時に九大田中学長が来訪、留学生に県の住宅を開放する方針に関し、謝辞。十時から記者会見、十時半から夕方七時半まで六十一年度県予算案の知事査定分の調整のため特一会議室に詰めっきりだった。途中、一時から二時半までは各種団体の予算陳情をうけた。十団体が次々に五～十分ぐらいの間隔で来訪した。これも予算に反映させる要因となる。このあと城山ホテルに移り、こんどは調整結果をめぐり、社会党県議らとの協議。いわば奥田予算の最終のものたるにふさわしいかどうかチェックのポイントである。フレームとしての財政調整基金がゼロになる点その他について(団体補助がとくに)あれこれ注文がついて、諸問題は明日にもちこされた。十一時半に帰宅した。

2月5日(水) 晴

冬らしいが、晴れ日がつづいて快い。今日も一日、当初予算について、知事調整をしながらの各部査定申渡しの会議がつづいた。どの部もかなり切りこんだものをさらに切りこまれて当惑している模様である。失対「定年」引退交付金について政府原案どおりではがまんできないとして添田町長から至急あいたいとの電話もあった。ともあれ、ここ数日つづいた当初予算案がやっと今日出来たわけだ。五時半から「やま祢」で西日本新聞社主催の新年知名士会があり、出席して私だけあいさつにあてられた。国際交流課長白土氏が東南アジアに旅し、バンコクでパヨン氏に合うというので、彼への手紙を書いた。託すことになる。

2月6日(木) 晴一時小雪

予算知事査定が一段落というので、今日は十時半の出発。査定結果につき主要団体等に電話連絡、決裁、散髪など比較的ゆっくりの庁内作業だった。一つ、失対引退者手当問題について添田の町長が来訪し、今後現場でどう対応するかにつき、労働部長をまじえ話し合った。大塚副知事も事の重大性につき自治省と十分協議してみることを約した。十億円ほど追加がほしいところなのである。夜、三光園で住吉、浜中、三木の自民三県議を招き懇談会をもった。両副知事、出納長、総務部長、林県議が出席した。二月議会と次期知事選が各自の思惑にあったに違いない。自民党の中に奥田再選やむなしの空気があるということをふくんでいる。問研から「県政ひとすじ」の原稿料一二〇万円余送金してきた。その用途につき森山君らと協議している。

2月7日(金) 晴

朝のうち死亡者叙勲式と、田川二町一村の油須原線終末のための首長来訪をうけて打合わせを行う。清山教授が来訪、中食しながら夜の会の打合わせを行う。一時、中小企業家同友会との対話につき打合わせ。三時グランドホテルにおける西鉄労組四〇周年祝賀会に出席。ついで全日空ホテルでの朝日新聞西部本社五〇周年カクテルパーティに出席した。六時か

らかわさきで清山教授らとの懇親会に出席した。私は技術立県を進める上での大学との連携をはかるための会にしようとして清山氏に提言してはじまった会が、田中九大学長の人選により若干趣旨のちがう会になったことに異様さを感じたが、準備（打合わせ）の不足を反省させられた。産学官という学官の連携の場と考えたものが、まだそこまで行き難いことを知らされた次第である。

2月8日（土）晴

今日は代休。藤江君が墨をすってくれたので、揮毫に時間を費した。色紙ほかさまざまのものが大量にたまっていたのでその宿題である。色紙は五〇枚は書いだろう。二倍大の色紙五枚は福教組から頼まれていたものだ。秘書室から受けてくるものには結婚する若者というケースがかなり多いが、なぜだろうか。事務側から発行誌の表題書きとか、建設関係の標題といった例もある。県職労からは、退職者に陶板を作って贈るからというものが毎年つづいている。残る時間おそくまで河野氏とマー جانをした。

2月9日（日）晴

十時にうちを出て、大濠公園へ。恒例の（今回21回目）福岡地区春闘共闘会議の大濠公園一周の駅伝大会に出席。このあと日本庭園での藪内流茶会に（とくに点心に）列席。次に都ホテルでの三菱電機福岡支部（労組）四〇周年祝賀会に出席。このあと直方にとび、びっくり市の見学に行った。県評の岩崎氏の案内である。市場を見たあと明治産業職員クラブで肉を焼いてのごちそうになり、さらに飯塚柏の森のレストラン（フェスティバルプラザ）でコーヒー、アイスクリームをごちそうになった。帰宅したら九時少し前だった。筑豊にもやる気のある者が多いということを教えられた。

2月10日（月）晴

比較的「多忙」ではなかった。十時半から退職予定者特別研修会があり、冒頭私からあいさつした。午後二時から四時まで中小企業家同友会幹部との対話の集いがあったが、農漁林政にくらべ商工行政については県の施策が薄すぎるということが、つくづく実感させられた。これは福岡県の長い歴史の所産であろうが、何とか改善すべきであろう。夕方六時になって中洲の「程よし」での懇談というので何だろうと思って行ってみると、松本英一父子との話合いとのこと。上杉氏も来る予定であったとかであるが欠席。秘書室の数人も隣の部屋でわいわいやっていたが、われわれも特別の目的あるわけではなく、松本氏の日本古代史の話をかされた。

2月11日（火）晴後小雨

今日は休みとなった。色紙は先日たくさん書いたが、今日は二、三色紙のほか、条幅もの

が残っていたので、それにとりかかった。墨は藤江君がすってくれていた。午後になってマージャンをしようということになって、こんどは森祐行氏に連絡。それに熱中して夜半までつづけた。十時間もすると疲れが残った。まだ寒くなるかも知れないが、今日はかなり暖く、夜になって雨になった。直方に行っていた時に知り合った人達、明治屋産業の社長、四宮マンジュウの社長などに手紙をかいてお礼をのべておいた。休みで遊んだかわり明日から多忙になる。

2月12日(水) 晴

一日中雲一つない快晴。外気はもう春を思わせる。九時から庁議室で財政課から来年度予算案の全容の説明をうけ、十時四〇分に春の甲子園に出場する大濠高校の校長、監督、主将などの来訪をうけた。午後は出っぱなしであった。一時から電気ホールで保育所職員総会研修大会、二時からセントラルホテルで青少年問題協議会があった。後者では私が会長議長として議事を進めた。非行、いじめ、校内暴力などの実情と対応が議題であった。四時からグランドホテルで、二月議会に向けての与党懇。六時半から広州酒家で部長会。これも二月議会に向けての揃いぶみといえるものであった。帰宅したらもう九時近くであった。夜の時間を利用して高野切(第二)を書く。

2月13日(木) 晴

おそ出。十一時から昨日と同じように、二月議会向け「野党懇」がグランドホテルで開かれた。とり立てての問題はなかった。一時からRKB「県政サロン」録画取りであるが、今日の話題は中国からの農業研修生三人との対談であった。二月末には彼らは十ヶ月の研修を終えて帰国する六人のうち三人である。日本語も上達している。友情を強く感じているらしい。午後三時半、大成建設の梅宮営業部長が来訪。この人は書写の梅宮初子さんといとこに当るといふ。七二兄の紹介で訪ねて来てくれたのである。今日の夕方は、明日の記者会見の主題「六一年度予算案」についてあれこれを各課からの説明(レク)がつづいて多忙であった。七時帰宅。

2月14日(金) 曇一時雨

八時四〇分から庁議と行革推進委。あと十時から六一年度予算案についての記者会見。財政課の方から前もって輪廊が説明してあったので比較的スムーズにはこんだ。ゴロあわせもさっとやった。十一時から代表者会議で二月二十一日から「二月定例会議」を開く旨発言した。午後、グランドホテルで中小企業協同組合中央会の三〇周年祝賀表彰会に出席し、また庁内で第十回ヨーロッパ研修団の報告会に出席し、報告を終りまできいた。僅か二週間の研修ながら一行十人はひどく感激した報告をした。二人が女性という点にも特徴があった(昨年一人)六時から中洲の鹿鳴春でこのグループを含む福欧会の懇親会が開かれた。

2月15日（土）曇一時雨

十一時に京都県人会ご一行様三十余人が来訪（永末会長、宮崎氏ら）中食をいっしょにし、あと、建設同友会高木会長を九大病院に見舞う。このあと浮羽町へとぶ。雨である。役場についてのち、合所ダム建設現場、調音の滝、一ノ瀬焼（丸田窯）を見学。午後五時半から禅寺西光寺で「明日の浮羽町を考える会」の青年たちと夕食を共にしながら「知事との対話」の時間を過ごし、久留米にまわってグランドホテルで開かれている山崎平八郎氏国土庁長官就任祝賀（知事招宴）に出席。九時二十分発十時半帰宅。今久留主淳氏が死去したという話。いささか感慨。今日から高野切第三種に入った。

2月16日（日）曇

青少年育成県民会議主催の第九回県民マラソン大会が大濠公園で十時から举行された。昨年同様、私は小学一年のトップスターターをして、あと二年生の一しょに走った。昨年は中ほどで歩いたが、今年は完走した。どんどん汗が出て、久しぶりに疲れた。ひる少し前に帰宅したが、入浴後、マージャンをしようということになって、六時間ぐらいした。河野氏が客。夕方七時すぎ藤江君の運転で野間四ッ角の平田葬儀店に、みゆき同伴今久留主さんの通夜に行った。おだやかな眠り顔であった。牧坂氏との連絡で、私にも弔辞をとの要望があったので、夜、その原稿を書いた。彼六七歳という。おだやかな人物であったと思う。ライオンズ球団の全盛時代の開拓者だった。

2月17日（月）曇後雨

十時に福岡税務署へ確定申告に行った。今日から三月十五日までがその期間で納税キャンペーンの意味もあって準備万端という形。記者たちがカメラを向けるし、質問もする。今年「県政ひとすじ」の印税もあって追徴五一万円ほど。さらに四月以降の市民税にも二十万余がはねかえるという。帰庁して中食をはさみ、三役協議、とくに中国総領事館の建設敷地をめぐる県市のもたつきが討議された。夕方対話レクがあって時間をついやした。農業士のことである。五時、国労西部ブロック議員団会議（城山ホテル）であいさつ。あと中洲の「てら岡」で共産党県委員会との懇談会があった。九時帰宅。午後一時半、インド大使次席が来訪し、来年十一月福岡にも来るフェスティバルオブインディアへの協力要請があった。

2月18日（火）曇小雨

庁議、婦人関係行政推進会議、記者会見とつづいた。記者会見では、行橋土木所長が収賄で書類送検されたことにつき、朝刊で報道されたこともあり、コメントした。又六〇年の県内立地企業の概況を伝えた。あと日程なくしばしのんびりした時間をすごしたが、一時半救急医療協議会（庁議室）と料飲業環衛組合連合の新年会（環衛会館）に出席。三時半済生会病院に行き、人間ドックの過程に入る。今日は採血と胸部レントゲンのみで終わった。大坪康雄

君がアル中ということで同じく小川副院長の世話になっていて入院中で、私に会いに来た。みゆきも様子見に来て一階のレストランでコーヒーをつき合った。今日午後の今久留主氏の葬儀には牧坂氏が私の弔辞を代読してくれた。一日小雨模様。

2 月 19 日 (水) 晴

十二時間ほど床にいたことになるが、これほどゆっくりしたのは久しぶりだった。七時頃から脈搏体温をはじめ、いろいろ検査が動きはじめた。大坪君が新聞をもって来てくれた。院長もあいさつに来てくれた。尿検査のほか心電図、頭部腹部の断層撮影があつて午後一時食事。それ以降は何も検査なくゆっくりした午後になった。協会に電話したら中山君が来てくれた。中山君は病気とって休んでいるらしい。入れかわるよう大坪君が来た。朝早く新聞をもって来てくれたので、退院したのかと思っていたら二十一日に退院することにしたらしい。余った時間で「幾歳月」姫高時代のことを久しぶりに書いてみたが、記憶はもう薄れてしまっている。皮膚科の先生も来て診断し、薬を投与してくれた。ひるま、秘書室から古沢氏が来て二月議会の想定答弁書をおいて行った。よんでおくようにと。

2 月 20 日 (木) 曇一時雨

済生会病院の人間ドックの諸検査が終了し、小川先生の説明がすんだら丁度十二時だった。県庁に行き、記者クラブ送別会に顔を出した。今回四人が転勤になるというので中食会をかねてやっていた。午後、覚醒剤薬物乱用防止推進研修会 (三 F 講堂) であつてあいさつ。保護士さん達が多く参集していた。二時から、二月補正予算案の説明あり、之を了承。あと三役会。ここではまだ中国領事館敷地決定のもたつきが問題となり、大塚副知事に福岡市と最終的詰めを急いでもらうことになった。五時半八仙閣で建設同友会の新春懇談会があつて出席あいさつ。松本英一氏の話では、首藤氏が近くお国入りするので、集会に参加してくれとの案内状が来ているが断っているとのことであつた。夜、森君が会計検査院の人をつれて来たし、今久留主家のあいさつ来訪もあつた。牧坂氏の案内だった。森氏ら、松尾高弘氏を入れてマージャンをして帰った。

2 月 21 日 (金) 晴

しばらくぶりの晴れ。九時半から新長期計画の策定委員会のレクがあつた。部長会議のメンバーが構成員。十一時から二月議会本会議。私の提案理由説明は五五分かかったとか。今年のは特に長文だったのである。自民党一年生の席からいろいろヤジがきこえてきた。ひどい読み違えをせずにすんだようだ。午後一時から長計委。今後のスケジュールをふくめ、内容につきいろいろ論議があり、慎重に処理しようということになった。午後三時から農業士との対話のつどいがあつた。県下各地の農業の主たる担い手であり、農業地区の指導者たちで、貴重な役割を果たしている者の集りであつた。久しぶり六時半頃の帰宅となる。手紙書

き。

2月22日（土）晴

身体障害者作品の展示即売会が呉服町エレデハ F で一〇時からオープン。テープカットに臨んだ。登庁して、国労山崎委員長の来訪をうけた。午後一時、農協会館で例年の農協の共済小中学校作文コンクールの表彰式があつて出席あいさつ。二時からスターレーンで参院地方区出馬予定候補の渡辺四郎をはげます会があつて出席あいさつした。自治労主催で二〇〇〇人ぐらい集つたように思われた。このあと筑豊にとび嘉穂町遠賀川に鮭を呼び戻す会の放流式に出席した。昨夜おそく西日本記者から電話で次期自民党知事候補首藤堯氏が病気のため立候補を辞退したとの電話があり、朝刊（西日本）及びひるの各テレビ等々に大きく報道され、周辺この話でもちきりであつた。

2月23日（日）晴

森山秘書が迎えに来て県職植田君運転の車で出発。十時半定刻に小倉西蓮寺に着く。梅本伊之吉夫妻の二十五年忌法事をつとめる。みゆき同伴。富山に出ている伊^(不明)子君も参加。伊三男君の嫁方原田夫妻など十人ほどの参加であつた。ひるべんとうなどいただき森数夫妻と連絡、足立山麓の妙見山荘で彼ら中食を取りつつしばし懐古談（前の知事選）に花が咲いた。四時半福岡到着、都久志会館で開かれている私学助成をすすめる会（門田見氏主宰）の勉強会に出席あいさつ。一たん帰宅して後、六時半からの国際ホールでの花キク一〇〇周年店主平井英祐藍綬受賞祝賀会に出席した。八時半帰宅のち、色紙揮毫、高野切第三種練習（本日完）をして夜ふけとなる。

2月24日（月）雪後晴

ドカ雪というか、ミズレというか、とけやすい雪がしきりと降つた。フクニチ新聞の買い取り広告らん用の取材があつた。正午に、特別職報酬審議会の会長（石田医師会長）から答申があつた。県議の方から引上げの要望が強くてこうなつたもの。一時、婦人大学終了者研修会（講堂）に出てあいさつ。三時に中国からの研修生（農業系）六人の修了式を知事室で、次いで上海雑技団の来訪あいさつをうけた。三時半から五時半までいろいろの問題につき三役会で討議した。午後六時、中洲の仲柳で歯科医師会の堀尾氏、専務を招いて懇談した。県立歯科大の将来問題が主たる話題となつた。昨日法事に来ていた富山の伊^(不明)子君が来宅した。

2月25日（火）晴

昨夜はぐんと冷えこんでいた。教育庁の方から県立校の事務長の管理職手当を二%上げるから決裁をとってきて、初耳だということでマッタをかけた。こういうことはめつたにな

いことだ。十時半から九工大の新学部設置期成会総会を開く。今後の方針（会の名称存続はない。環境整備について）を審議。午後は一時から福岡商工会議所の優良従業員表彰式に臨席。会員企業の永年勤続表彰等である。このあと問研に行き、「県政ひとすじ」編集謝礼三〇万円を支払いしばし歓談。引上げて西日本新聞社を任意訪問、編集過程のコンピューター化の現場を見学した。四時から六時まで済生会の評議員会、理事会があり（セントラルホテル）、予算と役員交代について議事が進められた。夕食をいただいて帰宅したら七時だった。又々高野切第三種に夜の時間を使った。

2月26日（水）晴

かなり暖くなり春はそこまできている。紅梅の蕾もかなりふくらんできた。十時半から町村会館で開かれた町村議長会総会に出てあいさつ。花キク社長平井氏が来訪、受章の祝をいわれた。朝の放送の録音をとる。午後看護センターで県公衆衛生大会がありあいさつ。二時に大和干拓農業者から償還金の減免などで陳情があった。また粕屋郡町長ら第五学区敷地決定につき礼をのべに来訪。このあと、いろいろの課題につき副知事二人来訪して話し合い。給与改訂につき大塚氏が組合交渉大づめに来ていることを報告、その他明日の代表質問を前にあれこれ問題点の整理があり、帰宅したのが六時半すぎ。机上いろいろ整理、答弁原稿を待つも十時すぎに到着。ざっと読む。

2月27日（木）曇 風強

八時半から代表質問の勉強会。午前中比較的ゆっくりして、午後一時から本会議代表質問。自民中島茂嗣、緑政井上勝。これまでの感じとは逆で中島はいやみたっぷり、井上は全く紳士風。テレビを意識して両者が平素と逆になったのであろうか。奥田県政攻撃ということで自民党が意思統一してそれを中島が代表したのであろう。とくに財政調整基金の取崩しが全国的という私の説明にひどくヤジがとび、県民総立ちは空宣伝という点にひどく力がこもっていた。又、行橋土木事務所長の汚職に知事は責任をとれということで詰めよってきた。奥田になって汚職がふえたではないかという。亀井弁護のつもりであろう。四時半に本会議終了。六時帰宅。

2月28日（金）曇

昨夜は答弁資料ができてくるのがおそく、十二時半に就寝したので、寝不足だった。今日も代表質問。社会党は長谷川、公明党は井上寿昭。昨日ほどは腹立たしくはなかったが、井上も攻撃口調だった。それにしても四人の代表質問のうち自民の中島がいちばん不毛の演説だった。公明がもっといいかと思ったが、意外によくなかった。テレビを意識したのか、野党たらんと奮発したのか。情報公開条例の特別委員会の締めをしようと、その手打の仕方を自民と執行部間で打合わせた。朝のうち自治会館で町村長会総会があつてあいさつに行く

やら答弁資料の読み合わせに時間をとるやらでてんてこ舞いの日だった。七時半に帰宅した。

27日の代表質問で自民の中島が、天皇在位六〇年記念式典をどうするかと、案に相違せぬ質問をした。他県の状況などみながらやるというと、知事の意見をきいているのに、とか、知事は自主性がないということがこれで明らかになったとか、自民党はいつているらしい。式典をするかしないかというようなことを知事の見解一つで左右できるものでないことぐらひは、自民党でもわかるはず。主体性も何もない。自分たちが賛成しないことに知事がやるといっても、それはやかましく反対するに違いない。仮に私が式典をしないといたらどういうだろう。「議会無視」というか、そういわないのであれば、知事の見解は質問する必要はないであろう（議会は社共の反対をおし切って請願採択決議している）。何かケチのつけようはないものかと虎視眈々というところである。新聞は、首藤が候補から降りたので、何か餌がほしいのだと評している。

3月予記

三月は県議会がどう納まるかが以前同様に焦点。情報公開条例についても行政改革関係についても、とくに紛糾しなければならぬ対決点はない。ただ、野党にとってはこれが奥田県政の最後の当初予算となるから、事なく通過させてはなるものかとの意気込みがみえみえである。だから一寸でもひっかかることが見つければそこに絡んでくることは確実視できる。ダラダラ審議で会期延長も戦術として使われるであろう。自民党という多数がまとまっておればそれなりの対応も用意できるが、右のこと以外にまとまった点はないので、つかみどころなく、当方としては、そこがむしろ困惑のポイントである。

3月1日（土）曇

時にボタン雪も降った。風は冷い。八時半に出発。九時から三役協議。十時から県立美術館でコンスタブルの絵画展のテープカットに出、館内を一巡の後、十一時から天神ビル前での緑の羽根募金に参加した。このあと大手門会館に行って中食の後、労働者共済の「こくみん共済」一〇〇万人加入達成祝賀会に出た。森永達夫氏が主役である。一時から大濠へ出発。寒風のなか第一七回県職労春闘駅伝競走へ。二二四チーム二二〇〇人が参加したとのこと。渡辺四郎氏が出てあいさつ。参議院選挙へのダッシュがかかってきたとの感じだ。二時半に帰宅。まもなく河野氏が来てマージャンになった。

3月2日（日）晴

一日自由時間がとれたので、たくさんたまっている依頼もの揮毫に大半の時間を費した。別段不満はない。半截もの九枚、色紙八紙、その他茶掛ものなど大量生産である。墨は藤江君が昨日来二度摺ってくれた。それでまずは肩の荷がおりた。安東氏が電話をかけてきて、大

濠公園池の浄化法に問題があるので、グループで取上げたいが県予算案に支障はないかとのことであったが、底泥のコンクリート固形化に反対の人は少ないらしい。昨日、三日の一般質問への答弁資料が届けられたので、その点検が仕事として残っていた。

3月3日(月)晴

今日から三日間一般質問。八時半から例により答弁資料をめぐる勉強会。十一時は三〇分過ぎて本会議が始まり、前半三人、後半七人の計十人が質問に立った。午後の部で風がわりだったのが社会党から出た中杉芳夫氏。全国部落解放新和同盟(解新同盟)の旗を議長壇、演壇の後部にはりつけて自分は部落出身だ同対審答申前文を知事等は朗読せよなどなどかわった内容の質問であった。議長が事前はかなり骨折ってのことであろうが、長々とどこまでつづくかわからぬ質問演説の予定だったのが、意外と議長の指示に従ったので時間オーバーとはならなかった。まずまずの一日。七時半帰宅。近頃妙な投書手紙がとどくようになった。

3月4日(火)晴

今日は快適な屋外だったそうだが、これは内からながめる外ない議会びつたりの一日であった。十一時二〇分から午後六時半まで一般質問である。今日は九人が演壇に立った。最後に立った板橋元昭は「知事の公約不実行について」あれこれまくしたてたが半分以上は自作自演で、本気で相手にするには馬鹿くさい内容であった。民社の近藤義隆氏は国鉄の余剰人員のことで質問知事答弁を引き出し、夕刊に早速記事になるという点で、板橋よりずい分剛巧な質問であった。午後八時に帰宅したが、九響の演奏会に行っていて留守だったので引き返し、六本松の「あずみ」に行って夕食をすませた。午後十時すぎ答弁資料到着。あと一ふんばりだ。

3月5日(水)晴

陽気全開といえる快晴。雲一つなく春が一ぺんにやってきたようだ。例のごとく七時五〇分に出発。八時半から答弁書をめぐる勉強会、国鉄九州総局長が余剰人員二五〇の県への受入れ決定につき謝意表明に来庁。県がきめてくれた影響は甚だ大というのである。十一時半から本会議。今日は二月補正予算案の提案理由知事説明。つづいて一般質問夕方五時半まで八人の野党から出された。自民党ばかりだったが、定刻までにきちんと終ってやれやれという感慨でみんな喜んでくれた。六時から西日本新聞労組創立四〇周年記念祝賀会が国際ホールで開かれ出席した。今年は大きな組合が次々に誕生して四〇年になる年なのだ。四〇年の歩みは大きい。

3月6日（木）晴

もうすっかり春。快晴がつづく。姫路から黒川らが土、日とやってくるが、その時までこの天気がつづいてほしいのだが。今日は議会の委員会があれこれすんなり進んでいるようで早期議決、補正分が明日どうなるか待機しつつ諸問題のおさらえをして時間がたつ。同時に青年会議所、日経新聞その他来客が続いた。議会の方は社会党から脱党した中杉氏が妙な知事保留をたくさん出してきているということで各課きりきりまいをしているとか。中国総領事館建設敷地については地行樋井川口の埋立地にほぼきまりそうになってやれやれだが、価格補償をめぐり、あとにあれこれ多くの尾を引く問題が残りそうな気配である。一難去って一難きたるということかも知れぬ。

3月7日（金）晴

「長洲知事と県民の会」の事務局を担当している木村さんという人（元横須賀市助役）が来訪してきた。「県政ひとすじ」を謹呈しておいた。十時から九階で死亡者叙勲の伝達式、甘木朝倉建設業組合の人達が少年自然の家の建設受注について陳情、その他今日は何組かの見学（県議関係）があった。今日の議会は早期議決の要請をしている二月補正関係がうまくいきそうにないとの見とおしであったが、野党の方の粘りはほとんどなかったので割合順調に進んだ。但し、中杉が同和の基本だといって教育、警察及び知事保留に独特のやり方で時間の攪乱をあえてしたため、審議が大幅にずれ込み、結局本会議で補正関係の裁決が終ったのは八時二〇分頃だった。あいさつまわりをして帰宅できたのは九時一〇分だった。中杉の政治生命は終わったとみてよい。

3月8日（土）晴

十時から対話のつどい。出席者は九人。うち男一人であった。県下各地から無題で来てもらう一般募集の方法は今回が限りといっていた。十二時半から学官の集いということでホテルクリオコートで技術振興について懇談。当方商工、企画両部長と私、大学側は清山、大屋、青木、酒井、伊達、林、福田、山内という顔ぶれ。福岡県の技術立県方針をめぐり二時間語り合ってもらった。非公式会議。今後の会の進め方についても相談した。十二時すぎ、姫路から前田先生と吉田、黒川の二人の同窓生がやって来て、みゆきが出迎え、県庁見学後、天神でぶらつきその間私がつき合ったあと、私はグランドホテルでの石田医師会長の叙勲祝賀会に出席。あと、カニ道楽で姫路の客三人とわれわれ夫妻五人で夕食を共にした。彼らは山ノ上ホテルで泊った。

3月9日（日）晴後曇

吉田君ら姫路の来客が十時の観光バスで太宰府などに出発するのでみゆきが山ノ上ホテルから天神まで案内した。午前中は引きつづき晴れていてよかったが午後は曇ってきた。三時

半ごろ又天神に帰ってくるので、山ノ上ホテルまで来てもらい、三人を我が家に案内しスシをたべながら昔話に花を咲かせた。吉田、黒川の二人とも傷痕軍人で生死の境をさまよいつつ生き残ってきたということをはじめて知った。前者は海軍後者は陸軍。戦争はまっぴらという気持が強い。これにくらべ、前田先生の方はソ連があきらめるまで戦争に備えるべきだとの考えのようだ。午前午後他の時間は色紙書き。夜九時半彼らは山ノ上ホテルに帰った。

3月10日(月) 晴後曇

吉田君ら一行三人については今日はお世話できないとっておいたので、どうしたろうか。十時半に電気ホールで農用地高度利用推進大会があって出席、あいさつしたが、農地借用という形で規模拡大、コスト切下げ世界の競争に勝てる農業を目標にしようというねらいをもつものである。いづくしてなかなかむづかしい問題である。午後二時に社会福祉審議会民生委員審査専門分科会委員の辞令交付式があった。夕方馬出の川鍋市議の死去による弔問に行った。又電話で彦山の山火事につき添田町長に見舞の言葉をのべた。佐々木氏が失業対策問題の処理が問題化してきていると報告してきた。県の助成見舞金を出せとの自労県評の要請に対応せざるをえないのではないかということである。夕方中杉県議が知事室に来て大蔵住宅問題で糾弾学習会をするから知事の出席を求めわめきまわるという状況があった。六時に帰宅。

3月11日(火) 雨後晴

明け方は降っていたが、ひる前には晴れてきた。もうすっかり春。議会は審議が順調に進んでいる模様で、情報公開条例につき、その調査特別委員会で、知事釈明ということで、幕引きとなった。行革問題と共に十八日に採決するという。今日はその他行事もなく、地下の眼科で診療してもらったら結膜炎ということだった。薬をもらってきた。上杉佐一郎氏が済生会病院で胃の手術をするため入院というので、見舞に行き、その足で帰宅したら五時頃で、とくべつに早い帰宅になったわけ。夜英賀から電話があって七二兄が又入院したとのこと。九一からも電話で連絡してきた。年末だったか胃摘出の手術をして、あとがよくないらしい。肝炎とかで、重病のようだ。大事に至るかも知れない。定年退職後しばらくして手術したのだから、十年もったといえるのだろうか。

3月12日(水) 晴

創価学会が岩田屋で「世界の教科書展」を開いて、そのテープカットに出向いた。公明党の県議たちが歓迎してくれた。三五カ国三〇〇点が集められ、分析されている。面白い試みであると思った。日本が誤り教えられているというのが主なポイントである。われわれも外国のことは断片的にしか知らないが、子供たちの場合はそれが唯一の知見であるから問題であるといえるだろう。日本の側がもっと積極的に広報しないといけないとの課題が残るわ

けだ。今日は一日中、決裁以外の用務なく議会のなりゆきに待機の姿勢で暮れた。中杉氏が相かわらず部落問題中心の質問をして審議が長びき、今日でまる一日分審議がずれ込んでいる状態ということだ。ひるま庁内から夜自宅からと二度九一に電話して七二兄の容態をきいた。見込はないが、あと一寸もてそうだという。みゆきに明後日見舞に行ってもらふことにした。

3月13日（木）曇

十時半から看護専門学校卒業式に列席。到着早々写真をみんなで門前でとった。きらびやかに着飾った女たちの姿に圧倒された。この学校を各種学校でなくすることが必要と校長から要請され、今後県立大学を検討するときの話題にもなろうとっておいた。午後一時中国新華社通信からの取材班が来訪。五時二〇分九大講堂で外国人留学生卒業者を送り出す交歓会がおこなわれたので出席。今県下に五六一人の外国学生がおり、うち九大に三六一人が在籍しているとのこと。アフガンから来た学生が医学をおさめたのに国情あって帰国できないので何とかならないかとの話が出た。六時半、サンパレスで行われているガン予防と音楽の夕べに出席あいさつ。九響の演奏をたのしませてもらった。みゆき藤江の両人も来ていた。盛大有益な会だった。

3月14日（金）小雨

朝のうち在宅していた。九時二分の新幹線でみゆきが七二兄の見舞に出発したが出発直後に死亡の電話が和代からかかってきた。岩崎隆次郎・森山の二人がみゆきに同行したが、着くのが十二時半、葬儀にかわっているだろう。午後一時半から福銀協会の会館で大蔵官房長官西垣氏の講演があり、県下の政財界からききに行き、知事、九経連、マスコミ、銀行から意見、質問要望が出された。四時に終って登庁したが、兄死亡につき庁内であれこれ対応してくれているので恐縮した。とくに、副知事大塚氏が葬式に姫路まで行くというのでおそれ入った。葬式は自宅で、十六日の午後一時から行うという。この日は棟安信博君の結婚式その他の予定があるのだが、私は葬式に出て、これらをキャンセルするとの予定日程の変更を行った。昨日同様、又色紙書きの仕事を消化した。藤江君が夕食の支度をしてくれた。

3月15日（土）曇

県農業大学の卒業式に今年も出た。知事告辞というのを担った。八〇人の卒業者は気がひきしまった一時をすごしたろう。学長の式辞がよかったと思う。終ってすぐ小郡の明願寺を訪ね、七二兄の死亡を知らせたら弔電はもう打ったとのことだった。あと簡保レクセンターに寄り、市長の伴で丘に上り近辺を俯瞰した。市長、市議会議長の招きで、「さとう別荘」でカモ料理をごちそうになり、二時から四時まで、婦人団体「親子で映画を見る会」との対話集会に行った。小郡市民センターである。非行や塾のことなど若い母親達が自由に話題を

出し合った。四時半すぎには馬出まで帰り馬出小での川鍋市議の団体葬に列席。六時四六分発の新幹線で姫路へ。十時頃兄の宅に着きお通夜中の近親者と一時語り合い、みゆきもいて、十一時半キャッスルホテルに投宿。

3 月 16 日 (日) 晴

八時すぎ迎えに来てもらい、七二兄宅へ。近所の公民館で朝食。(みゆきは七時すぎの新幹線で博多に向い、十二時からの棟安信博君の大手門会館での結婚式に出席) 葬儀は一時から二時まで。県からは大塚副知事、登島室長、古沢補佐。福銀からも二人参列されていた。一彦、啓二、晴久、毅、実、慶子、雅明、など甥姪夫婦子連れその他ぎっしり詰った葬儀であった。ポカポカ日照りではあったが、かなり冷えてきた。二時すぎ名古屋山の火葬場に行く。葬儀参列者には親族代表で私が御礼のあいさつを行った。一彦啓二の二人は横田倭、章の二人と共に相生半田病院に、和子、おばあちゃんを見舞に行くというので別れた。四時すぎの新幹線で帰宅は八時半すぎであった。二日間の旅行で疲れた。

3 月 17 日 (月) 晴

八時五〇分に出て庁内三役協議。十一時半に労働四団体の、最低賃金に関する要望があった。正午前後は昨日の葬儀関係の礼に議会各党、社党本部、福銀、西日本新聞、県職労本部などまわった。二時半ミスユニバース九州代表三人の表敬をうけ三時、韓国 JC 役員の表敬をうける。これには安枝県議が立会した。このあと七時近くまで決裁や議会情勢報告とくに保留質問について説明をきいた。七時半に帰宅し、弔電をくれた人達若干にお礼の電話をしたりした。昨夜は比較的よく眠ったはずなのにまだ眠い。葬式が半ば福岡県関係に重みがかかっていた関係で、こちらに残された用件がたくさんありすぎる。しばらくこのことがつきまとうだろう。明日あたりから県議会がだんだんうるさくなってくるらしい。先日小郡での君が代・日の丸のことが朝日新聞に出ていたとかで自民党が議会でとりあげることになるとのこと。深みに落ちることはないだろう。

3 月 18 日 (火) 曇 小雨

兄の葬儀に際し弔電を寄せてくれたところに、昨日につづき、あいさつにまわった。九電は永倉会長、歯科医師会は堀尾会長、福相は四島社長に会うことができた。知事選が念頭にあつたことだが、後の二人は親身ある対応をしてくれた。一時すぎ環衛会館での環衛連絡協年次大会があり、知事表彰などあつて歓迎された。今日の来訪者は藤田正一、深山力、中村邦臣の三氏。藤田は満洲時代の戦友。林材会社にいるとか。深山さんは喜一郎氏の兄で画家。オモト同好会のことで農政部に来たとか。中村氏は県議から香春町長に転出した人。午後六時からサンパレスで福岡県朝鮮総連の朝日懇親会があつて出席あいさつした。他の時間は議会対応のはなしばかり。

3月19日（水）曇

朝のうちまず済生会病院で先日の人間ドックの結果説明をうけ、九経連と岩田屋に弔電御礼のあいさつに。そして香住ヶ丘の女子大卒業式に出席した。午後は中国領事館と県評に弔電あいさつのち帰庁し県議会の模様をきいたり、決裁という順序で庁内の仕事があつた。夕方夜須町から県立自然公園指定の陳情があつた。産業廃棄物投棄のため、水源が汚染されそうだからというのが主訴。指定は困難な模様。何とかならないかというのが私の気持。六時すぎには帰宅できた。夜は、高野切第一種六回目の練習に入った。社会党県議団十万円、中杉県議一万円の香料が新規に届けられたので裕一に電話し、銀行番号をきき振込むことにした。黒川君宛手紙をかく。（来庁時の写真でき）

3月20日（木）晴

今日もまた、ひっぱりまわされ、待たされて終わった。ME化の影響調査（労働条件労使関係など）の結果につき三苦座長から答申をうけた。中小企業、女子労働者に及ぼす影響が大きそうだ。議会の全員特別委員会は今日も終らず、会期は三日ほど延長になることが確実になってきた。野党が、かんたんに終らせるなど叫び議員が日当かせぎを好むかぎり延長必至である。何だか浅ましい感じがする。午後六時サンパレスで学士鍋があつた。今年の卒業予定は一一二人という。医師会長の石田氏が、医業界の先行の危機を訴えた。医師過剰時代がくること、国の医療費削減計画の板ばさみという状況にあるからだ。高齢化社会を考えるとニーズは大きくなるであろうに、今後どうということになると考えたらよいのか。七時半に帰宅。

3月21日（金）曇

九時にNHKに着き、二十一世紀の福岡を考える記念番組を一時間みながら、あと一時間を私を含め五人の来賓が語るナマ放送に出演した（十時～十一時）。山口信子の発言はいつも非難の矢を向けたように思える。十二時五〇分の新幹線と特急にちりんを使って宇島へ。豊前市体育館で後藤県議の勲二等受章祝賀会に出席。二〇〇〇人ほどの列席者。次の県議選に出るか否かのテストであつたようだ。田川市子どもオーケストラ（筑豊青少年交響楽団）に立寄る。（三～四時）伊藤光氏が六〇人ばかりの会員を集め自宅の会場での実演をみせてくれた。こまあと中村邦臣香春新町長を訪問。近くの人達数人としばらく懇談したあと飯塚市寿会館で地区労その他自治労系の渡辺四郎支援団体の集りに出席し、夕食を共にした。八時頃筑豊ハイツに投宿したのだが、田川の社会主義協会の連中六人ばかりが押し寄せて来、雑談の一時をすごした。十時に就寝できた。

3月22日（土）雨

ゆっくりしたホテルの朝。九時すぎ是松さんが迎えの車をまわしてきて山口氏と別れ、遠賀

町の町民の森で行われた県植樹祭(37回)に出席した。雨がふり出し会場は近くの体育館に移された。一日中雨が止まず底冷えさえした。中食は岡垣町の八幡屋(小役丸さん方)で、花田守氏、三井ハイテク労組の田中委員長、この四人が私的立場で懇談会として進めた。海の幸一ぱいでごちそうされ恐縮した。二時半すぎで鞍手町山本県議宅を訪ね、氏の病氣見舞をした。かなり弱ってあるかに見えた。あと福岡にとぼし、四時から国際ホールで開かれた建築学会九州支部五〇周年式典に参列祝辞をのべ、五時一〇分に帰宅した。二日の旅で少し疲れたようだ。花田氏の話が印象に残った。原稿に残したい。夕方森山秘書が来宅。色紙など依頼分、月曜からの答弁資料の説明をし、ついでに、マージャンをすることになった。河野氏も来、森山は少々で帰宅。あと夜半まで楽しんだ。

3月23日(日)雨

東日本一帯はドカ雪で交通機関は半ばマヒしたらしい。そうした中で、ライヤは赤ん坊をつれて今日退院したと電話があった。母子とも先ずは元気ようだ。名付けについてあれこれ意見をいていたが、こちらに名案があるわけでない。午前中は依頼色紙を消化したが、午後に又マージャンをしようといひ出して河野氏をひっぱり出して、夕食にはスシを注文し、遊んだ。二日連続で少々疲れたが、回復するだろう。知事保留の答弁資料を昨日森山君がもってきてはいるが、自宅で予習する気にはならないものだ。こちらは朝のうち雨だったが、午後には止んで少々冷え込んできた。東京の大雪が報道されたが、子供の頃、卒業式の日と同様のことがあったのを思い出す。鹿児島では桜の開花宣言があり、福岡のそれは四月一日といわれている。うちの紅梅はほぼ散り、後藤さん宅の桜は蕾をふくらませてきた。時に鶯の声がきかれる。二十一日の彼岸の中日は休めず、今日は心ゆくまでの自由な時間のある休日だった。

3月24日(月)晴

午前中は県議会の知事保留答弁資料につき三役の打合わせ。ひるの時間に記者クラブの四人の記者の送別会が会見室で行われた。午後四時から行財政特別委員会があって、打合わせ通り知事出席により職員の定数削減につき、水戸議員から自民党代表ということで、知事は5%より多目の削減を約束せよという質問に、努力するとの答弁で打切りとなった。十二月議会で、引きのぼしを策した自民党のおさめる矛のやり場として、こうした知事出席という「芝居」じみたことを演出したことになるが、自民党としては、知事と県職労の仲をできるだけ切断させる作戦に出たわけ。あれこれ小細工をしているが、決していい結果になるとは思えない。これで十二月からの宿題、行革と情報公開の二大案件は議了したことになる。午後遠矢政己氏死去。

3月25日（火）晴

一〇時半に第三セクター甘木線を支える市民の会から出資金づくりのカンパ物販運動員がやってきた。行政レベルが表に出て目立ったのが従来の傾向だったが、地区労、青年会議所なども支柱として動きはじめたわけだ。ひるに、県住宅対策評議会（委員一七人）から報告書が出され、六一年から五年間の第五期住宅建設計画の元資料が作られたことになる。中食を共にし労をねぎらって別れた。あとは主として議会の動き待ち。自民党がいかにして知事の失点を作らせ、自分達の抵抗の面子をたてるかに作戦が集中しているのが実相。本会議で会期延長が決められ、六時から全員特別委員会が始まり、知事保留質問に入ったのだが、一番手江口利雄が例によって知ったかぶりの知事攻撃を始め私が質問に「知りません」と答え、直ちに休憩。八時半再開また三〇分ばかりで中断。本日はこれで打切りとなった。

3月26日（水）晴

九時半に市美術館での日展オープン式に出て、あいさつとテープカットし、展示一部を駆け足でみた。十時半に農協中央会総会に出て祝辞をのべた。十二時二〇分から全員特別委員会での知事保留質問が昨日にひきつづき、江口、井上寿昭、高智彦、中杉と四人が立ち、これが午後九時までかった。中杉で議事が中断したり、エキサイトしたりで、原口委員長がうまくさばいてくれてよかったものの醜い場面が何回もあった。質問者とくに中杉は口汚い男で、ひとめいわくを考えない。委員長からも委員からの議事進行の声も、はた迷惑ですと中杉にいうのだが効果はそれほどになかった。報道陣もあきれているようだが、記事になるような性格のものでもない。知事はよく辛抱するとの声が私の耳に入ってくるほどである。私自身案外からっとしている。この記事十二時に書いている。

3月27日（木）曇 小雨

できれば今日おそくなくても知事保留質問を終ってほしかった。が逆に、自民板橋の日の丸君が代の質問で答弁をめぐって空転多く、午後九時半に板橋一人分だけ終って散会となった。緑政・公明など馬鹿馬鹿しいといって帰る者が多かった。自民党はどこで空転にもちこむかという策略では一致するものの、他のことでは全くまとまりの悪いグループになってしまっているようで、委員長を出しながら、その委員長の公的指揮に服しない。どこで党議をまとめるポイントをつかんでよいかわからない。それが余計な空転を呼んでいる。他方、今日は職員課の方でストライキ処分を年度内に行うべく準備していたのが、手順の悪さにより県職から猛烈な反撥をうけて当局が立往生するという事態が生じた。その意味で、今日はダブルパンチをうけたかっこうだった。尤も、強がりというわけではないが、空転の責任、暫定予算を組まねばならぬ危機を感じつつも、ひとが想像するほど精神的ショックをうけることなく、淡々と、せいぜいした気持で過しえた。

3月28日(金) 雨

きょうも議会が始まったのは十二時すぎ。保留質問にふさわしくないような質問をするものがほとんど。一寸も進まず休憩、そして裏折衝(放送できこえてくるのは特別委員会の理事会、議運理事会代表者会議等々)そして時に時間延長の本会議——要するに自民党の一期生が固まって、当初予算案を修正するか流すか、それとも知事から何かの言質を取るか、それらの着地について議員たちが右往左往。執行部も修正はありえないとがんばるが、流されたら暫定を組む必要があるが、それもタイムリミットがあるので財政担当はおだやかではない。それらこれらで、保留質問の着地についてこの文でいいかどうかの取引もふくめとうとう徹夜。一睡もせぬことになった。

3月29日(土) 曇

三十一日までもち越すか、流してしまうか、昨日は夕方頃ぎりぎりの詰めになっていたが、徹夜でもして今日中にあげてしまうことに決まり、朝あけの四時四五分から、すべてのシナリオ通りの、全員特別委員会知事保留質問最終コースに入った。古賀、藤田、高岡、畠中、武藤と五人。それでも高岡が一時間ほどやったため、七時すぎまで。五〇分以上予想外におくれた。代表者会議で人事案件を追加提案し、十時から本会議が開かれ、五〇分足らずですべて議了した。各党お礼まいり、記者へのあいさつをすませ、企業立地関係でファイザー会社の笹山社長、アメリカのモリアルティ社長らが現地視察するというので引見、あいさつした。議会がやっと終り他の日程もなくなったので、秘書室の者達と夕食をはさんでマージャンをして時間つぶしをしたが、さすがに足許もふらつき、夜は十時頃に就寝した。

3月30日(日) 曇 小雨

眠れないかも知れぬと思ったのに、かなりよく眠ったようだ。八時すぎに起き出して新聞をみた。県議会の四日間の延長を酷評していた。自民党のあせりが突かれていて、よい記事だと思った。一日中、高野切第二を書いてすぎた。午後四時すぎに八丁君が迎えに来て仲好旅館に行った。仲好会の集りで、ここでも県議会の経過から話題が出た。西井、土井、岩崎、大塚、大屋、徳本、岩元、内田の各氏が出席した。大塚君がうちで地鶏をかっており、それをごちそうするというので、おいしくいただいた。衣笠氏はカゼということで欠席。車で送ってくれたのも八丁君だったが、県評との仲がよくないこと、国労が崩壊状態になり、問研の運営がピンチに立っていることを私に訴えた。工夫をしてももらわないと仕方がないだろう。

3月31日(月) 晴

九時半から行革推進委。いよいよ明日から新しい事務機構が始まるので、部長級のスタッフの決意を促すためのもの。十時から退職者(三二九人)への辞令交付式(講堂)このあと、

ブラジル派遣農業実習生帰国あいさつ。つづいて在伯県人会、県費留学生らの表敬訪問をうける（ブラジルからの墓参者五人、留学生十人を含む）。午後は三時からガン対策委員会、夕方六時半からはかた会館で、情報公開準備室主催の研究会、審議会など大学関係委員に対する謝礼懇親会を行う。夜、自民党吉塚県議の父死亡につき太宰府までお悔やみに行く。今日は一日中年度末で県庁内外の人事異動のあいさつ来訪しきり。又次から次へと決裁を求める者がつづいてきりきり舞い。年度末とはこのように忙しいものであったかをつくづく思う。

4月予記

今月は上京のチャンスが二度ある。新年度のはじまりを「新ふくおか元年」という自覚をもって迎えたわけだが、ものを考えるひまがないほど公式の日程が多い。今月末二十九日に天皇在位六〇年記念式（東京国技館）に出欠どうするか決めねばならないが、十五日に欠席することを記者団に発表した。その日に兄の法事がある。この欠席に引きかえるかのように県主催の式典を十一月にすることにした。ところが、この決定発表について、社会、共産、県評各方面からかなり強い反撥があっている。私としては早晩決めねばならぬことなら早い方がいいと思うのだが、彼らは事前相談なしに決めて発表したというのがもう一つ不満であるようだ。いずれにせよ、時間の経過の中でもつれを解いていくしかないように思う。理くつをいえば限りがない。（四月十六日記）

4月1日（火）晴

労働福祉公社、道路公社、公安・監査両委員など新任者の辞令交付、定例記者会見、部課長等一般職員の辞令交付式とつづいた。十時四〇分米加 EC 諸国のビジネス研究団の表敬訪問をうけた。この団とは夜グランドホテルでのレセプションが知事招待で行われた。一時新採者の研修会に知事講話（於、看護センター）新韓国総領事、西部方面総監（陸自）の着任あいさつ。時間をみて今日から新発足の県民情報課、生活文化課その他機構改革でごった返しているなか、とくに新設の課を訪問して激励をする。まだ十分に仕事の構想がきまっていのではないかと不安が見える。記者にもいったが、辞令交付、新任者研修の時もいったのは、新福岡県元年が今日から始まるとの意識をもつことだ。情報公開、行革によって県政がその構えをしていく。そして二十一世紀への舵を取るわけ。

4月2日（水）晴

うららかな晴天で、今日は休みにあけられた日程。昨夜おそくから今朝方まで河野氏を呼んで家族マージャンをしていて、九時半頃に起床。海棠が咲いているというが、庭の散歩もしてみずに、揮毫に主たる時間をあてた。姫路の吉田、黒川の二人にも、三月上旬来福のときたのまれていたので仕上げた。条幅で六枚、色紙で二〇枚書いただろう。藤江君が二

杯墨摺りをしてくれたので助かった。高野切も書き進んだが上達しているかどうかは疑問で、やはりどこことなく折釘みたいでぎこちない。机にばかり坐っているので、これでよいだろうかと心配だ。みゆきが啓二の赤ちゃんを見に来週あたり東京に行こうかといっている。宮参がよかろう。

4 月 3 日 (木) 小雨

十時半から天神中央公園駐車場の竣工式があつた。旧県庁跡地の南半分の地下に四〇〇台分の駐車場ができたわけだ。久しぶりに天神の東急地下で中食して帰庁した。二時から各紙への購入県広報の取材対談があつた。四時、フランスから人形劇団文化使節団の表敬訪問をうける。次の土、日に浮羽郡三町で公演する予定である。パントマイム劇という。午後七時直方市民会館にとび地区労青年たちの主催するビッグヤングフェスティバルに出席してあいさつ。千人近く集って、知事に顔出しをせよという注文で、舞台の上で、千羽鶴や花束、ししゅう額など贈られた。知事激励が趣旨である。一日中小雨。桜は五分咲きというところか。よい季節だ。

4 月 4 日 (金) 曇小雨

新設の早良高等学校(脇山)の開校及び第一回生入学式が早良中学校体育館で行われた。十時から約一時間。中食は民生部の井上部長、西沢課長の慰労お別れ会として庁議室で弁当を共にしながら行った。生活保護の適正化に大変よく功績をあげてくれた。二時すぎ済生会病院に山本義隆県議入院見舞に行つて、その足で帰宅した。次の土、日の両日もハードスケジュールだから早目の帰宅にしたという。こういうことはたびたびあってほしいものだ。高野切第二種を書いていると、三月三十日から今日まで僅か一週間足らずで書き終ったことになるが、上達したとはいえない。どうしてか手がふるえるようだ。年のせいかと思うといやになる。元県議の村山氏にたのまれて色紙も数枚書く。

4 月 5 日 (土) 晴

昨日につづき今日は県立太宰府高校の開校式があつた。早良とちがい、こちらは今日校長が校歌を募集すると発表した。他は似ていた。この高校は英語と芸術科をコースとしてもつところに特徴があつた。ひる、九大文学部の鈴木教授らが国際ホールで都市国際化のジョイントセミナーをやつていて、県が集会補助金を出した関係で私も出てあいさつさせられた。二時から山ノ上ホテルで県職の現業労組三〇周年祝賀会があつてこれに出席。立食パーティーに一時間ほどいて後帰宅して小休憩。こんどはグランドホテルでの福岡県陸上競技協会の朝日賞など受賞祝賀会に出席して祝辞をのべた。七時頃帰宅。ゆっくりした夜の時間がとれて又高野切第三に入った。

【欄外記入】

コース名は誤りか

4月6日（日）晴

春日公園で県子ども劇場協議会二〇周年記念子ども劇場まつりがあって出席した。十時開会、一万人は集っただろう。福岡県から始まり今では全国規模に運動がひろがり、四六〇団体四三万人の会員がいるという。基山に行き、十二時五二分発の甘木線で甘木に行く。四月一日から甘木鉄道株式会社として再出発。三〇分おきの軽便レールバスでローカル線廃止で存続すべく甘木市長らが立ち上ってはじめてのもの。「花の邪馬台国まつり」と称して駅から丸山公園まで仮装パレードが行われた。中国総領事館からも金総領事ほか多数行列に参加してくれていた。駅前と丸山公園と二カ所でスピーチさせられた。公園は折あたかも花見客でにぎわっていた。県民の会の山口氏ら、今日は私に密着。カメラでスナップをとってくれた。

4月7日（月）晴

十時に国鉄九州総局長らが来訪。第三次ローカル線廃止の申請をしたのでよろしくということだった。田川、伊田、糸田、宮田の各線が県内で対象になっている。このあと記者会見があった。ひるは庁議室で共産党婦人議員ら九人が来訪、中食をしながら政治談議で時間をすごした。一時半、大手門会館で高齢者の交通安全大会（県側主催）が行われた。県、両政令市の老人クラブ連合会が対象で三〇〇人ほど出席があった。午後六時から八仙閣で社会党の一区選出各級議員のブロック総会があり、五〇余人が出席。来る六月予定の参院選に向けて、渡辺四郎、松本英一の両氏への激励、議員決起の会であった。駅前の「かき善」で諸岡氏らが集って一ぱいやっているのにも顔を出した。

4月8日（火）曇

ゆうべ夜半に RKB の与田に取材で襲われ、久しぶりに恐怖感を味わった。小倉財務で知事就任直後、広崎と組んでデッチ上げ取材したのも与田であった。今日は八時半から庁議。一〇時からの記者会見は県道路公社専務宮内康之の五〇〇万円収賄事件でもちっきり。県長期計画案発表は影が薄れてしまった。印度大使が来訪、インドフェアについての協力要請。十一時に立正佼正会の稚児たち来訪（花まつりで甘茶をもってきてくれた）三時から RKB で県政サロン録画取り。五時半 YWCA の三婦人（秋枝、鶴崎、湯口）を「てら岡」に招待して夕食会を開いた。近藤副知事も同席。秋枝さんの YW 理事長就任を祝うとの形式だが、先年教育委員かつぎ出して迷惑をかけたおわびの意があった。

4月9日（水）小雨

八幡東区に雇用促進事業団の北九州地域職業訓練センターが新設オープンするので開所式

に参加した。技術革新の進展に合致するような新方式の職業訓練所といえる。二時に帰福したがそのまま問研に寄り夕方まで、次期出版計画について、広報室の安達も呼んで討議した。八丁、衣笠の両氏も参加し近々具体案を八丁氏が出すことになった。浜正雄氏の死去(八十一歳)のためお悔みに行き(今川橋)、記者クラブとの花見懇親会に行く。昨年同様西公園の鶴来見亭である。雨で花は散りはじめたが、見るに値した。八時半すぎに帰宅。また高野切を書く。三種を終わって又一種にかえた。何回目か。かなりなれたようだ。

4月10日(木) 雨後晴

平和台球場での九州各県々議団野球大会は昨夜来の雨で中止、と決まったが、そのあと雨もあがった。ひるは今年新任のスタッフ企画監たちと中食懇談した。二時から県評、全日自労の「知事交渉」が庁議室でおこなわれ、退職金の市町村上積み分について県がいくらかでも見るということで一応矛をおさめたが、これに先立ち東公園では自労の組合員たちの決起集会がおこなわれていた。今日は春闘ストの日だった。私鉄のスト入りが注目されたが暁の妥結となった。午後三時から七階会議室で県総合開発審議会があり、新長期計画の諮問審議がおこなわれた。五時半から八時半まで三光園で、さきの県議会でごくろうをかけた慰労ということで全員特別委員会の正副委員長原口、近藤両県議を招待こんだんした。原口氏はカラオケに興じていた。九時少し前帰宅。

4月11日(金) 晴

駅南のホテルセンターザで白石県議の仲立ちで徐三春氏の韓国居留民県本部団長立候補祝賀会の祝意表明に行った。車中での中食の形で黒木の年金保養基地に行き、大同生命ビル移築寄贈式に参加した。立派に移築完工し、緑の中の明治洋館のくっきりした姿が印象に残った。このあと立花町へ移動、堤町長らの案内で町内主要箇所を視察。筍工場が多いのには驚かされた。筍ほり、極早生ミカンハウスを見学。町の中心飛形山公園では鶯の美しい啼声に接することができた。五時半頃山菜のべんとうをいただき、六時半から八時半まで公民館で「ふるさと対話」で時間がかかり、九時四五分帰宅した。キウイフルーツなど、みやげをいただいた。

4月12日(土) 晴

今日、明日日程がつまっっていて、十四日は休みにしてあるということだ。今日の三役協議では汚職で問題の公社など外郭団体の人事刷新と天皇在位六〇年記念の県催分について議論した。午後は二時から国際ロータリー地区大会のためサンパレスに行ってあいさつ。次は三時半にガーデンパレスに行き県高野連四〇周年記念式に出た。あと五時から黒田荘でインナーブレーンと称して、奥田県政を論ずる九大の連中の集まりを開いた。県からは樺島が来て問題点の指摘。佐々木が会の幹事役をつとめた。岩元、大屋、徳本、八丁、などがお客さ

ん。夕食も共にしたので夜九時近くまで論議がつづいていい会になった。五月はじめに又やろうと決めた。大塚（高教組）衣笠、石川も広報の安達も。

4月13日（日）

一〇時から津屋崎の「暮らしを考える主婦の会」に呼ばれて「知事と語る」の一時間を過ごし、あと町助役の案内で、津屋崎人形師原田活男宅の工房を訪問した。次に当池々区労の人達が準備してくれた中食会に行く。厚生年金スポーツセンターという立派な施設がその場所。みんな選挙の時のことなど話題にして語り合った。一時ごろ出発。小倉の北九州市西日本総合展示場で開かれているライオンズクラブ国際総会（年次大会）に出て臨席しばし。あいさつを行い、その足で前回選挙のとき迷惑をかけたということで、門司の鎮西別院（浄土真宗本願寺）に輪番僧を訪ね、あいさつをした。五時半帰宅。

4月14日（月）晴

公用がつづいたので今日は休みとなった。朝から揮毫依頼分を消化しかつ高野切をつづけるなど筆をもつことばかり。高野切は第一を終り第二に入った。六回目なのか七回目なのかよく数えてみてないが、何回書いてもよくできたと思えるのはない。それでも前へ前へ、くりかえし、くりかえし書いている。自分ではかなりなれたようには思う。一年は、執念のようにやっているわけだ。夕方八丁君が来て出版物の内容につきややこまかい打合せをする。佐々木秘書が来て明日の日程資料を届けてくれた。公社汚職が心配だ。

4月15日（火）小雨

八時少し前みゆきは東京へ出かけた。新幹線を選び、安部すみ子さんと連れ立ってとのこと。庁議のあとの記者会見で天皇在位六十年記念式典を県主催でやると発表したことで共産党、県評から反撥があった。十時半補佐級の辞令交付式。ひる前後中国外交部長呉学謙氏歓迎にニューオータニへ。右翼が反対のため周辺をかなり立てていた。時間があったので一たん教養部を訪ねて休んだあと三時からの浜正雄氏の九経連葬に出席した。五時、安川電気の菊池社長が来訪、テクノマートについて話し合う。このあと RKB や時事通信の取材があり、労働福祉課の県最賃問題のレクもあって帰宅したら八時近かった。藤江君が準備してくれたごちそうで夕食。

4月16日（水）晴

九時、昨日の来客呉学謙さんに別れのあいさつするためにニューオータニに行った。十時県解放同盟大会（ももちパレス）に出席あいさつした。午後一時から三時まで、きまったテーマのない対話のつどいがあったが、今回は出席者八人にすぎなかった。この形式の対話はこれが最終という。東京から日本電気の社長関本氏が来訪、キングで中食を共にした。氏は姫

高ひとまわり後輩で、東京で白鷺会のとくに会っている。四時半の日航で上京。安部靖弘夫妻が啓二の娘をみに上京していて、ふくおか会館に投宿している。しばらくの時間、久しぶりに歓談した。明日は明治神宮に宮参りすることになっている。夜十時頃、福岡から道路公社の汚職をめぐる逮捕者がひろがったとの電話が入った。政治的な警察の動きすら感じられる。

4月17日(木)曇

東京の第一日程はゆっくりしていた。十時から読売の小林社長と石原事務次官を訪ねてのあいさつ。午後三時から県産炭地域振興促進協議会の県選出国会議員への陳情(第二議員会館会議室)とエネ庁陳情。これはどちらも石炭関係で第八次政策と産炭地振興予算がうしろ向きにならないようにとの趣旨のものであった。午後一時半啓二らの初孫沙理みゆきの初参り行事として明治神宮に参詣。お払いをしてもらい、夜は六時すぎから、ふくおか会館和食々堂で晚餐会をした。安部靖弘夫妻が一しょに来ていて参詣につき合ってくれ、夕食はすみ子さん、それに直美も加わった。みゆきが昨夜から啓二のところに泊って同一行動。九時会館を引揚げた。

4月18日(金)東京曇 福岡は雨

九時半から全共連ビルのマツヤサロンで長崎県が世話人をした全国産炭地域六団体緊急代表者会議が開かれ、昨日同様の趣旨で国会議員に要請。あと班別にわかれて政府陳情を行った。福岡は労働省を担当した。十二時五〇分青山斎場で、三月二十九日死去の、日産自動車株式会社葬での、川又克二氏葬が行われて会葬した。石原会長につづき財界の代表稲山、中山、豊田の諸氏が弔辞をのべた。午後三時東京事務所に県人会々長の斉藤氏(住友金属)が来訪、しばらく歓談した。氏は御着の黒田家の墓所の話をしてくれた。一度は行ってみたいと思っていた所ではある。午後五時発の日航で帰福し、七時半頃に帰宅した。みゆきは昨夜も啓二宅に泊り、今晚は一彦宅に泊って明日帰福するといっていた。今回の石炭陳情は円高、石炭安の状況のなかで、むなしさが感じられてならなかった。あきらめみたいだ。

4月19日(土)晴

水巻町と前原(糸島三町)で一日を費した。水巻町庁に行き町長としばし対談ののち、町商工会館の落成式に出席。中座して前原にとぼした。午後一時半から隣保館で地区労主催の「知事と語る集会」に出席。十二人の発言者から質問などをきいて私が答えるという形。四百人ほどの集会になっていた。このあと、芳井君の案内で前の知事選の時にトラブルをおこした三島麟太郎氏の工場にあいさつ。諸岡さんの案内で旧家の庭見物等を三町内をぐるぐるまわった。上原司氏の経営する旅館も訪ね、夜は「此の里」で田中外科医さんの招待で生き魚のごちそうをいただいた。田中さんは「万里の長城でベートベン第九を演奏する」訪中

団々長であり、私の胡耀邦総書記との会談訪中団の団員でもあった。九時半帰宅。

【欄外記入】

裏庭の藤の花咲きはじめる。

4月20日（日）曇

九時にうちを出て午後六時半帰宅。県下北から南へと走ってまわった。まず豊前市築上中部高校体育館での福岡ブロック JC 会議でのあいさつ。ここから嘉穂町での第二回りんご花まつり。舞台上のあいさつ。次は筑後市長選挙事務所。前農政部近藤広康氏が無投票当選と決ったところへかけつけたことになり、祝杯の音頭などすることになった。ここでは牛島県議の関係で社会党なども支持にまわり、農政連主体の市長をつくったわけだ。昨日から県評の岩崎氏が電話や置手紙などして、天皇在位六〇年式典と道路公社汚職の両問題で知事支持母体の中でごたごたしはじめたとのことで強い彼の要請電話もあった。

4月21日（月）曇後雨

夕方まで休みということでゆっくりした時間をすごすことができた。三時に佐々木氏が事務連絡に来て四時に森山が迎えに来た。済生会病院の定期検査と「かわさき」での次長会に出席。次長クラスの人達の新旧交代歓迎送の会であった。道路公社の汚職問題が明日の記者会見のテーマになるというので、その構えに秘書室系統が神経をすりへらしている。八時すぎ帰宅したが、急に大雨になった。汚職問題は県評もかなり神経質に考えているらしいが、こちらは落付いていくしかない。

4月22日（火）曇

八時に立つ。庁議につづき綱紀委、婦人関係行政推進会議、そして定例記者会見。十時半からは、講堂で母子福祉協力員辞令交付式。午後二時は似たような児童福祉審議会委員辞令交付式。二時四〇分、筑豊地方の第三次ローカル線廃止反対の要請団来訪があった。田川線、伊田線、糸田線、宮田線の四線が第三次指定に入るので筑豊では自治体の財政力も弱く大困惑である。九州地方知事会を通じて強く反対していくが、地元もがんばってくれと答えた。三時半から RKB で県政サロン録画取り。テーマは産炭地域振興大綱について知事の意見を伝えるというもの。午後六時、三光園で中国総領事金吉松氏の誕生祝賀会。両副知事に加えみゆきも出席した。多忙な一日であった。

4月23日（水）晴

東公園は一面久留米つつじ、よどがわが咲いて花ざかり。十時半共産党県委員長、両県議らが天皇在位六〇年式典を県主催であることを決定したことへの遺憾の意表明に来訪した。十一時、農協会館で園芸連の振興大会表彰式などに出席。一時半、伊勢田、坂本両氏が職業

能力開発関係の県施策のぬるさについて強く要望するというので、審議会建議を実行にうつすよう主張するため来訪。二時半憲法記念日のためのTNC放画の録画。その他は決裁やレクで今日は六時頃仕事おわり帰宅できた。東京県人会の斉藤武幸氏が姫路の黒田墓所に関するくわしい情報を盛り込んだ資料を郵送してくれた。二十九日に兄の法事をする時に行ってみようと思っているのでいい参考になる。

4月24日(木) 晴

看護センターで二回目の新採者研修会(中心は中級・初級)の講話。そして、十時半からは、こんどは講堂で二回に分けた中級幹部の各部辞令交付、とつづいて、疲れるほどの業務がつづいた。午後は教員組合幹部の臨教審反対署名をもつての陳情、対話集会、RKBの取材とつづいたが、これらは比較的楽に消化できて六時半には帰宅となった。みゆきが夜前原町での婦人の幸せを考える集いに参加して留守だったので、ホッカホッカ弁当を買い帰りマージャンをすることになった。相手は是松、古沢、佐々木である。藤花がかなり見頃に伸びて来た。今夜は皆既月食というのに、これは見なかった。佐々木君がしょうげていたが、元気づいて来たようだ。

4月25日(金) 曇

十時からサンパレス小ホールで県漁協婦人部連合会の結成三〇年式典、次いで十一時から農協青年部通常総会(市民会館小ホール)に参加。帰庁して庁議室に招集していた県外郭団体責任者会議で綱紀肅正知事要請を発表した。ひるをはさんで、五月の朝の放送録音。一時半から県内財務事務所々長会議に参加して税収未済問題につき懇談した。三時ホテルクリオコートで日本テクノマート福岡支部の開所式、ひきつづいて懇親会に参加した。今日はこのあと、財務事務所々長懇親会(まいづる苑)、県財政課慰労会と宴席がつづいたので、最後は疲れてしまった。財務事務所長らは大変よろこんでくれた。かつてこんな会はなかったのではないかとさえいう所長もいた。財政課も大変よろこんでくれた。

4月26日(土) 曇後雨

明日一日出勤ということで今日は代休。午前中に色紙六〇枚書き、午後は安達、八丁、衣笠の三人がきて次の出版につきテープ取りつつの語り合いをした。八丁君の渡欧予定との関係で、五月上旬には次の知事出版につき本筋討議をしそれらを録音しておき東定君に前回同様おこしてもらうため今日ふくめて三回の討議時間が欲しいと彼はいていた。今日は、知事三年を顧みてということ、及びこれからの県政の基本路線をどう考えるかということについて大筋論議した。とくに、学者から政治家へ、教授から知事へという転換にひとは案外関心があるというので、「観自在」の心境を中心にかかなりの時間をかけて語り合った。行政官が知事になったのとの違いも面白いという。

4月27日（日）曇、小雨

今日一日県南の大牟田、八女、久留米をまわった。公式行事はなく、どれも支援者たちの集いであった。大牟田では吉野小での集い。五〇〇人は集ったろう。子供の明るい未来と県民総立ちということで四〇分ほど私が講演。隣の神社境内での物産フェアにも参加し、薫草履を作ってみせたりした。八女では文化会館でのかんたんな知事激励会（約二〇〇人）と隣の公園内での青年との露天対話の集いへの参加であった。久留米では屏水中学校での父母教師の会幹部との三〇人学級実現運動経験対話。次は西鉄久留米駅横ダイエー前のスナック多奈香二階での耳納学園の子どもたちとの交歓の一時をすごし、次に今里食品二階での「平和を考える市民の会」で夕食しながらの交歓。これには一時間余かかり八時すぎ帰宅した。

4月28日（月）晴

登庁するなり散髪。十時半から死亡者叙勲伝達式。十一時二十分「ふくおか教育を考える会」二〇人ばかりの母親達が来訪、庁議室で五項目の要請につき会談。中食は新採後三年者の上級クラス地方出先への転出者とこんだんの時間をとった。若者ばかりなので、若干訓示めいた話題を投げかけた。午後二時五六分の列車で姫路へ。相生で下車。半田病院に入院中のおばあちゃん、和子の二人を見舞った。（みゆき同伴）相生駅には晴久、清、和代らが迎え出てくれており、ここから晴久の車で私ら二人と和代の五人が龍野経由西脇に行った。赤とんぼ荘近くの「すくね」で夕食した。西脇では「きぬえ」さんが十六日に死亡したため、お悔み礼拝に行ったわけ。のち、白鳥を経て刀出へ。晴久のうちに泊る。兄正一の十三年、嫂ゆたさんの七年忌法要が昨日あったが、私らは参加できなく、今日仏前にまいった次第。夜ふけるまで話し込んだ。

4月29日（火）晴

昨夜二時の就寝で今日はねむかった。九時半に刀出を出て御着の黒田墓所に参詣した。その横にある天川神社の祭祀がおこなわれていて、それに出くわした形となったが、天川さんにもあうことができた。十二時頃広に着く。七二兄の四十九日法事。中食は食膳形式で二時から読経がはじまったが、全部終るまで居れなくて、四時すぎの新幹線で上京せねばならなかったので中座する形になってしまった。ところがこの新幹線は、ゲリラによる通信線事故により一時間四〇分もおくれて東京に着いた。会館で落付いたら十時半になっていた。広には紀州の清、東京の毅、佐方の章など来ていた。七二兄の子供家族も来て、よい法事になった。私が欠席した今日の天皇在位六〇年式典は事なく終わったようだが、厳重な警備にもかかわらず、ゲリラは起ったのである。

4 月 30 日 (水) 晴

若葉のくまなく晴れ渡った東京はすがすがしい。八時半に朝食。九時半出発し、日比谷公会堂で開かれた部落解放基本法制定要求第四波総決起大会に出席してあいさつをのべた。小野参議が党を代表してあいさつした。ふくおか会館に戻り中食後一時半から皇居豊明殿での茶会に出席した。はじめ雅楽が中庭で奏でられ、のちオードブルでの立食パーティになった。陛下ほか皇族の人達が臨席、あいさつされ会場一巡で会は終了。三時少し前には東京事務所に着した。田中県会議長、鹿児島、京都、東京の知事らに会場で会うことができた。県庁からは道路公団汚職関係で、今朝ほど又警察の手が入ったとのこと。四時に啓二が事務所まで来てしばらく話しわれわれが出発する空港まで送りに来た。五時四五分発 ANA で、八時少し前に帰宅することができた。

5 月予記

五月は議会前で、どんたく連休なども加わって比較的ゆとりがあろう。各種団体の総会大会シーズンも近まっいて、そちらに出向くことが多くなるかも知れない。自民党が次期知事候補を選考しているが決まるかどうか。九大学長の田中健蔵氏を指名するようだが、彼が受けるかどうか。それが六月下旬の参議院選のあとにもつれ込む可能性もあるだろう。五月の四、五日は東京サミットだ。円高や貿易摩擦という日本経済の問題はサミットで解決されるどころか—そう国民の苦難の方向に進みそう。政治サミットといわれアメリカの対ソ対抗路線に同調させられる傾向が高まるだけに終るのではないかと懸念される。

5 月 1 日 (木) 曇 雨

メーデーは例により、福岡中央会場(舞鶴公園)と北九州会場(勝山公園)の両方をかけ持ち。移動を新幹線でおこなった。午後は本降りになったが、メーデーは辛うじて雨に会わずにすんだようだ。午後二時からニューオータニで十都道府県議長会があり、そのあいさつと、六時からのレセプションに出席。その間の時間を次期出版の座談会にあてた。今回は門研で、八丁氏が主役。衣笠、安達が加わった。あともう一回ですむようにとの計画で進んでいるが、録音はおこすということではなく、それをききながら思いおこしつつ私が全部原稿にしてしまうのが、手間が少なくていいということになった。

5 月 2 日 (金) 曇 雨

夕方六時からスポーツセンターで博多どんたくの前夜祭があり、それにどんたく姿に着かえて出席。諸行事出しものを見物した。八時少し前今年のミス福岡決定で一幕すぎたので、ひきあげ黒田荘での研究会グループの会議後の夕食を共にした。夕方からは小雨が降りつづいた。今日は午前中は公務なしで在宅。十二時半から東宝の試写室で植村直己物語、二時間半の長大作をみせてもらい、これまたレクレーション。山村謙一氏の世話で実現したも

の。四時前、県職労の方から社会保険など国費職員の国家公務員移管反対の要請があった。黒田荘でのメンバーは、徳本、大屋の人選で岩元、大塚（県評）をふくめて九大等学者グループによるもの。八丁、衣笠、それに県からは佐々木が入っていた。政怡の石川氏も。

5月3日（土）曇小雨

今日明日はドンタク港まつり。二四〇万人の人出で博多の街並はまつり一色になる。昨夜の前夜祭は RKB、今朝の式典は国際センターでパレードの出発式ともいえるもので KBC の主催。知事、三人の総領事が来賓あいさつの後、車で仮装行列に参加した。八時半から十一時すぎまでかかった。上川端で列からはなれて帰庁。一時から都久志会館で県評主催三九周年憲法県民集会が行われて出席あいさつ。憲法の風化が感じられるほど、出席者も二〇〇人ほど。シンポジウム「昭和史を考える」があとで行われた。私は帰庁し、どんたく松ばやしに対応したり、八丁、佐々木らの出版関係対談を知事室で最終回のを行ったりして、午後八時近く帰宅した。

5月4日（日）曇一時雨

今日明日公休の連続である。一日字を書いてすぎ、夕刻五時半から山ノ上ホテルで両副知事と出納長の夫妻そろって来ていただき、当方も夫妻で一夜を飲みながらくつろいだ。こんなのははじめてのことであった。街はどんたくのにぎわいだし、一般勤労者は休みのつづきでくつろいでいるだろう。中央では先進国首脳会議（サミット）で当面の政治経済の合意の仕上げに懸命である。中曽根氏自身うまくやっているつもりであろうが、いろいろ批判が噴出している。彼自身が思うほど首相としての寿命は永くないようだ。

5月5日（月）曇 雷雨

誰がくれたのだろう。今日は菖蒲湯が沸かしてあってよい湯を楽しむことができた。二時頃まで、次期出版の原稿に着手して成果をあげていたが、河野氏を呼んでマージャンを楽しんだ。八時半頃から河野氏と一杯飲むことになり十時半頃まで饒舌がとび交った。今日は一日よい休みでゴルフに行った人も多かったようだ。これから原稿書きが忙しいことになる。結構それが楽しいのでいいことだろう。どんどん書いてゆくつもりだ。身辺事なくまずはめでたいこの頃である。

5月6日（火）晴

昨夜は盛んな雷雨で、今朝も一寸雨模様だったのに、早目に快晴になって気温はぐんと上昇した。八時出発で庁議つづいて記者会見。あと三役の協議。在位六〇年式典県主催について自民党県議の方から文句をつけてきているという。なぜ相談せずに記者発表したかということらしい。午後二時半博多港出航の日本青年会議所の訪中洋上スクール出航式に出てあ

いさつをのべ、あとは帰宅してゆっくり休みながら、跡地対策課長から北側利用構想にどんなものがあるのかについての説明をうけたが、16階建ての国際情報両関係の機能をそなえたもので二九億円ほどの建設費を要し、第三セクター方式というのがその概要。六時半帰宅。原稿を少し書く。

5月7日(水)晴

一〇時に嘉飯山地区住民会議の陳情を受けた。産炭地三法、地対法の期限切れ、ローカル線・篠栗線電化などについてで、田川地区からの陳情と同種のものである。教育委員長から飯塚市長になった田中耕介氏がそのキャップであった。十一時半から八〇分間県評婦人部(主婦の会)幹部と中食を共にしつつこんだん。西鉄、国鉄、全通、三池炭鉱など問題の大きい職場の主婦たち一三人ばかり。今吉まさえさんがキャップ格であった。二時、県漁連から水産会館の用地の払下げ要請に來られた。これは前向きに答えうる。三時から総合開発審議会が開かれ(永倉会長)県の長期計画案の最終審議に入ってもらった。五時半からグランドホテルで日本土工協九州支部ら三協会支部の総会後の懇親パーティがあった。

5月8日(木)晴

五月晴がつづく。ゆるやかな日程で、十時半県農協婦人部協議会総会(市農協会館)でのあいさつ。十一時半北鮮の社青同代表三人の来訪。農政部長との中食会ということで公式日程は終了した。あと佐々木氏に世話をさせて円高問題について討論しあおうということになり、関係課長らが庁議室に集ってくれた。農商工、金融、観光、企業誘致、企画等総員八人ぐらいになっただろう。こうした与件としての情報の再ソシャクが必要なこと、その咀嚼した情報は職員に流した方がいいが、その情報伝達方法はないのかということ、今後その方法を考えることにした。県庁マンが案外円高なぞどこ吹く風と考えてもいない場合が多いだろうということである。参集した課長たちは感心して討議に参加散会した。

5月9日(金)晴

十時に上海市武術太極拳代表団が来訪。嶋津、篠原らの案内である。太極とはどういう意味か私から尋ねてみた。実技も一寸してくれた。十一時農林水産まつり運営委員会があり昨年の飯塚でのそれを総括。今年は休んで来年北九ですることを決めた。午後県木材青年連合の役員来訪。二時から七〇三で今年度青年の船結団式が行われた。三時情進会の森田則一氏がきて取材。四時すぎ毎日新聞福岡総局長の取材(福祉について一県の買取紙面用のもの)に応じた。六時半、国際障害者年中間事業たる「長谷川きよしコンサート」(市民会館大ホール)に聴衆の一人として参加紹介をうけるというシーンを演出してもらった。上島県議のきもいりの行事であった。午後八時帰宅、身近のことで時間を過ごす。裕一の満中陰志届く。

5月10日（土）晴

九時五〇分共産党の人達と面会。同和行政に多くの不正があるから適正化を、又第三次ローカル線は残してくれということだった。十時半から市民会館で県戦没者遺族大会があり、同席することになった遠藤政夫氏から岩田嘉人が亡くなった由きいてびっくり。十二時半から九大記念講堂で七五周年記念事業のあれこれ展開されているのに出席。レセプションにも一寸参加。西へとぼして大手門会館での裏千家淡交会博多支部四五周年式に出席あいさつ。三時から「奥田と語ろう 21世紀」（県評青年協、ももちパレス）に出席、一時間ばかりいろいろの質問をきいてお別れした。一たん帰宅し、まもなく駅裏クリオコートでの淡交会祝賀会に出席。宗室さんの次男伊住政和氏と親しく歓談できた。

5月11日（日）雨後晴

十時から平和台で縣市身障者体育大会開会式があつてあいさつ。小雨の中だったが次第にあがった。あと小笠原煎者九州大会に呼ばれ、日本庭園に。十二時少し前おわかれして宮田町へ。途中松持建材店に寄り、林宏さんの紹介で藤間流の舞踊同心の女性たちと交歓。一時半に町文化センターに着く。あと午後六時頃まで中央公民館をも会場としたいろいろの催しをまじえての「ふるさと対話」の時間をすごした。宮田中の音楽グループの演奏、最後は女性たちの、カップ踊り、宮田町音頭など多彩であった。舟越氏を実行委員長とする町民あげての「ふるさとフェスティバル」になっていた。町長ら役場、議会の人達も協力してくれ、町民のまつりともいふべきものとなった。中学生達も一しょに「赤とんぼ」を私もうたった感激のシーンがあった。

5月12日（月）曇

十一時から代表者会議。臨時県議会が議長等を選出するが、その際知事から土木汚職につき発言すべく要請した。十一時半全日空ホテルで建設大臣への陳情会があり、知事、福岡北九両市長、九経連会長が陳情した。中食会も行われた。一時半から国際ホールで一日建設省があり、建設省各局長らに、九人が代表して意見陳述した。各県から出席の形をとった。二〇〇人は傍聴したであろう。大臣からは内需拡大の方向で建設国債発行の新しい方向性がうち出された。注目をあびた。うわさされていた衆参両院の同時選挙の可能性もなくなり政局は内需拡大に向けて緊張してくることになろう。地方財政も行詰まりがどう打解されるかが今後の課題となる。

5月13日（火）曇

気温二十八度という。暑い。半袖シャツだけでよい。庁議と記者会見、つづいて春の叙勲伝達式。この中に大牟田の辻辰美氏、中間の吉村吉雄の両炭労戦士がいたのには驚いた。ひる前、西日本新聞の坂井氏が来て、教育庁の文化課長をまじえ国立博物館誘致運動について懇

談した。六月二日に九州会議の総会をすとの案内をうけた。午後八仙閣の県 LP ガス協会総会、ガーデンパレスでの九州産炭地域進出企業連合会総会に出て知事のあいさつを行う。午後四時から三役会議、五月末までにまとめるべく準備している県庁跡地利用計画につき説明をうけ意見を出しあった。県議吉村剛太郎氏母堂死去により原六丁目の自宅に弔問した。七時すぎ帰宅し、夜の時間を、玄羊会展を意識しての揮毫に費した。多忙な一日だった。

5 月 14 日 (水) 薄曇

昨夕から雨になったが、今朝はあがった。久留米グランドホテルでの県旅館環境衛生同業組合の総会が一時から開かれこれにあいさつのため十一時半に自宅を出た。帰庁し、三時から県民の会幹部からの意見をきく会を応接室で開いた。内田茂氏ほか、花田、野見山、大塚、山口らが来て、在位六〇年問題で頭に來たらしく、連絡も悪いと強く苦情が出された。今後の連絡を約して帰ってもらった。時間があつたのでチサンビルに木梨弁護士を訪ねて地域懇の運営につき私見をのべた。木梨氏は運営をもてあまし、会をやめたい意向をもらしていたのだが、もっと県と連絡をとりながらやってみてはどうかと提言しておいた。午後五時、福岡西ロータリークラブ三〇周年記念式典(毎日会館)が開かれ祝辞をのべ、早目だが帰宅できた。

5 月 15 日 (木) 曇後晴

十一時の消防協会団長総会に出た後午後一時すぎ、高崎氏らが来訪。九月に開く全国勤労協に出席して講話をとの要請があつた。協会系の人達のなつかしい顔がそろそろ。一時半、県の監督者研修に出て知事講話。道路公社汚職に対応したもので記者団からも注目され、各部長以下、ずらり。あとで弁護士(加藤)の講演があつた。あと、市内に出て商工会青年部連合会(シティホテル)と宅地建物取引業協会(国際ホール)の総会へのあいさつ。どちらも選挙前で自民党など保守の推薦を決める会でもあつたが敢て私が出てあいさつという形ではあつた。五時、山口信子氏との対話。これは読売の紙面買取県広報のためのもので、ストーリーに沿って行われた。七時帰宅。近頃不眠症に悩む。

5 月 16 日 (金) 晴

二日市の血液センター前に日本たばこ産業の最近鋭北九州工場が竣工式を挙工した。福岡、鳥栖の両工場を合併したものだ。工場内部の見学の時間がなかったのは残念であつた。途中小さなドライブインで中食。舞鶴町に新築された日本キリスト教会館での同和問題を考える宗教者連盟の大会に出席した。二十人余の集りでしかなかった。まだよちよち歩きの団体のような。午後四時、沖縄から来た母の日作文図画コンクール交換訪問児童らに会う。労働党役員訪来あり。あと、稚加栄での部長会。(井上昭和氏)の送別会。その前に龍鳳での建設業系総会にも出席してあいさつをした。

5月17日（土）晴

九時に姫路の田中孝後援会の奥田知事をはげます福岡ツアー一行四〇余人が県庁を訪ねて来て面会。このあと上京。東京の福岡県人会が東京会館において開かれたので出席した。福岡市長、助役も出席していた。会員二〇〇人ほど出席していただろうか。あいさつがすんだあと余興に入ったので、退席し、しばらく東京事務所にて五時の日航機で帰宅した。天気は快晴で往復とも日本列島を眼下によく観察することができた。県人会も形式化しているように思える。八女茶ほか若干の県産品を出品していたようで、こうした郷土品の宣伝はよいことだ。

5月18日（日）晴

好天にめぐまれ、舞鶴公園での「赤旗」まつりは盛大であった。中央から金子書記局長ら、又各級議員候補も選挙おもわくで派手に参加していた。私ははじめの儀式部分はさけて、余興部分に参加。各テントをまわって握手やら写真要請のポーズやら、そして舞台では「赤とんぼ」の合唱に加わった。一時から二時頃までいて帰宅した。朝日新聞の松本、森山、是松が来宅して卓を囲んで夕方になった。高野切第三七回目を書き終えたが、さほど上達しているとは思えない。又、出版のための録音の再生記録も終え、以後原稿に入る段取となる。

5月19日（月）大雨

九時に済生会病院で定期検診。血糖値が二九六でプラスの四というから大変悪い。はじめて四が出た。また二九〇になるなんてこれ又はじめてで、どうかしたのだろうか。心配だ。十時半フィリッピンから教育関係者二〇人ばかりが来訪。外務省の国際交流基金での招待のようだ。一週間ほど福岡県内視察ときく。県議会（臨時）で議長、副議長の改選があり、篠田栄太郎、酒匂大和の二人が選出された。例によってダラダラ運営で一時間足らずの本会議ですむのに、根まわしとか相談とかで五時間ほど「空転」した。その間議員族は県費を余分に使うことになるとは思えないらしい。延長して稼ごうとの根拠なのだ。

5月20日（火）曇

昨日の大雨、心配したが今日は降らなかった。九時すぎ、陸上自衛隊春日からヘリコプターで十分余、久留米櫛原の筑後川左岸での防災訓練に参加した。空からみた筑後平野は麦秋近しの美しさであった。少々肌寒い川辺の訓練につき合うこと二時間。一時半に城島町役場に着き、二時から町民グラウンド横のふれ合いセンターで「対話のつどい」に参加した。町婦人活動家たち（婦人大学生）が三町から集って婦人運動についてもごもごも発言し、なごやかな雰囲気うちに終り、あとで働く婦人の家に移り、この地特産のエツ料理をいただきながら懇談、五時に終って唯一、残っている渡し船（県営）に乗ってみた。帰宅したのが丁度七時。夜は宿題に感じていた手紙書きをした。

5 月 21 日 (水) 曇

庁議、記者会見、褒賞伝達式とつづき、夜八時二〇分発で上京。十時半ふくおか会館着まで日程がぎっしり。中食はクイーンで社会党控室の島津君を呼んで共にした。午後一時、監督者特別研修会での知事講話。朝の放送録音。五時から電設協力会総会、次いで県医師会新役員との懇親会（仲柳）とつづいて上京となる。近頃の睡眠不足でかなり重い日程に感じた。七時に起床、十一時半就寝で息つくひまもない程だ。庁内にいると次々にあいさつに来る人に応対し、バラバラと決裁がやってくる。何とかのレク、レクとつづく。どう考えても権威か権限が集中しすぎていると思う。午後は佐々木君が神奈川県藤沢の岩田宅へ弔問に行ってくれ、私がふくおか会館に着いてのち、奥さんの対話のくわしい報告をうけた。

5 月 22 日 (木) 曇

八時からキャッスル東急で朝食会。北海道、長崎、福岡の三知事、県議などが集まり出身国会議員に陳情ということである。中味は第八次石炭政策の縮小案に反対ということである。国内炭は外炭の二倍もの価格で、鉄、セメント、電力各社が高価な国内炭の強制的買取りはもういやだというので、政府も石炭保護政策はもう限度に来たといい、それでは国内炭は全滅にひとしくなるという情勢にある。朝食会ののち、自民党、国会の総務委員長、通産、大蔵の各方面に陳情。一時の便で帰福。駅前のセントラザでの韓国駐福総領事金権萬氏の着任祝賀会、午後六時半からは全溶材連合の全国大会懇親会（ニューオータニ）に出席、スピーチ。その間ライオンズ・ホテルで協会系の幹部、大塚、高崎、白石などと意見交換しつつ夕食をした。

5 月 23 日 (金) 晴

九時すぎの新幹線で小倉へ。西日本総合展示場での 26 回西日本総合機械展キャドミック 86 に行く。これが終わって内田茂雄弁護士の事務所を訪ね、さらに富野台の自宅を訪ねて中食をごちそうになった。見はらしのすばらしい宅であった。新幹線で帰福し、ガーデンパレスでの私学協会総会に出てあいさつ。帰庁して人事課と同和対策局からレクをうける。前者は道路公社汚職後の対策委のまとめをきいた。次は飯塚にとび脊損センターでの国際車椅子テニス大会開会式に出席。これは昨年につづき麻生氏が会長で二回目の開催である。地元のロータリークラブが力を入れてくれている。八時帰宅。昨日からみゆきがずっと発熱でねている。東奔西走。今日も疲れた。

5 月 24 日 (土) 晴

午前中在宅して揮毫にあてた。午後一時半出発して太宰府のコウ君のうちにブルドックを見に行った。以前からの約束を果たすことができた。次は三沢の明願寺にお礼まいりに行った。兄の葬式にはていねいな弔問があったからである。途中秘書室からの連絡で近藤副知事

の県警による事情聴取があつていて記者が知事を追っているとのこと。明願寺をあたふた出て久留米サンライフで筑文懇の人達と若干の対話。七～八人来ていただろうか。これも約束をはたしたもの。このあと六時すぎ草青園で商工会議所婦人会のチャリティパーティーに出席し一時こんだんしたが、記者に追われて少しコメントして福岡へ。帰宅できぬ状況というので、指定の城山ホテルに集まり遂に泊ることになった。

5月25日（日）曇

安定剤をもたぬままの緊急宿泊であつたのでよくねむれなかつた。しかし朝は九時まで床についていたので何はともあれ休みえたようだ。午後都久志会館で原田観峰さんの日本習字連盟の法人化祝賀会があり、これに出席する積りにしていたが、記者から取囲まれてうるさいし、祝賀会も興ざめになれば失礼ということで、秘書室が代役対応することになり、私は折角の休日を捕われ同様の形で時間をすごすことになってしまった。自宅の周辺には相かわらず記者がうろうろしているというので自由を拘束されればなしになってしまった。高野切を書いて時をすごした。

5月26日（月）曇

八時半には登庁した。若干打合わせののち、九時から部長会議、一〇時から記者会見。どちらも近藤副知事の三日に及ぶ特捜事情聴取にからんだもの。部長会議では行政の空白は許されないで動揺しないで勤務せよと訓示。記者会見はざわめいた。夕刊にも何ページもの記事として報道された。夜八時すぎ、青年の船で北京から帰ったばかりの大塚副知事を知事室に呼び対応策を協議した。今日の外まわりは一時半からの看護センターでの解放同盟の今年度「対県交渉」、四時すぎ都ホテルでの県測量協会の総会レセプション、六時からの全日空ホテルでの駐福岡中国総領事館開設一周年記念祝賀会の三つであつた。夜は十一時頃読売記者に執拗な面会要求になやまされた。（九時半帰宅）

5月27日（火）曇後雨

十時からの大濠公園能楽堂の落成式に出席する前に公園事務室に近藤氏を呼んで三日間の取調べの結果について十五分間ほどきいた。結果は彼の記者会見模様とともに夕刊に大きく出た。彼は潔白を強調したので、それを信ずるしかない。落成式は亀井前知事も来た。篠田栄太郎が議長として亀井の功績をたたえる祝辞をのべた。うるさく記者につきまとわれた落成式であつた。午後二時半、はかた会館で物産振興会の総会があり、それに祝辞をのべたあと太宰府国民年金センターへ。新任の県課長・所長らの研修会で四時から一時間の知事講話。あと七時少し前まで懇親会で受講者たちと酒をかわして懇談した。八時すぎ帰宅。夜おそく四日間取調べをうけた林県議から電話あり。

5月28日(水)曇

庁議・記者会見とつづく。今日も又あいさつ、祝辞の連続の一日だった。十時半税務所関係報償金授与、十一時総合開発審議会答申、一時二〇分精神薄弱者育成会法人設立大会(市身障福祉センター)、二時半交通事故をなくす県民運動本部総会(国際ホール)、三時半青年の船帰港式、四時一五分トラック協会総会(セントラーザ)、五時九大留学生交歓懇談会(記念講堂)という具合である。ひるは総合開発審の永倉、都留会長副会長と波多野で慰労中食をした。青年の船は今年韓国に行った。短い期間で十分でなかったようだし、いろいろ条件をととのえるのに苦勞したようだ。中国は天津と北京だけにしぼられこれ又短くて多忙すぎたようだ。三六六人無事帰港。夜九時半頃近藤副知事事情聴取おわると報告あり。

5月29日(木)曇 小雨

朝一番に昨夜事情聴取をおえた近藤氏から話をきいた。十時半農協中央会総会に、午後一時商工会連合会(都ホテル)、次いで中小企業団体中央会(西銀本店)総会であいさつをした。三時、フクニチ取材(買取り分)あと三役協議となった。協議では外郭団体規制強化で汚職がおこりにくい構造にしようというのがねらい。役員の再任等々である。近藤氏の聴取をうけて記者会見の模様など新聞に夕刊は大きく報道するし、野党側は臨時議会を開いて彼の罷免にもち込もうとしている。新聞でも朝日は捜査陣は目算狂いに立たされていると報じているが、一般に、近藤黒という前提で走り、知事を足許から崩すことを考えている。憂鬱な数日がつづき、空と同様、空気はさえない。

5月30日(金)雨後曇

総会シーズンといえはいえる昨今、今日も四カ所を消化した。十時半農業共済組合連合、つづいて森林組合連合(農林中金)、午後一時半からは青少年育成県民会議総会(西銀本店)、つづいて菓子工業組合である。近頃は事務が作った「あいさつ文」は参考程度とし、ほとんどは自分の言葉で話すことにしている。通り一遍でなくて、なまの言葉の方が相手に与える印象もいよいよだ。その代わり、総会それぞれの課題内容を承知しておかねばならない。その苦勞はある。四時に帰庁し、二つの問題についてレクをうけ、決裁を消化したあと、副知事問題をめぐる議会の動きなどについて、どう対応するかを秘書室長、佐々木などと共に基本問題に立ちかえって話し合った。近藤氏を守ろうと私は決意を表明した。

5月31日(土)晴

久しぶりに晴れ。午前中在宅という恵まれた一日だった。身辺も整理できたし、かな習字もできた。藤江君の父の一周忌だそうだ。午後三時に迎えが来て空路大阪へ。明日関西福岡県人会出席の要があるため。空港に降りると迎えに出た伊藤福岡事務所長が葬式ができていたのでという。十数年前にできた県人会だが、その初代会長がユニチカの前吉平さん。その

人の葬式が西ノ宮であるという。一たんホテルに着いて後すぐ夜の通夜の席に行くことになった。行ったら高浪現会長も県人会名義で出席されていて、面子も立ちよろこんでくれた。曹洞宗式の通夜式ということだが、はじめての経験だった。キタの繁華街で大阪事務所長、こちらから行った私ほか中村室長、森山、中尾ら一しょに夕食をとり、東洋ホテルに投宿した。ダブルのスイートルームで豪勢な感じ。

6月予記

日がたつのが早いので感無量。とくに県行政をめぐるごたごたが、このように醜聞続出で報道をにぎわしているようでは対応に神経をとられてしまう毎日である。ただ、自分に関係ないとの自信が救いになっている。報道でさわがれているようなことが真実かどうか、材料をもたないだけに不安がないではない。出納長室に実地検分に来た奥村組の小林の所作がどうもあやしいということだから、近藤は白に違いないと思うのである。だとすると今回の事件は「お布施事件」に類する奥田県政へのゆさぶりという政治色が濃厚になってきたというべきだ。それなら逆に当方ががんばるしかない。

6月1日（日）晴

東洋ホテルで関西福岡県人会が洋式により十一時から開かれた。朝は食事するだけなのでゆっくりした。どうしてかやはり昨夜は熟睡できず、途中で起き出て残りの安定剤を半錠のむという次第である。三階での県人会には一三〇人ばかりの出席があった。京都、名古屋、大阪からも代表がみえた。今年は昨年のように遠藤参議を呼ばなかったという。昨年は彼の知事へのかみつき発言がすぐ一円でうわさになったので呼ばなかったという。でも今年は私がいさつの中で「汚職」にふれてことわりをいわねばならなかった。例により抽せん会など余興あり、なごやかなうちに、二時少し前県人会は終わった。同じく空路で。帰宅したら五時二〇分頃であった。六・一運動デモがあっているという。

6月2日（月）曇

十時に出発し、辞令交付二件をすませたあと、十一時から国土利用計画地方審議会に出席。結論が出るまでいて、中食をとり、一時二〇分都久志会館での福教組定期大会に出てあいさつ。右翼が若干示威行動をしていたという。二時、国際ホールで博物館建設推進九州会議に出席。年度方針を審議したが、今年が運動の正念場だということが中心関心事であった。四時、サンパレスで油須原線建設期成会の解散評議員会がおこなわれた。昭和二十七年からのこの会も目的を失ったわけだ。六時に帰宅。七時すぎ、社会党の竹村、県評の岩崎、山川の三人が来宅。近藤、林の両腕を取られた今後はS氏を起用してはどうかの提案をうけた。

6月3日(火)晴

庁議では汚職防止のため外郭団体の規制及び工事発注についての見直しをふくめた検討委の結果を了承し、これをつづく記者会見で発表した。十時に、昨年につづき中国農漁研修生が七人、到着訪問に来た。一時、土地利用計画審の答申(都留大治郎副会長)が手渡され、一時半から特一で交通安全対策会があり県の計画を決定した。三時半から来る六日の沖縄における九州地方知事会の議題につき関係課長が来て事前討議をした。「九州は一つ」とはいうは易く行は難しということ。福岡市の六四年博覧会にはすんなりと協力してもらえぬ雰囲気がいまだできないようだ。どの県も東京と連絡が密なればよしといっている。

6月4日(水)曇

九時半に電気ホールで全国授産施設総合研究大会があつて出席あいさつ。四〇〇人ほどの参加。十一時に国体準備委の事前レクあり。中食時は県民の会の山口、大塚と庁議室で雑談しながら食事した。道路公社につき情勢や私の考えをのべて一応納得してもらった。野党が臨時県議会の開催を要求することが確実となり、その対応を三役で協議した。こうして帰宅したら三時半。ゆったり時間があつて高野切第二種を書き進めた。夜はマージャンをしようということになり河野氏が八時にやってきた。深夜まで遊んでしまった。又疲れることだろう。藤江君がさつきの剪定をしていた。

6月5日(木)曇

跡地対策課長から九経調報告が出たことについて協議を求めてきた。私はこれをふくめ大衆討議にさらすべきだといっておいた。十一時四五分発で沖縄へ飛んだ(ANA)。九州地方知事会が明日あるためだが、沖縄県企画部職員の案内で、事前に国際研修センターと紅型工房を見学させてもらった。福岡県でも北九州市に国際研修センターができることになっているので、よい視察経験がえられた。浦添市が地域をあげて研修センターの運営に協力してくれているとのことである。六時半から料亭『左馬』で知事会招宴があつた。(辻町)出しものがいろいろあつた。とくに琉球舞踊の数々であつた。散会后、宿所パシフィックホテルの Snackbar で二次会があり、意欲はなかつたが途中までつき合った。疲れのためか、早めに就寝するのがよいと思った。森山と佐々木、それに企画から古海ら三人の随行であつた。沖縄は梅雨も明け近いという。

6月6日(金)曇

ゆうべは眠りが悪く、十二時すぎに起き出て安定剤を半分追加しねむれた。七時半森山がドアをノックするまでねていた。七時四〇分朝食、八時半から一時間知事会の事前協議、九時半から十二時まで知事会。事前協議でまとめがあつたので本会議はすいすいだった。ただ事前会議で、九経連の国際協力会設立についての石崎理事長の提案は理解がえがたく、冷淡に

あしらわれた観があった。アジア太平洋博について九州館への協力要請は昨年秋の九州地方知事会の時と違って前向きの協力が約束できた。福岡市がこのことを大変気にしているようだったので、樺島君を通じて市に伝えてもらおうと思う。三時帰福。四時から国際ホールで国体準備委があり、会長たる私が議長をつとめ、六十一年度の事業計画、予算など決定した。五時三役会議。

6月7日（土）曇

もう梅雨空。十時半から平和台競技場で県高等学校総合体育大会があり、開会式に出席。すぐ久留米萃香園での玉井氏の受章祝賀会に出席した。時間にゆとりがあって往路途中久留米土木事務所に寄り、職員を激励した。玉井直氏はミルクプラントの社長で私によく接近してくれる。ここも途中で失礼し、福岡野多目の九州ガンセンターでの筑声会創立十周年記念式に出席した。前の知事選のときよくやってくれた自治労の米倉氏の招請によるもので、ガンのために喉頭摘出した人が努力により発声練習をする会がこれで、私のあいさつの後昔の小学校唱歌故郷、われは海の子の二つを合唱したりした。帰宅後四時頃、八丁、衣笠、高崎の三人が来て話し込み、夜九時から山ノ上ホテルで近藤副知事、中村室長に会って私のこれからの政治的基本姿勢についてよく伝え、同様の考えを確かめ合った。

6月8日（日）晴

全国環境週間の中日で、八時半から芦屋町海岸で、県遠賀四町共同での美化行動キャンペーンが行われた。快晴で汗ばんだ。何百人もの住民が参加してくれ、四町長も出動し、県職員も関係者多数参加した。帰り森山氏の宅に寄り、汗を流し、中食をいただいた。午後一時岩田屋体育館でボーイスカウト県連盟の年次総会があってスカウト服で参加あいさつした。夜になって約束どおり林県議と八丁氏が来宅し、県政をめぐる政治情勢につき意見交換した。県議の方は思いの外さばさばしていて、昨日の近藤副知事の場合と同じく、私との意見のくいちがいはなかった。夜おそくまで揮毫に時間がかかった。気分は爽快である。

6月9日（月）晴

九時半に出発。十一時すぎ議会代表者会議で臨時県議会の十六日開会をつげた。その後の議運はかなり時間がかかり、道路公社等問題の特別委員会の設置と、それへの一〇〇条委権限を与えることを決めたという。午後一時はかた会館で開かれた鉱業市町村連盟総会と二時国際ホールで開かれた「とびうめ国体スポーツ振興基金」設立総会に出席し、あいさつをのべたが、後者では事務局の説明不足でドジがあった。気合いがかかってないように見える。永倉委員長に十分説明してなかったとみえて永倉氏の議事進行に影響したわけだ。夕方、企画の方で出す「21世紀プラン」の顔写真につき本職が来て一時間余りかかってモデルポーズを作らされた。帰宅途中舞鶴公園で花しょうぶをみるため下車したが、少々遅いようだった。

た。それでも暮れのよい風情が味わえた。

6 月 10 日 (火) 晴

むし暑い一日だった。八時に出発。庁議・記者会見と定例の行事。午前中は知事室で辞令交付、感謝状伝達式、訪問客応接など次々と時間がたち、中食は県評の岩崎氏が来訪、議会一〇〇条委設置の対応などについての注文をうけた話合いとなった。午後一時、つくし会館で県下二三校の表彰をふくむ子供の交通安全大会がおこなわれた。小中学校の子供たち数百人が来て私が表彰状など授与した。三時料飲環衛組合連合会総会で選挙がらみで遠藤など書き入れ時とばかり忙しく動いていた。帰庁して、いろいろ報告があったが、中でも交通ビジョンの草案についての報告説明が大きい。六時、電気ホールで裏千家淡交会の茶道文化講演会があり、京都から鵬雲斎家元夫妻と又席を同じくすることになった。先日伊住政和氏(次男)と合った記憶がまだ新しかった。

6 月 11 日 (水) 晴

九時にスタート一路小倉へ。弥生会館で県西瀬戸総合開発促進会議が開かれ私が議長。今年度政府要望事項を決定した。その帰り片野に作られた合同選対に立寄る。参院の渡辺候補はまだ当選圏内でないといっていた。帰庁し、さんばつなどして四時四〇分、ニューオータニで開かれている日本ビル協会連合総会に、又五時四〇分国際ホールで開かれた福岡子ども劇場二〇周年祝賀会に出席して祝辞をのべた。後者では秋枝さん青木さんらが来ていた。活動的な人ばかり三〇〇人は来ていたろうか。七時那の津に社共県民の会の幹部が集まり、最近の県政をとりまく状況につき意見交換こんしん会を開いた。内田茂雄氏ら、花田新太郎、山口、野見山、小田等々の諸氏六人~七人。県評の大塚も。

6 月 12 日 (木) 晴

今日は行事は多くなかった。十一時から九工大飯塚学部設置促進期成会、一時半から PTA 連合会総会(中央区市民センター)の二つが主たるもの。双方に篠田栄太郎が同席することになっていたの、なるべく顔も見ずものもいわぬようにした。彼の議長ぶりが極めて私にとって調子が合いにくいからである。久しぶりに中食後の一時間横になることができたが、近頃、睡眠状況がきわめて悪く、ねたような気になれない状況がつづく。夜また然り。病的なものようだ。夕方香住丘に秋枝蕭子さんの父を見舞に行った。白内しょうで両眼失明、体調も悪く、自宅療養。五月に満百歳になったとのこと。

6 月 13 日 (金) 晴

十時半から国際ホールで政府予算要求を中心議題とする県南総合開発促進会総会があり、中食後の時間を利用して総合庁舎の福祉事務所を訪ね職員とこんだんした。一時半朝日ビル

で中小企業情報センター総会があり、一たん帰庁。十五日が父の日で今日先ってということで花卉団体協からバラの大きな花束を贈呈していただいた。三時から農協中央会の「福岡の食と農を見直す代表総決起大会」に行った。例年の米価値上げ大会でハチマキをしめての熱気に満ちていた。又帰庁して四時二〇分から外郭団体代表者に対する知事要請の会議（庁議室）に出席。あと三役会、伊藤労働部長退任の辞令交付を行う。

6月14日（土）曇

明日一日出まわるとのことなので、今日は公務なし。午後二時半安達氏が迎えに来て、黒田荘で、学文関係の友人との間で懇談会がもたれた。八丁、安達の二人が県政をめぐる情勢を報告し、それをめぐって自由討議した。徳本、衣笠、福留、石川、大屋、高教組の大塚、それに秘書室の佐々木、合計十人であった。生きた政治の現実を語るのだから興味深いものがあった。意見の違いはないが、各人がひとりで胸のうちに秘めていたのとは違った意見が場の空気になったかも知れない。あるいは各人がそれぞれの思いを自分なりにまとめることができたのではないか。私が参加しないでもとは考えられもするが、やはり参加して意見をのべたのが、よかったという。午後八時すぎ帰宅。そのあと河野氏を呼び雀卓。

6月15日（日）雨

三世代ゲートボール大会が九時半に中比恵公園で行われたが、夜来の雨でドロコシのなか、降りこそしないが、この中では大変だろう。十一時から福岡留学生会の新入生歓迎パーティが西銀の体育館であってあいさつ。のち平和楼に移動し、中食。この六階で行われた福岡対馬会の総会に行った。島民と同じほどの人が福岡にいるということで親近感あふれる会といえる。三時、参院小柳勇氏の功績をたたえ今後をはげます会がスターレーンで行われ二〇〇〇人ほどが詰めかけていた。七月六日の参院選福岡地方区はすでに自治労の渡辺四郎が出馬し、小柳氏は勇退することになって、この励ます会になったわけ。今の状況では渡辺はまだ苦戦だといわれている。夕方から工学部森祐行氏が来てマージャンをした。

6月16日（月）雨

一日中つよい雨だった。早目に登庁して諸日程を消化したが、最大のニュースは昨夜、起訴されている道路公社の古賀が冷水トンネル工事々務所で首吊り自殺したということ。他方陸自のファントムが豊前に墜落したとの報もとび込んだ。十一時から開会予定の臨時県会は保守三党の党利個人利害が渦巻いて議員間、会派間の調整がつかず、終日空転。方針が三転四転し、今日一日の会期が夕方五時、ついで八時、さらに夜半十二時には明日にもつれ込むということで、待機させられる当方も徹夜になってしまった。何百万という経費が、野獣どもによってかくもかんたんに浪費されているのだ。

6 月 17 日 (火) 晴

朝六時頃本会議が予告され、仮眠から立ち上ってみると、解新の中杉芳夫が議長席に坐って動かないというシーンから始まり六時五〇分頃開会。当初予定の道路公社汚職調査特別委設置について中杉提案を否決し、新たに近藤副知事解任要求決議案だけを可決して今回の臨時会は七時すぎすべて終わった。七時二〇分記者会見をし、また一寸仮眠。九時すぎから国博誘致につき別途県としての事務体制をとるべきだとのことにつき私の方から提案し検討させる事務レベルの打合わせを行い、十時半死亡者叙勲伝達式があり、ひる少し前帰宅。休養に入った。快晴の空も夕方は曇ってきた。

6 月 18 日 (水) 晴

ダブル選挙のうち参院選が今日一足先にスタートした。私は社、公、自、共と地方区各選挙事務所をあいさつまわりした。自民は二つ。共産党事務所で県民の会の山口と会ったのでパーソナルホテルで中食を共にしつつ近況につき意見交換した。社会党の渡辺四郎の出陣式にまにあってあいさつに立ったが全議員が集っているかのようなようだった。三人のうち二番に入るよと応援者は自信の程をほめかしていた。記者達は私が五つの事務所をまわることを取材していた。帰庁後六月議会の議案につき三役で確認し合った。三時に大手門会館で開かれている西本願寺福岡教区の「六・一九福岡大空襲、平和を願う念仏者の集い、戦争犠牲者追悼法要」に顔を出し最後にあいさつを行った。これは個人的資格ということである。四時済生会病院に定期健診に行く。あと帰宅。

6 月 19 日 (木) 晴

十時半ステーションプラザで県高校 PTA 連合会の総会に出てあいさつ。十一時半グランドホテルで六月県議会について社会党県議への説明会。話題が乏しくてあとの中食会は四一年前の今日の福岡大空襲をめぐる経験などに移った。帰庁して広報室の放送関係の打合わせに時間をかけた。三時カネミ油症患者の生活援助についての陳情をうけた。十八年前のこと、そして油症で苦しんでいる人は県下で三〇〇人をこすという。とくべつの手当をしてあげられないが、見舞金ぐらい出せないかと思う。六時かわさきで、伊藤前労働部長の本省転出送別会があった。二年十ヵ月の在福。失対事業就労者の整理、職業訓練の改革などが大きな問題だ。

6 月 20 日 (金) 曇

昨日は午後、藤田茂令県議母堂死去で若宮までお悔みに行ったが、今日は葬式ということで議員たちは動いている。十一時グランドホテルで六月県議会についての野党懇。葬式と選挙で出席も少なかった。三時から RKB で県政サロンの録画取りがあった。県の新長期計画(二一世紀へのプラン)が話題としてとり上げられた。比較的早く終わったので、帰路黒門にある

西本願寺福岡教務所に参詣した。お布施事件以来、ここの徳川さんにはいろいろ世話になりながら、今回が初詣でということだ。明日の親鸞上人人生誕まつりを準備中で徳川さんに合うことができた。五時すぎ帰宅。

6月21日（土）曇

九時半から十二時半まで中食つきで九大留学生九人との対話集会を庁議室でおこなった。大学院クラスの人ばかりで、われわれに対する要請もかなり出た。日本社会が今日のような国際化に未熟だということであろう。終って一旦帰宅し、四時すぎ市美術館でひらかれている玄羊会書展（第一五回）に行き、岸本先生の講評をきき、このあと福新楼で懇親会がおこなわれた。市美術館で別途ヘンリー・ムーア展があつていて、この方にも一寸顔を出した。玄羊会の懇親会は九時頃までみんなほがらかに、にぎやかに経過していった。五〇人は来ていただろう。私はテーブルをみんなあいさつしつつ対話してまわった。

6月22日（日）曇

昨日は衆院選の公示の日で候補は一せいに事務所開きをする。県民の会の山口氏がみゆきを代りとして各選挙事務所社共四区八箇所を連れてまわってくれた。今日は久しぶりに私は公休。午後夕方まで河野氏を呼んでマージャンをして遊んだ。原稿を書かねばと思いつながら一寸もその気にならない。筆が行き詰っているからである。余の時間は高野切第三種の練習にあてた。原稿を書くよう局面を突破せねばならぬあせりがある。昨夜も雨。近頃大へん蒸し暑い毎日である。鈴虫の籠二つ。どちらも二、三日前から卵から虫がかえっている。小蟻ぐらいのが何百と動いている。

6月23日（月）曇後晴

昨夜は大雨だった。今日は行く曇厚くすごくむし暑く、夜になって晴れ間が出た。十一時すぎ代表者会議。六月三〇日定例会招集のことをつたえたが、近藤副知事の解任決議にどうこたえるかとの質問が出た。自民中村、緑政山本、公明吉永の三人である。私は検討中と答えて振り切った。中食事に民生部次長らを呼んでこんだんし、原稿のことをたのんでおいた。一時半、中島県議などラブグリーン運動について要請があつた。今年も比島に木をうえに行きたいということ。夕方七時からニューオータニで知事招宴があつた。日本とニュージーランドの航空交渉が福岡市で開かれ、市とのつき合いで両国交渉当事者（政府、航空会社など）が客であつた。帰宅は九時。今日の代表者会議が頭に來ている。

6月24日（火）曇後雨

定例の庁議、つづいて記者会見。庁議では長期計画「21世紀へのプラン」印刷完了したのを了承。一時半国保会館で産炭地域振興促進協議会総会があり、型どおり進む。夕方、朝の

放送録音をすませる。記者会見のとき、先日の代表者会議で副知事解任要求決議案への対応をせまられたが、どう思っているのかの質問に、受身でいくと答えたが、その言葉がいろいろに解せられたようだ。前回の記者会見の時より後退した考えかという観測もでたようだが、代表者会議での「慎重検討」答弁と感じが違わないように配慮したまでという私の気持ちを十分理解してくれる記者もあるようだ。廊下である記者に「専守防衛だよ」ともいっておいた。

6 月 25 日 (水) 曇後晴

朝迎えの時森山君がサンデー毎日の記事のコピーを見せてくれた。県の汚職問題の政治的背景をかなり大胆に切っている。十一時、日赤今津病院改築起工式。すんで隣の県水産試験場を視察。帰りぎわ、是松氏宅にはじめて立寄った。二時、龍鳳で納税貯蓄組合連合会総会。つづいて日本食堂新博多ビルで機械金属工業連合会総会に出席してあいさつした。夕方八丁氏が知事室に来て話し込み、さらに拙宅にも同乗立寄って話して行った。次の議会で不信任案が可決された場合、選挙をにらんでどのような準備をすべきかということが当面の焦点になって来ている。野党にできるだけいい口実を与えないこと、わが方が結束を強める方法は何かということである。

6 月 26 日 (木) 晴

石橋美術館近くの共同ホールで十時から、建設省に認められた久留米まちづくりのシンポジウムがあってそれに出てあいさつ。あと甘木の麒麟ビール工場、筑紫野の農業大学校を見学した。ここには中国の研修生も園芸研究所部門に来ていて激励しておいた。帰福して、時間があって市美術館に寄り、イギリスの現代彫刻家ヘンリームーア展を見せてもらった。館外にも巨大な作品を一般に解放した豪華企画であった。五時半八仙閣で黒木会長らの建設関連産業連合会総会後のレセプションに出てあいさつ。又、近くにある、河野正、渡辺四郎選対本部に立ち寄って運動員を激励した。渡辺危しの声もある。

6 月 27 日 (金) 曇一時雨

十時半湯町公民館での温泉集中管理施設の竣工式があった。泉源コントロールによる湯の安定供給が可能になる。十二時一〇分ガーデンパレスで造園業協会の懇親会があって出席。この業界も不況のようだ。このあと、昨日以来つづいている左側のクビ、頭の異常な痛みにつき済生会病院に行き相談したが、しばらく様子を見ようとのことで簡易な薬をもらった。午後は庁内であれこれ時間を費した。とくに三役会で三〇日県会開会に備えての討議があった。午後六時から「かわさき」で林、近藤の二人を慰労する会をもった。林出納長、中村室長も出席。

6月28日（土）曇後雨

十時から奈多団地集会所で対話のつどいを行う。相手は奈多文庫みちくさ会の若奥さんたち二〇人ばかり。幼児に本をよんできかせる会である。一三〇〇ばかりの建売団地である。いわば小さい町をなす規模。そばに私立幼稚園がある。子供数がだんだん減るとのこと。将来問題化するだろう。帰りピザで中食。天神スポーツセンターで開かれている小石原フェアに顔を出し、野上村長を激励した。会場で餅つきも手伝った。昨日の夕刊に大島村と姉妹関係締結の話がまとまったとあり、七月上旬には調印式を県庁あたりでやりたいとの希望もでていたので、進めるようにおいた。夕方から河野氏も来てマージャンを楽しんだが先日からの頭痛がつづいている。

6月29日（日）雨後曇

昨夜からかなり雨が降りつづいた。全く梅雨期そのものである。むし暑い。それに身体の調子がよくない。左のうなじ首に湿疹ができたり、頭痛がまだつづいている。体も少々だるい。時間のある間高野切を書く。第一種八回目を完了。左首のできものが少々ひどくなってきたので、シッカロールをふってみるに止めたが心配で、午後は吐気さえ感じ、夕食はひかえた。ただ、横になっているのも所在ないので、とうとうマージャンでもしないかと誘ったら、工学部の森氏が美和台からやって来た。七時頃から十二時まで、病身で夕食抜きで、われながら無理かなと思いつつ結構楽しい夜になった。明日は議会もあるし、できれば病院にも行かねばならない。先行き不安の中で、いい休日だった。

6月30日（月）曇

八時五〇分出発。左首のできものはさらに広がっているみたいだ。鏡を見て赤らんだ状況にわれながらびっくり。議会は定刻にはじまりそうでないので、済生会病院に行った。皮膚科の花田先生に連絡がとれていて、帯状疱疹の診断あり。早速点滴やら注射やらの応急措置をとっていただく。議会は知事説明に道路公社汚職に関する知事弁明を抜くよう要求してきた、それで折合い四時五分から開いて三〇分足らず。開会行事はかんたんに終わった。あと記者会見で弁明抜きと疱疹につききかれた。六時半済生会病院に入院。何日かかかりそうだ。

7月予記

とうとう入院してしまった。昭和二五年の春尿管結石の痛みで九大第二外科に入院。盲腸を取って一週間入院したが、それ以来の久しぶり病氣入院なのである。不摂生だったかと反省もする。六月議会在重荷になっているが、なるようになれと思うしかない。外は七月六日の衆参同日選で沸いている。中曽根の強引なタクト振りに国民は拍手を送っているようだが、われわれは危惧する。軍事はもちろんだが、検察、裁判、それに警察も、急速に威圧的、一方的になって来た。領土防衛からシーレーン防衛に、次いで国益防衛にまで走り、海外派兵

もおこりうるかも知れない。県議会も、そのような勢力が、わがもの顔にふるまっている。しかし、私は守るべき一線は頑固に守り、悔いない積りで事に臨もうと思っている。社会党が弱いのがどうも気になる。まだまだ党といえない姿でしかないといいたい。

7月1日(火)曇

午前一時半だった。左腹と頭がひどく痛んで目がさめた。じっとがまんして明けまで通して待った。五時半に採血、八時に朝食。寝汗をかいている。九時半腹部胸部レントゲン写真からはじまり、昨日同様の点滴が十時からと午後六時からの二回。その他心電図とり、採血、静脈注射などあったが、中でも、午後二時ごろのブロックという脊髄施術は大変苦痛であった。小川先生は腹部の痛みの原因に不審があるとのことで痛み止めの投薬に気を使って下さった。花田主治医は腹部のそれは系統が違うとのことであった。多くの人が見舞に来てくれた。午後四時、明日の古賀町の対話集会のレクとして広報室の平田氏らが来室。明日大丈夫かと心配になって来た。疱疹は今日が頂上のようなようだ。

7月2日(水)晴後雨

今日は左胸部と頭の痛みでねむれぬ朝を迎えた。ブロックも効果は直接に感じられず、九時すぎにエコー検査があって後に朝食。十時すぎ外出。広報室企画の古賀町における対話集會を消化せざるをえないためだ。役場での集會、十一時から一時すぎまで。頭はガンガン痛むし、やっとの思いで対話集會は終わった。今日も多くの見舞客があった。医師の話では今明日が痛みの山ではないだろうかとのこと。左首のハレ具合は斑点というよりは全面的な赤いふくらみになっている。腹痛に対してあれこれ手当てをしてもらったが、依然として痛み、今日は胸部がひどくなった。九時に就寝。ねれそうにないのだが。夜は八時半まで秘書に中尾君。

7月3日(木)曇

昨夜は左上腹の激痛のため七転八倒した。夜なかにも看護婦を呼ぶべきだと、みんなから注意されたが、速効は期し難いと私は判断したので辛抱したわけだ。九時すぎ胃透視のあと朝食。食欲はつねにあるのに、腹痛がおこり、一日中、昨夜のような苦しみが、断続的に起こって全く不愉快な一日であった。医師の判断では、この腹痛が帯状疱疹と関係がありそうに思えないということで、処理に思案されているようである。尿糖の検査ではプラス三。点滴が一日に二回あるが、それにかかなり高い糖分があるようだ。見舞客が今日も相ついだ。主なケースは「かき善」のママ、大町多喜子県議グループ(たず草持参)、衣笠、山口、松田留グループ、林県議、岩崎県評事務局長、岩田自治労県本部副委員長グループである。夜間六時九時は秘書に星野君。

7月4日（金）曇後雨

腹痛の原因は腸の不完全活動だろうとのことで昨夜は九時半、今日は二時半、浣腸をした。速効があったとは思えないのだ。通便がよくない。今日はひる間から腹痛がひどく、小川、花田両先生が対応に迷っておられるようだった。十時に腹部透視をして昨夜半のそれとくらべられたが、胃透視の時のバリウムが少々排便された程度で依然腹部のガスが圧迫しているのではないかとのことである。夜のねむりがよくないためか、ひるま十一時から、又一時から、それぞれ一時間ほどぐっすり眠っていたらしい。夕方少々気分もよく、佐々木君がもってきた決裁をしたり、日記を書いたりの時間にあてた。みゆき、藤江の二人がまた来て夕食は病室で森山、古沢をまじえ四人でたべていた。古沢氏は、今日はラッキーだったといい、八時頃に引きあげた。外は雨の音。腹痛もしばらく止っていた。

7月5日（土）雨

下剤を用いてようやく便が少し出るようになった。昨日まで浣腸しても一寸しか出なかったのだ。腹痛がつづいて苦しんでいるのだが、小川副院長、花田主治医が相談してなお原因がよくつかめないという。月曜日に腹部CTを試みようとのこと。一時すぎ、腹痛対応として新たにブロッカー本の施術をしてもらったが、これは大変痛かったし腹筋に力が入らなくなって、ねおきが不自由になり、ひとの手を借りると楽になるという始末。腹の方はホットバッグをもらおうと気持がよい。夕方経済学部の大屋教授が見舞に来てくれて話し込んだ。話の中で前柳川市長乗富氏が策謀のため罪に陥れたとのこと。自民党内の政争に巻きこまれたのである。近藤氏の場合を念頭においての話である。行政学の近藤、川上の二人と衣笠、八丁、それに秘書の佐々木が加わって問研で討議した結果、各種可能性が論議されたが、やはり意見は不信任・解散が本筋であるとのことである。徳本正彦氏も強くそのことを主張していたとの話。自民がこの筋を避けるにちがいない。

7月6日（日）曇小雨

ダブル選挙投票日。昨夜は藤江、みゆきの二人は病室に泊った。よく眠れなかった。依然、腹痛はげしい。腹の方のブロックを重点にお願いしたが、首の方も必要とのことである。十一時に中村室長と近藤副知事が来室。副知事の辞意が伝えられた。林出納長も来て、そのことでかなり話しこんだ。事務方の意見をまとめてくれとたのんでおいた。四時、岩崎、八丁の二人が来室。近藤氏の話はマスコミをはじめ組合や党にも流れているようだ。これ又仕組まれた筋書きの話だから、かんたんにOKするなということである。重大問題になったわけだ。議会・警察から仕組まれ近藤に圧力がかかって、辞任すればあとは穏びんにやってみようという条件というわけだ。明日以降この問題は急展開するだろう。午後の腹痛は従来より少いので、今日は二日分の日記を書くことができた。この調子がつづけばいいが……。

7月7日(月) 小雨

衆参ダブル選挙開票。自民党が大勝、社会党が大敗。枕許では一日中テレビがつけられていた。首まわりのガーゼ及びその関係のブロックチューブは取り外され、すっきりした。腹の痛みも今日一日比較的に軽く経過した。朝九時に腹部 CT 撮影があったが、内臓には異常ないとのこと。だったら腹痛はヘルペス関連というほかないと考えられ、胃、腸全部を洗滌してみてもどうかとの案が出され、この施術が十日からの県議会にかかわってくる。そうでなくても今回のヘルペス治療そのものが中途半端でいけないとなると、議会にどう対応するかが問題になる。大塚副知事が来室したし、佐々木、古沢両氏が来て、病院生活スケジュールと県議会との関係を医師と話合って帰った。議会日程に影響が出るほかないということになったようだ。衆参両院の新議席と今後の県政との動きが微妙にからまってくるとの予想が立てられている。そこへ私の治療問題がからまる。ますます予断許されずである。

7月8日(火) 雨後曇

長雨で河川は大変な増水。今日は調子がかかなりよかった。午後造影剤を使つての膀胱、腎盂の検査があったが、結果は異常なしとのこと。朝から近藤、大塚と副知事が相ついで来室。県民の会の内田、大塚、山口の三人も。そして夕食後は岡松社党県議団長が来室ということですので近藤氏の辞意表明をめぐつてのあわただしい動き。十日からの本会議前に近藤辞任を知事が認めるかどうか焦点。他方病院では私の病状を県議会にどう報告するか、議会への出席は無理という方向での医師の見解が記された。議会側が明日の代表者会議でこれをどう扱うかが問題である。社会党県評の側では近藤氏に会って極力慰留につとめているが、辞意は堅い。彼の今朝の来室のときも、各紙に報道されているとおり、ベストの途として辞任するというのである。岡松氏は県議団長として近藤氏の辞意の堅いことを認めざるをえないが、最後は知事の判断に異存はないという。

7月9日(水) 雨後晴

もうあがったかと思ったのに午前中大雷雨午後には晴れた。症状は快方と思うが、まだ左胸部はピクツとする痛みが残る。午後痛んでいた後頭部に注射をうけた。見舞客としては中川一義、牧坂、山村、渡辺四郎、石橋としお、東定、木下、岩元先生夫妻、是松夫妻など。そのほか、大塚副知事、社会党、県評役員、県議団(林、岡松、助信)ら。副知事解任問題で、明日からの本会議にどう臨むかをめぐつて意見あれこれ。まことにわずらわしい限りであった。行政、議会、運動それぞれが解任について問題を持ち込んでくる。全部をまとめるのが知事だということだが、それぞれの例の理くつがつけられ不統一なのである。いずれ明日のひるまでに決着せざるをえまいが、それは議会がどう転ぶかと関係する。時間にせまられての決心でよいとせざるをえない。あなたまかせでもよい。みんなが煮詰めてのことであればよい。今日は藤江、みゆきは午後來室しなかった。九時就寝。

7月10日（木）雨後晴

今日も朝のうち大雨。北部九州、西中国地方には警報が出される。午後は陽光。今日からの県議会は代表質問。大塚副知事が答弁に立って正常に進行した。自民は新宮氏を立てて知事不信任案をほのめかす演説をしたと夕刊は報じた。その自民が参院地方区で公明の桑名を振り落とし（本村を当選させた）ことで両党間のなれ合いがキシミはじめているから面白くなりそうだ。体調はかなりよいが、後頭部に痛みが残り胸部の内腹面もまだまだ。つづいて例の硬膜外室へのブロック施術があった。とてもいやな痛みを伴う施術だ。ひる前に久しぶりにシャンプーをしてもらって爽かになった。見舞客は小林栄三郎夫人、細谷代議士、その他職員として樺島、松尾、力丸、永田ら。私は彼らから職員の声をきいた。近藤がんばれといっている。

7月11日（金）晴

平常どおり六時のブロック、三六度一分。それが午後一時すぎに三七度一分に上昇。一時半に宮原医師により首部星状神経ブロックをうける。痛かった。発音不全となる。二時半体温上昇の原因とみられる背部のブロックだが、そのチューブを抜く。胸部、頭部の痛みが残るので、抜管に若干不安が残る。今日も多くの見舞客があったが、とくには山ノ上ホテルの社長夫妻、二度目のコウ君、労働党の大倉、井上両氏、大塚副知事、松岡功県議らである。県議会は代表質問二日目でも社会党山根氏の場合、県警への質問が省略されたことには私は不満が残った。むしろ、鋭い質問をしてほしかった。なぜ山根氏はやらなかったのか、社党内部に弱味があるように思えてならない。警察の今回のやり方はどうみても不当であるのに、それを質す立場にある社会党しかないのに、質問予定から除いてしまったのだ。夕方、藤江、みゆきの二人が来て夕食を病室で共にした。情報によると今日、右翼が病院近くおしよせたとか。異状なし。

7月12日（土）雨、曇、晴

午前三時と午後八時に、痛みのため座薬注入をしてもらった。見舞客もと思ったが、先日の堀江さんが再びタズ草をもって来てくれたほかは来客はなかった。床嶋氏が決裁を求めに来たのと、午後九時になって佐々木氏が研究会が終ったの立寄りとして来たのと。むしろ閑散な一日だった。夕方藤江君が来たので、洗髪を手伝ってもらった。入院後二度目でさっぱりした。佐々木氏の話では、県民の会と県執行部側との間に意見の開きがあるが、近藤辞任は認めるしか途はないという県側の意見はだいたい了解されたようだとのこと。古沢氏がいていたように、この際、大幅に休みをとって養生につとめ、県議会も月末の政府陳情も抜いてしまいいいではないかと佐々木氏はいう。いずれ病院側と相談することになるだろうが、この病気が大変だという事は万人の認めるところらしい。多くの経験者があり、知事もこれに罹ったということで、带状疱疹がさらに一躍有名になってしまったとのことである。

面白い現象である。

7 月 13 日 (日) 曇時々晴

今日も三時半から断続的な胸腹の痛みがあったが辛抱しつづけた。午前には三笠、午後は森山がきてくれた。日記が辛うじての仕事といえる。字もたどたどしい。大石氏、岩崎、島野両氏が来てくれた。島野氏にはかなり長く話す時間があった。社党議員団の及び腰に同様の不満を表明した。岩崎氏の娘さんが来て、らん雑な切り花を整理して生けかえてくれさっぱりした。一寸した工夫でよくなるものだ。九大教養、西南と移った西原忠毅先生が見舞に来ての話では、彼も、岡田武彦先生も、今年の春、同じ病気で苦しんだとか。同類少しとせずということか。左肩を中心に、麻痺の皮膚ひりひりと肩のこりがつづいていて、これさえなければと思ったりしたほどにさっぱりした夕べであった。昨日同様、みゆきと藤江君は夕食を準備、共に夕食して夜は帰宅した。このまま痛みがひいてくれると、あと一週間で十分ではないかと思える快調。外は小倉祇園、博多山笠で、福岡は昨日 25 万人の人出だったとか。18 日にグリーンピヤ八女がオープンする。ゆっくり行ってみたい。日曜のゆえ今日は医師の回診はなかった。

7 月 14 日 (月) 曇一時雨

昨夜からひるまで、平穏な時間が流れた。午後は来客が次いだ。見舞客では、徳山、高木、青木、福田の四人 (福岡女性会議) 中山日出子さん、元日赤の藤井さん、中国領事館金総領事、滝井田川市長、朝鮮総連金委員長、古賀東京事務所長、コウ君、元秘書室の加賀、野田両女史らである。政治談議のため、岡松、林の両県議、八丁、それに竹村俊夫氏。これらは、近藤辞任問題にどう対応するか、日程問題を含め対応せざるをえぬ日がせまっているということについてである。その日を来る十七日にしようという点で一致した。内容は近藤氏を十分ねぎらいつつ、その辞表を、慰留を前提としつつも了承せざるをえないというところをもっていくこと、議会の解任決議とは関連させないということであった。十八日には記者発表になるという日程である。この線で議会の根まわしがおこなわれる。すいすいいくかどうか。

7 月 15 日 (火) 雨後曇

昨夜来かなり降りつづいた。各河川は大増水だろう。まだ雨は残るとのこと。今日は三食とも流動食で、気分のせいか元気がでない。痛みは少々ゆるやかになった。四～五日つづけてやっている首への麻酔注射も、今日はひどくないやなものではなかった。県職労の中村、橋口、共産党の両県議高、塩塚が見舞に来てくれ、東京総評大会へ出席の岩崎県評事ム局長も電話をくれたので、十八日には近藤辞任を認める発表をする段取りになっている旨の了承をえておいた。室長が来て、今議会にはもう出席をあきらめ、養生にあてる方向で話を進めてみ

ようとのことであった。九月議会前に臨時議会の要求があればそこで対応してよいというのである。病院生活がだんだん長びくので体調が元にもどるのに時間がかかりそうだ。体重をはかってみたら52キロしかなかった。2キロ減っている。早朝追山笠でマチはにぎわったようだ。そっと抜け出してみたいようだった。

7月16日（水）晴

下剤がかかっていて、昨夜は三回も起きた。六時半に加えて座薬注入で下剤がかかる。八時から腸の透視。これが一時間近く。何ともいえぬつらい検査だった。検査後はバリューム除去のためさらに下剤がかけられ、消耗してしまった。午後は今日もノドの注射と来客が重なって、てんてこまい。注射には馴れたが、これがあと十日つづけられるとの日程相談だ。午後の早い来客は東京の高橋正雄氏。そのあと土井仙吉氏、木梨弁護士、九響の森部さん、今吉まさえさん、夕方になって篠原文治氏、夕食時に安部靖弘夫妻が来てくれた。社会党の県議団、衛生部長、それから宮田まつりの某実行委員長も。入れかわり立ちかわりの見舞客であった。室長、主治医で、明、明後日の打合わせをしてくれた。二十六日か二十八日まで入院するのがよいとのことなのだが……

7月17日（木）晴

昨日はねむれぬ夜。左の疱疹が再活動しているみたいで、ねていると首がこすれて痛い。五時半起床してシャワーを浴び幾分すっきりした。九時、予約の整形外科で両手の一〇本の指につき診察してもらった。変形性関節炎という。薬をいただいた。二時に近藤副知事来室。最終的翻意をすすめたが辞意固く動かず。彼は帰庁してその旨記者会見していた。午後八時半大塚副知事（全国知事会広島より帰福ののち）林出納長らが来室し、明早朝に辞職承認の辞令を出し、記者への知事コメント発表、さらに代表者会議で入院加療延長について同意を求める等々の段取りについて話合った。これが、夜十時までかかった。今日の主な見舞客は岡田成則氏、徳本正彦氏、酒匂県副議長、中村香春町長、大牟田市免田栄氏及び八女の松尾久美子市議他八人の女性であった。

7月18日（金）晴

九時前人事課長来室。近藤辞任承認決裁をした。議会の全特では大塚副知事に職務代行をさせるべきとの議が代表委ででて、そのようになった。いらんこととは思いますが……。今日のブロックはとくに痛かった。見舞客としては川崎志免の両町長、日赤野間事務局長、西日本新聞の熊谷、小野両記者（これは転勤などあいさつ）、それから元教養部長の岡田先生であった。近藤副知事がすべてすませてきたとのあいさつに来室。これから三役の送別会があるとのこと。五時十分から県庁玄関で職員たちの盛大なお別れ見送りがあったという。そうしてくれてほんとうによかったと思う。彼もさばさばしていた。

7月19日(土)曇一時雨

平穩の一日。大川市にある清力美術館が閉鎖されて一ヵ月近くなり、所蔵の青木繁の絵について、その行方保持を心配する向があり西日本新聞にのったこともあり、気になっていて県立美術館の対応につき打診したら二村副館長が早速来室(館長は友野)、よく説明してくれた。一億円相当のものが一幅あるが相当いたんでいるのと、清力の側であちこちに当り、できるだけ高価にと狙っている、但し県外に買われるのでは県の立場が問われるとのことであつた。しばらく様子を見るよう頼んでおいた。午後は是松氏、畠中県議夫妻がきてくれた。何事もなく過ぎ、いつものように、みゆき、藤江の二人が来て夕食を共にし、秘書室、中尾、星野の二人が帰ったあとは、テレビでオールスター第一戦をみて時間を費した。ひるまきていた杉山君は、県評幹部らの集りがあるという夕方退出したが、彼には、知事も早期決戦に出る構えがあると伝えてくれるようたのんでおいた。

7月20日(日)曇

平穩の日がつづく。頸が若干痛いほか、ほとんど健康といえる。日曜で治療もない。ただ体温が三七度近く高めなのが心配だ。ついてくれた秘書は前半が古沢、後半が杉山。見舞客は江頭夫人とコウテンリム君。彼はブルドック二頭に一〇頭の仔犬を産ませ、その飼育に力を入れている。盲導犬を飼育することについて意見をのべていた。南方諸国に輸出してもいいということである。禅問答の「一行物」について読書したり、ひるねしたりして時間を過ごした。杉山氏については私の警察観について意見をのべつつ、県民の会レベル、県政推進共闘会議、県政プロジェクトなど各レベルの意見への反映に努力してくれるよう期待した。入院も、あと一週間ですむことを祈る。入院中の面会者一五〇人をこえるらしい。

7月21日(月)雨一時曇

昨夜は首のまわりが痛み苦しむ夢をみた。事実かなり痛んだ。が起床して快くなった。そんな状況がここ数日つづいている。ひる間は平穩にすぎ来客も少なかったが午後おそく夕方にかけて天皇在位六十年式典のことで議会の総務委員会がはねていて大問題だと佐々木、次いで、総務部長、出納長副知事らが来て、民間行事に県が相乗りする方向で自民党がごねはじめているので知事は同意してくれというのが、来室の趣旨。不信任案を考えているという自民党がこの段階で何いうかというわけで佐々木を帰したのに、総務部長ら三人で私を説得に来た形。社会党の野原県議も同席したので、私は一步後退。彼らは待たせている委員会の正副の長にこれからかけ合うというのだ。一任するといつて帰ってもらった。食い逃げを策する自民党である。

7月22日(火)晴

昨日とちがって、来客の中に県政とくに議会関係がなくてよかった。但し、岩崎氏が電話で、

天皇在位六〇年式は県主催を譲るなどまきかえしてきた。運動体の方でどンドンやってよといっておいた。共催になると右翼が入る可能性もあり、それでは運動体側の非難が強まると彼はいう。この問題を扱う総務常任委は空転していたが、夕方に再開されたという。今日も一日医師による措置なく平穩に経過。見舞客の主なもの、午後、近藤氏辞任あいさつ、元副知事永井氏、清進会諸岡、樋口県議、大坪管理者であった。諸岡氏は私の退院後の深江での静養はOKだとの返事をもってきてくれた。近頃は退院後のこと、見舞客への御礼のことなどが話題に出るが、大丈夫だろうか。

7月23日（水）晴

今朝の左首が妙な痛み方で目が覚め起床後しばらくいやな思いをした。程なく痛み方も平常にもどった。まずは平穩な一日。ひる藤本女史が来て森山と中食を共にし、大島、小石原の姉妹村締結を祝う色紙を書いた。材料は彼女が準備してくれた。明朝町村会館で調印式があるという。小川先生の回診ではテストテープがプラス値を下げているのに、血糖値が依然高いので、ライスの摂取を減じた方がいいとのこと。両者の関係についてどうなっているのだろうか。室長が朝のうち来室し、仏教の話をして帰った。色紙への揮毫は久しぶりの思いで、全くうまくいかずいらした。手の練習も必要であるようだ。議会は明日に保留質問をくりこしたようだが、明日中に議了するのではなからうかということ。藤江みゆきの両者は朝来て、夕方はこなかった。

7月24日（木）雨後晴

昨日同様、今日も夜なかの一時～三時に痛みがひどかったが、明けてしまって起き出し洗顔するとなおって爽快となった。ひるすぎ、大島、小石原両村長が、姉妹式への色紙あいさつの礼に来室してくれた。主たる見舞者は岩元教授（県民の会拡大幹事会報告）、豊島測量業協会長、登島、斎藤両局長、河野和正氏、大塚副知事夫人、福岡貯金局婦人部の四人（千羽鶴をもって）であった。夕方、県庁内理髪部の方から出張さんぱつに来てくれた。二ヵ月分のびた髪がさっぱりした。県民の会では一〇〇条委設置要求、天皇在位六〇年式とりやめの二つの署名運動をすることに決めたという。後者は運動化がむずかしいようだ。——岩元氏談。

7月25日（金）雨後晴

はじめて痛みのない一夜を送ることができた。今日は外泊する予定をたてていたので都合がよかった。九時すぎ大塚副知事出納長ら当面の事情の報告にきてくれたほか、県民の会の山口氏ら知事の暑中見舞状について連絡に来た。労働部長ら、それに、青対課の松永氏、土井仙吉、豊瀬企画部長（これは中央陳情の件）山口商工部次長は中国商談会旅行の報告、それに土産品、又深山喜一郎夫妻が見舞に来訪。彼はまだまだではあるが相当に快方に向って

いて、発音もできる。が、足が不自由なようだ。森山君が深江に事前点検に行ってくれた。後保養のことである。六時すぎ出発。自宅に外泊。

7月26日(土) 晴

外泊し、平素の生活の空気を味わい、十時に又病室に戻った。秘書室長が来て退院に関する諸準備について相談していった。病室付き看護婦には昨日色紙を一枚ずつ贈った。数は十六枚。為書きを求めてきた。今日も気分良好。来訪者相次ぐ。能楽堂に坐像をという井上義人さん、中西代議士、木梨、吉村夫人、林県議、岩村農政部長、一ノ宮次長ら。所望により鈴虫の籠を三個もって行き、一つは総婦長、他の二つは藤本、丸本に贈った。一センチほどの大きさになっていて、かわいい。六時帰宅で今日も外泊だ。

7月27日(日) 晴

やっと梅雨明け。例年より十日おそいという。九時五〇分に病室に戻る。三笠君が車で迎え、夕方までついてくれた。今日も痛みなしですごすことができた。訪問者は近藤氏夫妻、古賀次夫氏、コウ氏一家全員、嶋津、白石県議夫妻。今日は社会党県議団の会議があり、徳本正彦氏が講演したという。白石氏とは近々に周辺の者が集って情勢討議をしようということになった。夕方みゆきも来室し、帰宅退院をひかえて身辺整理をすすめた。いよいよ入院最後の夜、筆墨にごむさたしていたし、身辺にそれがあるので寝るまでの間、少し字を書いてみた。少しは病院に残していくこともできる。ただ病院は机なくて書くのに不向きである。帰宅すると少々ひんぱんに筆をもとう。

7月28日(月) 晴

この夏最高に暑いといわれる今日、朝六時半に起き退院の準備あれこれ。中でもたくさんもらった薬の服用方法の熟知が気になる。九時半になると家族、秘書、広報など各方面から来て片付けや記者会見の打合せを行い、中食はいつもより早目に取り、医師、病院事務、看護系などあちこちにあいさつ。そして一時から四 F 会議室を借りての記者会見。大げさなので一寸てれ気味だ。すませて院外で開業のペインクリニック宮原護医師にもお礼に行き、その足で帰宅する。二時すぎであった。身辺整理に時間がかかる。明日、糸島の田中別荘に行くことになっており、その準備もせねばならなかった。帰宅直後県議会関係に電話で退院あいさつも全部済ませた。姫路和代からソーメンのことで送った由連絡あり。

7月29日(火) 晴

退院第一日。二丈町の別荘をかりて今日出発の予定だったが、苅田の村谷県議の母の死去で、明日の葬儀にみゆきが代行でいくことになり、一日ひのべすることになって今日一日ごろりごろり何するとはなしにすごした。書斎の模様替えやたのまれ色紙(二八枚)を書いた

のがせめてもの成果といえようか。書齋は本やら書簡やら物置き同然で、夏に開ける窓も手がとどきにくいので手がとどくように机の位置をかえ、物を動かしたわけ。読みもしないだろうに本が一ぱい。それでも持っていることに意義ありということで捨てるのも惜しいわけで、邪魔になるのにすてきれない。早く寝ようとして床についたらマージャンをしようというので起き出でて十二時頃まで遊んでしまった。そうだ、何枚かハガキを書いたのも成果といえようか。ともかくゆったりの一日だった。

7月30日（水）晴

十時、みゆきは葬式に行き、私は二丈の田中医院別荘へ。南向きの海浜で借景上も申分ない。一寸散歩に出たがまだ足腰が十分といえないことがわかった。中食は藤本さんが作ってくれたソーメン。夕食は葬式から帰りのみゆき藤江君もまじえ、スキヤキに舌鼓を打った。午後の早い時間に諸岡氏が孫二人をつれて訪問してきて森山君がお伴をして海水浴に行った。港の防波堤の上では終日釣を楽しむ人が数人いた。セカンドハウス、別荘をもつことのよさがわかるが、一定以上の収入なしには維持できないことも確かだ。一間の広縁、三室、炊事場、浴場など完備しているから大したものだ。もちろん冷房も十分で寒すぎるくらいであった。

7月31日（木）晴

日の永い一日。午後藤江君が午睡をする。私は昨日のつづきの草取りを一時間。シャワーを浴びてパンツ一つで南向きの広縁で「仙厓百話」をよみつづける。海をへだてて南にそびえるのが一貴山とかいっていた。のどかそのもの。釣人はひとときいなかったのに、夕方になって五人、六人にふえた。昨日も今日も山は霞んでみえる。鶯の声、蝉の声、そし草むらにはかよわい虫の声。すべてがあるがままの自然だが、山の中腹を横切る二丈浜玉線高速には車が左右に忙しそうに走っている。何をしようとしているのだろう。自然にそむいてはいないのだろうか。林出納長から電話があって、私のテレビうつりが（退院の時）弱々しくみえたので十分休養して体力をつけるようにとのことであった。

8月予記

下旬に県議会が臨時に開かれ、知事の責任追及とくるかも知れないというのでその準備と、体力の回復につとめるというのが今月の主たる課題である。四日から入院後の初登庁ということになる。途中、上京の仕事が一件あり、帰路、姫路に寄って兄の初盆まいりをするということになる。いずれにせよ、臨時県会となると対決しかないので、今月末はそのヤマ場になるかも知れない。ただ自民党が知事候補をきめかねているので対決になりにくい要因もはらんでいて、事態は甚だ流動的である。上中旬にわが方の態勢をきめていかないといけないだろう。政治の季節になるのでその備えということだ。

8月1日(金)晴 雷雨

十時半に別荘を退去し、一たん帰宅して後、一時に済生会皮膚科の診療に行く。内科にも行きいつもの検血をする。とくべつ訴えるところもないので二週間余りして又みてもらうこととし、今日はOK。病院に若干の事務をもちこんでいたので応接室でそれをすませる。あと帰宅して身辺整理の時間とした。暑中見舞など対応すべきものにハガキを十枚ほど書き、一ヵ月以上ごむさたしていた高野切を若干書いてみた。夕方に近い頃、はげしい雷雨があったが、それまではカンカン照りの一日であった。午後早目にローフレンズからとして石村善治教授が見舞品をもってきてくれた。教授の兄の善右氏著「仙厓百話」を読んだ旨話したらよろこんでくれた。事務の上田氏同伴。

8月2日(土)晴

朝のうち高野切を書いた。午後早く森山君が連絡のため来宅。(退院御礼文案)午後一時から衣笠、八丁、安達、大塚、白石、嶋津の六人が来訪、当面の県政について論じ合った。これは八月後半から展開される野党攻勢に対し、基本をどうすえてかかるべきかについて、各方面に働きかけることを目的として私と白石、八丁らで企画したものであった。野党攻撃には一歩もひかぬ構えの必要性が確認されたと思う。しかし、党、県評、県民の会の三つの内部事情がそれぞれに誠にお粗末との指摘もあった通り情勢はきびしい。これまで行政と議会対応だけでまわしてきた県政が行詰まり、政治的対応の必要な段階に来ていることについても認識は統一できた。夕食後、こんどは木梨、古味、門田見、ら六人の地域懇グループが来訪苦口^(不明)を話合った。

8月3日(日)晴

休み。五時に起きて便所に行き、ねむるとはなく床にいと、いつしか八時頃になっていた。快気御礼の手紙原稿を墨字で書いて時間がかかった。五～六回書きなおしてやっと七割のできであったがあきたので仕上げとした。午後早く岩雄さん(発明家の鈴木氏)が来てしばらく話して行った。荒唐無稽ともいえるホラ吹きがいいのだという。まじめに考える生涯であることには間違いない。早目に河野さんと呼んでマージャンを楽しんだ。午後八時ごろに切り上げた。夕方コウ君も来た。又午後早めに引越した隣人伊藤氏も来たので、頼まれていた表札を書いてあげることができた。

8月4日(月)曇

退院しての初登庁(九時)を玄関前でカメラマンの放列にあう。社党だった多賀谷衆院副議長があいさつにみえた。三役協議のあと、県会の正副議長に登庁あいさつ。十時半に記者会見。十一時部長会、三〇分に八幡大学学長の要請訪問をうけ、職員食堂で中食ののち、議会の代表者会議で退院あいさつ、というふうにあわただしい日程がつづく。レク、レクとつづ

き、決裁案件もあって多忙をきわめた。午後五時秘書室職員にもあいさつ。又林県議事務所にも退院あいさつを行い、六時、稚加栄での近藤前副知事の退職送別の部長会に出席した。あちこちまわったので、かなり歩いたのだがまだ足腰が正常でないし、首にひりひりが残っていて若干不安を感じず。それでも動けるようになったのでよろこぶべき。長期間にできた穴埋めに全力をあげよう。

8月5日（火）晴

庁議記者会見とつづき十一時から都久志会館で高教組大会があつてあいさつ。これは帰宅後原稿用紙に書きなおして出すことにした。ヒルは記者クラブの送別会（NHKの林、RKBの柴野）。一時半から（特九）交通安全対策会議。ここでは死亡事故多発警戒宣言を明日出すことに決めた。二時一五分マレーシア大使の表敬訪問。三時半から九地建の局長を主客とする人達との会議。建設省関係の事業についての局と県との方針を確認し合った。比較的早目に帰宅したが、高校教組でのあいさつの原稿書きやハワイとの高校バスケット交流派遣団への色紙書きなど時間のかかる仕事があつて、今日も夜おそくまで仕事があつた。足腰の鍛錬が一日も早からんことが望まれる。

8月6日（水）晴

あつい日がつづいているが、全く外にさらされない身で、それが肌を感じない。体重は五三・五kgで平常値である。今日の主たる仕事は九〇三号室での死亡者叙勲二三人分。ひるは中立労連の清水、西橋、山田の三人との中食会。当面の県政の政治的位置を話した。彼らも〇〇条委設置要求行動に同調している。決裁その他をすませ、帰路問研に立寄る。彼女らもワープロをやっていた。三時前には帰宅。依頼されていた「中川原橋」揮毫と、森山先生追悼文集の原稿を書く仕事でけっこう時間がとられてしまった。森山氏を偲ぶ文では二〇〇〇字。五二、三年当時の日記を引き出して学館正常化大事業の経過をしらべてみるのに先日から時間がかかっていた。この二つの仕事が片付いてホッとした。中元、暑中見舞、快気祝の問題が残っている。

8月7日（木）晴

真夏日がつづいている。登庁して十時から新長期計画の実施プラン作成プロジェクト委員の発令式に出て辞令を渡し訓示をした。十一時から国鉄整備促進期成会の総会をサンパレスで行う。分割民営化がはじまるに際し、これを協議会に改組することを決定した。一時からKBCの買取番組「サンデー福岡」の録画とりがあつた。八月十五日（終戦）にちなんだ内容である。このあと、三時から、明日と明後日の「県政サロン」二つ及び対話のつどいについての広報係りとの打合わせを行う。相当ハードなスケジュールを消化していかなければならない。入院中の広報スケジュールの積み残しを消化しようとしているわけだ。辛抱

するしかないだろう。夕方、荻田不動産が来訪した。

8月8日(金)晴

体調は悪くはないが、問題は眠りが十分でないことだ。小用で二度も目をさますのがいけない。ひるま、周辺の窓を開けばなしにしていると、クーラーをつけなくてもいいほどに涼しい。秘書室の方も暑いので誰彼と休暇を取って有意義にすごしているようだ。今日は明日からの姫路及び東京ゆきの準備をしたこと、七月の長期入院に対する見舞御礼対応について整理をしたことが主な仕事。見舞者は一五〇人にも達するわけ。又午後はRKBスタジオに出て、二つの「県政サロン」、即ち救急医療体制と情報公開がそれである。夕方久しぶりに裏庭に出て撒水した。草木がひどくやけている。でも大そう蚊に食われた。

8月9日(土)晴

早めに総務部長が来室して天皇在位の式典の方向について(共催方式)態度をかためたいとあったので了解したが、社党の白石氏に念をおしておくよういっておいた。九時半から「いのちの電話」などボランティアグループ婦人たちとの対話のつどいを消化。十一時四〇分ハワイ州との交流バスケット試合に行く一行が来訪して、あいさつを受けた。十二日に出発すること。中食は「そば」屋の組合の人達の来訪で「そば」をごちそうになりながら懇談。一時二〇分大博多ホールでの県社会党大会に出てあいさつをした。あと、二時二分発の新幹線で姫路に行く。兄の初盆まいりが目的だが、宿を小嶋と決め駅で迎えの車でおじゃました。随行の森山氏は夕食後駅前のホテルへ引きあげた。

8月10日(日)晴

昨夜は刀出から晴久も来て少々おそくなったが今朝はゆっくりし、十一時前には英賀保の兄のうちへ行き、形ばかりだが、初盆まいりをした。福岡銀行や西日本銀行、大分県知事、谷市長から初盆札が来ており、ことに両銀行からの提灯、とくに福銀からわざわざ公金部長らが持参してくれたことに恐縮した。早目に姫路を出発して大阪へ。新大阪駅近くのレストランで浅沼組の江崎氏と密会。知事選に関する情勢の一端をきかせてもらった。六時に東京ふくおか会館に着き、和室に一彦一家、啓二、直美を呼んで夕食会をした。美可、久美、ライヤは事情あってこなかった。午後元労働部長の伊藤氏が来て、マージャンをすることになった。

8月11日(月)晴、福岡は夕方雷雨

今回上京の目的は七月二十八日の六二年度政府予算陳情に欠席した尻拭いを最小限やっておくことだった。文部省、エネ庁、運輸省、麻生代議士、劔木事務所などぐるまわった。それともう一つは企業誘致PRビデオ作成を依頼していた電通の要請で、経団連副会長花村仁

八郎氏とニューオータニのなだ万を使って対談するという仕事だった。東京事務所と企業立地対策課の努力で日程はうまく消化できた。九日の甲子園夏の高校野球大会で福岡出身西日本短大付高校が第一回戦で負けたので、西宮にまわる必要はなくなり、夕方の便で帰福した。帰宅は午後八時半。福岡は五時頃から雷雨でいいおしめりだったとのこと。

8月12日（火）晴

今日は休務。県民の会から出した暑中見舞状が返送されてくる。数えたら七～八〇枚になる。アドレスも何も書かずに投函したもの、全く届きそうにない書き方をしたもの、その他地名にないものなど書いたのもあった。アルバイト者がいい加減にやっている例である。三%か五%は移住先不明ともいわれるが、この場合も郵便当局側配達者が探す気のない場合が多いようだ。ともかく、当方のミスよりも相手のやり方に腹立たしささえ覚える。出版物の原稿を少々書いた。開放しているとかなり涼しい。午後は河野氏が来てマージャンをした。夜おそくなって直美が帰省した。

8月13日（水）晴

九時半オープンの岩田屋化学展に行く。日本化学会の第五回目の主催で教養部の安東、松原の両氏ら大学教授連がスタッフとして来ていた。教育大の船越氏らも。終って登庁し決裁などすませて初盆まいり四件。上杉佐一郎氏の奥さん、監査委をしていた藤本治久、小林栄三郎、浜正雄の三人は本人の死亡である。五時すぎには帰宅できて夜は原稿書きができた。夏の夜はねぐるしく、ひる間の行動はそれだけけだるく疲れた感じ。健康によくないことがわかる。できるだけ休む時間をとることだ。直美は帰省しても相かわらず友達がどうのこうのいって出あるいている。もっと家庭内でゆったり話をすればいいのと思う。

8月14日（木）晴

出勤なし。色紙と条幅の揮毫、それに原稿書きの一日だった。カンカン照りですごく暑い日でもあった。午後河野氏を呼んでマージャンをした。直美が夜友人を連れて来て泊めるというので、私は床をうつしかえねばならなかった。フクロウがなっている音がきこえるが、どこなんだろうか。たしかめたいようにあるが暑いので面倒だ。色紙二五枚、条幅二枚、原稿二〇枚は今日の大きな成果だ。藤江君が近頃パソコン教室に行っていて、うちでもキーをたたく練習をしている。昨日は県庁内のくわしい人に機械を購入するとすればどういう条件かをきいたが、藤江君は手に入れたがっている。リースでもいいようだ。何とか彼の要望をかなえてやりたいとは思っている。

8月15日（金）晴

今日もかんかん照った。十一時五〇分から武道館で例年のように戦没者慰霊式が県主催の

もとおこなわれ、知事が式辞をよみ黙禱。以下献花まで。これは全国的な規模で各県、中央が行っている。遺族会代表が、靖国公式参拝を希望するということを強く主張したが勝手ないい分のようにきこえた。代議士や県会議員の紹介宣伝が大きすぎるようにも思えた。余の時間は原稿書きや古切手の整理などにあてた。昨年の県民大学での講演の原稿化の仕事は数日来今日で完了。二〇〇字×一〇枚になった。このような知事実践の記録の方が論文調のものよりいいような気がする。直美の友人二人とみゆき藤江君の運転する車で計五人が平尾台、関門橋などの見物に出て、ひるまは私一人だった。

8月16日(土) 晴

十一時にももちパレスで県漁連壮青年部大会があつて出席あいさつ。密漁の問題はやはり大きな話題であった。十三時篠栗の総合教育センターグラウンドで県子連育成会の第三回ソフトボール大会があつた。例年のように各チームごとにスナップ写真の要請があり応じたが今日も暑い一日であつた。三時から黒田荘で県政懇談会があつて六月議会以降今日までの県政界の動きが話題にされた。話が不時の知事選にしぼられたが、自民党がねらっている福岡市長選の知事選への重ね。ダブル選挙の見とおしのうち、市長選への対応については誰もがいい発言ができなかった。夜はおくれている原稿を若干進めた。こん談会出席者大屋、衣笠、石川、福留、岩元、徳本、八丁、安達、佐々木、大塚、の各氏。

8月17日(日) 晴後曇

七時半に出発。大牟田延命プールでおこなわれる県民体育大会(水泳大会)で会長としてあいさつ。しばらく競技をみたあと筑後市へ。前津地区のブドー撰果場、ブドウ園ナシ園を視察した。前津公民館で中食をいただき八女市西部農改普及所で知事との対話事業に出席。これには大川から立花まで一七の生活改善グループの婦人たち二六人が出席した。一時半から四時ごろまで、なごやかなうちに対話は終わり、五時すぎ帰宅した。雨が欲しいが雨気ももう一步足りない。生活改善グループの婦人たちは平素農家を背負い、水稻だけでなく、野菜、果物の商品作物に精出し、高齢者をかかえながら家事を切りまわしているだけに、生活態度が実にまじめであるので感心した。直美が午後七時の便で帰京した。

8月18日(月) 晴

木村県警本部長が九州管区局長に栄転しあいさつに来た。手荒いことをする者ほど割がいいようだ。ベスト電器の北田新社長があいさつに来てくれた。幅広くやっているの、九大卒業生を採用したいがといていた。午後二時半油須原線跡地処理を考えるべきだということで関係三町村の長が私に運動体(協議会)の顧問になってくれとやってきた。あと、朝の放送と明日の対話のレク。今日は午後早く出勤し、帰宅は六時半という早目。帰途、北京堂に立寄って北鮮からの手紙にこたえるべく篠原氏に依頼する件があつた。夜は手紙書き

で費された。藤本（秘書）のうちでは鈴虫が鳴きはじめたといっていた。うちもそろそろか。

8月19日（火）晴

一〇時の記者会見からスタートしたが、早目にスコーレ若宮に着いて中食。一時に若宮町公民館で開かれていた全林野労組九州地本の大会に出てあいさつ。二時から井田町長の案内で身体障害者授産施設たる民芸庵、その隣の竹原古墳、若宮八幡宮の岩佐又兵衛三六歌仙像画、清水寺、楠水窯のはにわ園など視察（白石ぶどう園も）四時半から六時まで村おこしふるさと対話（スコーレ若宮）に参加した。終って裏庭でダシモノ司書太鼓と脇田口説（おどり）をみせてもらい、会食があって八時頃に終わった。帰宅は九時。若宮町の盛り上がる村おこしの気風が随所に感じられ、酷暑の中疲れた一日だったが気分はすごくさわやかだった。

8月20日（水）晴

ゆうべは寝不足で、今日午後の苧田二号地関係の長々したレクは眠かった。十一時に在位六〇年式につき総務部長から共催方式の内容の説明があった。シラケたものになりそうだ。中食は、私が知事になって以来ずっと身辺警備をしていた吉松氏が千代派出所長に転出するので旧県庁うらの有明海で送別の意味で森山、是松を交えた四人で会食した。一時に済生会病院で定期検診。血糖一九〇、+++の結果だった。疱疹はあとほんの僅か赤味の痕跡があるという。一日中カンカン照りで植木の浅いつつじがかなり枯れて来た。五時半県建設業協会の定例懇親会。国会議員ら多数の来客であった。夜は色紙を若干書く。自民が昨日来、田中知事候補の線で中道諸派に工作をはじめたとの報道あり。

8月21日（木）一時豪雨

うちにパソコンを購入しようという気になって、秘書室でもこれを問題にし、県のその道の通に意見を求め、藤江君にも話相手になってもらうことにした。彼に九時二〇分県庁まで同道してもらった。話をしたあと機種の実物をみってもらうこととし、私は散髪に行った。十二時からサンパレスで木曜会があり、中食の後私の方から九月一日に施行にうつす情報公開制度について説明した。通産局からは九州管内の状況報告があって散会。大宰府の国民年金保養センターに行き今年度サマーイン。二泊三日の予定である。午後二時から衛生部長らを迎え、県立病院の赤字問題についての分析進講をうけ、部長の送別会をかねての夕食会をする。佃部長は現在部長の中で一番任期が長く三年余になる。こんど中央にかえり、労働省の課長になるとのこと。

8月22日（金）晴

朝のうち天拝山に登る。昨夜から秘書室の藤本、丸本両女史が来ていて登山に同行する。ゆったりした気持になれてよかった。往復二時間ほどで十一時帰室した。センターの管理人さ

んが車で送ってくれ同道してくれた。武蔵寺にも行った。どちらもはじめてのところで、近くにこんないい散策の場があることに新しい興味を覚えた。午後は企画振興部の「二一世紀へのプラン」を中心とした話題提供。これは九月下旬に予定されている RKB 番組の九州各県サミットで私が出番となる事と関連させ、かつ本題としては九月上旬の県民大学での私の講義案の原案下審議であった。二十一世紀を展した県政方針概要である。

8 月 23 日 (土) 晴

サマーインの最後。今日の午前中は高齢化対策を今後どう進めるか、がテーマ。県民生活局、民生、衛生、労働の各部からも関係者が来た。かなりくわしい資料も用意されていて充実したものになったが、具体策に乏しいとの感はまぬがれなかった。地域ではそれぞれいい実践例があるのだが試行錯誤の段階のが多く、県としても何をどうすればいいか迷いの段階というしかいいようがなかった。中食を共にして別れた。二時すぎ、教育会館で高教組の高齢会が十五周年記念集会を開いたのでこれに出席、あいさつした。四時前に帰宅できた。鈴虫は鳴いているとのこと。

8 月 24 日 (日) 晴

筑豊ローカル線を一六〇円で一周する旅を企画した「国鉄問題を考える東部市民の会」(荒牧教授の世話)が、八時五〇分香椎駅に集るといのでこれにあいさつに行った。三〇人ばかりと子供づれのグループだ。十時半に帰宅し、一時半頃まで机辺の仕事をし、二時からの第二回旭翁忌〔筑前琵琶鑑賞会〕に出席した。ここからみゆきもついて来た。午後四時来福の岡茂男氏と待合わせ市美術館でマネ展をみた。このあと日本庭園に案内したら、茶を一服立ててくれる客グループがいてよかった。夕食は岡氏が伴っていた中村さん(次郎寿し)のところへ行って、ニギリをごちそうになってしまった。市会に出ていた中村次郎氏の息子さん赫男さんが、今回の岡氏来福の案内をしてくれていた。岡君がずいぶんつとめているようだった。

8 月 25 日 (月) 曇時々晴

全く多忙な一日だった。台風が接近しているらしく、雲があわただしく動いている。岡氏が中村氏と一しょに、午後三時すぎ県庁見学に来訪。ひととおり案内したようだ。二時半に国労家族会の代表が来訪、「人材活用センター」で余剰人員のなま殺し的な労務管理が行われていて何とかならぬかと陳情された。国労の組合員が集められ、草取りや清掃ばかりさせられているとのこと。やがて首切りという前段。気に入らないなら辞職せよというやり方という。四時半朝の放送録音一ぱつできた。六時からグランドホテルで納税組合さつき会総会後のこんしん会があって出席あいさつ。ホテル大手の集まりである。

8月26日（火）曇一時雨

台風一三号の影響ですごく蒸し暑い一日だった。庁議後の記者会見では九月から実施に入る情報公開についてコメントした。十一時サンパレスで行われている全電通の定期大会に出席してあいさつした。いい感じのあいさつができた。このあとベスト電器に寄って会長、社長と会い、パソコン購入などについて話した。帰宅して中食という今日早いあがりではあったが、揮毫依頼がたまっていたので藤江君からすってもらっていた墨でかなり多量のを消化した。夜の十時までかかった。鈴虫のなく最盛期にさしかかったようだ。台風は中国大陸の方に向ったようだが沖縄には停電など被害があった。

8月27日（水）曇

十一時から九月補正の説明、総務部長査定と知事保留について検討した。いぜん財政事情はきびしい。三時から神戸新聞の取材があった。兵庫では十月に知事選があるとかで、全国主たる県の実情を連載するとのこと。午後五時から稚加栄で佃前衛生部長送別の部長会があった。中央にかえて労働省に出向するという。九月が来ると満四年福岡県にいることになるという部長のうちで最古参だった。六時半から山ノ上ホテルで社会党県議政審の側（長谷川、林、白石それに嶋津）と県執行部側との九月補正に関する意見交換会をもった、十一時まで夕食も含め語り合った。近々の知事選はないという。

8月28日（木）風強く曇

少し早目に出発して大濠中島を歩いたこともあって今日はやっと五千歩をかせいだ。十時二十分大博多ビルでの国労門司地本大会に出席しあいさつ。あと、パーソナルリユーに八丁君を呼んで中食を共にし、諸情勢につき意見を交換した。協会の高崎氏も同席。一時半九電ビルで「第八次石炭政策及び石炭関係三法に関する県民総決起大会」が開催され主催者代表促進協会長としての知事挨拶を行った。三池炭鉱及び筑豊旧産炭地の危機が各方面から訴えられ、一二〇〇人のもえ上がる中、大会決議文が採択された。帰庁し福祉施設白梅園児の九州球技大会バレー部優勝知事訪問をうけた。六時半三光園で来福中の山岸全電通委員長、篠原福岡、舎川北福岡両支部長の招待宴席があって出席。九時帰宅。

8月29日（金）晴

九月補正予算の知事査定の日。比較的スムーズに進んだ。ひる休みに与党の意見をきいた。八丁君もこれに加わった。新幹線鹿児島ルート工事計画申請がなされた日なので、これについて記者会見を行った。午後六時、ニューオータニで、黒木一夫氏の大臣表彰祝賀会があった。このあと一条（警固神社横）で近藤前副知事の送別会をかねた県庁記者クラブの会があって出席した。九時すぎまでいた。東京から啓二夫妻が帰省して五ヵ月になる沙理の元気な姿を見ることができた。一ヵ月ほどフィンランドで母子が夏をすごしてきたあとで、

向うの父母らとの写真スナップをみることができた。やっと寝返りをうつことができるほどになり歯が一本はえてきたところだ。

8月30日(土)晴

十一時に出発して、大川へ。市文化センターで一時半から県農業青年祭開会式があつてあいさつ。野菜などいただいて帰る。帰庁して社会党の土井たか子代議士の表敬訪問をうける。女史は今回党委員長選挙に立候補しており、福岡、鹿児島に遊説している途中とか。相手は上田哲氏である。昨日から左腹の痛みがあつて済生会病院救急部に連絡して診断をうけたが、とくに原因はつかめないということで痛み止めの薬をもらっただけで一両日様子を見ることになった。午後五時半からスポーツセンターにポリショイサーカスを見に行く。県職員互助会の恒例の家族慰安会がその趣旨で、私と渡辺参議があいさつした。何とはなしに元気が出ぬまま、帰宅は七時すぎ。夕食してのち、色紙の揮毫に時間をさく。

8月31日(日)晴

午後早く荻田さんが来て、隣の土地について説明した。伊藤さんから買おうという話である。千代町の家処分も話題になっているが、これは時間がかかりそうだ。一時に八丁、衣笠、嶋津、大塚、白石が来て当面の県政について話し合う。三時すぎベスト電器がパソコン一式をもって来て設置して帰った。さてどう使うかがこれからが大変。四五万円ものオモチャになるかも知れないが覚悟。機械におそれず愛する気持を養おう。長時間かけてもなれよう。午後五時、山ノ上ホテルで全金福岡地本三〇周年記念祝賀会に出席。また六時半からはニューオータニで上杉昌也氏ら京都通信機グループのチャリティゴルフ大会前夜祭があつて出席。プロアマゴルフプレーヤーの顔がずらり。これでこの大会は三年目である。

9月1日(月)晴

県民情報センターのオープン式があつて八時二〇分発。いよいよ情報公開の時代に入ったわけ。十時半情報公開審査委の辞令交付式。十一時、九工大新学部設置促進期成会があつて十一月十五日の発足祝賀会について、及び期成会の後援会への衣替えについて決定した。三時半からの三役会は延々二時間余。九月五日におこなわれる監査委と知事との懇談会につき、その話題の内容を検討。主として県立病院の赤字問題と苅田二号地の処理問題につき、江口利雄が知事にといたでするので、これをどう処理するかということであった。監査委が知事と呼んでどうこういうこと自体にも問題がありそうだが、すぐとかくいうわけにはいかないだろう。六時半帰宅。

9月2日(火)晴東京は雨

庁議にひきつづき記者会見。十時半交通安全全国キャラバン隊総務長官メッセージの知事

への伝達式。中食時に松本清張氏にあうための事前レク。十三時市民会館で母子衛生家族計画大会で主催者あいさつ。空港に行つて全日空VIPルームで社党委員長候補の上田哲氏と会見。二時半の機で上京。東京は相当な雨になっていた。羽田から松本清張氏宅へ直行。国立博物館建設運動をめぐる氏と約五〇分にわたつてこんだん。教えられるところが多かった。再会を約して七時すぎ辞去した。あと半蔵門すすいで夕食をとり、九時ふくおか会館に投宿となる。松本氏とのこんだんといい、明後日のディズニーランドの見学といい、今回の上京は有意義になりそうだ。

9月3日（水）曇

近頃よくねむれない。左腹も少々痛む。元気がない。東京に来て同じ。八時半朝食。十時から総理官邸で全国知事会議。中曽根首相、鈴木都知事全国知事会々長の冒頭発言のあと、それぞれの知事から発言、自治相が司会。十二時半から一時半まで中食、あと午後の部二時間は各省大臣とのやりとり。総務庁長官が同和事業について、いつまでもつづけられない旨発言したのには驚いた。散会后六時から都の迎賓館で夕食懇親会。その前に都の庭園美術館に寄り、日本の子どもの本歴史展を見た。ひる間の休憩中四時すぎ労働省に伊藤、清水、佃の前部長、農林省に赤保谷前部長を訪ねた。

9月4日（木）晴、福岡は曇

姫高時代の文乙クラスの菌村が帝都高速時代に（昨年）私にすすめてくれていたので連絡の上、今日は東京ディズニーランドを視察させてもらう運びとなった。今彼は総裁をやめ顧問ということである。雲一つないカンカン照りで一寸暑かったが、十時から十二時半すぎまで主要箇所を見学し、レストランで中食までいただいた。あらかじめ考えていたよりは大規模であり、参考になることが多かったが、福岡あたりで同じようなことは計画し難いこともよくわかった。夢の中をさまよった感じ。ヨーロッパのおとぎの国ということか。近代的技術が存分に駆使されていて世界最高水準といわれる、パリにヨーロッパディズニーが建設されるとか。五時すぎ帰福できた。少々旅疲れか。

9月5日（金）曇

アメリカ総領事スティブンケネディ氏が着任あいさつに来訪（十時）。十時半から監査委員との懇談会に出席した。中食は地区労二宮氏とともにした。市長選が知事選に重ねられることについて、市長選を無投票にする方法もあると話していた。二時八幡西市民センターで「ガン制圧県民大会」があつてあいさつ。このあと水巻町中央公民館での対話のつどいに出席した。今日は身障者ボランティアグループともしび会の人達が対象であつた。町長も出席した。帰路、花田守氏宅に立寄つてしばらく話し込み、帰りにはイチジクをみやげにいただいた。岡垣で対話のつどいをしてくれとのことであつた。老人会の世話や区長をして多忙のよ

うでもあった。監査委との懇話会は予め構えてかかったほどの心配はなかったのでやれやれというところか。

9月6日(土)曇

九時出発して来訪者応接、決裁などして時間がたち、中食は二宮地区労務局長と共にし、福岡市長選などを話題とした。一時、パークホテルでの電気労連地協大会に出てあいさつ。ももちパレスに行き山川一義氏に会い島野氏の話をしておいた。労働運動史編集仕事はどうかということだ。四時から一時間、勤労協はかた総会で講演した。テーマは「地域づくりと県民総立ち」であった。五時半から中洲の水晶鍋で仲好会グループが、私の快気祝ということで集って夕食した。西井、土井、大屋、徳本、岩元、内田、大塚、八丁の諸氏が来集、当面の県政問題を話題とした。田中出馬は确实との観測である。

9月7日(日)晴

予定を修正して今日は全休。沙理の相手をしたり、啓二を加えてのマージャンをしたり、色紙をととのえたり、原稿を書いたり、パソコンにふれたりしての一日となったが、気力がないことの自覚。外見が問題になった。どこということはないのだが、何か気力というか、することに対する張りが無い。どことなく弱々しいし、力が出ない。健康上問題があることは否めない。長期入院のせいだとは思いますが、もう原状に復してもおかしくない。和代からブドウを送ってきた。中粒で種なく甘味が強い。各所(東京方面も)への手紙書きの仕事が残って気になる。

9月8日(月)曇

安達君を呼んで出版物について資料準備を急ぐよう要請した。十時に押花を企業化している人が大牟田から来て名刺など作品を頂いた。工夫すれば何でもできるものと感心した。十時半、国道三八六号線の沿線市町村長たちがその整備バイパス完成について陳情に来た。県議三人も立合った。十一時から三役協議、九月議会準備が主内容。今日はあとに行事なく、二時半以後帰宅して啓二、ライヤを誘って植物園に行ったが、開園せぬ日であった。頼んでみて、吉原園長が出て来てOK、みずから園内を案内してくれた。ここも水が欲しいところ。植木もアップアップだった。帰宅して揮毫に時間をあてた。

9月9日(火)雨

十一時から恒例の与党懇(グランドホテル)があつて九月議会の大筋を説明し、あと、中食懇談会となった。車を直方にとぼし、中央公民館で開かれた「救急の日のつどい」に出てあいさつ。すぐ引かえして飯塚総合庁舎の情報コーナーを視察、これが三時。そして四時から大隈保健所、嘉穂町役場、フルーツの里、そしてそこで夕食をごちそうになった。(鯉料理

処) フルーツの里ではリンゴ狩りもさせてもらった。午後六時半から八時半まで嘉穂町いこいの家で食生活改善推進委員たる婦人たち約四〇人との対話のつどいを行った。帰宅は十時すぎ。今日一日値千金の雨が降った。リンゴ、梨をいただいたので帰宅して十分にごちそうになった。嘉穂町はこれで知事として三回も訪ねたことになる。

9月10日（水）雨後曇

昨日の裏、今日は野党懇。篠田栄太郎がいなくてスムーズに流れた。中食後登庁し、三時から職員自主研究グループに援助金を交付する会が地階の一号会議室であり、四時から庁議、記者会見があった。今日は九月議会上程の補正予算案が主たる話題であった。午後六時、山ノ上ホテルで社会党県議長谷川、白石、それに嶋津、八丁、県側は佐々木、中村室長、林出納長が加わって九月議会で予想される主要討論議題について相互の意見交換。戦略的態度を論じ合った。従来のような頭を下げつつけて当面を乗切るといふいき方はこんどはとらないということで意見は一致した。夕方まで降った雨はようやく止んだ。十時すぎ帰宅。

9月11日（木）曇雨

十時、郵便貯金会館での老人福祉大会に出席、あいさつと功労者表彰状感謝状わたしまでいた。十一時九月定例県議会招集の代表者会議。すぐ久留米にとんで月星ゴム会社の会長故倉田雲平氏の市民葬（久留米体育館）に参加した。帰りに二日市駅前の「悦ちゃん」に立寄り、あいさつした。午後六時半から三光園でマスコミ各社の報道責任者を招待しての懇親会があった。知事選がらみの生ぐさい話は出なかった。恒例のようになっているこの会ではある。部長クラスばかりだから、県の記者クラブ相手のような神経を立てることない。みんなおっとりしている。八時半に終わった。日程がいつもこんでいて、人間としての再生産が危まれているこの頃である。

9月12日（金）曇

共産党県議の方から天皇在位六〇年記念式典をあげることに反対の申入れがあった。議会の決議の重みの処理として理解してもらうしかないことなのだ。これもイジメのあらわれと説明した。十二時二五分のANAで上京。同じく一七時四五分発で帰福。東京で第八次石炭政策及び石炭三法に関する陳情行動。県下の関係市町村の主要人物一五〇人ばかりが六班にわかれて陳情活動をした。九月下旬に石炭生産抑制を根底とした答申がでると、わが国の出炭は年間一〇〇〇万トンを割り、高島は町が亡ぶことになるといわれ、池島、太平洋、三池の三鉱だけしか残らぬだろうといわれている。夜八時すぎグランドホテルで開かれていた大分県物産展前夜祭におくれて参加することになったが、平松知事に辛うじてあいさつすることができた。

9 月 13 日 (土) 曇小雨

八時半、実践倫理宏正会九州地区十周年記念会が国際センターで開かれあいさつに立った。盛装した女性が七割を占めきらびやか。自民党の代議士が来賓にずらり。市長代理は近頃いつも桑原助役。政治色一ぱいだが、中味は比較的温和な道徳の強調。私が出る幕でなかったのかも知れない。演説をきかされて時間がたち、十時に始まる県民大学 (於県庁講堂) にやっとでまに合った。しかも講義の準備が全く不足だったので、果して終るまでうまくいくかどうか心配だったが、何とか二時間を消化した。中食は西日本新聞労組の新旧委員長を招いて庁議室で歓談のうちにすませた。(深井、松永両氏) 帰路スポーツセンターで開かれている大分県物産観光展に立寄り、二時半に帰宅。七時～九時、八二会と称して、八丁、高崎、大塚、嶋津の四人が来訪、当面の情報を交換した。

9 月 14 日 (日) 晴

休みになった。秋晴れ。涼しさが加わって秋らしい空気だ。牛頸ダムを標示する石に揮毫を依頼されていたので試みたが、注文の文字が大きく、一番太い筆を使ってみたがとても一筆で書けそうにないことがわかって諦めた。新たに太い筆を買うならたいへんな価格であろう。原稿を少し書いたところでマージャンをしようということになって午後から夜にかけて休みの時間を費してしまった。啓二を入れての家族マージャンだから全くの遊び気分である。原稿が気になっているのでそちらに時間を費したいのだ。

9 月 15 日 (月) 曇時々晴

敬老の日で休みだが、十時に東区八田の土器モトさんの白寿祝に出かけた。福岡市長代理桑原氏が総理及び市長の祝状祝品を贈呈し、私は知事として祝状、組ふとん、色紙を贈呈した。社協の理事長からも祝状が出された。マスコミがカメラを構えてパチパチやって贈呈式を放映した。帰宅したら十二時になっていた。途中林県議の宅に寄ってみたが留守だった。午後マージャンをして夜には原稿を少々書き進めた。月下美人がはじめて開いたし、沙理が声を出して笑うようになった。今日は涼気もつのもり気持のいい一日だった。沙理は満六ヵ月。やわらかいものを食べる。歯二本が生えてきた。

9 月 16 日 (火) 晴

早目に出て福岡城跡を散歩し、万歩計の針を進めて登庁した。十一時半県職員の山岳グループが近々韓国登山に招待されたので渡韓する旨あいさつに来た。正午、KBC の田ノ上氏が北九州に転勤するというので送別会が記者会見室で行われて出席。一時半在大阪イギリス総領事があいさつに来訪。その他いろいろでゆったりした時を過ごし、理髪し、午後四時済生会病院に定期検診に行く。血糖値が一〇〇で尿糖がマイナスに出たのだが、こんな数値ははじめてで何らかのまちがいでないかとさえ思える正常ぶり。五時ごろ帰宅し、原稿を少し

進めた。昨夜の月下美人はもうしばみ午後八時に次の二輪が美しく香強く咲いた。

9月17日（水）小雨後晴

いよいよ秋らしくなってきた。今日一日中在庁。庁議及び記者会見はすいすい進んだ。十時半に県評白石、岩崎、山本の三人がドネツク州代表団（通訳とも三人）を伴って表敬来訪。団長ミハイロビッチ氏の固い握手に手がつぶれそうであった。中食は新労働部長征矢氏と共にした。一時半大牟田、田川両市長ら自治体病院援助について首長たちがそろって陳情にみえた。県立病院も同じだから一般会計から援助があつて然るべきではないかという。カネがないので容易ではないのだ。三時 RKB ラジオの九州知事サミット関係の取材があつた。五時帰宅し、福銀六本松支店長ら三人が来宅。隣の宅地購入につき、借入金の要点について話合つた。

9月18日（木）曇後小雨

九月議会がスタート。十一時からの開会が午後七時になった。その間待ちぼうけ。例によって「残業代かせぎ」が冒頭から始まったわけ。理由は審議方式の変更だが、自民の主張は常任委員会中心主義というやつ。どっちでもいいのに、会期が始まる前か、初日のあとにすれぱすむ論議を冒頭からやって時間を乱す。利害得失はいずれにしろちまちましたもので、それに執念をもやす自民党のいやらしさが目立つ。ともかく午後八時まで知事提案理由説明は終つた。あと「かわさき」で信用保証協会の永井氏が私の快気祝、近藤氏送別会をかねてやってくれるというので出席した。

9月19日（金）雨

十時半、農協会館で家の光及び日本農業新聞読者のつどいに出席してあいさつ。中食は県高令協の役員二十余人と弁当をつつきながら会食という形をとつた。このあと自労の五十嵐と岩崎二人が失対事業について要請ということで来訪。中味は第八次石炭政策で新しい問題が発生しどうするかということで将来の頭痛のタネである。通産事務次官福川氏の来訪があり、四時から一時間、「赤旗」の取材をうけた。五時四五分キングで二一世紀プランの中期実施計画プロジェクトチームの作業スタート懇親会があつてあいさつ。次いで六時半済生会病院長土屋呂武氏の藍綬褒章記念祝賀会がニューオータニであつた。長い前儀式だった。

9月20日（土）雨

北九州の商工貿易会館での県民大学を消化して、中食。すぐ鞍手町の勤労者体育センターで行われた東知夫前町長の町葬に出席した。出席全代議士に弔辞を読ませるもので二時半もかかった葬式でうんざりした。（一時から三時半まで）県立美術館で行われている県展の表

彰式 (市民会館小ホール) にかかけつけ、県展をみたあとガーデンパレスでの県展レセプションに出席。六時からのキワニスインターナショナル日本地区年次総会というのに出席した。(レセプション、於都ホテル) 全国から各キワニスグループが出席していた。何だか今日は疲れを覚えた。朝八時すぎ出発ということで睡眠も足りない。

9 月 21 日 (日) 雨後晴

久留米市体育館で秋期県体育大会が開催。十時、開会式に行ったが、あとで大雨になった。近見市長と市民センターでコーヒーをのんだあと、小郡三沢の明願寺に行った。女性の池田市議を囲む十数人の支持者たちが待っていて、そこで二十分ほど懇談したり写真をとったりして福岡に引上げた。中食は自分でとったが午後は晴れて来た。樺島課長が来訪。しばらく私への諸種の注文。私からも注文するなどして県政を論じ合った。三時に杉山、森山が来て久しぶりとして雀卓を囲んで午後十時まで遊んだ。明日の宿題があるのに、これでいいのか。パソコンを一寸たたいた。

9 月 22 日 (月) 晴

午前中は休みで、揮毫に時間を使った。牛頸ダムの碑には頭をいためていたが字を 1/2 大に縮小して解決した。午後一三・一五の JAL で上京。自治省あいさつまわり。しばらく休憩して築地河庄双園での懇親会に行く。自治省花岡次官、矢野財政局長、大塚副知事、林出納長が参加。話はずんで九時までかかった。ふくおか会館に投宿。売薬をのんですぐに寝たが、やはり寝つかれぬ一夜になった。河庄での懇親会の中味はとりとめのないもので、もちろん具体的には何もないものであった。福岡三区の細谷氏がセットしてくれ、パイプをつないでおこうとの趣旨のものにすぎない。細谷氏も参加してくれてよかった。

9 月 23 日 (火) 晴

七時半起床。九時五〇分羽田の ANA で帰福。その足で、中央区民センターでの福岡子ども劇場協の総会に出席してあいさつ。タカクラホテルに行き、少し待って竹内宏氏と中食会。夕方の九州知事サミットのコーディネーター役で、アシスタントの RKB の女性松村さんも一しょだった。中食後パークホテルに行き、食品労連及び国労主婦の会の集りに顔を出してあいさつ。午後三時からスポーツセンターで九州村バーゲンが行われている場での四極連結の「九州知事サミット」二時間を消化した。会場には大分平松知事のみ出席した。他は長崎、宮崎、鹿児島、沖縄の四極で、熊本は欠席だった。六時に帰宅。早目に就寝した。

9 月 24 日 (水) 晴

昨日来の不調がやっと正常化した。やはり安定剤のせいらしい。早目に出発し植物園のまわりを一周し登庁した。スターカップチャリティゴルフの施設への寄付贈呈式があり、中食は

贈呈者上杉昌也氏と波多野ですませた。三役会で、明日からの代表質問にそなえて、知事の基本姿勢などについて討議した。道路公社汚職事件、近藤副知事辞任などに対する知事の責任追及が焦点だった。夕方、十月の朝の放送の録音、決裁などがつづいて帰宅はおそくなった。答弁資料が届いたのが九時半。それまで森祐行氏と長々と電話で田中健蔵問題を話題としておしゃべりして時間を費した。公明党への田中氏のすり寄り行動はみていて常識ばなれしておかしいということである。

9月25日（木）晴

代表質問のある日は例によって七時五〇分わが家発である。質問資料を三役で一とおり点検。十一時定刻が開会も例によって一五分おくれで始った。自民小山達生、午後は緑政牛島の二人だった。小山は時間が足りないから一般質問で徹底して追及するといいい残して引きさがあった。三時十分頃今日の本会議は終り、あと吉井町まで急行。町文化会館で行われている西鉄労組の定期大会に出席して祝辞をのべた。帰路は筑後川堤防づたいに久留米に出るコースをとり、秋色ようやく始まった河岸、風光を十分たのしみ味わうことができた。今を盛りと咲く曼殊沙華を二〇本ほどたおってもって帰った。明日の答弁資料は八時すぎに届いた。

9月26日（金）晴

今朝早く前知事亀井光氏が死去、七七歳だった。議会勉強会を途中で切り上げるようにして福岡斎場の安置所に弔問した。マスコミが私にカメラを放列、コメントを求めた。この死去で本会議は二時間のび午後一時からとなった。代表質問は社会党鳥越瑞益、公明党伊沢国男の二人で、順当に終った。出版物の打合わせをするため、社問研に行ったのが午後四時。安達氏も来て八丁氏と三人で約一時間話合った。必要な原稿はほぼ揃う見とおしはついたが、出版の条件、即ち発行元、部数、価格などについては商業ベースでかなり厳しいものにしようということである。出版元については八丁氏は第一書林を期待したが「ぎょうせい」にも当たってみるということになった。夜は原稿書き。

9月27日（土）晴

登庁せぬまま県内をかけまわる一日だった。まず十一時に筑後船小屋の楠林のある中島公園での整備事業鍬入式に出席。中食後久留米市民会館で行われている月星ゴム労組大会、次いで直方にとび全国一般福岡の大会、福岡に帰ってたばこ労組福岡の大会に出てそれぞれあいさつした。このあと時間があいたので出光石油（万町）四Fでの仙厓展に顔を出し、そのあと西公園を散歩した。午後六時新三浦での社交業（料飲業）九州ブロック協議会の懇親会に出席した。北岡幸太郎氏関係である。七時になって福岡斎場に行き亀井光氏のお通夜におまいりをした。八時に帰宅。昨日から書いていた勤労協での講演要旨まとめ原稿三〇枚を

仕上げた。

9 月 28 日 (日) 晴

日曜ぐらい休みにしないと、ということで二つほどあった日程をキャンセルして明けてくれた。朝のうち揮毫の宿題を。午後と夜は出版のための原稿書きに費した。のんびり時間が利用でき、庭の散歩もして秋色を幾分なりとも味わった。又近頃周りの者が、染髪をすすめるので、七月入院以来三ヵ月ぶりに染めてみた。みんなジジくさくなっただの、知事は常人と違うのでマスクの事も念頭におくべきだという。そういう声に押されたわけだ。県庁内の理髪所の人染めると健康上よくないのではないかといっていたので、それがやはり気になってはいる。

9 月 29 日 (月) 晴

今日は一般質問の第一日。倉重、鬼木、塩塚、藤田、豊島、古賀の六人だったが、思いのほかスムーズに運び一時間も早目に終わったので、大手門会館で開かれている県評大会に行つてあいさつすることができた。長くてもよいとのことだったので二〇分ほどのあいさつになった。白石議長の方から、来期の知事選の候補として明日決定し、要請行動に出るとのあいさつがお返しにあった。そういえば今日九大評議会で田中学長が知事選に出るといふことで辞任し、明日の閣議で了承される運びだという。思い切りのよい選択をしたものだ。周辺が一段と騒々しくなってくる。電通が作った企業誘致に関するビデオを見たあと、アメリカセンターでのケネディ主席領事、バロン領事の就任披露宴に出席。七時半に帰宅した。

9 月 30 日 (火) 晴

今日の一般質問は井上寿昭、高橋義治、長谷川為美、高岡新の四人で、又思いのほか平穩に経過した。今日は亀井氏の密葬という事もあってか、議会日程にも若干のズレが生じた。午後五時半、レストランキングで国際化議連の一周年パーティがあり、金権萬韓国総領事が二〇分間講話した。帰宅したのは七時だった。むし暑い一日。明日、隣の土地を売買登記するというが、区画について疑義が生じている。伊藤さんが半坪ばかりを余分に、しかも使用できない部分を売ろうとしているという。それは無理なのでよく話してみたらというが、仲介者の荻田氏が無理をいっているらしい。明日登記もするという直前になってこんな問題を今もち出して来て私も困る。円満解決することを念じているのだが……

10 月 1 日 (水) 曇小雨

八時から天神で県産品愛用強調月間の街頭啓発行動に参加し、同所でやっている検察審査会広報活動にも参加し、登庁。議会勉強会をすませたあと、赤い羽根伝達式を知事室で行う。十一時から本会議一般質問に入るはずのところ、先日の百条委設置請願署名の処理をどう

するかの問題で各党足並みをそろえるのに手間どる一日空転。五時少し前によく始まり給料表（医三）の改定条例の提案だけで本会議のつづきは明日にもち越された。午後六時からグランドホテルで中国革命三七年記念パーティがあり出席。ここで田中健蔵氏と会った。氏は今日三時に自民党役員らと次期知事選への出馬表明を出したばかりであった。シャーシャーと私は話し合った。

10月2日（木）曇一時雨

九時ニューオータニで日本ハワイ経済協議会総会が開かれ地元知事としてのあいさつを行う。十時二〇分歯科医師会の堀尾会長らの陳情をうけた。このあと議会で一般質問を待ったが一向に開かれず、昨日につづき二日目の「空転」となったため、七時からニューオータニで開かれた前記協議会のディナーパーティには出席できなかった。「空転」は百条委設置の請願をどう扱うかをめぐり各会派の意見が一致せぬためだが議長の篠田栄太郎がまとめる気がないか能力がないためであろうと思われる。空転のロスもさることながら、国際的な集りに不義理したことによる損失も大きいのではないだろうか。八時になって本会議が開かれぬことで帰宅したが、明日は本会議で決をとることにしたい。もってまわったいやがらせである。

10月3日（金）晴

九時から私学体育大会開会式のため平和台に行く。秋晴れにめぐまれた開会式であった。議会は今日も「空転」をつづけた。「空転」自体が一つの意思表示であるかのようだ。午後一時半、アリヨシハワイ州知事夫妻、山崎上院議員、ピータース下院議長ら州議員たちの知事表敬訪問、そして三時から議会議場でのスピーチがあった。県の議場がこういうことに使用されるのははじめてだとのこと。六時半からグランドホテルで、県及び議会の主催でアリヨシ知事らを囲んでの友好交流レセプションがあった。県下各界から多くの人が集った。八時半県庁に帰りずっと待機。午後十一時半に本会議で「県民の会」の百条委設置請願は賛成社共公のみの賛成で不採択となり、ケリ。議会は月曜から動き出す。

10月4日（土）晴

十時から故亀井氏の叙位（従三位）伝達式。中食は今夕八女黒木でのシンポジウムコーディネーターたる西日本新聞の古賀文化部次長と話しながら共にした。一時半九電体育館で亀井氏の空港ビル社葬。終って筑後市農協会館での牛島巖氏の出版記念会。すぐひき上げて黒木町体育館へ。ふるさとおこしシンポジウム。六時半から十時までテーマはグリーンピア八女（基地）と共存発展するというためにということであった。体育館には四〇〇人ばかり参加したとみられる。十時半基地に行き、軽く夕食、入浴、マージャンをして就寝したのは二時であった。

10月5日(日)晴

だんだん涼しさが増してくるこの頃である。朝八時起床して朝食の後、吉村総務部長に案内してもらって年金保養基地を概要視察してまわった。キャンプ場やコテージがよく整備されているし、テニスコートも日曜は利用客が多いようだ。七月半ばオープン以来今日までに約一〇万人の利用客があり、全国の九の基地のうち一番よく利用されている模様で、うれしい傾向だ。十時基地を出て途中茶舗吉泉園に立寄り、中食はレストランピザで。又県立美術館に寄り高島野十郎展を見て一時半天神で腎臓病キャンペーンに参加し、二時すぎ帰宅した。

10月6日(月)曇

十時に中村勲ブラジル県人会長ら来訪。十時半電気ホールで農用地利用推進大会があつてあいさつ。十一時には帰庁して残りの一般質問の始まりを待ったが、開始は十二時。トップの大石の質問が給料からの袋引き問題で私の答弁に不満ということでストップ休憩。次にはじまったのは午後五時。板橋、橋詰、武藤、楠田と自民党四人がつづいて終わったら七時になっていた。橋詰の質問もおかしなもので答弁したくないようなもの。大石と併わせ質問に立ちたがる男だ。終って昨日亡くなった米倉毅行氏のお通夜に七隈まで行った。知事選の時は財務担当でよくがんばってくれた県評次長だった。

10月7日(火)晴

十時に登庁し、辞令交付のあと筑豊に。田川文化会館での市長会への出席と昨日射殺された崎野大任町長弔慰のためにとぶ。自宅と町役場と右翼奥田に射殺された状況をきく。誰しもその真意を解しかねているが、深い内実があるらしい。その帰途、先日、県警から取りしらべをうけている途中ニューオータニで自殺をとげた芳野兆氏宅に立寄り弔問した。筑穂町の助役柳原氏が来ていていうには、自殺の原因はわからない、県警がもみつぶしている、不信に満ちているのだとのこと。ハメられたに違いない。やましいことはない筈とのこと。当方も近藤氏のことを引合いに出して県警の取調べに問題があるはずという話を交わしたのであった。五時に帰宅。身辺整理を若干おこなったが、夜は原稿を書くことができた。出版に向け、ほぼ形がついたのではないかと思う。

10月8日(水)晴

議会は常任委員会が開かれていて知事保留質問というのが随時あがってきて、それにどう対応するかが知事室では話題になっていく。県道路公社の汚職問題がやはり捨て去り難い問題であるようだ。時間のあいまを利用して出版物の原稿に若干手を入れたが、公的には、企業立地ビデオの録音修正部分のとりなおしに応じたり、フクニチ労組四〇周年広告の取材に応じたりして、今日の平穏な一日は終わった。昨日から書斎の整理に着手しているが、本

というものは積んであるとカサは低いが動かすとなると大変なものだということがまざまざと感ぜられる。

10月9日（木）晴

総務常任委員会で自民党二人が知事保留に立った。藤田は来年四月発足といわれる九州旅客鉄道の本社を今の国鉄総局のある北九州におくという県の方針を打出せというもので、これにはOKの答弁をした。記者が早速谷市長に伝え、市長からお礼の電話がかかってくる。他方中島は県道路公社の汚職事件につきいろいろ対策をしているが知事が自ら引責の措置を講ずべきだという。これは自民党の積る追及宿題であったのだが、私はその考えはないとつっぱねておいた。今さらとも思えるし、彼らの戦術にひっかかるようなことはできないわけ。中島は他のチャンスに追及すると執念を残した。

10月10日（金）曇 小雨

休み。体育の日だがまる一日外出することなく主として原稿を書いた。補論の部分の最終稿になる部分や頼まれものの小文である。あと隣の家の片付け。本をかなり持ち出し、書斎の机辺を若干ゆとりをもたせることができた。それでもあまりにもごたごたしすぎていて片付いたようには見えぬ。捨ててしまえばいいのに、と思う本もたくさんあるが、捨てきれない。読むこともない本がいくらでもある。どこかに寄付すればいいが、今日そういう寄付先がかんたんにあるわけではない。もう少し先送りし、今は片付けること。

10月11日（土）曇後晴

十時に教職員互助会が招いてのコンサートのためのモスクワ国立ビルトウズ室内管絃楽団の代表が知事室に来訪。十二時五〇分須崎公園で民音コンサートの四〇〇回公演に出て祝辞。一四時宮田文化センターで宮田音楽祭に出てあいさつするなど、今日は音楽づいた日だった。四時、八仙閣で九大第二分校第一回生の同窓会が開かれ来賓として出席した。具島、城野、野田の各先生も出席された。私は一足先に退席。帰宅して八丁、安達の二人と出版物のことで協議し、午後七時、衣笠、高崎、岩崎が加わり、六人で次期知事選につき、いろいろな条件につき話し合った。出馬表明はおそいほどいいということ、県民の会の役割はかわったなど問題が出された。

10月12日（日）晴

一昨日につづいて今日も全休ということで、身辺整理や原稿書きにかなり時間をさくことができた。書斎一ぱいにつめこんだ本は少々隣に移しても、まだどうにも片付かない捨てるべきも少くないのに、その整理判断がつかない。いつまでもつかないのかも知れない。原稿書きは、安達君が昨日置いていったものの整理である。私の文章に直したものを順序よく組

みかえて行く仕事である。八丁君がおいて行ったものの手直しにはまだ数日はかかるだろう。身動きもならぬ仕事がどかっと来たように思う。夕方になって河野さんと呼んで来たというので例によって家族マージャンになり十一時すぎまでたわいもない時間つぶしをした。

10 月 13 日 (月) 晴

金木犀が十月になって二度目、満開というところだ。本来なら今日で九月議会も終るところ、以前からの順おくりで三日ずれ込んだということで、会期延長を行った。恒例のやり方になってしまったかのようである。特別の山場もない九月議会であるがダラダラ審議で今日は土木・文教の両常任委員会の知事保留質問の消化が終った。特別の緊張感もなくダラダラ審議といえるものであった。待時間を利用して原稿を少し書くことができた。運用昇短をやめさせるということが例の長谷川喜博の監査委への問題提起で近頃地公労側をおどらせる話題となってきた。今議会のヤマといえばヤマ。

10 月 14 日 (火) 晴

県議会が一向に進まず裏工作ばかり延々で行われ十五日明け方四時五〇分から本会議でケリがつくということで、深夜、記者二人が来て話し込むやら。あと本会議までは休むことなく、八丁君の書いた原稿の書き直し仕事などに費した。議会は百条委設置請願を不採決とした代わりに百十条の汚職防止調査特別委を設置。その他の議案は全部通過させて十五日五時半に全日程終了という曙の議会になって閉じた。あとは例によって両議長各党への礼まわり、部長へのご苦勞一ぱいの後、六時頃知事室横のベッドで仮眠に入った。

10 月 15 日 (水) 晴

よくねむれなかつたので今日一日はフラフラの状態です。定めた仕事をした。十時すぎに起きて十一時に職業能力開発審議会の答申をうけ、つづいて総務庁からの地域改善協の調査委の表敬、企業立地課のレク。中食後は一時から鉄鋼関係企業からの流水占用料水資源税反対の陳情があった。そのあとは夕方まで八丁君の書いた原稿を私なりに書き直す仕事を昨夜からつづきで六〇枚ぐらいまで進んでストップ。安達氏を呼んで一応ここまでとし手渡ししておいた。六時からニューオータニで JAL の福岡名古屋線開通祝宴、七時から魚新での社会党県議など私の快気祝などかねた宴会があった。十時就寝。

10 月 16 日 (木) 晴

さんぱつをして後十時半に石井国鉄九州総局長の来訪をうけ、第三次ローカル線廃止につき早く知事意見書を出してほしいとの要請をうける。十一時半中牟田タイ名誉総領事のタイ国王からの叙勲祝賀会 (グランドホテル) に出席。十二時からパーソナルホテルで安達、

八丁らと合い、原稿の最終打合わせ。今日「ぎょうせい」に手渡すとのこと。一時半明治生命ホールで県主催の食生活改善大会に出席表彰状授与式をすませる。三時半から国際ホールで県職労結成四〇周年祝賀パーティに出席した。つづいて又グランドホテルで自治労市町村行財政懇談会（都市職の部）に出席約一時間半の懇談。のち地階で夕食こん親会にも出席。帰宅は八時半だった。色紙の揮毫の宿題があってこれを果たして夜おそくなった。

10月17日（金）晴

九時から県人事委員会の給与改訂勧告受けとり。十時三〇分薬事功労者の知事表彰式。十一時半アビリンピック選手壮行会。一時まで中食をしつつ西日本フォーラム（次回土曜日）について西日本新聞関係者と打合わせ。一時半から高令者雇用促進大会（大博多ホール）があって知事表彰、感謝状。四時十分農村青年海外研修団帰国報告会。これはヨーロッパ班、カナダアメリカ班の二班約四〇人が参加した。六時半海王で学文の会があった。安東、池永、それに総合法律事務所の人達が世話役だった。私が四〇分ばかり三年半をふりかえって講話し、あと、質問が出るという形式で八時二〇分までなごやかに進められた。帰宅して疲れていたせいか、何もする気になれず、シャワーを浴びてすぐ就床。めったにないこと。

10月18日（土）晴

商工会連合会の第三回目の「ふるさとフェア」が太宰府天満宮で開かれ、会場を一週してあいさつしてまわったらかなりの運動になった。みんなよろこんでくれた。午後は西南大ランキンチャペルで開かれている同和教育研究会に出席してあいさつ。一時からの九県歯科医師会役員会。オイスカ設立二五周年記念式と忙しくあいさつにまわった。二時半伊都の里で古代メキシコ文明展が開会されこれにも出席してあいさつ。これは原田観峰さんの作った福岡歴史の町でおこなわれ、一度来てみるようにとのことで、今回ようやく行ってみることができた。夕方帰宅して、共産党堀井県委員長来宅。選挙のことで話し合った。社共協定書の件。

10月19日（日）晴

書齋の身辺片付けをし雑誌類はだいたい隣に運ぶようにした。早びる食べて郵便貯金会館で開かれている明治大学校友会大会に出席してあいさつ。県下には卒業生五千人、在校生六五〇人がいるとのこと。このあと大濠公園湖岸に行き、グリーン 21C 紙の注文によりいろいろのポーズで私の写真を撮る。専門家の注文だが自転車に乗ったり走ったり、それも着せかえ人形みたいに二度、スポーツウエアをかえ靴もかえた。三時半に帰宅。また机辺整理をしたが、夕方になって河野氏を呼び又マージャンをすることになった。早目といいながら、やっぱり十二時頃までつき合うことになったが、残した仕事、色紙書きは是非必要ということで、入浴などして就寝したら十二時半すぎだった。

10 月 20 日 (月) 晴

昨夜は冷えこんで、マージャンには電気コタツを入れた。九時に出て十時宮田町から宮田線廃止反対の陳情があった。中食をはさんでの三役会は柳川土木汚職と福原学園が話題となった。一時半住宅建設促進協の会議があり、あいさつと知事表彰に立会した。二時半から西日本フォーラムにつき企画と構想の打合わせ。四時からグランドホテルで自治労県本の町村行財政懇談会・懇親会に出席した。知事選再出馬の意思表明を早くしてほしいとの要望が再三にわたってきかされた。懇親会では食べながら郡ごとの代表者達とスナップ写真をとったりした。八時に帰宅。書齋がほぼ片付いたようだ。

10 月 21 日 (火) 晴、夜は小雨

九時から庁議。十時から記者会見。姫高会の並河氏がケーブルテレビの社長として熊本から又福岡に帰って来て来訪。十一時二〇分の TDA で上京し、二時からの新丸の内ビルでの工場適地説明会に出席した。こんど新たに作った適地説明のビデオをはじめて披露した。一〇〇人ほどの参加だった。終って四時から陳情行動。国鉄本社と運輸省は北九の助役と共に民営化された時の九州旅客鉄道の本社は北九においてくれということ。又、文部省、劔木、多賀谷、麻生各氏には、十一月十五日の九工大情報工学部開学記念式への招待であった。午後六時から、ふくおか会館で今日の適地説明会の打上げパーティを行った。七時半頃から近くの雀荘に行って遊んだ。

10 月 22 日 (水) 晴

風が冷く吹いた。八時東京発の新幹線で名古屋へ。十一時から名古屋国際ホテルで県企業立地推進委員会。昨日同様ビデオのあと委員任命、中食しながらのこんだん会。終って委員の一人ブラザー工業向川原常務の方のはからいで同社の工業用マシン工場とタイプライター工場を見学。ロボットが発達しているのにびっくりした。輸出事情がさびしいとか。このあと市立博物館を訪問、「比叡山と天台の美術」を走るようにしてみせてもらい、名古屋空港へ。六時三五分発の便で帰福。福岡と名古屋を結ぶ便が就航したのが二十日だったので、日航支店の役員はよろこんでくれた。八時半に帰宅。名古屋事ム所長は大阪と兼務する伊藤氏が新任してまだ二ヵ月ばかりしかたっていないのだが、一日中よく案内してくれた。

10 月 23 日 (木) 晴

済生会病院で検診をうけた後、筑豊ハイツにとび、現業労組の定期大会に出席あいさつ。途中香春町役場に寄って弁当をつかわせてもらい、小倉市民センターへ。麻薬、覚醒剤、シンナー禍撲滅国民運動福岡大会が行われ、あいさつと表彰状授与に関係した。このあと門司市民センターで対話の集いがあった。ここは交通事故防止推進隊の十数人と事故防止について意見交換をし四時半に日程を終わった。福岡に帰って三光園へ。明日からの九州知事サミ

ット（西日本新聞主催）に出席講演するため来福の長洲神奈川県知事を招待しこんだんした（大塚副知事と三人で二時間半も閑談）。十時帰宅。

10月24日（金）雨

一日中降っていた。十時すぎ長洲知事の来訪あり、庁内を案内。ミスユニバース日本代表の表敬。十一時半福岡走ろう会の梶栗さんが志賀島マラソンへの案内に夫妻でこられた。残念ながら今年は参加できない。炭労 OB の三人が来訪三池の将来について何とか手をうってくれとたのまれた。中食を共にしつつ高島問題などについて語り合い分れた。午後は明日の西日本フォーラムについての再度の勉強会。このあと四つのパーティに顔を出してまわった。第一は今日の西日本フォーラムの打上げ懇親会（グランドホテル）、第二は鶴崎多一氏の一五回忌偲ぶ会（平和楼）、第三は九大経済学部同窓会（国際ホール）、第四は社会党福岡支部の林県議をはげます会（東急ホテル）。くるくるまわって八時半帰宅。書斎で寝ることにした。片づいたので。

10月25日（土）曇

十一時半にグランドホテルに着き、九州七県知事と中食ののち、一時から西日本フォーラム（九州知事サミット）に出席した。三〇〇人ほどの聴衆の前で各々十分、三分の意見発表。「九州は一つ」についてどう考え、どんな施策を考えるかということをめぐる各県知事の競争の場といったところだ。西日本新聞が九州の知事を一堂に集めたのは成功といえよう。四時に終り、新幹線で小倉へ。厚生年金会館で開かれている裏千家淡交会の九州大会の家元歓迎パーティに出席。あいさつをしたり、カメラにおさまったりで、六時から七時半頃までを費したが、予定の行事がなくなったので、早目に小倉ホテルに引揚げてここで投宿。休憩に入った。帰福してもよかったくらい。

10月26日（日）雨

朝ゆっくり読書などして十一時に勝山公園で開かれた北九州市民まつりに参加した。これは来年はじめの市長選挙に予定されている候補松本洋一氏をはげます集いであった。新幹線で福岡に帰り一時からの天皇在位六〇年祝賀式典に出席。二時まで約一時間。二時四〇分港湾福祉センターでの福岡地区労大会、次いでサンパレスでの四季の会（日本舞踊）、三時半からパークホテルでの中立労連総会にそれぞれ出席して祝辞をのべた。午後五時、黒田荘に行き、学者たちの集会に出席。（徳本、衣笠、福留、石川、大塚、安達、八丁、大屋、それに秘書室の佐々木）佐々木氏が奥田県政の実績の報告、八丁氏が次期選挙の戦略を報告、そして討議。あと、私は六時半から高橋正雄先生とグランドホテルで夕食を共にした。

10 月 27 日 (月) 晴

今日は休日とされた。朝のうち残った原稿を書いて二〇枚余になった。これで原稿は仕上げとなり、明日渡せる。中食時に阿部夫妻が弁当もちでやって来てみゆきと四人で話しながら食べた。三時頃まで休みをとって来たということで食後ゆっくりして彼等は帰社した。私はたまっていて色紙を十数枚書き、又書斎の書物を動して一日が暮れた。書物の整理は無限の仕事のように思える。いくらでも少しずつ本やら紙屑がふえていくのに捨てないでいるからたまって仕様がな。本を動かしていると、あれもこれも読みたくなるし、何とか早く分類をきめて揃った形にしたくなる。太田薫さんの本は目についただけでも十冊あったのでそれらは揃えておいた。向坂、高橋両先生の本も揃えておきたい。それよりも私の執筆したのがバラバラになっているのでこれが気がかりだ。

10 月 28 日 (火) 曇

庁議につづき記者会見。十一時から納税表彰、一時半から中小企業退職金共済制度功労者表彰と、時間のかかる表彰式が二つもあった。朝日新聞社が奥田番の記者赤塚氏をつけるといって記者を一人紹介してきた。次期選挙に向けて空気がだんだん周辺からあわたたしくなってきた。五時半になって苧田町に飛ぶ。自治労の犬丸氏がこの地における私の行動スケジュールを作ってくれていた。夕食をとったあと二〇時から町役場横の三原文化会館で苧田町女たちの会との懇談会があった。五〇人ほど集っただろう。三〇〇人ほどのグループだというのが、七月の尾形町長衆院への転出後の今回の沖町長選出に大きな役割を果たしたグループだということである。話合いのあと三班に分れて記念写真をとり十時に別れた。

10 月 29 日 (水) 曇

苧田旅館でゆうべはゆっくり過ごした。八時すぎ出発。町長と朝食会ときいていたのに議長も商工会々頭も、その他各会から五〇人ばかりも集い、さながら「ふるさと対話」になってしまった。十時二〇分、高台にある岸上前々町長宅に案内され、十一時四〇分、地区労会館で、労組、社共、解同など四〇人ほど集って中食会。又三原文化会館にもどり、男たちの苧田町をよくする会のメンバーと懇談。次いで町総合福祉会館で開かれている自治労県本部の定期大会に出てあいさつ。逆に再選出馬を要請された。二時急ぎ帰福の途につき、帰庁して庁務をこなした。六時室見の「とり市」で中国総領事夫妻離任送別会を行う。県国際交流課主催)。八時、グランドホテルで行われている国際肩関節学会こんしん会に出席した。

10 月 30 日 (木) 晴

冷い風が強く吹いた。十一時からの牛頸ダム起工式はその中で行われた。はたしてダムの効果が出るのかどうか現場をみての私にはわからない。私の揮毫したのが八〇トンといわれる大石に刻み込まれ、ダム現場に置かれている。祝賀会のあと、小郡市体育館で老人大学が

開かれており、私が一つ担当した。テーマは「身近かな政治」ということであった。福岡に帰って五時から警固神社横の一条で全金労組系の中小企業者八人を集めての将来戦略について意見交換をし夕食を共にした。ほとんどが大企業の下請で、下請意識から脱皮するのに骨が折れそうだということがわかった。それでもこういう人達とも根気よく付合っていかねばとも思った。

10月31日（金）晴

八時半に空港で南太平洋戦没者慰霊巡拝団の結団出発式があった。四四人がパプアニューギニアに九日間の旅に出る。大塚副知事が団長。帰庁して陳情その他多忙な在室事務のあと、中食は波多野で前労働部長伊藤氏と共にし、このあと北九州へ。遠賀町のコミュニティセンターでの「ふるさと対話」。これは遠賀四町の老人クラブ連合会の人達の集り。花田守氏が寄せたらしい。老人福祉が話題としてとりあげられた。本年度最後の「ふるさと対話」だろう。四時すぎに終ってあと小倉へ。ひびき荘に社共系の女のつどい、つづいて地区労のつどいがある両方へ出席。これはまるで選挙戦突入の感じの集会だった。前者では北九選の候補松本洋一氏も来たし、後者では社共の県議候補も顔を並べてのパーティでにぎやかに進んだ。

11月予記

十一月一日は六十六歳の誕生日ということで、秘書室中心の男たちが墨摺器をプレゼントしてくれ、女たちがシクラメンを贈ってくれた。コウ君は誕生祝の祝電のほか、家族揃ってお祝いに来訪、花もいただいた。直美が夜、祝いの電話をかけてきてくれた。船舶振興会の笹川氏もよく知っているのと驚いたのだが、県庁に祝電をくれた。でも何だか、六十六という実感がわからない。客観的にはもう邪魔になる爺さんなのだ。健康に気をつけてといわれるが睡眠に不安があつていけない。それと通便がすっきりしないこと。皮膚に湿疹様のもの（両脚）ができて痒みを感じず。その他の普通。歯ががたがた。これは病気のうちではないか。

11月1日（土）晴

十一時に岩田屋前で県産米愛用運動キャンペーンに立つ。十一時半九電体育会館での警友会35年記念式に行く。中食をサンパレスで社会党土井委員長らと共にする。次いで同所の全国護憲大会に出てあいさつ。二時大手門会館での母と子のふれ合いパネル討論会に出席。四時すぎ仙厓展を美術館でみて、ここでも土井氏と合う。久山の仏舍利塔の落慶祝賀にアジア七カ国の大使たちが来て、一まず県庁来訪つづいて博多都ホテルで祝賀パーティがあり、これにつき合う。六時半魚新で、今日の護憲大会に出席の黒川総評議長らを囲む県主催の懇親会があった。出納長も出席。大忙しの日であった。

11 月 2 日 (日) 晴

青少年の日で、九時半警固公園に集り各団体が護国神社までパレードするのにつき合い、そのあと、博多駅コンコースでの牛乳、乳製品フェアに出席した。(玉井直)さん関係である。十一時すぎクリオコートでのパーツ・フォアマン精工の十周年式典に参加。浮羽郡に飛ぶ。石兆亭で中食し、吉井町文化会館前でくりひろげられている耳納の市(第二回)を視察したが、今回も大変な規模で、二日で昨年は八万人来客があったというが、これを上回るのではないかとされている。金子先生、地元の助役がくまなく案内してくれた。帰福してから仲好旅館で知事選に備えての相談をした。とくに、共産党と解放同盟との関係打解が当面の鍵ということであった。出席は県評岩崎、山川、社会党は竹村、林、県側は林出納長、森山。八時帰宅。

11 月 3 日 (月) 晴一時雨

北九州市の身体障害者援護の団体が「ひまわり号」を走らせて四年目になる。今回ははじめて新幹線を使つての広島への旅行である。八時二十四分発の列車に先立ち小倉駅の構内で出発式があり、それに私も出席した。総勢七〇〇人ほどの旅で六両編成を借切つての行事。三分の一が身障者で残りは家族、ボランティア、役員だとのこと。平素はあまり外出旅行はできまいから、いい試みで、よろこびは大きい。平和公園と宮島の二手にわかれた訪問となる。午後八時頃に帰倉するとのこと。私は発車まで見送り。新幹線で帰る。色紙、偏額の揮毫。三時半から森氏を呼んでマージャンを楽しんだ。

11 月 4 日 (火) 晴

庁議、記者会見につづき、十一時から秋の叙勲伝達式があり、中食は土木部長らと庁議室を使う。室見川の改修事業に住民が反対している件が話題となる。一時半北京大学長ら日中統計学会への来日一行が来訪あった。二時すぎ解放同盟の県役員が地対協答申について知事意見をききたいと会見に来庁。四時から那の津荘で福教組執行部各支部長ら四〇人ばかりと意見交換及び懇親会を行った。私が県政を報告し、会員から質問をうける形をとり、各自知事再選出馬表明の要請の言葉をのべてくれて楽しい時間であった。午後七時四〇分の JAL で上京した。ふくおか会館泊。

11 月 5 日 (水) 曇

九時一五分から自治会館で産炭地三県地方六団体が第八次石炭政策に関する政府自民党筋への要望書を審議し、あと陳情活動に入った。私の分は労働省、宮沢大蔵大臣、花岡自治事務次官、森自民党総務会長代理、野田自民党石特委員長、中川通産政務次官の順であった。衆院内の廊下での立話し程度のもあった。終つて福岡と中国を結ぶ定期航空線の開設につき運輸省航空局次長、事務次官に陳情し、のち県人会代表の齋藤武幸(住友建設)、石橋幹

一郎（BSタイヤ）にあいさつに行った。吉井柿がみやげ。

11月6日（木）晴

新幹線で大阪へくだり、目的地の厚生年金会館で中食後、関西の工場適地説明会に出席した。円高不況のせいもあって出席者は四〇人を割る少なさであった。通産省官房室の麻生氏が来賓として講演。アメリカの中間選挙の影響を中心に今後の日米経済関係について説話した。このあと場所をプラザホテルにかえて大阪の工場立地推進委員会がおこなわれた。高浪会長、江崎さんがやはり中心になってくれた。高浪さんは円高でとても企業進出の状況はないので長い目でみてほしいとあいさつした。八時一五分の日航機で帰福。帰宅したら十時になっていた。睡眠不足もあり疲れていたのですそくさと就寝した。

11月7日（金）曇

柳川土木での宮崎という職員の公金詐取事件が数日来新聞をにぎわせている。十一時宝満川流域下水道促進協の設立総会があり、次いで合肥経済代表団市長の来訪。十二時半ももちパレスで行われていた県職労大会に出席あいさつしたが、ここで知事選出馬の要請決議を受けた。二時二〇分室見川の水を守る会から寄洲除去工事反対の陳情をうけ、三時中国総領事金吉松氏の離任挨拶訪問をうけた。このあと解同県連の高田、羽音両幹部が来訪。共産党とのからみで基本法制定要求に知事はどう対応するか再度ききたいとって来た。五時半ニューオータニで日中友好協会の主催する金総領事歓送パーティがあった。永倉三郎九経連会長も来ていてぶぜんたる態度だった。六時半、都久志会館で地域懇があつて私が「二一世紀に向けた福岡県」というテーマで話題提供をし、九時散会。あと「わらじや」で懇親会をやった。

11月8日（土）晴

午前中は公用なく、色紙書きをしていたらすぐに時間がたってしまった。一時にタカラホテルで教養部OB会（松友会）の年次懇親会があり、三時からグランドホテルで第二〇回九州寮歌祭があった。私にあいさつの下命があり、姫高は出番が二つ目であったので、四時すぎには会場の外に出、四時半には姫高会、「くいだおれ」に行った。寮歌祭には七人だったのが、「くいだおれ」には十二人が集まり、八時頃までゆっくり語り合った。今日付いてくれた三笠君は「くいだおれ」で帰ってもらった。鳥山先生も来てくれたが、意外とふけてみえた。田口、三木先輩も同じ感じ。岡田先生はまだまだ若くみえた。

11月9日（日）曇 小雨

九時半ももちパレスで中小企業勤労スポーツ交流大会があつて参列祝辞をのべた。午後一時に須崎公園で「県民の諸要求実現十一・九福岡県大集会」があった。二〇〇〇人ほど参加

していただろう。共産党系の集会である。小雨降る中で行われた。部落問題をめぐって社共はほぼ歩調を共にする「棚上げ」までこぎつけたらしいが、市長選（昨日進藤市長辞任決定）をめぐっては共産党が独自候補をたてることにしたので歩調は合わないままで今日の大集会を迎えているわけだ。六時半 RKB 前のブルーベルでフクニチ労組結成四〇周年記念レセプションがあって、八時ごろまでつき合った。出版物への「まえがき」を書く。

11 月 10 日（月）晴

十時から三役会議。ハワイ州知事就任式や柳川土木汚職の件が協議題。つづいて十二月議会補正予算総務部長査定について協議。午後二時半私学協会の陳情があった。そのほか今日は九州知事会、地域振興公団、庁議、農政との対話など「レク」と名のつくのが延々と続き疲れを覚えた。午後六時から山ノ上ホテルで社会党県議団、八丁氏らと出納長、秘書室長、佐々木氏らの十二月補正予算査定資料をめぐる討議の会があり、十時すぎに帰宅した。あきれるほど、公務があるものだ。社会党の人達と予算を審していると、事務方とするのと違い、次期知事選を意識した意見が次々と出てきて、行政と政治の選択に迷うことが多いとの実感を強くした。

11 月 11 日（火）晴

雲なく快晴の秋景色。庁議、記者会見は柳川土木詐欺事件への知事対応が中心の話題で夕刊にも大きく報道された。十一時半天神地下街で税金展があり、テープカットに行った。中食は中洲の花の木で、転勤になる西本願寺福岡教務所の徳川氏と共にした。快諾してくれてしばし雑談できた。一時から第四回婦人の翼の団員との対話（庁議室）これは二時間。ホームスティの体験やフランス、スイス、イタリーでの婦人との交流感想が交々出された。五時半若松西鉄ホテルでこの地区労の人達との知事と語る夕に出席。みんなからはげましてもらった。松本洋一候補も出席してくれた。九時帰宅。疲れたので間もなく就寝。

11 月 12 日（水）曇

九時から地域振興整備公団理事が来庁。工業団地の完成につき協力要請があった。あと午前中は十二月補正予算の査定。中食は国民年金につき社会保険庁長官からの被表彰者とキングで会食。あと甘木にとび三時から農業改良普及所で所員らと懇談会を催す。朝倉町の万能ネギがこの程天皇杯をうけたというので出荷場を見学し、久留米へ。筑後川堤防を走ったが深い霧に包まれた秋の夕暮であった。六時半ハイネスホテルで内野秀美画伯の画集刊行画業五〇年記念パーティがあって鳥越県議の紹介で飛入りあいさつをし、午後七時から八時半までサンライフ久留米での筑文懇に出席した。国鉄久留米の人材活用センターに入れられた人の主婦たちから涙の陳情をうけたりした。十時すぎ帰宅。

11月13日（木）曇

都久志会館で全国博物館大会が行われ十時に出席あいさつ。登庁し散髪をして佐賀県嬉野へ。和多屋別荘で三時から九州地方知事会と九経連役員との意見交換会が行われた。九州は一つということで、とくに問題にされたのは高速交通体系の整備がおこなわれている点で、対政府要望の中心にすえられた。九州縦貫道、横断道、高規格道の三点と新幹線鹿児島ルート、長崎ルートの早期着工である。夜は佐賀県知事の招宴になった。九経連の永倉会長もバツが悪そうにしながら、盃を交わしに来たので対話することしばしだった。あとで企画の樺島氏に、九経連との話合いは二度目だが、ほとんど具体的事業に入らないではないかと私の意見を伝えておいた。どうも形式に陥り勝ちで抽象論にとどまっている。

11月14日（金）晴

九時から九州知事会事前会議つづいて本会議八〇回目である。当番県の佐賀香月知事が座長。三二項目にわたる対政府要望が各県から出され、提案理由の説明採択と進み、最後に全国知事会の方から当面する税制改革を中心とする中央情勢報告があり終幕。中食を共にして後散会。私は直ちに大川市の永寿園と大野城市の悠生園の二つの特別養護老人ホームを視察した。大川では古賀県議が園の役員。市議団、福祉施設、社協の人達を集めていて、知事への陳情集会みたいになった。悠生園ではとくに痴呆性老人に対する芝居や音楽々器演奏による回復訓練の現場をみせてもらった。老人対策がますます重荷となりつつあることを痛感した。

11月15日（土）曇

十一時から九州工大の情報工学部開学祝賀会が飯塚市のがみ会館で挙行された。県・市がホスト役である。十年歳月をかけた運動が結実したわけである。筑豊に先行明るい灯をともしことになるだろう。あと八幡小嶺の三井ハイテックを訪う（途中畑ダムに下車）。この度の出版への序文を社長にお願いするのが用件で快諾を得た。戸畑に行く途中時間があつたので、八幡東区の九州民芸村に寄る。山の中に民芸を集め実演している「村」があつたのをはじめて知った。五時半目的地の戸畑ステーションビルに着く。社共地区労文化人らの「知事と語る集い」で歓迎され、一ぱいやりながら楽しい一時をすごした。七時すぎお別れした。市長選にも立ち上がるグループである。

11月16日（日）曇

姫路の田中孝市議のツワグループがやって来て、九時に県庁前で面会。東公園の二つの大ずもうの部屋げいこを見た。ひる前市民会館（中央）で青少年赤十字県大会があり表彰状授与をした。このあと輝国の平野さんの椿写真展を大丸デパート六 F に、ついで小郡の木村晃郎さん七〇歳記念版画展を山本文房堂に、みに行った。そして後、ももちパレス露地で即

売会をしている離島フェア視察。しばらく仲間入りしてトコロテン、イリコ、ブリなどの市呼び込みにつき合った。二時帰宅。みゆきは大相撲をみに行っていて留守。私は揮毫に時間をついやした。年末毎日新聞チャリティのも書き上げた。

11月17日(月)晴

主な行事は、十時から私立学校功労者知事表彰、社会党甘朝支部からの来訪、石油公団の理事来訪。午後になって国体の、県民運動推進協議会設立発起人会と準備委員会常任委員会の二つが同じガーデンパレスで開かれた。後者では「とびうめ国体」のシンボルマークが決定された。四時半から那の津荘で高教組の支部役員たちを含む幹部との懇談会夕食会があった。組合側から現場教師のなやみが訴えられ、私の方からは、国体、校外指導、高校授業料値上げにどう対応したらいいかの問題を投げかけた。教育委員の任命への特別の配慮が強く訴えられて当方も困った。再選への決意表明も要請された。

11月18日(火)晴

昨日から韓国放送をもとに流されていた北鮮金日成暗殺事件は誤報であることがわかった。今日は例のとおり庁議記者会見につづき十時半韓国青少年連盟李総裁の表敬があった。妙なめぐり合わせである。十一時半解同との話合いがあり、再び基本法制定運動に対する知事の態度がただされた。一時看護センターで公衆衛生大会があり表彰などおこなった。つづいて大手門会館で高齢者大集会があり、知事選再出馬の要請決議をうけた。かなりな熱気を感じられた。このあと門司へ飛び国鉄九州総局を訪ね、局長に、九州旅客鉄道会社の本部を北九州市におくよう県の要請書を手交した。(午後四時一〇分) そのあと門司区民の会の案内で二つの職場を激励したあと、六時から文化センターで区民の会主催の知事激励レセプションに出席した。九時少し前に帰宅。

11月19日(水)晴

午前中は揮毫ものの整理。とくに毎日新聞の年末助け合い出品と二宮君の東月隈公民館用のもの、そして頼まれ原稿を投函できるようにした。ひる少し前に大手門会館にみゆきと共に出席し、県評主婦の会役員会であいさつ。ここでは中食をいただき、森山君も迎えに来てサンパレスでの産業安全衛生大会に出席してあいさつ。帰庁し、庁議室で開かれた第一回文化懇話会に出席した。二時半から五時近くまで二十人の委員がいろいろ放題にいろいろ聞いていた。文化の問題は各人が思い思いのことをいっても一寸もおかしくないのが不思議。県民生活局の生活文化課がこれを今後どうまとめるのかやや心配になってくる。このあと七時すぎまでいろんな庁内事務処理の仕事が次々におっかけてきた……

11月20日（木）晴

十時から工場適地説明視察の出発会があってあいさつした。十時半直方青年会議所の幹部が訪問してきて、直方の将来をえがくための知事のアドバイスを求むとって来た。十一時半、豊前市の地区労幹部（吉永、清遠氏ら）が来訪インタビューを求め録音した。午後一時から講堂で統計大会。これは政府総務庁ほか各省大臣及び知事表彰の伝達が主要内容であった。四時半共産党県委員長堀井氏らが面会を求めて来た。解同との見解のくい違いについて、知事選に向けて社共合意が崩れるようなことにならないように、知事との意思統一をしておくという程度のもの。マスコミは社共合意ができたことを既に報じている。

11月21日（金）晴

十時半苅田町の沖町長来訪。県から助役の人事あっせんをたのむという。十一時、交通対策協議会総会で挨拶。十一時半十二月議会に向けての与党懇。このあとグランドホテルでの新天町四〇周年パーティに出席。つづいて西日本銀行での青少年県民会議二〇周年記念式典に出席。ソニーの井深大氏が記念講演に来てくれた。三時半センターザで中小企業団体青年部の県大会に出席してあいさつした。このあと済生会病院で定期検診をうけたが特別の異状はないようだ。夜早かったので帰宅後秘書室の連中とマージャンをした。近藤前副知事も呼んでの遊びになった。

11月22日（土）晴

全日休養日となった。揮毫の仕事にあてて色紙三〇枚ばかりと扁額用の一枚仕上げるのができた。二倍色紙の注文があって、この書き損じは大きなロスだ。書齋がだんだん書齋らしい形に片付いてきた。隣りに持ち込んでいたので片付くわけだ。近頃この書齋にフトンを敷いて寝室も兼用している。座敷がガラんと空いて、来客の時に形がいい。だんだん知事選のざわめきがきこえてくるようになり、県評からは藤江君を拙宅から出してもらって選挙の手伝いをしてもらいその後就職の世話をしようといっているが、うちは一寸困ると反応している。午後森祐行氏が来て夜おそくまでマージャンをして遊んだ。

11月23日（日）雨

曇り空から小雨になった。関西では水不足が深刻化しているらしい。十時から八女伝統工芸館の落成式があった。国鉄矢部線福島駅跡を利用した国土庁のアイディアによる八女市にふさわしい観光施設ができたといえる。途中のレストランで中食。飯塚の寿会館にとんで茶道淡交会筑豊支部二〇年式典に出席あいさつ。午後四時から大相撲千秋楽を観戦し、又も千代富士に知事杯を賜ることになった。実に強い。六時半から、ニューオータニで開かれた土木学会全国大会懇親会に出席。これは学、官の土木関係者のブロックごとに毎年開いている研究討論の会という。

11 月 24 日 (月) 小雨

昨日につづき小雨模様。振替休日。十一時半にうちを出て、千秋楽後の会場を利用したのわんぱく相撲大会が全九州規模であったので (小学五、六年生が対象) あいさつ。十二時半岩田屋横で石炭危機キャンペーンに参加した。三池炭鉱の人達がキャップランプをつけて来ていた。一時から三井アーバンホテルで多賀谷衆議院副議長及び阿具根前参議院副議長を励ます炭労 OB の会があって、あいさつし、しばし歓談し、二時半から黒田荘で県政懇談会が五時まで行われ討議に参加した。徳本、衣笠、石川、福留、大塚、八丁、安達、佐々木が参加。主として知事選出馬表明にどう臨むかについて意見を出し合った。

11 月 25 日 (火) 曇

都ホテルで八時五〇分から県民の会との朝食会があり、知事選出馬について意見交換をした。マスコミがにぎやかに頭どりをし、あとで会見を求めた。出馬要請とみたててのことである。十時登庁してタバコ組合、退職者研修会、観光審議会と消化したあと、グランドホテルでの野党懇に出席した。午後大博多ホールでの食品衛生大会表彰式に出席したあと、帰庁し、当面する諸問題に対応していたら、帰宅が八時すぎになってしまった。福岡、久留米両市長選の話題があれこれであるが、野党懇でも県議選への関心が大へん高いことがありありだった。みんな必死のようだ。朝食会では出馬要請でなかったということをおもひにしておいた。

11 月 26 日 (水) 曇

庁議につづき記者会見、そして十一時から十二月議会の代表者会議。ひるは三役会をかねて会食。二時から長寿社会懇話会の第一回会議。二時半から朝の放送録音。一回でうまくいかなくて二回どりになった。三時から防火訓練があった。このあと別段スケジュールがなく、早目に帰宅して五時であった。その後身辺整理とくに、揮毫練習の紙切れの整理に夜ねるまでかけた。とくに何かをする意欲がなかったので、このような時間のつぶし方もよいと思う。まだまだ書棚をみると時間をかけなければいけないと思いつつも考えれば途方にくれてしまう。こちらはなるようになれと思っている。今日からかなり冷え込んできた。

11 月 27 日 (木) 晴

ねむりの浅い日がつづいている。九時から執務。十時から永年勤続表彰、十一時から監査委員とのこんだん、一時半から勤労者知事表彰、三時から済生会永年勤続表彰というように、今日は表彰状の手渡し式が三つもあった。済生会のは例によって場所はセントラルホテルで、このあと被表彰者たちとの夕食会になった。六時から春吉の奉丁で西鉄労組役員との懇親会。これは同労組の私への再出馬要請の儀式がふくまれていた。林県議も来て懇談は選挙運動をめぐるよもやまばなしになった。中食は県民の会の山口氏と庁議室で弁当を共につ

つきながら賀状のことなど話しあった。だんだん年末に向っての諸準備で多忙になりそうだ。

11月28日（金）曇後晴

十時からの農協中央会婦人部大会に出てあいさつ。会館の前で市長選桑原候補に次いで田中氏がマイクをにぎってあいさつしていた。十一時、義務教育国庫負担カット問題で福教組幹部が要請。次いで田川婦人消防隊が消防操法大会で全国優勝したということで知事報告に来室。中食は波多野でRKBの広崎氏と。彼は今日東京に転勤するとのこと。一時半サンパレスで建設雇用改善推進大会があってあいさつ賞状わたしをした。このあと協会に立寄り、又高教組OB会役員会に出てあいさつ。そのあとパークホテルでの全通労組支部長会に出て出馬要請をうけた。途中、西新で行われていた西鉄労組の林武彦吉田重利をはげます会に顔出しあいさつに抜け出て、又パークホテルに帰る。七時中洲花の木でのワイン試飲会に顔を出す。岩崎の世話。八時半帰宅。

11月29日（土）曇

十一時小倉松柏園で古河労組門司支部結成四〇周年祝賀会に出席した。新門司地区にこのような組合があることも知らなかった。純中立系で電線製造工場である。帰り、香春口で北九州市民の会事務所びらきに一寸顔を出し、あと飯塚にとび二時から文化センターで開かれた「筑豊の女のつどい」に出席あいさつ。こんどは川崎町にとび、役場、町立同和保育所、町民会館をいそがしくまわった。集会は筑豊二十一世紀を考える集い、手嶋秀昭をはげます集いであった。途中町商工会議所で畠中仁氏と会見もした。七時半田川の九州別館で滝井市長ほかこの地の社会党系主要人達と夕食懇親会が開かれた。十時少し前筑豊ハイツに帰投。入浴して寝る。

11月30日（日）曇

冷い一日だった。九時から筑豊ハイツの二階で嘉飯山地区の青年婦人代表二十名ほどと朝食会を行い意見交換をし、十一時から田川市民会館での全国婦人消防操法大会優勝祝賀会に参加した。筑豊、田川のイメージアップに大変貢献したとの祝意が強く、知事感謝状も贈呈。レセプションの各行事が進められた。一時ごろ田川をたち、帰福して県立美術館に寄り、朝日新聞主催の「比叡山と天台の美術」展をみた。帰宅したら四時すぎだった。仏のことは勉強もしてないのでよくわからないが、仏像というものは、つくづくながめ比べてみるとおもしろいものだと思うようになった。今後とも機会あるごとに注意してみようと思う。夕食すぎに河野氏を呼んで夜半までマーじゃんをして過ごした。

12 月予記

月はじめに県民の会の再出馬表明要請があろう。五日は上京、天皇への県政事情説明。三日には十二月議会の初日本会議があり、これが二十三日までかかって二十四・五の両日は来年度予算対政府陳情行動がある。そのあと年末の諸行事。これだけ並べてみても、今月はぼつちり詰っている上に、事は決しておだやかでないことがわかる。再出馬表明をいつどういう形であるのか、そして十二月議会で柳川土木の汚職問題にどう対応していくかが焦点である。もちろん取越苦労よりも当って砕ける式の方がいいと思っている。日常もう少しゆとりのある日程でありたい。選挙の話になってくるとますますゆとりがなくなってくる。ゆとりは自分で作るしかない。

12 月 1 日 (月) 晴

朝夕はぐっと冷え込むようになった。東京は雲一つない快晴の一日だった。十時発で上京。着いて中食後、大蔵、運輸、中国大使館、国土庁、そして参院議員会館と、陳情にかけまわり、五時から東京会館で企業立地推進委員会。八時の ANA で、帰宅したら十時半だった。実に多忙きりきり舞いの一日になった。大蔵は旧米軍春日基地跡の払下げ、中国大使館は中日間の定期航空路の協定で福岡を一地点に選んでもらったことへの謝意表明だった。意向打診のつもりが、向うからおめでとうといってもらえてびっくりである。跡地払下げにはまた曲折がありそうだ。国土庁は広域リゾートゾーンの選定作業の中に筑後川水系をたのむということ。

12 月 2 日 (火) 晴

八時に家を出て九時から庁議、次いで定例記者会見と順序よく流れ、犀川町にとんだ。町の三つの地区から参加してきた婦人達との対話のつどいである。平素独居老人に弁当を配給するなど、活動的な人達であった。当今珍しく、公民館での結婚式をすすめるなど生活改善には二十年も取組んできたという。このあと豊前市にとび、総合庁舎の各出先事務所を歴訪し、県職員を激励した。財務、福祉、教育、保健所が対象であった。これをすませ小倉の「ひびき」で NTT の北福岡労組の役員たちとの懇談会に出席した。組合側の出馬要請をうける形であいさつ。夕食こんだん会七時半まで。九時すぎ帰宅。(豊前では県職員組合支部の大会に参加、出馬要請をうけた)

12 月 3 日 (水) 曇小雨

朝のうち NTT 支社長が来訪 (県税納付の件)。死亡者叙勲、そして十二月県議会本会議提案理由説明。午後も庁内で次々と消化すべき日程があった。福岡県農協五連に、四時半減反強化につき協力要請に行き、その足で都ホテルで県民の会幹事による知事選再出馬要請があるのでかけつけた。マスコミが待ちかまえていた。労働団体ら千数百の出馬要請を受けと

り、鄭重に謝辞を表明。しかし即答できないので時間を貸してほしいと述べた。このあと春吉の奉丁で全電通福岡支部の役員との懇談会。ここでも再出馬要請をうけた。見とおしとしては十二月議会での野党の質問は軽くいなし、議会終了後政府予算陳情をすませ、そのあとに出馬表明するのがいいのではないかということだ。

12月4日（木）晴

柳川土木事務所汚職問題に関連して筑豊の三土木事務所職員が汚職一掃の運動に立上っているのをこれを励ます意味で、午前中筑豊まわりをした。これまでにない立ちあがりである。一時から北九州工試で大型マシニングセンター導入式があったので、これに出席。二時から社会党総評の雇用調査団の結団式が小倉のひびき荘であって、出席あいさつした。今回の鉄冷え問題は北九州に大きな失業問題をひきおこしている。市長選挙の争点にもなるほど。帰福して庁内で若干執務ののち、五時四〇分のJALで上京。今回は天皇に地方事情をご進講するためモーニングコートを持ち歩いての旅であった。公明党の大会があって、ふくおか会館には関係者が多く宿泊していた。竹入から矢野へ委員長交代の大会である。

12月5日（金）晴

十一時から五県知事が天皇に地方事情をご進講。皇居正殿梅の間。青森、秋田、茨城、三重、福岡の順で、青森は交通、秋田は老人、茨城は科学博あと、三重は斎宮跡、福岡は水資源開発と緑の保護について述べた。総理、自治大臣、自治両政務次官も陪席した。十二時から連翠北の間で午餐会になった。両方に皇太子も出席された。それほど緊張しなくてもすんだ。三時半のANAで帰福し、午後六時からの総評単産代表者の懇親会が第一ホテルで開かれていて出席した。真柄事務局長ほか主要単産代表とこれに対応する県評代表がメンバーであった。知事選出馬の意思表示をいつするのかということがこういう席での関心事。激励してくれた。

12月6日（土）曇小雨

登庁してレク二件あり。後柳川へ。土木事務所で汚職問題につき職員一同に訓示。八女にとぶ。二時から八女市町村会館で、人権週間にちなみ行われた人権を考える市民集会で約五〇分間人権についての講演を行い、つづいて隣にある福祉会館で八女地区県民の会との懇談会に出席した。これが約一時間。こんどは大川に行き、文化会館で福岡建設労働組合の組合まつり（歌謡大会のようなもので家族が参加）に出席してあいさつ。知事選出馬要請をうけるなどして花束も贈られた。建労は共産党系の指導する組合で、南筑後地区の人達が約三〇〇人集まっていた。八女の人権集会は五〇〇人ほど、地区県民の会は六〇人ばかりの集会であった。雨が少しは降ったがすぐ止んでしまい、水不足が徐々に深刻になっていくばかりだ。

12 月 7 日 (日) 曇一時雨

久々の日曜日休みではあったが、午後三時半頃から高教組から支部単位に出馬要請の来客がつづいた。糸島の人達は面会せぬまま要請を預ったが、あと嘉穂、鞍手、浮朝の人達には面接し、少しは私の心のうちも述べて帰ってもらった。出馬要請の署名運動をする向きもあるようだ。ていのいい選挙運動である。他方、県職の人々からはハガキによる出馬要請がかなりある。返事を出したいがきりがないように思っさしひかえている。五時半頃森山秘書が迎えに来て、福岡市長選挙の投票に行った。藤江君も同道。みゆきは選挙権なし。夕方一寸雨が降ったが降り足りない。

12 月 8 日 (月) 曇

十時半福岡西総合事務所で、子ども劇場の全県各グループの幹部たちと「対話」のつどいで話しあい。十二時半まで。四万人の会員四七グループそして二〇年の歴史をもつ集団の活動報告が中心であった。終ってこの合同庁舎の各事務所職員に激励巡回した。午後二時以後、緑化推進の業者要請、朝倉町万能ねぎ天皇杯受賞報告来訪などあり、四時から議会前の諸対応につき三役会議があり、六時からは済生会の招待で三光園での懇親会があった。八時半までかかった。明日の本会議代表質問答弁資料が届いたのは十時だった。あと一週間で議会とのつき合いの本番である。

12 月 9 日 (火) 晴

十二月議会の代表質問第一日。中村明彦 (自民) と石橋進 (民社) が今日の質問者であった。十一時一〇分から午後三時まで、大きな波瀾はなかったが、中村は私に次期選挙には出馬するなといった。石橋は三年半の実績をどう評価するのかと、自分の評価をしつつ質問した。議会筋はみんな次期知事選に焦点をあてた質問を用意しているように思える。午後六時、老松で、住吉県議父子を呼んでの忘年懇親会が開かれた。林県議、林出納長、助信県議、それに近藤元副知事がメンバーだった。宴のあと、マージャンを少し楽しんだ。十時半帰宅し、明日の答弁資料に目を通したのだが、昨日から若干睡眠不足で、元気不足である。

12 月 10 日 (水) 曇一時雨

代表質問の第二日目。豊島 (社会) と北原 (公明) の二人。北原は私にリーダーシップも卓見もないゆえに知事の座をまかせておけないといい、田中健蔵を支持する公明党に難ぐせをつける発言をしたと喰いさがる一幕があった。やじが多かった私の答弁だったので、私も張り合っって大声で答弁する瞬間もあったので、北原は少しむくれていたようだ。ひる休み時間に徳永玲子、高木董子の二人を含む五人の代表により福岡女性会議の来訪をうけ、出馬要請をめぐり話合った。また、代表質問のあと、福岡教育を考える会 (一六三人) の女性たちと議会第二会議室で高校教育をめぐる要請をめぐり二〇分ばかり懇談した。四時、NHK の、

私の肖像写真とりがあった。五時半帰宅に就く。

12月11日（木）晴

県議会一般質問の初日。十一時三〇分にはじまり七人で四時半に終わった。一番頭にきたのは公明党の吉永允俊のウソつきにもとづく罵言であった。昨日の北原のとり上げた問題を再度とりあげるといふ一幕も加えられた。午後七時、ニューオータニで世界人権宣言三八周年記念ということで、アメリカの黒人指導者J.L.ジャクソン氏（前回民主党大統領候補）の来福を記念する「あらゆる差別をなくする福岡県民会議」のレセプションに出席した。部落問題研究会の林力氏が司会した。上杉佐一郎氏も来ていたし、他県からも多かった。八時半帰宅。明日の答弁資料を点検するやら色紙三〇枚書くやらで夜もおそくなってしまった。

12月12日（金）晴

一般質問の二日目。自民党の方で知事選向けにこの辺で議会の中折れをせねばとの作戦が見え見えで、開会が五〇分遅れたことをまずあげられる。午後は二時四〇分から再開されたが、二人目の橋詰が終るときに終に休憩に落ち、以後再開不能になった。橋詰が昨、一昨日の話をむしかえして私がエンドレスの答弁をし議長がみずから審議ストップをしたからである。議長の篠田も明らかにこのシナリオを進めようとしていたことがありありである。私の自公民の「利益追求」論にくいさが増えてきたわけ。田中健蔵事務所へのせめてもの賜だろう。夜那の津荘で県民の会幹事、花田、岩崎、山口と夕食。

12月13日（土）晴

朝のうち共産党候補、読売新聞からの依頼で写真撮影に応じ、十一時、音楽家石丸寛氏が「第九」をうたう集いのことで来訪。午後ニューオータニで木曜会。あと那の津荘で県民の会の要請で選挙向け写真撮影となった。袴を着けて字を書くシーンもとった。「県民とともに」揮毫である。四時から市民会館で「障害者の日」広がる希望の集いに出席。五時すぎステーションプラザで技術振興構想協議会のこんしん会、いわゆる清山グループの人達の納めの会である。田中立候補のため、この会はこれでもう集らないとのこと。夜、大牟田の黒田市長が逮捕されたとの報が入った。荒尾市長と同じなりゆき。

12月14日（日）曇後雨

十時から当仁小学校で母親大会があり、みゆき同伴であいさつに行った。このあと朝倉町比良松中学校で農林水産祭で天皇杯受賞祝賀会があるので祝意表明に行った。式典が始まる前にあいさつだけで退出。北九州厚生年金会館での「女性のつどい」にかけつけた。社会党土井たか子委員長が来て、来年二月の北九市長選に出馬する松本洋一候補を応援する会なのである。二六〇〇人ほどの女性が集まり土井さんの演説もきくことができた。このあと小

倉駅裏 KMM のホールでの土井さんをはげます集いにも一寸顔を出し、帰福し、五時半から仲好旅館での「なかよし会」に出た。具島先生もみえた。岩元先生は健康がすぐれず欠席。土井、荒牧、大屋、岩崎それにこんど県民の会代表になられる内田一郎先生の出席もえて、いいこん親会になった。

12月15日(月)曇

先週金曜日にストップした本会議一般質問をどう再開するかで取引が舞台裏でつづいていたが、四時すぎに私の取消しで始末することでケリがついた。橋詰氏とやりとりに起因するもの。新聞記事(記者会見による)を取消すとは何ごとかということで、議会後の記者会見で釈明したが、当然にも、わかってくれなかった。筋が通らないからである。多数党が、ゴリ押しする結果といえる。記者たちは筋が通らぬことはしないでよいではないかと反論したげであった。当方は議会進行を軌道にのせる手段としたまでである。記者と知事の関係(悪化)にもっていこうとした自民党のやり方ですらあった。朝十時四〇分、新たに着任した中国総領事郭氏があいさつに來訪され、來年四月福岡定期航空便に祝意をのべてくれた。

12月16日(火)東京快晴

八時に出て八時に帰った。東京往復である。予算対策本部の設置と陳情がその内容。本部設置は年中行事の一つだが、昨年は議会の都合だったか、テレビ会談をして大塚副知事に代ってもらった。十二時にそれをすませ、中食後、運輸、建設、外務、厚生 of 各省と水資源公団、国際協力事業団が陳情先であった。いずれも政府予算に関係したものである。東京の空は澄みわたり、機内からも空港からも富士が美しくみえた。政府の予算は今年もきびしいが、公共事業は5%ほどふえるらしい。地方、住民の負担増につながるような予算になること必定といわれる。帰宅して夕食、入浴すると何もする気がしないほど疲れていた。明日もまた日程がつまっているらしい。気力が充実せぬのが気がかり。

12月17日(水)晴

済生会常務井上氏が来て、土屋呂武氏からのパヨン招待の件促進方依頼があった。財務報償金の授与、献穀者賞状贈呈、ニューオータニでの日経新聞一一〇年史刊行祝賀会、すくらむ社からの取材などなど、今日はその他もあって多忙であった。県議会の委員会は汚職問題で知事保留が三・四件でているので、こちらから知事の自己責任をとる案を出すことにした方がよいとの意見がもち上がり議長その他にどう事前了解をとりつけるかということまで話が進んだ。副知事、出納長の処分についても話題にはなったが、それはしない方がよいと社会党からの強い意見がでて知事処分(十分の一減俸三月)だけの条例を出す方針をきめた。七時帰宅。夜は色紙を六〇枚ほど書いた。

12月18日（木）小雨

朝のうち済生会病院で検診したが血糖値が高かった。心配。十時ブラジル派遣農業実習生の壮行会。それから生命保険協会と岡垣幼稚園の二件。歳末助け合い寄贈を受けた。十一時正副議長に自己処分^の取扱いについて依頼。ひるごろこの問題で記者会見。一時から、厚生、土木の両常任委員会の知事保留質問があった。後者ではとくに知事自己処分について理由、タイミング、議会へのはかり方などについて執拗な追及があった。知事がかっこようしすぎるといふ反撥なのである。委員会知事保留で追及しようとしていたのに先手を打たれて追及しにくくなったことへの怒りでもあった。この問題は二十二日の全員特別委員会にもちこし、今日のところは五時半頃で土木委員会は一応閉じた。議会側の怒りを別とすれば早目に意思表示してよかったとの評判。

12月19日（金）雨

死亡者叙勲伝達式につづいて、ブリジストンからの寄贈金贈呈式があり、一〇施設に分贈された。朝日と読売の取材をうけ、中食は波多野で農政部長、次長とともにした。午後は全部議会の総務常任委の知事保留質問。これは昨日の土木委のそれよりは当りはソフトではあったが質問が知事の自己処分に集中し、要は全貌がつかめてないのに処分を発表したのは政治目的のためではないか、又常任委で保留質問があることがわかっていて質問封じのためではないかという点にしぼられた。どちらでもないとは答弁したが、自分たちが処分をどうするかと代表、一般両質問でずい分やったいきさつから、どちらに解釈されてもあたりまえだとは思わないのだろうか。

12月20日（土）曇

全日休みだった。歳暮の御礼など手紙を書いたり、たまっている注文色紙を書いたりした。午後中尾氏がこんどの著書「ニュー福岡元年」をもって来てくれた。二〇〇ページ余で少々薄いと思ったが、かえって手頃なのかも知れない。まあまあの出来で、これなら一応約束が果たしえたといえるのではないだろうか。河野氏がマージャンをしに来た。本を見せたら、よく書くひまがあるねという。年に一冊ぐらいは書かないとねとっておいた。書くことは山ほどあるのだが、実際いってひまがない。構想がどうしてできるかと彼がきくので、毎日仕事しているとその中から自然にできると答えた。四〇〇〇冊刷ったらしいが六〇〇〇は売れるのではないだろうか。

12月21日（日）曇

朝のうち自由な時間があって、昨日書いた色紙の印おしをしたり、出馬要請ハガキに返事を書いたりして過ごし、午後一時から婦人センターでの新婦人の会、婦人会館での社会党系五青年団体の決起集会に出席あいさつ。二時から黒田荘で県政懇話会（衣笠、大屋、徳本、石川、

八丁、福留、大塚、佐々木秘書ら) に出席。公約をめぐる方針を討議した。あとで軽くビールをのみ、六時半から中洲の花の木での檜崎弥之助、岩崎隆次郎の二人の会談に合流し、知事選への社民連の対応について話合った。夜八時帰宅後要請ハガキの返事書きのつづき作業をした。

12 月 22 日 (月) 晴

一番に散髪。九時半に農協五連の役員が陳情に来て少々懇談した。西日本及び赤旗の年始用の取材に応じたほか、何社かが撮影を所望してきた。これでどの社も新年の私への注文は終わったようだ。夕方社会党の事務局関係者らが古門戸の直心亭で忘年会をしているから顔を出そうということになった。本部役員や渡辺四郎参議も来ていた。今年は忘年会もあまりにぎわってないということだ。早目に帰宅できたので、また河野氏を呼んで家庭マージャンをして夜おそくなった。知事選出馬要請のハガキ拙宅に来た分に全部返事を書いたのだが、一〇〇枚余に達した。本日ほぼ完了。

12 月 23 日 (火) 晴

「中国残留孤児」長谷川さんの養母という人が母子で来訪。年頭知事あいさつの録音をした。各社年始用のが終わったと思っていたらまだ残っていたらしく、社会新報ほか何社かがやって来た。今日は代表者会議その他本会議で十二月県議会の議了日だが、先日申入れていた「知事の自己処分」をめぐる自民党が強く反撥、議会は空転をつづけた。給料の一〇%三ヶ月というのだが、これと議員定数一人増の新条例提案の代表者会議は午後四時になった。その後、自己処分案件について知事を追及すべきだということで、その方式につき議会は空転をつづけた。カッコよすぎるとの妙な反撥のための反撥で、徹夜。

12 月 24 日 (水) 晴

ゆうべはとうとう徹夜議会となり、本会議は今朝六時から四〇分間でケリ。帰宅して朝食。一〇時の JAL で上京。機内で少々眠っただけ。午後二時、ブリジストン本社に石橋幹一郎氏を訪ね、氏に、社会福祉寄付金の感謝状を渡した。昭和四五年からもらっているのに、県は何もしてなかったのだ。石橋美術館などについて少々閑談。あと、ふくおか会館近くの裏千家今日庵を訪う。主は留守だったが茶を一ぱいいただき、私の著書を差出して辞去した。東京事務所で来京中の大塚副知事と事務上の打合わせをしたあと、宿泊部に入り、就寝。午後四時から夕食抜きでねてしまっていた。

12 月 25 日 (木) 曇

七時すぎ起きて午前中ゆっくり。十二時から公明党国会議員と東條会館での中食会だったが、議員は誰も来ず、神崎氏が終わった頃にはせ参じた。一時半、赤坂プリンスホテルで新幹

線建設総決起大会があり、会場は満員ムンムンの雰囲気だった。途中で退席し、あと労働省まわりに時間を使った。緊就、開就、同和、職訓が問題で大臣、両政務次官、官房長、その他が対象。五時半、同じ東條会館で社会党の国会議員との夕食会。渡辺、中西、多賀谷、小野、安恒が出席した。今日はゆっくりした日程だったので夕食後三短問題で総務部長、職員長と話合いのあと、銀座に出てマージャンを楽しんだ。佐々木、富永、森山。

12月26日（金）曇

政府予算原案がかなりくわしく見えるようになってきた。今日は運輸省、文部省をまわって中食。午後は劔木事務所それからサラリーマン同盟の青木事務所を訪ねた。三時半から農水省を陳情してまわった。農水は姫高の後輩加藤六月が大臣である。各省とも大臣、両次官、官房長などに陳情である。夜は六時からキャピトル東急で自民党国会議員との夕食会だった。みんな忙しいようで、そそくさと食べて別れた。議員会館各省いずれも地方からの陳情で人の列々で、これだけでも東京は一大産業をもっているといえるだろう。森山君が世田谷にサトウサンペイを訪ねて私の本の礼をいってくれた。

12月27日（土）曇

朝食後、政府予算のつき方など概況をつかみ十一時のJALで帰福。県庁で部長らに御用納めの言葉をのべて記者会見し、上京等の模様を発表。国際センターでの第三回県民の会に出席。ここでは八千人余が全県からつめかけ、出馬要請の儀式がくりひろげられ、レーザー光線を使つての演出が注目された。私のあいさつも「天の声に答えるのが私の使命」というくんだり注目された。このあと記者会見。出馬声明についていろいろきかれた。八仙閣向うの選挙事務所にはじめて行った。ひる前ここで事務所開きがあった。広い土地を地主が無償で借してくれた。四つ角の適地だ。

12月28日（日）曇

十時半のJALで又上京。ふくおか会館で中食。副知事らとゆっくりして、三時からエネ庁に石炭問題で、総務庁に同和問題で、そして都市センターで整備新幹線の問題で、あいさつまわりをした。この三題は来年度予算案中、まだ決着がついてないものだ。都市センターには新幹線の建設促進本部がおかれており、三線のGOサインがとれるか否かの山場にさしかかっている折でもあった。四時すぎ、あとに残る必要もないし、航空券の都合も繰上げうる状況にないので、一彦に連絡して横須賀に泊ることにした。森山君が随行してくれ、迎車をまわしてくれ六時まえには着いた。よもやまばなしで十一時半に就寝。久美、麗衣の二人は大きくなっていた。

12 月 29 日 (月) 晴

八時半におこされた。よくねていたのだ。十時の電車で一彦に随行してもらい玉川の啓二のうちに行った。沙理が九ヵ月になり、ハイハイしている。初秋に福岡に来た時同様あいそあのいい孫娘だ。この新居からは富士山がみえるとのことだが、霞があって見えなかった。環境がいい。すぐ近くに多摩川が流れている。午後八時二〇分の JAL で帰福するまでのんびりここにいた。啓二が空港まで送ってくれ、森山君に引きついだ。帰省客でごった返していると思ったが、それほどではなかった。十一時すぎに帰宅した。空港の出口で多くの人が帰省客を出迎えていたが、その中を縫うように通った時、「がんばって」の声がきこえた。

12 月 30 日 (火) 曇

朝から年末のお礼まいり。創価学会の吉橋、北風、それから多川博氏。ここでは茶室をみせてもらった。古賀で中食。松尾老人ホーム、折尾の住吉宅。帰福して中洲のてら岡で秘書室主催でその OB、広報室もふくめて忘年会、兼私の出版祝賀会が開かれた。四時から七時まで。林県議と八丁氏も加わっていた。ニュー福岡元年をみんなに配り、私がサインした。このあと「かわさき」に行って二卓分八人が一ぱいやったあとマージャンになった。十二時少し前に帰宅した。近藤栄次郎氏も参加。

12 月 31 日 (水) 曇

平素のとおり起きて一日在宅の平凡な一日だったが、若干の整理ののち、色紙を八〇枚余り書いて暮れた。みゆきは正月用の料理をしていた。昨日から掃除は行きとどいていたので、家の中はピカピカの感じだ。おおみそかはすべて元旦のためにあるかのようだ。年賀状はひとがやってくれたのだが、一〇〇枚以上返送してきている。宛名不十分と相手が転居のためだろう。この正月は直美がハワイに行くといっているし、選挙の空気もあるので子供達は誰も帰省せず。

補遺

一月二十二日、昨日林県議の話では、知事選に立候補予定の首藤氏が入院中のところ最近退院したのだが、鼻から血を出すという一寸した病気らしく、正月行事の各所へのあいさつ顔出しは一切できず、一説によると立候補辞退に至るかも知れぬとのこと。これは遠藤政夫氏が吹いたことを林氏が耳にしてのことらしい。林氏いわく、これは結局は自分におはちがまわってくることを期待する遠藤の作り話かも知れないよと。遠藤はなぜ己れに指名がまわってこないのかと内心いらいらしているそぶりをかくさずに他人に示す男である。しかし、自分が評価するほどには周りの評判はよくないのが実態。この時期、参院選は当然だが知事選についてももうわさしたがる人が多い。私に対し、立候補宣言はできるだけおそい方がいいという人もいる。

一月二十三日、大坪康雄君がまたアルコール中毒で済生会病院に入院しているとき。年末に太田薫氏から、大事な人なので、私から篤と行ってきかせてくれといわれたことがあるが、みゆきのいうには、独身で東京に住まわせていると、断っている酒も又飲むようになるから、東京勤めをやめさせる以外にないという。済生会の小川副院長がみているだろうと思うが、前回の入院では、模範患者でなおるといわれていたが、再発したのだ。その大坪が十日ほど前に私に手紙を書いてきて、県では人事が最大課題だ、島野を是非使え、知事の独断でできるはず、それなしには再立候補したとしても一二〇%落選するだろうなどと、いい切った内容で、どうもアル中くさい書き方であった。庁内人事など外からとかくいわれても、そうかんたんではない。この二〇日の夜八仙閣での社会党の懇親会に島野氏も来ていた。そんな背景なので、あまりものもいわずじまいだった。

带状疱疹について医師所見一対県議会

奥田知事の病状について（写）

昭和 61 年 7 月 18 日

1.病名 重症带状疱疹

（今後一〇日間の入院加療の必要あり）

2.説明

(1) 症状及び経過 左頸部、後頭部、左肩、左前胸部～左肩腕部にかけて、紅斑あり。疼痛は特に左後頭部～項部にかけて残存している。

また左肩、左前胸部～左上腕部にかけて皮膚表面のヒリヒリした軽い疼痛あり。左腹部の鈍痛も残る状態である。治療としては、腹部の疼痛が軽快したため、七月十一日に胸腹部硬膜外神経ブロックを抜去し、頸部星状神経節ブロックのみ、毎日行っている。

また、腹部の周期的におとずれるけいれん性疼痛に対して、適時、鎮痛坐薬挿入にて経過観察中である。

(2) 現状

左腹部～胸部の疼痛軽快とともに、再び後頭部の鈍痛が出現し、左肩～左胸部～左上腕部には、皮膚表面のヒリヒリした痛みが生じてきた。

現在疼痛緩和のため左頸部前面より頸部星状神経節に直接局部麻酔剤を注入する方法（星状神経節ブロック）を行っている。本症は、疼痛後遺症を残しやすく（带状疱疹後神経痛）高齢者程、その頻度は高い。

本治療法は、現在の疼痛緩和とともに、この後遺症を予防する意味でも必要である。

(3) 医師の所見

現在の疼痛は、以前のような、けいれん性激痛ではないが、後頭部～項部にかけての

鈍痛、皮膚表面の刺激痛であり、いわば「不快な疼痛」が残存している状態である。現時点での頸部星状神経節ブロック療法は、この「不快な疼痛」を緩和するだけでなく、今後の疼痛後遺症の予防の為にも必ず必要な治療である。

また徹底した入院治療後も当分の間自宅安静、静養、通院加療が望ましいと考える。

七月下旬に近藤栄次郎を副知事から退任させて、片腕をもぎ取ったとよるこんでいる自民党だが、再就職のことも考えてやらないといけないとの意見も内部にはあるようだ。その近藤氏に対しては、県庁関係のいろいろのグループが、送別会をしてくれたり、ゴルフにさそってくれるので、一応は彼も気をまぎらわせることができているらしい。彼の再就職には私も気になるところだが、直ちにというわけにはいかない。統一地方選挙もあることだし、これをくぐり抜けてから具体案を模索した方がいいというのが大方の意見である。さしあたりは選挙でどう動いてもらえるか問題である。

毎日日記を書くにはかなり無理がある。二日たまったのを書くこともたびたびだし、書く時間を短くしたり、筆の運びを考えずにとにかく書くことになったり、ということで、文章がなっていないことが少なくない。それでも読み返すことがあるので、書いておいてよかったと何回か思うのである。これが時間的ゆとりがあればもっといい文書ができエッセーとしても通用するものになるのにと考える。この三年連用のは記録にすぎず、別の話になるが、もう一冊のは練り、推敲ができればと残念でならない。だがそのようなのは時間があっても書かないかも知れない。

1987年

年頭の所感

先日一彦の案内で二子玉川にいる啓二宅に行ったのだが、孫の沙理みゆきは九ヵ月になり、ようやく伝え歩きしていた。全く健康で、病氣らしきことは一度もなかったそうだ。私が行った時もひと見知りするかと思ったが、それもなく、終始にこにこしていた。横須賀に行った時は、麗衣が父母と一しょに追浜まで迎えに来てくれ、この姉妹も元気だった。3人の孫にいうことなしである。一彦の二人娘は通知表を見せてもらったが、二人とも成績は立派でいうことなしであった。直美はこの正月ハワイに旅行に出かけている。みんな私の方に知事選がらみの来客などあるだろうということで、帰郷することを避けているのが実際に、私も今年の正月は藤江君と三人で静かに元旦を迎えたのであった。午後、久美から電話がかかった。啓二ら3人が一彦にお邪魔するといっていたが、来ているらしい。福岡の代わりを横須賀が果たしているわけだ。こうしてみんな元気なので何よりだ。啓二が田中さんには勝たしたくないといっていたし、美可もライヤも頑張っってねといっていた。みんな話のことを思っていてくれることは確かだ。負けたからとてどうということないねと啓二がいうが、その通りだ。ただ、負けると恰好がつかないのがこんどの選挙である。そのため、今から100日全力投球で頑張らなくちゃ。

1月予記

三日には協会系の人や秘書室の者が多数来訪の予定。四日から公用が入っている。今年は各種団体の新年会に呼ばれることも少なからう。七～九の三日間は北京ゆき。福岡と中国を結ぶ定期航空便が四月から実現することになるので、礼まわりである。あと選挙迄三ヵ月だから公用をできるだけ控え目にして県民の会の方でフル稼働させることになるだろう。健康に注意と平凡ながら自分にいってきかせなければならない。ねむることが何より大事。

1月1日（木）晴

八時半に起きた。雲一つない晴れのよい日。藤江君をまじえた三人だけの朝食。昨夜の手造りのおせち料理・雑煮はよく口に合う。十時少し前に、蜷川、石川の二人が迎えに来てくれ、十時半から県民の会事務所で新年あいさつ。幹部の人たちが二〇人ほど集っていた。主として労組員。一時間ほどいて、あと管崎神社に必勝祈願に行った。帰り途、光円寺に一寸寄ってあいさつして帰宅。送って来た二人がマージャンをするということで上り込んだ。年賀の来客は近藤前副知事、それからコウ君一家はしばらく上って話して帰った。夜藤江君は色紙に押印してくれ、私は下書きのたまったのを整理した。

1 月 2 日 (金) 小雨

九時に起き、例によって朝風呂を使い、そのあと藤江君が機械で摺ってくれた墨で揮毫に時間をあてた。すべて完了したら、午後五時になった。年賀状を少しみていったが、一ノ宮氏が来るといい、七時すぎに広報室の長崎氏を伴って来宅、九時前まで話していった。所望されて二人に揮毫したものを贈ることにした。夕食前に藤江君は甘木に帰った。例により賀状は始末に困る。一通一通ていねいに対応したいが、その時間がない。えりぬいてでも対応したいのに。

1 月 3 日 (土) 曇

八時半起床。朝のうち、社会党公認の、春の統一地方選議員候補に「必勝」色紙を書いた。第一次で三五人である。賀状の残りをみた。午後早く協会の連中が約束ど^まりやって来て隣のうちで新年宴会となった。広報室からも四人加わり、十四人の客となった。四時頃協会の連中は引きあげたが秘書の連中は残ってマージャンをした。六時半、杉本勝次氏の唐人町の自宅での密葬に出席した。約一時間の儀式だった。西南学院の校長から衆院、福岡県知事、久留米市長をした人である。二期革新県政を担ったので有名である。

1 月 4 日 (日) 晴

県立美術館での朝日新聞主催ウェールズ美術館展のオープニングが九時四五分から行われてテープカットに参加。ひと通り見せてもらって、新幹線で小倉へ。十一時四五分共産党の県活動者会議が市民会館で行われているのに出席して激励のあいさつをし、次いで香春口にある北九州市民の会に出席、幹部たちに新年のあいさつをする。このあと、内田茂雄、小柳勇の両氏宅へ新年あいさつのため参上したがどちらも留守。小柳氏の宅の近くの西本願寺鎮西別館に参詣した。あと一路太宰府インターに走り、上杉佐一郎宅に、次いで福岡市にもどって具島先生宅に年賀あいさつに行った。具島先生には「ニュー福岡元年」をみてもらうことができた。今日はあちこち行ったがここだけ主人公がいて話すことができた。

1 月 5 日 (月) 小雨後曇

八時スタート。九時半庁議メンバーに新年あいさつ。十時記者会見。十時半県評中立労連の役員の新年あいさつ来訪。十一時講堂で職員向け年頭あいさつを行う。十一時半養護学校卒園者との年頭こんだん会。十二時一五分ステーションプラザで薬業年賀会次いで朝日新聞社総局に、年始あいさつに行った。午後は共産党県委員会、RKB、フクニチ新聞社へと年賀あいさつに行く。庁内では次から次へと年始あいさつがあつて今日一日は文字通りキリキリ舞いであった。最後が五時からグランドホテルで西鉄主催の年始祝賀会があり、参加客は大変多かった。午後七時から九時半まで拙宅で公約づくりの検討会があった。出席者は笠笠、徳本、八丁、石川、佐々木、大塚、大屋、福留の諸氏であった。すしを囲んでみんなで

夕食、こんだんした。

1月6日（火）晴

恒例の消防出初式が平和台であったが冷い風が吹いた。監閲は新市長桑原氏が行った。今日まわった新年祝賀あいさつ先は毎日、建設業協会、松本組、西日本、FBSなどで、新年会は、ひるの商工会議所、ニューオータニでの軽印刷協会、全日空での土工協であった。駅裏の近代ビル内の中小企業関係各事務所にもあいさつまわりをした。庁内では午後三時に柳川土木事件に対する長谷川喜博の監査請求にもとづく監査委の勧告が知事に対して行われ、このあと中国民航の東京支店の楊氏、長崎店の金氏が定期線開設に関する説明に来室してくれた。このように今日一日も又きりきりまいで暮れた。明朝早く北京に行くので、その準備に気を使った。寒さがきびしかろうということが主軸である。

1月7日（水）晴

五時二〇分起床。朝食して六時半福岡空港に集合。見送りの人達にあいさつして七時五分大阪へ。ここで三時間待ち、十一時五分のJALで北京へ。予定どおり午後二時に着く。一面まっ白の雪原におり立つようだった。関西旅行社の伊藤女史が一行に加わり、あれこれ面倒をみてくれた。通訳も兼ねた。議会側は後藤、白水、伊沢、小西の各氏、執行部側は畑中課長と森山秘書。一行はこの八人。宿舎の北京飯店四〇二三号室。一休みして後北海公園内の仿膳飯荘で日本側招宴を開いた。主賓は黄華（全人大会常務委副委員長）孫平化（中日友好協会々長）何光暉（民航？）らの要人、総計三十数人。前駐福岡総領事金吉松夫妻も来てくれた。

1月8日（木）曇

一日中モヤのかかった北京だった。九時に民用航空局、十時半に外交部を歴訪。福岡空港への定期航空路線開設決定の御礼と今後の交流の発展に協力を求める旨の発言を行う。先方からは県の熱意に謝意がかえって来た。ひるは北京飯店の別室で民航側の招宴があり、午後三時人民大会堂で全人大常務委副委員長黄華氏と会見。一行はこのあと自由行動となったが、私は、中国総工会を訪問して小中企業の技術交流について県評の意向をつたえる仕事。又宿舎に農牧漁業部からの訪問をうけ研修生問題につき意見交換した。夜は中日友好協会の招宴が東来順飯荘で行われた。

1月9日（金）曇

六時半にモーニングコール。荷物をまとめて七時二〇分から朝食。八時すぎに北京空港へスタート。九時五〇分発大阪ゆきの中国民航。これは上海に一時着陸して新客も乗せる。一時間余待って再出発。三〇分以上延着して大阪に着いた。大阪事務所から出迎えあり、現地新

聞コピーももらった。大阪発五時半、福岡着予定どおり六時四〇分。林幹事長、秘書室多数出迎えあり。VIP ルームで記者会見。帰途県民の会に立ち寄ったら山口氏らがいてくれあいさつをすませ、八時帰宅して夕食。やはり何とはなく疲れている。それでも福岡空港から中国への定期航空便がやっと実現した。その安堵感は大きい。国際化に今後大きく役立つようにしなければならない。土台ができたと信じていい区切りだろう。

1 月 10 日 (土) 晴

うららかな天気。北京の寒風とは比べようもない。十時二〇分記者クラブへ行ってみやげのウイスキーを呈し、雑談。十一時日生ビルで行政書士会の新年会。中食は三役会を兼ねて行う。暴力団抗争が続発しているので知事としてどう対応するかが話題となった。むずかしい問題で月曜までに当面の対応を出すことにした。二時半太宰府中央公民館で開かれている渡辺四郎国会報告会に出てあいさつをし、一旦帰宅は四時。しばらく休憩して五時半まで。六時から広州酒家で学文の会の新年会。そのあと大手門会館五階で全国一般労組の旗びらきがあった。どちらも統一地方選挙の空気はみられるものの一般的にいま一つ盛り上がり欠けるところがあるといえる。春闘要求も今年はダウン又はゼロ。円高不況を反映して元気がない。一月下旬からの国会は荒模様といわれる。

1 月 11 日 (日) 晴

すばらしい晴れの日。八時二〇分に出発して大牟田笹林公園での消防出初式に参加。最後までいて十二時になった。隊列の前をみて通る監閲もやった。長谷川県議が、今年の大牟田を重視してくれとのことだったし、大牟田市側も市長の欠けた助役でよく代行、迎えてもくれた。広川(高速)で中食して篠栗の社会教育総合センターへ。県子連主催の第三回新年子どもかるた会が行われている。着いたら準優勝戦の最中だった。終って帰宅したら三時半だった。このかるた会は子どもの心に永く残るであろうことを思うと、世話のしがいがあるう。「えてにほをあげる」という言葉に出くわし、それを最後のあいさつの時に使った。夕方から森祐行氏を呼んで家庭マーじゃんをすることになった。

1 月 12 日 (月) 曇小雨後雪

七時五〇分に出発。九時半から大川産業会館での恒例の新春家具展。前秘書の大石課長が往復とも同乗した。TNC、NHK の二社に年始まわり。一時半教育会館で自治労県本青年部の集いがあったし、六時半からは県職労の旗びらきがパークホテルであって、今日は二度も自治労で話すことになった。三時半都市圏要請レクの時は昨日の不摂生がたたって眠かった。四時半から全日空での印刷業界新年会。五時すぎタカラホテルでの中小企業家同友会。六時のパークホテルでの県職労旗びらき。つづく三鷹ホールでのアスファルト合材関係四業界の新年会。そして最後に青年会議所の新年例会(グランドホテル)と廻りに廻った。

1月13日（火）（晴）夜来の雪

（東京は快晴）七時に出発し、博多駅裏の都ホテルで共産党中央からの雇用問題調査団をまじえての朝食会。終って登庁。庁議と記者会見。そして十一時にはかた会館でLPガス新年会に出席した。山崎拓が秘書に読ませた賀詞はいやな内容だった。一時半JALで上京。県評の白石、山川も同行。東京には社会党から迎えの車が来ていてこの車で、総評、社会党、共産党の本部にあいさつまわり。社会党の小野明氏、共産党の堀井氏（同行）が案内役になってくれた。午後六時には今日の仕事は終わった。ふくおか会館で彼らと夕食を共にし、あと用事もなく、就寝は九時頃。総評と社共に次期知事選出馬のあいさつをすることは重要な手順なのである。とくに選挙資金と応援弁士派遣のため。

1月14日（水）晴

ふくおか会館で八時半朝食。十時少し前から午前中、建設、厚生、通産、エネ庁、水資源の順で各省庁へ予算のお礼まいりをした。十二時に白石、山川に随行されて単産本部まわり。即ち全日自労、全通、自治労、中立労連及び電機労連。時間が足りなくなって私鉄には行けなかった。五時のJALで帰福せねばならなかったからである。電機労連は前回知事選よりさらに力を入れますとのことであった。七時頃、三鷹ホールで開かれていた共産党の新年旗びらきに顔を出し、あいさつをし、激励をうけた。強行軍のスケジュールながら今日もやっと消化でき、八時すぎ帰宅して夕食。芳井氏が私の著書一〇〇冊をもち込んでサインを求めているというので夜はサインの仕事。

1月15日（木）晴

十時に出発して北九州へ（県民の会の車）。北九州総合体育館で松本洋一さんをはげます市民大集会があった。中央から共産党の不破書記長、総評の黒川議長その他地元の著名人を含めて一万人が集った。私も元気のいい演説ができた。終ってしばらく時間つぶしに、赤池町に行く。随行の石川氏の奥さんの里という家に寄る。近所の人は何人かあいさつに来てくれた。五時に医療法人健和会病院に行く。夕食をいただき、その高等看護学校の体育館で開かれた健和会市民の会に松本洋一氏と共に出席した。この会の決起集会である。きくところによると共産党系の集団とのこと。このあと折尾にとび駅前のオリオンプラザ内市民センターにおける地区市民集会に出席、松本氏激励の言葉をのべ、帰福したのが八時五〇分だった。何だか一日疲れた。

1月16日（金）曇後小雨

マスコミ関係への新年あいさつまわり。日経、KBC、読売、時事。十一時に東急ホテルで恒例の漁連との新年中食会。つづいて同所で福岡広域都市圏の県への要請の会。午後八仙閣で菓子工業組合の会合に出たのあいさつ。自治会館では水田農業確立対策についての全市町

村長への協力要請の会があった。又、庁内で行政の文化化研究会発足につき若い職員への辞令交付を行った。六時、セントラーザで建築四団体の新年会。七時からは一丁目「力」で記者クラブの新年会があった。ここで二時間もいたことになる。このあと林出納長と近藤栄次郎宅に行き、選挙協力について要請した。十一時帰宅。

1 月 17 日 (土) 曇

十一時前済生会病院で検診。風邪ぎみである。高田光雄、北岡幸太郎の二事務所を表敬。ニューオータニの和多伴にベスト電器の北田会長を招いて中食懇談をしたが、種々援助を約束してくれた。一時半サンパレスで行われた花卉組合の指導者井上传氏の叙勲祝賀会に出席し、このあと県民の会の車で門司にとぶ。野原県議の誘導で豊国学園の職員、老人ホーム陽光園、浅井和裁専修学校を歴訪、知事選への協力を依頼した。夕食後、松本洋一氏をへげます会(大里西部公民館と門司文化センター)に出席した。さらに野原氏のはからいで、豊国学園関係業界代表新春会にも顔を出した。全通、動労の幹部集会にも。九時すぎに帰宅。疲れた。

1 月 18 日 (日) 曇

九時全日通分会大会に顔出しする。このあと社会党系の四つの事務所をまわる。津留氏(これは座談会)、高松、塩手、栗戸の三つは市議候補事務所開き。さらに保坂氏は八仙閣での大集会であった。午後は新幹線を利用して小倉往復。これは毎日会館での社会党県本の委員会であった。二時半に帰福、共産党系の集會がつづく。千鳥橋病院、そして名島の川端、次いで原氏、吉塚の藤岡事務所を訪問した。四時に全通福岡地区結成四〇周年祝賀会(八仙閣)、五時からは歯科医師会長の堀尾氏の叙勲祝賀会(ニューオータニ)。すべてあいさつに立たされ大忙しの日だった。風邪気味で声が十分出ないのが辛かった。夜熱をはかってみると七度三分あって早目に就寝した。

1 月 19 日 (月) 晴

ひるすぎまで在庁。行きがけに済生会病院に寄って風邪薬をもらった。十一時半に監査委の報告(県職員昇短問題)。一時から幹部職員研修での知事講話を行い、あと、二月議会での暫定予算の骨格説明があった。三時から国際問題懇話会での冒頭あいさつを行った。筑紫地方にとんで地区合選の世話で合同庁舎での職員向け、教育会館で福教組及び高教組の先生向け、二日市民館(市役所横)で筑紫野市職向け、さらに福建労、京町保育所でそれぞれ挨拶。味和で夕食。民商に寄り、大野城市中央公民館での「励ます会」に出席した。ここは八〇〇人ばかり会場にぎっしりつめかけていた。帰宅は八時二十分頃であった。夜は冷え込んだ。

1月20日（火）晴

一〇時に定例記者会見。十時半恒例の東長寺節分豆まきをうけた。中食をはさんで二月議会に提出する補正予算案を社会党県議員側に説明討議した。一時半商工連合の新春講演会で冒頭あいさつをした。（大博多ホール）このあと田川にとんだ。県民の会の車による。三時半田川文化センターでの全日自労の集会を皮切りに、そして金田町の和田、中川氏宅対話集会をしんがりに一〇箇所の事務所又は集会に顔を出した。三時半から八時半までの日程である。中でも青少年ホールでの「励ます集会」は圧巻であった。ホール満席、八〇〇人が詰めかけた。赤池町の集会は町長、議長、青年会議メンバーら出席の要望の集いであった。十時に帰宅。

1月21日（水）晴

二月議会に向けての補正予算の知事査定を八時半から十一時までおこない、そのあと時間がポッカリあいて二時から五時まで在宅、近辺整理をした。五時から八仙閣で建設業協会の新年会であいさつ。直ちに糸島にとぶ。伊都文化会館で地区「励ます会」に出席。博多駅から前原まで久しぶりの地下鉄利用だった。十二月二十七日に行ったような出馬表明の儀式であった。風邪をこじらせたようで微熱が去らない。鼻呼吸が苦しいくらいだし、演説つづきでノドの障害もとれないでいる。帰宅して九時半には就寝。

1月22日（木）晴

昨日は八時、今日は八時半の出発。登庁しないで、まず岡垣町役場に行き、町長、町職員にあいさつ。老人ホーム静光園、中遠地区のゴミ処理場、尿尿処理場、さらに水巻町、中間市へと移動、関係職員にあいさつした。助信県議がずっと随行してくれた。このあと北九市、まなづる会館。ここからは上島県議が随行してくれ、婦人、中小企業者の集会を消化し、全電通市外局分会へと移動。さらに救護施設「愛の家」に行つて七～八人の職員と対話。市民の会レベルの二つの大きな集会。松本洋一氏と共に行動した。行橋にとび、グリーンドゥ行橋に投宿。

1月23日（金）曇小雨

豊前の人達とホテルで朝食会をすませ、特養老人ホーム誠松園、椎田農協、豊前市立老人ホーム、次いで周防学園を訪問。そして龍馬で中食。豊津町の堺利彦記念館、泉中央公民館、与原上公民館とまわつて集つてくれた地域の人達の数は一三〇〇〇人に達したのではなからうか。三時に行橋総合庁舎で行われている県行政連絡会議に行つて所長達にあいさつ。ついではその農林、財務など事務所、保健所をまわつた。長峽川改修事務所にも立寄つた。五時すぎ帰福し、済生会病院で再診をうけ、六時からニューオータニで開かれた郭壘新総領事着任祝賀会に出席。八時前に帰宅。

1 月 24 日 (土) 晴

今日、北九州市長選の告示。十時からの小倉香春口での松本洋一候補の出陣式に立合った。事務所前には三〇〇人ほどの市民が集っていた。帰庁してたまっていた決裁をすませ、二時から東区市民センターで開かれる吉浦公生、林武彦の市政・県政報告会に出席しあいさつをした。ピザで中食したのが契機になり、牧坂氏の習字教室（和白公民館）をのぞいてみた。帰途県民の会事務所に立寄ったが大多数は松本選挙加勢で小倉に行っているとのことであった。五時半グランドホテルで歯科医師会の表彰式及びレセプションがあった。体調が思わしくなく、あちこちのあいさつで、発言が不自然になってどうも面白くない。ノドがはれている。菓のせいか、口腔がかわく。

1 月 25 日 (日) 曇

朝のうち三橋、瀬高をまわった。三橋の教育福祉会館そして、三橋町中央公民館には四五〇人ほどつめかけた。瀬高では福教組の河野宅に婦人たちが集ってくれ、ここでは揮毫もした。中食を車の中ですませ帰福し、国際センターで行われる「ふくおか八〇〇〇人の第九コンサート」に顔を出しあいさつした。石丸寛指揮、F コープ協賛の催しである。第一部がすんで退出、駅近くのホテル・リッチでの「ニュー福岡元年」の出版祝賀会に出た。社会主義協会の主催で県下各地から協会員一〇〇人が参加した。出版祝賀会は年末秘書室系がやったのに次いで二度目。内々でということにしかならなかった。

1 月 26 日 (月) 曇

朝から県民の会の車で浮羽三町をまわった。筑水農機という工場ははじめてであった。吉井の婦人の家、ラーメン製造所、農協、丸田焼窯元、ユニスター工場、筑後川温泉病院、新泉荘、鶴喜荘、町役場、内山緑化等々とまわって、三時、甘木総合庁舎で、公用の地方行政連絡会議に出席。ここで私のスピーチが約二〇分。あと福岡に帰ってグランドホテルでの九州各県議会議長会懇親会に出てあいさつをし、公用を終る。午後六時半、尚文堂での玄羊会教室の新年書初め批評会、つづいて近くの「くいだおれ」での尚文堂教室新年懇親会に出て、大いに語り食べた。岸本先生を送って帰宅したら十時になっていた。牧坂氏がお伴してくれて助かった。

1 月 27 日 (火) 晴

庁議、記者会見とつづいた中で、田川土木の汚職について、やや私の発言に波らんがあったようだ。今日は出たり入ったりで、外は都久志会館の農村婦人フォーラム、グランドホテルでの日本舞踊協会福岡支部役員会、西総合庁舎での地方行政連絡会議があった。四時に福岡を出て五時から甘朝地区の選挙運動になった。夜須農協次いで菊池園（身体障害者施設）朝倉荘（老人ホーム）を訪ね、新築天台宗の寺真光院、そして最後が甘木市町村会館での「は

げます会」があった。五〇〇人は詰めかけていただろう。七人の住民代表が演壇に立った。みんなトツトツと語ってはげましてくれた。帰りは握手攻めだった。近くの割烹で夕食をとり、色紙に揮毫。帰宅したら十時になっていた。

1月28日（水）晴

九時半に登庁し、決裁、朝の放送録音をしたあと、県民の会の車で一日行動。まず小倉ひびき荘で中食ののち県評青年協総会、次いで黒崎公民館をはじめ八幡西区民の会のスケジュールに従って行動。商店街や個人宅での小集會に参加した。その中でとくに吉田修氏宅での集會が記憶に残される。ここで五時すぎ。一路下って福岡町へ。厚生年金スポーツセンターで地区県民の会の「はげます会」があった。広い会場を埋めていたので、七～八〇〇人は集って来ただろう。盛況であった。そのあとさらに、団地集會所や個人宅を二つ消化した。津屋崎にも足をのぼしたわけだ。どの会場にも一ぱいつめかけて私の話をきいてくれた。車の中でサンドウィッチをたべた食としたほど小刻みの行動。帰宅したら午後九時を過ぎていた。ずい分多くの人と顔を合わせたものだ。二千人は越すだろう。

1月29日（木）晴

公用車で十時に筑後市役所に着いた。近藤市長の出迎えで役所を一まわりして後、市内電々、郵便局幼稚園保育所、大谷短大などあいさつまわりをした。案内役をつとめてくれた弥吉市議の経営する焼肉店で市長らと中食をすませ、二時から筑後農林事務所での行政連絡會議に出て知事講話。このあと久留米にゆき地区労案内で市役所、労働福祉、久留米土木をまわり、さらに玉井さんの久留米ミルクプラントに行き見学と従業員へのあいさつをさせてもらった。さらに松本組系の松栄会新年会に顔を出した後、石橋文化センターでの「奥田知事の再選をめざす久留米地区総決起集會」に出席した。六時半から八時近くまで、五〇〇人ほどの参加者で沸いた。あと市内で会の幹事らと夕食休憩したが、鳥越県議が終始ついてくれた。帰宅は十時。

1月30日（金）晴

八時すぎ出発。登庁してたまった決裁をし、土地利用計画審であいさつ。杉本勝次元知事の叙位叙勲伝達式をすませ、飯塚にとび、チエおくれ者収用の穂波学園を訪ね飯塚會館で中食。二時から、のがみ會館で行政連絡會議に出席講話。福岡に引きかえし、ニューオータニでの原田種夫氏 SGI 平和文化賞受賞祝賀會に出てあいさつ。直ちに又飯塚に引きかえし、飯塚文化センターでの嘉飯山地区県民の会の「はげます会」に出席した。八〇〇人以上集っていたと思う。熱気があふれていた。このあと壽會館で、この地方の経営者の人達十数人の集っている會に出席してコーヒーで一寸こんだん、意見をきき、神仙樓に今日の集會の幹部たちが夕食會を開いているところに合流した。岡松先生を宅に送り、宿所の田川セントラル

ホテルに落付いたら十時半だった。

1月31日(土) 晴

午前中田川郡各町村の役場、農協をどンドンまわってあいさつした。午後は直方、鞍手。これは大集会、小集会をこなすという違ったやり方。社共共同及び別々の集会が何箇所もあった。二千人近くの人々に顔を向けた。直方の目貫きの商店街、感田の明治屋産業のびっくり市にも顔を出した。県職の井田氏がよくまわしてくれた。県議選に出る直方の野下、鞍手の木野の両氏もがんばっていた。両方とも当選してくれるといいが安心できる状況でもないだろう。夜八時半に脇田温泉の楠水閣で直鞍地区県民の会の諸氏と今日の打上げ会をし、少し早目に休むことになった。田川郡型と直鞍型がきれいに分れた一日の行程であった。

2月予記

二月は半分が県議会、半分が知事選と大忙しになっていく。県議会は一面田川土木事務所汚職で荒れそうだが、他面選挙でお互いさまという分れにもなるような気がする。いずれにせよ健康が第一。一月末に風邪が治ってほっとしている。気をつけているつもりなのにどこからかしのび込んでくるのが風邪だ。これから七〇日多忙をきわめる。県民の会が万事都合つけてくれるので、安心してまかせてある。負けられない一戦だから張りきった日々をすごしていこうと思う。がむしゃらだろうが突っ走るだけである。身辺放置になるが、日記だけはつけていこうと思う。神妙にも神妙に。

2月1日(日) 晴

楠水閣を十時半に出て、途中藤本土木に寄り水巻の助信選挙事務所開きに参加。一時半小倉城趾公園での小倉区民の会総決起集会、とその後の銀天街から駅前までのデモに参加。松本洋一候補と行動を共にした。三千人ほどの動員だったろう。城趾と駅前の二カ所で演説した。このあと四時半から共産党系の街づくり推進会議(八幡東区千草ホテル)と社会党系の黒崎勉強会(サンルートホテル)と二つの集会対話に出席した。この二つはゆっくりした話合いの会でよかった。帰宅すると九時半になっていた。三日間走りまわったわけだ。いささか疲れをおぼえる。カラ舞いになってないならいいが……

2月2日(月) 曇後雨風

朝早く立って糸島へ。前原の隣保館に一寸寄ったあと志摩、二丈の役場と師吉荘、小富士園、富の里、篠原の里の三つの老人ホームと身障者施設を訪問、げきれいし、糸島地区県民の会の幹部の人達と前原のみふねで中食を共にし、帰庁した。二時ごろだったろう。あれこれ事務がたまっていてそれらを消化したあと、四時から三光園で部落解放県連と来年度予算についての説明会あと懇談会の席をもった。上杉、羽音の両氏らが来て、懇親会は県の各部長

が出席した。七時頃に帰宅したら姫路から和代が来ていた。選挙運動について何彼と手伝おうというのである。夕方から雨風がひどくなった。明日は雪ともいう。

2月3日（火）大雪

九時の庁議に、八時一五分に出てやっと。折からの雪。かなり降って一日中。十一時から二月議会の野党懇があったが時間がズレ、三人の議員の出席しかなかった。雪のため西鉄電車で柳川に行く。市役所、郵便局、杉森、柳高、水産試などをあいさつにとびまわり、次いで八女市へ。割烹樋口本店で県民の会八女地区の人達と夕食。六時すぎ文化会館で地区はげます会があり、四〇〇人は参加してあり、若い人が多いのが特徴と思われた。柳川、八女ととんだのち筑後市へ。農協会館だったろうか市長、議長に迎えられ地区県民の会の「はげます会」に出席。ここも四〇〇人ほどだったろう。平田社長、それから先日の幼稚園々長さんらがはげましのスピーチをしてくれた。八時一六分羽犬塚発という国鉄特急で帰博し、九時半に帰宅できた。十一時頃九一からの電話で刀出のオモヤのおじさんの死去を知った。高松宮も死去。

2月4日（水）曇

八時一五分のTDAで上京し、午後大阪に行く。大阪のホテル阪神に泊る。福岡県人会の東京は斉藤武幸氏、大阪は高浪卓造氏に面会、再出馬の意向を披露した。どちらも事務所を訪ねた。大阪では浅沼組に社長及び江崎氏を訪ねて意向を伝えた。東京では皇居北の丸車寄せに行き高松の宮弔問記名をしてきた。又九段会館で行われていた総評大会に出席して知事選出馬の協力をのべる傍ら大会祝辞をのべた。今日の出張のメインはこのことにあったかも知れない。が秘書室で東京大阪両県人会に寄ってあいさつする企画をしてくれたことは時宜にかなったものであると思った。総評大会であいさつできたのもよかった。

2月5日（木）晴

薬がなかったためかよくねむれなかった。七時十分に出発。大阪空港から福岡へ。迎えの車で小郡インターへ。九州横断道鳥栖朝倉間開通祝賀の式典まで。式典は朝倉トレーニングセンターだった。車の中で中食しつつ大野城中央公民館へ。成人病結核予防大会である。七〇〇人はつめかけていた。あと小郡中央公民館にひきかえし、婦人とのつどいに行く。地区労主催で選挙戦の一環である。これをすませて庁内仕事に時間をさくため一たん帰庁。そして八仙閣での建設同友会の新年会に出席。また引きかえして「やま弥」での西日本新聞社主催の知名士政経こん談会に出て、ここではほとんど終るまでつき合い、午後八時に帰宅した。睡眠不足の肉体が折れてしまいそうな一日だった。とくに小郡での婦人の集いでは三〇分私が話し、一時間半の質疑。西日本新聞のこん親会も二時間近く。これも疲れた。政府原案の売上税をめぐる野党市民団体の間で反対が盛り上がりはじめたようだ。

2月6日(金)晴

八時半から庁内で二月補正の説明。庁議で二月議会提出の暫定予算案説明。記者会見。十一時から二月議会招集の代表者会議。ここで自民中村が妙なことを質問したが、かわされた。このあと、県職員勝手連、福建労が面接を求めてきて会う。そして小倉へ。(庁議室税務課の者と中食しながら売上税について説明をきく)二時四〇分から小倉社会保険事務所視察。地方職員がもっている問題について訴えがあった。あとの時間は県民の会で、松本市長候補と前後しつつ四つの会場でスピーチ。小倉中井婦人公民館、堺町の小倉東公民館、北方中央公民館、ひびき荘。前二つは主として婦人の集りで、終って夕食。北方のは部落解放同盟、ひびき荘のは民商系の中小業者の集りであった。松本選挙も明日一日の大詰め気分が出ていた。九時半すぎに帰宅した。昨日より疲れは軽く感じた。

2月7日(土)晴

自宅を出たのが十一時半。北九州市長選運動の最後の日で、門司と小倉南の両区を松本洋一候補の本隊車に乗ってマイクマン、マイク嬢の声を背に窓から左手を出して流してまわった。反応は半々に感じられた。門司山城屋と小倉魚町、駅前では車上にのぼって演説もした。城跡から紫川、魚町、駅前にずらりと並んだ反対者側(末吉陣営)の企業動員の男がとくに目についたし、駅前のわが方の演説会に対しては、相手側のマイク車(民労協車)が妨害放送をしに来た。内容は赤攻撃(市政をアカの手に渡すな)の一てんばりである。当方の売上税アピールに対しては、中央と地方とは違うとの弁解を吹聴していた。街宣の終る八時前、松本事務所前で完闘の儀を行った。みんなよくやった。夜色紙を書く。

2月8日(日)晴

ゆうべはねられなかった。それで九時ごろに起きた。休みだったのでゆっくりといたいが、又色紙を書き調整した。昨日から一〇〇枚にはなる。午後五時前佐々木氏が迎えに来て黒田荘に行く。県政懇談会で、知事の公約作りの討議作業原案がほぼできた。八丁君が中心。来たメンバーは、石川、徳本、衣笠、福留、大屋、大塚、安達、佐々木であった。すませて夕食しているうちに、北九市長選の開票もはじまり、このメンバーが帰ったあと、記者会見が予定されていたのだが、九時半になったのニュースで松本洋一氏が負け末吉興一氏の当確が出されたところで記者会見になった。知事選への影響をどう見るかときいてきたがないだろうとっておいた。

2月9日(月)晴

陽気あふれる一日だった。八時半に出て、西区高松市議事務所をふり出しに、塩手議員事務所をふくめ、西区の幼稚園、公民館ほか病院、事業所など、すべて山北県議の案内でぐるぐるまわりをした。三菱電機労組、日赤今津病院、福祉村にも行った。田川郡をまわった時の

ように万歩計はどんどん上昇。ラ・メール会館で中食した。西福岡病院に行った時、岩元和秋氏とパツタリ会った。昨年の夏から病氣入院していて今は時に通院とのことであった。午後一時帰庁して決裁などしたあと、六時ごろこんどは夜の部で粕屋中央公民館での「はげます会」に出席した。六〇〇人は来ていたであろう。社共型の会合になっていた。筥松まで帰ったところでラーメン屋に寄って夕食した。北九市長選勝利で田中陣営の意気さかん。

2月10日（火）晴

庁議、記者会見のあと西短付高野球部の選抜出場あいさつ来訪があった。例により色紙をさし上げ健闘をと激励した。須郷氏が校長で来訪代表。午後保母研修大会（電気ホール）、問研訪問、食生活改善集会（看護センター）があったあと、中小企業団体中央会前会長内堀卯助氏の葬式があって出席焼香（福岡）はかた会館で喪服を着かえ、県民の会の車にかえて一路行橋へ。五時四五分に会場の市民会館に着く。五〇〇人は集っていただろう。京築地区の「はげます会」が開かれており、例のごとく花束をいただいたり、決意表明のスピーチをしたりで会は進化した。明日は久留米の集会があるので、今日は原鶴温泉に泊ることにした。田川経由で二時間ほどかかったろう。咸生閣へ。浮羽の活動家たち六人が迎えてくれ、夕食をしながら歓談した。十時まで。

2月11日（水）雨

九時すぎに咸生閣を出発し、久留米東町公園へ。朝の晴天が急に降り出し、一日中ふりつづいた。売上税、マル優廃止反対の四ブロック集会が開かれる。まず久留米。午後早く福岡城内ラグビー場、三時から飯塚河原グラウンド（北九州は市長選の疲れで体制つくれず）。雨の中だったが、この問題への関心が徐々に高まりつつあることがわかる。福岡では檜崎氏も来た。久留米で公明党県議も来た。サラリーマン新党は昨日、奥田推薦を打出し今日の福岡集会に姿をみせていた。飯塚ではジャスコに売上税反対のタレ幕がさがっていた。夕刻から粕屋郡篠栗、久山、粕屋の三町々民の会の主として婦人集会にそれぞれ出席して「知事との対話」を行った。八時半すぎ帰宅。今日も多くは県民と顔をあわせたが、前回の「公舎問題」がないだけにやはり無気味な選挙だ。

2月12日（木）小雨

朝はゆっくりし、十一時に公用車が来た。登庁して三役会。当面の問題とくに議会対応について論議。又民生、労働部長を呼んで知事選につき了解を求めた。午後教育会館で地公労の婦人部婦人県議げきれい会があり、私もあいさつに立った。車をとばして新宮にある福岡コロニーを視察。古賀町役場に許山町長をたずね一時懇談。このあと喫茶店で小休憩ののち、六時からの町中央公民館での「はげます集い」に参加した。大きな講堂だったが少々入りが悪く四〇〇人ぐらいだったろうか。八時前に帰宅することができた。和代、みゆきの二人は

県民の会(今吉さん)案内で市内各地をまわり九時前に帰宅した。

2月13日(金)晴

午前中私学と朝鮮人学校とつづけて陳情があった。どちらも出してあげたいのはやまやまなれど、ということに尽きる。十一時からは二月議会本会議知事提案理由説明。四年間の県政をふりかえってのくだりが長かった。その分だけ長々と私の発言がつづいた。午後覚醒剤薬物乱用防止推進研修会があつてあいさつ。毎日新聞取材。それから商工、農政、土木の三部長に順次会って知事選への協力要請をした。その他決裁など次々と用務が分刻みにつづいた。六時半から井筒屋六階で元参議院議員小柳勇氏の油絵個展レセプションに出席。彼の絵のすなおさ構想の立派さには感心した。政治家にはまれな余技をもっているのにも感心した。帰りに春吉の奉丁で出納長、広報室長が記者クラブの人達とのんでいるのに合流した。

2月14日(土)晴

選挙活動が主体となった。九時五〇分に宗像地区労をたち、東海大学の高校、教養部、幼稚園、それから農協、福退協(これはひびきに於て)に顔を出し、ここで中食。神湊漁協に寄り去る二月三日に突風で遭難した家庭を弔問。東陽シャツ縫製工場、日の里アパート集会、赤間いこいの家での高令者集会。こんどは中間にとんで松岡県議事務所開き、八幡西区折尾のオリンプラザでの豊島県議をはげます会、そして市立中間、町立芦屋両病院を問い、最後に水巻中央公民館での中間遠賀地区での「励ます会」に出席した。五〇〇の席に七〇〇はつめかけていた。老人、婦人、労組員が主体だった。熱気がこもった集会になっていた。終って幹部たちと近くの小料理屋で夕食をとり、九時頃帰宅。今日和代は一日中鞍手を林さんに案内された。

2月15日(日)小雨、曇

十時から、今年は春日公園で十回目の青少年育成会議の県民マラソン大会があり、スターターをした。十一時すぎにグランドホテルで全日本煎茶道連盟九州大会があつて七流ほどの受付でのみあいさつして次の日程に走った。十一時四〇分から福浜公民館での共産党星野鈴木の後援会の人達三〇人ほどの集会、次いで西新パレスでの黒田ハツ子後援会の集会。中食後は大手門での新日本婦人の会の決起大会。これは八〇〇人ぐらいの盛大な会で熱気にあふれていた。二時から多々良小学校での吉田学氏の後援会集会。これは四〇〇人ほど東区民林県議系の集りといえるものであった。三時間から一時間市の婦人会館で保育代表者とのこんだん会。四時すぎ帰宅してあとはマーじゃん会。

2月16日（月）晴

確定申告のはじまる日で、率先納税ということで九時半福岡税務署へ、のち記者会見。十時に済生会定期検診。つづいて大濠のボートハウスで池水浄化問題で市民グループと話し合い。十二時城山ホテルで農協五連の会長らと副知事出納長を含めこんだん。農政部長がリードし、中食会となった。このあと登庁。水産林務、建築、衛生、総務の各部長を個別に呼んで選挙関係のこんだん。決裁もあれこれたまっていて処理。午後六時半大濠ウェディングホールで二紀会四〇周年記念明日からの福岡巡回展祝賀レセプションがあり、出席祝辞をのべた。明日からいよいよ代表質問が始まる。夜おそく答弁資料をみる。山戸祐子君たちがチョコレートを託してくれた。

2月17日（火）小雨

統一地方選をひかえての議会で例年より早く今日から代表質問が始まった。自民の山中孝助と緑政の白水善右衛門。後者は今期限りで引退する。どちらも平素はいい人のようだが議会の質問に立つと義務感が働くのか、知事非難を口きたなくやっていた。あとで記者たちの評をきいたが、程度の低い質問だったとのこと。両者とも答弁を加えて一時間余で済んだ。午後は時間が余って色紙書きをしたほどである。午後六時から和多伴で地域振興整備公団総裁の招待による懇親会があった。招待されたのは私と九経連の石崎理事長、通産佐久間局長の三人だった。筑豊の精神風土にまで話が発展して八時まで話がつきなかった。今日の議会が軽かったので一まずである。

2月18日（水）小雨

あたたかい日がつづいているが、今日も雨。代表質問の第二日目、社会党の白石と公明党の伊沢の二人が質問者だった。白石氏は田中健蔵側のビラを裏返したような質問項目を並べ、答弁する私に一々反論させるように組み立てて質問した。よく勉強していたのであろう。伊沢は平凡な、反奥田論調でかえって恥を残して任期を終ることになった。白石氏への答弁で私は、今沸騰中の売上税に「反対」とすると答弁したため、これが早速夕刊にのった。午後六時から城山ホテルで社会党政策審議会の人達と全部で十七人、二十八日に発表する知事公約について論議した。あわせて奥田事務所を創設する事も合意された。売上税問題がいよいよ自民党内にも波紋をひろげるようになってきた。

2月19日（木）晴

うすら寒くなった。八時四五分に中国民航の劉さん浦さんが福岡事務所設置のあいさつに来訪、四月はじめての就航祝いにつき話題になった。答弁資料の検討ののち、十一時半から一般質問に入った。共産党の塩塚氏、自民の吉塚氏。ひるの時間に代表者会で「二月補正」につき説明。午後は社会党大町、緑政村谷、公明党大内の三人、計五人であった。明日三人で

一般質問は二日八人で終ることになる。野党は誰も汚職につき知事追及するのが常であるが、村谷さんはそれをしなかった。塩塚、大町の二人は売上税について演説し、二人とも長時間をかけた。四時半頃に議会も残り残った時間は色紙書きにあてて、早目に帰宅することができた。村谷さんは私と同じ年の生まれ。次回の選挙には出ないという点にふれた演説をした。

2月20日(金)晴

今日の一般質問は鳥越、古賀、牛島の三人で自民の二人はおりてしまった。一時半すぎまで、補正予算の提案説明などふくめて閉会になった。二時にパークホテルで退職者協議会の総会があつてあいさつ。あと県民の会に一寸寄って作業中の人たちにあいさつねぎらいをいい、帰庁して色紙をいくらか書いた。六時、城山ホテルで共産党県議らと私の公約について討議し夕食を共にした。問題を整理するため、同席した佐々木、八丁の二人をわが家まできてもらい、十一時すぎまで原文作成のための討議をつづけた。二十八日に政策発表に至る下仕事なのである。今日の本会議の古賀、牛島は相かわらずつまらん質問だった。公約原案については共産党主張の売上税反対を取入れることにした。

2月21日(土)曇

九時にわが家を出て博多区社会党系候補者などの事務所まわり。どことも支持者を少し集めてくれていた。高田、北岡、榊、白川、保坂。中食は、うたいの先生佐藤さんが関係者を集めてくれている「筑し乃」というところで、食べながらの集会あいさつということになった。一時、農協の共済作文コンクール表彰式、ついでパークホテルでの中立労連春闘学習会に顔見せした。あと、つくし会館で共産党系の人達の県政シンポ革新懇に、次いで「はかた会館」での永元候補をはげます婦人のつどいに出席。三時半東月隈会館での支持者の会結成会。四時半市民会館での私学助成をすすめる会。このあと、石橋としお宅をはじめ博多区をどんどんまわしてもらった。雑餉隈あちこち。最後は冷泉川島もやし屋での小集会だ。

2月22日(日)晴

十時すぎに東区の八田団地第四集会所に着き、こんどは返して博多区春住小学校、次は西に向って原の黒田ハツ事務所。今日は終日共産党の県議市議の候補の運動との連合である。午後は周船寺公民館、下山門公民館、福重団地集会所、オイスカ、鳥飼小学校、南区の花畑公民館、そして最後に赤坂小学校内での市立高校教組の集会。それぞれが一五分前後の時間であり、少くて五〇人、多いのは二〇〇人程度の集りであった。どの集会にも諫山博参議が私と前後してあいさつに立った。赤坂小で中村室長と森山係長が引取ってくれ、三人で山ノ上ホテルに行って夕食をした。七時半に帰宅。安部スミ子さんが来訪。

2月23日（月）晴

一〇時から午前中日本タングステン工場を見学した。奥田専務が姫高の後輩ということでの縁。縄田社長が便宜をはかってくれた。よい勉強になった。外で中食してすぐ登庁。「赤旗」から取材をうけた。三時から土木委員会が開かれ、知事保留に入った。野党三人が汚職問題で知事保留質問をしたが、一時間で終わった。今回はそれほどのいやらしさはなかった。このあと、大野城市総合福祉センターで「知事に女性の声を届ける会」に出席した。二五〇人は集った。女教師が中心であった。いろいろ女の熱心な声をきかされた。中でも学校の現場にある管理主義に強い不満が出された。妊娠女教師に女性の教頭が、やめるか、子をおろせばいいといったのには驚かされた。帰途近くの前崎南嶂さん宅に寄り、奥さんの市議選出馬につき、はげましの言を伝えておいた。

2月24日（火）晴 強風

公用の日だったが町村議会議長会、小倉 KMM でのビジネス情報会、福岡商工会議所表彰式、酒販組合総会（電気ビル）、その他等々で多忙をきわめた。新幹線で小倉に往復した。午後四時ももちパレスで自治労九地連現業労組の春闘討論会があつて挨拶した。二時にマルベニで中小業者を有志として集めた集会（ローフレンズ系）があつたのと、六時から都久志会館で日本フィルをきき地方自治を語る会が学文系であつたのと、今日は二回、弁護士の前田豊氏と合うチャンスがあつた。文化人もようやく動きはじめたということができる。小倉 KMM での集会は中小企業者と発注業者の集りで県商工部の世話するもの。四〇〇ほどの業者が情報を交換するという有意義なもの。新しい試みであつた。夕刻になって強風吹き明日の天気は悪そうだ。

2月25日（水）曇後晴

風強く寒波来襲。九時四五分から岩田屋で経済人余技展がありテープカットする。十時四〇分に新しい北九市長末吉の就任あいさつ。「あなたの応援の候補に勝って参りました」というのがセリフ。このあと空港周辺者の陳情。十一時解放会館で県職労の婦人部の定期大会に出席した。午後は庁内で待機し、あいまを見て三月の朝の放送を録音。四時すぎ代表者会議や総務委の知事保留など議会の用件に応じた。保留では自民中島が汚職で知事の自己処分をくりかえし質すということに終始した。六時から中洲鹿鳴春で県職労有志の私をはげます会に出席。七時からは名島の城浜団地の集会所に行き住民三〇人ほどの集まりであいさつした。工学部の森さんの知り合いの集りであつた。

2月26日（木）曇時々晴

十時半に久留米農協の人が久留米つつじを昨年同様何鉢ももってきてくれた。県議会の最終日。三時に合同審査会が開かれ知事保留は伊沢の一件だけ。次期出馬せぬ伊沢だが、腹一

ばいアクタイについて厚みのない質問は終わった。総まとめの本会議は午後九時半から十時五〇分まで。各種委員会報告、終結承認、勤続表彰などをふくめてしめくくった。このあとキングで各議員のお別れパーティが行われた。十一人ほど現職を退き再出馬せぬ者がいる。社会党に立寄って四年間のごくろうのお礼ものべた。応援団の人達も同席だった。記者会見、部長へのあいさつなどすませたところで十二時半近くになった。秘書室ともビールをかわし、帰宅は一時頃になった。

2 月 27 日 (金) 小雪

外は冷えこみずっと小雪が舞った。十時半に町村長会があつてあいさつ。十二時に自治労未加盟市町村職労連の集りがあつてライオンズホテルに中食かたがたあいさつに出かけた。私への支持をきめてくれたらしい。感じのいい集りであった。幹部のみだったが・・・午後、機関紙協会、読売、朝日、西日本、フクニチ、時事の順でマスコミの知事選関連取材がつづいた。七時近くになってサンパレスで博多人形界の各種表彰祝賀会があり、次いで八時に南区市民センターで、榊京子を囲む区民のつどいがあり、ほんの一寸あいさつをした。帰宅したら九時前だった。和代は今日も東区、西区と個人のうちを訪問あいさつして廻っていたか。帰ったのは九時すぎていた。昨夜の寝不足が少々ひびく。

2 月 28 日 (土) 小雨

野村証券支店長が来訪のあと、毎日新聞社の取材。十二時国保会館で集ってくれた国保職員にあいさつ。県民の会に行つて中食。午後は政策発表のつどいが一時半から福岡は市民会館で、六時半から北九は商工貿易会館で行われた。昨年末の出馬表明に次いで大きな節目となる。福岡は二〇〇〇人、小倉は五〇〇人ほどだった。安達氏の書いてくれた草稿に添つて十五分前後、政策の基本について話した。福岡ではあと記者会見をして、知事としての政策であることを強調しておいた。福岡市民会館ではそのあと女性の集いがあり、これも一五〇〇人は集り、激励の寄せ書きなど盛りだくさんにいただいた。又つづいて別の室で「米と農業を考える集い」(約二〇〇人)にも出席あいさつした。小倉から小雨の中、船小屋へ。清流荘に泊る。

二十八日の政策発表会で知事選の二つ目の節が来た。三つ目の節はもちろん三月下旬の告示になる。それまでの三週間、福岡市を重点にまわることになる。北九とあわせ、二大都市は票の動きが全く不透明で、むしろ心配の方が先立つ。二月末になって田中健蔵は売上税については自民県連の意向に従い反対するというあいまいなことをいってお茶をにごしたが、知事選を何とかぐり抜ければよいと思っていること明かである。自民県連も「賛成」では選挙にならないから「反対」なのであって、これほど選挙民を愚弄したものはない。あとで舌を出すという態度が見え見えである。こんなごまかしを選挙民が見破れないとなると情ない限りだ。又中央と地方は別だから知事選にはひびかせたくないとのいい方も通る

んだから不思議。

3月予記

いよいよ三月になった。知事選まで余すところ四〇日ほど。告示後はマイクで走りまわることになって、ほんとうの選挙戦はもっと水面下でおこなわれる。街頭マイク戦は、表面での景気付けに不可欠であって、これが盛り上がりも是非なくてはならぬ。中央での売上税の動向と一般大衆の反対の運動がどう燃えて、それが地方選にどう影響するかがポイントになるだろうに、大衆意識としては別々ということになってしまうかも知れない。奥田にとって売上税は「神風」という見方もあるが、はたしてそうなるのか否か。三月上旬の風の吹きまわしが、それをきめそうだ。運動体の方もその頃から、エンジンがかかるはずだが、今一つもの足りぬ感じである。

3月1日（日）小雨強風

強風、小雨、時に小雪という荒天だった。清風荘を九時四五分に出発。瀬高駅近くから清水寺までの第三回歩け歩け大会に出席。清水寺に参拝。柳河に出て本吉屋でうなぎ中食をとり、一時半、市環境改善センターでの「はげます会」に出席。次いで大川に。老人ホーム永寿園、そしてコミュニティセンターで二つの会があって出席。一つは商店街業者たち、もう一つは家具労働者の集りである。途中に大川小の子供たちがミニバスケット県優勝で全国大会出場ということで練習中の体育館に訪問げきれいした。夕食ののち大川文化センターでの「はげます会」に出席した。柳川同様、地区県民の会の骨折りで柳川五〇〇、大川七〇〇という人数だったろう。大川が終わったのは八時をすぎていた。十時少々前に帰宅できた。

3月2日（月）雪後晴

ドカ雪で朝の出勤ラッシュはこんらんした。長靴をはいて下まで降り車に乗った。十時から死亡者叙勲、あと労働団体の最賃申入れがあった。十二時にアサコ博多ビルで中国民航の福岡事務所の開所式レセプションがあった。多くの人が祝賀に来た。三時に中国技術研修生の修了式を知事室でおこなった。二団目農業関係者四人が対象。五時、市美術館で自由美術協会の明日からの展示会に先立つレセプションがあって出席。さらに六時から、はかた会館で九大教養部現役OBを中心とする「ニュー福岡元年」の出版祝賀会がおこなわれた。一〇〇人余来てくれた。福留氏らが中心になって企画してくれたもので選挙色を抜く配慮があった。半ば本に対するサイン会ともなった。八時すぎお開きになった。夜六角の雅明君来援。

3月3日（火）晴

庁議が終って県美術館での読売主催のレオナールフジタ展オープニング式に出、引きかえして記者会見。山北県議が室見川改修の陳情団に引見を求めてきて対応。午後環衛連合協議

会の総会、表彰式に出席し、浮羽にとんで耳納、ゆうかり学園など視察した。このあと二つのはげます会に出席。まず小郡小学校での地区県民の会、次は又引きかえして吉井文化会館での浮羽地区県民の会の主催である。前者は四、五〇〇人は集って学校講堂をうめつくしていたのに時間が切りつめられ惜しかった。後者は六、七〇〇人集まり感激的シーンが展開され本格的舞台準備が感じられた。終って若者数人と食堂で夕食。十時に帰宅した。

3月4日(水)曇

午前中は政府・自民党の通産、労働両政務次官、調査会部長及び九州地方の各省出先機関及び各県知事(代理)による地域雇用対策推進協議会がニューオータニで開かれた。各県の雇用事情の悪さがそれぞれ報告された。午後は県民の会の車で嘉飯山地区まわり。主として炭鉱跡処理に従事する三菱、三井、住友、日鉄など。それからジャスコその他山根県議事務所などあいさつまわりをした。山根、岡松両氏が案内し、新立候補の村瀬が付いて来た。六時から薬院に移転した中国総領事館の招きで、県の三役、企画部幹部ら、郭新総領事と夕食懇談した。九時近くまでかかった。あと色紙書き。姫路から裕一が来てくれていた。

3月5日(木)晴

九時すぎ山ノ上ホテルで老人クラブ連合会の研修会に出てあいさつ。登庁後公務を消化。十一時半西部ガス労組役員の訪問をうけ選挙推薦を告げられた。中食を共にした後、一時からの痴呆性予防教室講義前の知事あいさつを行い、大牟田に向う。共産党の下川、社会党の浦川氏らが、病院、生協その他をぐるぐるまわりで案内してくれた。平の山、米の山の両病院が当然に入っていて、前回の選挙が思い出された。昨日福岡の国際センターで行われた業者たちの売上税反対集会の興奮がまださめやらぬようで、大牟田市内もその余波が感じられた。五時半から市文化会館で地区県民の会のはげます集会があり、一五〇〇人はたいへんに燃えた。終ってフタバというところでの学者文化人の招きでの、はげます会に出席、夕食をごちそうになった。大牟田は燃えている。小倉に飛び弥生会館泊。

3月6日(金)晴

十時に北九県民の会事務所で落合い、上島県議の案内で小倉北区をまわった。中井病院、日通、西武運輸、北九青果、歯科など。午後は真鶴会館で退職協の人達と話合い、のち南下した。行橋市役所ほか勝山、犀川、豊津の各町役場をまわり、五時半に豊前市民会館ではげます会に出席した。一〇〇〇人ほど集っていたという。前回もそうだったが、この地区の人はよく動いてくれる。椎田町以南の人々である。田中健蔵のビラが少ないと思ったら、どちらも破り合いをするのだとのこと。エキサイトするのだそうだ。七時ごろ集会が終って、宿泊する築上館で集会の幹部の人たちと夕食をしながら懇談。このあと少し時間があつたので、色紙書きをした。今日も昨日同様汗ばむほどの暑さだった。歯科大では桜花満開の木を

見、樹下で職員の人達と写真をとる。例年早咲きの桜が目をはひくのだそうだ。

3月7日（土）曇・小雨

八時に築上館を出て直方へ。農協会長堀亀王氏に面会。十時半、いこいの村で県植樹祭。雨が降りつづいていて難儀だった。町中で中食後、野下候補、木野候補（どちらも直方、鞍手の県議選）関係の集会に出てあいさつ。どちらも盛り上がりには欠けているのではないかと感じた。雨のせいだろうか。帰福して三時、環衛会館での料飲業組合連合の新年会に出席した。ここでしばらく時間を費し、六時からの東急ホテルでの社会党国会議員との懇談会に出た。国会は今、売上税問題で紛糾。野党の議員は帰郷運動を展開。中曽根総理は強行突破の構えをちらつかせている。乗るかそるかの山場に近づいたかに見える。六時半同じホテルで有職婦人の全国総会があり、レセプションに出てあいさつした。出しものがあるのでおれということだったが、私は中座した。

3月8日（日）晴

十時半、北九州の奥田選挙事務所開きがあった。二五〇人ほど集った。松本洋一市長候補の事務所がおかれたところである。十一時半小倉城と市役所との間の空地で北九決起大会があった。三〇〇〇人は集った。春闘統一地方選、売上税がこの集会の目標になっていた。同じ頃、田中派も西日本展示場で三〇〇〇人集会をもち氣勢をあげている。帰福してライオンズホテルで九州鉄道労組の旗上げがあつて参加しあいさつ。これは分割民営鉄道の従業員によるもので国労脱退派の集団である。四時に読売ビル横のビル三階で、「奥田八二事務所」のオープン集会があった。八丁君が長い間主張していてやっとできた事務所で地公労が主たるスポンサー。小柳勇氏に主宰してもらうことになる。「県民の会」でつかみえない人の寄る所となればと思う。六時から県政懇を黒田荘で開く。十時近くまで歓談夕食。佐々木、福留、徳本、石川、衣笠。

3月9日（月）曇

七時五〇分に出発。あわただしく多忙な一日だった。三役会、国鉄からの採用者研修会での知事講話。十一時から日赤今津病院の改築定礎式に出向き、又引きかえして庁内で行われている県職本庁支部定期大会に出てあいさつ。庁内で理髪ののち中国帰国者援護功労者表彰。このあとマスコミ取材で週刊現代、スタジオでTNCとNHK、そして国際ホールでの美容環衛同業組合の三〇周年記念会に出てあいさつをした。女ばかりの集りで田中健蔵を推薦している団体だけあつて自民公明の「先生」方がたくさん来ていた。このあと県民の会レベルの東区での集会（香椎・・・香住、公民館、それから土井団地、名島の城浜団地二カ所）社共市議県議のものと一緒にあつて十分ずつあいさつ。最後はパークホテルで森下さん系の保険医協会の集まりに出てあいさつ。十時に帰宅した。

3 月 10 日 (火) 曇後雨

九時から庁議、あと記者会見。十一時からはセントラルホテルで青少年問題協議会の会長、議長をつとめた。一時半、薬業組合理事会（薬剤師会館）に出て推薦の礼をのべ、あと南区民商、中洲の花の関ビルでテレホンサービス録音（KBC メディア）に従事。四時半県住宅生協部長加藤慶愛氏宅の小集会に出てあいさつ。のち、全日空ホテルで会議中の上岡氏に面会し、先日の協力に対しお礼を、そして推薦状をめぐる名前の刷りまちがいの陳謝の意を表明した。六時から榊候補の事務所（教組市中部事務所）での教組青年選対会議に出てあいさつ。次は県婦人会館に行き NTT 系労組（情報通信労連、元全電通、福岡地区協議会）の春闘決起集会に出席あいさつ。七時半に帰宅した。夕刻より雨。夜はもっぱらつもりにつもった手紙書き。池永満陣中見舞をもってきてくれた。

3 月 11 日 (水) 小雨後晴

八時半に出発して夜九時久留米グランドホテルに投宿するまで北九州で一日をすごした。八幡と戸畑、いろいろのところをまわった。地区県民の会が二つ。半分ずつまわしてくれた。八幡では上海堂にも行った。北九州の落込みがありありとわかるが、八幡中央町で中食にラーメン屋に入った時、製鉄の研究所の人と話すチャンスがあったほか、市民は私に会って歓びの表情を示してくれて有難かった。夕刻になって戸畑では市民福祉文化センターとその隣の市民会館で社、共別々の大衆集会があつて出席。八幡では合同の「はげます会」があつた。戸畑のクリスチャン系の明治学園ははじめての訪問だった。北九州も市長選の疲れからようやく統一地方選へと動き始めたかにみえる。

3 月 12 日 (木) 晴夜雨

久留米グランドホテルを八時半に出発。新市長谷口久氏を訪問。そのあと久留米市内を鳥越県議の案内でぐるぐるまわった。役所では社会保険事務所、職業安定所、財務事務所、保健所、職業訓練所、筑後川水系事務所、市ガス、農業統計事務所、などであり、日本ゴム、月星ゴム、NTT、西鉄自動車、市清掃工場、整備工場、それから市労連の会議、そして久留米聾学校、寿泉老人ホームなど。まだおとしているかも知れない。とにかく昨日以上に万歩計が上がった。それに応じて今日も又くたくたに疲れた。四時すぎになって久留米を離れ、これから田川郡の川崎に行くといっていたのにキャンセルしたということで、福岡に帰った。赤坂事務所に寄ったあと信濃庵で三人で夕食をして帰宅。刀出から九一が来てくれていた。赤坂事務所が必要だというので名簿を整理していたら就寝が十二時すぎになってしまった。夜は雨になっていた。

3 月 13 日 (金) 小雨

一たん登庁のあと、十時半に西専の事務所に行き、ついで東区の卸売団地センターに行く。

どちらも商業者組合役員に会い売上税についての見解を交換するためだった。保守の牙城のような陣地に突入したといえる。のち、若松にとぶ。地区県民の会のリードで商店街をあいさつまわり。役員ばかりが相手。赤のれんという店で早目の夕食をとって市民会館で「はげます会」に出る。六時半すぎだった。集まりはよくなかった。三〇〇人ほどだったろう。このあと共産党の高智彦県議系の集会を四カ所、社会党の坂本候補の集会一カ所をまわった。帰宅したら十時二十分になっていた。今日もこうした強行軍。九一も三カ所ほど行って九時すぎに帰ったという。みゆき、和代は、小郡の明願寺に行き、七二兄の一周忌の法事をすませてくれた。

3月14日（土）曇小雨

十時からの農業大学の卒業式に出て告辞。大牟田線で往復となるようなやり方で一たん岩田屋横での子供劇場の売上税反対署名に参加。引返して安部さん宅で習字教室参観。中比恵公園でのクリーニング業者の売上税反対集会に参加した。あと一転して、九大法文系教室での福大教大会に出てあいさつをした。三時半西区市民センターでの藤田一枝集会に出席。グランドホテルで西日本新聞社の取材に応じた。六時半城山ホテルのクリスタルホールオープン会（売上税いやいや集会）に出てあいさつをし、七時すぎからニューオータニでの朝鮮総連商工会の私をはげます会に出席した。この際、多額の陣中見舞をいただいた。岩崎隆次郎、小野明、白石議長も出席した。

3月15日（日）晴後曇

高田市議関係の団地の空地で挨拶。あと永元市議候補と共に後藤賢一氏宅に八八才の老人を問う。（笹丘）若久の保坂事務所前に五〇〇人といわぬ支持者の集会があつてそこであいさつ。このあと南市民センター横の塩原中央公園内での「生き生き大バザール」に出て弁当を開く野外の市民にあいさつ。中食は車中ですませ、下山門小学校での塩手市議をはげます集会に出席、三〇〇人はいたであろう。次はKBCスタジオでの録画取り。あと警固公園の「お祭りサンデー」であいさつ。隣の教育会館で（教組三役室）フクニチ新聞の取材、そして勝手連のザ大衆団交（会館大ホール）に対応。KBCメディアに行き政見放送ビデオ取り。これが終って八時。あと廣州酒家で夕食。

3月16日（月）曇

朝のうち知事名で中央に対し売上税反対の公文書を出すことについて文案を示した商工部の意見に私はOKした。これは十三日の卸売センター役員との対話を実行するためのものである。十一時半都ホテルで開かれた社会党本部幹部会に出て協力に謝意をのべ、十二時から新天町で土井たか子委員長らと街頭演説。新幹線で小倉に行き、小倉ホテルでの、女のわいわいパーティに出てわいわい交流。あと、小柳勇の案内で小倉地区の企業まわりを。南区

の若狭県議候補の事務所を訪ね、六時半厚生年金会館で開かれた社会党北九ブロック大集会 (全区県議候補が出席) つづいて七時半健和会講堂での共産党ブロック婦人集会に出てあいさつ。小倉稚加栄で北九地評 OB に囲まれての夕食会。十時ごろ帰宅。

3 月 17 日 (火) 雨後晴

型どおり庁議と記者会見。庁議では長期計画の第一期中期計画実施案をきめた。毎日新聞の取材、日経も。中食は商工部長と庁議室で。十二時半雨の中電通福岡の春斗決起大会 (NTT ビル内) であいさつ。一時から五時まで昨日につづき小柳勇氏が福岡市内の業者事務所を紹介してまわってくれた。夕食は県民の会近くの店でウナギ料理を一しよにして別れた。六時半から博多市民センターで河野正氏後援会集会があり、このあと東区にとんで相良峻三氏宅、舞松原、香椎丘、馬出会館、箱崎会館と計六箇所の集会に出てあいさつに立った。帰宅したのは十時少し前。県民の会もようやく活気づき、各級議員の集会もひんぱんになってきたようだ。九一は昨日今日北九州ゆきで泊りになっている。

3 月 18 日 (水) 晴

八時二〇分に出発し、東公園会館の各事務所をあいさつまわり。午後博多人形師西頭哲三郎氏の工房を問う。又六本松の社会福祉センターの各事務所にあいさつまわり。夕方まで建設関係の業者を中心に、そして農協中央会に井口会長を問い売上税問題の対応をきく。そのあと朝鮮人商工会の役員をその信用組合を訪ね、先日の懇談会の際の陣中見舞の件につき謝礼をのべ情勢報告も行った。関心の的はやはり売上税である。このあと千代町にある「とり善」に行き食肉衛生同業組合の人達にあいさつ。そして県民の会で夕食をすませたあと、市内早良区を中心に六ヶ所の県議市議の集会に出てあいさつをしてまわった。遠くは内野まで。ももちパレスは共産党系だった。田中照月の長男と名乗る田中裕了氏 (住職) にも会った。帰宅は十時半になってしまった。

3 月 19 日 (木) 雨

汚職関係職員の人事 (処分) 案について協議。十時半に東区女性のつどい (筑紫荘) つづいて十一時から女子大の卒業式に臨席。中食を庁内でとったあと庁議室で総合計画審議会 (中期実施計画諮問) に出てあいさつ。すぐ大博多ホールでの県職労決起集会に出席して激励。車を門司にとぼした。ずっと雨になった。大里及び門司港地区の商店街を売上税反対を訴えて歩いた。あと裏門司の小野田セメント労組の人員整理反対集会に出てあいさつ。車を八幡に向け、中央町レインボウプラザで製鉄関連労組役員たちとの懇談をもち雇用問題をとりあげる。又門司に引きかえして野原県議の引退激励レセプション (門司倶楽部) に出てあいさつ。すぐ又裏門司伊川区民館で知事との対話集会に出て四〇分ばかりを費し終わったら八時半であった。縦貫道途中で夕食をとり十時二〇分帰宅。

3月20日（金）晴

早目に行って整髪し、三役協議ののち、部長会、記者会見、こんだん。ここでは公務としての最後ということでのあいさつ。一連の不祥事件についての処分を決定も行った。十二時からNHKのスタジオで政見放送の録画どり。何回か失敗うまくいかなかった。ままよという感じ。あと、県民の会で中食し、RKBの録画どり、そして北九州へ。八幡地区で鉄工小企業まわり、そして産業医大の労組に行ってあいさつ。前回の選挙では全く手のついてなかったところばかりを案内してもらった形である。夕食後八幡西市民センターでの豊島県議をはげます会をはじめ、あと共産党系の四つの集会にかけあしでまわった。（熊西公民館、オリオンプラザ、中尾公民館、レインボウプラザ）八幡の西区東区を何回も往復した形。帰宅は十時二〇分。中西次男、それに福留、島野がやってくるしばらく歓談した。中西のいうには今、十万票勝っているという計算。ほんまかいな！

3月21日（土）晴後曇

本日のスケジュール次のとおり。

- 九・〇〇FBSインタビュー（県民の会）
- 一〇・〇〇政見放送録画（TNCスタジオ）
- 一一・二〇博多駅まつり（博多駅前）
- 一一・四五全生連婦人の集い（市民会館小）
- 一二・三〇団地バザール（長住）
- 一三・三〇電機労連決起大会（婦人会館）
- 一四・〇〇福岡地区県民の会決起大会（須崎公園）、集会者天神行動
- 一五・三〇奥田勝利集会（香椎第一中）
- 一六・〇〇解同関係五集会（堅粕団地、老司、長尾、南庄、道隈各地域集会所）

これだけ消化して午後八時となり、山北県議がさらにもう一箇所建築製材業者の集会に案内するといひ、これに応じ、九時に帰宅した。今日は比較的早帰りだ。告示前の最後の活動となったわけ。明日は在宅。

3月22日（日）雨、曇

ゆっくりした朝を迎えた。九時に岩崎と名田の二人が来た。後者は久しぶり。選挙活動は十分やってくれているらしい。午後一時、社共労の代表三人が来宅。明日以降のことについて形式上の意思統一。走るしかないということで一致した。たまっていた色紙、その他の揮毫に一日費して終わったらもう六時をこえていた。色紙は五〇枚ほど書いたと思う。秘書室の杉山、古沢が来て、首尾よく勝利して又会えますように祈るとあいさつしたので、少々妙な感じがしないでもなかった。明日は早朝、管崎宮に参詣するという予定を組入れることにした。岩崎らの説明では、田中陣営は十億円は使った北九市長選同様知事選でも物量でくるだ

ろう、それに凶器暴力を警戒しようとのことであった。前田弁護士、そして又衣笠教授が夜になって来宅。

3月23日(月) 雨

一日中雨が止み且つ降った。五時すぎに起きて六時半管崎宮に必勝祈願に行く。赤飯とエビ鯛の朝夕で祝い。九時に県民の会に到着。東京からは高橋正雄先生が来てくれ、十時から出陣式。山口鶴男(社、書記長)、金子満広(共書記局長)、檜崎弥之助、真柄栄吉(総評事務局長)らがあいさつに立ち、出陣式が天神での第一声演説会にリレーされ、私のあいさつは天神で十一時半。このあと、とくに売上税反対を訴える狙いで新天町に街宣。十二時半選挙車で粕屋郡、宗像市郡、水巻、若松、戸畑、黒崎、などをまわる。戸畑―黒崎、小倉―門司港は国鉄を利用して移動。小倉では北九県民の会の事務所開きもあった。ほか各所で演説会がはさまれた。門司は屋内演説会であった。戸畑・黒崎のあたりでとくに雨に濡れた。門司銀天街で夕食をとり、一路豊前に走り九時四〇分築上館に投宿。選挙車にはマイク嬢のキャップ牛島明子君が同乗していた。

3月24日(火) 小雨後曇

七時に朝食。四五分に豊前の活動家たち二〇人ばかりが築上館前に集ったので、それに激励の言葉をのべ、八時に選挙車に乗り行橋をふくめてこの地域をあらくまわった。香春に抜け田川郡市をたまわり。直方にそして鞍手郡も。飯塚、嘉穂郡もあらくまわって二日市に出、商店街をかすめた後、朝倉郡、甘木市を走って浮羽三町を抜けて久留米。ここの公会堂前で女性の野外のつどいに出て一寸長いあいさつをした。もう暗くなりかけていて、ひとの顔もだんだん明瞭でなくなっていた。八女市市民会館に着いたら八時すぎになっていた。ここでは個人演説会ならぬ売上税反対集会との名称。私は話していて二〇分も費してしまった。終って近くの食堂で関係者一同夕食。九時すぎグリーンホテルに投宿したが、ここでもごく近い人達が六〜七人待ちうけていて九時五〇分まで懇談して別れた。途中眠けがさすことしばしばだった。

3月25日(水) 曇強風

一日中風強く、外気は冷たかった。七時すぎに起き八女市を振り出しに筑後市、それから南下して大牟田。ここで中食になった。筑後路の反応も悪くはない。ずっと選挙車に乗って行き交う車や沿道の人にもあいさつし、主たる市町役場など人だまりが多く、時には下車して激励を受けた。大牟田市内を一巡したあと高田、大和を通過して柳川へ、次いで大川へ。それから城島、三潁を抜けて久留米に出て、ここで又二ヵ所街頭演説をした。ここで選挙車と別れ、蜷川君運転の車で糸島入りをした。途中、ラ・メールで夕食。糸島三町それぞれ個人演説会場が用意されており、前原、志摩、二丈の順に話し宿所、志摩町芥屋の「みどり松」に

着いたら九時半だった。宿には八丁、森山の二人が待ち構えていて、情勢などにつき意見交換した。田中陣営は、しまりがよくないし、本人も自信なさげである。売上税についての国民感情をどうわれわれに有利に引きこむかが今後のポイントだということだった。

3月26日（木）晴

ひきつづき車外から流れ込む風は冷い。八時前に「みどり松」を出て、八時から前原駅前で「朝立ち」を三〇分間。セーターを着て出たが寒かった。今日は二周目といえるまわり方で前原、福岡西区、早良区、城南区を選挙車でまわった。商店街を訪ねてみたが、反応は悪くなかった。前原、姪浜、西新など。今津の日赤では病院長ら大勢で歓迎してくれた。夕方政連車による街頭演説会が岩田屋横で行われ、共産党の不破委員長が来援しており、私も加わった。今後はくだけた話をするよう心懸けることとしていて、笑いをさそう部分をなるべく入れていく。このあと水城学園で学文の会の売上税勉強会があり、夕食をはさみ、二〇分ほど「講演」した。夜の部は二つの小学校、長住と花畑で個人演説会があり、くだけた話をまじえて話した。寒さが加わっていた。二日市温泉大丸別荘に泊る。（九時二〇分着）

3月27日（金）晴

大丸別荘を八時に出発。どんどん選挙車でまわった。筑紫野、大野城、春日、福岡は南区と東区が中心だった。中食は県民の会でとった。ここでうちから洗濯物の入れかえもしてもらった。春日の朝市、大津町、香椎駅前など商店街も回った。筑紫野、豊浜などひとがあまりいない所で住宅団地向けに演説させられると気が乗らない。流通センターでは売上税問題を中心に訴えて話し甲斐を感じた。埠頭のタクシー協会（個人）での出会いも初体験ながらよかった。午後一番の都久志会館での福教組の退職者の集いは話しやすく後味がよかった。東区では高美台、美和台を回ったが反応がとてもいい。ピザで夕食をとり、あと三箇所、個人演説会に出た。多々良中は社党系、千早小は共産系。松源寺は北岡・檜崎の集りであった。三つの比較では千早が一番多く人を集めていた。五〇〇人はあっただろう。十時半に小倉の厚生年金会館に着き、泊。寝る時間が少いので疲れがたまるようだ。

3月28日（土）曇

七時から黒崎駅前での「朝立ち」があったので六時前に起床。ねむい、ねむい。四年前と同じ駅前商店街の食堂で八時半に朝食。このあと八幡の西区東区を回り、下車して祇園町、中央町の商店街を歩く。「資さんうどん」で中食。こんどはとぼして門司区に入り一周したが、途中大里と門司港で商店街を歩いた。門司駅前「すかいらく」で夕食ののち選挙車と別れて六時一〇分から大里体育館での政談演説会を消化し、夜に入って小倉の三箇所（上島県議系、朝鮮総連系、塩塚県議系）を消化した。八時半には厚生年金会館入りしたのだが、読売新聞の陶山氏がインタビューを申し入れて来て応じたり、選挙車関係一行十人ぐらいで私の

部屋でビール菓物のこんしん会などしていたら結構今日も十一時半すぎに就寝することになってしまった。社会党の土井委員長が昨日は北九州、今日は福岡と、統一地方選応援で県入りしていたが、今日の夕刊では記者会見で自民候補の売上税反対のあいまいさを質す公開質問状勧奨の意見がのべられていた。緊迫を求める挑戦である。

3 月 29 日 (日) 雨後曇

雨のため早朝地域の勝手連の人達との勝山公園ジョギングの計画は中止になった。北九県民の会で一しょに朝糊をたべてお別れ。すぐ選挙車で若松から戸畑をまわり、数箇所街宣もした。戸畑 F コープでの女たちの小集会に行ったのち近くで中食。岩手の参院補選で圧勝した小川仁一氏が応援にかけつけてくれ小倉駅頭でリレー演説。のち京町と魚町をはさんで、次に旦過、次に北区役所前さらに井筒屋前と街宣し、黄金町商店街前でもやった。四箇所の個人的な訪問をなし、NTT 会館で夕食。夜の部として戸畑駅ビル、F コープ、若松の小石公民館、八幡大谷公民館など演説会を消化してのち、豊前市経由で愛山荘に行って泊る。吉永、恒遠の両氏がまた迎えてくれた。午後おそく雨は止んでやれやれだった。若松で小野参議がいうには二〇と一五の差で有利ですよ、と。

3 月 30 日 (月) 小雨

一日中小雨で止まなかった。愛山荘を定刻八時に出発し、大平村、吉富、豊前市、その周辺、そして行橋とその周辺、ずっと選対車で流した。仲哀トンネルを経て、そこで中食。田川郡市はやり方が一変して小集会、伊田、後藤寺駅前の商店街まわりとなった。田川市役所前での集会は売上税反対のビラをつけた風船をあげるというこらし方であり、田川は全部ピエロ女たちが市内をおつき合いしてくれた。嘉飯に入るとまた選挙車でまわるというやり方にかわった。各地区選対の自主性によってまわし方が違うのである。飯塚、庄内、颯田、小竹などまわったあとは、夜の部で直方市での大集会 (一〇〇〇人以上)、鞍手町での集会 (三〇〇人) そして宮田町での解放同盟の集会の三つがあった。宿は九時半に「松の井」に着いて泊る。みゆきも来ていて夕食。NHK のインタビューや岩崎氏が連絡に来るなど結構時間をとられた。

3 月 31 日 (火) 雨後曇

朝のうち小雨。風強く、寒かった。例によって「松の井」を八時に出発。若宮、宮田、植木、遠賀、岡垣、芦屋を選挙車でまわった。芦屋町役場前で小集会あり、近くの食堂で中食。あと中間、八幡西区を小嶺、木屋瀬、茶屋の原、香月を流してロイヤルホストで夕食。五時頃だった。ここで選挙車と別れ小倉と八幡での演説会に参加した。五〇〇人、八〇〇人規模の集会であった。会場は市民会館。八幡では演出がこっていた。かなり盛り上がっているように思える。欲をいえばあと一歩かなと思うが、準備する方が大変な努力だろう。流しの反応

もいい。時に下車してスポット演説をする。今日の最後の会場は香月地区の某公民館で、三〇人ばかり。これはとび入りで売上税問題の勉強会であった。九時半「ひびき」に着く。学校の先生たちが何組か来ていて、挨拶を一席ぶった。森山、佐々木、それに八丁の諸氏が情報をもって来室。しばし話す。

4月予記

四月一日になると、泣いても笑っても、投票日まであと十日になってしまった。選挙がなければ楽しい興業だ。正直なところ十日では日が足りない。限りのない話といえよう。県庁職員も以前よりは燃えているし管理職員の態度も軟化しているといわれる。今回はよく動いて個票も二万はあがってきそうだという。それにそれでテストされるかのようだが、職員のうちダメというのがきわめてはっきりしてきたともいわれている。このことだけで評価してはいけないのだが、左様に、職員が活性化してきたことは確かである。今日近くの職員を相手に、二期目が実現したとすれば、私はまずこの活性化に着手したい。工業試験場を地域の中小企業に有効に使ってもらう方途をさぐることなどなど。

4月1日（水）雨

玄海町の「ひびき」を八時定刻に出発。ずっと南下し、福岡市を除いて宗像、粕屋の市町を選挙車でまわった。（篠栗町を除く）そして市の南部は那珂川町を中心にかけてめぐった。中食は粕屋の小西平太郎事務所でいただき、随所で小集会があった。那珂川町役場前で五時すぎの集会は町職員が中心だが聴衆はふくれ上っていた。夜は大野城市の市民会館で四市一町の県議候補が来ていたし、社、共、社民連、サラリーマン新党の代表が激励の演説をしてくれた。社民の榎崎は国会報告として売上税問題を中心にきかせる話をしていて。そこへ私が入場したのであった。終ってFBS、朝日が取材を求めてきたのと、庁内からは佐々木、安達の二人がやってきて宿で話して帰った。雨が降らず風もなく曇の日はよいのだが。

4月2日（木）曇

おだやかな曇天で一日恵まれた。八時から西鉄春日原駅で朝立ち三〇分間。大野城、太宰府、ここでは五條を加え宮前二箇所街演。筑紫野は京町隣保館集会。小郡、三井郡と選挙車で回った。このあと、久留米一大牟田を西鉄利用で往復。両市の地域集会に出席した。大牟田は文化会館に五時半から六〇〇人、久留米は市民会館に一六〇〇人も集めていた。午後七時四〇分終って鳥越県議らと空兵衛で焼肉で夕食。一直線に小倉年金会館にとぼし、十時一五分に着いてようやく一日の行程は終わった。久留米では同じ会場で市職婦人部の集会があったし、夕食前に部落解放同盟の集会があり、両方とも出席してあいさつした。今日のこの行程いずれも最終コースらしい盛り上がりを感じられた。小郡三井では田中健蔵氏の日の丸集会の後を追う形となった。

4 月 3 日 (金) 晴

七時半に出発して小倉駅前の朝立ち。若干休んで南区の若狭、有馬両県議候補の出陣式に出席した。若狭の近くの近藤 (民社) のそれの方が盛大だった。スーパー「まるよし」にあいさつに行き、門司区との境にある魚扇で中食。ここでも若干あき時間があったゆっくりしていたら学校教員たちのグループと出会い歓談。門司駅前で街演その他流し、こんどは戸畑に転じ工大前商店街天神町商店街など数箇所を次々とまわってかなり歩数が上がった。午後六時、浅生公園での共産党系県民の会小集会に出席し、あとは個人演説会。八幡東区で個人宅二箇所。小倉に戻り南区で若狭候補の部落解放系集会、北区の塩塚候補の集会に出てあいさつした。十時半頃久しぶりにわが家に帰った。小嶋芳男氏が来援していた。九一は筑豊とか。藤江君の帰りも遅かった。就寝できたのは一時になっていた。

4 月 4 日 (土) 晴

雲一つなく桜は満開。十一時半に迎えの車が来るまで休み。十二時二〇分から中国からの定期航空初便テープカット。大塚副知事が団長で答礼団が出発。県民の会で中食ののち天神での街頭演説会に出る。このあと須崎公園での国際婦人デー集会であいさつ。六本松で散髪ののち教養部社会科に寄ってみた。原田、横田、刀田の三人が集まってきて田中健蔵評でしばらく歓談。二時間ほど自宅に帰り身辺整理。夕食ののち七時五〇分から原小学校をはじめ原団地、壱岐小の三ヵ所で共、社の市議、県議をふくむ演説会に出た。今日は社会党の田辺書記長が天神、須崎、壱岐など一日まわって演説してくれた。ゆっくりした一日を久しぶりに味わったわけだが、明日からのハード日程のための鋭気を養ったことになる。和代も九一もフル回転だ。

4 月 5 日 (日) 晴

香椎のロイヤルホストでの女性たちとの朝食会から始まり、西戸崎。みゆき通り、高美台、美和台、など東区をまわってピザで中食。電通労組の山岸委員長から陣中見舞をうけ、二時半天神、つづいて須崎公園で演説。唐人町一丁目、博多駅の裏と表で街演。県民の会に寄って夕食。七時すぎ問田先生宅を訪ね、夜の部は小笹団地、福浜団地、当仁小など消化して九時頃全日程を終了。一路南下して十時半すぎ柳川の白柳荘に投宿した。こう書いてはみたが抜けた日程もあろう。荒戸の西公園下を通った時の桜見客はすごく多かつたし、歓迎ムードは異状と思えるほど、東区はとくによかった。自民は竹下幹事長を投入。当方は売上税で押せ押せムードに終始した。

4 月 6 日 (月) 小雨

桜花が散りはじめた。七時すぎ出発して、柳河の筑後中部市場の朝せりを見学をはじめ、大川、大木、三橋をはじめ、筑後の各市町を回った。雨降りとなって今日もまた大変だった。

大牟田では細谷代議士のうちで弁当をいただいた。筑後市では駅前の街路で多数の市民を前に演説した。夜は黒木に入り、ある菓子屋さんで夕食をとり、黒木中で個人演説会に臨んだ。二町二村の合同とっていたが八〇〇人ほど集めていた。次いで立花と広川が町単位の個人演説会を開いた。この三カ所とも渡辺四郎参議が前座をつとめてくれた。今日一日の筑後路は予想外に感じのよい反響があると見た。ただ、山門、三池の四町はやや低調ではなかったか。九時半に県民の会に帰着。明日のRKB三元放送について打合わせを行い帰宅は十時半。姫路から棟安捨雄氏が陣中見舞に来てくれていた。

4月7日（火）曇

七時一〇分に出発して半から今宿の三菱電機工場内での朝立ち。このあと西区、早良区、城南区、中央区を本隊車でまわり天神フタタ前で街演。そのあとすぐに空港に行き、上海からの定期航空便（第一便）で来福の中国側祝賀訪日団を出迎える式に出席した。大塚副知事ら祝賀団も同機で帰福。あと、仲好旅館に行って小休、及び夕食。六時半からのニューオータニでの第一便就航祝賀レセプションに出席した。午後八時からは個人演説会が原北小、オイスカ、壱岐小、正聞寺、星ノ原小で五箇所あり、各々五分ほどで消化し、九時半県民の会で小休。十時から十一時までRKBの田中候補との三元ナマ放送録画に応じた。私としては成功といえぬ後味悪いものになった。十一時車をとばして筑後川温泉、新泉荘に投宿した。一時に就寝。

4月8日（水）曇

筑後川温泉新泉荘を七時四〇分に立ち吉井で朝立ちをはじめ浮羽三町をまわり、甘木、朝倉、宝珠山、小石原をすぎ中食後田川郡に出る。郡市を一巡して山田、筑穂ほか嘉穂郡各町をまわった。そして山根守県議の事務所で夕食。穂波で夜二つの集会を消化。一路久留米にとびグランドホテル泊となる。十時少しすぎていた。昨日あたりから選挙フィバーが出て一般に燃えていてどこも過熱気味にみえる。新聞の世論調査も福岡だけが注目され、全くの接戦との分析が出ている。各紙によって違うが、毎日のが私にはきびしく出ている。残る三日がカギともいわれる。嘉穂の山根事務所に姫路の吉田、黒川が訪ねてくれていて、少時話し合った。

4月9日（木）雨・曇

朝からかなりはげしい雨。久留米日本ゴム社入口での朝立ち、市役所、西鉄駅前での街演のち高速で古賀に降り久山そして篠栗では河野病院と町役場前。ここで野外たき出し中食のとき又ひどく降ってきた。福岡町では二カ所街演、宗像市では花田新太郎氏関係四つの個人宅での小集会をすませ、あと中遠に入る。中間では二カ所で個人演説会、水巻、遠賀は流した。岡垣では個人演説会に安田伊三男氏が最前列に来てきいていた。終って町議古賀末氏

宅で改めての夕食（中間で一応すませてから演説会に出たのだが）が出た。泊りの小倉厚生年金会館に着いたのは九時すぎ。ややゆとりのある一日だった。雨にたたられて洋服の着がえをもって来てもらう有様。夕方は雨も止んだが、やや冷えこんだ。毎日と読売の予測調査報道は五角と出ていて田中の追上げ奏功と読めるもので、当然に一憂の類。しかし大衆はもえている。

4 月 10 日（金）曇

七時一〇分に年金会館を出発して、八幡製鉄西門前で朝立ち。あと若松にまわり大正町で行動。福岡に飛び一時に、来福中の社党委員長の土井たか子氏とケヤキ通り以後の行程を同道した。西新、姪浜、原、七隈、長住、一丁目、博多駅、呉服町、香椎をまわり五時半に、一時からやっている天神でのリレー演説会に合流し、土井氏との日程を終えた。このあと土井氏は久留米に、私は又若松に引きかえした。若松で三ヶ所の個人演説会に出て帰宅したら十時を過ぎていた。啓二が帰福していたので、九一、和代、芳男などまじえて選挙がらみの雑談にふけていたら寝るのが一時を過ぎてしまった。「奥田先行」と、自民の激しい「追上げ」、「テコ入れ」、「しめつけ」で、先行という言葉がどこまで変わってくるかが雑談の中心であった。陣営内で NHK 調査の内容判定を秘密裏にきいたという数では、差は僅か二万票。

4 月 11 日（土）曇一時雨

起きぬけて選挙事務所で朝食。直ちに七時半から香椎駅前の朝立ち。そして東区をさらに選挙車でまわり、十一時すぎ上川端の商店街を歩く。天神地下街、新天町も、博多区、南区もまわる。長住では田中選挙車と出くわし、その街演をかいまみた。午後四時岩田屋横に午後早くから陣取っていた行動群に合流。推薦各党の演説をうけての候補者演説。このあとに地下街新天町に足を入れた。六時から最後の「天神フィバー」に参加し、大きなジェスチャーでこたえ、決意ものべたが、いろいろ青年たちの工夫演出の中で、私が三人騎馬で群衆の中を練り歩き、又握手しながら一周するシーンもあった。このあと東月隈、堅粕など三ヶ所の個人演説会に出席。九時半県民の会事務所で敢闘式を行った。東京から毅、啓二もきていて帰宅後は一時まで興奮の話があれこれ交換されて夜ふかしになった。

4 月 12 日（日）薄曇

九時に起床。四〇分に迎えが来て徒歩で投票所へ。カメラの放列を浴びる。そのままグランドホテルへ。中食もここでとり一時からの各社の予定稿のためインタビュー。まだ開票もされてないのに、勝つことを前提にしたものなので困るのだ。四時に一たん帰宅。六時から山ノ上ホテルで親族ら揃っての夕食会。安達氏が終始付く。午後七時から全区で即日開票がある。待機の間としてグランドホテルのエンパイア一室が用意され、テレビで八時以降数字が出され、十時十分には当確が出てしまった。田中側との開きはほんの少しだのに、信じら

れない。十時三五分には当になってしまった。みゆきを呼んで、県民の会事務所に車で行く。大歓迎の中であいさつ。報道関係会見とくには FBS、そして深夜 TNC スタジオに出る。

4月13日（月）晴

一日中の居所はグランドホテル。新知事の抱負を中心課題とした報道記者会見テレビ取りが六時四〇分 NHK を皮切りに KBC、再び NHK と FBS と八時四〇分までつづき、終って同じグランドホテルで朝食をとる。十時から十一時にかけて RKB、TNC の二つにはスタジオに出た。そのあとはホテルの部屋ですべての新聞に目をとおして時間をすごした。睡眠時間が四時間しかなかったのですごく眠りが仮眠をしなかった。県庁の各部長、福銀支店、近藤前副知事夫妻などがその間に祝意表明に来てくれた。夕食もホテルで（地下）とり夜八時からは NHK スタジオの全国ネット番組に出て十時頃に帰宅。疲れ切った一日になった。

4月14日（火）曇

十時すぎまで寝ていて久しぶりの休みとなった。九一が一時すぎに帰宅の途についた。一ヵ月ばかり手伝ってくれたことになる。意気ようようだ。二時半迎えが来て（八丁）奥田事務所に行く。この事務所を今後維持することが一つの問題であった。二期目がどう違うか課題は何かなども論議された。八丁、岩崎、安達、城島、大坪、高崎、小田、大塚、橋口と私で計一〇人。一味も二味も違う奥田県政、反独占民主主義の実験台ともいべき県政を狙うということに論議がしぼられた。六時から大手門会館で「敢闘会」（県民の会主催）があり、七時から巳千代に県の次長クラスのもの慰労会があってこれに出席。みゆきが両方につき合った。

4月15日（水）晴

八時一〇分発 TDA で上京。中立労連、社民連、社会党に選挙協力お礼にまわった。社の場合土井委員長らとの中食会も用意された。午後はサラ新、共産党にまわり、ここでは全職員出迎え花束贈呈などの歓迎があった。一たん東京事務所に寄った。ここでも歓迎と私の謝辞をのべ、あと総評にお礼に行った。ここでは私への東京後援会開会の話が出た。これは一応おまかせするしかなかりょう。二十八日に会合するとかいうことだった。このほかチェーンストア協会と百貨店協会にもお礼に行った。全部の行程に県民の会代表内田一郎氏と事務局長の岩崎隆次郎氏が同行してくれていた。帰宅したら午後九時半であった。昨日九一が帰姫した。

4月16日（木）晴

九時半に済生会病院に健康診断に行った。土屋院長は定年が来たが七月まで現状でとあいさつされ、山下総婦長も定年という。若干ゆれがあるようだ。十時から報道各社四社へあい

さつにまわり、RKB では政見ビデオとりがあった。ひるの一時間はサンパレスで木曜会、そのあと又報道各社八社と、木曜会メンバーの多い合同庁舎 (一と二) をまわった。十に余る局長等々への就任あいさつである。五時半、山ノ上ホテルで総務部長関係分野について二期目に向けての準備につき協議したいとのことで集った。一つは財政課長をまじえた六十二年当初予算概算要求についての各部卒のこと、二つは人事課長をまじえての五月一日異動についての考え方に関する件であった。協議後みんなで夕食をとったが、ホテル側から私に祝意の花束、鯛料理の贈呈があった。

4 月 17 日 (金) 晴

小柳勇宅振り出しのあいさつまわり。午前中に小倉の三大紙本社をすませ、中食は北九地評の役員とともに真鶴会館ですませた。みんな私の当選をわが事のようによこしてくれた。二時半篠栗に上岡氏を訪ね選挙協力のお礼をのべ、名島にピザの牧坂氏、林県議宅を訪ね、馬出にもどって松本英一宅、松本事務所、つづいて解同福岡県連を訪ねた。これらすべてまた当選を祝してくれた。四時四〇分パークホテルで行われていた自治労福岡県の代表者会議に出て協力に謝意をのべた。五時二〇分から「財界九州」の取材に対応した。ニューオータニで、六時すぎから県の教育長だった友納、水産林務部長だった田中両氏の部長会送別会、つづいて迎陽亭でマスコミ七社の記者との懇親会。九時に帰宅したら衣笠、八丁、高崎の三人が来ていて、奥田事務所及び県の人事につき注文をきいた。

4 月 18 日 (土) 晴

十時から冷水トンネルの開通式があつて出席した。メリットがあるのは九州縦断のトラック利用者といわれている。式が終って石狩山荘に行き、温泉にはいって、式のときにもらった弁当をたべ、二時から県民の会のうち社会主義協会関係者が七~八人集まり、二期目の奥田県政の諸課題について各方面から論じ合った。人事問題にまずは関心が示された。三時間論議し、五時からごちそうを前に懇談した。林出納長も出席した。県評の松田氏が県民の会選挙事務所の土地を無料で提供してくれた人に御礼に行くべきだといい、十箇所以上の予定地からは政治的に拒絶したことも話していた。田中側の使った選挙費は五十億円をこえるともいう。十一時に帰宅。

4 月 19 日 (日) 晴

何日ぶりの休養日。定期検診の結果選挙の疲れが出ているためだろうあれこれの数値が悪く、再検査を要するという。自覚的には何もないが、医師は心配してくれている。一日の主たる仕事は揮毫だった。外に出てみると藤花が咲いてそろそろ見頃になっている。藤見もできそうだ。夜は祝電の整理と簡便なお礼状を書いてすごした。来客は春日キャンパスの総合研の本田氏。お祝いに来てくれたのだが、田中健蔵の九電からの裏資金について話して

くれた。大変な金権行政が九大を支配していたわけだ。伊三男夫妻が来てできた檄文をもって帰った。（大任町議、岡垣町議分）

4月20日（月）晴

昨日一日休んで今日は十一時半に出番だったので積っていた疲れはほぼ回復。十一時半山ノ上ホテルで西日本新聞滝口編集局長らと会談。中食会もかねて六月上旬の九州知事会議の際サミットについて、及び九州博物館について話合った。一時、済生会病院に行って点滴しつつ休養。三時から高宮別館で三役協議。内容は当面の日程についてであった。中国民航就航祝賀団の編成や天皇佐賀行幸、六月議会、それに先立つ臨時議会と議会幹部との懇談などが論議された。五時から「かわさき」で同じメンバーによる懇親会、これに引きつづくマーチャン会になった。十五日に交付された当選証書は今日秘書室から届けられた。

4月21日（火）強風、小雨

午前中休みだったので揮毫した。強風が若葉を吹きとばした。二七メートルとか。午後一時に人事課長が来宅、五月人事について原案を説明。二時半済生会病院で点滴。さきの検査の結果、スイゾウ、タンノウの数値は正常化したがかんゾウはまだ悪いとのこと。四時半全日空ホテルに行き王震、孫平化、袁宝华その他計二十二人の、国交回復十五周年中日友好訪問団を迎え祝意を表し、六時から広州酒家で一行のレセプションがあった。友好県本部主催であった。八時半に帰宅して墨が残っていたので又揮毫して十二時になった。国会では売上税廃案を求める野党に対し、明確に譲る意思を表明しない自民党のかけ引きがつづき、本会議が荒れたまま日を越した。

4月22日（水）晴

午前中休みで当選祝状に対する返事など書いた。ひるすぎ前県議の大町さんがあいさつにみえた。一時、佐々木、原田の二人が明日の登庁にそなえての記者会見レクなどに来宅。二時半に東急ホテルの一室で来福中のライオンズ東尾投手に面会。こういうことにも政治的配慮が必要と彼はいていた。平和台で南海との試合があるのだそう。三時に済生会で点滴。隣の部屋に美空ひばりさんが腰痛で入院とのことで面会しておいた。あと六本松に帰って明日に備えての散髪をした。六時から大手門七階で赤坂の奥田事務所の敢闘式兼閉会式をした。県評と主要単産の幹部が一五人ほど集った。奥田事務所は八丁君が再発足させるのだろう。県評系とはこれで縁切れということらしい。

4月23日（木）曇

九時三〇分に二期目の初登庁。県庁玄関前は一〇〇〇人をこす職員たちの出迎え。花束、室長の案内、副知事の握手。直ちに庁議（あいさつのみ）、記者会見（二期目の抱負など）を

終え、議会に行き両議長と各党まわりをした。議長と社共県議のほかは全欠席。十一時から職員への訓示(三階)。中食は波多野で樺島と佐々木、森山を加えた四人で。二時半に福岡市長、農協五連、農政連、民社、共産、公明、ベスト電器北田会長と歴訪してあいさつをのべた。市長との会見にはカメラがついた。このあと時間があったので九大教養部にあいさつに行った。安東氏に連絡したら第三会議室に二〇人ほど集めてくれて一時間ばかり歓談することができた。夜六時五〇分から中小企業家同友会二五回総会パーティに出席(タカクラホテル)大へん歓迎してもらった。九時前に帰宅できたが、テレビのニュースは深夜の国会で与野党の合意が成立。売上税廃案と予算案通過が確認されたと知った。

4月24日(金)晴

昨日につづいて今日も就任挨拶まわり。三師会、九電、商工会議所、九経連、西鉄。中食後JR九州発足祝賀会をはさんで北九州にとび、三井ハイテック、北九商工会議所、北九州市、新日鉄八幡とつづいた。帰路馬出に平井重太郎氏を訪ね、これも就任挨拶をし祝意をうけた。今日のは主として選挙では相手側ばかりとよかった(三井ハイテックと平井さんを除いて)。昨日の福岡市桑原同様に、九電永倉、北九末吉に対するときにはカメラがぎっしり詰めかけた。興味本位といえる。それに末吉は又又チンピラにみえるような対応だった。平井さんは選挙につきよく協力してくれた人だ。谷公園に立寄り、よどがわつつじの花見をした。久しぶりに早目に帰ってゆっくり自分ひとり楽しむ春宵であった。

4月25日(土)曇後雨

九時半から赤旗の取材に応じた。十時二〇分から特九会議室で五月人事(幹部)についての三役基本協議を最終的なものとして行う。このあといろいろ事務連絡があり、一時すぎに帰宅。当選祝をかねて藤見会となる。秘書室をはじめ選挙中のウグイス嬢、それに石川、蜷川ら、全部で一五人もわが家に集った。室長も来た。夕方になってマージャンを始め、帰る者は帰って最後は四人になり、十時頃まで遊んだ。みゆきは姫路の万智子の結婚式があつて二時ごろに藤江君の車で出発した。小倉からフェリーで神戸に着き、車で青山の式場に行くという。今晚は舟の中。夜はマージャンをしていた森山が泊ってくれた。選挙関係あいさつまわりもあと東京の官庁と、福岡の財界を残し、半分は終わったことになる。

4月26日(日)曇一時雨

森山氏が泊り役をつとめてくれ、昼には蜷川氏が来て交替。夕食は杉山氏がほっかほっか弁当を買って来てくれて蜷川氏に交代した。私がひとり在宅するとなると、このように単独でおらせられないとの体制をとってくれたわけ。午前、午後すべての時間を揮毫にあて、たまっていた依頼は全部仕上げる事ができた。蜷川氏が落印するやら墨摺りをするやらで手伝ってくれて助かった。森山君にも蜷川君にも甘夏を十個ずつ取って、もって帰ってもらっ

た。今日は市町村の首長、議員の投票日。福岡市は政令都市で県議と同日だったので私には投票の必要はなかった。みゆきが電話してきて、佐方は皆元気だとのことであった。

4月27日（月）晴

九時半から市内。夕方まで就任挨拶まわり。アメリカ、中国、韓国の三領事館そして西部ガス、福岡銀行、岩田屋、午後になって九州電工、日本タングステン、文協社、九州松下電器、福岡相互銀行、西日本銀行、近代ビルの中の中小企業団体中央会、商工会連合会、中小企業情報センターとつづいた。夕食はパーソナルホテルで大坪、衣笠、高崎、八丁と歓談しつつすませた。経営陣はおおむね二期目については協力的な姿勢を示したし、社会主義協会の人達に対しては情勢の変化に応じた柔軟な運動への転換の必要を私の方から要請しておいた。韓国領事館では一度来てくれないかと、隣国との交流促進につき要望された。夜少しおそくから森山、古沢、杉山が来てマージャンをした。みゆきは相生。

4月28日（火）晴

二期目の初庁議に臨み、部長たちに方針をのべ、協力を訴えた。定例記者会見では、とくに工業試験場の活性化について業界との協調を力説した。十時半町村会の役員にあいさつして空港へ。森山と中村室長が同行。二時の全民労協をスタートとして、同盟、民社、全電通へと就任あいさつをし、四時から椿山荘で行われていた日教済一千億円達成祝賀会に出て日教組の全国役員たちにあいさつをした。六時から池の端文化センターで総評中立労連東京後援会の「奥田八二福岡県知事をはげますつどい」に列席した。東京後援会の祝勝会である。この後援会は知事選中に東京で発足したという。土井たか子氏はじめ社会党など幹部、福岡県評幹部も多数参加してくれた。自治労系で福岡県内で活動した人達の別の会があるというので、市ヶ谷の某スシ屋に立寄った。

4月29日（水）晴

十時に出発して十一時少し前、桜台の岡茂男宅に着いた。地下鉄麴町駅から行って案外早く着いた。もう十数年は行ってないだろう。ずいぶん建て込んでわからなかった。帰りに、奥さんがロウケツ染めをしているからということで、私にはネクタイ、みゆきにはハンカチーフをみやげにいただいた。桜台からタクシーを拾って南平台に向った。三木武夫元首相宅である。あまり手間がかからずに居所は見つかった。奥さん、娘さん、孫さんたちで、代議士は入院中とのことでお見舞に行く形になった。代議士生活五〇年の表彰状が衆院からこの四月に出たのをみせてもらった。尾崎行雄に次いで二人目という。みゆきが発明協会の関係で知っているのがつながりて、私の知事選についても祝電をいただいた。三時すぎホテル東急観光でマージャンをしてすごした。中村室長、古賀所長、森山、山口。

4 月 30 日 (木) 雨

東京は晴、夜の福岡は雨。九時半すぎて東京事務所発。今日も一日中あいさつまわりだった。万歩計は一万四千歩を記録した。まず自治労会館、労大、自治労第二会館。次に衆院第一、第二議員会館、参議院議員会館を、県選出者及び著名知人について訪問したが、大部分は留守だった。ふくおか会館で中食小休息ののち、こんどは政府の各省庁全部、大臣・次官、長官にあいさつしてまわった。ここもほとんどが留守であった。大蔵省では宮沢大臣がいて、RKB がカメラにおさめ、夜の放映に利用したようだ。売上税について関心が高かったので、今回の私の両院及び政府各省庁の歴訪は RKB にとって絵になったようだ。東京の青葉、若葉は美しい。最後は私鉄会館 (高輪) に行ってお礼をのべ、早目に羽田。今回は行きが JAL、復りが ANA だった。八時すぎ帰宅したが、みゆき藤江の二人は十時半頃に帰宅。心配して相生に電話したりしたのだった。

5 月予記

五月一日に県議会の各派分布が決まった。自民三三、社会一八、農政連一一、福岡県民クラブ一一、公明党・県民会議一〇、共産党五、県友クラブ二である。明らかに奥田与党といわれるのは、社・共・県友クラブの二五である。前期はスタート時一八だったから七の増である。県民クラブは保守、中道の残党で、これが自民と行動を共にしたとしても、それだけではまだ過半数に及ばない。五月中旬に開かれる臨時議会で議長、副議長などのポストをめぐり、まだまだ波瀾が予想されるが、前回スタート時のような激動は考えられない。社会党内には協会派が五人もいるので頼りになりそうだが、共産党の五がどう出てくるかによって「与党」内部に火種があるともいえる。慎重な対応が求められる所である。

5 月 1 日 (金) 小雨後曇

例のごとくメーデーは雨だった。福岡のラグビー場は泥んこである。新幹線を利用して今年も小倉 (城内公園) とかけもちである。知事選勝利ということで小倉は沸いていた。共産党県議が四人も壇上に並ぶことは珍しかろう。小倉総合庁舎で中食したが、ここの県職員が全体で歓迎してくれた。県庁に帰って仕事をしたあと、当選御礼あいさつまわりとして川端商店街 (沢木会長)、クリーニング業協会と書店商業組合に行った。三件とも大そう喜んでくれて話はずんだ。五時半頃帰宅した。今日は九時から県部長ら幹部異動の辞令交付式と知事訓示があつて疲れ気味だったのに、夜は久しぶりに河野さんと呼んでマージャンで時間をつぶした。

5 月 2 日 (土) 曇

ゆっくりした朝だった。久しぶりに庭に出てみると、もう甘夏柑の花が咲きかけていた。午前中は手紙に対する返礼ハガキを何枚か書いた。二時半に迎えが来た時前に頂いていた香

椎宮の不老水で抹茶を一緒にのんで出発した。三時に林事務所で当面の問題につき意見をすり合わせておいた。このあと赤坂事務所で木梨弁護士と落合い、地域懇の閉鎖方針のあることを告げられ、事後どうするかを話合った。奥田事務所の要否とも関連することとして受けとめることとした。事務所に、藤本君が来ていてドンタクの着物を用意、着用を手伝ってくれ、五時からのスポーツセンターでのRKB主催の前夜祭に出席した。帰宅したら八時になっていた。うちで夕食。四日に有田に行くべく中西家と連絡した。

5月3日（日）曇

九時から恒例の国際センターでのどんたく式典があり、あと市中パレードとなり天神交差点を南下、国体道路を東に進み、万行寺前で私は列を去った。市内はまつり一色だった。帰庁して小休息ののち、中食をとり、一時から大手門会館での十一年目の憲法県民集会に出た。今年は憲法施行四〇周年である。ここであいさつののち帰庁。玄関前で三時すぎ松ばやしに應對し、四時から国際ホールでおこなわれた福岡シンガポール友好協会の同国大使一家を呼んでのレセプションに参加した。夫妻と娘さんら三人が来福したのであった。又帰庁し、事務側の博多湾東区部分の埋立について知事意見書を出す件についての説明を約一時間きいた。夜はわが家でマージャン。佐々木、森山、それに永田室長。

5月4日（月）晴

七時四〇分に出発して十一時半に帰着した今日の有田ゆき。中西忍氏の両親が病状よくないということを書いて久しかったので見舞が主目的。藤江君の車でのドライブだが陶器市、連休とあって唐津伊万里も渋滞、有田は動きがとれぬ状況。往き四時間、帰り三時間近い所要時間。西有田の共立病院では忍氏三兄妹が待っていてくれた。彼の父はガンらしい。もうながくはないとのこと。有田の彼のうちの近くの料理屋で兄妹夫妻そろっての中食会をしてもらった。このあと、窯業大学の副校長井手さんに案内されて大学を見学。つづいて九州陶磁文化館は久間館長が閉館後だったのでずっと館内を説明してくれた。中西家で夕食をいただいたあと歓談の一時をすごし、午後八時すぎ、森商会で療養中の彼の母をお見舞した。脳溢血で右が全く不自由の重病なのである。

5月4日（火）晴

今日も休み。ユーターンの帰省客で道路はどこも渋滞しているらしい。子供の日にちなんでの放送が多い。朝ゆっくりして、昨日の有田関係のお礼状を毛筆で四通書いた。揮毫関係も少々整理した。頼まれものの中にわからなくなっている部分があって心にひっかかる。記録の重要性を痛感する。午後比較的早く河野氏を呼んで藤江、みゆきと共に四人組のマージャンになった。夜十時半頃までひたすら遊んでしまった。選挙に関してお礼状を書かねばならぬ分がかなり残っているのに、こんなに遊んでしまうなんて、気がひける。だがこれは後日

のこととしよう。

5 月 6 日 (水) 晴

すがすがしい五月晴れ。十時から記者会見、ドイツ大使来訪。十一時国際化問題懇の中間答申あり。遠賀新町長挨拶、久留米市長諸要請に来訪、電設協力会役員の挨拶があった。三時から地労委の二六期辞令交付、決裁など内部事務をあれこれ処理した後、六時からグランドホテルで地労委新旧委員合同の知事招宴があった。ここで退任の三笠前会長から最後の言葉として処分問題解決のため知事は努力してほしいとの要請があった。野党多数の中では困難だろうがとの条件つきなのである。七時半 TDA で上京。森山が人事異動で若干苦情をいっていた。

5 月 7 日 (木) 晴

八時からキャピトル東急で白鷺会の朝食会があった。二十八人の出席。河本敏夫氏と布施道夫氏が卓話。私が知事選につき報告あいさつした。このあと、県人会々長斎藤武幸、自民幹事長竹下登、同総務会長安倍晋太郎、そして経団連副会長花村仁八郎、日経連会長大槻文平、県人会副会長有吉新吾、又、劔木享弘氏を歴訪して知事就任あいさつをした。早々に帰福することになるが、中食はニューオータニのさざんか荘で河本敏夫氏と二人だけで差しで歓談のうちにすませた。話題は白島石油備蓄基地事故後の対策と中国民航福岡便の運賃問題だった。福岡着六時四〇分。七時すぎからグランドホテルでの県弁護士会の会長副会長新任披露パーティに顔出しした。

5 月 8 日 (金) 晴

春の叙勲伝達式を行った。こういう時、立ちんぼうがつづくので足が痛くなる。京都県人会の宮崎氏が来室し、波多野で出納長、室長をまじえ中食を共にする。一時半から代表者会議。臨時県議会の招集を提案。県議会の新勢力分野に応じた間仕切りがまだできてないようだ。三時から一時間ほどで県政サロンの録画取りを RKB スタジオで行う。時間が余ったので問研に行き、八丁君と政治倫理条例への準備について話し合う。五時半からグランドホテルで土工協など三協会支部の年次総会後の懇親会に出席。次いで福岡女性会議のこんしん会(日本浪漫座)に出席した。みゆきも呼ばれており、私は三〇分ばかりつき合っ引きあげた。

5 月 9 日 (土) 晴

午前中は休みだった。たまっている色紙を書いていると電話があり、西鉄労組の出身地方議員を励ます会が西鉄労館であっているから顔を出してくれというので二時半に出席した。多数の議員団を抱えることになった西鉄労組も大変らしい。間もなく新幹線で小倉にとんだ。南区のスーパーまるよしの吉田社長に選挙あいさつをするということで、みゆきと共に

案内された。選挙中はここ出身の若狭県議とともにお世話になったわけ。六時から真鶴会館で北九地評の敢闘会が行われた。ここは県議共産二が四にふえて意気があがっているのだ。松本市長候補、中西績介議員も顔を出して北九なりの意気投合がおこなわれたといえる。今後、北九とは今まで以上の関係を保っていく必要があるだろう。

5月10日（日）晴

十時から平和台競技場で県・市身体障害者体育大会があつて、入場式に立ち合った。終つて筑後市に飛び、市長の招宴の形で中食をいただいたあと、市民会館で行われたJC福岡ブロック会員大会に出席した。若い経営者の雰囲気よさを十分に汲みとることができた。前回の牛島氏に代つて今回は蔵内氏が県議に当選し、その蔵内氏がこのJC大会の司会者でもあり、筑後の支持を私の方にも寄せてくれたということでもあつて、交友関係を誓い合った。四時半過ぎ帰宅したが、大坪、岩崎、名田、山本の四人が来客として待っており、のみながら積み積った政治課題、二期目の県政にける望みや、何をなすべきかについておそくまで話し合った。

5月11日（月）曇・雨

九時、済生会病院での定期検診。登庁して春日市長、糸田町長の新任挨拶。十一時からは中食をはさんで時事通信社の取材に応じた。一時、郵貯会館で、こどもの交通安全大会があり、優良校に表彰状を授与した。三時からは知事室で西日本新聞の編集局長との対話の形での取材があつた。中味は昼間の時事とほとんど同じで、二期目に臨んでの知事の基本姿勢、とくに県民党、県勢浮揚、財界や両政令都市との意思交流などが先方のねらいであつた。六時から荒江の紫雲菴で、公明党の新県議和田氏（早良区選出）を招いての懇談会。県評の松田次長それに大手門事務局長及び名田重喜氏らが陪席した。一種の与党化工作といえる。八時半帰宅。ひる間は雨が降った。

5月12日（火）曇

庁議、定例記者会見のあと、レク数件。中食は安達、森山の二人と共にキングでとり、この際、彼らに、政治秘書的役割にも配慮してくれるよう要請しておいた。一時、サンパレスでの市長会総会であいさつ。二時すぎ白島の社長が来訪。二月三日の突風による基地工事被害後処理についての説明をきいた。このあと、市場連合会と中国との身障者交流に関して二つの陳情がつづいた。四時半市長会の懇親会があつて出席サンパレスで暫時ついやしたあとKKRはかたに行く。六時から教養部の現役OBを中心に学部有志をも混えて私の再選を祝う懇親会が催された。みゆきも出席した。岸君が案内してくれ写真も撮ってくれた。この会には問田、池田の元教養部長、それに病氣中の深山、その他事務官OBらも、あわせて七〇人余が来集してくれ、八時ごろまでなごやかに懇親をつづけた。互に久しぶりという人も

多かった。

5 月 13 日 (水) 雨

八時一〇分の TDA で上京。こんどの挨拶まわりはまず読売の社長小林与三次、次に出光石油化学会長加藤正、NTT 社長真藤恒、ブリジストン社名誉会長石橋幹一郎、共同石油社長左近友三郎であった。加藤、石橋の二人は東京県人会の副会長。左近は姫高同期生 (文乙) で、白島洋上石油備蓄基地の再建について意見をききたかったのが当方からとくにたのんだ。二月三日のシケで建設中のケーソンが倒壊したので、そのあとをどうするかという問題意識が私なりにあり、河本敏夫氏にも問題を投げかけていた。左近の話では復旧してもとの工法で進めるということであった。読売の小林氏にはプロ野球誘致についての意見を求めたのだが、新球団を作る以外にないとのことだった。これは当面無理のようだ。午後七時 JAL で福岡へ。十時すぎ直行した筑後川温泉新泉荘に着いた。

5 月 14 日 (木) 晴

八時に起床。朝倉町筑後川堤防での水防演習に参加し、十一時半の臨時県議会に間に合うよう早々に引きあげたが、実際に開会されたのは午後二時だった。新議長に自民中村忠和、副議長に社会の林武彦が選出された。一時間余で本会議は終り、議員との記念撮影。すんで三役協議。共産党県議団による知事要請をうけた。今日の県議会は選挙後始めてであるだけに、従来とくらべてかなり様が変わりの感をうけた。転がしてみないと何ともいえないだろうが、四年前とくらべればやりやすいに違いない。六時から新装成ってオープンしたばかりのリーセントホテルで県地公労と社会党新旧県議とのごくろう懇親会が開かれた。旧議員は野原、岡松、大町の三人。こんどの地方選の祝賀会になっていた。

5 月 15 日 (金) 晴

課長補佐及び係長級の人事異動の発令一三〇〇余人につき講堂で三回に分けて辞令交付式を行った。このあとさんぱつをし、中食は秘書室の新旧人事異動者をまじえた懇談会とした。午後二時本会議。常任委員の構成を決めて散会。委員長もあとで決る。このあと、工業試験場問題につき商工部長から時間をかけて説明をきき、八仙閣で行われていた LP ガス協会の代議員総会に出席あいさつ。五時頃には帰宅。県の工業試験場は永い間の県下産業構造の宿命を条件として現在に至っているため、惰性からいかに抜け出せるかが問題。自己改革は絶望で外からの強力が必要と思う。その拡充強化は今次選挙公約にもあるのだが。

5 月 16 日 (土) 曇

一〇時五分発の ANA で上京。一時からグランドパレスで行われた東京福岡県人会にまにあった。今日から秘書は森山君に代わって福原君が随行である。秘書室長の永田氏も今回は同

行。二〇〇人以上参集の大きな県人会であった。斎藤住友建設の会長が会長続行。三時半の新幹線で大阪へ。車中はのんびり旅行になった。目的のホテル阪神に着いたら連絡してあったので西尾と戸石が待っていてくれた。戸石は明日は京都に來れぬと断っていた。自分のことはわからぬが、他人ごとながら二人とも一見年とったなと印象づけられた。駅前の盛り場の八幸で大阪事務所の連中と夕食マージャンをした。

5月17日（日）雨

ホテル阪神を出て京都へ。かなりはげしい雨になった。約束の新三浦に少々早くついたが十一時半から姫高会になった。橋本、安田、小田、高馬、西尾、北村が寄った。北村が声をかけてくれたのだ。久しぶりに会ったので、その空間を埋めるのに時間をかけ合った。一時半、西本願寺に行き飛雲閣など境内をたくさん案内してもらった。雨の中の二条城見学も見ごたえがあった。このあと智積院に行き障壁画を見たりしたあと、平安会館で行われた京都福岡県人会に出席した。永末会長、川口事務局長ら全部出席。新京都府知事もメンバーということである。六時半に辞し、八時一五分の大阪発 JAL で帰福できたのは十時頃だった。

5月18日（月）晴

八時四〇分に出発し、養老院正信会に松尾氏を訪ね、次いで安川電機に挨拶に行く。中食をはさんで洞海・二島地区と小倉南区の曾根地区の工業団地を視察した。前者ではマスコミのカメラがつきまわり、技術立県政策との関係で記者会見する一幕もあった。円高と構造不況で倒産する企業もあり、団地経営そのものが圧迫されている気の毒な状況であった。後者に行く途中小倉の商工貿易会館で会長の明石氏に挨拶した。一路南下して豊前市築上館に投宿。ここで地元県議四人（松山、井上、渡辺、中浜）と夕食懇親会を開いた。佐々木参事も加った。十時すぎ就寝。

5月19日（火）晴

吉富町長の指揮のもとで年度総合防災訓練を山国川河川敷で十時～一時の間展開した。快晴に恵まれた。町役場で着替え、午後は視察にあてた。吉富製薬、豊前水産試験場、豊前総合庁舎、市役所、農業改良普及所が対象であった。どこも歓迎してくれた。役所はどこも二期目の私への祝意をこめた歓迎で花束や新茶をいただいたりした。市議の吉永さん、高校の恒藤さんが案内役も兼ねてくれた。支持者の人達が別途時間をとって来てくれとっていると吉永氏がいう。この京都、築上地域は知事選にとっても頑張ってくれた地域で、熱がこもっていた。八時すぎ帰宅できた。

5月20日（水）曇

庁議、記者会見、褒賞伝達など庁内の用件がどんどん重なった。ひる前、公明党県議団の知

事への新要請会見があった。ほぼ同意しうる内容のものといえる十七項目である。中食は清山教授と懇談しながらすませる。県への希望をもち出し、田中健蔵氏にもふれていた。二時直方 JC が新幹線筑豊駅の話をもつて要請に訪した。すぐつづいて、秀村教授が文書館建設の要望をもつて話しに来た。夜は六時から迎陽亭で社会党の幹部や県議団と知事選県議選を祝うための知事招宴を開いた。今日まで形の上でこれがなかったので一応ケリがついたわけ。

5 月 21 日 (木) 晴

全国知事会のため上京。家を出て古小鳥付近で玉突き衝突にまきこまれたが事なきをえた。東京に着いて太田代議士を訪問。中食。一時からの知事会、今年度の役員改選のみ。東京事務所では岩崎友四郎の来訪をうけしばらく懐古談。一昨年奥さんをなくして今はひとりぐらしとのこと。このあと西新宿第一不動産ビルに佐藤行雄氏を訪ね、今回の選挙事務所の土地を貸してもらった御礼をのべた。インテリジェントビルのことを話してくれた。こちらからは県庁跡地対策について話題を出した。太田氏にはレク・ゾーンのお礼と国立博物館の話題を出した。双方とも知事選のしこりはなかった。日帰り午後九時前には帰宅。ムチウチ症はないか心配が残っている。

5 月 22 日 (金) 雨

九時半、室見川野鳥を守る会と反対の農業者たちからの陳情。次に在日各国大使館付武官十数の来訪があった。十一時半空港に。佐賀への行幸途次の天皇を迎える儀式に行く。遅れそうになり、パトカーの世話になった。午後是在庁執務。雨になって窓からみる外景は全く曇ってしまって見えなくなった。佐賀も雨だろう。四時半鉄鋼労連の幹部たちが、鉄の消費拡大を求めての陳情に来たが、世も様が変わりしたものだ。五時半サンマリンで建設業協同組合の総会後の懇親会、つづいて六時半からツンドラで有職婦人の会と懇談会に出席した。八時すぎ帰宅。久しぶりにゆったりした夜を過ごすことができた。

5 月 23 日 (土) 晴

午前中は打合わせなど庁内事務。中食は関東学院大学の鳴海、山田両教授が求めて来た小面接に応じ、弁当中食をともにしながら懇談した。一時にももちパレスで婦人問題を考える福岡の集い(三〇〇人)に出席挨拶した。このあと平和楼での豆腐組合で挨拶。その後トップパンのスタジオで、県の使う私の新しい肖像写真をていねいに撮影。時間があって一たん帰宅、小休憩。夜は、二つの会合に出た。五時半からの仲好会とくいだおれでの姫高会。どちらも知事選の祝勝会みたいになった。両方ともみゆき同伴。後者では、三木、鳥山、牧坂、山村、土井の諸兄も夫人同伴であった。つづいた会だったので、後者に重点をおいた出席になった。九時すぎ帰宅。

5月24日（日）晴

五月晴の一日休みをゆっくり楽しんだ。隣家に置いた鉢にシンビジウムやデンドロが比較的に多くの花をつけ何鉢も並んでいるのに気づいた。クジャクサボテンも今年はどっさり花をつけ今にも咲かんばかりである。色紙の注文がどっさり来ているので、その消化につとめた。まだ六〇枚ほどたまっている。県人会が東京、京都であり、その御礼状を書いた。西本願寺にも行ったので、それにも書いた。午後河野さんが来て夕方までマージャンをして帰った。今日のような時間のゆとりが十日に一度ぐらいは欲しいものだ。次は色紙と扁額の揮毫をせねばならぬ。

5月25日（月）晴

九時に、知事室に文乙の安福が来訪、先日その旨伝えておいた山村謙一氏も同伴であった。中国の青共代表団の来訪、農協中央会総会での挨拶、大牟田市長の陳情と中食会をすませ、鳥栖インターから福岡空港へと佐賀嬉野での植樹祭行幸で来県中の陛下を見送った。帰庁して野鳥の会々長の来訪をうけ、朝の放送録音つづいて熊本日々社の取材に応じた。このあと青少年育成県民会議役員の来訪をうけ、つづいて人事課長から旅券発行業務職員の汚職につき説明を聴取した。この問題は又又マスコミの話題になりそうだ。県民は怒ろう。

5月26日（火）雨

梅雨を思わせるような降ったりやんだり。時にははげしく時には止んだり小降りだったりの一日。庁議、記者会見。日本旅行、日本貨物鉄道、NTT九州総支社と来訪がつづき、十二時から土木組合連合総会（八仙閣）環境整備協同組合連合の設立総会（電気ホール）梅香会総会（県退職互助会、パークH）九州バス協会総会（グランドH）と、午後は外まわりが多かった。一たん帰庁して五時すぎ光円寺に参詣し、住職と歓談。電話でみゆきも呼んだ。六時半仲柳で歯科医師会の役員と懇親会。永田室長が随行した。九時に帰宅した。昨夜はよくねむれなかったので、今日の行動には疲れを感じた。

5月27日（水）曇

降りそうで降らなかった。九時半登庁。十一時に母子福祉協力員に対する辞令交付式をすませ、あとは外まわり。東急Hでのビルメンテナンス協会総会、労金総会、三時から第一七回県青年の船帰港式、このあと大手門での物産振興会総会。五時半から八仙閣での建設業協会総会懇親会と出席し、帰宅は七時少し前。みゆきはコンサートに行き留守だった。夜は残っていた宿題の色紙三五枚を書いた。旅券発給窓口の青年による印紙不正処理問題につき県側が警察に捜査を依頼したことにつき朝日の夕刊に早々と発表されたが、夜、事務側で記事会見、説明をおこなったようだ。重なる汚職発覚で少々うんざりする。六月議会での一つの論点になろう。

5月28日(木)晴

十時半から漁協連合会の総会に出席し、あと登庁。三役会と中食。午後一時半から看護センターで解放同盟の対県交渉に出席。知事あいさつと答弁。これは五〇分ほどかかった。三時半菓子工業協同組合総代会につづき四時四〇分トラック協会創立四〇年記念式典(セントラーザ)に出席した。山崎拓も来ていてバツが悪そうだったが売上税反対のこの協会は私に好意を寄せてくれる人が多かった。六時半からニューオータニで外資系企業の立地現地視察団の歓迎会を開いた。九州七県で共同でやっていてこれが三回目。今回は福岡と熊本の両県で今日は筑豊の団地を視察したのだった。レセプションは多くの教訓を与えてくれた。

5月29日(金)晴

九時半に登庁。いくつかの事務打合わせののち、多川博氏と中食を共にしながらいくつかの要望をきく。一時、都ホテルでの商工会連合会総会に、一時半に青少年育成県民会議総会に、そして三時半からは全電通九州の地方自治体議員団総会に出席した。全電通では一時間の講演だった。五時、城山ホテルで九州住宅懇話会であいさつ。六時からは県議会各派役員、議長副議長と執行部側の懇親会が三光園で開かれた。選挙後はじめての懇親会であった。早麻(自民)氏が都合が悪いと欠席した。議会は全体としてうまくすべり出すのではなかろうか。

5月30日(土)晴

九時半から在庁して仕事。十一時すぎセントラーザで中小企業団体中央会の総会、そして中食。十二時半から創価学会九州池田平和記念館での憲法四〇周年記念展に出席してあいさつ。展示を一覧して後帰庁。小休憩ののち五時二十分ホテルタカクラでの学者文化人会の総会と懇親会に出席。意見をきいたり述べたりで一時間。このあと郵便貯金会館での笹丘校区連合自治会総会に顔を出してあいさつ。こんな校区の人達との顔合わせは勲々タミ屋が役を退いたからできたというのだ。このあと平和楼での玄羊会書展の打上げ会に出席。わいわいさわいで写真をとって楽しんだ。九時半帰宅。あと牧坂氏とマージャン。

5月31日(日)晴

花田守氏が約束してくれて岡垣の八幡屋に遊びに行くことになった。藤江君が運転する車で当方三人連れ。十一時半頃岡垣に着き、花田氏の案内でさきに眺望のきく湯川山に行った。自衛隊、NHK、NTTの通信基地がある。グライダーを楽しむ人、歩け歩けグループにも出会った。成田山にも、そして遠賀病院や波津の港も見た。中食に案内されたのは久世旅館だった。鮮魚のごちそうがどっさり出たし、あとでバーベキューぶどう園にも案内してもらった。青空市場にも花田氏の兄さんに案内してもらった。この地域が将来玄海リゾートゾーンになるであろうことが実感として湧いてきたことは大きな収穫であった。北九州や大

牟田のような打ち沈んだものはなく、海も野山も美しかった。小役丸卯太郎氏に終日大変お世話になった。七時すぎ帰宅した。

6月予記

国際交流課の旅券発給窓口執務の青年による収入印紙二度つかいによる汚職は大胆な手口だし、ひとをくった態度で、あきれかえるほかはない。今は警察の手にゆだねられているのでまだ全貌はつかめてないが、庁外に共犯者がいるだろうと思われる。この問題のほか来る六月県議会では、さきほど引越した教育会館跡地に加え、県庁跡地の処理が浮かび上がってきて論議を呼ぶであろう。この議会は、本年度の当初予算の編成という任務をもっているもので、かなり重いものであるのだが、肝じんの政府の地財計画がいまだに決っていないので、こちらも目見当で本格予算を組むことになる。

6月1日（月）晴

三池炭鉱をはじめ大牟田の大企業に構造不況がおしよせ地域の疲弊が著しいというので先日来地元からの陳情をうけていたが、今日は一日を費して大牟田視察となった。七時二〇分発で午後六時帰福。市役所、商工会議所、両地評、三池港務所などをまわったが甘木山ハイツで市内展望。グリーンランドでも展望。市内巡視は農村部、商業部そして工場群、港部であったがコークス工場はじめ工場群の疲弊は著しい。港には二〇〇万トンを上まわる貯炭の山。有明工専にも行った。全体として助けてくれと悲痛な叫びを感じた。帰福後「かわさき」で次長・局長の歓送迎懇親会。

6月2日（火）雨

一日中かなり降った。庁議・記者会見、そして高教組及び福労協から訪問をうけた。後者は予算要求、高教組は大会出席要請であった。ひる前に建設会館に松本英一氏を訪う。儀礼的なことでむづかしくいっていたという。一時電気ホールで全国浴場業者大会、それから小倉ステーションホテルでの北大経済圏推進協総会に出席のため新幹線でトンボ返り。夜は八仙閣での建設同友会総会と、KKRはかたでの日本道路建設業協会の二つに出席した。建設業者の集りはどれが何だかわからないままに対応することがしばしば。今日はあいさつばかり多かった。

6月3日（水）晴

十時半から須崎公園ステージでいちご祭りがあった。「炎天下」といえる暑さのもと一時間はつらかった。帰庁、中食しながらの明日の知事サミットの予習。二時半に自治労系県本部レベルの退職協の総会がパークホテルで行われ、あいさつした。原稿なしで退職協の奮闘を期待する旨しばらく話した。このあと福岡空港へ。日赤紺綬会が北九州市で開かれるため来

福される常陸宮妃を三時半に出迎え、四時発北九厚生年金会館に出発随伴。六時半から関係者による晩餐会(日本海の間)八時まで開かれた。総勢一五〇人ほどであった。あとはホテルの自室で明日の予習をもう一度やって早目に就床。今日もむし暑かった。

6月4日(木)晴

常陸宮妃を迎えての日赤第二八回紺綬会が一〇時半から開かれ、感謝状など手渡す儀式が次々とつづいて十二時までかかった。中食の陪席はできずすぐ北九州空港にとんだ。初めての北九州空港は定期旅客機が全廃になって二、三年たつであろう淋しいたづまいである。三方山に囲まれ滑走路はジェット時代には短かく近代化についていけないらしい。熊本工大学長が自家用ヘリで小倉に来るのを利用させてもらい私はここから熊本へ、ヘリコプターで飛ぶというスケジュール。十二時四〇分から三〇分で熊工大ヘリポートに着き一時二五分から四時五〇分までの九州知事サミット(ホテルキャッスル)に出席。知事会夕食会は水前寺公園出水神社前古今伝授の間でおこなわれた。八時半ニュースカイホテルに着き泊となる。

6月5日(金)晴

昨夜はゆっくり眠れた。七時すぎ起床。九時から事前協議、九時半から知事会。焦点は補正予算をにらんでの九州への予算重点配分を政府に要望することにあつた。十二時から知事会中食会。ニュースカイホテル二四階の展望はすばらしかった。一時に出発して帰福の途に。三時前に帰庁できた。たくさん仕事があった。多くの時間がかかったのは六月議会上程の本予算案のうち、今日通告する総務部長査定分のヒヤリングだった。このあと、朝鮮総連の私学助成についての要望への対応や来年度予算中央陳情日程及び九州博物館構想などへの対応について話し合い。次に県評の山川氏が来訪、政治秘書をおけとの要請があつた。帰宅は八時前。夕食中に近藤栄次郎夫妻来訪。社会福祉協議会と同居の県済生会常務就任についての挨拶だった。

6月6日(土)晴

昨夜、今朝少し急ぎの色紙をかく。十時半から平和台競技場で高等学校総合体育大会開会式があり、十一時半朝鮮総連委員長ら四人の来訪があり、私学助成についての要請をうけた。その後同和行政予算についての報告をうけ、中食をしながら国体の準備状況について局長から説明をきいた。午後は時間があいたので永田氏に昨日の山川氏のいう秘書(政治)につきあれこれ意見交換をおこなった。永田氏は山川氏には否定的であつた。午後四時出発で今日は筑後市長招宴で舟小屋温泉樋口軒に泊ることになるが、途中條幅ができていたので、これを久留米ミルクプラント玉井直氏に贈るため、立寄った。六時すぎ樋口軒に着く。夏の矢部川の美しさにおどろかされた。立派なホテルでもあつた。

6月7日（日）晴

七時すぎに起床。全国的におこなわれる環境週間。県としては美化行動の日を矢部川畔、筑後市と瀬高町が協力してくれ、子供から老人まで、中の島の清掃行動を展開した。昨年の芦屋海岸とくらべると何もないといえるほど美しいので集ったゴミは僅かだった。ゴミ拾いのあと、植樹行事と、稚魚放流行事があった。アユ、コイ、ウナギ、スッポンの放流で矢部川漁協が用意してくれた稚魚である。川漁だけで生業をたてている人も何十世帯かあるようだ。矢部川の水量は豊かで、天気つづきのせいもあって澄んでいたのが放流も美事だった。十二時から福岡山ノ上ホテルで社会党県議団系の諸氏への予算編成概要説明会。延々七時間。夕食を共にし、帰宅したのは九時近かった。

6月8日（月）雨

北部九州梅雨入りという。朝から休みなくかなり雨が降った。福原氏宅（篠栗）が地すべりの危険があるというので、彼は早目に帰った。今日は十時半から衆院の石特委福岡調査団が通産局で県側の陳情をうけ大牟田に向った。十一時半県評の岩崎、坂本、それに金属工業会の岡部氏らが来て、近い訪中の予備討議をした。対中援助協力についてである。午後は陳情うけがつづいた。九州住宅懇、私学協会、林研グループ、農協五連である。四時半から三光園で解同との協議があって出席。六二年度同和予算案についてである。啓発予算はふえたものの、地域対策分は国県ともかなり減額されたものになっている。あと八時半まで懇親夕食会。帰宅して身辺整理。少々咳が出るのが気になる。

6月9日（火）曇

庁議と記者会見のあいだに、ハワイ州議会議員団の訪問がはさまった。午後一時馬出に新教育会館が移築落成してその祝賀会があり、おくれればせながら行って祝辞をのべた。天神の跡地利用につき早速記者会見があった。日本開発銀行副総裁が新任挨拶に来訪。又午後六時から国際ホールで西日本新聞の福田利光氏の叙勲祝賀会があって一時間半ほど時間をとられた。今日は他の時間を全部午後一〇時すぎまで、六月議会の予算査定各部長ヒヤリングに詰めっきりであった。極めてハードな日程だった。当初予算であるだけに荷は重い。朝の記者会見では国立博物館問題を記者からきかれ、その答弁が早速夕刊に出て注目された。

6月10日（水）

九時に国際協力事業団の中村理事来訪。午後二時国体準備委の常任委員会をガーデンパレスで開催知事が議長役をつとめる。午後七時、ライオンズホテルで県職労の組織集会があって暫時こんだん。その他の時間はすべて当初予算の査定ヒヤリングにあてた。午後八時にはその結果をもって「かわさき」で林副議長と討議した。永田、佐々木、それに林出納長が参加した。席上、県庁舎跡地の処理方法については三役レベルで信託方式をとることの意思統

一をした上で、執行部の方針として内外に明示すべき段階に来たとの意見が大勢を占めた。この問題はこんどの予算案の最大の論点になるだろうということである。第二は、県北県南の構造不況に対する県の方針の明示だということであった。十一時半帰宅。就寝は十二時すぎとなった。

6月11日(木)晴

九時に夜須高原少年自然の家の環境につき、産廃処理業者による汚染のおそれを防ぐため県の自然公園指定をしてほしいとの陳情が町長、山本県議らにより行われた。このあと今日も一日予算査定でみっちり作業があった。午後一時からは知事の申渡しとその後の調整に時間がかかった。四時すぎ終了し、このあと三役会。県庁舎跡地にどう取り組むかで執行部の腹構えをしないと議会に臨めないということである。六時から巳千代で予算作業打上げ慰労会をし、このあとマージャンになった。出納長、総務部次長は欠席だった。

6月12日(金)晴

ひるまえ、健康診断に行った。肝臓に、やはり心配が残っているという。午後の日程には外国からの来訪が三件もあった。オランダブルメン市長、フィリッピン KMU (労組団体)、ルクセンブルグ大使である。フィリッピンでは、失業と経済困難、インフレがつづいていて、彼らの主張ではマルコス時代と違ってないということだった。三時四〇分荊田町商工会議から陳情があり、企業誘致につき、北九州と同じ優遇措置をとってほしいということであった。六時から迎陽亭に共産党幹部、県議を招き、夕食を共にしながら懇談した。共産党にしても全国で唯一共闘で知事与党ということなので、いってみれば鼻高々ということのようで、顔はほがらかであった。県議が二人から五人になったこと以上に、知事与党たりうる点にプライドがあるようだ。

6月13日(土)晴

昨夜はおそくまでマージャンをしていて、ねつきが悪かっただけではなく、下痢がひどく、朝までの間に四回も便所に起き、全くの眠不足で調子の悪い一日だった。済生会に行って下痢止めの薬をもらい、教育会館で高教組大会に出席し、少々長かったが祝辞をのべ、十一時訪中団出発式に空港にかけつけた。一時発三時間余の北京までの機内はほとんど眠っていた。北京では空港での歓迎、次は人民大会堂での全人代副委員長楚図南、中日友好協会の孫平化など要人による歓迎会に出席し、崑崙飯店での中国民航局胡逸洲さんらの招きによる歓迎レセプションに出席した。ひとは私に元気がないと見破っていた。九時ごろ宿舎の長城飯店に着き、就寝。

6月14日（日）晴

長城飯店で八時ごろ朝食をとる。洋式のバイキングであった。下痢は止ったようだが、今一つ元気が出そうにない。団の主流は八達嶺に早朝出かけた。池田企画部長が私のそばについてくれ、午後一時すぎ、少々午睡のあと、そして中食のあと、友誼商店につき合った。県の出張者は土産品を買うのに一苦労である。池田氏もそれを担っている。帰路王府井に寄ったがひとだかりを見るようなものであった。夜は人民大会堂で県側の招宴があり、私がホスト長。六時半から八時半までの友好交流であり、楚図南北京市副市長が隣席のため少々雑談することになった。

6月15日（月）晴

福岡は雨とか。六時半に起床。七時半には朝食をすませ、中国民航社、外交部、対外友好協会（中日友好協会）を歴訪し、空港への途中、燕湖飯店（麟鳳廳）に寄って中食。チャーター便で上海に着いたのが三時四五分であった。一たんホテルに入り、まもなく上海人民政府を訪問。用をすませてホテル華亭賓館に帰投。午後七時からホテルの大広間で上海の政府、民航、友好協会の人々を招いて日中友好福岡県の夕を催した。終わったら十時近くになっており、最後の別れを惜しむかのようにみんな楽しい時間をすごした。思い思いにグループを作りスナップ写真をとることが多かった。北京では緊張、上海ではくつろぎということだったろう。昨日と同じく主卓と小卓のいくつかのグループ分けだったが、みんなよく騒いだものだ。

6月16日（火）晴

六時半起床。九時に出発して上海工業展覧会に寄って訪中ショッピングの時間にあてられた。上海での視察予定はなくなったようだ。程橋賓館というところに立寄って又ショッピングと中食。二時に空港着。四時にとび立って、五時二〇分に福岡空港に着いた。天気もよく、福岡から東京に行くよりも上海から福岡に来ることの近さを実感として知ることができた。空港で西日本新聞のインタビュー、林県議との相談をVIPルームをかりて行って後帰宅は午後七時ごろになった。まだ明るい。旅装をといて夕食時間ののち、又マージャンをやるうといい出して、今夜もおそくまで疲れにもかかわらず、河野さんに来てもらって気分晴らしに時を費した。

6月17日（水）晴

九時三〇分から岩田屋で松本治一郎生誕一〇〇年記念「いのち、愛、人権」九州展が開かれテープカットに臨んだ。十一時から西鉄グランドホテルで、公明党県政懇談会、日経新聞一木取締役挨拶、農政連県政懇談会と連続の行事が消化された。今年からは県議会提出議案は各会派ごとに別々に執行部から概要説明することになった。日経はテレビ開局に向けた知事

への了解取付けについてであった。四時二〇分から地域経済総合対策推進会議の初会合を庁内でもった。五時半から郵便貯金会館で松本治一郎一〇〇年記念集会があり、土井社党委員長も来福、ともにあいさつに立った。六時半帰宅。

6月18日(木) 晴

八時からグランドホテルで県民クラブ相手の県政懇談会に出席。十時のANAで上京、七月に編成される予定の緊急経済対策(六兆円規模)の重点配分についての陳情行動。明日は九州知事会レベルで同趣旨の陳情日程があるが、私は欠席となる。本日の陳情先は古賀正浩、権藤恒夫、建設省のほか、運輸省、通産、労働、農水、文部の各省。全くかけ足の行動だった。不況地域(北九、大牟田)をかかえている点はよく理解してもらえたと思う。二〇〇〇億円期待できるとしても、その準備がかえって大変なような気がする(県は全国の三〇分の一だから)。六時前のANAで、帰宅は八時。

6月19日(金) 雨

梅雨らしい雨だ。庁議前に東京物産観光事務所職員の不祥事件につき商工部長らの処分を発令。記者会見はこのことと、庁議で報告された六月議会提案の当初予算編成概要を発表したことが主。中食は商工部長らと共にし、今後の商工行政について注文した。午後は食品衛生協会と中小企業情報センターの総会に出席してあいさつ。このあと帰庁して事務打合わせを多数消化したあと、志免町にとび、南里町長の案内で志免駅跡につくられた鉄道公園を視察。チャンコ鍋料理若杉山に案内されて夕食こんだんした。八時四〇分帰宅。

6月20日(土) 曇

午後四時に甘木中央病院に中島県議を見舞に行った。在宅中犬と遊んでいて骨折事故をおこしたとのこと。それまで時間があつたので、朝から揮毫に時間をあてた。こういう時間があつて、気持のよい一日になった。甘木から久留米「創世」へ。中村忠和県議がこんど議長に就任したその祝賀の宴である。三〇〇人といわぬ来客だった。議長就任にでくわしたのは樋口、岡本、田中、篠田のつぎにこれで五人目だが、すべて自民党だとしても私が祝賀会に参加したのはこんどがはじめてであった。見方によってはぎょうさんげに感ずる。市長、国会議員、県会議員らがながながとあいさつをした。

6月21日(日) 雨後曇

岡垣町原地区で「ふれ合い田植」があり参加した。同町及び北九など周辺からサラリーマン家族が子供連れで八〇人ばかり参加し、一種のお祭りのような田植を行った。あとニギリメシを一しよに食べた。ハングラライダーが苗束を落とす行事もあつた。岡垣町長、農協長、助信、松岡両県議も顔をみせ、にぎやかなことであつた。すんで辻町長が湯川山からの眺望でリゾ

一ト開発構想を説明し、波津漁港を経て八幡屋旅館で休息一ぱいやってお別れした。早目に帰ったので、昨日に引きつづき河野氏を呼んでマージャンをしたが、夕食抜きになってしまった。こりすぎて少々疲れ気味だ。去年の带状疱疹のこともある。

6月22日（月）晴

ウェールズのカーディフから州議会の人達が交流したいとの旨来訪があった。十一時に福島工試視察に行った。工試問題にこれから取組むため問題をさぐるためであったが、疑問は依然残る。中食をいただいたあと、八女地区労、久留米地評、甘木地区労、と三つの労働団体に選挙後初の訪問をし、幹部とこんだんの数十分を費した。八女では紙提灯など業者もまじえた集りになった。久留米では私の方から地区労運動のより充実の方策を考えてほしいと注文した。甘木では戦時中小生が米軍爆弾で三十余人犠牲者が出たことを材料に平和集会を企画しているので来てくれとの話が出た。帰路、公用車エンストの事故がおきた。六時半帰宅。

6月23日（火）晴

庁議はいつもより早く開かれ、あとに記者会見との間で、国立博物館誘致促進連絡会議の発足会と、国体開催準備推進本部会（シンボルマーク旗披露）が挟まれた。記者会見後新幹線で小倉に行き弥生会館で西瀬戸内総合開発促進会議をもち、中食後小倉南区の国体メイン会場の建設現場を視察した。帰福してシティホテルで開かれている商店街連合会総会あとの懇親会に出席。選挙御礼をかねて挨拶した。帰庁して決裁その他の庁内事務のあれこれを消化していると結構三時間近くを費した。だんだん多忙な日程になってくる。七時半に帰宅。明日講演二つがあるのでその予習をした。

6月24日（水）雨

一〇時から外国人学生ホームステイ英語交流者一二人が来訪。十時半県南総合開発促進会議（自治会館）のあと、東急ホテルで時事通信の内外情勢調査会懇談会で「21世紀へのプラン」につき一時間半にわたり講演。帰庁して事務処理にあたって、こんどは四時からリーセントホテルでの県職新任監督者研修会で四〇分間講演ということで立ち、一七時二〇分建設関連産業協議会懇親会（八仙閣）で又あいさつ。そして六時から国際センターで「奥田知事と共に土井たか子委員長を囲む集い」に出席した。社会党主催の二万円パーティ。三〇〇人は集っただろう。あいさつ、乾杯後は会衆の中でもみくちゃんにされつつスナックにおさまる一時だった。八時帰宅。

6月25日（木）晴

このところ、西瀬戸内、県南と対政府要望の会があったが、今日は交通体系整備促進協議会

発足会 (国際ホール) が十一時から、そして産炭地域振興促進協議会が一時半から自治会館で開かれた。いずれも同様の性格の組織である。形式的といえはいるが、事前の事務的折衝で十分に合意をえているので、議事はすいすいと運んで、けりとなる。それが、県段階の政府への要望に結晶していくわけだ。午後四時七月の「朝の放送」の録音とりがあって一時の仕事は終わった。中山日出子さんが夕食時にやってきて社会主義協会や問研のことを人脈のもつれを通じて危機が来ている旨話して帰った。

6 月 26 日 (金) 晴

福岡観峰会館の竣工式があったのだが、私は時間的くい違いで式前に立寄って観峰さんに会って言葉だけのお祝いを伝え、館内を一巡見せてもらってお別れした。九時四五分九工大の学長が来訪八月末の開学記念式のことを告げられた。十一時、六月議会本会議で知事提案理由説明を行ったが、原稿長文で、一時間もかかった。一時半、庁内講堂で監督者研修で知事講話二五分。あと三役会。そして四時から技術振興課長らによる県工試改革試案についての説明をきく。説明も長かったが、あとの知事意見交換にも時間をとり、会は延々三時間に及んだ。七時半帰宅。

6 月 27 日 (土) 晴

十時に大牟田文化会館に着いた。福教組第五三回定期大会で、さきごろの高教組大会に似て右翼の車が周辺を徘徊しており、これにぶつからないように警察の車が先導して会館に出入することになった。もちろん市内主要箇所は機動隊も出動して交通規制に当たっていた。私のあいさつは二十分をこえたが、何だかまとまりが悪い印象が残った。帰路高速道内で中食をとり、市内警固の筑紫女学園の講堂で行われていた浄土真宗本願寺派九州地区保育研修福岡大会に出席して挨拶し、そのまま帰宅した。二時すぎだった。揮毫に時間をあてた。

6 月 28 日 (日) 晴

梅雨期ではあるが、半袖でいると比較的にしのぎ易い。少し風もあって快くもある。昨日は色紙、今日は条幅を四枚揮毫で仕上げた。「るんるん」と称する自動墨摺り機で一時間ほどまわすと、楽に墨は準備できる。この機械は去年の私の誕生日に秘書室その他の人達がプレゼントしてくれたものである。三時ごろ三笠氏が夫妻で生後四ヶ月になる赤坊を連れて見せに来た。ゆっくりしていいのにすぐに帰ってしまった。今日は久し振りに休みだったので、書齋の古い本を若干入れかえてみた。依然身辺雑然としている。なるようになれた。

6 月 29 日 (月) 曇

僅かに降っただけ。朝は十時発、帰宅は六時ということで、ゆったりした一日だった。十時半から看護センターで保育所連盟の総会があって出席。保守支持を貫いて来た団体でも近

頃は少し動く傾向をみせている。ひるは食事しながら三役会を開いたが、厚生省が私のフィンランドゆきにつき配慮しているとの話題も出た。午後西日本新聞の編集局長交代の挨拶来訪があって、その際国立博物館誘致運動にはずみをつけることで了解ができた。JR九州の石井社長来訪、JR九州に注文をとということで雑談した。三時からグランドホテルで、林副議長の就任祝賀会へ出席。二階全室をぶち抜いたような盛会さであった。六時帰宅。身辺整理。

6月30日（火）曇

十一時にわが家を出て登庁。宮崎の宮司さんが来て七夕祭に私に三六畳大にホウキ大の薫筆で書を書くよう要請があった。応諾のつもりでいる。中食を共にしながら農政、水林、土木、建築の四部長と緊急経済対策が県にどのような数字で行政上はねかえってくるかの試算をするように求め、四部長から今までわかっているものだけについて報告をしてもらった。三時、大洋ビルでイタズの試写会をしてもらって、二時間もの大作を楽しんだ。山村謙一氏が以前からいつか頃を見てといていたのが今日実現したわけ。大作だと思った。昨年の今日帯状疱疹で入院して以来、高野切かな書き習字を一年休んでいたもので決意して再開した。続くかどうか。

7月予記

【記載なし】

7月1日（水）小雨

八時半から岩田屋前で同和問題啓蒙強調月間街頭啓発行動に参加した。九時一五分九大ミニコミ紙取材に応じ、十一時清水町での建設労働組合会館の竣工式に参加。午後は一時一分から文部省と体協の国体に関する総括説明会があった。今日から県下全施設の整備状況の視察がある。三時二〇分子ども劇場の役員の来訪があり、二〇周年記念誌をいただいた。このあと、姫高時代の村上来氏の来訪があった。体育施設のリノリウム張り様の工事に関するPRに来たわけだ。午後四時、自治労神奈川、自治研役員らが来訪し、今秋予定の長洲、横路両知事らとのパネルディスについての出席要請をうけた。八時半まで稚加栄で文部省、体協からの視察団との懇親会に出て九時前帰宅。

7月2日（木）雨

朝七時四〇分自宅発、夜十時十分着。知事選関係で小柳勇氏の紹介者につき、氏の案内で挨拶まわりである。途中、三井物産副社長がアジアランド構想をもって知事訪問するとのことで新幹線など利用して一たん知事室に戻った。夜上富野の勝山産業の招待で料亭万玉でござちそうになつたりしたので帰宅が遅くなった。勝山産業は北鮮系の西原文子氏の経営する

パチンコ店など第三次産業だが、小柳氏との関係から、知事選にはたいへん協力してくれた。でも今日は私の体調がどうもよくなかった。帰宅してみると明日からはじまる県議会本会議の答弁資料が届けられていた。嫌な重圧感をおぼえての就寝である。

7月3日(金)曇

十時からの答弁勉強会前に二組の来客があって、一時からの本会議代表質問には中食をゆっくりとるひまさえなかった。テレビが議場を全部実況放映するとあって議員の出席も開会時刻も理想的だったが、自民・社会両党とも質問内容が盛りだくさんすぎて当方答弁はうまくいかなかった。社会の長谷川氏の場合、質問を追うだけでも大変だった。自民井本は完全野党を貫くと前置きして、知事はつまらんから県民はかわいそうといった論調で傍聴者もうんざりしただろう。六時からアメリカ領事館で独立二一一年記念祝賀会、七時から地公労自治労幹部の祝勝会があって平和楼へ行った。八時半に帰宅できた。体調やや回復。

7月4日(土)曇

日本生命財団の福祉活動団体への助成金授与式が十時から知事室で行われ、このあと商工連合会婦人部青年部の代表の表敬、国体準備調査団の視察報告会、そして十一時半から死亡者叙勲伝達式を行った。中食は高教組三役(露口、田中、牧野)と一しょに弁当をたべながら歓談したのだが、知事が組合側に何を注文するかを改めて承りたいとの趣旨であった。私は高校の先生が父母地域の人達と語り合いながら学校運営を行うという基本に立ちかえって「管理主義」批判をすべきだということを強調した。三時ごろ帰宅。

7月5日(日)晴夕方小雨

筑紫野文化会館で、はたらく婦人の福岡県集会在十時から、十一時には教育会館で社会党首長地方議員団会議があり、それぞれに出席してあいさつをした。牡丹閣で中食休憩して夕方六時半、ライオンズホテルで日韓交流の国土計画学会視察団の歓迎レセプションがあり、県両市の都市計画関係者がホスト役を負った。冒頭知事あいさつということで、午後八時すぎに帰宅。朝のうち晴れわたって気持ちよかったが、夜に入って小雨にかわった。八月中旬に北欧旅行ができるようになりつつあるので啓二と連絡をとる。ライヤは数日後帰国の途につくという。

7月6日(月)曇

九時半から答弁資料の点検会、その前に九時から海外技術研修員たちの訪問をうけ激励のあいさつをした。一時に本会議。代表質問は農政連の山本辰雄、県民クラブの薦野健の二人だった。今日は時間のことをとくに気にして二人とも時間内におさまるようにしてくれた。しかし、薦野は口ぎたなく、知事選の負け惜しみまで演説をし、スタンドプレーが目立った。

ただ彼は旧県庁跡地を売却してそのカネで県勢浮揚に投入せよとの意味で「跡地問題」を提起した点、はじめてのこととして注目される発言をしたことになる。六時すぎに帰宅することができた。ライヤは明日フィンランドに向けて出発とか。寿美子さん同行。

7月7日（火）雨後曇

九時から甘木朝倉広域市町村圏の国道三八六バイパスについて陳情をうけ、知事答弁の検討に入った。今日も一時からの本会議ぎりぎりまで検討に時間がかかった。代表質問は一時から四時半まで公明の鬼木、共産の高の二人が演壇に立った。二人ともすんなりいったが、高質問に対する警察本部長鳴海の態度を横柄そのものと感じたのは私だけでなかったようだ。自民席から鳴海に拍手を送るものもあったが、これなら本性暴露だし笑いものともいえる。高氏は警察の共産黨員宅への盗聴電話について質したのであった。六時半帰宅。ゆったりした気分で毛筆をとり、高野切第二種を書きはじめた。連日の睡眠不足を感じているこの頃だが不眠症をなおす手段がほしい。

7月8日（水）曇

議会答弁書検討の終り頃、イスラエル大使の来訪あり。日本を東京以外の地方を通じても知りたいということであった。今日は十一時十分から一般質問。前半は自民高橋、社会手嶋、農連の伊豆の三人だったが、たいへん時間がかかり、中食後半に入って豊沢、北原、常守で、議運は切りすてを案じ、藤田をさせたところで今日残る二人を打切った。一般質問を一日九人とすることに無理があるのか、一人の使用時間が長すぎるのか、知事答弁が長すぎるという意見もある。三六人一般質問を四日かけてやろうというところに無理があるように思う。今日は五時少し前に終り、サンパレスでの全国青年会議所の一九八九年大会下準備調査団の会議に出てあいさつ。六時すぎ帰宅。

7月9日（木）晴

九州南部は梅雨上がりという。今日は本会議一般質問が二日目ということ、比較的スムーズに進んだので、四時少し前に七人分全部終了した。婦人総合センターを北九州に作る案と、春日米軍基地跡地に予定している身障者センターと併存させる予定の婦人総合センター構想と矛盾しないのかとの追及があった。私は二兎を追うことになると答弁するしかなかった。静かに潜行している問題は県庁舎跡地利用について誰がいつどう利用すると決められるかという点である。六月議会で「決める」ことを決めた上で、九月議会では決着づけるということに誰しもが考えるように事が運べばよいと思っている。六時半帰宅。夜は、高野切の練習。月下美人が二輪咲いた。香りも高い。

7月10日(金)晴

湿気が多く空港の向うは見えないが晴れている。十一時二十分から一般質問の本会議がはじまった。前半三人、後半五人で、今日もすすい進み、三時すぎには閉会となった。とくに問題はないが跡地問題で沸きかかっていることは事実。当方から特別の案は示さないで議会の方から論議をふっかけてくれるのでいい状況である。一休みしたあと、夕方ニューオータニで、ルクセンブルグ皇太子を囲むパーティが行われ、代表して私だけが挨拶に立たされた。この国は近年積極的に日本との交流を求めており、六〇年十月から福岡空港との間にカーゴが発着している。六月中旬大使も来庁した経過がある。六時半帰宅。月下美人が全開。ゆっくりした宵の一時を花見に費すことができた。

7月11日(土)晴

九時に済生会病院で定期検診。肝臓も故障あり、血糖値も高い。しかし自分では糖尿病の合併症は何だろうかと自問してみるが自覚はない。小川先生は入院中の美空ひばりさんのことをさかんに引き合いに出して話していた。十時から近々予定されている北九市長との会談の諸テーマにつきレクの時間にあてられ中食をはさんで一時すぎまで論議した。新北九州空港の建設の為の漁業補償が一番のネックで、これに一〇〇億ともいわぬ県費つぎ込みが可能かどうかである。北九市長が知事のイニシアといていたのはこのことだった。二時帰宅。あとマージャン。

7月12日(日)晴

久しぶりに日曜をわが日とすることができた。がさて、何もこれという義務のないのも淋しいものだ。朝から筆をもつ。色紙を三〇枚ほど書いた。頼まれものも中にかなりあったので、明日秘書室に届けよう。「定礎」ものもあったので仕上げた。あとは高野切巻二をかなり書き進んだ。休み休み書いていった。なかなか腕がよくすべらない。日曜のせいだろう。いつものように、マンション裏の庭で遊ぶ子供のカン高い声がきこえてくる。今日は室内で三〇度という夏さいち筆を執る腕に顔に汗がふき出てきた。

7月13日(月)晴

八時半から答弁の勉強会。十一時十五分からはじまった一般質問は午後四時少し前までに八人の質問者で終る。あとは委員会審議に入ることとなった。散会后早麻議員(跡地特委員長)が来訪。いよいよ跡地の利用を決めざるをえぬ段階に来たが、私見としては地下構造は別として緑地で残す案がいいと思うとの所見をのべて去った。六時からホテルリッチで事業団系で県と九経連主催のアセアン諸国から来日中の三〇人の送別会が行われたのに出席し、その後七時から三光園で日本病院学会幹部の懇親会があつて出席した。土屋呂武(済生会福岡病院名誉院長)がこの学会を世話している。県医師会の桜井会長も出席であった。九時一

寸前に帰宅できた。山笠千代流れが県庁来訪。

7月14日（火）晴

十一時から宇美町で中国帰国孤児定着促進センターの開所式があり七世帯二八人が入所した。三時半福岡学園が少年野球九州大会に勝って、八月の全国大会に出場するというので来訪したので色紙を贈ってはげました。四時、上杉昌也氏が来訪チャリティゴルフのことでテレビ録画となった。七時からの戸畑祇園提灯大山笠競演会に出席した。市民会館前の道路が使用された。一寸雨が降ったが大事には至らなかった。末吉市長も出席し祝辞をのべた。落選した藤田茂令氏にも会った。みんな山笠かつぎの姿に着替えてである。帰りは大石課長と同席車中だった。物産振興が話題になった。

7月15日（水）雨

台風五号が接近して警戒体制に入ったまま夜に入ったが、深夜には朝鮮方面に北上した由。無事だった。ひる前は被団協の陳情があり、婦人会館のことで内野、今吉の二人の指導者が相談に来訪、中食を共にしつつ対応した。一時半、総合農試に行き、体外受精の子牛とグラフふくおか用の写真をとるモデルとなり、あと研究員らと懇談した。帰庁して事務を少し片付けたあと、六時から博多弥生で公明党県議との懇親会に入った。社会党からも林、長谷川、助信の三人が出席、公明党側は六人、執行部側は私、林出納長、永田室長だった。議会運営が今後スムーズに行くことを願ってのことだったが、よく理解してもらえたと思う。あとで大内、江頭、林と私四人でマージャン会になった。

7月16日（木）曇後晴

井上雅美県議が来室。先日の早麻氏と違う考え方を跡地について申出てきた。第三セクター方式で跡地活用の考え方である。（早麻氏は中央区、緑地で残すべきという）午後、全民労協の役員数名で、雇用と時短で知事も協力してほしいと要望書を提出してきた。議会では委員会で次々と知事保留があっているということだ。平穏に進んでいない模様。朝の放送について原案をめぐり、しばし討論した。夜は住吉グループと三光園で懇談した。社長、住吉、浜中、山本、三木それに林、助信、秘書室長、おくれて林出納長が来た。今日もおそくまでマージャンに興じた。一つのつき合いと思ってあきらめるほかはない。十二時帰宅。

7月17日（金）小雨

一日中小雨だった。九時から末吉北九市長との会談、つづいて記者会見で共同コミュニケを発表。十一時から解同県連大会（ももちパレス）であいさつ。一時から農業会議関係の感謝状授与式。ここまでつづいた公式行事。あとあき時間があつて、ミュルダールの「福祉国家をこえて」の読書にあてた。六時、三光園で博多辛子めんたい協同組合の設立総会後のこん

しん会に出席。思いがけなくも、議会の雲行きのため引返してほしいとの連絡があつて七時半帰庁。以後十一時まで待機したが、結局は本日は知事出番なしということで帰宅は十一時半。予算委員会のごたごたは朝からつづき、給与振込み制への切りかえを今月旧のままでやれ、いやもうできぬということで審議が停滞しつづけたのであつた。組合費の天引き、生命保険料手数料組合渡しをやめよという自民井本の要求のゆえの停滞。

7月18日(土) 雨

九時半に「勤労青少年のつどい」に集った諸君にあいさつのためもちパレスに行った。帰庁して青年海外協力隊の出発する諸君に激励。次いで YFU 国際交流交換留学生の米日両方の高校生の表敬をうけて激励の言葉、記念品の贈呈をした。午後一時から都久志会館で民事介入暴力対策福岡拡大委員会なるものに出席祝辞をのべた。地上げ屋、示談屋、立ちのき強制屋など最近ふえる傾向にあつて対応が急がれている。二時半から夕方までローフレンズの会で講演と懇親会。このあと、すし屋うえだで仲好会。具島、内田、土井、大屋、荒牧、門田見、岩崎、岸、徳本ら出席。知事選後二度目の集りだった。

7月19日(日) 雨

昨日今日ずっと雨でかなりの降雨となっているだろうと思う。昨夜は河野氏を迎えておそくまでマージャンをしたので、今朝はひる頃に起床した。中元などに関し、手紙を書く宿題が残っているので、それに時間をさいた。一時すぎ、県職の書記長城島、及び石川の両夫妻、石川は二人の子も連れてあいさつに来た。しばらく話して帰った。全青同から依頼された原稿も〆切りが来たので書き上げた。身の整理についてはいくらでもなすべきことがたまっている。六月議会は最終段階を迎え給振問題や人事について、若干荒れそうだ。城島らとそれを話した。

7月20日(月) 曇小雨

南部九州その他では水害さえ起り、本州では梅雨明けを取消したところもあるという。十時二〇分に小郡市長らの学園都市構想に関する陳情があつた。中食は県職の城島書記長それに安達を加えて懇談のうちにいった。秘書室を知事公室に作りかえ陣容を強化せよとの要望が出された。二時から県立六病院の経営概要と改善計画について衛生部長から報告をうけた。県議会は常任委員会に入れなくて、明日の給与日をひかえ、組合費、団体生命保険など引去り問題にクレームのついたままではいけないとのことで執行部の釈明を求め、空転。六時にようやくケリ。六時半、お花で苧田町長、牛島県議らと懇親会。

7月21日(火) 晴

九時半県立美術館でいわさきちひろ展、つづいて天神ビル住友信託銀行コーナーで県産品

展示コーナーの、テープカット（オープニング式）があつて出席。昨日東京練馬のちひろ美術館について書いた「みつがしわ」四号を小沢辰男氏が送付してくれて読んで行ったので、その副館長松本猛氏に今日あえて、挨拶できたのは偶然ながら私にとっては助かった。中食時に八丁氏がローマに住んでいる茜ヶ久保氏を連れてきて、食事しながら、イタリー事情について話をきいた。議会は三土木事務所長に事務官をあてた事について自民がごねはじめ副知事ら苦勞の末、十月に技術職にもどす約束をしてケリ。二日おくれながら動きはじめたのが六時半。

7月22日（水）晴後曇

今日は議会の経過待ちで帰宅は午後九時すぎになった。朝のうち公式行事は教員の死亡者叙勲伝達式だけ。知事保留がぼちぼち出るので、原課から報告があがってきてこれをきく。午後の時間帯で県立病院の経営実態について衛生部長、病院課長らと話し合った。市民生活と行政の境界線はむつかしいものだと思った。腎不全患者の団体からの陳情についても話したが病院問題に似て厄介な問題だ。明日提案予定の人事について野党側があれこれ介入しようとしてきている。井上昭和を推す力がかなり強く、県評ら強く反対している。明日の人事提案はどれも暗礁に乗り上げそう。徹夜覚悟の日を迎えるわけ。

7月23日（木）曇

八時半から朝食会の形で福岡市長との会談があり、一時間後記者会見になった。アジア博、国体、大濠公園池浄化、玄海リゾート、県庁跡地などが問題になった。十時半、市立賀茂小バレーチームが県代表全国大会に出るといので来訪、激励した。中食は播州ソーメン会の形ですませた。議会の方は今日が会期最終日だが、結局は人事案件の思惑もからみ一日延長となり、今日は形の上では予算特別委員会知事保留質問二人をあげる事ができた。自民党が給与振込組合費及び団体生命保険取扱いにつきいやにまきついてきた。十時半帰宅。

7月24日（金）曇

なかなか梅雨が去らない。最終日の議会、代表者会議で人事案件のうち監査、収用両委員は提案したものの、副知事と教育委員は提案に至らなかった。とくに副知事については出納長のあとがまに、井上昭和を推す勢力が台頭したので、これを消すために林を副知事にとという腹案は断念せざるをえなかった。二時五〇分から本会議が開かれ、共産党をふくめ満場一致で予算案も通過した。六時から巳千代で済生会の近藤栄次郎、それに米倉氏、県からは私と林出納長、永田室長が出席して懇親会を行った。十一時帰宅。

7月25日（土）晴

甘木に行った。十時から商工会議所で青年会議所の諸君と懇談。十時半から甘木鉄道乗車百

万人突破記念式に出席。福岡では一時すぎ教育会館で行われた第四六回社会党県本大会に出席。このあと二時半空港発で東京経由小松に向った。ところが雷雨で羽田でなく成田に着陸。次々に遅れ羽田に戻って小松に着いたのは八時近かった。目的地は山中温泉、泊りは翠明というホテル。空港から杉山、高原両係長が随行してくれた。ホテルに着いたら小沢辰男氏その他が玄関で歓迎してくれた。昨日から自治体問題研究所主催の自治体学校が開かれており、明朝私が講演することになっている。甘木線がローカル線として切捨てられて再出発して以来一年三ヵ月。当初計画の一・五倍の乗客を得ているというから誠に賞でるに足る。

7月26日(日)晴

九時から四〇分間、自治体学校での講演。山中町の文化会館。一二〇〇人ほど集っていた。あと北国新聞のインタビューに応じ、加賀温泉駅から十一時すぎ特急で、金沢乗りかえ新潟に着いたのは三時四〇分。田鹿氏が出迎えてくれ、すぐホテルイタリア軒に行き、ゆっくり時間をとって六時からホテルの一室で当地の協会員十人ばかり有志のつどいということで意見交換し、そのあと田舎屋というところで飲みながらの夕食会となった。自治体学校におけると同様、草の根民主主義の実践を強調しつつ、今後の社会運動は思い切って楫を切りかえないと展望がないことを力説した。十二時就床。

7月27日(月)晴

すごく暑い日がつづいている。九州もようやく梅雨があけたと報じられた。イタリア軒を十一時に出発。上越新幹線で上野着が一時四三分。永田、福原両氏が出迎え。杉山、高原両氏と別れ、床嶋所長も加わり、その足で厚生省社会局長を訪ね、北欧ゆきの話のお礼をのべ、保護課長などにもあいさつ。次いで衆参両院議員会館に県選出議員を歴訪。明日の朝、中、夕食会の案内をしてまわった。ふくおか会館に着いたら四時。総務、企画の部長なども来て明朝からの行動に備えていることがわかった。あわただしい事務所模様である。厚生省社会局は県の保護率低下に見られる努力を高く評価してくれている。

7月28日(火)晴

八時半から自民党、十二時から公明党とそれぞれキャピトル東急で、五時半から社会党と東條会館でそれぞれ六三年度政府予算要望の説明会を、県選出国會議員に対して行った。朝食会、中食会、夕食会という形である。夕食会が一番ゆっくり懇談することができた。こうした説明会のあいまに、午前中は農水省と水産庁、午後は建設省、運輸省、労働省と、各省大臣次官などに陳情してまわった。国会が開かれていた関係で直接にあえた人はごくわずかであった。午前中の余った時間を利用して自治省にも行った。社会党だけは県のみ、他は北九、福岡両市及び他の市町村代表も加わった。

7月29日（水）晴

東京は三七度、福岡は三四度と、むんむん蒸す一日だった。朝、地方自治情報センター理事長石原氏を訪ね総務部長人事などについてお礼をのべ、次に国土庁、文部省、文化庁に陳情。中食をふくおか会館でとった後、経団連花村副会長、そして国土庁、劔木事務所とつづいて動いた。玄海リゾートの採択、国立博物館、九工大情報工学部施設協力会設立などが訴えの主な内容であった。九工大では飯塚市長も同行した。これで三日間にわたる陳情行動はすべて終り、福岡に六時半帰着のANAで帰ってきた。ほっとした長旅だった。

7月30日（木）晴

朝十時出発、夕方五時半帰宅というゆるやかな一日であった。済生会近藤常務が来訪、土屋呂武福岡病院長後任問題は小川滋氏に決着づいたと決裁を求めてきた。四月以来の永い懸案であった。ふくおか教育を考える会の幹部が数人来訪、高校増設や学級定員につき陳情があった。中食はベスト電器総務部長太田氏と一しよだった。創立三五周年記念誌についての要請である。午後白石、豊島両県議が来訪し、県立黒木病院の縮小案（診療所化）について再考をうながす旨主張。これは地元の要望ではあるが、県の行革審の答申の中に盛りこまれており、実現までまだかなり曲折を要するであろう。

7月31日（金）

富永総務部長が今日付で自治省へ戻るので辞令交付。十時十五分から県政サロン録画のためRKBスタジオへ。十二時二〇分近藤ANA社長就任祝賀会（全日空ホテル）彼は第三分校出身だから関係者も多く出席していた。一時半から大手門で県評大会。岩崎隆次郎氏が長かった事務局長を降り、あと松田留吉氏が、白石議長のあとを坂本隆幸氏がつぐという。労働運動も時代とともに形をかえていくべきだとのあいさつを行った。岩崎は二度の知事選を成功させ名声高いと専らの評判で、今後の動きが注目されよう。明日、大分県庁に行く日程のため、六時半ごろ、九重レークサイドホテルに着き夕食ごちそうをうけ、泊る。

8月予記

県議会と政府への予算陳情で七月は終わった。八月は夏を好きなように過ごすよい機会と思いい迎えたのだが、やっぱりぎっしり日程がつかまっている。冷房設備がととのっているから休まないようになっているわけだが、それだけではなく、この月は元来イベントの多い月なんだ。広島、長崎の原爆忌のほか、各地の夏祭りや花火大会、それにお盆は、初盆まいり、戦没者慰霊祭がある。今年は北欧旅行が特別の日程として加わる。サマー・インは北欧から帰ってからやろうといている。緊急経済対策で公共事業関係は多忙となる。

8月1日(土)雨

九時すぎに九重レークサイドホテルを出発し、十一時半から大分県庁で平松知事、大山町々長らと会見。赤石川ダムの建設について協力要請を行った。帆足九地建局長も仲介役をしてくれた。グランドホテルで中食会を行い、大分を辞す。一日中かなり強い雨が降った。帰路も九重峡谷経由だった。午後五時ステーションプラザで開かれた県庁医師会懇親会に出席してあいさつ。そのあと、グランドホテル地階の松風で開かれた地域懇の夕食会に出席した。木梨氏がこの会を閉じようと思っいろいろ主要メンバーと問答してみたが皆さんはどうかと問いかけ出席者十数名が、それぞれ存続の意義あることをのべ、又会おうということで別れた。

8月2日(日)晴

休みの一日だった。どんどん暑中見舞が来るがどう対応したらいいかわからぬまま。問研月報が次の九月号で三〇〇号を迎えるので、それに寄稿の注文があり、今日それを書き終えた。アモーフラスということを企業例に引きながら月報も変化を求めていってほしい旨のことを書いた。午後揮毫しようと思っいたら河野氏を呼んでマージャンをすることになったが、その前に安部夫妻がやってきて、スミ子さんが七月にフィンランドに行ってきた、ライヤ両親が大変お世話になったことを写真をみせながら紹介報告してくれた。心覚えとして役に立った。私の出発は十五日の予定。

8月3日(月)晴

十時に韓国舞踊団の訪問をうけた。オリンピック宣伝をかね、交流の深化をはかろうというもの。共同募金に多額の寄付をした件、上杉ら三人に厚生大臣感謝状を伝達した。ひるの時間に、田中光夫氏が同志社大の吉武堯佑を連れて訪ねてきた。須郷氏が小郡市に国際大学を作ろうと運動している件との関連らしい。午後一時から建設事業連絡協議会があり、九地建局長と知事との意見交換が筋書きであった。三時からこんどはグランドホテルで九州地方交通審議会福岡部会が発足を開き、運輸局の県内版行政推進が協議された。五時から飯塚野上会館で奥田八二を囲む夕べ、つづいて、地区労で県民の会の納涼会があつて出席。

8月4日(火)晴

定例の庁議、記者会見。ひるは久留米の水の祭典に出席した。魚重でごちそうになった。米、中両総領事も出席し、六ツ門の街路でセレモニーがあり、後デモンストレーションで少し歩いたあと、引きあげさせてもらった。このあと久留米工大高田学長を訪問、辻教授も来て四五分間ほど歓談した。技術立県が主題だった。帰庁して決裁その他の事務処理。六時から稚加栄で八月一日付で自治省に戻るようになった富永前総務部長の部長会送別会があつた。約三年総務部長をつとめたわけ。八時すぎ帰宅。高野切でも習字する時間をゆっくりとれた

が、最近熟睡できず今日も久留米往復車の中で横になっていたのだが、健康が気になるこの頃である。

8月5日（水）曇・雷雨

JALで大阪へ。十一時に着き、一時半からホテルプラザで田川地域企業立地セミナーが開かれたが、その中のパネラーたちと、中食会をした。セミナーには一〇〇人余が出席して先ずは盛会だった。三菱総合研究所の高橋乗宣氏が、円高新時代の企業経営というテーマで一時間講演した。今一五〇円の水準に近い中にぐんぐんさがることも考えられるとの趣旨であった。四時半にセミナーは終り、あとレセプションでこんだんした。六時からは八幸で関西県人会の新会長伊藤氏ら役員三人を招いての懇親会を行った。調会長のあとをうけての新会長になった高浪氏に次ぐ会長である。ホテルプラザに泊る。企業誘致がそうかんたんにできる雰囲気ではなさそうだが、参加者が最後まで熱心にきいてくれ、田川が再認識されたセミナーではあった。

8月6日（木）晴

新幹線が約三〇分おくれ、十二時半すぎに博多に着いた。昨日今日雷の被害があちこちに生じ、死者、列車のおくれが出たりした。駅から県庁に直行。今日もみっちり庁内行事が積みかさねられていた。一時半から商工部技術振興課長と県立四工業試験場長の、知事に対する工業試験場をめぐる報告こんだんが中でも大きな行事であった。試験場の活性化が何とかならないかというのが、私の最近いただいている問題意識であって、これに対応する集りであった。将来試験場の職員との対談も予定したい。五時半からのニューオータニでの九電新役員就任披露パーティには田中健蔵氏も来ていてものをいった。七時からは三光園でマスコミ各社の部長会を招いての宴会になった。九時半帰宅。

8月7日（金）晴

朝八時に出発し、新北九空港問題でまず苅田沖合の土砂処分場の視察、三原文化会館での促進期成会理事会と中食、一時からの小倉法華クラブでの同会総会をすませた。漁業補償問題は地元の熱意とうらはらに、うまくいかないかも知れない。新幹線で帰ってきて、三時半からの筥崎宮七夕揮毫に対応した。お祓いをうけ、筆塚前での揮毫は「寛」の字を書いた。用意された藁の筆は重さが二〇キロほどもありそうな重いものであった。三六畳敷の大きさの紙、バケツで墨が用意された。白しょうぞくの足袋書きで書いたのだが汗だくだく。前後風呂を浴び、あとでビールをごちそうになって五時半頃お別れした。六時半から大丸別荘（二日市）で社会党の両院地方行政部会の視察団との懇親会があった。筥崎宮から二日市まで、みゆきも参加し、そばについていた。

8 月 8 日 (土) 曇

田中新総務部長が着任のあいさつに来室した。九時半中島県議を伴い甘木市長が、オイスカを甘木にという件で陳情に来た。十時から十二時まで今年の県民大学講義。中食は瀬高町での対話について関係者と話合いつつとる。三時からグランドホテルで粕屋郡歯科医師会の記念講演講義である。水戸、関の両県議も私の講義をきいていた。四時から渡口哲夫の作った日中技術者交流センター設立総会とレセプションが国際ホールで開催され出席した。中国から女性役員が二人来福視察旅行中で、この人たちも出席した。今後日中間の人間交流の一つの手段となることが期待される。夜直美が帰省してきた。河野さんをおそくまでマージャンをして時間をすごした。

8 月 9 日 (日) 晴

朝ゆっくりしていたが、十時に、衣笠、八丁、高崎の三人が来訪。中食をはさんで話して行った。行政と政治のはざまにあっての不満のぶちまけを聞いておくことになるわけだが、秘書室も一寸知事を使いすぎる。政治的存在を考えないし、時には家庭的生理的存在すら考えないという傾向がどうしてもなおらないわけだ。だから家庭からも政治諸団体からも不平が出てくるのは当然といわねばならない。二時半頃彼らは退出した。あと残された時間、今日の日曜は筆をもつ仕事はかなりあるのでそれにあてた。朝のうちはげしい雨があったが、すぐ晴れた。この休みの日を有効に使えてよかったと思う。

8 月 10 日 (月) 雨

昨夜から引きつづきかなり降った。雷雨でもあった。八時に出発。門司の豊国学園七五周年記念式に出席。これは野原前県議が理事長。帰途を利用して八幡職安を視察。不況をよく反映し所内はごった返していた。帰庁後交通安全対策会議ほか目白押しに引きつづく業務を消化した。休息、用便すら事欠く日程の詰まりようには驚く。午後六時からの済生会役員との懇談会(山ノ上ホテル)にも三〇分遅参する有様。今日の済生会は近藤栄次郎常務、小川滋院長就任の披露会といってよい会合であった。九時まで飲んで大いに語り合った。忙しい忙しいの毎日。

8 月 11 日 (火) 小雨

庁議と記者会見。このあと瀬高町にとんだ。まず下小川の転作団地を視察。三ブロックローテーションで大豆転作による減反「とも補償」を実行する一つの実験場といわれている。視察のあと山門農改に移り中食。あと同所で農業士を集めての今年度初の対話事業となる。テーマは「明日の農業を考える」であった。四時、立花町(担い手研修センター)で朝から行われていた「まちづくりむらおこしシンポジウム」に参加。近くの「しらとり」でのパネラー町村長らとの懇談会、つづく交流立食パーティへとつづいた。過疎地の村づくりをどうす

るかを国際居住年との関連で討論を試みたのだが、当初の予想に反し、いい意見が続出し、村おこしへの意欲がよみとれた。私は激励するのみ。八時半に帰宅できた。

8月12日（水）雨

全生連が高県議を立てて生活保護の適正化に行きすぎがある点是正してほしいと要望をしてきて面会した。午後一時からは有明漁連が海底沈下について処置を頼むと要請。これも面会。このあと内野関雄氏が日赤県支部長知事に対しエイズ治療技術の開発などに使ってくれと寄付金を持って来られ贈呈式があった。決裁などがたまっていてそれぞれ処理したあと、初盆参り。今年の私は五件。杉本元知事、米倉氏、亀井前知事、上杉佐一郎氏の父、それに太宰府天満宮の前宮司西高辻氏が対象。杉本、西高辻の二氏は仏式ではないが一般の慣習に沿って受けてくれた。

8月13日（木）曇一時雨

今日明日は日程なく休日になった。幾つか残っていた揮毫、中でもKBC文化センターから頼まれていたチャリティ出展ものは、前から気になっており、二十日締切りだから今日しかない。墨を多目にすって揮毫に一日かけた。色紙・条幅をかなり書いた。北欧ゆきの荷物も気になっていて、一応トランクに詰めてみた。もう寒いといわれるので下着類、コート、それに常用薬など結構一ぱいになる。クオピオのライヤ実家にも行くので一寸したお土産も詰めてみた。一〇〇〇ドル両替もすませた。一六万円近くかかった。

8月14日（金）晴一時雨

雷雨を伴う妙な天気がつづいている。今日も休みで一日中筆をもつ。高野切を二〇枚ほど書いたし、色紙を四〇枚書いた。色紙は書き溜めである。環境は緑で静かでといえるのに、裏のマンションの生活雑音とくに車の出入の音、それに、この界限は古紙回収業や物売りの雑音が多いので、静かな環境とはいえない。マンションは日照も、とくに冬場にはひどく邪魔になる。暑中見舞にどう対応すべきか、毎日思いわずらう。県民の会から一括大量に出しているのだろう。その返信、さらに、大量に宛先不明で返ってきている。五〇〇枚をこすだろう。処置なしだ。

8月15日（土）晴 アンカレッジへ

久しぶりの夏びより。九時半に定期検診をうけに行ったが尿糖がやはり高く+4、血糖は二九〇。登庁して若干事務処理ののち、十一時五〇分から武道館で戦没者慰霊祭十二時五〇分まで。一たん帰宅し、荷物整理など自宅で休息し、四時半福岡発、六時羽田着。東京事務所からの迎えで成田に向い成田発午後九時三〇分のKLMでアムステルダムに向った。機内泊の形になる。幸い特別席を準備してくれたので、シートを倒してよく休むことができた。成

田空港レストランで軽い夕食をとったのが全く余分になるほどに機内食が次々に出た。アンカレッジは朝の十一時という。日本時間では今日深夜の三時半といった調子。眠い。

8月16日(日)晴 アムステルダム

早朝アンカレッジからの便でアムステルダムに到着した。機内で二食も。MIKI トラベルの内藤氏が迎えてくれ、タクシーで旧王宮前のグランドホテル、クラスナポルスキーに着いて小休。中心から二〇キロ北のフォーレンダム村観光。沿道の家々の窓辺の花飾りが美しい。ただ途中のオート二輪車群にはへきえきした。正午、身障者施設コニカムを訪う。アムステルダム川畔のレストランミランダで中食。三時半、セントラルステーション近くからボート乗合で市内遊覧一時間。あとホテルに帰り休憩後近くのレストラン「五匹のハエ」にて肉料理をとる。三百五十年以上もたつ古い建物にある。九時半頃まで明るく、ホテルに歩いて帰り早めだが就寝。古典的な美しさに感動した。

8月17日(月)ストックホルム 晴

六時前に起床。朝食後タクシーで空港へ。アムス空港八・五五発、ストックホルム一〇・五〇着。熊田氏が案内についてくれた。一段と涼しい。一八度である。ホテルセルゲルブラツァに荷物を置き、郊外の Orminge Hassel Udden 岬にある LO 労働学校に行く。障害者世界会議 The Global Meeting of Experts in the Field of Disability が行われるところ。資料を確実に集め、三時、日本大使館表敬、市内見物。七時からホテルに遠くない所にあるレストラン厩舎頭亭なところで野村大使の招宴をうけた。十七世紀からの施設。美しい湖畔を散歩。九時半ホテルに帰る。北欧のすがすがしさ、準白夜を快く味わうことができた一日であった。

8月18日(火)ストックホルム 曇肌寒し

六時半に起床し、朝食後近くを散歩していたら熊田氏が来てさらに散歩をつづけ、地下街や花市場など案内してもらい、九時半から私の部屋で彼からスウェーデンの社会福祉概要の話を書いた。厚生省が保険と年金を扱い、医療その他の福祉は自治体の分野というような話をきき、十一時すぎ市内見物に出る。市庁舎、ノーベル賞授与室、地下鉄、野外博物館スカンセン、遊覧船、そして小休のためホテルへ。午後七時ワイン貯蔵庫を利用したアウロラ・レストランでトナカイの肉をたべ、九時半歩いてホテルに着いた。明治村といわぬ中世村ともいべきスカンセンはよかったが地下鉄の落書きのひどさにはびっくりした。熊田氏がこれをとくに非難していなかったのが驚きであった。

8月19日(水)曇 コペンハーゲン

早目に起き身支度。八時半には熊田氏と別れ空港ゲートに進入。九時半発、十時四〇分コペ

ンハーゲンに着く。ギャラリーアスベク（絵かきの集まる所にある）で中食。ガイドはデルバクテン美智子さん。市役所の職員アンさんの案内で老人ホーム及び保護住宅併設の施設を見学。市では老人ホーム利用者五七〇〇人、保護住宅利用者一八〇〇人ときく。ホームヘルパーが六〇〇〇人とか。この施設の職員数五一六人、ホーム入所一人につき〇・九人の職員という。二時半見学を終え、日本大使館に表敬。このあと市内見物。人魚姫の像、冬の王宮、国会議事堂などを見て五時パレスホテルに着いた。小休ののち有名なチボリ公園で夕食しつつ公園のよさを共に味わった。ショックだったのは三一 km²の広さというクリスチャニア、解放区（九〇〇人住居）のことだった。

8月20日（木）曇、小雨 ヘルシンキ クオピオ

六時半に起き身支度。フィンランドは寒かろうと思って少し着込み、レインコートを手にもった。九時一五分フィンエアーでコペンをたち一時四五分現地時間でヘルシンキに着く。ライヤが出迎えてくれ、乗りかえてクオピオゆきにやっと間にあった。一時二五分着。彼女の父が迎えの車で自宅まで二〇分ほど。荷物のうち、博多人形がかさばるので、みやげ物をまず解封した。人形は立派に部屋に映えた。一休みして夕食。啓二とは連絡がついた。五時半車で一家揃って湖畔の小屋へ出発。七時に着いた。早速父の方は魚網かけ、母の方はサウナの準備。私は小屋裏の山に出て苔類を踏み味わったり、ヨハネスベリを取って食べ籠にためたりした。九時半頃サウナに二回、湖水に二回、汗を流^マ。日はなかなか暮れず湖面は静寂そのもの。米粉パイ riisipiirakka とコーヒーで夜食。十一時に就寝。

8月21日（金）快晴 クオピオ

八時半起床。湖水を鏡としてヒゲを剃る。小屋の朝食はヨーグルト、パン、バター、サラミとコーヒー。ブルーベリーを取りに行き十時ボートで湖水めぐり。舟が速いだけ風も強く、吹かれてサリーはねむったようだ。ここはクオピオの東南七七キロメルサルミ郡、幅一キロ、長さ八キロの島で湖水は四〜一〇〇メートルの深さという。昨夕の魚網には五匹の魚がかかった。燻製で中食ごちそうになる。二時湖畔発、一時間半で帰宅後、市内見物のドライブ。老人ホームも見学した。八〇人収容とのこと。クオピオは人口七・八万人四つの老人ホームあり、ホームヘルパーは一五〇人あるという。七時夕食をしているところへライヤの弟氏が来てシャンペーンをごちそうになりながらライヤの通訳で歓談した。弟さんの別居はわれわれには異様だがこちらでは独身でも一人前になれば別居していて不自然ではないようだ。十時半就寝。

8月22日（土）曇小雨、クオピオ ヘルシンキ

八時半起床。朝食後、車で市内見物と買物。家庭内の食卓もマーケットも日本のようにどっさりゴタゴタしていない。帰宅して中食。荷物をまとめる。見送りをうけ、午後五時二〇分

発でヘルシンキへ。五五分で着いた。地上一六度で小雨。ライヤの級友夫妻の出迎えをうけ、近くのホテルを予約チェックインして、市内レストランで夕食。チキンをごちそうになった。ライヤとサリーはこの友人のうちに泊り、明後日ヘルシンキ発東京に向うことになる。夕食後ホテルランタンピまで逆送してもらい、入浴就寝は十時半だった。ライヤの予定では私も級友のうちに泊るように了解済みとのことであったが、とても形がつかないと思ったので、ホテルをとってもらった次第。

8 月 23 日 (日) 曇 アムステルダム晴

妙な夢ばかり見て目ざめはよくなかった。六時五〇分起床。バイキング方式の朝食ののち八時、ライヤの出迎えをうけ彼女の級友の運転する車で一〇分で空港へ。九時二五分ヘルシンキ発アムステルダムゆき。級友夫妻は日本人の年金や税金、レジャーの過ごし方に関心があったそれを話合った。機は途中 Göteborg (スウェーデン) に寄港。私はアムスとばかり思い込んで降りてしまい、ゲートを出ようとして失敗を知らされ急ぎ元の機に戻りえて事なきをえるという事故があった。十一時四五分、定刻にアムスに着き、KLM の黒川氏の出迎えをうけ、永田氏がスイスから到着するのを待つ。一四時二〇分 KLM 機でいよいよアンカレッジ経由の長路の旅となる。どうして眠るかを考えるが、機内では日本の新聞や週刊誌がどうしても見たくなる。

8 月 24 日 (月) 曇・雨

北極まわりであまり眠れない昨日、アンカレッジから成田に着いたら日付が進み、二時半、東京の所長の出迎えをうけ一たん空港近くのビューホテルで小休。六時発の福岡行きに乗る。同乗の子供たちがいて大勢からサインを求められた。アメリカで一ヵ月近くもホームステイして来たという県内各地の中学生たちだった。福岡空港には出納長、副議長 (両林) のほか民生次長、秘書室の男性連中、広報室の数人も、出迎えてくれ、かんたんにあいさつの言葉を交わしたあと帰宅した。福岡着が七時五〇分だったので帰宅は八時半を過ぎていた。大雨が降って県内でガケ崩れなど被害も出ているという。北欧とくらべ十度も高温の福岡。とてもむし暑い。

8 月 25 日 (火) 曇一時雨

暗くて意地悪な空。時にすごい雨。夜はぐっと冷えてきた。定例の庁議と記者会見のあと、事務処理などあったが、二時すぎには帰宅して身辺整理と自宅での仕事としての原稿書き、揮毫などに時間をあてることになった。手紙の義理もたまっていたので六通書いた。ひるま、北欧旅行のみやげ物処理も終わった。揮毫と原稿はまだ若干積み残しがある。まずはぼつぼつ片付けるほかない。北欧旅行の感想として記者会見の時に「負の社会有」という新語を使ってみた。われながら一寸おもしろいと思って、これからも使ってみようと思っている。

8月26日（水）晴

久々の晴。それでも気温は三〇度をこえ北欧より十度以上高く、しかもむし暑い。十時半長野県のリンゴキャンペーン隊の来訪があった。「つがる」という品種だ。次いでメキシコの県人会々長が来訪、九〇年祭のお礼ということだった。二宮和土父子が来て中食を共にしつつ歓談。息子さんが活動している早稲田大学の課外行事の一環として私に講演してくれというのであった。帰途問研に立寄り、北欧旅行の感想を語っておいた。六時から西日本新聞労組の依頼で講演をし、七時半に終って春吉の「かがわ」で一ぱいやりながら労組幹部とこんだんした。帰宅したら九時半。ここでも北欧の旅行ばなしを盛んにもち出して語った。

8月27日（木）晴

九時に亜東協会の代表が交代したとのことであいさつの来訪。農政審議会の専門委員ら来県で表敬訪問をうける。九時半朝の放送の録音をして一時間後に県庁出発。まず行橋市で行われている市長会（酪農会館）で来賓としてあいさつ。あと豊前市岩屋地区鳥井畑公民館での対話集会に出席した。婦人林研グループが一五人集った。林業振興が主要テーマとなったが、婦人もその役割を担おうと努力している様子が伝わって来た。山菜をごちそうになり、五時半に辞し、筑豊ハイツに向う。田川福祉事務所長らが来ていて夕食を共にしながら生活保護適正化努力をねぎらった次第。ここに一泊の日程となる。

8月28日（金）晴

筑豊ハイツに泊っていたら組合の会議があって二カ所あいさつに飛入ることになった。十一時、九工大情報工学部開校記念式典と祝賀会が始まった。文部次官高石、それに劔木、麻生など中央の来賓も少くなかった。のがみ会館での祝賀パーティを早目に退出。一たん帰庁し、いろいろ執務を消化したあと、午後七時からの、県議木原氏の葬儀（通夜）に出席した。五五の若さだがガン死のようだ。帰宅は九時近かった。今日も時間一ぱいの活動で疲れた。自分の時間がない。千代町の家を売ってくれという話が出ているという。消極的ではないが積極的な反応も示しかねる。情報工学部の発足は飯塚に刺戟となろうが、功をあせてはいけない。温く育てることが先決だろう。

8月29日（土）晴

むし暑い日がつづく。八時半県庁玄関で九州青年の船出発式（鹿児島から出航）。小倉にとび十時から商工会館で県民大学の講義。早めに切上げて八幡西区での木原氏葬儀に参加。また小倉に返して北九地評役員と真鶴会館で中食会をしながら懇談。午後五時から福岡の料亭悠鳳で鞍手共立病院西原院長ほか約二〇人で夕食をしながら懇談。共産党の小沢、高氏らが仲介、みゆきも列席し二時間医療を中心にあれこれ意見や注文が出た。選挙では田中健蔵氏に反対の立場を貫いたという。精神病、老人病などに取組んでいる病院の人々なので、現

在の深刻な医療問題を感じとれた。今日は北九地評及び共立病院でいい勉強になった。

8月30日(日)晴

すごくむし暑い。明早朝台風が長崎五島にやってくるらしい。宿題になっていた手紙や原稿書きが終ったあと、北欧旅行の日記をメモによりながら書いた。できるだけ進めたつもりだが、今日は残っていた五日分を一気に終わることができた。できるだけメモしたつもりだが記憶がメモについていけないことすらある。地名などなかなか覚えにくい。記憶に不鮮明なところが多々あった。まずは記録にまとめたのでやれやれである。午後五時半迎え車が来てニューオータニで開かれるスターカップチャリティプロ・アマゴルフ大会前夜祭が行われ、知事あいさつをした。千代の富士、北勝海両横綱もきていたが芸能界、プロゴルフ界の人はこちらが知らぬので残念なことだ。上杉昌也氏には御礼をのべておいた。

8月31日(月)晴

台風一二号が夜半の一時頃から四時頃まで吹き荒れ、一寸風害を残していったらしい。私はよくねむっていたらしく、風の気配、またその予報は知っていたものの、そんなにひどかったとは知らず、新聞をみたり、登庁してやっと大要を知った次第。大塚商工部長辞表、黒木病院のこと、福岡女子大陳情などあり、十一時から一時まで、社会党の竹村書記長と小田氏と中食しながら話合う。秘書室を強化して知事公室にせよとの注文が本題であった。一時半九大新聞の学生がインタビューに来訪。各高校の受験生を誘う本を出すについての原稿にするらしい。世の中もかわったものだ。夜は博多弥生で畠中県議、林県議、近藤栄次郎氏らとマージャンになる。

9月予記

九月は目白押しに日程がつまっているらしい。その間に上京もある。全国知事会そして九月議会の準備と本会議だ。ここでは副知事や教員委員の人事に加えて県庁跡地につき利用方針を決定して県民世論なり議会特別委員会に問うべく執行部がイニシアティブをとるべくせまられるだろう。地価は高騰しているし、福岡博やとびうめ国体という大イベントが近まり、論議にこれ以上日数をつかえない情勢にもなっている。それに政治的思惑がからまってくる。私は今年中にそうした論潮が出つくし、県執行部の態度表明がなされざるをえない状況になっているものと思っているが、九月議会の討論がそのための大きな引きがねになるに相違ないと思っている。人事と並んでこの問題が一つの山場を迎える。

9月1日(火)晴

庁議に先立ち商工部長、人事課長ら人事異動の発令式を行った。定例記者会見も昨朝の台風一二号の被害のほかとくになし。十一時から九月九日救急の日に関する広報としてRKBス

タジオでの録画。二時から二時間、四つの工業試験場の研究員たちとの対話。試験場の改善への踏切りがテーマだった。県評事務局長、議長の今日からの交代であいさつ来訪。あと五時半から「小りん」でごくろう懇親会。県側は出納長、秘書室長、福原が出席。議長（白石→坂本）事務局長（岩崎→松田）、次長末原であった。この会を途中で切り上げ、天神てら岡での、奥田幸夫人を囲む会に出席。ここは五〇人ほど集っていた。お布施事件「忌明け」の会である。

9月2日（水）晴

九月に入ると急に朝夕秋らしくなった。同対問題レク、朝鮮総連からの指紋押捺をふくむ法改正反対要請、勤労青少年福祉推進員表彰、そして被表彰者と中食しながら懇談。そのあと建築都市部から県営住宅の家賃滞納と建替問題の実情について報告をうけ、折尾高校アーチェリー全国優勝の報告に女子選手四人を中心とした一行の来訪があった。三時半から久留米地場産センターで市長ら助役その他による久留米市がかかえる当面の諸問題について報告をうけた後、問題の現地を視察してまわり、五時半からセントラーザで、市の議長、商工会頭、県議（中村、原口、宮崎、鳥越）、それに同行の池田部長その他県職員で夕食懇談を行う。七時に終り、明日の日程の都合上、柳川にとびお花松濤館に泊る。

9月3日（木）晴

お花松濤館を十時すぎ出発でゆっつりの日程だった。有明水産試験場で作業服に着替え、浜辺に出て巡視船ありあけに乗り、海底陥没の現地視察。快晴で照りつけられた。大川柳川両市長、七県議その他随行する人多く、RKB テレビが県政サロン録画ロケをするなどかなり大規模になった。沖内の監測塔にのぼりここで中食。一三〇分の視察だった。一時に柳川千拓の陥没地の視察に切りかえ、二時から有明水試で有明海区研究連合会委員の青年たちを対象に（二三人）対話集会、これが二時間。終ってこの五月竣工したばかりの三橋地区にある有明水産会館に行き、漁協幹部（連合会長江上氏）から陳情をうけ、五時ごろ帰福の途につく。海の中は大した行動ではないのに、波と日照のせいかわれを覚えた。七時少し前帰宅。

9月4日（金）晴

サマーインを日程に入れられずにいたが今日それにあてた。場所も遠くにせず山ノ上ホテル。午前十時から夕方五時まで。朝のうちは清山さんと呼んで技術立県の進め方を討議し午後は野村総研の上野氏から東京極集中とこれからの地方経営ということで話してもらい、五時から七時頃まで夕食を共にしつつ、意見を交換した。清山氏との話では今後学官の交流の場をもちつづけようということになった。上野氏は経済の動きをグローバルにとらえ、二十一世紀へのプランもいっているような方向を是としながらも、西の方がとくにひどく落込んでいる点の指摘が印象的だった。

9 月 5 日 (土) 曇

十時から二時間、そして中食と「職員との対話」にあてた。各部から補佐、係長クラス二人を規準に集め秘書室の羽根参事が司会した。テーマは「職場の活性化」でどんどん意見を出してもらった。こういう試み自体が活性化につながるようだ。みんな思っていることがどんどんいえるような職場にすることが、中でも一番大切なことだと思う。又、自分のしていることに自覚をもち意義を感じることだろう。職員が十分休養時間をもつことも大事だろう。一時半ライオンズホテルでの電機労連九州地連であいさつ、あと帰宅。かなの練習にあてる。

9 月 6 日 (日) 曇一時雨

ニシキおしめの多川博社長が茶室を造営したので一度奥さんと見に来いということだったのが今日実現した。京都から職人を呼び材料を寄せての本式的な茶室。表千家だそう。十一時すぎから二時すぎまで、中食を含めてすっかりごちそうになった。永田室長も同席。多川さん宅に行く前に済生会病院に山本義隆県議を見舞い、そのあとは原鶴温泉泰泉閣での全金福岡地本定期大会に挨拶に行った。帰宅したら五時半。夜は宿題になっている依頼条幅の揮毫にあてた。多川氏には県庁跡地とプロ野球について頼んでおいた。

9 月 7 日 (月) 晴

朝夕肌心地よい頃となった。夜の虫の音は鈴虫、こおろぎともによいが、昨夜もよくねむれなかった。こんな状態だと健康に自信がもてなくなってくる。原因がわからない。今日は午後の解同県連の対県交渉が総務庁の啓発指針を県が市町村に通達したことをめぐり回収するしないで大いにもめ予定時間をこえてしまった。結局は回収できないということで決着したが不信を増幅させたことになる。四時からフクニチ新聞の取材があり、六時から浄水茶寮で岩崎隆次郎氏と二人で懐石料理をつつきながら歓談した。県評事務局長をやめた九月以降ひまな毎日がつついている模様だが、こんな時こそいい知恵が出そうだ。

9 月 8 日 (火) 晴

定例の庁議・記者会見。このあとハノイから経済代表団の来訪があった。久留米のタオル工場を視察するという。中食をはさんでグランドホテルで信用金庫代表(一五金庫)との懇談会あり。一時半、KKR で交通事故をなくす県民運動本部総会があり本部長としてあいさつをした。二時半、九月県議会提出の補正予算などの説明会があった。三三〇億円という大型補正である。決裁などすませたあと、六時半発の JAL で上京した。連絡がとれていて児嶋正博氏と羽田一ふくおか会館の途次よもやまばなしをし、会館でビール一ぱい分話してお別れした。福岡東京ともに蒸し暑い。空はずでに秋、月も十六夜といい状況なのだが。ふくおか会館泊。

9月9日（水）晴

八時に朝食。九時から日体協理事会の進め方レクをうけ、十時首相官邸で知事会。午前中の総理との質疑のみ出席、あとは大塚副知事にゆだね、私は二時からの日体協理事会に列席。六五年国体の福岡県開催決定の伝達をうけ、あと記者会見に臨む。このあと県選出国會議員に報告お礼のあいさつまわりをし、五時半からの都白金迎賓館における知事会レセプションに出席。一時間ばかり居てふくおか会館に戻り、中央省庁で福岡県勤務者OBとの懇親会に出席した。内ノ間、松田、赤保谷、清水、伊藤、古賀、佃田の各氏の顔がみられた。

9月10日（木）曇

十時のANAで帰福。キングで中食して平常の執務体制につく。あちこち挨拶の来訪があった。夕方グラフふくおか取材の件で、八月から来日中のアメリカ人教師ポート氏（小倉高校）と県庁勤務のウエストさん相手の対談した。九月県議会にそなえて、今日は二時から共産党、六時から社会党（グランドホテル）を招いての県政懇を行った。九月議会の補正予算三億一千万円は大きいものだが、条例で準備しようとしている給与振込の中での組合費引去り条例案については野党三派の根強い反対があるのでどうすればよいか。今後なお根まわしの努力はするとしても、九月議会の中で一番やっかいな問題になりそうである。農政連が強硬反対、中でも大石、伊豆の両県議だ。

9月11日（金）曇後雨

八時半から国際センターで開かれた実践倫理宏正会（上広栄治氏）に出てあいさつしたが、代議士の太田、山崎に田中健蔵氏も来ていた。ひるは県政懇（県民クラブ）、午後三時半からの博物館建設推進九州会議運営委員会に出席し、当面の運動方針の提案をきいた。あとは庁内で決裁その他、レク関係の仕事がつづいた。博物館運動は今年こそ前進の一步をふみ出すべく、県も予算措置をとっているのだから、成果が上がるよう切望している。県政懇では、組合費チェックオフ条例をどうするかが問題になった。提案するしかないが、執行部原案ではうまくいかないだろうということだ。

9月12日（土）雨

五^{ママ}カ山ダム建設につき協力を求めるため佐賀県知事、東脊振村長、那珂川町長を歴訪した。福岡市助役、水道企業団長も同行。基本的には協力ではあるが、地元の条件闘争なるものがこれから起こるだろうという。雨の中車でまわり、帰福してサンパレスで行われる交通安全県民大会に参加（車中でサンドウィッチ中食）午後一時からである。表彰式とアトラクションが主内容。三時半から農政連代表との県政懇グランドホテル。農業予算を要求されたし、職員組合の組合費天引には強い反撥が示され、九月議会の前途は容易でないことを思わせた。夜自由時間がとれたので手紙をかいた。

9月13日(日)曇

久しぶりの休みのような気がする。朝はおそく起き、手紙を書き、高野切(第一種)をどんどん書いた。藤江君が数日前から隣の家起居しているが、不定期に食事したり風呂に入ったりしているようだ。職業訓練校の正規職員となったので独立して暮らす構えをとっているが、時間があれば今日など庭木の手入れなどしてくれている。午後三時頃から森祐行氏を呼んでマージャンをして時間をつぶした。コオロギ鈴虫がさかんに鳴いて空気もひんやりしてきた。

9月14日(月)晴

九時から庁議、あと記者会見。双方九月補正が話題になった。三二〇億円の緊急経済対策で国からおりて来たものと県単独をふくむ。筑後市梨部会が今秋天皇杯を賭けたいとあいさつ。十一時から代表者会議、一時半監督者研修講話、二時、自主研グループ奨励金交付、三時半グランドホテルで公明党対象の県政懇。五時半、共産党県議団が総務庁の同和啓発指揮につき、県が解放同盟の要求に沿って批判見解を出そうとしていると抗議してきて知事が受けて立った。七時から三光園で近藤、平井、林(副議長)ら集っての懇親会。林出納長、永田も出席。

9月15日(火)晴

十時に大濠町に住む和智昂氏(一〇〇歳元弁護士、西部ガス社長の父)に敬老祝賀に行く。福岡市長と共に。全く元気で七〇代としか思えぬ健康ぶり。奥さんも八五歳でこれ又元気。帰宅して身辺のことに時間を費す。有田の中西氏が長男を連れて来訪。一時間ほど雑談したが、その前に電話連絡で県議関和虎氏の奥さんが亡くなってお通夜に行くことになっていた。中西氏とは五時半すぎに別れた。久山町の関宅に林出納長、林副議長も来ていて帰途レストランに寄って夕食しながら歓談した。藤江君が平戸に魚釣りに行ったとして、幾らか収穫してきていた。

9月16日(水)晴

一ヵ月ぶりの検診、依然糖に要注意。電気ホールでの農用地流動化推進大会に出席し、あとリーセントホテルに移動。朝鮮総連幹部と中食をしながら、私学助成についての要請をきく。一時半から同所で第四五回国体につき準備会常任委員会、総会、実行委員会設立総会と三つの会議を消化していった。私が議長席で二時間余のおつとめだった。四時半県庁で自治体病院への助成についての陳情をうけた。五時半てら岡で大塚前商工部長の送別会。六時半から山ノ上ホテルで福教協役員との話し合いに入った。実損回復が主要話題だった。帰宅した後、金日成主席への親書を書いた。栗浦機関長釈放の件。

9月17日（木）晴

九時半登庁して事務処理がつづき、中食後、関和虎夫人の告別式に久山町にゆく。自宅葬だ。今日は岸信介元首相の自民党葬もあった。三時半、広報に関する打合わせ。六時から博多弥生で自民住吉グループ（社長、浜中、三木）、それに林副議長、助信、こちらからは出納長、永田室長が加わって懇親会をした。九月議会乗り切りのための腹合わせとみてよい。特別の話題はないが、三役人事と給振条例の取扱いが焦点になっていることはみんな承知のところである。出納長の要請で大塚副知事にもっと動いてもらおうということになった。動きが鈍いとのこと。

9月18日（金）晴

文字通り秋晴、肌で感ずることができた。十時、国際センターで県警のカラーガード発隊式に出席、新しい女子警官の姿を見た。十一時、済生会大牟田永田病院長、近藤常務来訪、秋の学会宮妃来牟につき報告があった。一時、一昨日夜書いた金日成主席への親書、栗浦夫人の嘆願書を藤田一枝県議に渡し、土井たか子社党委員長に託す出会いを行った。二時、ガーデンパレスで、国体県民運動推進協議会第一回理事会があり、このあと四時発のTDAで松山に飛ぶ。金丸自民党副総裁を囲む西瀬戸内知事会に出席のため。全日空ホテルに到着。六時半から愛媛県知事招宴があった。

9月19日（土）晴

十時から愛媛県民文化会館で西瀬戸地域民活懇談会に出席した。金丸副総理の招請による会議で、広島、山口、福岡、大分、宮崎、高知の七県から地域開発に民活を導入する場合の問題点を出し合い金丸氏の意見もきいた。氏は民活法担当大臣ということだ。各県の商工団体からも出席があつて、それぞれ意見をのべた。政府の関係各省庁からも出席者があつた。十二時から一時まで、中食懇親会となる。あらかじめ連絡してあつて、一時から四時半ごろまで稲生晴氏宅に行った。二十数年ぶりの訪問であつた。五時すぎのTDAで帰福した。快晴で、空の旅もよかつたが、あつという間の着陸である。

9月20日（日）晴

県民体育大会のため、九時半に東公園市民体育館に行き、行事をすませたあと、大手門会館での全国一般労組の大会に出てあいさつ。十一時から牡丹閣で給与振込から組合費チェックオフする条例を九月議会にどう出すかについて三役及び社会党林、助信両県議及び永田室長をまじえ、職員課長、財政課長らと延々の協議した。なかなかこれぞといえる案がでなかつた。この問題は野党三派に反対意見が強く、六月議会で提案する約束を知事がしたという経緯があるので困難をきわめている。七時、県庁に共産党の堀井委員長、高県議らに会い政府の啓発指針に対する県の見解に対する苦情をきいた。九時半帰宅。

9 月 21 日 (月) 晴

北九州市内の職業訓練施設四ヶ所を視察した。①北九州職業訓練短期大学校 (雇用促進事業団営、小倉南区) ②福岡身体障害者職業訓練校 (国立県営、若松区) ③八幡技能開発センター (雇用促進事業団立、八幡西区) ④戸畑高等技術専門校 (県立、戸畑区)。午後四時帰庁して全国発明婦人協会々長三木睦子さんの表敬訪問をうけた。中牟田夫人も同行であった。四時半から庁内の地域経済総合対策推進会議 (第二回) が開かれた。明日からの県議会本会議にそなえての日程であった。三木夫人にはみゆきも同行し、浄水茶寮までつき合った。

9 月 22 日 (火) 晴

九州青年の船で帰国した代表者達が帰国報告にやって来た。共産党の国会議員団調査が国鉄労働者問題につき要請をもって来訪した。十一時からの本会議前に故木原県議の死亡者叙勲式。本会議では社会党の豊島県議が追悼演説を行った。大阪の伊藤所長がやってきて、プロ野球南海の買収可能性について報告があり、福銀など財界筋にわたりをつけることになった。一三時から県政サロン録画取りで RKB スタジオに。今回は十月分で国体スタートについてであった。本会議の提案理由説明の中に給振中組合費引去りはふれないままパス。

9 月 23 日 (水) 晴

八時すぎにうちを出て柳川へ。檀一雄の文学碑除幕式が十時から行われたのだ。長男太郎氏や長女ふみさんが来訪していたし、建立委員会々長が元市長の古賀杉夫氏だった。川下りの途中の人達も船内から何隻にもわかれて式の進行を見守り、オカの参加者も加えて市長ほか三百人にふくれ上がっていただろう。十二時頃柳川を出発。車中でうなぎ弁当を食べ、九電ホールで開かれている平山流五〇周年記念吟剣詩舞大会にとびこんであいさつし、あと実演を一時間ほど見て引きあげ、三時半帰宅したあと、マージャンを楽しんだ。

9 月 24 日 (木) 曇

夜半からの雨は残って小雨。十時から県職労幹部と三〇分にわたって当面する諸問題について懇談した。十一時からサントリー社からの来訪をうけ、このあとスターカップゴルフ益金の社会福祉施設への分配式があり、上杉昌也、吉本弘次両氏と波多野で中食した。一時から、次の国体後に予定される身障者スポーツ大会の主催団体長会議、二時からは監査委員と知事との懇談会があり、磯矢、井上勝、高橋義の三氏が知事追及を行った。三時半、十月の朝の放送録音。五時四〇分の JAL で上京。八時からのふくおか会館での夕食会に直美を呼び、食後は夜の六本木の人出見物に出かけた。東京の夜も小雨になってきた。

9 月 25 日 (金) 雨後晴

東京は夜半来雨だったが夕方から晴れた。九時半、宮中に天皇陛下お見舞の記帳に出かけ

た。手術後順調な回復だが、十月中旬予定の園遊会は中止したと新聞に出ていた。十時から建設、農水の省庁を緊急経済対策補正予算の御礼挨拶にまわる。午後一時半、日産自動車本社に遠藤副社長を訪問、荻田工場での雇用、営業面での努力に謝意表明に行き、三時四五分のANAで帰福した。直ちにグランドホテルで開かれている白石一郎氏直木賞受賞祝賀会に出席、祝辞をのべた。作品海狼伝により九七回直木賞とのこと。今回は東京往復の機内でそのダイジェスト記事をオール読物でひたすら読み通して祝辞準備をしたのであった。

9月26日（土）晴

原鶴温泉の泰泉閣で開かれた福岡地区労の三六回定期大会に出席してあいさつ。中食もごちそうになって帰福。二時から須崎公園で国体開催決定の記念パレード出発式、のち天神パレードに参加した。徐々に国体開催も市民の間に意識されるようになってきたと思われる。あと、岩崎隆次郎氏と花の木（中洲）で夕食をとり、車で同行の形で大野城市総合福祉センターで開かれる筑紫県民の会女性の知事と語る集いに出席あいさつ。あと岩崎氏が知事選などをふくめた講演をする形になっていて、私はさきに引きあげた。この地区の女たちは教師を中心に熱心な住民運動を行う特徴がある。

9月27日（日）晴

ぐっと冷え込んで十月中旬を思わせる。長袖シャツとジャケットを着込んだ。ひるま日曜休日らしく、机に向って高野切を書いたり茶をのんだりでゆったりできた。昨夜藤江君が魚釣りから帰った獲物をごちそうになり今日の中食もそれ。でも昨夜の新鮮さは今日は失われていることがはっきりわかる程、昨夜はおいしかった。六時すぎ永田秘書室長が迎えに来て登庁した。同和問題について県の対応に反撥し、知事に対処を求め、東京から共産党の上田副委員長が会見を求めてきたのである。県委員会県議も加わり八時半頃まで彼等の意見をきいた。が対処の方法が困難なのだ。

9月28日（月）晴

代表質問初日と予定されていたが、組合費を銀行振込通知のための条例案を代表者会議に提案、その後の本会議で提案理由説明を行ったところで休憩に入り、代表質問は明日以降にずれ込むことになった。今日は審議できないとの反撥のためである。十時に創価学会吉橋支部長のあいさつ来訪があり、このあと玄関前で国体後の身障者スポーツ全国大会旗掲揚式があった。その他の時間は答弁資料検討や決裁などにつかわれた。今日は大変だろうとの予測はあったが、審議に入らぬことになり、かえって精神的負担が明日以降になり楽だった。それでも帰宅は七時になった。何やかや仕事は次から次へとあるものだ。労働部長が政府の雇用増大策概要を説明してくれた。

9月29日(火)晴

代表質問が十一時十分から始った。午前は自民の板橋、午後は社会の村瀬と農連の大石だった。四時ごろには終り一休みしたあと、西鉄労組大会が吉井で開かれ、宿舎が原鶴温泉にとっており、六時半、そこに行って五つの懇親会場をぐるぐるまわりであいさつしてまわった。林武彦副議長が往復車中すべて同行であった。大会々場の公式の場であいさつするよりも、懇親会場で浴衣姿のみんなと膝を交えるようにしてあいさつする方がみんなに親しみを感じさせたようだ。今日の議会では板橋、大石ともにチェックオフの問題をとりあげ喰い下った。板橋は教育委とも相てらし合いしつつ、国体のスリム、優勝至上主義批判に文句をつけてきた。

9月30日(水)曇

今日もむし暑かった。降りそうで降らない。八時半から勉強会。十時半ブラジルのゲートボール協会長の来訪があって十一時十分から代表質問の二日目。県民クラブの牛島、公明党の大内、共産党の瀬川の三人。昨夜の寝不足がこたえている。午後六時からニューオータニで中国総領事館主催の革命三八周年祝賀会があった。県と市から祝辞をのべた。牛島氏の質問にこたえて、県庁舎跡地については十二月までに基本構想をえたいと答弁したことが夕刊に報道された。これには売却論否定についてもふれられている。こうして質問にこたえる形で跡地論は一步一步方針が固まっていくことになるが、これは戦術としてもうまくいっていることになるわけだ。

10月予記

九月議会は緊急経済対策関連の予算の補正三一億というかってない追加を審議すること、副知事が一人一年間空白になっていたのを埋めることに世間の注目が向いていたが、フタをあけてみると、給与条例の改正すなわち、給与振込の際、引去り額を銀行に通知する事務処理を行うわけだが、その引去り根拠項目を条例で明示する必要があるといい出して六月議会の時の答弁で九月議会の際には条例改正でそれをすると言っていたので、条例を出せといい、但し組合費を引去り通知すべきでないと、野党がいい出して、それが唯一論点となり、人事案件のなかで教育委員候補で痛み合いする形になって結着するという思わざる波瀾があって幕。しぶとい野党ではある。

10月1日(木)晴

十月一日。昨年をみると今日も十一時までは全く同じ。十一時十分から一般質問に入る。午前、午後の部各党六人を波瀾なくすませることができた。終ったのは三時半ごろ。五時になって松本英一氏宅に見舞に行く。室長も同行。英一氏が在宅中に足をすべらせて骨折とか。私と同年というから、ひとごとではないはず。平素の歩の運びは余程用心しなければならない

いと教えられた次第。五時半、九電ビル五階に九州文化協会に森山氏を訪い、六時になって、電ちかでの「白波会」に顔を出しあいさつして帰宅。白波会では、今久ル米の元第三分校跡に石碑が建設されつつあり、今月末に除幕式があることが話題になっている。森山も私もこれに言及。

10月2日（金）晴

一般質問の二日目。若狭、西原、岩佐、下川、横田、山本の六人で、このうち、下川氏が心配されたが、同和のことにてはとくになし。山本辰雄氏は県庁舎跡地について売却論をひっさげて大ににくいさが出てきた。県勢浮揚のため県自体が使うとか、自治体の財政窮乏を救済するとかに使うべきだというのである。そして使い道として売却論を単に否定するのではなく、世論調査をしたり、市町村長の意見をきいたりすべきだというのである。議会も最終コースに入り、教育委員と副知事選任をめぐる関連の人事異動につき副知事、出納長与党の皆さんが議会終了後野党根まわしで奔走中。

10月3日（土）晴

一〇時から社会福祉会館で高齢者総合相談センターの開所式があった。シルバー一〇番と俗称されることになる。十一時から九電体育館で民生委員、児童委員制度創設七〇周年記念行事が行われた。表彰式の部分に出席した。終って時間があつたので、協会の中山君と国際ホールで中食し、引越後の渡辺通り事務所にはじめて訪問した。二時、国際ホールで九大女子卒業生の会（松の実会）総会があり、あいさつ後空港にとび、浩の宮の宮崎ゆき出発をTDA機に見送り、五時から大手門会館での社会問題研究所二五周年、月報三〇〇号記念式典に出席した。夜は河野氏を呼んで家庭マージャンを深夜まで楽しんだ。

10月4日（日）晴

十時半頃に起き出て、身辺整理に一日を費した。久しぶりの休日である。窓を開くと金木犀の香がプーンとくる。鈴虫はもう鳴声も弱々しくなっている。いつまでもつだらうか。色紙の注文については準備できたが、軸と扁額については後日のことにしようかと思う。高野切をこの頃意地のごとく暇を見て書いているのだが、なかなか気に入ったように書けない。かな文字だからなめらかなスピードが必要なんだが、そこに難所がある。限度だらうか。この数日秋空のさわやかな天気がつづいている。政界は今、中曽根首相の後の自民総裁選で、竹下、安倍、宮沢の三人がしのぎを削っているところだ。

10月5日（月）曇

九月議会の一般質問の最後の日。今日もまたおかげで波瀾なく日程が消化できた。舞台裏では、県庁舎跡地、人事、給与条例などをめぐって毎日盛んに駈引がおこなわれているのだが、

表面は静かといえる。朝のうち、本会議がはじまる前、小石原村から村長ほか主だった人達二十人余が来訪。むらおこしキャンペーンをしているからと挨拶にみえた。民陶関係で村に客を呼ぶことに力を入れてくれればいいと私の方から注文した。小石原を訪れる人は年間三五万人と村長はいつていた。月三万、一日千人ということがいえる。帰路塩原の公立共済病院に前県評議長白石健次郎氏を見舞う。糖尿のための保養とのこと。

10月6日(火) 晴

十一時に民商の連合である商工団体連合会の役員八人と庁議室で懇談し、中食を共にした。一時半に中小企業情報センターの役員が来訪、業務概要の説明をうけた。私がこのセンターの存在を問題にしていることを聞きつけたからであろうか。三時から来週十四日の横浜での三県知事パネル会議における予想発言につき説明をうけた。当日の様子はおおまかにつかむことができた。ところで今日は県議会常任委員会総務常任で給与条例審議に入ったとたん「審議を続けえない」として午後早々にストップ。副知事など人事については各派に通告接渉。

10月7日(水) 薄曇

武漢総工会代表が県評のまねきで来日、九時二〇分来訪。あとすぐ野村証券支店長が県の中国交流につき意見書をもってやって来た。十時二〇分日赤福岡病院の江田婦長がネパールに派遣されることになったということであいさつに来訪。中食は社会党の竹村、小田との懇談の形でおこなう。一時半から農政部長らが、県の農業問題の現状につき説明の時間にあてた。このあと議会の総務常任委員会だけが空転しているので私は待機の形で時間をすごしたが再開の見込み立たず、月見のダンゴを食べ、七時少し前に帰宅する。組合費を給与振込みの中でどう扱うかの条例につき明確な説明ができない限り審議できないとして総務常任委は空転しているのだが、時間をかけるしかない。

10月8日(木) 晴

県議会のころび方待ちということでレクと称する時間が三件。午後には議会の転がし方のため、議会棟に詰めた。給与条令の改正条例の落ちを見定めるが大変で、結局は、今議会では否決、十二月に再考するとの着地が見えて動き出し、残されていた総務委員会が開かれ、四時三五分からの知事保留は中島茂嗣氏の国体に関する質問で終着となった。給与条例改正だけが否決で、あとは明日の本会議でということになり会期一日延長でどうやら九月議会も終りが見えてきた。野党各派も組合費天引き問題でこれ以上今攻めてもと思ったのだろう。

10月9日（金）晴

朝鮮の女性たちの訪問をうけ（今吉さんら、連帯する婦人グループ）又、安枝氏が韓国青年会議所代表団を連れて来訪。今日は朝鮮ばやり。県庁跡地の初利用催しとして交通フェアの開幕式が十時から。そして県議会は今日が最終日。十二時に代表者会議で人事提案、午後は三時前にすべて議了という運び。問題の給与条例改正案は否決、その他はすべて可決。人事で林副知事、そしてその後任として池田氏が出納長として承認された。記者会見、そして庁議。新三役体制がスタートしたわけだ。夜は金剛園で社会党一年生議員と懇親会。

10月10日（土）晴

二日連休だという。ふつうならどこかに出かけるのだが、この身分。どうすることもできず、いつもの余暇のように、高野切を書いたり頼まれた揮毫にあてた。日赤今津病院ともう一つ「経営理念」というもうもの。なかなか仕上げにならず紙ばかり使っていら立った。夕方食後、河野氏を呼んでマージャンを楽しんだ。寮歌祭が近まったとして、依頼原稿があり、それも消化した。遊び又原稿を書き揮毫して一日暮れた。それでもこうした余暇がなかったら、できないこともあるものなのだ。

10月11日（日）一時雨

朝からかなり雨が降っていたが、沈む夕日の光が部屋に美しくさし込むほどに、夕方は晴れ間も見られた。一日中筆墨の余暇利用で、一昨日に与えられた揮毫の宿題を消化した。色紙二〇枚、扁額と軸物四枚その他。機械で磨った墨が多すぎたので、書き溜めも何枚かしておいた。半袖では涼しすぎるこの頃である。夕方、林氏が副知事に就任の御礼とあって奥さんと一緒にやって来たが、まだ行くところがあるのでということで、ほんの二、三分しか言葉を交わさなかった。二日連休という珍しい余暇が有難かった。

10月12日（月）晴

八時から東急ホテルで県体協の役員、教育長、県三役の朝食会があり、一応義理は済んだものの嫌な会であった。来る国体をスリムにするかどうか核。十時から油須原線対策協議会役員の陳情があり、十二時半から岩田屋前で「日本農業を守る三〇〇〇万人署名」運動に参加し、一時すぎ産炭地域行政懇談会に出席してあいさつ。三時二〇分大手門会館での高齢協総会に出て少々長いあいさつを行った。四時から、山村氏の仲介で東和映画の「ケニー」の試写会に出た。両足のないケニー君（ピッツバーグ市）が姉弟よくえがかれていて、ラストシーンが感激的であった。六時から老松で林副知事、池田出納長の就任祝賀三役会があった。

10 月 13 日 (火) 晴

九時前人事委員会勸告受領式があった。一・四%に達せぬ賃上げ、週休二日(四週六日)制への移行が含まれている。このあと定例の庁議、記者会見、中食をはさんで三役会議。テーマは県庁跡地と旧知事公舎。跡地利用につき十二月までに基本構想を出すとしたことに付、自民党筋ではまだごねる空気があり、スムーズに運ばないのでどうするかということだ。知事公舎は利用しやすいように使用規則を変えることで議会の総務常任委に打診すべく、原案が上ってきてこれは OK。夕方まで筑豊の三市長とのパネル討議及び、北海道、神奈川県知事との討論についてのレクがあった。今日は五時半に帰宅できた。

10 月 14 日 (水) 晴

十時二〇分発の JAL で横浜へ。三時半から横浜文化体育館で第二二回自治研の三知事パネルディスクがあった。二時間但し北海道知事は欠席でテレビ参加になった。地方の活性化がテーマで日下部女史が司会。五〇〇〇人の自治研参加者がきき手で結果は大成功だったという。県からも秘書室、企画、広報の数人が随行した。シナリオどおりではないにせよはじめての試みが首尾よくいったわけ。中食は文化体育館向い側の翠園で中華料理をたべたが、色紙に書かされた。夜は六時から自治会館で自治労政治連盟のレセプション。ここにしばらくいたあと、割烹柳で神奈川県側の招宴に。レラックスの一時をすごした。泊りは迎賓館(ホテル)。ここで県から出てきた者を集め、コーヒーのみながらのミーティング反省会を行った。意義深い一日だった。

10 月 15 日 (木) 雨

台風一九号が近づいている。横浜は雨で福岡は曇だった。迎賓館を九時に出発し、神奈川工業試験場、そして自治総合研究センターの二つを視察した。中食は後者の近くの産業貿易センターの東天紅でごちそうになった。この二つの施設では福岡県とくらべものにならぬ先進性をみせつけられて圧倒された。問題意識が違ふし、情勢の推移を受けとるセンスが違ふように感じた。ただあまり進みすぎて行政と民間施設のジレンマを感じているのではないかとすら思われた。福岡ではとてもここまで前進しえないだろう。中食をいただいて直ちに羽田に向ったが途中渋滞していた。福岡空港に着いたら六時。福岡はむし暑かった。ここもまた渋滞。夜はのんびり高野切など書く時間があった。

10 月 16 日 (金) 雨

台風十九号は四国方面に進行したらしいが、一日雨だった。アビリンピック代表団のあいさつ、SGI 海外代表の表敬交流その他で午前中あわただしく済み、一時から西日本新聞の三県知事サミットをめぐるインタビュー取材があり、このあと北九州にとび、三時半から北九地評の定期大会(まなづる)に出席挨拶。松永県議の案内により、豊国学園に野原元県議を訪

間、また陽光老人ホームも訪問した。午後六時から門司伊川公民館で選挙運動当時から約束していた対話集会を行った。六月には是非と思っていたこの集会がやっと実現したわけだ。七時半から九時半まで大里の大勝で地区労幹部らと夕食会（フグサシ）。北九州ハイツに投宿。

10月17日（土）晴

北九州ハイツを出発して九時半から鞍手町勤労者体育センターで開かれた同和教育研究大会に出席挨拶。すぐ帰庁して決裁その他庁務を消し、午後二時から電気ホールで九州山口薬業学会総会が開かれここであいさつ。三時半県立美術館に行き、まず古上野焼展を観覧。このあと、同所で開かれていた「ポーランドの子供たちの目にうつった戦争」展をみた。これは実行委方式で手づくりの子供絵画展なのである。子ども劇場の母親達が多く来ていたようだ。熱心な反戦運動の一種である。教養部の酒井女史も来ていたし、実行委員長は法学部の石川氏の夫人である。

10月18日（日）晴・曇・雨

十時半に高松宮妃を空港に出迎えた。大牟田で第四〇回済生会学会及び総会があるため、出迎えたあと、大牟田まで車を連ねて随行し、ガーデンホテルで中食を共にさせていただいた。学会は久留米でも開かれる。中食後お別れして私は八幡に飛んだ。北九州市立総合体育館で第八回世界青年平和文化祭が行われたためである。五時半からの開会に先んじ四時半に着いた。創価学会が一九八一年以来毎年（八五年は二回）開催している世界規模の青年大フェスティバルである。両政令市長ほか、お歴々がつめかけ私も池田大作氏に会いあいさつした。四〇〇〇人の出場、五〇〇〇人の観衆という。

10月19日（月）晴

十二時からの執務ということで、ゆっくりした朝だった。十二時半に県評、社共の三団体が日出生台における日米合同演習に兵員輸送のため福岡空港が使われることに対し反対表明をするよう知事への申入れがあった。一時半から住宅建設促進協の総会、次いで朝の放送打合わせ、西日本新聞社の坂井氏来訪、さらに明日の筑豊三市長らとのパネル DISC についての打合わせがあった。六時、中洲の網元で財政課職員の慰労会、つづいて春吉の壺天で町村会長の小早川氏との懇親会があった。この両店は初体験であった。前者は三役も参加、後者は永田室長が同伴した。帰宅は十時であった。日米合同演習が波紋になっている。

10月20日（火）晴

県議の安枝氏が韓国青年会議所の会頭ら役員を伴って来訪。このあと庁議、記者会見。一寸おいて十一時からニューオータニで筑後市長と共に、九州松下電器の筑后市への新立地に

ついて相手方との調印式を行った。このあと飯塚にとび、一時からのがみ会館でメディサ新薬 (株) の穂波町への進出竣工祝賀パーティに出席した。さらにつづいて同市寿会館で注目の首長サミット、筑豊地区中小企業団体連合会主催の地域振興三市長とのパネル DISC に出席した。二時半から五時半まで筑豊活性化について意見発表をしあった。九大矢田教授も参加。帰福して六時半から漁亭で土井たか子委員長ら社会党幹部の知事招宴に参加した。

10 月 21 日 (水) 晴

久しぶりで朝食抜きの糖尿検査。数値はやはりよくないとのこと。登庁して仕事をしたあと、一時に鉄建公団総裁が来訪。新幹線については博多以南両ルートの建設準備を進める旨の話題が出た。二時全解連役員、市議の藤岡氏らが来て、県の意見書につき解釈のちがいを指摘された。三時半、沖縄海邦国体への県選手の結団式が三階講堂で行われた。永倉県体協会会長ら役員も勢揃いであった。五〇〇人以上の選手が行く。帰宅は六時頃。早かったが、宿題が多く、職員研修センター門碑文書きや神奈川県知事、創価学会池田名誉会長その他への礼状五通を書いていたら午前様になってしまった。

10 月 22 日 (木) 晴

一たん登庁したあと十時からの地域フェア・イン・九州のテープカット式 (国際ホール) = 大丸八階に出席し、長崎へ。山の上にある紅葉亭で、佐賀、長崎との三県知事サミットに出席した。三時から五時までの懇親会につづき、六時から八時まで夕食こんだん会があった。三県のもつ共通課題を共同で解決したり、共同して情報を交換したり、陳情したりしようというもので、交通や通商、観光、漁業などの部門に話題が集中した。長崎県からの要望がきっかけだったが、西日本新聞がキャンペーンをはって内実の確定に導誘したかの観があった。

10 月 23 日 (金) 晴

安達氏、随員の福原、運転手の清水氏四人で長崎県企画部のはからいで、オランダ村を見学することができた。十時半から四時間かなりこまかに視察できた。大村湾という自然が心にくいまでにうまく使いこなされ、オランダ人もあちこちに活動してもってリアル性を重視した設計運営になっている。客がつづき、ますます有名なリゾートとなりつつある。帰路有田の中西氏を訪ね、仏前におまいりもしてきた。帰宅は六時少し前。快晴に恵まれ、有意義な休養日となった。

10 月 24 日 (土) 雨

県庁跡地でのふるさとフェア一開会式十時から雨の中で行われた。人出はよくないだろう。一たん県庁に出て決裁などしたあと教養部の松友会に出た。十回目という。第一会議室で五

○人ほどの出席であった。二時から大手門会館で第二九回母親大会があつて、これに出てあいさつ。先日横浜に行ったとき、司会役をつとめた日下部女史が今日は講師として講演することになっている。彼女の福祉関係の著書を二冊いただきちらちら読んだので、私のあいさつの中に日下部さんの話をとりまぜておいた。松友会でゆっくりできないのが残念であった。

10月25日（日）曇

沖縄海邦国体秋季大会が開幕。これで一巡目が終ることになる。スポーツの秋、あちこちで展開されるスポーツ。志賀島での梶栗さんたちの老壮年走ろう会に出席して三組のスタート号砲を発し、十二時半県庁前公園内で豊前地区からやってきた「ひまわり号」の人達三〇〇人に歓迎のあいさつ。そして駅前センタービルにある福岡囲碁会館での社会新報三〇〇〇号記念九州西中国トーナメント大会に顔を出した。女流棋士から将棋指導一局名ざされ一〇分ほどであっさり負けた。三時半モモチパレスで中小企業勤労者スポーツ大会があつて終了閉会式の表彰に出席し、一日暮れた。

【「超短波」（『社会新報』の記事か）の切り抜き挟み込み】

10月26日（月）雨

水巻の中央公民館で自治労県本大会があつて十二時前に出席してあいさつ。この時に私が言及した労戦統一問題について、こんど委員長になる岩田が不平をのべたそう。十二時半から遠賀町コミュニティセンターでここの婦人各種グループとの対話のつどい。この際、花田さんが田植祭のお礼ということでとれた米を白米にして贈ってくれた。四時半庁議室でブラジルからの留学生をふくむ訪日団代表に会い、答礼した。たまっていた決裁をすませた後 KKR はかたで県民生部全課長及び同和局長、次長、部長らとの懇談会が行われ、私が福祉について三〇分ほど講話した。この種課長たちとの懇談会は民生部がはじめてといえる。

10月27日（火）晴

恒例の庁議と記者会見。来年度の県予算要求につき各部に流した九五%基準が話題となった。十時半星野村々長らが県庁跡地で行うほしのフェアについてあいさつがあつた。十一時半ニューオータニで九州地区地域婦人会大会があつてあいさつした。内野梅子さんが強く私に挨拶要請をしたので時間をあけて参上したわけ。散髪をし、三時から朝の放送録音をし、決裁を消化したのち、午後六時、国際ホールでの全国県対抗アマチュアゴルフ選手権大会（明、明後日）の開会式に出席。駅弁を買って夕食の準備をし、七時三五分発の JAL で上京した。今回は家永、杉山が随行してきた。九時半ふくおか会館着。

10月28日(水)晴

九時前に東京県人会々長の斉藤武幸氏が東京事務所に来訪。跡地問題で箱物づくりの進言ということであった。十時から経団連で花村副会長、栗原小巻の二人との鼎談で県の企業誘致PRビデオ用録音録画。中食を栗原さんと共にし、事務所に帰って早大の学生サークル(二宮君たち)と合い来月予定の早大での私の講演について下うちあわせを行った。四時のANAで帰福。夕食後、県評OBの岩崎名田の二人が来訪。今後の活動の場づくりについて県の若干の支援がほしいと要請してきた。あと身辺整理で暮れた一日だった。

10月29日(木)晴

朝早く出て九時すぎ、戸畑市民会館で開かれた県職労定期大会で挨拶。特昇問題にふれての発言をしておいた。十時四五分婦人問題懇話会清山座長から「提言」をうける儀式。十一時ソロプチミスト役員の来訪をうけ、血液運搬車の日赤への献納報告をきいた。シンガポール航空支社長が来訪、来年四月から福岡間の定期便開航との報告をうけた。中食は済生会福岡病院総婦長山下さんとお別れの意味で「かね吉」でとる。糸島医師会病院につとめることになるという。一時すぎ電気ホールでの九州地方治水大会に出て挨拶。同じ集会の懇親会がニューオータニで六時から行われた。建設省河川局陣内局長も来福。来年度予算獲得で意思統一が行われた。

10月30日(金)曇後雨

九時四五分RKBの九州村大バザールの開会式(県庁跡地)であった。これは数日つづく。あと登庁して事務をさばいたあと、八女商工会議所での対話のつどいに出席。中食をふくめて二時間半、八女、筑後の商工会系のメンバーと労働問題福祉対策を話し合う会であった。あと、車をとばして小石原コミュニティセンターに行く。県内八村のサミットが実行委方式で行われ、西日本新聞社にいた森山が自分の出身のこの村での催にコーディネーターとして参加した。私は最後だけ出てあいさつ。あと京屋旅館での懇親会に出た。森山の弟さんの経営する林材置物の店をみせてもらってびっくりした。八時帰宅。

10月31日(土)曇

十時半に韓国李大使が訪問。十一時に全国青年大会出場者の結団式が講堂で行われた。中食は久しぶりに庁外に出た。一時日韓弁護士協議会の大会が信販会館で行われ、李大使とともに出席し挨拶した。大阪から平木純二郎氏が来ていて、きくと、この大会の分科会報告を担当するという。二時半海の中道ホテルに飛んで心理リハビリ大会に出席あいさつ。成瀬悟策氏を中心とした全国大会だった。三時二〇分女子大グラウンドでの記者クラブとのソフトボール大会、そのあとの後山での懇親会に顔出した。五時半、全日空ホテルで第三分校同窓会があつて出席。時間をとって同ホテルレストランホールで、平木、土井、仙吉(連絡をと

り）とコーヒで一時雑談した。

11月予記

日記を二冊書いている。ほとんど毎日の行動ととっさに思ったことを書きまくっている。深く考えて書けばよいだろうが、意地で書いており、自分で課した課題にこたえているにすぎないが、時間をかけないから、ある面ではいい加減なものということになっている。十一月は新しい誕生日を迎えて年が一つ加算される。昨年のこのページを上欄でみて、ほとんど同じなのに驚く。歯のガタガタまでそのままである。でも一歳加えたとの重圧感はある。よくねむれないのが一番の気がかりだ。直美まで同じなんだから困ったものだ。高齢化問題がわがこと以上に気になるこのごろだ。

11月1日（日）曇後小雨

市美術館横の空地で青少年のつどいがあり、パレードの後の表彰式に出席した。日本庭園で中食の弁当を食べたあと、大博多ホールで開かれた嶺旭蝶演暦七〇年記念の筑前琵琶演奏会に観賞に行った。原田観峯さんも来ていた。一時間余いて大手門会館での県中立労連大会に出て挨拶。今月二十日全民労連への大同統一のため、総評・中立各組合はそれへの統一が重要議題となっている。午後三時帰宅。昨日からみゆきが相生、姫路に行っている為ひとり。秘書室の内田補佐が夕食弁当を差入れてくれた。高野切を書き進む。

11月2日（月）曇 雨

ハワイから州知事、上下両院議長ら23人の来客があり、九時半に庁議室で歓迎あいさつ。六時半からは全日空ホテルでレセプションを開いた。福岡市も訪問して福岡博へ出展する調印をすませたとのことであった。ワイヘイ知事夫妻、上院ウオン議長、下院キハノ議長その他青沼県人会長、クロダ議員、ヤマサキ議員、この二人は前から知っている人だ。今日の日程、あとは辞令交付、三役協議、それに、来年度予算編成につき各部からあがってきているものにつき主なものを企画の方から説明するという会議の連続であった。みゆきは姫路から帰ってきて、今晚のハワイ歓迎レセプションに同伴した。夜は雨になった。河野氏を呼んでマージャンを。

11月3日（火）雨

どんどん雨が降った。文化の日の催しがあちこちで盛んで、私は西日本文化賞（五人受賞）に立合うため国際ホールに出かけ、あとすぐ浮羽にとんで耳納の市に参加した。すっかり出来上がった合所ダムが会場でこれから湛水され湖底に沈む所を会場に選んでいた。雨がひどく降ったせいもあり、会場付近は混雑。車が通れなくてかなり歩いて現場に行った。実行委員長は橋村という人。青年会議所の人だろう。よくがんばっている。三回目でこの人出だと

定着したといえるだろう。

11 月 4 日 (水) 晴

九時から庁議、つづいて定例記者会見。庁議では高齢化社会に当面して県行政が立ち向うべき課題は何かということ論議してみた。内容はまだまだといってよい。何回かとりあげていくうちに熟してくるだろうと思う。午後二時半から自治会館で、町村長会評議員と知事との懇談会、五時から三光園で同じメンバーで懇親会を行った。国民健康保険の財政、農業、廃棄物処理の三つがテーマとしてとり上げられたのだが、どれも、名案というものはなく、国に政策変更を訴えるほかない。(自助は別として)

11 月 5 日 (木) 晴

九時半に全労組労働大学の代表団が表敬。八丁、高崎の二人が随員。十一時すぎ長崎へ。在来線乗車は実に久しぶり。二時着。二時半から九経連と九州地方知事会と意見交換会二時間。会場は泊地と同じ東急ホテル。九経連は永倉、石崎、前田の福岡勢と各県地元銀行出身の副会長らが出席。知事会側は沖縄、佐賀、大分、熊本の四県が代理出席だった。地域浮揚の原動力はおくれている高速交通体系の整備ということで、新幹線と道路が中心にすえられた。六時半から富貴楼というところで長崎知事招宴があった。だしものオランダにわか異色であった。九経連との話合いはこれで三回目。定着の観あり。

11 月 6 日 (金) 晴

八時に朝食。九時から事前協議つづいて知事会議。十一時半に議了となる。今回は国民健康保険の公的負担につき国負担を自治体負担に転嫁する厚生省案に反対する点に論議の焦点がおかれた。新幹線道路などいつもの要望もさることながら、国保問題は来年度予算編成上の最大の論点になりそうだ。中食後、来た時同様特急かもめである。四時頃帰庁。フランス大使が新任の挨拶に来訪。その他事務処理多くあり、七時すぎ帰宅。浮羽町長から約束のシブガキ二梱が届いており、早速に皮むきをして干柿とする準備を終える。中曾根のあとをうけた竹下内閣が誕生した。

11 月 7 日 (土) 晴

第三回目の農林水産まつりが小倉の西日本総合展示場で十時から開かれ、知事から功労者表彰の数々を手渡す式が同会場で開かれた。往復新幹線を利用。一時すぎサンパレスで開かれていた全国解放保育研究集會に出席祝辞をのべ、あと県庁跡地で開かれている「星のまつり」に行って高木村長らとあいさつ。NHK のしつらえた演壇に上って一席あいさつ。入場はかなりよさそうだ。三時からグランドホテルで 21 回九州寮歌祭でここでも冒頭あいさつ。姫高は終り頃だった。あと「くだおれ」で姫高会、熊本から長野薫怒氏が出席、鳥山

先生が調子が悪いという。土井氏は欠席していた。

11月8日（日）晴

昨夜は姫高会から帰ったあと河野氏を呼んでマージャンをし、今日は休みというので、九時半頃まで床にいた。休みを利用して手紙を書く。高野切を書くなどして時間をつぶした。かなり冷え込んできたので、暖房してのことだが、例年よりかなり早い暖房といえよう。昨夜、一昨夜、床の中に電気毛布を入れた。あまり感じはよくないが、寒くてねむれないよりましということだ。秘書室から年賀状の原稿について意見を求められていて、これに対応。昨日から中曽根のあとの竹下内閣が動き出し、今日から大相撲九州場所がはじまった。

11月9日（月）晴

来年の四月末から五月連休にかけて日韓親善交流フェスティバルを北九州市で開こうという話がもち上がり、今日十一時から主催者としての県、北九州市、韓国総領事館のトップ会談を行った（於北九市役所）。記者発表会をしたあと中食会をして散会。帰福して、ベスト電器本社に北田会長を訪ね、国体募金について特別要請を行って、基本了解をえた。帰庁して事務用件をすませ六時から三光園で福岡銀行役員との夕食懇親会があった。県三役が出席。平素交わせないような雑談に花が咲いた。給振については有難いといってくれた。

11月10日（火）晴

例によって九時から庁議、記者会見。十時半から私立学校功労者表彰式。中食は野村証券の人達と県庁裏の食堂波多野でとり、そのまま庁議室へ戻って中国問題について建議をうけた。上海、北京、大連いづれかのところに、県の出先機関をもつ好機が訪れているとの見解であった。早速商工部長らにこの件検討するよう指示した。今日は逆に商工部大石課長から、以前私が指示していた東京での「大ふくおか展」について原案を示してきた。総務部長を呼んで、県の来年度方針になかどうか検討するよう頼んでおいた。六時から平和楼で地方課会（OBと現役の交流会）があって冒頭出席し、早目に引きあげた。

11月11日（水）晴

九時二〇分から高松宮妃が岩田屋で行われる日本いけばな芸術九州展のテープカットに立会した。八階の会場を一巡鑑賞ののち、天神地下街での「くらしの中の税金展」テープカットに参加。登庁して十一時半から労福協役員との懇談会に出席、中食も共にした。星野村々長ら、跡地での星のまつりについての礼まいに来訪。二時から財政課による十二月議会補正予算案総務部長査定原稿の説明をきく。四時から同原案につきリーセントホテルで社会党県議役員との討議。そして七時からは中小企業家同友会の九州沖縄ブロック交流会レセプションに出席あいさつ。八時すぎに帰宅した。近頃ねむれない夜がつづいている。

11 月 12 日 (木) 曇

大丸八階で創価学会が国連と共催で世界の核脅威展を開催、オープン式が九時半からあって出席。十一時半の TDA で上京。二時半から早稲田大学大隈講堂で地方自治の現状と未来と題する講演一時間。パネラー四人を加えたパネルディスクを一時間行われたのに参加。杉山と田島の二人が随行した。日帰りの東京往復の旅。帰宅は夜の九時半になった。大隈講堂には二七〇人ほどききに來たし、パネルディスクの時間帯は一〇〇人ほどの参加だった。私はコミュニティと家族の崩壊という観点から地方自治をボトム・アップ方式で見直すべきだとの論旨を展開した。四月選挙でなぜ勝ったのかが学生側の私への招聘の動機だった。

11 月 13 日 (金) 曇

土、日の二日間沖縄で行われる全国身障者スポーツ大会の結団式が九時から庁内で行われ、九時半から十二月補正予算の知事査定、午後の申渡しとつづいた。三時から三役会が約三時間。山積する諸問題につき処理方針を探った。中でも跡地については、教育会館跡地も含めて早急に方針を出すことにしているが、「朝日」が夕刊で知事意思決定などと報じたことがわかって記者クラブが一時騒然となり、われわれもそれに巻きこまれた。又西日本の夕刊は昨日の私の早稲田大学での講演を広いスペースを使って嫌な内容で取扱っていて、いつもながら新聞に好意がもてぬことを痛感させられた。夕方セントラークで来博中の高橋正雄氏と茶ばなしをし、同所で小柳研究所総会に顔を出し、あいさつをした。七時半帰宅。

11 月 14 日 (土) 晴

農協系の食と農フェスティバルの開会式 (須崎公園十時) と食と健康を考えるシンポジウム (十二時半農協会館) に出席して挨拶。十時四〇分姫路の田中孝氏一行 (奥田八二をはげます会) と大濠日本庭園で交歓した。刀出から四人の婦人が参加、総勢五〇人余の一行で、例のように柳川泊の二日間福岡県内旅行をされる。一時半、大博多ビルで商工会連合会の婦人部の意見発表会に出てあいさつ。このあと市の少年科学文化会館で福岡市民芸術祭としての横田豊次氏「ざんげの鍬」をドラマ化しての中村旭園さんのひく琵琶の会があり、二時間鑑賞した。原作を読んでいたのも興味もちがっていた。

11 月 15 日 (日) 晴

九時半に出発し、久留米柳坂曾根のはぜ祭りに出席した。今年で五回目という。古風な庭のとのった家で茶席があり、十分余ハゼ並木を歩いて久留米自然休養村での記念式典に参加した。櫛並木音頭での踊りやハゼちぎり、茶摘み、酒づくりの民謡三曲もきかせてもらった。小石原経由で嘉穂町に行き、まず大隈小学校での「ふれあいまつり嘉穂」に、そのあと同町馬見宮小路石翠園に寄った。ここでは、リンゴ (ふじ) 狩りを味わうことができた。帰宅は六時半。一日、楽しい秋を味わう。後味よし。リンゴ畑にはオーナー奥田八二の木に枝

もたわわになっていた。

11月16日（月）晴

八時に出発し、JALで東京往復し午後八時少し前に帰宅。午後一時半から霞ヶ関虎の門三井ビル九階の地域振興整備公団の立地説明会場での県工場団地（宮田と苧田二号地）が売出されたことに関する適地説明会への出席だった。説明会は県と公団との共催で、一〇〇人余りが出席してくれた。終って四時頃、サントリー社に行き、宮田工業団地への進出ばなしにつき県の熱意を示すため村上さん（常務？）に表敬訪問をした。サントリーが来てくれれば地域のイメージアップに役立つのだが、進出の諸条件についてはまだまだクリアせねばならぬことが少なくないらしい。他の候補地との競争もあることだし。

11月17日（火）曇

定例の庁議と記者会見。県庁跡地の利用計画について記者の質問は強かった。十二月議会では旧教育会館用地と共に論議が進むこと必至だろう。十一時から職員組合との交渉。賃金問題が主題だった。二時から勤労者知事表彰。あと、九響陳情、共産党陳情がつづいた。西日本ケーブルテレビの並河氏が来訪、ケーブルテレビなるものについて説明をうけたが、県の支援もよろしくとのことであった。林副議長が来室し、教育会館跡地の電々への売却ばなしについて、根まわしが進んでいる旨強調された。中食後にさんぽつ、その他レクが数件と、朝の放送のテーマ地方自治四〇周年のことで広報の職員に自治についての私見をひとくさりやっけて退庁がおそくなった。

11月18日（水）晴

九時半に有明広域市町村圏協議会（大牟田大川柳川ほか）から地域振興についての陳情があり、十時から、重点施策についての各部説明に入り、午前中は警察と民生部、夕方は国体準備局を消化した。この間大牟田市に往復。ガーデンホテルで中部有明地域活性化推進協議会の発足をかねた第一回委員会が開催された。会長に九経連の永倉三郎氏、副会長に福岡、熊本の両県知事が選ばれ、当面は昭和六六年度までの活性化計画を作成することになった。範囲は大牟田、荒尾、長洲の二市一町である。この三つの自治体の現状が各首長から報告されたが、いずれも急速な雇用減が強調された。三井系その他財界からも委員、幹事が選出されている。夜は揮毫に忙し。

11月19日（木）晴

九時すぎ中国人民大学の宋涛教授一行の来訪があった。九大と盟友関係にあって交換で来訪。資本論の研究者という。逢坂教授が同伴であった。今日も重点政策ヒヤリング。午前は農政、労働、総務。午後は水産、林務、土木、建築都市の順。午後早めに天神福銀ホールで

県の工場適地説明会があつて知事挨拶に行った。このあと済生会で定期検診。相かわらず血糖値が高い。体力の減退が感じられるが、平素の活動には支障はないようだ。六時半、原嶋前土木部長の歓送会が中洲てら岡で行われた。昨日夕方のRKBの放映で跡地問題が出て、それへの抗議があつているという。三善の作為的な内容だった。

11月20日(金)晴

九時に金剛山歌劇団々長ら女性三人が表敬あいさつに来訪。在日朝鮮人で結成しているプロ劇団だが、経営は大変ということであった。十時に職員の三〇年勤続と研究の二種の知事表彰の式があつた。十一時から秋の叙勲伝達式、午後は昨日につづいて重点施策に関する各部からのヒヤリング。つづいて人事課からの行革の進行と中間手直しについての説明があつた。六時半から原嶋前土木部長の送別部長会が中洲の「てら岡」で行われた。どの部長も二年ほどのサイクルでかわっていく。あとの身のふり方がどの場合も課題となるわけだ。

11月21日(土)晴

商工部重点ヒヤリングが残っていて他部は三〇分なのに、ここには二時間もかけることになった。十一時半、デンマーク大使夫妻の表敬をうけ、波多野で中食を共にしてお別れした。二時、グランドホテルで田村円澄氏の古稀の祝賀会があつて出席挨拶。九州歴史資料館々長だが、日本仏教史、最近では朝鮮経由の視点に研究の重点をおかれていて注目をあびている。九大名誉教授である。九州国立博物館誘致にも力をかしてほしい人だ。三時から大手門会館で、退任した白石健次郎、岩崎隆次郎両氏の「励ます会」が県評議長等主催で行われた。これにはみゆきも参列。

11月22日(日)晴

午後二時半出発ということで朝のうちは机辺の仕事に費した。三時にホテルリッチで開かれている社会主義協会全国総会に臨み挨拶したが、二〇分ほど発言しただろう。労戦統一で二十日に「連合」が発足したので、その影響の中で今後の協会も多難な運動を必要とするであろう。四時、国際センターの大相撲十一月場所の千秋楽。知事杯を渡す仕事として出席観戦した。今回も優勝は千代の富士であった。知事杯ができて四回目か。ずっと千代の富士に渡すことになるわけだ。彼は鋼のような体質で、つねに相手を自分の手中に入れるのに巧みである。

11月23日(月)雨後晴

朝のうちはげしく雨が降った。休みというので揮毫などしたが、途中電話があり、一時に出発して林副議長同伴で久留米原口県議の母死去の弔問をすることになった。【68字省略】四時ごろ帰宅し、宿題の揮毫をほぼ仕上げたところで夕食後河野氏に来てもらってマージャ

ンを楽しむ。啓二から送った柿が届いたとの連絡が昨夜。和代からは送った揮毫が今日着いたと電話してきた。昨日の千秋楽の知事杯授与は元気がなかったよと彼女はいう。そうだったかも知れない。が異常との自覚はない。

11月24日（火）晴

昨日書いた「朝の放送」原稿は、私をはじめて全文自分で書いたもの。安達氏の下書きを全面書きかえ、地方自治の原点を中心にすえたものとして今日広報に手渡した。十時から障害者対話レク。それから午前中に共産党と、午後は公明党と県政懇を特別会議室で行った。一時二〇分協力事業団招聘の韓国青年代表の来福知事表敬二〇人に対して応対した。中食は県職労幹部と共にし、労戦統一問題を話題にした。四時半から三役会、十二月議会における給振の扱いその他について要点を話合った。六時半帰宅。県評三〇年史寄稿の下調べをする。

11月25日（水）晴

九時半に民間都市開発推進機構の副理事長が来訪、県庁跡地の開発に言及があった。あとJR九州広報誌の取材があった。十一時二〇分青少年育成関係国民会議の表彰伝達。午後は一時半から九〇三会議室で身障者団体を相手とする対話のつどいを行った。偏見差別をなくする啓蒙が基底に必要であることが縷々のべられた。三時半新日鉄杉山常務が東京から来訪、東田の社用空地の宇宙ランド用開発の用意のあることが述べられた。四時から朝の放送録音。五時半浄水茶屋で北九地評舎川議長と新日鉄八幡労組衛藤組合長を相手にこんだんの夕食会。当方永田室長と杉山の二人参加。帰宅は九時になった。

11月26日（木）曇

今日も多忙のうちに暮れた。暖冬のため商業、農業に景況異変があっている。魚も大幅値下がりしているものもある。県政懇は今日まで。午前中に県民クラブ、午後農政連である。今回も自民党は受けつけなかった。十二時からサンパレスで地方自治法施行四〇周年式典（表彰状授与式）に出席。まず来賓を迎えて中食会、一時半から式典であった。二六〇〇人の被表彰者があり、一六〇〇人ほどの出席といわれている。六時から韓国青年二〇人の知事招宴がグランドホテルで行われた。事業団で招聘した人達で、二十四日から一週間ほど福岡で交流をつづける。昨日は北九州市、明日は福岡市内の見学、そのあと二泊三日のホームステイに入る予定である。小石原梶原村長から送って来た渋柿を皮むく夜なべ仕事を行った。

11月27日（金）雨

臨時庁議、記者会見があった。十二月議会にかける補正予算などが決まったためである。十一時から代表者会議。陳情が三件、農協五連と農政連、博多山笠振興会のオーストラリアニ

ュージーランドゆき補助金の件。それから鉱業市町村連盟、午後三時からリーセントホテルで国体県民運動推進協議会総会が開かれた。私が議長席に立つ。問題なく議事進行。五時から残った県政懇社会党。二番煎じみたいだが、ここでは改めて給振中の組合費引去りを含む条例改正案についての案が出されて了承された。帰途中洲の花の木でのヌーボーワイン試飲会に顔を出せというので岩崎氏の顔もあるので出席、程なくひきあげた。中西忍氏から相続の件で電話あり。十時には就寝した。

11 月 28 日 (土) 曇

休日になった。余暇はとくに何をするか決めてないが、身辺に残された仕事があれこれある。県評三十年史が出版されるので、その序文書き。もう一つ県庁職員雑誌の序文書きを消化した。あとは色紙二〇枚ほどと、条幅の揮毫、扁額などの依頼がたくさんたまっていて、今日はまず下書きをした。夜になって河野氏を呼んでいるということで、マージャンになった。余暇消費の典型的な一日である。手紙も毛筆で三通書いた。こうした手紙書きはわれながら体面が保たれた満足感がえられる。篠栗の上岡さんがあちこち旅行することがあるようで、今回は松山から絵葉書きや海産物を送ってきてくれたので、そのお礼の手紙である。

11 月 29 日 (日) 曇

九時半に中西忍夫妻が来宅。父親死亡後長女のミツヨさんとの間に相続のことで争いが起っているというので、木梨弁護士に相談する場を設けたわけである。約一時間うちの応接間でその問題について話合いがあった。十一時に山の上ホテルで古賀武夫元西南大学長夫妻とのお別れ会があり、木梨氏と一緒に出席。彼が世話役だったが、安保懇話会系統の友人達が二五人ほど集って中食を共にした。私は十二時四五分に辞し、高田町役場前広場で開かれている「＼でも、よかまつりたかた」に出席。二日間の町おこしの会である。案山子と伝統能面の披露、地域物産まつりが主体であった。子供たちもはしゃいでいた。

11 月 30 日 (月) 雨

昨日今日小雨がつづいている。一日中在庁して業務を消化。午後は一時半から職業能力開発促進大会が講堂で開かれ、知事表彰など何人もの人が表彰状、感謝状を受けた。三役会では県庁跡地、教育会館跡地の問題が出た。十二月議会では必ず出てくる問題で、マスコミをはじめどう表現して答えるかが焦点。教育会館跡地は二六〇坪で七七億円。これは隣接の NTT からの買収申入れがあっているのが事実。東京など、鎮静化しつつあるとはいえ、地価が急騰している昨今、この跡地の処理だけでも衆目が集まるし、県議もウの目タカの目で、その話の周辺を見つめているのである。

12月予記

文字通り師走というか、追いまわされる十二月になった。県議会は給与条例（組合費引去り問題）がどう決着するかが一つの山。県庁跡地利用と教育会館跡地売却についても議論を呼ぼうが、こちらは荒れる材料とはならないだろう。議会がすんだらすぐ上京して対政府予算陳情に走らねばならない。東京事務所もこの時期対応が大変でゴった返すことになる。いよいよおしつまってくると年末挨拶まわりである。政治的というか儀礼的というかしんどい行動をくり返さねばならない。ふりまわされながらのこの十二月。直美は二十六日に帰省という。

12月1日（火）小雪

急に寒気が来襲、小雪ちらつく一日であった。一日中知事室で執務。RKBが県庁跡地について知事取材するとの約束は当方から拒否した。予約を与えた広報室は苦境に立ったろう。しかしRKBの三好の魂胆を考えると拒否すべきが当然であろう。RKBは自分たちの放映に勝手な特殊意図をもってのぞむ傾向が強く、今回も下手すると乗せられることになる発言の一部を利用して自分たちに都合のいい解説をつけるのが三好のくせである。跡地を緑地にというRKBの意図は見え見えだ。早目に帰宅できたので、たくさん積っていた揮毫に時間をあてた。墨のゆとりがあって一時半までがんばった。

12月2日（水）曇

今日も寒風が強かった。十時発で博多シティホテルで、中小企業各種団体の代表ばかりに集ってもらい、知事と語る懇談会を開いた。中小企業会館を建設しようとの強い要望が出された。有益な語りであった。午後一時から県政サロンの録画どりが日本庭園で行われた。正月用で、東南アジア諸国からの技術研修生五人が出演者であった。私は紋付羽織袴の姿で、秘書室の藤本さんが着付けしてくれた。一旦帰庁したが五時からエレデ寿屋八階での福岡県技能フェスティバルに出て、出品を見てまわった。一時間かけて、帰宅は七時前。寒い寒い一日であった。

12月3日（木）曇

朝一番は九時半に岩崎氏の訪問をうけることだった。何の用かと思ったら花の木吉田さんを伴い、先日はかた地どりの宣伝の話。よろしく頼むとっておいた。十時、九州工大情報工学部の期成会を協力会に切りかえる会があった。一時に国際化問題懇（水野勲会長）の県庁跡地利用についての要請。一時半から日刊工業新聞の新年号取材。九経連の石崎さん、福銀の新木さんが来てくれたの鼎談となった。商工の大石氏がやまとやしきの役員をつれてきてあいさつ。夕方は二時間待ちのあと、七時半から医学部の同窓会館での自治体問題研究所の十周年記念パーティに出席。帰宅したら九時近かった。石崎、新木、奥田の話し合

いはよかったとの評判だった。これからの福岡県の経済浮揚と行政の方針について一時間半の対談。私は、ニュービジネスの話を持ち出して、県民の待ちの姿勢の転換を要請したのであった。

12 月 4 日 (金) 晴

十二月県議会提案理由説明は予定どおり十一時から始まった。その前十時に今年度の園芸作品天皇杯受賞の筑后市農協梨部会の役員たちが杯をもって来訪。祝賀のあいさつであった。十二時社会党系の県政推進会議の諸氏と庁議室で中食懇談。二期目の奥田県政にということで注文が出た。両教組からは不平が述べられた。国博誘致のための県レベルの委員会がやっと発足にこぎつけ、私も顔を出して挨拶した。一時半から青少年育成協議会各団体代表との対話のつどい (庁議室)。三時半政経ジャーナル誌取材。六時二〇分から八幡の千草ホテルで新日鉄の東田に建設されるスペース・ワールド計画披露宴があった。室長、両副知事も出席。二年後にはオープンするといううれしいニュースである。八時半、小倉ステーションホテルに投宿。

12 月 5 日 (土) 曇

ステーションホテルで北九の労働組合の主要幹部たちと朝食会をした。永田室長も加わり、技術立県の推進に付き強い要望があった。電々の舎川、製鉄の衛藤ら。この人達は活性化対策労組会議を作っている。十一時庁議室で社青同系労組青年部の人達三五人と中食をはさんで懇談会を開いたが、失業問題がもろに出てこちらも対応に苦慮した。一時から国際ホールで地労委高橋貞夫氏の藍綬の祝賀会があり、祝辞をのべ、二時からグランドホテルで明日の福岡国際マラソン開会式があっここでも祝辞。早目に帰宅できた。大濠日本庭園でのグリーン 21C の取材。和服で正月記事のためだった。

12 月 6 日 (日) 雨

午前中は揮毫。福岡国際マラソン、十二時すぎスタート二時間八分で中山優勝だったが終りの方は雨で寒く、よくないコンディション。三時に迎えが来て上京。東京は朝のうち雪。初雪という。気温四度で冷え込んだ。ふくおか会館に投宿できぬ事情があつて三番町の霞友会館に泊る。連絡をつけていて七時から直美、啓二夫妻とダイヤモンドホテル内有楽園でフグ料理をつつく。九時ごろまで。沙理は一年八ヵ月という。かたことをしきりにしゃべるが何をいっているかよくわからない。タケが伸びている。福岡からそれぞれ一包ずつみやげをもってきていて手渡す。有楽園は霞友会館から徒歩で約五分のところ。正月にはみんな帰福するという。にぎやかになろう。十時頃に何することもなく就寝することにした。ねむれますように。

12月7日（月）晴

八時半ホテルで朝食。十時半東京所長迎いでサントリー社に行き、佐治敬三社長に会ってビール工場誘致について挨拶。熊本に立地を決定したとの報道については決めてはいないと否定。当方は宮田工業団地を第一候補にあげ、ぜひ福岡県にと勧誘の立場である。同じ問題で参院議員会館に福田幸弘氏を訪ねた。途中で遠藤氏につかまって同氏も訪ねた。又衆院、麻生太郎氏も訪ねたが不在で名刺をおくにとどめた。福田氏はこの問題で熱心に佐治氏と接触していてくれる。用地価格、水価格がどこまで折れ合えるか、地域振興公団、宮田町との兼ね合いが今後微妙と福田氏はいう。サントリー社も取引きに焦点をおいている。駈引きは福田氏がかなりやってくれそう。二時の羽田発で五時には帰宅。

12月8日（火）晴

久留米のリサーチパークに融資を頼んでいる日本開発銀行から総裁、福岡支店長の表敬をうけた。三役協議では給与条例について未だ執行部案には同調がえられてないと報告された。午後東福岡高校のラグビー部選手たちが校長らに伴われて全国大会出場の県選手権をとったとの報告に来た。月末に大阪で仕合いがある。一時半に本年度婦人の翼帰国報告会が開かれた。二時子ども劇場の陳情、二時半からは身障者共同作業所の代表ら一〇人が陳情に来訪、懇談した。補助金が少いのでというのが、この二件の陳情の内容。決裁のあと草香江校に寄り五時半に帰宅。

12月9日（水）曇

代表質問の第一日。八時にうちを出て答弁資料を検討。十一時から三時すぎまで武藤（自民）、鳥越（社会）、安枝（農政）が質問に立った。波瀾もなく終わった。一寸緊張したのは自民の組合費天引き反対の意思表示。社会の高校中退者情報公開を批判した教育長への質問であった。議会がすんだあと、市長会、町村長会から国民健康保険財政への県費補助増額陳情をうけ、五時半からグランドホテルで福銀の山下敏明会長の勲二の受章祝賀会があって出席。六時半には帰宅した。夕刊には米ソ両国が INF 撤廃に調印し、核軍縮への一歩がふみ出されたことを大きく報じ、テレビもレーガン、ゴルバチョフの大写し報道をつづけた。

12月10日（木）晴

朝靄が深かった。霧深かった。初霜というニュースもあった。代表質問の二日目。北原（公明）、勝野（県ク）、常守（共産）の三人が立った。今日も平穩に過ぎたが北原の質問の一つ答弁もれが出たため、勝野がいやがらせ発言をした。北九州の大事な質問に答弁を落とすとは何ごとかといった意味。一年生だが、心にくき存在と思っているのであろう。常守は執拗ではなかったが、県の平和事業、同和事業について喰ってかかった。情報公開につき、教育委員会の高校中退者非公開処置につき、勝野と常守が逆の立場で教育長に質問してた。六時前

に帰宅できた。昨日同様、夜は色紙の揮毫にあてた。協会の馬原氏が依頼してきた一〇〇枚はこれですんだ。

12月11日(金)曇

昨日同様に朝霧が深かった。一般質問の初日。山本辰、陣矢、岩佐、瀬川、木村、小山の六人が立った。まずは万事順調に進み、午後二時四〇分には議会日程は終了した。あと、ゆっくり諸事務を消化。八丁氏を呼んで、問研経営につきたずね、樺島に助力を求めた。社会主義協会ともども経営が困難になっている。月報発行数は七百減り二、一〇〇になったという。六時から法学部の徳本正彦宅で県評を退いた岩崎隆次郎氏の慰労懇親会を開くのに参加。衣笠、大屋、石川、菊地、福留、安東、内田、岩元の諸氏が参加した。岩元さんは病後、ごっそりやせた感じ。八時すぎ私は岩元氏を送ってみんなと別れた。

12月12日(土)晴

ハワイとの友好交流のための女子ソフトボール選手高校生ら一行が出発のあいさつに来室。次は死亡者叙勲伝達式。十一時に労働事務次官の表敬来室があった。十二時からグランドホテルで木曜会。中食を入れて二時間。私が県の方針を説明した。二時すぎ、県民の会代表十人が来室して多方面の要請を行った。社共混合軍ということである。クリスマスカード一〇〇枚ほどに署名した。午後四時から市民会館ホールで障害福祉課関係の「広がる希望のつどい」があった。前半は表彰や体験発表、後半はコンサート。大ホール約七割が埋まっていた。障害者の完全参加と平等のスローガンに届くには、日本の土壌は未だ距離が大きいなと感じた。五時半に帰宅。

12月13日(日)晴

ひざしあざやかに応接間をてらし、小春日和。しかし冷気はただよっている。この休日、又墨すって筆をとる一日になった。若干の宿題もあつてのことだが、少々は書きだめができた。年末に姫路に行く約束をしたので、それに備えて色紙も用意した。去年は選挙がらみで議会も荒れ模様だったし、休みなどない年末だった。しかし今年の県議会もまだ火種が残っている。ゆくえわからずともいわれている。気にせずになりゆきにまかすしかない。年末になって何や彼や身近しなくてはならない雑用がたくさんあるのだが、一向にその気が湧かない。またなりゆきにまかせるしかないだろう。来翰だけは、とくに新聞類は何とかしておきたい。

12月14日(月)晴

多忙な時に、議会外の用件が割り込んできて、今朝は七時半に出発。九時に北九市長議長ら新北空港建設促進で知事議長あて陳情。十時四〇分に博商会から県庁舎跡地利用で陳情に

来訪。夜は六時から三光園で三区の出身の古賀誠政務次官の就任祝賀招宴になった。議会の方は一般質問の二日目。予定したより早めに二時半に終了。知事室で休憩及び理髪の時間的ゆとりが生じた。中食は県評から松田、山本の二人の幹部と共にした。労戦全統の流れについて概要説明をきき県評の将来についても目途をきくことができた。知事の支持母体に関することでもあるので、重要なことだと思う。来年のメーデーは統一を考えているともいう。

12月15日（火）曇

答弁資料検討の間をぬって古賀誠建設政務次官一行が来庁、あいさつをした。又、十時四十五分には玄海レクリゾート構想策定推進プロジェクトチーム二人に辞令交付を行った。十二時になって代表者会議、一寸もたついで一時から本会議、一般質問休憩、そして三時から又本会議。一般質問は終了。職員の給与に関する条例補正予算が上程された。組合費引去りについて最終的もつれが予想されたままで明日から委員会審議となる。五時半から新年番組 KBC テレビについてのレクが一時間ほどあった。帰宅してから大牟田の松尾鶴林さんに頼む篆刻につき、今もっている印章全部と印材を点検し、印鑑簿を作ってみた。上岡氏が金沢の漆工芸品を歳暮に届けてきた。

12月16日（水）曇

九時の JAL で上京。来年度予算対政府要望対策本部設置のためである。羽田からまず衆院会館に太田代議士を訪ね玄海レクリゾートと国立博物館について要望をしたあと対策本部設置の儀式をすませ、午後は劔木事務所と自民党本部。後者は安倍晋太郎党幹事長を訪ねての就任祝言。このあと八重洲口の西日本新聞支社を訪ね、明後日の東京ニューオータニにおける国博問題での朝食会について吉原支社長に県の意を伝えた。劔木氏もこの朝食会にかなり期待してくれている模様だったのでそのことも伝えておいた。国博誘致について地元政治圧力をどう結集するかが課題となって来ている。少しはすべり出しそうだ。六時すぎに帰宅。これまで歳暮が来ているところへ礼状を書いていて時間をとられた夜だった。

12月17日（木）晴

韓国の大統領に盧氏が当選した。東京で強い地震があり二人死亡という。正月用取材として RKB、NHK、TNC が午前中。そして午後は日本庭園で KBC が、北九と福岡の両市長と羽織袴揃いで鼎談の形をとっての「新春放談」を取材。そのあと巳千代に行って北九市長と夕食歓談となった。十二時前後に庁内で岡垣第一・中央両園児の一円玉献金、ブリジストン石橋幹一郎氏の歳末寄付金贈呈式があつて福祉施設の二一箇所にくばられた。又、筑穂町の農家に対する新嘗祭献穀御供進伝達書の授与式があつた。三首長がそろってテレビに顔を出すのははじめてで新春四日の放映という。今後もっとざっくばらんに会うといい。

12月18日(金)晴

すばらしく晴れた朝だった。議会は商工と水産で知事保留をすませたが、高校授業料と組合費引去りで文教、総務の両委員会はもつれたまま開かれず、待機の姿勢がつづき帰宅は八時半。このあいまをぬって報道関係の新年用取材が進んだ。フクニチ、毎日、読売その他広報室の各社向け新年知事挨拶もすませた。十時半生命保険協会の年末福祉施設寄付金贈呈式があった。中食は西日本新聞記者四人と雑談会として行った。鳥越県議がはぜ祭り柳坂地区の人達をつれて先日の礼にみえた。二時二〇分県営住宅家賃滞納整理に向けた審議会答申があった(江頭県議ら)。年末に向けた日程がどんどん進められる。県の新聞広告原稿、新年職員向け知事挨拶原稿も。

12月19日(土)晴

十時に済生会で健康チェックをうけた。血糖値三一〇、尿糖プラス3というよくない状況。十一時から農協会館での「みかん生産者危機突破大会」で挨拶。つづいて天神で、みかんを配りつつの危機街頭宣伝。このあと筑后市農協会館でのナシ部会天皇杯受賞祝賀会に出席した。この祝賀会の途中で打合わせどおり、大牟田の篆刻師松尾鶴林さんに会館まで来てもらい、私の揮毫用印章をいくつか注文した。印材はほとんど手持ちのものを使ってもらうこととした。祝賀会は乾杯のあとしばらくいて引揚げた。帰宅は五時すぎ。筑後市のこのナシは年生産額六億円程度という。生産拡大が望まれる。

12月20日(日)晴

午後二時に近所の奥さん達に集ってもらった。久しぶりに話そうじゃないかということで呼んでいたのである。食事にかかったらそれぞれ心づかいもあろうということでこの時刻にした。四時近くまでよもやまばなしに費した。私の方からはそれぞれが年にとって将来のことをどう考えてあるかをききたかった。みんなほとんど似たような観測をしている。病気のこと、夫妻のどちらが面倒になるか、親子関係のこと、年金のことなど、それでもみんな朗らかであった。精神的安定を求めるや切であった。集ったのは深堀、伊藤、藤井、後藤、和田、伊集院の六人。余の時間は揮毫にあてた。

12月21日(月)晴

県議会は知事保留を一日のばして今日にくいこんだが、今日は又文教の方が授業料値上げを保留しながらバラバラ帰ってしまう議員があつたりしてとうとう開かれず明日に持ち越してしまった。午後は待機する時間ばかりだったが、農林、総務が午後七時と七時半に知事保留をはじめ、筋書き^{ママ}ど^{ママ}うりでカタがついた。農林は団体営圃場整備の補助率を引き上げよとの要請の代わりに来年度予算で生産性向上で何か役立つ予算の芽を出すという約束ですませた。総務は例の給与振込の時の控除を規則で定める時に組合費控除は規則で定めるこ

とはしないと声明することで決着した。これは今議会最大の争点であっただけに、幕切れがよく、みんなの努力がみのったといえる。帰宅は十一時すぎだった。

12月22日（火）晴

朝のうち三井鉱山からアジアランドについて、八幡大学から国際商学部について、それぞれ協力依頼の挨拶来訪があった。又死亡者叙勲伝達式も。十一時四五分文教委員会の知事保留があつて、高山氏が高校授業料値上げについて質問。二時五〇分から総括の本会議があり、各派お礼まいり、記者会見、部長会など恒例の順序で県議会の最後の諸行事がつづき四時にはすべて終了。決裁、記者室慰労会があり、六時四〇分の JAL で上京の運びとなった。当方の予定どおり議事が終了したのは亀井知事の最後の議会ぐらいで、他に前例がないのではとうわさも流れるほど今回はスムーズに終着した。

12月23日（水）晴

七時すぎに起床。昨夜は少々冷えこんだ。八時から全共連ビル6階で「九州はひとつ開発促進大会」が開かれ、あと運輸、建設、大蔵、自民党本部へと関係の陳情をした。内容は主として整備新幹線の着工と縦貫、横断及び東九州西九州の各自動車道の予算づけについてであった。午後二時から、プリンスホテルで東北、北海道、北陸、九州の各新幹線の着工に向けての総決起集会があり関係者一千余人が熱気もえる中で決議を行いわれわれにとって再度、自民党本部に陳情した。自民党政府の着工への決意をうながすもので、党所属議員がリードした。三時半頃今日の日程終了。帰館した。昔のことを綴っている「幾歳月」を書き加えた。一年十ヶ月ぶりのこと。

12月24日（木）晴

昨日と同じプリンスホテルで、こんどは九州だけの新幹線だけの集会「九州新幹線鹿児島ルート緊急対策会議」が開かれ（八時・朝食会かねて）、十時、昨夜の大蔵原案内示をうけての陳情活動に入った。午前中運輸、建設、午後は農水、通産の各省であった。公共事業関連は大幅に伸びている。が、新幹線着工は二十七日の政府原案決定のぎりぎりまで決まらないようだ。午後六時から、ふくおか会館で対策本部会議を開き、上京した各部長らと内示状況についての意見交換を行った。夕食は所長と随行の家永、福永の四人で東條会館東龍中華料理をたべる。クリスマスイブらしい雰囲気になっていた。八時半に帰館できたので昨日につづき「幾歳月」を書きつづけた。

12月25日（金）晴

とくに暖い日だった。県選出国会議員との食事をしながらの懇談会。朝は自民、民社、ひるは公明党。いずれもキャピトル東急。夜は社会党で東條会館。そしてそのあいまに陳情。午

前中は文部省、剣木事務所。午後は労働省、国土庁、外務省であった。昨日といい今日といい各省庁ともトップクラスは会議のため会えないケースが多く、要望書と名刺を置いてくるにとどまった。内示後大きな問題は新幹線鹿児島ルート建設着工についてだが、最後まで難航し見とおしはつかない。国立博物館は構想が具体的であるだけに国にその姿勢がないのでダメみたいだ。あとレク・リゾートや国際研究大学の話だが、構想中の問題。夜は在室して「幾歲月」を書く。

12 月 26 日 (土) 晴

気温がぐっと上る。九時に朝食。部屋にこもって「幾歲月」を書く。ひるは外に出てソバを食べる。二時に自民党会館で新幹線鹿児島ルート対策につき、二階堂、小里らを中心に、地元知事、国会議員ら集って行動予定を協議した。他の小さい案件は前向きに決まっていくのに新幹線だけが難航。五時少し前連絡していた江原健三君が来訪。コーヒをのみながら三〇分ばかり空白時間について話を交わす。姫中、神戸高商を出て日鉄八幡にしばらく勤めたといっていた。横浜港北区に住んで今は鉄関連の OB 的業務についているとのこと。五時半からふくおか会館一番奥の部屋で、取材活動に走りまわっている県記者クラブ員七～八人を招じて懇談した。

12 月 27 日 (日) 晴

暖かい日がつづく。だが新幹線をふくめ政府原案最終の詰めは難航をかさね、正午を前後にわれわれ新幹線問題への圧力のため運輸大臣による折衝をはげますため大蔵省に行ったが、各大臣とも大蔵大臣折衝で夕方までかかった。夜になって自民党三役の動きにも声援を送るため七時半から党本部に行った。結末を見定めえないまま九時すぎ東京事務所に帰り仮眠することにした。こうした行動のあいまを使って川口武彦氏と連絡の上、向坂ゆき方を訪問した。四時から五時半までよもやまばなしをした。何年ぶりだろうか。二十五年ほど訪ねていない。先生歿後三年になるのではないか。奥さんは八十三歳といわれるが、とてもそうみえない元気な姿でよろこんで下さった。ひとりぐらしということが心配でならない。

12 月 28 日 (月) 晴

六時半頃に起床。七時五〇分の JAL で帰福。そのまま登庁し、記者会見。十一時から庁議。仕事納めのあいさつをした。小山県議が津屋崎町長を伴って来訪。恋の浦開発について城山ホテルと意見が合わないことを指摘。一時半西日本新聞の稲積編集局長が坂井氏と来訪。国博誘致で十二月十八日に東京で自民党議員らと会談したことについて報告があった。あと、庁外に出て年末のあいさつまわり。松本英一、永倉三郎、創価学会の吉橋、北風、それから教育委員を辞任した、今村氏を見舞旁々訪問。又多川博氏宅にも行った。多川氏は吉本福商會頭辞任問題がこじれているが、永倉氏のやり方に問題があることを暗に批判していた。川

合氏を会頭にすえようとして吉本らが反撥しているようである。口出ししすぎるのはなぜなのか。

12月29日（火）晴

七時五〇分自宅発で、今日も年末のあいさつまわり。林武彦、上杉佐一郎、中村忠和（県会議長）、松尾正信、浜中県議、助信及び住吉県議、高松産業、安川寛の各氏で、高速道を利用し、うまく運んだ。小倉駅で内田補佐が待機していて、一五時二五分の新幹線で姫路へ行く。あいさつまわりに随行したのは永田室長。姫路で内田氏は福岡に引きかえし、九一、晴久にお世話になることになった。刀出へは七時少し前に着き、東京から毅が合流。夕食をごちそうになっているところへ、雅明、そして間もなく和代夫妻もあらわれて夜おそくまで語って過ごした。昨年は知事選をひかえて姫路へ来なかったのが、久しぶりということになる。晴久の二人の子供達もずいぶん成長している。

12月30日（水）曇

晴久宅に二泊することになる。九一宅の仕事場で共同餅つき。朝食も一番臼の餅をおろし大根と餡ときなこと三種の餅に作ってそれぞれ満腹しながら、次々と餅つきが進む。私の方は四升分たのんでお鏡と小餅をもって帰る計画で進んだ。私、九一、芳男、毅、晴久が適宜杵をもち、和代がこねた。十臼ほどついたのではなかろうか。終わったら十二時少し過ぎていた。小休ののち身支度をして、九一の案内で田辺と本家にまずあいさつ。本家ではビデオをたねに少し長ばなしをした。三時すぎ打越が待っているというので行く。勘十さんの子たちが全部集った。七時すぎには六角の吉田繁太郎宅へ。五人の小学校の同窓と前田先生がみえ、九時頃まで歓談した。ビデオもみた。

12月31日（木）晴

九時に晴久宅を出て広の裕一宅へ。七二兄は六十一年二月死去だった。ここでもしばらく歓談した。九一が案内してくれ、和代夫妻も合流。私は十一時四五分の新幹線で福岡に向い、三時すぎ帰宅。県庁からは羽根氏が迎えに姫路まで来てくれた。おみやげは餅である。一彦一家も来ていた。暖冬で全く正月らしくなく、北陸、東北などスキー客を待つ地区は不況異変に見舞われているといわれている。孫が三人揃っての正月となる。夕食の時までに正月用のごちそうも揃った。その残りをいただいて夕食とし、十一時すぎには年越ソバをたべた。刀出から餅をもって帰ったが、こちらでも作ったので、欲しがりはず、アンコ餅は明日後のこととして持越した。

補遺

三月六日朝、知事選告示まで、あと二週間余になった。小倉弥生会館で朝食までの間一時間

近いひまができたので書いている。昨年の七月は帯状疱疹で約一ヵ月入院し、そのあと、高野切を手本とするかな文字練習は全くしなくなってしまう。その代わりに、半ばあきらめていた二冊目の出版について時間をさくことになった。十二月中に出版するには九月半ばに原稿を渡す必要があるというのだから一ヵ月半で完了せねばならない。大変なことであった。この本が十二月二十三日に出て「ニュー福岡元年」と題された。福岡県は二十一世紀に向って動き出します、ということを書いてあるし、その手法についてもふれている。近頃選挙演説でこの本にもふれ、知事の頭の中の情報公開でもあろうという意味のことを付言しているわけだ。昨日の西日本で田中健蔵が、いっていた、風呂の水をかきまぜたいという話、「上はあついが下は冷い」と、彼の陣営はとくにそういえるだろうと思う。医師会、その他の業界をすべて上からの威圧で味方に引き入れていき下に届かせようとする。看護婦会、美容師会、町内会、老人会等々。そして上の方はつき合いもあって従うが、それがなかなか一般レベルにまで達しないようだ。電柱には大牟田でも一夜にしてポスターを貼りつくすほどの動員力をもっている。それは恐ろしい力だと思う。しかしひとにいわせてみると、一枚三五円でのアルバイトで一気にやるんだとのこと。いずれにせよ、北九市長選でもそうだったが、このトップ・ダウン方式は大きな力といえる。売上税で下は冷いのだ。

四月十九日 選挙が終って一息ついているところだが、田中陣営の得票をみると、よくもこれだけ新人で集めえたものだと感心する。どこの市町村でもすごく集めている。向うは最後には「共産主義」をもち出してきた。とうとう最後の爆弾かと思った。その仕掛けは RKB の三好との間になされ、終盤の三極放送でやったのだが、田中は、共産主義のいう売上税反対では政府自民党は耳をかさないが、自分がいえば重みが違ってくるはずとか、企業誘致問題にわざわざふれて、福岡県ではこのままでは進出企業が赤の共産主義革命の実験台にされることを恐ろしがって進出しないのだとも発言した。きいていた八丁君は RKB に嚴重抗議を直ちに行った。RKB は原則うて合わなかったものの酒か何かもってきて陳弁したという。それにしても田中は徹底した金権体質の男だ。今日も九大の総合理工学研究所の本田敬鵬氏が来て、田中が学長時代に九電永倉ルートで四〇億円の裏経理資金をもち、原子力発電の研究や国際交流の資金にあてているとのことであった。田中はよくアメリカや中国に行ったし、出張が多かったが文部省からの旅費ではなかったようだ。彼はこうした資金で他の教授をも容易に操作していたらしい。現学長の高橋が当選するについても、金力を駆使したといわれる。彼の金力の外にあったのは教養部ぐらいだろうと本田はいう。まあ、おそろしい男だ。こういう男に県政がわたっていたらこれから先どうなっていたらう。

七月二十七日、朝新潟のホテルイタリア軒の一室で、ゆったりした時間を送っている。昨日は山中温泉での自治体学校と、このホテルでの協会員旧友たちとの歓談の中で草の根民主主義ということを強調しつつ、又今朝の朝食時にもこの問題意識を、随行の杉山、高原に

力説したのであった。杉山のいわく、又筑豊で最近、生活保護をめぐって暴力事件が二回発生したというのだ。おそらく保護打切りに反撥しての暴力だろうとのこと。私は保護の打切りに際し、安易な妥協も行き過ぎもいけないのだと強調したが、暴力は妥協しないケースワーカーに加えられたものと思われる。高原君はワーカーの経験から打切りは推測でやるしかないし、推測には反撥が誘発されやすいという。私は保護という行政に、草の根民主主義がバックにあるなら、そういうことはおこらないはずだから、そこに草の根民主主義は期待できないのだろうかと問い直してみた。被保護者個人とケースワーカー個人が対応しているからそういう問題がおこるので、被保護の側に草の根民主主義が育ち、行政もワーカー個人でなく事務所一体となって一つのケースに取り組むという姿勢があるならもっとスムーズに問題はいい方向に行くに違いないと思うのだが、役人的対応で、そこまで知恵と行動が伴わないのが実態であるというのだ。私はいつか筑豊の現地に行き、福祉関係の職員とじっくり話合ってみたいと思っている。知事のきれいごと事務だけでは駄目だ。

七月二十九日

ひとは、気づかずに行動しているとき案外見られていて、それが重なると一定の評価になっていく。一昨、昨日と参議の遠藤政夫に会った。一昨日は議員会館で、昨日は朝食会（キャピトル東急）で。彼は私に二度同じことをひとの面前でいった。「知事が先頭に立って動かなきゃ福岡県問題は解決せん」と。私は特別これに返答はしなかった。朝食会の席上は議員会館と違ってはるかに公式の場であるが同じことを公式に二度つづけてこの口調で参議が知事にいったのである。朝食会に出席していた人達はごく当り前のことをいったにすぎないと受けとめている者ばかりではあるまい。あとである人は何といういい方だといぶかる意見を私に伝えてくれた。知事が県のため、次年度予算確得のため、このよう行動するのは当り前で自慢するには足りないが、「先頭に立って動かなきゃ」というような説教をするのは遠藤ぐらいのものである。こうした陳情活動の中で、また一般的にも、県選出の国会議員に多く会い、あいさつのほか言葉を交わすことは少くないが、遠藤はいつも説教めいた一言を私に投げつける。他にそういう議員は一人もいない。しかも遠藤は朝食会の公的発言の場でもそれをやったのである。議員というものがどういうものか誰でも知っている。中に頭の下がるような人もいるし、何だこいつと思うようなものもいる。横柄なもの、ていねいなものもいる。親身になって一しよに考えようという人、知らん顔のものもいる。目立ちたがり屋、何しているのかわからん消極型など種々様々である。同じ自民党でも、もう引退した三原朝雄は立派だと思った。太田誠一もいい。自見庄三郎もいい。しかし麻生太郎は頭が高い。山崎拓は偉そうぶっていかにも権力の固まりみたいに見える。中味がそう充実した人物であるとは思えないのに、限度が見えている。

九月二日

西日本新聞が県庁舎跡地利用につき、福岡市も独自計画を練っている由報じている。西日本新聞はこれに先立って八日間ほどシリーズ風に、跡地をいかに利用するかの世界論をあれこれ紹介し解説する記事を書き、最後のところで、知事は十一月までに何とか見とおしをつけたいといっている旨、私へのインタビューの結果という形で記事として取扱った。跡地利用案を大別すると、売却論と緑地化論と文化施設建設論と三つになるが、売却論はまず消去されそうだとしたあと、二案が残るが、第四案として、残った二案の折衷案もありうると説明した上で、知事もこの案に意味があるとのべたと書いている。こうした新聞記事は跡地利用を問題化し、解決を急がせる上で世論喚起上意義あることだと思うが、西日本新聞以外の他紙は知らん顔をしているようだ。九月議会では六月議会以上にこの問題をめぐる発言が多くなろう。特別委員会でも活潑な論議がでてこよう。私は過去四年間もそうであったが、今は今でなおさら百家争鳴を歓迎し、待ちの姿勢を貫きたいと思っている。公明党の吉永県議は、四年間も放置して知事は怠慢だと非難しているが、この男政治があまりわかってなく、一見ひとの関心と呼ぶような言葉を使ってみよう。倫理上の問題ではない。

九月十八日

松山の全日空ホテルで書いている。昨日の博多弥生で、林出納長が知事から大塚副知事に、もっと議会工作で動くよういってくれと特注されたのにはびっくり。今日副知事を読んで早速その趣旨のことを伝えた次第。私と大塚、大塚と林その他という接触の二つの型をそれだけでみて大塚を評価すると意外や意外。ずい分と違っているのである。こんなことは当たり前といえば当たり前だが、なかなか普通の状況ではわからないものである。大塚は責任感が薄いか、当然の動きに鈍いとかの批判がある。その上、中央に引きとってもらおう工夫も必要とさえいうのだ。

十一月一日

先月十八日に北九州市民体育館でおこなわれた世界青年平和文化祭のあと、創価学会の池田名誉会長と吉橋九州総会長からは、私の出した礼状に対していねいな応答があった。前者からは県議を通じての伝言の形で、後者からは返信手紙の形で、どちらも同じ趣旨といっている。私の気持がよくわかったという意味で理解を示してくれたものである。創価学会の資料はあれこれ賜ってくれるし、ここ一ヵ月ばかりは上岡さんを通じて、聖教新聞を購読するようにと、毎日配達してきている。創価学会、公明党が、与党化的な立場になってきたといっている。歓迎すべきことだ。

十一月五日

朝全ソ労組大学の学長ら四人の表敬があった。うち一人が私に対する質問として、日本の労

働運動は力量が弱まり、組合の組織率の低下をまねているが運動論をやってきたあなたはこれをどう見るかといった。私はたしかにそうなので、この原因は運動のあり方が旧態ぜんたるところにあり、その改革の工夫が足りない、労働組合存在の意味がなくなったのではないと答えたのであった。一行に、八丁と高崎の二人が随行してきていたが、この二人がどう受け取ったか知らぬ。しかし今、日本の労働界は組合員の関心をひくために、一にも二にも工夫をこらさねばならぬ状況にあると思う。この二十日に全国レベルの労働戦線の統一が成り全民労連が五〇〇万規模で出現するらしい。私が自治労大会（県）での挨拶の中で、これに対し批判的な発言をし、労戦統一に反対の立場にある共産党系の人達に勢いづけたとして私を非難する声を立てたのが、この大会で新委員長になる岩田じゅんすけだというのはしが私の耳に入っている。新労戦を批判したとか賛成したとかが問題なのではなくて、いかにして労働組合の衰退状況に新風をもち込むかであろう。新統一体がこの新風の鍵をにぎっているとは思えないではないか。

十二月三十一日

この二十六日に小学校時代の江原健三氏が連絡により東京事務所に訪ねてきて三〇分ばかり話した。彼は福岡県につき不審な点があるという。ただしてみるとあの天神地下駐車場建設をめぐる奥村組汚職事件についてである。彼がいうには、新日鉄八幡勤務時代以来、奥村組とつき合いがあり、問題の小林についてもよく知っている。奥村組といい、小林といい、汚職を誘うようなことはない信じているという。でも事実小林は自白し、近藤副知事に、出納長時代出納長応接室で贈賄金を渡したと知っている。とすれば、小林は仕組まれてこの事件の中の人になったということができる。「やらせ」であり、小林はひとも知るとおり、ありそうもない情景のもとで贈賄金を渡したと自白したとの想像ができる。当時の県警本部長は木村であり、この男は、そういうのをデッチ上げるぐらいのことはやってのけそうである。中央の後藤田が知事選をにらんで福岡県で事を起こそうとしたらうし、あれこれ組んでそれらしき事を仕組み、小林を犠牲にして、問題を近藤に結びつけたのではなかろうか。木村ならそれぐらいのことはやるだろう。あの時、近藤、林武彦の二人はかなり理不尽な取調べを受けている。近藤は、帯状疱疹で入院中の私の病室まで呼んで辞任について私が慰留したがきかなかった。辞任しないと知事選にまで影響が及ぶだろうと考え、白であってもこの際辞任した方がいいと考えて自己犠牲の途を選んだと思われる。以上が事実とすれば権力側は大変な陰謀をするものだとつくづく感じさせられる。

1988 年

年頭の所感

昔のわれわれもそうだったのかも知れない。息子一家が帰省しても、そのことが一味かわっているだけで、よかったともいえない何とも表現の仕様のない感想だけが後に残る。平素の交流がないから余計そう思うのであろうが。どことなく血の通う連帯感共同体感が湧いてこない。それぞれがそれぞれの道を歩んでいるし、世代間に価値感の開きが（相違が）あって、よそよそしさを作っているみたいである。わが家だけではなく、どこも多少の相違こそあれ、近頃はこうした状況らしい。それに、自分自身ふりかえってみても、今は佐方のことしかいえないが、みゆきが親兄弟にどのような血の通うぬくもりを感じているか、私は疑問に思っている。自分の母がもう 80 歳代半ばをすぎて淋しく暮らしていることがわかっているのに、積極的に接近していこうとする気持がないようだ。私はそれが気になる。知事という仕事柄、時間がとれないので不満ながら、年に 1 度や 2 度はご気嫌うかがいするのが当然と思うのである。残念なことだ。一彦らが福岡に来るのも、そろそろ限界に来ているのかも知れない。今時の「家族」というものがこのようであるのなら、その積りでわが生涯を考えていかなければならないだろう。「物の豊かさ」といわれる側面への自己対応も考えてみたいのである。

1 月予記

今年の正月は一彦一家、啓二一家、直美がそろって帰福するので一ぺんに八人ふえてにぎやかである。ただ親子関係は以前とはかわってきている。それぞれが違った見方、考え方をしていることが歴然としている。どうもその辺のところで、愛情というのが味のか変わったものになりつつあることがわかる。でも主観ではどう祈ってみても、客観条件がそうなるのだと思うと、諦めるほかないのであろう。世間、多くの人達が同様の味わいをしているのではないかと思う。「豊かさ」とよくいうが、その裏面が一因ともなっているのだと思う。日本もこのままでは済むまい。——新年の所感。

1 月 1 日（金）晴

天気が崩れるとの予報に反し、今日も好天。九時すぎに起床。昨夜は三時頃まで話し込んで眠い一日だ。十一時頃お座敷で十人みんな揃って雑煮の朝食。年齢順に冷酒を一口ずつまわして祝意を表した。正式の中食は抜いたまま、みんなそれぞれゲームなどして時間をすごした。新年挨拶には玉井直さん、林副知事、コウ氏がみえた。昨日から仕残していた机辺整理に時間をかけた。来輸物の処理だけでも大変だ。棄てないでおく癖は止みそうにない。年賀状は一二〇〇枚ほどだと思う。毎年の悩みだがこれにどう対応しようか。知事になって以

来、自分では賀状書きをしてないから。

1月2日（土）雨

昨夜は早目に寝たが、起きたのは九時すぎ。夜来雨が降っている。朝食は雑煮、そして朝風呂。協会の連中が来たので、前の家にあがってもらい中食を共にしつつ話合った。十一時から二時まで、協会運動の当面する基本問題ではあるが、思いのほか深刻さはなかった。衣笠、八丁、高崎、馬原、大塚、林、熊谷の諸君である。私の方から教組運動について注文をつけた。福教組の梶村委員長の頑固さがネックになっているという点では一致した。実業系の高校がよくなってほしい。今年は動きはじめますよと彼等はいっていた。残りの時間は賀状の整理にあてた。面識ない人からの賀状の扱いが問題だ。

1月3日（日）晴

早目の新幹線が安心できるということで一彦一家は朝七時ごろ出発。他方直美は空席待ちなら最終便を目標にといつて夕食後に立った。賀状を点検したほか、年末からたまっていた宿題の揮毫を行う。定礎とか碑文字に時間がかかって、夜おそくまで書いてなお終らなかった。後日に譲るしかない。おだやかな新春日々の過ごし方でわれながら充実感があつた。今年一年が盛り沢山な、希望ある諸行事が予定されているので明日の「知事訓示」のたねにしたいと考えている。明朝は多忙で構えも必要だが、思いわずらわないことにする。

1月4日（月）曇

朝のうち雨が残っていた。雲ひくくたれこめた一日。九時半から庁議記者会見。十時半から県評・中連役員の年始をうけ十一時から職員への年頭訓示。十二時すぎからステーションプラザでの新年会（薬業界）に出席して帰庁。夕方四時まで、入れかわり立ちかわりの年始挨拶客への対応であった。十一時半からは養護学校卒園者を知事室に来てもらっての激励会。仕事をもっている者ばかりなので四日という日がいいのであろう。知事訓示はよかったですよと近くの人がいつてくれた。職員の活性化課題を年頭に示しておきたかったのである。妙なもので年始の感じが薄らいでいる。平常どりの思いである。四時半に帰宅。

1月5日（火）曇、雨

どんより曇り。時に小雨がつづき、夕方には風も出て、ようやく冬らしく冷い日となった。あいさつまわりやあいさつ受けやできりきり舞い。社会党、自民党にも行く。正午は福岡商工会議所、夕方は北九で西日本工業倶楽部での新年会、夜は土工協関係新年会。個別会社では、九電、安川、八幡製鉄をまわった。安川・製鉄の両組合も立寄った。北九からは新幹線で全日空ホテルでの土工協会場に向ったが小倉で一列車乗りおくれた。交通渋滞のためである。今年は景気回復にどことも自信ありげで勢いがいい。円高もあまり気にならぬ様子。

1 月 6 日 (水) 晴

年始行事で夕方までかけまわった。平和台での消防出初式は幸い快晴だった。新年挨拶は午前中が国際ホールでの中経協祝賀会、西日本新聞、共同。午後は団体的挨拶として環衛組合と農協五連、個別的には博多近代ビル内の中小企業諸団体をはじめ、日経、医師会、公明党、FBS、民社党、毎日新聞、KBC、読売とつづいた。明るい気分で新年を語り合うことができた。途中で時間ができたので、気になっていた寺まいりをした。円日氏は在宅中でしばらく話すことができた。FBS での文字報道は新しい手法として説明をうけた。農協系の人達も案外明るい表情であった。前途はけわしいが自力で難局をのりこえようとしている。

1 月 7 日 (木) 雨

午後雨になった。九時半から平和台で県警の新年視閲式、十一時二十分から行政棟前で同分列行進。これが私が知事になってはじめての参加ということで知事警察間の「雪どけ」と新聞に書かれた。午後は造園業協会、夕方は測量業協会、軽印刷協同組合、建設業協会の四つの新年会に顔を出したが、当方からは新年挨拶まわりで、九経連、大手門の労働団体、時事、福銀、岩田屋、共産党、西鉄を消化した。一寸ひまができたので、社会問題研究所、県評婦人協大会にも顔を出した。今年はどことも前景気もいいため、笑顔で迎えてくれた。各種イベント、事業の見込みがついているので、文句なしなのだ。

1 月 8 日 (金) 雨

小雨になったが温度の高い一日だった。フクニチと RKB に新年あいさつに行き、つづいて RKB の情報 BOX に出る。十一時にグランドホテルで解同の旗開きがあつて出席。歯科医師会に新年挨拶に行つて帰庁、弁当をとる。午後は久留米リサーチパークの社長が発足のあいさつに来室。あれこれ事務を消化したあと四時に越智建設大臣が来庁、報道陣を入れての予算謝意と陳情を行った。政務次官も同行 (三区選出の古賀氏)。五時に大手門会館五 F での中立労連の旗びらきがあつて出席。民労連も県評も祝辞に来ていて、今年のメーデーは統一メーデーになるようにしたいとの意見をきいた。

1 月 9 日 (土) 曇雨風

寒波がやってきた。新聞によるとアメリカ東部では寒波のため 60 人死亡と出ている。九時から散髪。十時二〇分筑紫野市長らが産業廃棄物処理業者規制につき三万余の署名を添えて陳情に来た。山上ダムの一キロ上流にあたる場所に処理場を予定しているという。規制がどこまで可能か。十一時電業協会の新年会が天神ビルで行われ、挨拶して帰庁。中食を県職労役員と共にしながら懇談。主として人事異動についての注文だったが、特昇の仕方について不信を拭い去るのが先決との意見も出た。二時半に帰宅。電業協会でのあいさつを原稿にしてほしいとの注文があり、その仕事をまずは消化。高野切を書きつづける。

1月10日（日）曇

正月になってはじめての休みの日。おそめに起床。るんるんで墨を摺り、依頼ものの揮毫にすべてをかけた。軸、扁額あわせて七枚と色紙少々。そしてついでに高野切を書き進めた。一日中筆墨を友としたわけだ。疲れ気味となる。藤江君が風邪をひいている。昨日の朝は啓二たちが帰京した。二週間ほどいたわけで、その間にサリのいうことがかなりわかるようになった。日本語、フィンランド語両方を理解させるのが親の気持のようだが、長つづきはしないと思う。子供達はみんなドライだ。違う。

1月11日（月）晴

朝の時間に新年あいさつの残り TNC と NHK にゆく。昨日書いた条幅や色紙をそれぞれ秘書室に処理してもらった。婦人少年室の江頭夫人が早速お礼にみえた。筑後川水系の農地整備につき久留米市長ら関係者多数工事負担軽減のため補助金陳情に、又遺族会からは慰霊巡拝事業の継続陳情があった。又国際化問題懇話会からは報告書としての提言があり、夜五時半から全日空ホテルで慰労会が行われた。提言の中ではセンター設立と会館の設置が柱になっていた。水野会長、大内副会長が表に立ってあった。鴻臚館遺構調査も昨日で一まず中止。今後これにまつわる課題への対応が問題になる。

1月12日（火）晴

冷え込んだ朝だった。庁議、記者会見と、あと特一会議室で母子福祉連合会の代表と中食こんだん。一時半福岡都市圏行政推進協の陳情をうけ、こんどは外まわりに転じた。八仙閣での菓子工業組合、パークホテルでの自治労県本の新年会に出席。次は小倉へ。朝日、読売、毎日の三社新年挨拶のあと真鶴会館での北九地評旗開き。往復は新幹線利用で、グランドホテルで八時頃から二十分間、青年会議所の新春例会での講話と、息つくまもない一日になった。帰宅は午後九時。それから夕食をとって高野切を書いて就寝という順序。明日は七時すぎ起床という例外的多忙の日。

1月13日（水）晴

九時の ANA で上京。右翼が年末から東京会館を使っているのを、避けて霞友会館に席をとって打合わせと中食をすませ、運輸、建設、農水、通産の順に新年度予算についての謝礼にまわった。新北九州空港建設への手順については明らかな説明がえられた。五時発の JAL で帰福することができたが、秘書室のみんなが昨日の助信県議への私の対応につき心配してこまかく心情を知りたいと待ち構えていて、室長と杉山それに福原と私は浄水茶寮で夕食しながらざっくばらんに語り合い、私の辞意の真意についてきいてもらい、秘書室の連中には別途それを伝えるとのことであった。九時半帰宅。

1 月 14 日 (木) 晴

十時に県警本部長室訪問。十一時半有明漁連江上氏ら海底陥没について陳情。つづいて田川市議会、商工会議所から情報処理訓練校について陳情。一時、警察棟会議室での署長会議に出席して挨拶。二時四〇分インフルエンザ予防接種反対諸団体代表が反対に陳情来訪。これは説明をきいて原課に伝えることにした。夜は新年会二つ。六時から三光園で県幹部と部落解放同盟役員、七時から三鷹ホールで共産党福岡県委員会。二つのかけもち。つらいことだ。帰宅後河野さんらとマージャンになった。

1 月 15 日 (金) 晴

この頃は妙な気温という。朝は大変寒く、ひるはうんと暖い。おそめに起き、手紙書きや午後の講演の下しらべをする。二時四〇分迎えが来て三時から大手門会館で勤サ協の 15 回総会新年会があり「心の豊かさとかこれからの福岡県」というテーマで一時間半講演した。このあと八仙閣で社会党県議団の新年会があった。両副知事、出納長、秘書室長も出席。県評、地公労、解同からも参加があった。七時すぎに帰宅することができた。高野切二種を書き上げてホッとした。二十五日までに三種を終えようと思っている。

1 月 16 日 (土) 曇小雨

十時半から日航の「おおぞら」誌の取材ということで一時間半費した。連絡してパーソナルホテルで中食会をしたら八丁、東定、中山の三人が来た。協会も問研もそれなりの客観情勢の中で苦悩しつつ、とくに協会内部では何かと対立が起きているようで、話題がそちらに移ったが、ビルマ沖で落ちたという大韓航空機事件での「蜂谷真由美」なる女性の供述で「北」の国際テロ事件との報道。多分に疑問が残るということも共通の話題になった。あと新春会のようなのが三件。中小企業家同友会 (都久志会館) 柔道整復師会 (グランドホテル) 済生会全国病院長会 (山ノ上ホテル)

1 月 17 日 (日) 曇

一日揮毫にあてたが、悪くなった筆を使ったため、最後になって仕上がりなしとせざるをえない筆跡になったものがある。後日改めて又書こう。外は今にも降らんばかりの空模様だが、一歩も外に出なかった。高野切も第三種を書き進めた。西日本新聞は鴻臚館遺構について、見開二ページを使って田村円澄、渡辺正気、西谷正、亀井明德、前田淑の五人による座談会を特集している。国指定の特別史跡になるに違いない超一級の遺構であるだけに今後の福岡市に与えるプラスの影響は甚大なものがあるだろう。

1 月 18 日 (月) 曇

十時からリーセントホテルで社会党県議団からの当初予算に対する要望を聴取した。長谷

川、白石、豊島の三者が出席した。一しょに中食をしたのち帰庁し、一時からの監督者研修に出て四〇分間講話。私のあと本番はベスト電器の北田会長であった。二時半から白島の工事共同企業体の役員たち十余人が来庁。新年のあいさつ。昨年二月の大シケ以来工事が中止されていることとの関連があった。あとは時間のゆとりがあってものを考えることができた。レク数件、決裁数件。五時半からパークホテルで県職労の新春旗びらきに出席。七時頃帰宅。昨日仕上がらなかった揮毫は墨をすり直して仕上げることができた。せいぜいした。

1月19日（火）曇

寒々とした一日。九時から庁議、記者会見。十一時から三役会議。日程は全体としてゆったりとしていて、午後東長寺の節分豆まきの儀式を知事室で受けた。三時から北九市長、四時から不況三市長（北九末吉、大牟田塩塚、直方有馬）の陳情をうけた。マスコミがこれを取材した。五時から一条で県信用組合協会の新春金融懇談会があった。その後しばらくして宴席にうつり、私は引揚げたので、五時半すぎには帰宅することができた。姫路の広田君に電話して二月十一日にヤマトヤシキで福岡県物産展を開くので同窓会するかと呼びかけた。

1月20日（水）曇

十一時に岩崎、名田が来庁。日本語学校を作る件について県として助けてくれとの趣旨の話をしていた。十二時四五分福銀ホールでふくおか女性フォーラム開会であいさつ。上田恵子さんらパネラーとして来ていた。一時半、総務部から四月にオープンする新研修所について構想をきき、意見交換をした。市町村の研修所と併設されることもあり、この際研修体制の新規見なおしが必要だということを強調しておいた。二時五〇分済生会に行って健康診断。依然血糖値が二八〇以上で尿糖プラス3でよくない。三時半グランドホテルで日本旅行関連旅館の協会総会に出て挨拶。

1月21日（木）曇

珍しいことに、ひるすぎまで休みであった。書斎にこもって専ら机辺の整理と高野切書き。午後は工事者二人が来てテレビのモニター化と留守番電話の取付けをしてもらった。秘書室から内田、高原が付添ってくれた。うまくいったようだが、留守番電話などは操作には別途勉強が必要だ。四時二〇分に迎えが来てニューオータニでの黒木一夫氏藍綬褒章祝賀会に出席祝辞をのべ、六時半出発して山ノ上ホテルでの県済生会病院長の新年会に出席した。早目に帰宅して待っていた秘書室の連中と拙宅でマージャンを少々楽しんだ。

1月22日（金）曇 小雨

九時半に日産自動車遠藤副社長らが年賀で来訪。つづいて私学協会ら三団体の陳情があった。選挙の時は反対側にまわるのでかっこ悪そうだった。豊前市の林業グループの婦人たち

二二人が来訪。十三時半に医学部病院に九大留学の大学院生徐君の見舞に行く。報道陣に追われた。徐は女性奥さん、箱崎で交通事故にあって重態、快方という。あと、レクが何件かつづいて、五時、中小企業団地協議会新年会のため八仙閣に行く。昨年の選挙で売上税反対で動いてくれた人も見られた。知事が出席してくれたと大へん喜んでくれた。六時すぎ帰宅。

1月23日(土)曇、小雪

予報のとおり寒波がやってきた。小雪が舞う中を豊前へ。十一時に地区労で私が書いた扁額が出来上っていて公民館への贈呈式のようなことを演じ、あと農業改良普及所に行き、実年講座受講者を対象に対話のつどいを行った。中食を共にしつつ、三時間ほど語り合った。風が強く雪は止んだが冷い一日だった。帰福して県立美術館にベルナル・ビュッフェ展を見に行き、六時近くから歯科医師会の表彰式がグランドホテルであっているのに列席してあいさつした。公民館への書は佳気満高堂の五文字だが、われながらよくできたと、見栄えのよさにうれしさはかくせなかった。

1月24日(日)曇

休みの時間があるって、のんびりの在宅だったが、二時半迎えの車が来て今日の活動が始った。まず、三時からリッチ博多での社会主義協会福岡県支部総会、四時から八仙閣での全通福岡地本の旗びらきとつづいた。五時空港に行き、ハワイへの親善ゲートボール競技団への出発メッセージ。ハワイは常夏の地だから、今でも水泳を楽しむことができるという。今日の協会及び全通の集りでの挨拶にはこれとって述べるべき内容の特徴がなくて消極的なあいさつになってしまったので困った。空港に来ていた室長永田氏を宅に招き入れ、しばらくマーじゃんを楽しんだ。

1月25日(月)曇

九時半に警察本部長が来て予算要求。十一時から例年のように東急ホテルで沿岸漁業団体の予算要求をかねて新年中食会。帰庁して中国海南島開発団、つづいてシンガポール航空(福岡便就航あいさつ)からの表敬があった。三月下旬には福岡空港の国際線は十一線になるという。四時、全日空ホテルで初の異業種交流の新年会があつて挨拶した。このあと玄羊会尚文堂教室の書初展があり、岸本先生には知事車としての迎えと送りを行った。書初批評会のあとは、くいだおれで出品者たちの先生を囲む懇親会。私はみんなに色紙を贈った。私を送ってくれた牧坂、青木の両氏は拙宅に寄り、しばらく懇談して帰った。

1月26日(火)曇

九時からの庁議では高齢化問題についての政策討議、あと記者会見。十時半から園芸連らの

みかん危機についての予算措置要求をうけ、一時半同和問題についての幹部研修であいさつ。二時にはトヨタグループから交通安全ビデオなどの寄贈式があり、このあと朝の放送の録音。四時半から福労協の各団体から労働関係予算要望の陳情をうけた。大手門会館も北九の真鶴会館も経営がうまくいってないし、信用組合活動の借倒れも多いらしい。五時半からの建設関連産業協議会の新年会（八仙閣）であいさつして、今日は早目に帰宅できた。例年並みの冷たい日だった。昨日はおそく、今日は早かったせいか、行事と行事の間のあき時間は大そうねむかった。

1月27日（水）晴

十一時からサンパレスで福岡市と第四港湾建設局主催の香椎パークポート整備事業起工記念式典が行われた。その前段での現地での起工式は寒風のもと寒かったらしい。この事業は七〇〇億円をこえるものだが、住民の反撥も強い。コンテナバースやリゾートゾーンが作られる。門司の衰えと対照的に博多港の上昇気運の大きさがうかがえる。五時からリーセントホテルで共産党県委員会役員たちの県政についての要請と懇親の会があった。七時からは金剛園で記者クラブとの新春懇親会があった。これには県側は三役、総務、秘書、広報の各関係者がほとんど出席し、にぎわった。裏庭の紅梅が咲きはじめた。白梅には勢いが見られない。ローバイは知らぬうちに満開をこえている。

1月28日（木）晴

ポツカリあいた休日。午後は留守番。電話の工事人や立会いの秘書室の者が来宅し、電話テストで秘書室と何回もやりとりして時間がかかった。六時から山ノ上ホテルで県政懇の連中と懇談夕食会。竹村、小田、安達、高崎、杉山、八丁、衣笠、白石、橋口が参加メンバー。二期目の奥田県政への注文というのが集りの趣旨。以前から主張されていた知事室強化を含む人事のこと、東京での後援会を作ろうということ、この二点に論議が集中した。順風に帆をあげたように自信をもって前進しようではないかということで気炎があがった。九時すぎにおひらきになった。焦点は人事だ。

1月29日（金）晴

九時五〇分から読売新聞の医療表彰者のあいさつをうけ、十時半済生会近藤氏が来て、福岡病院の隣の県有空地購入申入れを伝えて来た。十一時、社保短の四年昇格協議委（第一回）に出席あいさつ。このあと、体協から国体についての予算要求（競技力向上など）、午後は人事課長から、秘書室強化など、組織改革についての素案説明があった。行革の大綱に沿った来年度施策ともいえる。林県議が来て助信氏への対応について意見あり、今日夕方予定していた私と彼との手打ちについては中止した。あいた時間、マージャンをして夜はおそくなった。

1月30日(土)曇

起床時から気分が悪かった。吐きけを若干感じたが、そうでもない。原因がつかめぬまま一日足許がふらつき便所に何回かしゃがんでみる結果にもなった。夕方には回復した。朝は八時半発で、九時半から二時帰宅まで来年度予算案の説明をきき、部長査定分についてはここで決定した。三役も了解。この原案は明日の社会党筋との打合わせにも使われる。中食をキングでとっていたら嶋津氏が入ってきて歓談のうちに終えた。議会棟池の横の築地の梅は満開だ。夜河野氏が来てマージャンを楽しんだ。

1月31日(日)曇

ぱっとしない天気だが春近しという感じが肌につたわる。墨を摺って書譜を書く。この頃は半紙でなくて便箋に細字で臨書している。中沢貞治先生から来た手紙に墨書で返信を書き、たのまれた色紙十数枚を準備していると時間が来て三時から山ノ上ホテルで社会党政策審議と来年度予算査定の討議に時間をあてること五時間、そのあと懇親のための夕食会となる。出席者は県議で林、長谷川、白石、豊島それに嶋津と八丁。県側は林副知事、池田出納長、永田室長、二子石総務次長、秘書室スタッフは家永、羽根。ゼロ査定の表を作らせ討議対象としたのが特徴。

2月予記

県の六三年度予算案^{マズ}作定で二月上旬は多忙である。今回は政府の内需拡大策のもとで県予算もはじめて一兆円の太台に乗ることが確実となり、昨年からいっているように、「実行と挑戦」の年にふさわしい予算編成が最大課題となるから、はりきりがいがある。博物館誘致については原課はまだ消極性だからみのりある誘致運動ができるように激励していかなければならない。知事室秘書室の強化構想も打ち出され、平和事業、職員図書室も芽が出そうだ。職員研修システムも来年度からは新研修所がオープンするから一新せねばならない。

2月1日(月)晴

十時半にソ連ジャーナリスト同盟代表団二人が表敬。一時すぎ、伊三男君が原田氏を連れてやってきた。田川での工事、養老院設立についてである。一時半から九歴の田村館長と九大の横山教授を相手に電通社の取材用対談をし、鴻臚館遺構、九州国博誘致問題を目的としたグラフふくおかの原稿の準備をした。六時から県評坂本議長、自治労岩田委員長を相手に浄水茶寮で懇談した。労働戦線の全的統一に、この二人は地域で努力しているわけで、今年のメーデーの統一や、公務員労組の統一行動に対する処分回復などが話題になり、二期目奥田体制の強化方向で見解の共通性が確認できた。

2月2日（火）晴

夜はまんまるい月が出た。九時半から県立美術館で「フランス革命とロマン主義」（朝日新聞、富士美術館主催）展のオープニング式に出席。あと記者会見。自民党農業関係県議の団体営基盤整備補助率引上げ陳情に対応した。中食後は各部の来年度予算復活要求に関する勉強会を行う。とくに国立博物館誘致活動費としてのビデオ製作費、跡地に関連しての福博プロムナード建設費については私の方から積極的に予算要求に組み入れるよう指導。五時から浄水茶寮に城野節子教育委員を招き、県評の大塚次長と面接してもらい教育現場の改善についての和解ムード形成について話し合った。

2月3日（水）晴

外気が冷い一日だった。書初会の時にもらった岸本先生の色紙が牧坂夫人から届けられた。九時半から六時半まで、中食一時間を除いて、予算の知事保留分について終日、各部長からのヒヤリングをうけた。明日はそれの三役調整になろう。新規要求がかなり芽を出すことになるはずだ。跡地、博物館誘致、商工振興など、さらには教育会館跡地処分を財源とする施策を予定しての要求も顔を出している。やや追風気味であることはたしかだ。国体施設やアジア太平洋博についてもかなりついでに。公共事業費が政府方針にしたがって大幅のびているのも今回予算の特徴である。平和事業（資料蒐集）、文書館建設への方向も見えてきた。

2月4日（木）

今日が立春。一番冷えた朝だった。十時から知事査定復活要求についての調整の会議。ずっと詰めて四時半までかかり、五時から夕食をはさんで社会党政策担当者との調整が九時頃まで。机に向うばかりで疲れてしまった。あとに残れば残るほど問題はドロドロしたものになってくる。知事の決断とはいったい、そうはかんたんにはいかない。あちら立てればこちら立たずというようなものばかりが残ってくる。一兆三百億円の規模になるのか否か、何が目玉になるかというようなことが気になってくる。明日が最後、知事査定は午後。あちこち陳情者も廊下を走りまわっているようだ。

2月5日（金）曇

春一番とかいって今日はまるで四月を思わせる高温。汗ばんだ。十時から予算の調整作業。午後一時から各部への査定申渡し。二時間余で済み、総額一兆三一〇億円ほど。はじめて一兆円台に乗ったことになる。どこともよろこんでくれた。5%余の増である。例により「やま祢」で西日本新聞社の招待の政経懇談会。七時までつき合った。二日間の予算案審議でくたくたに疲れたが、おさまりがよかったのでまずは快い。「幾歳月」は戦後の研究室生活が始まったあたりで行き詰っている。忘却も大きい、書き方を変えねばならぬと思いはじめ

ている。

2月6日(土)曇

午前中は身辺整理に時間をあてることができた。又寒くなり風も強まった。午後早く迎えが来て、秘書室みんなで明日のみゆきの誕生祝いの花をもって来てくれた。日本舞踊の協会がグランドホテルで第一回総会を開いて、私が県支部長ということで挨拶をした。藤間、西川というような知った幹部が顔を揃え西日本新聞、TNC が世話をしている。青木社長は文化人らしいいい挨拶をしていた。夕方、福銀の地下大ホールで、福岡青年会議所の総会があり、それにも挨拶。私は辰の年にちなんでやる気を起こしさえすればできるとの激励を行った。鴻臚館遺構、国立博物館、プロ野球など話題はいくらでもあり、今年は追風なのだ。

2月7日(日)曇

朝のうちに墨すりをしていたのに、結局役立たなくなった。ひる、板付に行って東平尾公園の国体メイン会場の造成工事進捗の状況をぐるっとまわって見、空港に行き、JAL で成田経由サンフランシスコに行く経済研修ミッションの出発を見送り、林県議永田室長ほか秘書室の者がどっさりうちに立寄りマージャンをした。わいわいってみゆきの誕生祝いのさわぎになった。小雪ちらつき寒い一日だった。直美が電話してきたが、スキーで骨折、びっこのまま勤務しているとのことであった。

2月8日(月)晴

明日の企業立地セミナー(東京・大牟田について)と在京推進委員会についての説明。それから十日の決算委員会に出される知事保留項目についての説明が中食前後に三役会の形でおこなわれた。二時、図書館を考える会の八人の女性たちの陳情があった。次いで中国画報社の日本視察団二人の表敬訪問をうけ三時半から県立病院の経営分析の結果説明をうけた。赤字がつもるばかりでどうするかが問題なのである。夕方、小西平太郎氏の義母の死去につき志免町までおくやみに行った。八時に帰宅。とりあえず姫路ゆきの用意の揮毫にとりくむ。

2月9日(火)晴

定例の庁議と記者会見のあと、上京。中食は機中でとる。TDA 機。午後二時から都市センターで大牟田に関する企業立地説明会。夜のレセプションまでの間をぬって、議員会館に細谷代議士を問い、大塚副知事問題を話し、東京事務所で斎藤武幸氏と会合。跡地問題につき黒川紀章氏と会ってみないかともちかけられた。午後六時からは東京の企業立地推進委の夕食こんしん会となり、これに午後八時までつき合う。とんぼ帰(返)りのようになったが、八時四五分の新幹線で名古屋に向う。夜行列車で帰福し、朝には小倉に着かねばならない。

2月10日（水）曇

ブルートレーン寝台個室。名古屋で乗換えて宮崎行きで、朝の九時に小倉着。そのまま市民会館に行き、北九市制二五周年記念式典に参加、祝辞をのべる。車で福岡に帰り登庁し、午後の決算特別委員会に出席。待たされ、午後五時半から開かれ、鬼木、高岡、中島、板橋の四氏の知事保留質問に対応した。七時すぎ、博多弥生で林、助信両県議と永田室長同伴で会談。これは先日来助信氏が私に対し幹事長をやめる云々で気嫌をそこねていた問題についての手打式でもあった。少々の日数をおいて冷静になれば了解できることではあった。助信氏もいいただけのことをいって気嫌を直した模様。よかったよかったということだ。

2月11日（木）曇

広島で乗りつぎの新幹線で姫路へ。ヤマトヤシキでの福岡県物産展のため出店者及び社長に敬意を表するためであった。キャッスルホテル内の食堂「はりま」で戸谷市長と社長が中食に招待してくれ、食後物産展会場を一巡し、激励してまわった。午後五時から龍野中学校の旧友ら十二人で懇親会が行われるまでの間、一時間、宮本市議ら数名の社会党地方議員が商工会館内で軽食による歓待をしてくれた。播龍での同窓会は広田、関口、足立、八木、雨内、松本、児島、平木、滝元、松井、本條の諸氏が集まったのであった。五〇年前の同窓生である。半分は久しぶりのことである。・・印は分れてからはじめてか。七時すぎ刀出に行き、吉田繁太郎氏も来て九一宅二階で話しこみ、ここで投宿。福原氏も同宿だった。

2月12日（金）晴

九一に送ってもらい、九時四五分姫路発新幹線で帰福、そのまま知事室での執務となった。佐々木人事課長が、部次長級の人事異動について原案を説明した。これがもとになって、次の課長ほか異動案が生み出されるわけで、いわば二期目の正念場を迎えることになる。人事についてはよくわからないと私が発言すると周りの者はそれを嫌う。もっと自信をもってわからなくてもわかったように振舞ってもらいたいとの気持なのである。酒造組合から焼酎の間税引上げ反対の件、糸田町長から町財政支援の件で陳情があった。五時半、八仙閣で建設同友会の新春懇談会があつて挨拶。建築部長らが同席だった。宴会はあきあきする程だが仕方がない。ここ数日睡眠不足気味だ。健康注意である。

2月13日（土）晴

久留米緑化センターの市場開設一五周年記念及び植木集荷所落成式のため、九時すぎ出発。きくところによると、この方面の名産地ながら、不況で収入がひどく落込み、植木農協は意気が上がらないとのこと。来年は久留米も市制一〇〇周年を迎え、世界のつつじ祭りを行うという。人集め、植木業の発展を念願している。景況がよくなればと願う。帰福して十二時四五分からの西日本歯科矯正学大会の開会式に出て祝辞をのべる。このあと室長の仕組み

で博多弥生で林県議を含めしばらく遊んで今日は六時前に帰宅できた。角川書店から九州各県別地名大辞典が届いていてびっくり。全七巻である。福岡県は土井仙吉氏が編集責任に名をつらねているもの。

2月14日(日)晴

ゆっくり休めた日曜日であった。例によって揮毫の宿題の数々を消化した。茶掛三枚、県施設標示、それに色紙十数枚。天気がよく窓からの光が快い。ひるまはストーブが不要。時間があつたので、平素気になっていたあちこち部屋の置物にホコリが積っているのを雑巾がけしてきれいにした。いい運動になったと思う。誰もしないので自分でやった。気分がせいぜいした。夕方河野氏を呼んで麻雀を楽しんで夜になった。角川書店に地名辞典の礼状も書いた。こういうふうにあれもこれも片付くと明日に向けて心も軽い。

2月15日(月)曇

どうも朝方のねむりがよくないので、ひとは疲れがみえるという。午前中は二つの集会、保育事業研究大会(電気ホール)、ものを大切にする県民のつどい(県庁講堂)——どちらも婦人が主役——に出席。午後は総務部長から一般議案の説明をうけたあと、県政懇二つ(農政連と県民クラブ)を消化した。前者は中食会をかね、両方とも庁議室での。主として予算案の説明で時間がかかった。原案にはそれほど文句はないようだが、何か一物ありそうではある。農政連は農業対策にもっと予算をめりはりつけられないかといいたいようだ。帰宅したら七時すぎだった。姫路コマをヤマトヤシキから送ってきていた。

2月16日(火)晴

九時半に福岡税務署に確定申告に行った。これは知事としての対マスコミ行事で収入はいくらだったか、追加納税はいくらだったか、税金は高いと思うかなどのインタビュー質問に答えて絵にすると同時に、税務署側では住民の納税意識を高めようというもので、個人としてはいい宣伝材料に使われるだけのものである。今日は県政懇としては公明党と共産党の二回。午前中は在日韓国青年会議所役員の訪問があり、五月の北九州市における日韓フェスティバルへの協力を私の方から訴えた。夕方、自治労中央の役員と中洲の網元で会食。春闘討論集會に来福中の人達だ。

2月17日(水)曇小雨

庁議、記者会見、代表者会議とつづいて、六十三年度県当初予算案の全貌が明らかに披露された。夕刊から新聞批評が出はじめた。インドネシアから大使が訪問。ひるの時間に野下県議が来て、凧あげ大会の案内を申出てきた。二時半、私学助成をすすめる会の陳情があつた。父母負担が大きく公立と開いているためだ。徐々に改善されたが、まだ全国で一三位でしか

ないという。三時から朝の放送打合わせ。これも新年度予算説明に話の重点があった。森山君が来ての話ではヤマトヤシキでの福岡県物産観光展は、昨年よりかなり上まわった売上げになったという。七時から政府税調委員の夕食会がグランドホテル日本料理店で行われた。市長も同席。

2月18日（木）曇

ひる、甘木市文化会館で武井善仁氏の園芸連葬があつて出席した。武井氏は一月二十六日にみかん危機について県に陳情し、その翌日心不全で亡くなった。盛大な告別式だった。私は弔辞を終えてすぐ引き返し、喪服を車の中で着替え、新幹線で大阪へ向った。ホテルプラザで大阪の企業立地推進委員会があり、遅れて到着、あとの夕食会に途中から参加する形となった。高浪社長は今回限りで委員会々長を退くことになったということだ。八時のANAで羽田へ。九時半にふくおか会館に投宿。冷い風が吹きどんより曇った一日だった。

2月19日（金）晴

東京では十時に自治省持永官房長に、大塚副知事の件につきお願いする件で訪問。十一時半から東京会館に南海石油開発の社長徳永氏に出向いてもらって、田口商工部長ら（有馬直方市長ほか）サントリー社の立地についてお願いした。二時、新幹線で名古屋に向う。五時からこの企業立地推進委員会を名古屋観光ホテルで開催した。十五人の委員に出席してもらい、夕食懇親会まで付き合ってもらった。これで今年の三地区の企業立地推進委は終了した。夜は少し遊んでナゴヤキャッスルに投宿した。

2月20日（土）曇

朝六時半頃に目ざめた。七時二〇分にホテルを出て八時二五分のJALで名古屋―福岡空の便。十時前に登庁して若干の事務を消化したが、本年度財政の二月補正について事務側の説明をうけ次の議会で提案するところにこぎつけた。県税収入がさらに八〇億円も伸び、財調などのゆとりもふえ、積立てが四五〇億円にもなるとの報告をうけた。一昨年は十一億円しかゆとりがなくなると非難されながら知事選に臨んだのとは様変わりである。二時頃には帰宅することができ、身の整理に余暇を使うことができた。

2月21日（日）晴

心配された天気だが、今日は温い快晴。十時から大濠公園で恒例のマラソン大会。青少年育成県民会議が子供から大人まで各層に分けて大濠を駆けて楽しませようというもの。これに開会式であいさつをしたあと、九電記念体育館で開かれた中小企業家同友会の二五周年式に参加。直方にとんで日ノ出橋河川敷での第二回凧上げ会に参加した。二千人近い人が手づくりの凧をあげる。ボランティアばかりでの開催だが、賞品はたくさん準備されていた。

有馬直方市長、井田宮田町長も参加。一市四町の青年たちの運動である。凧正さんから今年も凧をいただいた。あと多賀神社に参詣。新入の小料理屋三毎で協会の人達と一席もって歓談し六時に帰宅した。

2月22日(月)晴

代休という形で今日は一日在宅。おだやかな天気。みゆきは頭痛といって一日中ねていた。時々こんなことがある。食事はその辺にあるものを自分なりに食べた。昨日直鞍の活動家達と小料理屋三毎で歓談した時に色紙類をたくさん頼まれていたので、一日がかりで書いた。二倍色紙は紙面にうまく乗らず何枚も書きつぶしをしてしまった。いつものことながら勿体ないことになってしまう。字を乗せるということは難しいことだとわかりながらつい早書きをしてしまう。再度反省しよう。直鞍の同志達は皆熱烈だった。

2月23日(火)雨

久しく降らなかった雨が、昨夜来降りつづいた。水不足が心配されたが、これで少し緩和されたらいいが。九時から庁議と記者会見その他、在庁がつづき、あれこれ事務が進んだ。教育会館跡地がNTT関連会社に売却されることが二二日議会特別委で承認されたことが新聞に出て、今日の大きな話題となった。五時半から天神てら岡で県造園業協会の役員たちに呼ばれて夕食懇談会に出席した。これまでこの業界は反奥田だったが近づいてみようということのようだ。勿論当方に分けへだてがあるはずはなく、いい雰囲気では進んだ。七時頃帰宅。

2月24日(水)曇

九時半すぎ久留米つつじ農協からつつじ花の贈呈ということで来室。シンガポール航空日本支社長の来訪あり。三月末の福岡空港間の定期便就航につき記念式に招待する旨伝達あり。十一時から二月議会本会議で提案理由説明演説を行った。ひるすぎ西日本新聞稲積編集長ら来訪、国立九州博物館誘致運動の展望について打合わせを行う。二時から老人クラブ連合会との対話。四時半から弁護士会との懇談(東急ホテル)に参加。比較的暖い一日だった。春近しを思わせる。昨夜は早く目がさめて今日は疲れがみえたらしい。

2月25日(木)晴

九時半済生会病院へ。人間ドック入り。去年は選挙でそれどころでなかったが、今年はやはり必要ということで議会のあいまを縫って入ることにした。心電図、胸腹部のレントゲン写真、眼鏡点検もあったが、何とんでも中心は血糖検査。三時間かけて糖の出方をみるもの。それと肝機能の検査である。夕方小川院長がその結果の説明にこられたが、やはり糖尿と肝機能の結果はよくないとのこと。食事後はつとめて横になるよう勧奨された。毎度の勧奨な

がら業務環境がこれだとなかなか実行が伴わぬので困ったものだ。秘書室の女性、藤本、山口の二人が花束をもってきて見舞ってくれた。「大いなる人間模様」を読み返す。

2月26日（金）曇後雨

午前中に検査は終わった。眼底、エコー、胃透視である。胃の結果は明日でないとわからないが、左眼に軽い出血がみられるので糖尿の影響ではないかとのこと。エコーでは異常ないが、昨日の血液検査の結果では肝機能の GOT、GPT が異常に高い数値になっているので要注意とのこと。漢方薬を処方してもらった。疲労の累積ということだろうか。十二時に退院し、時間があいたので、安東氏に連絡したら OK ということだったので、教養部に寄った。図書館三 F の会議室を使おうということで数人を集めてくれた。明後日入試とあって、みんな忙しく動いていた。一時間余りいて、中沢貞治氏を茶山の自宅を訪ねて十分ほど歓談した。あのあたり家が建てこんで昔の面影はなくなっていた。

2月27日（土）曇一時雨

柳川高校野球部の甲子園出場あいさつで校長、選手来室。十時から死亡者叙勲伝達式。十一時から国際協力事業団総裁が来訪、北九州国際センターにつき協力の意思交換。十一時半福大新聞部の取材に対応した。一時から農協会館で共済農協の小中学生作文コンクール入賞表彰状授与式があった。二二万人が参加したという。第二三回のコンクールである。帰庁して二時から四時まで佐々木人事課長から四月異動の草案につき報告があった。早目に帰宅。近頃書譜を臨書している。

2月28日（日）晴後曇

おそくまで床にいたが、やはり途中小用後のねつきが悪い。一日中筆を執っていた。書譜の臨書と半截もの、色紙などを書いた。目的なしに書くのもまた意味がある。一時半に迎えが来て、KBC 放送が春の選抜野球大会出場の柳川と福岡第一の両高校の選手をばげます集をしているのに出演した。KBC は改装して、通りの隅にかなりな広場を作り、そこには五〇〇人ほどの高校生達が集っての催しになっていた。九州から四校、うち福岡から二校も出るというので、みんなの期待が集っていた。そこで将棋の林葉さんにも会った。

2月29日（月）雨

九時半から庁議室で食品加工団地組合の古賀町立地につき、知事立会の調印式が理事長町長間で行われた。十時半から町村長会の定期総会があり祝辞をのべる。一時から三 F でフロンティアシンポがあり清山さん達が講演した。一時半、上海の斎田さんが円日さん同道で知事要請といって来室。福原氏が原課に紹介し処理してくれた。聾啞学校の交流の件とインタナショナルスクールの件である。あと九大文学部の柴多さんが、九大七五年史執筆の件で

学園紛争に関連して私から取材するため来訪、二時間ほど対談したが話しはすまないまま時間切れになった。理髪ののち、五時から「てら岡」で長谷川仏壇社長ら九州経済フォーラムの幹部の人達と夕食こん談会。池田出納長も同席。

3月予記

「二月議会」で三月は暮れる。当初予算の審議が主要課題だが今回は税収の伸びもあって久しぶりにゆとりある気持でこれに臨むことができる。ただ農政問題、新北九州空港、三不況地域の問題、跡地問題は何らかの対応が迫られるだろうし、うまくやらないと虚を衝かれることもありうる。ゆとりがあればあるだけにケチをつけようとする議員があるものだ。それに、人事についてもっと意を用いなければいけないようだ。秘書室のスタッフ強化については早くも自民党あたりから反対の声があがっている。どう乗り切るかだ。

3月1日(火)

代表質問はじまる。例によりテレビがはいるので一時十分からが本番。今日は井上雅実と白石巍の二人。自民党と教育長が打合わせの上知事攻撃をしてきたが醜悪低劣を曝露したにすぎない。でも攻撃される側に立てばまずはカッとくるのもやむをえぬ。しかし怒らぬが勝ちだろう。午前中答弁検討をしている中に労働四団体による最低賃金に関する要請訪問があったし、本会議終了後も三役会が七時近くまで延々おこなわれ今日は疲れてしまった。夜は又山ノ上ホテルで情報公開審査会々長の手嶋教授の慰労の会があり、帰宅したら九時半だった。まあよくもこれだけ使われるもんだと思う。月給半分でも仕事を半分にしてほしい。

3月2日(水)晴

九時に小山県議が玄海町長同伴でリゾート開発につき来室。つづいてフランス上院議員の視察団来庁、地方自治についてである。一時一〇分から県議会代表質問。今日は農連の関、県民クの近藤の二人。最後に私の答弁で一寸荒れたが議長が閉会を宣言、問題は明日にもちこされる模様。五時から博多弥生で浜中、住吉グループと林助言の県議らの集りをえて知事、林副知事、出納長、秘書室長らが寄って懇親会。積る不義理につき席を設けて溶解し合おうということである。今日の私の庁内行動はKBCが密着録画した。

3月3日(木)晴

空気が冷い一日だった。代表質問の三日目、江頭と下川。江頭はかなり毒ついてきた。票になると思ったのであろう。それとも自分を大きく見せるためだろうか、かなり低次元の動機でしゃべっていたように思う。本会議がはじまる前に昨日の本会議の後始末の議運での私の陳弁と本会議冒頭における議長の「知事への注意」発言があった。議会が常に正座にいる

という性念は議会にとってもよろしくないのではなかろうか。今日の答弁中にも自民か県民クラブかどこかでかなりヤジがとんだので、私の答弁は二度もとぎれた。議席を私は見据えて息を呑んだ。下劣なことが、支配の位置についているわけだ。六時から玄海荘でYWCAの湯口恵さんが名古屋に転勤されるについての送別会があった。三〇人ばかり。女性が多い楽しい一時であった。

3月4日（金）晴

今日から一般質問に入った。薦野、岩佐、瀬川、津留、中島、豊島の順で中食をはさんで二人と四人。四時に本会議終了後アメリカ総領事ら、インタナショナルスクール認可のことで知事室にあいさつ表敬。他の行事もなく五時すぎには帰宅することができた。一般質問はとくに問題なく経過したので、今日は楽な一日といえた。昨夜のYWCA湯口さん送別の時来集した岩崎隆次郎氏が六時から最後のNHKラジオFM放送に出るということだったので、夕食をしつつ彼の声をきいた。顕著な活動をした人で私より十歳若いのだが、定年で退職するという。惜しまれる。健在を祈る。

3月5日（土）晴

九時半に外務省のアジア局渋谷参事官が来室。富士山丸のことで首相発言の対応につき外務省の立場の説明があった。十時半から青少年問題協議会がセントラルホテルで行われ、中食をふくめ話し合った。二時半には帰宅でき、そのあとは夜の十一時頃まで色紙その他、たまっていた揮毫依頼ものを片付ける仕事に従事した。一気に片付いたのでスキッとした気分ですぐに就寝できた。青年の非行、子供の学校ぎらい、犯罪など、豊かさと甘え、親の放置・不和・離婚など近頃特有の原因が次々に指摘されたのであった。

3月6日（日）晴

依然外気は冷い。公務なし。昨日につづいて墨筆に時間をあてる。主として書譜の臨書を伸ばし、三回目を終えた。便箋に四六枚で一回分。この三回目は十日で書き終えたことになっている。四回目にはいるが三割ほどわかったような気がする。近頃思うのだが、高野切れに時に出てくる漢字の草書体が、書譜に似ていることだ。高野切の筆者の一人紀貫之は十世紀はじめに活躍し、孫過庭の書譜は六八七年撰とあるから、後者の影響が強くあらわれることは理解できる。研究したわけでないから何ともいえないが……それにしても、どちらもすごい文化の発展が裏にあったことを思わせる。黒川紀章の「共生の思想」を読みはじめたが、先達の英知を知るべきである。

3月7日（月）小雪、後晴

朝のうち小雪がちらついた。寒い。一般質問の二日目だが、順調に進んで三時すぎには議会

日程が終り、決裁などすませて四時すぎに帰宅することができた。望外の閑を味わうことができる。県議会も、もつれがなければ今日のように順当さを発揮する。秘書室も議会中はなるべく知事行事を少なくするとの方針で、今日は他の行事は決裁のほか何もしないということになった。ただ知事答弁をすいすい納得してもらおうようにする結果、今後への執行予約がたくさん積ってくる。今日は新北九州空港建設のため、対策室を設置し、漁業補償に立ち上り、又富士山丸事件につき外務大臣に会うなど宿題はどんどんふえていくわけだ。

3 月 8 日 (火) 曇、小雨

重い曇天。小雨もあった。冷い風が吹いた。本会議が始まる前、春の選抜甲子園に出場する福岡第一高校から理事長、校長、主力選手らが挨拶に来庁した。色紙「勇躍」を贈り激励した。本会議一般質問は今日も順調に転んで四時前には日程は終わった。途中中食時間に代表者会議が開かれ、「二月補正」についての知事説明を行い早期議決を要請した。佐賀大の伊東勇夫氏が定年退官ということで「協同讃歌」なる著書を届けて来た。特研生時代からの九大農学部出の知り合いで、おだやかな人だった。五時に帰宅。手紙を書いて夜はふけていった。あすまで頑張ろう。

3 月 9 日 (水) 曇

寒さややゆるむ。本会議は冒頭^{ママ}二月補正の提案理由説明を行い後、残り^{ママ}一般質問に入り、三時半には質問も終了。帰宅したら五時だった。この前の人間ドック以来、秘書室も私の体調に気づかいして、なるべく行事を入れないよう心がけているとっていて、この数日可能であったので帰りも早くなった。時間もあるので書譜の漢文体の書きおろしをはじめたが、解しえぬ言葉が多すぎてわからない。辞書をひけばわかるかも知れないが、一寸歯がたたない。辛抱強くしらべることにしたい。眼鏡が合いにくくなったと感じはじめた。度が進んだのだろうか。県議会一般質問が終わったので、まずはほっとしている。

3 月 10 日 (木) 曇

十時から福岡市歴史資料館へ鴻臚館出土品の見学に行った。カメラ、記者にどっと取り巻かれ大変だった。あと一日ゆったりした日程で、かなり読書もできた。一時半から公害対策審があってあいさつ。六時半からはニューオータニで草月流パーティ。六〇周年記念の草月展が大丸で開かれ、オープニングパーティになったわけ。床の間から近代建築、大風景を背景とした生花へと適応していく草月流が強調された。夜になって「小りん」でマージャン会に参加し、帰宅は十二時になってしまった。県議会は総務委員会が筋書き^{ママ}どうりかも知れないが教育会館跡地処理について問題化し空転したという。特別委で OK になっている問題なのに……

3月11日（金）曇後雨

ひる頃から雨。風もかなり出た。午前中は在宅して色紙など書いたが午後議会総務委員会が知事の弁明をききたいといい出席。いたずらに時間が経過。事無く進んだが帰宅は七時すぎとなった。教育会館跡地処理についての苦情である。それほど巻きついてこなくてもよいのにとと思うが、面子もあるのだろう。梅も終り桃の時期になったようだ。お堀端の柳もうぐいす色になってきたようだ。もう明らかに春だろう。この雨風がその境になるように思われる。菜の花、土筆の便りもきかれる。三月八日が国際婦人デー。福岡県の婦人集会は明日という。みゆきが代理出席となる。

3月12日（土）晴

ポカポカ照って春を呼ぶ。朝食の時に裏の梅林に鶯鳴をはじめてきく。昨夜からの連絡で八時すぎ何者かに窓ガラスを破られた中国総領事館を訪ね、遺憾の意を表明。東京事務所からも中国大使館にその意を伝えるよう指示した。福岡県のイメージダウンに又一役かった暴力事犯である。十時四〇分から行橋総合公園で植樹祭があって出席。このあと時間があったので下関までとぼし、関門橋たもとのレストランで中食、赤間神宮に立寄った。宮司から参詣署名を求められた。三時から門司の婦人センターで対話のつどいに出席。久保、松永両県議も出席した。老人介護の話が出たのが印象的。五時までに終り、帰宅したら七時前だった。関門海峡の潮流は美しかった。

3月13日（日）晴

休み。全くの春快晴で自由時間があったので、気になっていた風呂の流し台の修理洗濯をした。汚れがひどく、手間がかかった。又洋蘭を外に出し、蕾のついたのには杖を立てたりした。今日も鶯がいないし他の小鳥も楽しそうに姿をあらわしていた。余の時間は書譜の臨書と扁額用の書きだめ揮毫にあて、ずいぶん書き進んだ。暖房は全くなしですごせた。近頃ひらがなは書かないので気になっている。中国領事館事件は全国的な問題になっているらしい。盗難車で犯行しているらしく、その車が九大教養部西側で発見され、持主もつきとめられているようだ。

3月14日（月）雨

明け方からひどく降り、明けてから暮れるまで小雨が止まなかった。暖房していると汗が出る。十時に大刀洗町への近畿電機の立地調印式。知事は立会人だった。十時半苅田町から町長、議長らが企業立地援助について陳情があった。五時十分から県議会本会議。二月補正など早期議決要請分と中国総領事館襲撃事件に関する議決を扱った。土木委員会が道路公社の赤字問題で審議に手間どり、亀井時代に行われたスト処分についての県職組提訴分の判決が明日言渡され敗訴を見込んでの対応について林副議長と職組の打合わせがあるという

のでそれに関する協議。他の時間は余って今日は読書。七時すぎ帰宅。色紙五枚急ぎの分を書いた。

3 月 15 日 (火) 曇

筑後市に行ったあと、八幡での葬式、そして上京という日程が狂ってしまい、上京なしとなった。筑後市では造園業日本庭園コンクールに出席。県議会の模様がかわったから早く帰福との連絡。今日午後早く県職労の十七年も前のスト処分違憲訴訟敗訴の判決が出るので、自民系から予算委で知事質問になるとのこと。とりわけ原告の中に多数の管理職の者がいるが知事はどう思うかというのがポイント。質問者は北九の吉村。偏見の持主で若さうなので妙なことをいい出して一度開かれた委員会も冒頭で休憩に入り、一問一答式はやめてすり合わせた通りにやろうということでやっと七時半頃にケリ。労使問題に偏見をもち、予算と関係のないことで空転させられ大迷惑だった。

3 月 16 日 (水) 曇

六時すぎに起き、朝食抜きで空港に行き上京。近くのレストランで小休止ののち、約束の十時に中国大使館に入った。章大使に面会して、先日の福岡総領事館襲撃事について、県下で起ったこの不祥事に詫びると共に可能な限りの経過報告をした。議会の決議も見せ、県民の意のあるところを理解してくれるよう求めたが、章氏は犯人の処理がうやむやになっては両国間の友好にひびが入ることを強調した。未聞の事件であるからだ。このあと外務省に行き、アジア局長に会い、この件と富士山丸事件につき陳情し、JAL で引きかえし、三時半登庁。決裁など所用をすませ、六時から三光園で農政連県議との懇親会に出席した。十一時半帰宅。

3 月 17 日 (木) 曇

池田運輸が苅田二号地に立地する調印式があって知事立合いとなった。二号地売却の第一号でこれからが期待される。十一時からサンヒルズホテル (警察共済) のオープンに向けた落成式があった。吉塚駅東でこれまで荒戸にあつたものの新改築。ひとわり見学のと、祝宴には出席せず、このあとの行事もないとのことで、そのまま帰宅した。十二時すぎで中食はわが家で。議会のなり行きもあるので自宅待機ということではあったが、何事もなく、このままに過ぎ、休業となった。便秘がまた起ったのでセンナを吞んで処理した。書譜ばかりに時間を費した余暇となった。

3 月 18 日 (金) 曇

十一時にオランダ村のチューリップ嬢 PR 一行の訪問をうけた。午後は朝の放送の打合わせと議会委員会の知事保留質問についての勉強会。他の時間は自由。もちろん近頃は年度末の

補正予算経費さしくり作業が進むため決裁事務がどんどん来る。六時半リーセントホテルで自治労の樋口隆夫氏定年退職のためのはげます会があって暫時おつき合い。帰宅してみたら中山日出子さんが来ていて話して行った。先日草月流の会に出っていたので、小原流の会にも出てくれとのことでその説明が目的だったらしい。「社会主義」誌が今月から「進歩と改革」に変更されたとかで、その初刊行誌ももって来てくれた。

3月19日（土）曇

十時から市の南体育館で「いきいき健康フェア」が二日間の予定で開かれ開会式に出席。このあと済生会病院で定期検診。十二時から農協会館で、食料農業者消費者の総決起大会があって挨拶。国会議員も多数出席し、牛肉オレンジ米の自由化に反対する気焰をあげた。とくにアメリカの圧力に屈するなという趣旨である。五時からステーションプラザで県医師会総会後の懇親会に出たのであるが、この間の時間つぶしに菜の花摘みをしようということになって飯塚の河川敷を選んだ。藤本さんもみゆきも同行。青い草の上で弁当をたべ、菜の花摘みをした。

3月20日（日）曇後雨

議会中というのに、二日間の連休がえられたのは何よりだ。ただ宿題のため、また一日を揮毫にあてた。秘書の福原氏から頼まれた李白の詩「朝辞白帝」はかなり出来上がりに手間どった。ひまつぶしと思えば苦にはならない。書譜も五回目となった。少しは孫過庭の字に馴れてきたように思う。夜になって時間もあるというのでマージャンの話になり、内田補佐に電話したら OK というのでもう一人を頼んだら篠栗から福原氏が来て、夕食を共にしてのち、夜ふけまで楽しい時間をもつことができた。便秘が心配。それに一寸頭痛がある。

3月21日（月）雨

今日も休みだったが一日小雨がつづいた。昨夜おそかったので起床は九時すぎだった。することもなく書譜を臨書した。かなりなれたようだがまだ文字によっては筆の進みが誤ってくる。書譜に関するものを読んでみたりした。真書と草書の区別があり、真とは点画を形質とし、使伝を情性とす。草とは点画を情性とし使伝を形質とするとある。使伝とは運筆をさすという。何だかわかったようだがぴんときない。又書の技巧としては執（筆の持ち方）、使（縦と横牽制）伝（曲折）用（均衡）の別があって心技合一たるべきことを述べているという。分布というのは文字の形、構成、位置のとり方をいうらしい。書いていてもわからんままなのだ。

3月22日（火）曇 小雨

七時すぎ衣笠氏よりの電話で八丁氏が広瀬病院に緊急入院とのこと。早目に出て、衣笠夫

人、みゆき同行、見舞に行った。機械による人工呼吸をしており、その後の連絡では九割はダメとのこと。クモ膜下出血らしい。意識もなく重篤である。今日は重ねて凶の日。森下公平さんの葬式が一時から福岡斎場であり、又、元秘書室森山氏の義母も葬式とのこと。それぞれに対応はしておいた。五時半から、やま柵で北九市長末吉氏と要談。福岡北九都市高速道路のとくに北九市部分の赤字問題への対応が今県議会でも問題化しており、もう避けて通れないので抜本的方策で県市が協力し合おうということ。住吉、助信、永田室長の三人が立会という形である。

3 月 23 日 (水) 曇

今日も議会の動きを待機。十時に「お布施事件」福岡地裁判決が出て、新聞記者会見。つづいて予算特別委員会の緊急知事質問となった。質問者は福岡の井上雅美氏。判決は諸岡・山根の二人に対する有罪となったが、知事の政治責任をどうするのかというもので、五八年六月議会に於けると同じ答弁をした。辞任云々をはっきりせよとせまったので、県政振興に努力するとの答弁に止ったため、井上氏は、又の機会にすると矛をおさめた。県民の会は山川氏を立ててみゆきを伴い、二人の被告の家にあいさつに行った。夜はやま柵で商工中金理事長来福招宴があった。

3 月 24 日 (木) 曇後雨

議会の最終日。委員会などの成り行きを三役控室で見守りながら経過していった。土木委員会に呼び出され、公社問題で知事決意表明が十六時すぎ。集約的な予算特別委知事保留質問が一九時四五分から二時間。そのあと最終日提案の人事案件代表者会議が二三時とずれ込み、ここで議運理事長の三木氏が荒れ出して、今日の混乱が始まった。教育委員候補提案は三木氏らの意見に従ってわが方も撤回したものの、三木氏退場で本会議でのしめくくりに至るまで事を丸めるのに時は流れるばかり。議会は遂に一日延長となり全関係者徹夜の状況に陥った。

3 月 25 日 (金) 雨後曇

本会議開会は午前二時四〇分の議運を経て三時三〇分からとなった。これですいすい終わったのが五時前。あいさつまわりなどして帰宅したのが五時半だった。風呂に入って就寝。外は昨夜来の雨だった。十時に目ざめ、又二時に起き出た。八丁和生氏が十一時四五分に死亡。夜七時から通夜という。六時すぎ迎えの車で高宮の彼の家にみゆき同伴で行った。知人もたくさん詰めかけていた。娘さん二人はまだ成人していない。下が高校二年というから、奥さんもこれからが大変だろう。娘さんはしっかりした人として成長するに違いない。読経のあと帰宅したが、文字通り無常というものを感じさせられた。

3月26日（土）曇

問研の木下君から電話があり、今日は弔辞をのべてくれという。用紙の準備はできないというそれでもいいという。朝から原稿を作り筆をもつ。四時からの八丁氏の葬儀にはまに合った。杉山氏の随行で野間の飛鳥会館に行って葬儀に参加。私と衣笠、それに友人代表の三者が弔辞をのべた。一時間余で終り、六時頃に帰宅できた。二〇〇人ほど多くは知人が参加していた。衣笠氏ものべていたように、彼は健康を無視するまでに仕事にはげんだ。誰も見えてくれないから損をしたというしかない。

3月27日（日）晴

すばらしく晴れてまさに春の一日。十時半に百道の新築成った松風園を一巡視察。あと落成式、四〇周年記念表彰式。十三時半からは市民会館・須崎公園での県民春闘フェスティバルに顔を出した。今年から趣をかえての春闘行動で、家族連れをまじえ、恵まれた春日和を大勢で歌や買物などで楽しんでいた。県評の人にきいたら八〇〇万円かかったとのことであるが、時代が変わりつつある近年、従来のような演説やこぶしを振り上げるのではついてこなくなっているのである。四・五%一万円ほどの賃上げが話合われているときく。労働運動もかわってきたものだ。

3月28日（月）小雨

十時から玄海レクリゾート関係の北九州市ほか六町の首脳による陳情（県道の国道格上げ関係）があった。農協中央会総会、はかた地どりの試食会（八仙閣）と外まわりをしたあと、二時に建築設計家の黒川紀章氏の来訪をうけた。県庁跡地利用について関心があるので話題をそちらに向けた。くまもと経済社の研修団のインタビューが九〇三会議室で一時間近く行われ、決裁などしたあと、六時半からニューオータニで、今日初便のシンガポール福岡定期航空就航祝賀会があった。福岡の格が一つ上ったことになる。

3月29日（火）曇

定例の庁議、記者会見。定例県議会の回顧と決意をのべたのだった。十一時から筥崎宮の隣に新築成った粕屋総合庁舎の落成式、つづいて記者クラブでの転勤記者お別れ会。さすがに年度末らしく、五人の記者が入れかわるが、当方も退職者への知事あいさつや年度はじめの新採職員に対する挨拶要旨の検討に時間を費した。又帰宅後は、教養部の執行嵐氏の退官祝賀会へ届けるメッセージ書きに時間を費した。否応なしに年度がわりの送迎行事がやってくる。八丁氏が亡くなって、退職金や年金についてどうなるのかきいてみた。何とかなるようだが、退職金とでもいえるものは三〇万円月給の勤務年数倍数は工面すべきだろうとのことだった。

3 月 30 日 (水) 晴

夜おもいがけなくも入院することになった。済生会病院のいつもの部屋。朝起床の時、ふとんの上でよろけ倒れ、その後、便所や洗面所でも足がふらついた。公用としては十一時からの職員研修所の落成式(大野城市)には参加したが、夜の脇田温泉における単組委員長会議はキャンセルした。落成式から済生会病院に直行して診断を受けたが、脳に若干異常があるので入院休養するのが好ましいとのこと。秘書室は日程変更など大忙しとなった。夕方まで点滴などで休養をとりながらベッドですごし、七時に入院準備のため一たん帰宅、夕食をすませてから八時すぎ入院体制に入った。福原藤本の介添えだった。

3 月 31 日 (木) 晴

春らしくなって気温も高く桜花ほころびはじめたようだ。病室の一日。副知事、出納長、福銀、県民クラブ、津田、登島、井上さん、藤江君ら見舞に続々来てくれ、部屋は花一ぱいになった。林副議長も来てくれ語り合った。私の入院が報道されみんなに知れたのだ。コウ君もわざわざ来てくれた。血糖値は昨日は三〇〇をこえていたようだが、今日は一八〇に下がった。脈も正常にもどった。足がふらついたのは背骨髄の血管に若干異常があるのに関連しているに相違なく、安静により回復するだろうとのこと。秘書室は手をとられるし、副知事出納長にも代行を頼んで迷惑をかけている。和代にまで知らせた人がいて問合わせがあったとか。

4 月予記

突如の入院で新年度のすべり出し。先月二十五日に八丁が死ぬ。今月八日には都留の死が伝わる。凶のスタートだ。用心が肝腎。月の中頃に上京、みゆきも同行の観桜会。チャンスを利用して一彦のうちを訪問することにした。二女の麗衣が中学校一年に進んだという。孫も二人は勝手にモノを考える年頃になった。ライヤが写真を送って来た沙理の姿。満二歳をこえ、ひとかどの娘らしくなってきた。言葉もかなりおぼえたようだ。肉身であっても生活が別だと、自分は自分、ひとはひとという今の世相。どうも…

4 月 1 日 (金) 晴

昨日は退職者、今日は新任者への講話をなすべき日だったが、大塚副知事が昨年同様私に代わってくれた。一日に四回採血の検査、尿糖測定があったがだんだん平常にもどってきたようだ。田中光夫さん、松岡県議が見舞に来室してくれた。助信幹事長も。知事入院ということで、あれこれの風評が誇大に立っている向きもあるとのこと。秘書室の羽根が企画監に、内田が福岡商工事務所長に転出することになり挨拶かたがた来室した。小川院長が退屈しのぎにと、借してくれた「生と死の教育」という本を少し読んでみたが、家族の崩壊という現在将来の傾向について強烈な問題提起を受けた次第。

4月2日（土）晴

午前中、腹部エコー検診をうけたが異状はなかったとの所見であった。秘書室から手伝いに来てくれて、退院することになった。松岡県議、田中光夫氏が見舞に来てくれた。三時、一抹の不安を残しつつお礼を述べて退院した。大濠の柳の黄緑の若葉が目を引き、沿道の桜が一輪一輪と咲きはじめ、確実に春の来訪をつけていた。三泊四日の入院。直接的には休養になった訳だが、小川院長が又足がふらつくことがあるかも知れないから用心をといわれたのが気にかかる。人生一つの節目に来たことが確かに自覚された。新婚旅行をすませたという藤江君が来て、森祐行氏を呼んで夜はマージャンをした。いいかとの疑問は残る。

4月3日（日）晴

朝のうち、西の縁側のカーテンレールの復修に時間をとってしまったが、蘭の手入れなど気になりながら好天を利用することなく、屋内仕事で一日を費した。八丁君を偲ぶ会が六日にあるので、告別の辞を書いてくれというので、それをすませ、長谷部氏の自叙伝の序文書きも頼まれていてそれを書いた。八丁氏のは又筆で書いたので手間がかかった。中西忍、安部すみ子の二人から電話で入院見舞があった。知事というような位置にあると、家での休養は申開きができないので、入院となるのだが、入院も公用のうちということになってしまうのである。みゆきが私の求めで過去の家計簿を探してきてくれた。幾歳月の資料になればと思う。

4月4日（月）霞

晴れともいえぬ春霞。桜花は二枚三枚白いのを見せている。十時に全国制覇をとげた東海大第五高校の選手達があいさつに来庁。十一時には町村長会役員揃っての陳情。ダム、国保、農業、産業廃棄物の四項目でいずれも困難な問題ばかり。中食は外で（蘇州）。あと県庁のまわりを散歩。一時半博多の大物大神健太郎氏葬儀に出席。庁内での用件をすませたあとの帰路、高田光雄氏の通夜に出席した。八丁氏と同様に脳の故障で急死とのことであった。堅粕地区の解放運動のリーダーで市議の回数を重ねて現役である。わが身につまされて用心せねばと思ひ直した次第。帰宅は七時。夕食後、入院中に見舞に対して礼状をまずは四通書いた。どう処理していいか困るのがまだ残っている。街に子供があふれていたのが印象的。春なのだ。

4月5日（火）霞

少々早い定例の庁議と記者会見。十時半からのアジア太平洋博の起工式出席に合わせるためだ。会場のシーサイドももちろはさすが広い感じ。一年足らずの間に博覧会の準備完了をせねばならない。帰庁して中食。午後は毎日新聞社が私の軍隊時代の毛布について取材した。二時からは宗像市長選で花田陣営の会見申入れをうけた。相手方は西日本新聞出身の滝口

凡夫氏だ。五月の選挙。四時から広報室の取材やレクがあつて六時半、中洲の「てら岡」で浦上建築都市部長の愛知転出の部長会の送別会。早目に帰宅し入院見舞礼状七通を書いた。

4月6日(水)晴

十分に眠れなかつたので、午前中ねなおしをした。一時から大手門会館で八丁和生氏の有志告別式があつた。社共労、学から大ホール一ぱいにつめかけた。東京ほか遠くからの人もあつた。衣笠氏がまとまった八丁氏の活動歴の報告を行った。弔辞は四人で、私も知事として一番に読んだ。簡素の中にも重々しさがあつたし広さもあつたので故人もよろこんでくれたであろう。このあと RKB スタジオで「県政サロン」の録画。六三年度予算成立がテーマであつた。二回りハーサルをした。五時前に帰宅。福原、清水の二人には裏の甘夏を取ってもらせた。体調のバランス作りをもっと考えねばならない。

4月7日(木)曇小雨

花にはあいにくの雨。十一時から全日空ホテルで福岡北九両商工会議所会頭との懇談と中食会。はじめての試み。一時半からリーセントホテルで全国身障者スポーツ大会実行委員会総会、常任委員会があり、スタートを切った形となる。県と両政令市で展開される「とびうめ国体」後の大イベントだ。五時からニューオータニで稲富稜人氏を囲み感謝する集いがあり、有名人が広い範囲でかけつけて大きな集会となった。早目に切りあげて六時半からの記者クラブとの花見会に出席。例により西公園の鶴来見亭である。広報室や秘書室の者も加わっていて大にぎわいであつた。桜はもう四分咲きにまでなっている。八時半に帰宅。ゆっくりしていたら十一時すぎ電話で都留大治郎氏死亡の報に接し、コメントすることになった。二月十三日大やけどしたためという。

4月8日(金)曇一時雨

豊前市での市長会に出席。十時半に出発し、一時半に会場ニューいずみに着く。あいさつして門司にとばす。TNC の要請で、関門橋をバックとする港埠頭で、瀬戸大橋を以て日本の四島が結ばれたことを祝福するメッセージを四国の人に送るという企画に協力。北海道でもやるのだそう。風が強かつたが、この録画の時は一時晴だった。すぐ県庁に引きかえし、職員組合から、今回の定期異動に関する苦情をきく。組合運動をした者が依然不利な扱いをうけており、士気と奥田県政への評価に悪影響があるとのことであつた。福岡斎場に急ぎ、都留大治郎通夜に出る。中楯、原田らがいた。稚加栄で日本赤十字山本社社長来福を迎える招宴があつてこれに出席。八時半帰宅。ごろごろして余の時間を過す。

4月9日(土)晴

曇一つない快晴。日赤今津病院の改築落成式・祝賀会が十時すぎから行われた。昨日からの

山本日赤社長、そして私が支部長としての式辞を読む。永倉、桑原氏も、そして西区の県議も、福岡都市圏の首長も。老年病センターとしての新しいスタートは結核を主とした今津病院の衣替えである。今日の日程はこれだけだったので帰路谷公園に立寄った。教養部の新入生のオリエンテーションの一团がいて、私に一言あいさつしてくれるといいというので快諾。夜は上田、河野両氏が来てマージャンを楽しみ、おそくなった。

4月10日（日）晴

児島坂出ルート of 瀬戸大橋が今日開通し、高松・宇野間の鉄道連絡船も使命を終った。一時から高田光雄市議の告別式が堅粕の記念会館で行われ出席。長男が後継者として市会に出ようということになったと報告された。部屋の中にいるのが惜しい天気。桜も六分咲き。外に出て草抜きもしてみたが、万物萌えているという感じだ。揮毫の宿題があったのでそれにかかった。玄羊会書展に出すのも今日仕上げたかったが一寸気に入らぬまま墨がかれたので中止した。明日は一日の幹部につづき一般職員の異動日で、一寸した重労働の日程になっている。

4月11日（月）晴

一般職員の辞令交付の日。そのうち役職者は三階講堂で三分区分して知事訓示を伴う式があった。所要時間二時間半。立ち疲れがする。十二時半からサンパレスで税制調査会公聴会関係の中食会があり、小倉会長らと一しょであった。四時から三〇分春闘関係で職員組合との交渉に出席。賃上げ、四週六休制、被処分者差別扱いの三点が出された。他の時間は室内での執務。主として明日の記者会見に出そうな話題についてである。今日の人事異動は二〇〇〇人をこえるという。秘書室も定員三人増で、内田、羽根、福原が去ったので新人六人ということになった。主たる随行者は福原に代わって斉藤君、杉山が室長補佐（内田のあと）に昇格した。帰宅六時半。

4月12日（火）雨

定例の庁議につづいて記者会見。文化百選のまつり、行事篇ができたこと、農業白書、緑化計画のできたことが話題になった。環境整備局長の話で、産業廃棄物の問題がだんだん追いつめられ、県も態度決定せざるをえない段階だとのことであった。この秋北九州市で行われる伝統的工芸品月間推進大会の協議会が庁議室で開かれ準備スタートすることになった。三時から特一会議室で都市高速道の永久的大赤字について対策を協議した。とくに北九州道路が処理不可能なまでに放置されており二月議会でも大問題になり、五月末までに解決方途を見出すと議会で約束した経過がある。八方ふさがりで、解決策はなかなか見出せない。池田出納長を責任者として方途を探す方針である。

4 月 13 日 (水) 晴

産廃問題で福岡町長らの陳情があった。上水道取水口の上流に立地することに反対との署名者二万余、住民の八割は反対という。午後、中国のマルクス主義研究所からの訪日団四名の表敬をうけ、五時半から広州酒家で市との共催で歓迎会を開く。公明党県議らがこの訪日団の仲介者であった。ソ連、東独、朝鮮にも同様の研究所があり、交流をしているらしい。共産党幹部養成もやっている機関である。歓迎会を途中で失礼して JAL で上京。九時すぎに羽田に着いた。今回はみゆきも同便。秘書室からは杉山、藤本、斎藤の三人が同行。明日は午前中に総理招待の観桜会が新宿御苑でおこなわれる。東京は夕方まで雨だったらしい。先日は二〇センチもの雪が降ったとか。七〜八〇年ぶりとのこと。こちらは桜の満開すぎ、福岡は今日が満開ぐらいだ。あいにくの雨なのだ。

4 月 14 日 (木) 晴

東京は快晴。九時にスタートして参院の外務省系控室に行き、宇野宗佑外相に会い、第 18 富士山丸問題について陳情した。記者達が注目して会見となる。十時すぎ、新宿御苑に着き、総理主催の観桜会に出席。満開の桜だった。被招待客の中で福岡からという人もいた。経団連副会長花村さんにも会った。一巡したら一時間ほどかかったが、車で横須賀の一彦のうちまでとばした。途中車中はねむっていた。追浜に着いてからスシ屋で腹ごしらえをし一彦宅に着き、あと美可の運転で湘南海岸をドライブ。江ノ島、葉山を通って帰宅。それでも夕方まだ早かった。五時頃、麗衣も久美も帰宅して又塾に出て行った。一彦も勤務から帰って皆揃ったら九時頃になっている。朝は誰もが早いとか。多忙な日常だなどつくづく思った。

4 月 15 日 (金) 晴

朝の八時前後にレイ、クミ、一彦は出て行った。十時に迎えの車が来て東京へ向った。目黒まで来たとき、英彦寮に寄ろうということになってはじめて、この男子学生寮を視察した。十二時すぎ東京事務所に着き、中食。(一時に啓二一家が来て、みゆきは合流) このあと釧木事務所、国会議員では山崎、麻生、坂田直太の三室に行き、国立博物館誘致運動についてお礼をのべてまわった。三時の JAL で帰福。帰庁したら社党県議の小西、長谷川、白石の三人が来訪。天津との友好姉妹関係締結の話についての連絡ばなし。急なことなので、慎重さも必要ということになった。六時すぎから広州酒家で三役及び秘書室全員で、職員の新旧歓送迎会があった。八時半頃帰宅。田島君が泊りに来てくれた。

4 月 16 日 (土) 晴

十一時から身体障害者福祉協会の役員たちと、特九会議室で懇談会を行う。様々な要望がでてきて、それに答えていくというやり方。先方も永い間知事とのこうしたチャンスを作れとの要求があって、今日やっと実現したという。東公園で一寸キャッチボールをして帰宅。秘

書室の連中が時間つぶしとのことでマージャンをしにきた。五時からと八時半からと二回、社会党の土井委員長が来福でのおつき合い。ガーデンパレスでの女性たちの委員長を囲むレセプションと、「きょう重」での社党福岡地本役員との夕食会である。土井人気はますます上昇しているように見える。明日は宗像市長選挙応援に行く予定という。酷使しているかに見える。みゆき在京中、昨日は田島、今日は斎藤という割当てで、拙宅での宿泊奉仕をしてくれている。

4月17日（日）曇、小雨

九時に出発して、田川福寿会館での、ソロプチミスト田川の認証式に出席した。一寸大げさともいえる儀式が十一時から一時間半ほどつづいたあと、レセプション。これもかなり時間がかかった。途中で切りあげて退席。心にとどまっていた原田鹿三氏宅に寄ることにし、タイル絵皿を買って寄った。立派な家を新築していた。安田伊三男君は小倉に勤めるようになったとか。十分ほどで辞し、帰りは八木山峠の桜を見ながらの帰宅で四時すぎていた。マージャンをしようとの予約があって、内田、福原の退出組と原口、高原の現役組がやって来て、内田氏の奥さんの手造り弁当を食べ、夜半まで遊んで帰った。外は雨になっていた。みゆきは留守なので原口君が留ってくれた。

4月18日（月）晴

私の休業日。高原君が泊ってくれて朝食は九時半。手紙を四通書いたが秘書室からの連絡者が出入りしたのであとは自分の仕事にならなかった。高原君を相手にキャッチボールの練習をしていて、硬球を受けそこね、ミットから出た球を右上唇に当て出血、上前歯右側がひどく痛んだ。治るまでにしばらく日数を要するだろう。歯科医に行かねばと思う。夕方又秘書室からやってきて、うち藤本君が夕飯づくりしたりして、六人で夕食することになった。わいわい言いながら夜の時間をつぶし、九時になって、ようやく自分の時間となったので玄羊会出品の練習をした。牧坂からの電話で、早く出してくれとのことだ。

4月19日（火）晴

春霞みの日がつづいているが、新聞によるとこれは黄砂とのこと。昨夜は城君が泊ってくれた。九時から庁議、記者会見とつづく。終って九大歯学部病院に行く。平安教授は今年度限りで定年という。昨日の唇と歯の事故治療をうけたのだが口腔外科に紹介して下さった。上あごの歯は総入れ歯の時期が来たようですなといわれた。午後は二時から児童福祉審議会委員の辞令交付。教養部の安藤教授が委員の筆頭者であった。二時四〇分東公園で再び硬球のキャッチングの練習。六時一五分から平和台球場での今年初のプロ球団西武とロッテの試合の始球式に臨んだ。辛うじて投球ができた。四時頃朝の放送の打合わせを行ってかなり論議に熱中した。

4月20日(水)晴

出発途次新開店した晩香堂(大濠)に立ち寄って玄羊展の表装を注文した。交通事故で入院していた中国留学生徐さんが学部長らと共に退院あいさつに来訪。フィリピン女性活動家たちの来訪。そして県政記者各社キャップとのカレーライスによる中食会。午後は教育大退官の堀教授、県警本部長の来訪面談があった。四時頃出発して北九州市へ。まず八幡平安閣での豊島県議支援の政経懇話会創立祝宴に出席あいさつ。中小企業者を中心とした政治団体ということで、私の中小企業観をスピーチに入れた。六時半から八時半まで小倉松柏園ホテルでの日韓親善交流ゲートボール大会歓迎レセプションに出席した。姉妹関係締結の儀式もあった。九時頃厚生年金会館に帰り着いて小倉泊。疲れを覚える。

4月21日(木)曇、小雨

日韓親善交流フェスティバル協賛の福岡県ゲートボール大会が昨日と同じ三萩野競技場で韓国選手をまじえ九時開会で挙行され、実行委員会会長としてあいさつを行った。帰りつくまでに高速道で雨が降りだしたが競技はどうなっただろうか。十二時前に帰庁。若干公務を処理したあと、九大歯科病院に行った。玄関では牧場夫人が迎えてくれ、治療は前回同様甲斐さんで、前歯の固定を一応済ませたとのことであった。午後の公務はなく、帰宅したのが四時ごろだった。和田、深堀両夫人が来たので招じ入れ、「年寄り問題」について語り合った。珍しいことである。夜になって藤江君が来たので河野さんと呼んでマージャンをすることになった。

4月22日(金)晴

相かわらずの濃い黄砂現象。十時半婦人問題懇話会委員辞令交付。一時に大手門会館で和裁士会卒業式があつて出た。中食は岩崎隆次郎氏を呼んで歓談。「寛而栗」の額も退職記念にと思って贈った。数日前には県民の会の山口一弘氏にも「恭則寿」の額を贈った。二人とも現役勇退であるから。ひるまえ、ネパールからの帰国報告ということで日赤の看護学校の江田柳子先生が来訪。六ヵ月間現地で衛生指導されたわけ。私には水のことが興味あり話をきいて、昔の日本人も似たりよったりだったのかなと思ったものだ。散髪して帰宅したら六時前だった。冷え込んでいる。机辺にいろいろ仕事たまっている。色紙も書いた。

4月23日(土)晴

久留米大学創立六〇周年記念祝賀式が十一時から同大体育館で行われ、祝辞をのべ、祝賀会に入る前に八女にとび市町村会館で行われた八女茶サミットに参加した。中国やスリランカからもサミット来客があった。八女茶振興の趣旨の会である。道をへだてた広場で物産展があり、体育館では茶席に招かれた。次は星野村長の招きで山桜観賞の会に参加。村民役場の人達が山頂に集り山菜のごちそうをしてくれた。この歓迎にはみゆきも藤本さんの車で

丸本さんらと参加、内田、福原、高原、杉山らも来た。下山して萬歳屋で黒木町長、町議長らを加えグリーンピヤ八女当局からの招待宴があった。樋口県議も両行事に参加。グリーンピヤ八女に泊り。

4月24日（日）晴

昨日からの約束で今朝は八時からグリーンピヤ八女の敷地内の藪で筍掘りをする事になった。見事なヤブがあるものだ。十時から野立ての茶の湯をごちそうになり、十一時からロール切り台を主としたアドベンチャーランド及び花平といううどん屋の開店を記念する行事に参加テープカットを行った。当地はかなり客の入りもあって安心して経営をまかせうる状況のようだ。うどんで中食を頂いて福岡に向け帰宅したのが二時すぎであった。裏に出て陽あたりながら雑草抜きをしたあと、色紙書き。二十八枚をすませゆったりとした午後を過ごすことができた。下旬であるのに、夕方はやや冷えこんだ。六日間の黄砂だった。

4月25日（月）晴

休務日で、柳川の牧野夫人から頼まれていた藤村作顕彰碑建立に寄せる祝辞原稿を書く。柳川出身の文化人碑が又一つ追加されたことを祝う趣旨を書く。墨をすり、扁額掛軸用の揮毫三枚を仕上げゆったりした一日とした。雑草抜きもしたが睡眠不足のせいもあってか少々頭が重い。こうした休務日によって身辺が幾らかでも片付くと助かる。雲一つない晴天で在宅はもったいないほど。藤がずい分さがって来た。みゆきが近所の主婦たちと共にヨモギ餅を作ったり筍ごはんを作ったりで楽しんでいた。

4月26日（火）晴

庁議につづいて記者会見。三池炭鉱の七〇〇人解雇をどう受けとめるかをきかれた。又北九州空港再利用についても新北建設に邪魔にならないかときかれた。中食は社党竹村、県民の会山川の二人と杉山を加え「つや」で雑談しながら。あと、コーヒをのみにゆく。二時半から「労働組合連合準備会」三役と庁議室で会談。はじめてのことで労働運動史に新しい歴史を刻むだろうとのべておいた。三時半、東ドイツ文化省副大臣一行が来訪。市美術館でオランダ「栄光の十七世紀」の絵画展をベルリン国立博物館のものをもってくるので表敬訪問ということだった。夜サンヒルズで警察本部長ら四人で歓談。十一時半帰宅。

4月27日（水）曇

昨夜から雨になっていたが、止んだ。十時半農協会館で青果物取引大会があり、挨拶をのべたあと済生会病院で定期検診。中食はパーソナルホテルで、問研の二人を呼んで歓談しつつおわり、十三時から市民会館で九州新幹線鹿児島ルート早期実現総決起大会が開かれ出席、決議文朗読の役を受持った。鹿児島から千人もかけつけて来るなど、全九州の政、官、財の

各界主要人物三〇〇〇人が結集、熱のこもった大会になった。三時から歯科治療に行ったが、上顎義歯にするための型を取った。あと一ヵ月ほど都合がつかないので治療はここで中止。午後五時五月の朝の放送録音を行った。長谷部忠士氏が出版するとのことで写真を共にといわれ写る。

4 月 28 日 (木) 曇後雨

九時半にももちパレスで解同県連大会にあいさつに出向き、次に東区の池田講堂での「自然と平和の対話」池田写真展オープニング式に出てあいさつし、会場一巡して帰庁中食となった。一時すぎから開かれた議会土木委で北九州高速道の赤字経営改善方針樹立につき釈明した。二時半、来日中の韓国ままさんバレーボール選手団の表敬訪問をうけた。明日小倉で親善交流試合が行われるその選手団である。六時半から戸畑の総合体育館で明日からの交流フェスティバルの前夜祭としてのコンサートがあつて開演前に私があいさつ。チョーヨンピルさんの主演、友情出演が南こうせつさん。一万人は入場したと思う。北九市長も一曲歌った。八時頃早目に私は退出。九州厚生年金会館に宿泊。

4 月 29 日 (金) 雨

八時四五分に北九州大学体育館で日韓家庭婦人バレーボール試合がオープン。仁川、大邱からの選手を迎えてである。第一試合を途中まで見て、夜の歓迎の夕べまでのあき時間を利用して八幡西と門司からの県議豊島、松永に仲介してもらい、市民との対話にあてた。北九州ハイツと門司商業会館（栄町商店街）が会場。前者は小企業主、後者は商店の人が主であった。いずれも地域活性化が話題であったが、門司のさびれようがひどく、希望のもてる発言はほとんどでなかった。門司ではこの会の始まる前にめかり山荘に行き春の眺望を楽しんだ。六時半松柏園ホテルで、韓国チーム歓迎の夕が開かれた。一五〇人ほどの集いだった。八時に辞し、九時半帰宅した。

4 月 30 日 (土) 曇

ひるま在宅休務だったので、原稿書きを若干進めることができた。四時に出発し、六時から小倉松柏園ホテルで日韓親善交流レセプションが行われた。外務大臣及び駐日大使は代理を派遣してあいさつをのべた。明日からの総合展にそなえ韓国からも来客あり、北九の韓国系の人達、金融機関の人達もかなり来ていたようだ。社共系を除く各党からも入場者が多かった。明日から五日までがこの親善フェスティバルの本番であるが、韓国からの芸能人は福岡市のドンタクにも出演するという。チョゴリが人目を引くだろう。八時前にレセプションは閉幕。ステーションホテルに投宿ということで楽な一日であった。この交流事業は全国でもはじめてのことなのだ。

5月予記

五月の大型連休は国民的なものとして認められる時代になって来た。福岡のドンタクは恒例のものだが今年は北九州で、県・市共催で日韓親善交流フェスティバルが行われる。八千万円の予算では大したことはできないにしてもしないよりはいい。これがきっかけとなって親善交流が深まることを期待する。連休はそれらしく家族や仲間うちで何でも楽しくのびのびするがよい。外国に出る人も今年は例年になく多いとき。円高のため国内でうろろろするより安あがりとの見方が強い。メーデーを国民的の休日にせよとの要請が労働界から出ている。統一メーデーは福岡では準備の期間が短かすぎたようだ。

5月1日（日）晴

九時半から西日本総合展示場で大韓民国総合展の開会式があり、テープカット場内一巡のち勝山公園での北九州統一メーデーに出席した。全国的に七月を思わせる高温だったそうで暑いメーデーになった。このあと労働福祉事務所で中食休憩し、三時から思永中学校体育館で行われた韓国青年会議所海外地区会員大会に出席。厚生年金会館での歌謡を中心とした韓国の夕べをはさみ、五時半からの青年会議所記念パーティに出席。小倉城内の天守閣をバックに絶好の野外パーティとなり韓国の拳法や小倉祇園太鼓の披露があった。七時半すぎに帰宅した。

5月2日（月）晴

昨夜は森、河野、藤江の三人が来てマージャンをし、おそくなり、今朝はおそかった。自治研センター一〇周年祝賀の原稿三〇〇〇字を書き上げたところで藤本君がドンタク衣裳をもって来た。四時二〇分に出発し、今年は国際センターが前夜祭の会場。RKBと西日本新聞が例年同様の主催者である。はじめの方で振興会、市長、知事のあいさつがあって、ミス福岡の選出は今年は三人だった。前夜祭も来年のアジア太平洋博への盛り上げの流れが強く感じられるものになっていた。多彩な中にとりわけ若人たちのバイタリティを強く印象づけられた。二五〇万人と予測される人出があるためには天気さえよければと思う。

5月3日（火）雨

どんたく式典は例年どおりだったが、今年は市内パレードが博多駅までとなったこと、雨がかなり降ってぬれてしまったのが今年の特徴だった。博多駅がJR民営化で、市民の祭りに加わったわけ。一たん帰庁して中食ののち、憲法集会に参加し、知事、社、共の代表（小野、諫山両参議）があいさつし、裏辻憲道氏が福岡大空襲の経験談をするという企画。「戦争と平和」の映画も。二時から私は福岡書道会三五周年記念会（国際ホール）に参加。あと帰庁し、玄関前で松ばやし、稚児行列など四組に対応した。雷を伴う本降りも夕方には小降りとなった。雨の中、街はどんたく色で沸いている。呉服―天神の間は歩道に出店がずらり。県

庁跡地も利用されている。雨のため「どんたくパレード」は中止。

5月4日(水) 雨

一日中雨、雷も伴う。昨日同様どんたくは雨につぶされた形になった。折角の舞台準備、稽古、商店、出店の売上げは大きな予測はずれの損失になったに違いない。又それでも意地で雨の中踊りを貫いた人も多かったに違いない。うちの藤棚も満開の花を雨に打たれて淋しそう。見てやることも控え目になる。今日は休務で一日在宅。宿題の、二〇年前のファントム九大への墜落期について原稿。日記や当時の新聞を見るのに時間がかかりすぎて全く進展せず、あせりさえ生ずる。大変な事だったのに記憶の彼方に消えている。協会分裂の時でもあったわけ。

5月5日(木) 晴

傘の中のどんたくが終ってとたんに快晴。今日も休務。原稿を四本仕上げた。手間どったのはファントム二〇年記念の原稿だった。色紙も二七枚書いた。ブラジル行きで一五〇枚ほどという注文があるときくがあとまわししよう。新聞は牛肉・オレンジの自由化交渉のため訪米中の佐藤農相はヤイター通商代表と最終会談に臨んだが、日本側の輸入課徴金提案で了解に至らず日米交渉は決裂、あとはガット提訴になる見とおしである。「貿易摩擦」の一つの頂点であった、二国間交渉では解決にならなかったのである。日本の莫大な貿易黒字の処理のまずさがここまで追詰められたというしかない。農業へのシワ寄せでいいのかどうか。

5月6日(金) 晴

午前中は休務。午後は登庁して、主な仕事としては県青年の船結団式(講堂)と「グラフふくおか」の取材であった。後者は技術立県をテーマに安川電機の研究所長を相手とした対話だった。自由に話して、録音の中から記事を作ることになる。私の方からニックスの追上げ問題を皮切りに、県の技術立県の趣旨をのべ、所長から見た行政への注文、将来の技術向上のための産学官の協力、中小企業への期待など話してもらった。県商工行政の立ちおくれは共通の認識であった。私は県勢は今が底、北九もこれから上向くと意見をのべておいた。六時すぎ帰宅。

5月7日(土) 雨

降りも降ったり。一日中、休務で在宅したが、右上一番奥の臼歯が浮いて気分の悪い一日だった。痛い痛い。それでも今日はブラジル行きに携行する色紙を書いた。一〇〇枚をこし、前に書いていたのを加えると一二〇枚余となった。何とかこれだけの仕事のできたので、八時半頃には就床した。朝から、みゆきが相生に同窓会(上郡高女)出席のため出かけたので、中食、夕食は痛む歯をおさえながらひとりで済ませた。六月の半分を使ってのブラジルは移

民八〇年式のためだが、その広大さを思うと乗気ではないが相手が是非とっているという。色紙はみやげである。

5月8日（日）晴

休みだったので、藤棚の枝切りなどまわりをととのえたり、残っていた揮毫に時間を使った。歯の方は昨日よりまし。しかし遂に寿命が来たという感じ。抜歯しかないだろう。三時から国際センターで二度目の「ふくおか八〇〇〇人の『第九』コンサート」（ふくおか「第九」を歌う会—事務局はエフコープ）があり、挨拶に立つ。三浦宣明氏の合唱練習指導が終って休憩のころ、私は席を離れ帰宅した。三千人の合唱五〇〇〇人の追隨のシーンを体験したかったが体調もよくなかったので断念した。まさに「歓喜」の中にとけ込んでしまうだろう。三〇〇〇人の各団体は七ヶ月にわたって猛練習し、昨年より一段と高度になっているという。

5月9日（月）晴

昨夜福留氏が六月四日の私の講演の件で資料をおいていっており、その刺激でねむれなかった。睡眠不足でしんどい一日だった。十一時半、北九地評の幹部が来訪、北九の活性化の要求数項目を説明。中食を共にして別れた。二時、土曜日にひどく痛んだ歯を診察してもらった。私の旅行日程のこともあり、次の木曜に抜歯することになった。多くの時間は明日の記者会見の諸事項についてのレクに使われた。五時すぎ、新日鉄の本社から杉山常務が来訪、八幡に建設予定のスペースワールド協力につき要請があった。六五年春に完成という急ピッチの事業に県、北九市に若干出資に対する協力要請である。

5月10日（火）晴

九時から庁議記者会見。十時半から春の叙勲伝達式。中食は車の中でとり、ブリジストン文化会館での久留米、鳥栖、小郡、基山の交流都市づくりフォーラムに出席祝辞をのべた。県境をこえての交流について西日本新聞社が組織した集会であった。帰庁して三役協議。ここでは県庁跡地利用構想の調査、東京での大ふくおか展、北九都市高速道採算検討の三点が報告されたが、三つとも大変困難な克服課題を含んでいる。理解するだに時間がかかるし、打解にはもっと難関がある。五時半、サンヒルズホテルで九州管区公安委員会連絡協議会があって祝辞。このあと浄水茶屋で韓国総領事館の幹部との懇親会を開催した。過日北九州市での親善交流フェスティバルの成功を祝い、下旬に青年の船での訪問につき協力を謝する意味があった。物価が安いですよという話がしきりに出た。

5月11日（水）曇後雨

八時に出発。厚生年金会館で九州市長会があつてあいさつ。帰庁して一時半から、ふくおか

総合展のプロジェクトチーム発令式。三時から山の上ホテルで西瀬戸七県の知事会があり、地元の私が座長をつとめた。五時に記者会見、六時から宴会になった。交通手段への要望が一番共通していた。今回は豊予トンネルの要望が新たに引き上げられた。高速自動車道、ミニ新幹線、リニアモーターカー、通勤用車がひきつづき話題に上った。又共同研究、共同事業も話題になり、記者会見の時は、インターブロック会議も話題になった。西瀬戸というような縛りで、従来の地方を超えた会議が改めて問題意識に上った。今回は六回目であるが海を共通にするという縛り方が改めて注目された。九州という単位に加え、こんなのも必要だ。八時すぎ帰宅。

5月12日(木) 晴

十一時から県職労が地方職員の一元化をしないよう中央に要請するようとの趣旨の交渉をもちかけてきたので応じた。埼玉の岡県議が来訪。一時半から西日本銀行本店の大会議室で青少年育成県民会議の総会があり、会長として二時間これに出席した。このあと歯の治療。上右の親知らずの抜歯、あと縫合の手術があり、痛い目に合った。五時から福新楼での岩元和秋先生を送る会に出席。主催は県民の会。先生は鹿児島のご郷へ帰住するという。福岡で十数年活動されたのだが今更と思う。病後の安静によいかも知れない。六時半新研修所に行き、部長次長級の研修員の夕食懇親会に出てあいさつした。八時半帰宅。

5月13日(金) 晴

十時、サンパレスでのソロプチミスト大会に出てあいさつ。八五〇人ほどの集会。西日本リジョンの人達である。筑豊ハイツに急行、三市中心の地区労の人達が筑豊の活性化につきフォーラムをする。その前座三〇分の知事講話だった。三時ごろ帰福して歯科余後に行く。依然右のホッペタがはれ上っている。帰庁してあれこれ執務を処理し、六時から中国領事館の招宴に出席した。明日訪中訪韓の旅に出航する県青年の船メンバー幹部の壮行会の意味で招かれたのであった。県から八～九人の出席で二時間ほど歓談のうちに夕食した。

5月14日(土) 曇

三池炭鉱の人員整理七三〇人の問題で大牟田ほか二町の幹部が来庁。陳情した。県も国、業界、会社側に要請すると同時に地域振興、失業者対策などに対応することを約した。十一時に県青年の船の出航式。今回は私が団長であるが、北京で合流すべく、あとで空路追うことになる。中食は県職労幹部と弁当で。そして給与、処分につき、正常化の途をさぐるべく協議、あと休息。四時から市美術館で行われている玄羊会での岸本先生の講評をききに行く。今年の私の出品は平和台での始球式のボールで歯のケガをした時に締切りが迫ったため思うようにできなかった。六時から平和台で玄羊会の懇親会があり、にぎやかにはしゃいで時間をすごした。

5月15日（日）雨後曇

小雨の中で平和台における県と福岡市の身体障害者スポーツ大会開会式が十時から行われた。北九州市でも同じのが行われるところ、雨で中止になった。京都での国体後の身障者スポーツ大会出場者をきめる選抜試合でもあったわけ。入場行進の儀式は時間がかかりすぎるのではないかと思う。身障者だから簡易化すべきだと思う。帰宅して六月四日九大学生会館での講演の想を練り、秘書室に資料検索を頼む分をまとめてみた。四時から巳千代でマージャン会を開いた。北九市長も来るという。たまにはのんびり遊ぼうとの趣旨。十時前に帰宅した。講演の内容が気になる。

5月16日（月）晴

休務の時間帯、青葉が繁りすぎ紅梅には油虫がついていたりしたので、裏庭の木々の枝切りをした。運動がすぎる程だった。他の時間に、終戦直後の家計簿を読みかえしはじめた。物価の動き、旅行帰省など、あれこれ読んでの収穫はあった。二時半に迎えが来て登庁。決裁などだが、教育長が国博誘致運動の組織づくりを始めるのに、永倉九経連会長にキャップになってもらってよいか相談に来た。差支えないとOKした。四時に歯科治療に行く。先日の六針縫ったところを二針三針抜糸した。与えられた薬の旅行中の仕別けが大変である。夕刻藤江君が庭木の消毒に来てくれた。

5月17日（火）

県青年の船は今朝天津港に着き、すぐ天安門、故宮に行く日程だ。私はこれに追付くべく、十時四五分のANAで大阪へ。大阪から上海経由で北京に向い、友誼賓館に泊ることになっている。大阪では時間があつた。大阪事務所の所長黒丸氏と浅沼組の江崎氏出迎え。江崎氏は遠藤政夫氏がよろしくといていたと伝言。大阪発三・一五、上海で一時間のりかえ時間、北京着二一時、ホテル着二三時。すぐ寝た。南配楼という棟だ。福岡発の便が今日ないため、北京に行くだけで一日仕事になってしまった。でも板付で居留民団、大阪で江崎氏にと仕事のうちに数えれば慰めになる。遠藤氏は次の選挙を考え、三区をまわり、私が氏をほめていたことを取上げてよろしくといている。サントリー誘致、プロ野球も話題とした。

5月18日（水）

団員達は万里の長城に行くため、早く朝食して出発。私は七時半起床。十一時に日中友好協会孫平化、黄世明両氏と会い、中食を共にして後天津に向った。思ったより時間がかかった。ホテルは天津水晶宮飯店。新築ピカピカの建物。夕方李瑞環天津市長を表敬訪問し、友誼餐廳で団員らと共に夕食、中国青年をまじえての交流会が行われた。市長の李さんは建築屋さん出身で政治局員も兼ね、やり手との評判が高い。あっさりした感じだ。夕食に出たのは天津人民政府の方放さん議会側の白樺さんだった。日中双方とも青年は負けじと芸の見せ合

いを演じ楽しい時間を過ごすことができた。八時に水晶宮に帰り休憩に入る。こちらはサマー・タイムが実施されている。

5月19日(木)

団員たちに一足おくれ、随行の家永氏らと絨毯工場見学に行った。彼は一枚買って帰ると、販売部を念入りに見ていた。あと友誼商店に案内されたが、何も買わなかった。随園酒家というところで中食ののち、天津古文化街を団員と共に歩き、カメラ前でポーズをとらされたり、ここでは小筆と紙を買った。三時に団員と共に南開大学に行く。青年の交流対話があった。周恩来の出身校で像碑があるというので立寄って写真をとる。六時からシェラトン(喜来登)酒店で答礼宴があった。南開大学では日本語を学んでいる学生との交流対話だったので、団員たちは大きな収穫をえたようだ。生きざまの違い、発展環境の違いも感じたようだ。男女平等の問題について、中国側もいま一歩といっているようだ。中国に階級といわぬにしてもあれこれ垣根があるようだ。

5月20日(金) 雨

昨日、今日六時半起床だ。塘沽という港の開発地域で青年交流会がある。六〇キロもあり、車で一時間。九時から十一時まで家庭訪問をした。中の上の家庭で清潔にととのえられていた。主人が茶のサービスをし、その妻君がわれわれの対話に応じ、付近の住宅グループの指導者たち数人が対話に来宅した。新港賓館の娛膳園で中食。青年交流会は一時半からであった。四時、友誼商店に立寄り、六時には青年たちと共に私も「新さくら丸」に乗込んだ。特別室になっていて、一人で占拠するには気がひける。それにしても昨日の古文化街で売っていたリンゴが腐っていたことが頭にこびりついてはなれない。天津のすばらしい発展の裏にまだある蔭なのだ。

5月21日

六時半起床。七時からデッキで朝のつどい。団員たちは、私をとらえては写真のポーズを要望する。九時から一時間船内講堂で知事講話。ポカポカ照る五月晴れの中、デッキで何でも揃ったお好み食べ歩きの中食をとる。あと船内クラブ活動の実況視察。又TNCの記者会見録画にも応じた。又私の部屋で、男女団員二人との対話を「グラフふくおか」(取材)で行った。これが夕食後である。九時になって、知事による記者団招宴というのが食堂で行われた。二重の夕食みたいで誰もが食べ物に手が延びてなかった。船内でもあれこれ要望が多いので就寝は十二時半になってしまった。しかし、若い者の熱意にはホダされる。つついつき合ってしまう。操舵室を見るのもいいというのに、見ないで終わった。しかし航海は他の欲望に限界があるのですごくいい。

5月22日（日）雨

六時半起床。小雨の中仁川に入港。七時に朝食。ラウンジに貼ってある各班の感想文壁新聞をみる。韓国側からの乗込み検査をうけて後しばらく待機。十時に下船。韓国青年たちはバンド隊をもって出迎えていた。団の役員だけで国立墓地参拝。韓国青少年聯盟を訪問して後、三宝で中食。三時に勤労者総合福祉会館で交流会が始ったが、私たちは別れて国立博物館の見学に出た。雨はひどくなったが、恵みの雨だとのこと。六時半巨龜荘で知事招宴。客は青少年聯盟側。八時半には泊る所、新羅ホテルに着いた。博物館は昔の朝鮮総督府が改装されたものである。通訳は観光会社韓進の職員権女史。何でもよく知っているベテランとの印象。入浴して十時には就寝した。疲れた感じ。

5月23日（月）晴

六時半起床。福岡の韓国青年会議所の指導者慎さんが出向いてくれ、朝食を共にした。八時二十分出発で水原へ。民俗村と水原城を見学した。昨日とうってかわって五月晴れの快い散歩になった。ソウルに帰り、青年の船団員に別れの挨拶をしたのち、食堂慶福宮で韓国青少年連盟の役員の人達と中食。あとオリンピックメインスタジアム、ソウル大学を見学。そして「アメ横」ともいえる梨泰院（イ・チ・ウォン）町で買物をした。世界的なブランドもののまがい品を堂々と売っているところに入ってみた。新羅ホテルに帰り、六時から慎氏二人、大迫、吉本氏らと会食。当方は私、家永、川上、溝上の四人。この四人は食事後も私の部屋に集って十二時頃まで飲みながら話し込んでしまった。

5月24日（火）晴

十分ほどおくれて午後七時少し前（日本時間）福岡空港に着いた（KAL）。室長、杉山、みゆきなど出迎えてくれた。金総領事も。荷物を解いて一段落したら十一時になっていた。朝は七時起床。朝食（ホテルで和食。有明）。九時に出発して韓国の役所お礼まいりである。文化公報部、外交部、日本大使館、慎会長の世話で L'abri という店でフランス料理の中食ののち、文教部、韓国観光公社、貿易公社、そしてオリンピック組織委員会の順であった。内容は主として去る四月十九日から五月十四日にかけて北九州市で展開された日韓親善交流フェスティバルに対する協力への謝意である。日本大使館では縣市レベルの交流その他については早目に情報を入れてほしいとの意向があるようにみえた。

5月25日（水）晴

朝のうち、済生会病院での定期検診と歯の治療をすませて登庁。十一時からの臨時県議会の開催が四時半までにずれ込んだ。その間、県青年の船の帰港式が三時半にあり、トンボ返りで議会の動きを待たされた。ひる前、コロンビヤからの帰省県人の二組夫妻の来訪があり、来年来てくれとの要請をうけた。県議会は議長交代の臨時のもので、議長は中村から高山

(自民) へ、副議長は林から安枝(農政連)へのバトン渡しになった。議会選出の監査委員二人も入れかえられ、議事終了後辞令交付も終わった。朝の放送の録音をせねばならぬので済んだら八時すぎてしまった。ダラダラ議会のため、貴重な時間がつぶされるのが腹立たしい。北九州都市高速道路の採算検討委の結論が報告された。

5月26日(木) 晴

七時四五分に出発し、九時半から玄海町鐘崎運動広場での県総合防災訓練に出席した。途中でヘリコプターにも乗せられたが訓練そのものは例年とほとんど変わらないものであった。正午すぎ終り、大野城の職員研修所にまわり、二時半から一時間監督者研修での知事講話を行った。話の中に、青年の船の印象も織り込んだ。帰庁して三役会、北九州高速度道路の処理が大詰め近づいていて、議会との対応が論議された。夜はニューオータニで、日赤林名ヨ社長を囲む夕食会があった。県支部長は知事なので、それなりの付き合いが必要である。共産党の県議が揃って知事室にやってきて、三池炭鉱の人員整理その他について、異見のある旨申出て近々調整したいという。対応がせまられている。

5月27日(金) 曇一時小雨

朝一番はさんぱつ。十時五〇分酒造組合の焼酎部会の人達が来て、税率アップ(七五%)問題について協力要請した。十一時半、社共、大地評系の「石炭をつぶすな大牟田を守る実行委員会」の要請行動に^{アツ}応待。あと役員たちと中食会。このあと電気ホールで日赤県支部創設一〇〇周年記念赤十字大会があり、会長賞、支部長賞など授与も行われた。帰庁し、三役会で昨日につづき北九高速道問題解決案について再協議した。五月末までに県議会側を納得させねば予算凍結がとけないので困っている。このあと、土、日、月のたくさんなスケジュールについてそれぞれ資料説明が続いた。埼玉の知事選応援、九州知事サミット等々、びっちり行事がつまっている。

5月28日(土) 晴

九時半から、教養部で六月四日予定されている私の講演につき、社会科のスタッフたちとの予備意見交換を行った。私の身边を中心に、気楽に話すがよいとのことであった。一時半から北九州総合体育館で全九州同和研究会総会があつて出席。二時半から荻田沖合の新北九州空港予定地の国会議員団の視察があるのに同行。四時から北九市役所で新北九州空港建設促進期成会の総会があり、引きつづき一五 F の食堂で懇親会があった。超党派の各級議員が一堂に会して空港実現のため現地条件整備(とくに漁業補償など)を行いつつ政府、国会に働きかけるべく揃いぶみをしたことになる。国の予定ではあと十年はかかりそうなので、現空港の暫定利用についても改めて努力することになった。

5月29日（日）東京夕方雨

ふくおか会館に六時半に到着。朝九時四五分から一時間、博多駅裏口の第一ホテルの一室で、共産党県議ら数人と、問題視されている筑豊ハイツでの「知事発言」などにつき意見交換した。君が代、日の丸、デモ、スト論、加えて「生活保護切捨て」云々の状況にも論及。機内で中食をとりTDAで。そしてJR山手線東北線で大宮、浦和、川口の駅頭での知事選応援街宣にかけつけた。畑知事が五選をねらい苦戦しているといわれる。私は昨年の売上税の福岡県における国民投票的意義と革新民主県政を守ろうの二点につきそれぞれ五分間ほど訴えた。川口駅前で東京事務所の車が迎えてくれた。夜、県出身の初の女性船長（海上保安庁巡視艇）佐藤潤子氏（26才）と会食。ふくおか会館泊。

5月30日（月）晴

東京事務所を九時に出て、三池炭鉱七三〇人削減問題につき、三井鉱山、労働省、通産省など陳情してまわった。企画振興部長らも同行したが、県会議員も畠中、山中、長谷川、高岡、山根、下川の各氏も列席した。労働省はこれからの責務という感じであるが、三井と通産は精一ぱいの努力の結果だといわんばかりで冷たかった。途中私は自治省にまわり、普通交付税及び市町村産炭地補正について特別の配慮をという陳情をした。持永官房長からは大塚副知事の任期満了につき、人事方針が問われた。よろしく頼むとっておいた。ブラジルから帰った頃に結論を出せるようにしようとの答えだった。最後にサントリー社に商工部長とともに訪問、誘致につきよろしくとのべておいた。七時半帰宅。

5月31日（火）曇

定例の庁議と記者会見。宗像新市長滝口氏が就任あいさつ来庁。土木常任委員会は十一時に開かれず十二時半になって知事釈明により北九都市高速道問題は「しばらく時間をかけてもらう」ことで執行部原案審議に入らぬままで終わった。一時半から市民会館で暴力追放県民大会。あと天神・中洲をパレードして散会となった。四時に朝鮮総連から外国人登録法に関する要請があった。指紋、カード所持強要、罰金という相かわらずの古いやり方に対する抗議である（六月一日からの改正施行に対して）。五時から博多弥生で中村、林の前正副議会長の慰労会。つづいて仲好旅館での「なかよし会」の岩元和秋先生を送る夕に出席した。十二年間の在福岡で、鹿児島郷里に帰るといふ。八時半帰宅。青年の船以来、多忙多忙。

6月予記

【記載なし】

6月1日（水）雨

九時に福岡中央職安で総合雇用情報システム全国開通式があった。全国ネットで職業紹介

ができる時代が遂に来たのだ。一時半からグランドホテルで九工大情報工学部施設整備促進協議会の総会があり、三億円を目標に寄付を募集することになった。今日から一年間。夕方、二日、三日と大分で開かれる知事サミット、地方知事会の打合わせに時間をかけた。知事サミットは西日本新聞らマスコミの仕組みに応ずるものだが、これで三回目。終りにしようということでもある。林副知事が週はじめから肝臓の数値が高いというので二日市済生会病院入院中なので、電話見舞を試みた。数値は漸減の方向らしい。私は依然眠れず困ったことだ。明日からの大分ゆきは気が重い。

6月2日(木) 雨

二日つづけて終日の雨。大分市に集った各県知事も同様といていた。朝八時十五分に出発して特急で大分に来た。グランドホテルに宿をとり、ここで中食をしながら打合わせ。三回目の九州知事サミットに臨む。会場は文化会館。ほぼ満席二千人の聴衆だ。高速交通体系の整備と東京一極集中への対応、それに、農産物自由化、リゾート地域整備、国際化などが話題となった。一時から五時まで。ママさんコーラスでの切り出しは柔かい気分を出すのに効果があった。「九州は一つ」の合言葉がいかにか具体的実践にうつされるかが焦点だったが、いづくしてなかなか困難なことだ。福岡としては交通問題のほか国立博物館誘致を力説しておいた。二十一世紀はアジアの時代といわれるがそのための「九州の自覚」の意味である。

6月3日(金) 雨後曇

大分でもひる頃まで降った。九時から打合せの事前会議、九時半から九州地方知事会、一時から九州地域鉄道整備促進協議会、二時から北部九州水資源開発協議会。いずれもグランドホテルで開かれた。早目に終って特急にちりん、新幹線を利用して帰宅したら五時すぎだった。帰りに大分駅長室に寄らせてもらったが、駅のかわり方にびっくりした。駅同志福井と姉妹関係になっているという。駅前も広がっているし、そう思えばすべてがずいぶん変転しているわけだ。グランドホテルから東を眺めると大分川をはさんで新日鉄の工場群が展開しているし、人口も四〇万人近くになっている。市制百年のないのが宮崎と大分だけと話題になっている大分だが、今は違う。

6月4日(土) 曇

十時半、問研で呼んでいるブルガリア中央労働組合評議会の研究所の代表二人の表敬をうけ、十一時福教組大会(都久志会館)に行つてあいさつ。帰庁して新天町次郎ずしその他若手経営者と中食こんだん。終って九大教養部へ。スケジュールの手違いで、ゆとりの時間が生じたが、二時半から予定どおり学生会館文化講演「私の昭和史」を話す。二時四〇分までの予定を一五分ほど超過。あと質問者四~五人に応答。終って第二会議室で教官など OB を

まじえしばらく懇談。五時二〇分ライオンズホテルでの県中立労連二〇周年レセプションに顔出しして六時からの浄水茶屋での教養部有志との夕食会に出席。八時に切上げて椎田町へ。泊

6月5日（日）晴

七時起床。丸金旅館朝食会。松山県議、椎田田原町長、議長副議長、助役らの出席だった。八時半から城井川口での環境美化行動の日の行事展開。開会式、ごみ拾い、植樹、稚魚放流である。県からは栗原局長ほか築上の出先機関から参加があった。町民一七〇〇人が出席との報告だった。縦貫高速を使って（小倉東より）帰福した。大塚副知事の進退問題で、林県議、林副知事と「かわさき」で中食をしながら協議した。県議の方から、夕方大塚氏に会ってみるとのこと。任期中は福岡にいたい意向が強いらしいので、その打診である。五時半帰宅。夜は色紙書き、ブラジル行き準備。

6月6日（月）晴

大塚氏のことで自治省官房長、本人と意見をかわした。林県議とも相談し、この人事は当面現状のままで様子を見ることで落ち着いた。一時半から看護研修センターで県解同との交渉に出席した。十二項目の要求が出ていて、一々知事答弁という形で進んだし、全部長、関係課長、教育長が出席答弁した。五時半から東宝試写室で「敦煌」の試写会に出た。秘書室の者も多く出席していた。長時間もので八時までかかった。騎馬戦争はそうぜつだが、そのシーンが多すぎると思った。帰宅して夕食。ブラジル行きの荷物をまとめてみた。スーツケースとショルダーに一ぱいずつにおさまるようだ。二週間の旅で疲れないうようにと皆がいつてくれる。機中時間が多いので心配だ。

6月7日（火）曇一時雨

梅雨入りとのこと。すごくむし暑い。知事室はとくに暑い。九時から例により庁議、記者会見。十一時半から博報堂から面談要請があつて、大ふくおか展につき企画依頼している関係で知事の大づかみなねらいを語った。中食も共にした。二時からリーセントホテルで国体の実行委常任委総会があり、本年度事業計画など決定した。一時すぎ第十八富士山丸事件の栗浦夫人が、県の行ったカンパ及び就職（ユニード）世話につき礼をのべられた。県民大学講演につき事前打合わせなどして六時すぎ帰宅した。ブラジルゆきの荷造りなど思い残すことのないよう、心を休ませしておかねばならぬ時間をもった。

6月8日（水）曇

昨夜からの雨は朝あがった。在宅して手紙を書いたり身辺整理をし、一時出発、ブラジルへ。二時に乗込んで成田。ここで四時五〇分搭乗九時間。ロスに現地時間一〇時五五分着。八日

という日が二度あったことになる。私にとっては初のアメリカ大陸だ。一時に中食をとり、三時にロス市長訪問。ロスはすごい経済集中力をもっている所だ。午後四時にホテルハイアット(HYATT)に入り一時間ほど休眠し、六時半からホテルニューオータニで開かれる南加福岡県人会の歓迎集に出た。三〇人ほどの会になった。ロスでの日本人の活動は大きいらしい。それにアメリカ大陸は何もかも大きく感ずる。九時半ホテルに着き、十時半就寝。

6月9日(木) 晴

ロスの日系人は、戦時中はひどい目にあつたのに、祖国に忠誠をちかい、戦後はがんばつたらしい。ホテルにいて孤独を感じたし、どうもこの巨大なアメリカにはなじまない。すがすがしく大きい、重厚だ。八時半に朝食、十時から近郊観光に出る。フィッシュマンズマーケットとサンタモニカ。なれたらよいだろうにまだ馴れられない。アメリカというところはジーンズに代表されるように、「ぶる」ことを嫌いながら「ぶる」ように思える。二時にロス空港に着きブラジルに向う。四時五〇分発で十一時間二〇分後にリオに着くという。ロスは大空港で今や世界の一つの中心たるの威力を誇っている。新しい世界のチャンピオンといえる。メキシコ上空を飛んでいるのだろうか。延々と長い旅の味けなさ。平地も山もない砂漠のような下界。

6月10日(金) 曇

あわただしい一日。リオに朝四時二〇分に着いたが現地時間四時間多くなる。乗り換えてサンパウロへ。一時間おくれの十時五五分着だった。ホテル ニッケイ パラセに着いたら十二時半だった。ホテル地下の食堂「つばき」で中食。県人会の幹部が出迎えからホテルからすべてやってくれたのはいうまでもない。又、市当局は車と先導のパトカーをつけてくれた。二時四五分市長表敬訪問。先立ち、「先没者慰霊碑」に参拝した。日本の首相で訪伯したのは田中角栄だけというが、彼の揮毫の碑だった。四時にホテルに帰り仮眠ののち七時から「つばき」で夕食。このホテルはリベルダーデ東洋人街にあって付近一帯、言葉から買物、食物一切日本人向きにできている。

6月11日(土) 曇

雨がふるかと思われる天気。イグアスの滝見物の日。夕方は晴れた。空港ではオーバー姿の人もみえた。冬近いといえる。十一時十五分発。十二時四五分、車で十キロ、イグアス公園の中、嘴の赤いトツカーノを森にみた。滝の広大さに驚く。しぶきをかぶって見物した。十五時にアルゼンチンへ国境をこえる。パラグアイ国を川を隔ててみる、プエルトイグアス町。ここで牛皮やバンドを買う。十七時二〇分発で十八時五〇分サンパウロ着。中村会長の出迎えあり。旅行者みな疲れ気味。寒さも加わる。九時半に就寝。六時半に起床したのだから休むにしかずだった。

6月12日（日）晴

一〇時半から佐賀県人会を借りての福岡県人会主催「知事歓迎会」が行われた。今回県人会の最大の行事だろう。野田マリオ市議の努力で私に市からの賞状が届けられ、県からは高齢者表彰を行った。五〇〇人近い会衆。今日の日を待って二世、三世も来たし、サンパウロ以外の遠くからもはせ参じた人が少くなかった。儀式が終って乾杯、中食に入ったが、私は中座しホテルに帰り小休息。二時半から日曜の東洋人街を散歩した。常々の店は閉じていたが、露店が並び、手工芸品売り、立ち食い者でごった返す地下鉄駅付近を見ることができた。われわれは見るだけで終わった。夜七時からテラスイタリアで県人会主催の招宴、会食、記念品贈呈、スピーチ、余興。十一時就寝。

6月13日（月）晴

朝のうち買物ということで東洋人街の明石屋宝石店に行き、ブラジル特有の原石など、みやげにしようとしたものをだいたい買い揃え、中食は近く的美松という食堂で定食。すごいボリュームだ。一時半空港に向った。ベレンに行く。うんと待たされ、出発は五時二〇分、着いたのは十時すぎ。国際事業団、県会会の出迎えがあつてヒルトンインタナショナルベレンというホテルに投宿。十七世紀はじめから開発されたという古い町、しかも人口は一二〇万もある。熱いと思つたのに、現地人は涼しい方だという。アマゾンの河口、熱帯の町に来たわけ。入浴すませて就寝したら十二時になっていた。

6月14日（火）晴 スコール

ベレンでの一日。アマゾン河口、魚市場や要塞跡を見てまわり、十時に州統領を訪問。十一時に乗船。一時間でアルミ工場アルプラスに着き、工場見学。県人会経営の東屋 HAKATA で歓迎中食会。三池アルミの関連会社なので大牟田の人達も中食会に加わった。十年前に立地して今は大牟田時代と同じ規模生産に達し、将来は一倍半にするという。スコール中を又渡し船でベレンに着き、七時からレストラン都でアマゾン地区県人会夕餐会に臨む。谷口会長、筒井前会長、大川総領事、上園ジャイカ所長など、多くの人達との対話が楽しかった。

6月15日（水）晴

ベレンからリオへ。国内機で途中ブラジリアに寄る。ブラジリアも空港は建設途中だ。インフレの影響をうけている。ベレン発十時十五分、リオ着一五時三〇分。若い農業家山口さんが出迎えてくれた。（瀬高で一年半農業実習今は二六ヘクタールの農場主）四時半オットンパラスホテルに着き小休息ののち七時から焼肉屋マリウスバーで夕食会。肉が出る出る。九時前に散会。私と久保の二人はホテルに帰ったが他の八人はショーを見に行った。いやというほど肉を食って女のお尻ふりふりのショーを見るとなるといささか詰め込みすぎのようだ。日本からの客がリオでもごった返していた。治安はよくないといわれここでも要注意が

強調された。

6月16日(木) 晴

リオの観光。キリスト像のある山とサトウのパンの二つが中心。奇岩、奇石で観光に絶好。美しいリオを一そう美しく見せる。前者はコルコバード七一〇メートル、独立一〇〇年記念の像という。後者はポン・デ・アスカル三九六メートル、空中ケーブルを使って登る。ソレマールという所で中食ののち、リオ空港へ。便所で正装の服に着がえてサンパウロへ。四・一五発一五・三〇着。総領事の各県知事招宴。ビュッフェ・コロニアという所。小野総領事、尾身八〇年祭実行委員長、福田元首相が立派なあいさつをした。高知佐賀の副知事も姿をみせた。七時半ニッケイホテルに帰り休む。同行者の多くが疲れている模様。

6月17日(金) 快晴

東方三八キロのスザノ市。ここの福博日語学校を訪問。子供達が二国旗を手に歓迎してくれた。十時半飛永弘さん宅、花卉栽培業者。十一時半行徳セラミカ工場。見学ののち工場のクラブ東屋で市長などまじえて中食会。二時に出発してサンパウロの福岡県人会館を訪う。色紙にサインをしたりして一時間滞在。四時にホテルに帰り小休息。五時に出発して統領オレステス氏をバンディランテス宮殿に問う。日本から来た知事らを一括して引見しようということだ。記念品の交換と宮城県知事の代表謝辞。ものものしいことだった。パトカー警備の人達に夕食をごちそうすることになり市内の焼肉屋に行く。(一行九人) 九時半帰り、ホテルで色紙若干揮毫。

6月18日(土) 晴

ブラジル日本移民八〇年記念式が十時すぎからバカエンブー競技場で行われた。八万人も入れる所、満席。日本から礼宮が臨席。創価学会系の人達で演じたロイヤルボックス正面スタンドでの人文字が目をひいた。十二時に終了。日本大使招待の中食会がシーザーパークホテルで行われた。ここで横路北海道知事と言葉をかわす。一たんホテルに帰り、旅行カバンを近くの店で求め、荷造りをしてみる。七時に出発して昨日の統領宮殿の招宴に出る。記念式は十七分遅れるし、この招宴は九時すぎても始まらないので、まき込まれぬ中にとあって宮殿を引揚げた。ホテル地下「つばき」で親子丼を食べ、身辺整理十二時就寝。

6月19日(日) 快晴

東洋人街は七夕祭り。通り一面に青竹のアーチ、願い事を書いた札、ボンボリなど。リオでお世話になった山口氏が案内してくれて地下鉄、市の中心公園、教会など市内見物。日曜でミサもあっていた。十二時にチェック・アウト。市内の中村勲会長邸で荷物の再整理。中食のごちそうにもなり、終って大学通りなどドライブして又中村邸に戻り、五時に中島、中村

両県議も合流。六時半に出発、七時すぎ空港着。県人会の役員たち夫人たち見送りの中、八時に入関。八時半リオに。リオ発十一時ニューヨークに向けて出発した。県人会の人達は中村邸でも空港でも十分なもてなしをしてくれた。先方も知事が来たということによろこんでくれたようだ。

6月20日（月）

ニューヨークケネディ空港には現地時刻七時五分着陸。（二時間の時差という）福銀、西銀、福相の人達が迎えてくれ、前田という女性ガイドさんがついてくれた。五番街パークアベニューのグランドハイアットホテル（PANAM社の前）に入った（九時四五分）。十二時バスでセントラルパーク内食堂タバーンオンザグリーンで中食、あと市内観光——リンカーンセンター、タイムズスクエア、エンパイアーステートビル（八六F展望）、メイシーズ（デパート）、シティホール前公園、ウォール街、最南端から自由の女神をみ、ブルックリン橋、国連（日本の平和の鐘堂）——六時ホテルに帰り、七時から中華料理店御宴軒で夕食会。空港に迎えてくれた銀行マンらとの会食。十時少し前ホテルに帰る。

6月21日（火）

六時四〇分起床した。八時半朝食。九時半荷物出し、九時すぎチェックアウト。十一時四五分、JALのさくらラウンジへ。成田まで十三時間かかるという。ファーストクラスの席に同行者中一人になって日本に向う。何も考えず神妙に椅子を倒して目をつむる。一時半に乗って途中一度機内食をたべる。ひたすら眠るように努力した。二十一日という日は短いことになる。ニューヨークをはじめて経験した。摩天楼が次から次へ。経済効率が生んだだけに、その他の人間性が軽視されているように思える。通路を歩いても汚い。ビル内にはそれなりにコミュニティがあるときくが、それがどんなものなのか知りたいものだ。

6月22日（水）

アメリカ時間一時半（午後）に搭乗して以来、十三時間で成田空港に着く。永い機内だったが、比較的によく眠れた。つれづれに機内では「漢詩日暦」をよんでいた。成田着現地時間一六：〇〇時。通関と乗換待合いで時間がかかり、一九時一〇分の福岡ゆきで一時間半。福岡では林県議、林副知事、秘書室職員ら多数の出迎えをうけ、荷物を受取って帰宅したら、十時になっていた。ブラジルで買った石類がとくに重かった。荷物を解き整理をしていると一時になってしまった。どんどん荷物がふえたので仕分けをしたり包み直すのに時間がかかった。みゆきが直美と豪州、ニュージーランドに行っていたということをつけ加えておこう。

6月23日(木)雨

梅雨入り以来の雨ということだ。十時四〇分にソウルオリンピックに出場決定の藤本、緒方の二人の男子が決定あいさつに来庁。十一時から六月議会入り代表者会議、スムーズにすべり出した。午後の三役会議では跡地、那珂川歩道橋の数案開陳、北九都市高速道路公社再建案、国体の日程案について説明をきいた。四時に高石文部次官の退任あいさつ(次期衆院選で三区から出馬のため)があった。共産党県議、党の幹部らが六月六日に起きた玄海原発一号の冷却水漏れ事故につき、県の対応を求める文書提案をしてきた。九電や玄海町の対応が鈍いと指摘。今日は時差ぼけ直しに六時すぎ帰宅。(三時半にはブラジル旅行帰国記者挨拶)

6月24日(金)曇

アメリカの大渇水が報道されている。ロスとニューヨークに行っただけに思い当る。凶作にならぬとも限らない。農作物の自由化と関連して注目される。午前中休務。一時半サンヒルズホテルで県地域交通体系整備促進協議会が開かれ、四時半に健康診断、五時半から八仙閣で建設関連産業協議会総会後の懇親会に出席あいさつをのべ早目に帰宅できた(去年の項にも同じのがある)。看板書きの依頼があっているので久しぶりに筆を執る。白島問題につき事務報告をうけたが、進むも退くも困難なそれである。一応傍観するしかない。来月の朝の放送、高齢化問題で私見を展開した。

6月25日(土)曇

午前中は裏庭の木の茂みや雑草をできるだけ片付けることに精を出した。今日は旅の疲れをとってくれるようにと一日休務としてあった。午後は「看板」書きに時間をあてた。教養部内に言語文化部ができて門柱に表示するのでということに頼まれていた。もう一本、中国帰国者自立センターの看板である。これは宇美町にある国レベルの施設なのであるが、板に直筆してくれという注文に対し、まず紙に書いてみてからにとということにした。この二つにかなりの時間がかかった。後者は後に県庁で実物揮毫の予定である。

6月26日(日)晴

十時に杉山氏が迎えに来て、議員会館で行われている社会党自治体議員団会議第二八回総会に出席してあいさつをした。林県議もいて、マージャンをしようということになり、山北県議を誘い、二時すぎわが家に引きあげ、夜九時近くまで、わいわい遊んだ。揮毫でもしようかと思ったが、今日はものにならなかった。色紙を書いてくれという注文が多いが、これにはできるだけ労を惜しまず応じた方がいいということを経、山北の両者もいっていた。社会党議員団で色紙希望をとることを一つの運動にしてもよいとの意見でもあった。

6月27日（月）晴

十時から死亡者叙勲伝達式を行った。ほとんどが元校長である。午後はサンヒルズホテルで産炭地振興促進協議会、ひきつづき県南総合開発会議があり、いずれも会長としての役割で、七月の政府予算要望内容を承認してもらうものであったが、準備ができていてシャンシャンと会議は進んだ。決裁がたまっていたのと、明日は庁議と記者会見があるので、その下打合わせに時間を費した。七月中旬に日教組大会が大手門会館で開かれる予定なので、右翼の妨害にどう対応するかで煩悶している。北鮮墓参団帰国上陸港をどこにするかについても北九州市は右翼の妨害への対応に困っている。

6月28日（火）曇後雨

庁議につづく記者会見。でも今朝は出発時から調子が悪かった。昨夜はよく眠れなかったので、登庁途上車の中でも目をとじたままだった。議会では土木、総務の両委員会が知事出席を求めている、これに対応した。寒気が加わった。顔色が悪いとひとがいう。夕方委員会終って済生会福岡病院で緊急の診察をうけた。熱が三七・八で風邪といわれ、点滴その他注射などの後帰宅し、そのまま就寝した。ブラジルゆきの疲れだろうというがあれから一週間もたつのに……不眠がどうしてか納得しかねる。

6月29日（水）曇

昨日から体調をこわしているので今日一日休務。何かあれば秘書室との間の電話連絡ですませることにし、終日パジャマ姿で伏し勝ちの生活に終始した。食欲はあるがどうしても熟睡とならない。気になる案件はあるが、すべて別のチャンスにまわしてしまう。午前中は少し眠ったが、午後と夜は全く眠れず。熱はひいたようだ。

6月30日（木）晴

九時半に迎えが来たがふらふらの状態で出勤。すべてもうろうとしている。ねむいというのか頭がまわらないというのか、こんな経験は未だなかった事だ。でも与えられた仕事は消化。十時四〇分久留米道仁会事務所撤去問題での市幹部県議の陳情、二時半水源の森基金継続の陳情、三時四〇分情報公開審査会建議などのほか、十二時から六月議会本会議（提案理由説明）があった。これらは何とか消化したものの、よかったのかどうか自己判断さえも困難な状況。六時すぎ帰宅。軍歌でも口ずさんで時間を少しすごし、八時すぎには就寝した。

7月予記

六月議会はいつになく順調に進みそうだが、体調がもう一つすっきりしないし、歯の治療の時間がえられず、耐えられなくなるのではないかと心配である。山笠で月の半分は終るが、今年は櫛田神社での追山笠の行事に招待されていて初体験となるが、日教組大会がそのあ

とにつづくので、右翼の大会反対の行動で県警に大そう警戒のため苦悩させている。追加経費が二億円といわぬ額ようだ。福岡県以外からも若干応援を要するという。右翼は日教組攻撃で生きているようなもの、いきり立つだろう。それが又カネになる。仕事のない若者がかり出されるのに都合のよい集団である。外国にない存在だろうと思う。私と日教組の関係も彼等は問題にしている。

7月1日(金)晴

体調がすっきりせぬ。朝から北九州ゆき。西瀬戸内総合開発促進協議会が弥生会館で開かれその議長。七月下旬の対政府要望をまとめる会である。帰庁して、役所の雑誌「晨」の取材に応じた。毎日新聞の人が取材した。四時すぎ博多駅東の合同庁舎で衆院の石炭対策特別委調査団への陳情、終ってニューオータニで同メンバーとの夕食懇談会。今回は三井三池の合理化がとくに問題であった。二年連続一二〇〇人以上の人員整理で大牟田荒尾の両市地域は火が消えたようになっており、三井側には撤退一方の対策しかないからだ。おまけに税制改革が石炭特別会計に冷くからむ情勢にある。

7月2日(土)曇

十一時から福岡市庁舎の落成式があつて、テープカットと祝辞をのべる役を果たした。市のシンボルとして大きい建物。西向きに立ち上った。特徴のないのが惜しい。落成式が終って建設省(局)と一しょの川を愛する宣伝ビラくぼりに岩田屋横に二〇分ほど立ち、あと筑後川温泉へ。温泉ホテルの女将たちとの知事対話である。(於清の屋旅館)女将たち九人の強い組織があるという。浮羽町長、大石県議、大石商工振興課長らが参加。対話のほか、六五年の国体で行われるカヌー競技の現場とこの温泉の背面の放水路を視察し、問題点を説明してもらった。

7月3日(日)曇

降りそうで降らず、風が出たり止んだりで暮れた。今日は休み。玄関道に草が生えていたので、気になったし、久しぶりに時間もできたので草抜きをした。ついでに裏の方にも手をのばし、すっきりしたが、こうして夕方まで、若干疲れ気味だ。ひる少し前、安部スミ子さんからの連絡で、みゆきと共に出かけることになった。全電通の福岡支部の女性たちが反公害の講習会をやっていて、正午に無公害食事をするので、それに加われという。三〇人ほどだろう市の婦人会館がその場所。往復二時間ほどの外出になった。あいさつの時私は、子供の病気につきアゴの発達、老人病の低年齢化に関し、意見をのべておいた。

7月4日(月)晴

十時に済生会病院に行き肝臓のことで点滴をうけた。ブラジル旅行以来要注意ということ

である。つづいて歯科にも行ったが今日は抜歯をやめようということになり（議会对応で慎重を期して）その代わりブラジルから来ている行徳さん、治療してくれている甲斐さんを誘って学部正門前のレストランで中食をした。一時半母親大会実行委員一四人が来て知事要望を行い対応した。三役協議ののち、「火の雨が降る」制作委員さんの挨拶（私の題字揮毫渡し）。朝鮮総連代表が来て、昨日北鮮墓参団をのせて門司の太刀浦港に入港したサム・ジョン号の船長から海金剛の景色を刺繍した大きな額を知事にと届けてくれた。五時から巳千代で両副知事、林県議四人で夕食会。

7月5日（火）曇

八時半から本会議の答弁案検討。十時半に田川市長ら市郡関係首長ら畠中県議と共に三線の第三セクター化に際しての県の支援につき要請。十一時から本会議・代表質問。横田（自）紳（社）、西原（農）の三人であった。それぞれ時間一ぱいかけての質問だったがおだやかに経過した。やはり睡眠不十分でつらい一日であった。四時五〇分サンパレスで福岡水産問題懇談会のパーティがあって出席。漁業関係者の大物がそろった集りで水産庁長官が講話したあとの会であった。早目に帰宅してゆったりした夜を迎え、明日の答弁資料が届くのを待った。天井イタチが騒々しいこの頃だ。

7月6日（水）晴

八時半から答弁案の検討会。今日二日目の代表質問は酒匂（公）、豊沢（民ク）、塩塚（共）の三人だった。どれも順調に進んだ。但し酒匂と豊沢、とくに豊沢は悪態をついた。品の程がわかるし、北九州市にとっても損ではないだろうか。こちらからみると一寸も敬意に値しないのだ。午後五時に帰途済生会病院で肝臓のための点滴をしてもらった。一時間余横になって休んだ訳だが、私にとって肝臓が問題になる原因がわからない。ウィールスをどこからもらったのではないかと説明があるが、原因除去に全く自信がもてない。一日おきぐらいに点滴をするとよいといわれている。神妙に構えた生活に心がけよう。南部九州は昨日から梅雨明け。こちらはあと一週間ほどかかるらしい。

7月7日（木）晴

八時半から検討会、十一時すぎから本会議。一般質問に入り計十六人のうち、今日は五人。岩佐（公）、常守（共）、木村（友）、井手（自民）、村瀬（社）の五人で、午後三時少し前に終了という順調さ。井手の質問ぶりは明らかにスタンドプレー。夕方大分の田崎氏が来室した。市議として活躍している。梅雨が明けたのではと思わせるほどのカンカン照り。刀出に電話したら来年の福岡博にバスツアーでこよいかとの計画があるらしい。ブラジルからのみやげ追加が届いた。名は知らぬが大木のコブを飾台に磨き上げたのと宝石火山岩の切断して磨いたのと、組み合わせて床の置物になる。今日から盛夏に入ったといえるだろう。こ

の夏、無事に乗り切りたいものだ。なるべくヘビーな動きにならぬように。

7月8日(金)晴

早目ながら梅雨明けになった様でカンカン照りだ。例のように八時半から答弁の検討、十一時すぎから二日目の一般質問。山本(農)、蔵内(県民)、北原(公)、下川(共)、新宮(自)の五人で、三時半には終わった。順調である。四時からTNCの取材、私の九大学生部長時代ファントム機問題をめぐっての話であった。決裁などすませ、五時半から済生会病院で点滴。昨夜は暑くてよく眠れず、安定剤を途中で多くのんで、今朝は副作用が残り、足許がふらついているのを他からも指摘される程。

7月9日(土)晴

休務。朝のうち身辺整理や手紙書きにあてた。二時迎えの車が来て出発。小倉の法華クラブで社会党系の人達の主催による「北九州の活性化について知事と語る」集会に参加。小野、中西、多賀谷の国会議員、北九地域の社会党県議、市議も参加、中小企業者も多く参加していた。那波、上島の二人が進行役をつとめ、私が北九問題について考え方を話した。あと立食式の懇親会があり、森数氏も来ていたし、多数の知り合いがふえていた。二〇〇人以上になっていたろう。松永氏があと一カ所といい、中座して弥生会館に行った。ソウルオリンピック出場の川角博美氏(一六〇〇リレーと四百の選手)を励ます会である。帰宅したら九時前になっていた。「活性化」の会は、「知事をはげます会」になっていた。

7月10日(日)晴

昨夜も熟睡できなかった。秘書室の藤本女史が手伝いに来てくれ、日教組の福田委員長らの来宅を迎えた。五人来客、福教組、高教組の委員長も。警察の右翼対応が今回大手門での日教組大会にそなえてかなり大規模なものになって来たことがまず話題になった。私に対し、大会開催あいさつだけが来訪目的だったので、スシで中食をして後、退散となった。藤本女史に郵便切手のストックを披露した。ついでに彼女が引揚げた後も、改めてストックブックの整理に時間をかけた。啓二がこれらを譲り受けたいとっているとみゆきが説明。知事になって以後の買い不足が記念切手について目立っていることを痛感した。

7月11日(月)雨後晴

真夏日がつづいている中、午前中一時雨となり涼をもたらした。八時半から答弁資料検討会議ののち、十一時半になって本会議。一般質問の最後、山北(社)古賀(農)牛浜(公)中島及び武藤(自)の順。まずは順調に進んで終ることができた。中食をはさんでの時間に、ママさんバレー全国大会出場代表者があいさつに来訪。色紙を呈上し、激励した。議会が終って決裁などすませ、帰途、済生会病院に寄って点滴をした。約一時間。夜は福岡市PTA

四〇周年記念誌からの依頼原稿を書いた。昨日の記念切手ストックブック整理のことを思い出しているが、無限のこの「趣味」にどれほどの時間をかける意味ありやである。

7月12日（火）晴

議会の質問が終って今日は休務。揮毫の宿題が少したまったので、ひまをそれで費した。色紙、条幅それぞれ滞留していた依頼を一掃することができた。のんびり筆をとり、気を張らないことにした。外は今日も照りつけていた。寝苦しい日がつづく放送されていた。みゆきが歯の治療に出かけた。一本六万円で数十万円かかるといっていた。私も上あごずり取りかえることになるが、さてこの方はどうなるのだろうか。夏の日々は先生があいてないのではなかろうか。七月は下旬からしか治療ができない。六〇年以上もお世話になったのだから歯がなくなるのも無理はない。体力もずい分衰えたことが自覚される。

7月13日（水）曇時々晴

十時に出発。十一時半に山国川をはさんでの両県の若者たちの綱引き大会に関して大分側から「挑戦状」（知事名）のあいさつがあった。中食は県民の会の役員達十人と歓談しながらではあったが、話題は消費税に知事はどう対応するかであった。一時四五分から九電玄海原発事故につき、会社側に知事から運転中止など申入れるべきなどの諸要求をもってきた。三時前、スペースワールド社長小池孜氏が協力方挨拶に来訪。夕方、中国帰国者自立センターの看板書き。その前四時半に山笠千代流れの県庁表敬訪問あり対応した。八〇〇人ほどの列だった。汗ぶるぶる山笠らしい絵であった。帰途済生会病院で点滴。夜は河野、上田氏に来てもらってマージャンを楽しんだ。疲れてはいけないのに……

7月14日（木）晴

まさに盛夏。休務で古切手をはがし整理をして夕方までかかった。でも、数日前の仕事を追加した形で、切手整理は大体完了した。むろんきりはないし、欠点もたくさんあることはわかってのことではある。朝のうち、また裏庭の雑草抜きをしたらシャワーをあびざるをえないほどに汗かいた。県警本部長からの電話で、大手門会館事務局に右翼が押し入り、なぜ日教組大会に会場を借すかとどなり、拳銃を放ったとの事件報告があった。蠢動がはじまったようだ。明朝すごく早い出発なので午後八時頃に就寝することにした。明日は山笠櫛田神社、そして県議会本会議である。

7月15日（金）曇一時大雨

昨日は島根県で大雨死者を出したようだが今日はわが県で。三時半に迎えが来て櫛田神社、追山笠四時五九分から五時半まで。六時に帰宅、仮眠。十時に登庁。議会の動きを見守る中、木材組合樋口県議、JR九州石井社長、デンマーク訪日団などの来訪に対応し、中食は議会

棟でとって待機。五時になって会期延長となり五時半代表者会議、六時十分から本会議。教育委員の人事ほか全議案の議了。畑中同対局長の宗像助役への転出辞令を交付。帰宅できたのは八時頃だった。「六月議会」は波瀾なく終了した。右翼が来るおそれもあるので秘書室の男性四人が来て待機。前のうちでマージャンをして時間をすごした。斎藤君は眠いといっ
て帰った。

7月16日(土) 晴

九時半に出発し、十一時から一時間小郡で宝満川流域下水道センターの開通式に出席した。小郡筑紫野ニュータウンを中心に下水浄化をする目的のもの。帰途、明願寺に寄っておまいりした。永田室長も同道した。福岡インターほか市内には既に機動隊が動員され、大手門会館にも金網がすっぽりかけられたという。サンヒルズホテルに、みゆきも来て、家を留守状態にして警備にまかせ、中食、小休憩した。五時から七時までパーソナルホテルで開かれているローフレンズ十周年記念行事に出席した。私は会長だから義理もある。八時頃からホテルでマージャンをすることになった。

7月17日(日) 曇一時雨

サンヒルズホテルに閉じこめられた時間を過ごし、夕方五時半に出発。日教組役員知事招宴が稚加栄で開かれた。(実際は六時半) その間昨夜の部屋を借りて又マージャンをした。杉山、高原の来援による。明日の日教組大会での知事挨拶の原稿を杉山君が書き私が手直し、原口君がワープロで正写してもって来てでき上った。朝刊には昨日から右翼のマイクカーがかなり立てることへの苦情が交通渋滞への不満と重なり合って記事になっているがこの数日のこの状態は続くであろう。私が稚加栄に行くにも右翼とみられる先客がいるというので近くの路上で、様子見のためかなり待たされた。昨日今日局所的に強い雨が降った。八時前にサンヒルズに帰った。警備が固い。

7月18日(月) 曇

五時半にめざめた。六時すぎにみゆきは起き出で富士旅行のためサンヒルズホテルを出発。私らは八時に朝食。警備の中地下鉄で大手門会館へ。日教組第 65 回定期大会十時五〇分から挨拶。地下鉄で博多駅そして公用車で空港へ。十一時四〇分発 JAL で予算陳情のため上京。機内で中食。東京事務所到着後は特別のスケジュールなしで歓談してすごした。夜は近く中華料理店(東條会館)で夕食。今日大手門会館を出る時右翼の街宣車の列に出くわしたが警備陣もあり事なし。挨拶文は当初の原稿に対し、白石県議、小野参議の意見があって若干の加除を行い、林県議の注意もあって「元気のいい声で」発言した。東京事務所に既に右翼の抗議があったこと、床嶋所長から事情をきいた。

7月19日（火）曇

政府各省庁の概算要求に向けての陳情団を組んで上京したのだが、今日午前中は劔木事務所と自治大臣に、午後は文部省と文化庁をはじめ、外務省及び自治省をまわって日程を終了。直美を呼び出して「ふくおか会館」で会席料理の夕食をした。県会議長高山氏も来ていて今日内定したと発表された政府官庁地方移転候補のうちアジア経済研究所（通産省系）の福岡県への誘致について自民党地元国会議員らに協力を求めるべく要請した。政府機関の移転は筑波や大宮に集中しそうだが、九州にも呼びかけたいということだ。陳情のうち特殊なのは北九州都市高速の再建で、北九市の助役も自治省内各首脳に対し携えて要請した点にあった。

7月20日（水）曇

八時半からプリンスホテルで、自民民社の国会議員との朝食予算要望説明会。同じく中食会では公明党、そして夕食会では社会党。これは場所が東條会館であった。午前中に農水、午後は建設、運輸、国土、労働の各省庁まわりを昨日につづいて行く。階段を、廊下をとというように歩きまわってほんとに疲れた。農水、労働の二つは陳情先の数がとくに多かった。国会議員への説明は、共産、社民連の二つに対しては従来どおり別個に対応することですませる。税制改革を本命とする臨時国会が昨日招集されたが、税制がどうなるか、国会審議がどう流れるか今は不透明。昨日今日の陳情では、問題により市町レベルの人達も加わった。

7月21日（木）曇

ゆっくりした朝。昨日も今日も東京は二五～二六度で涼しい感じ。私が提案して交通博物館と通信総合博物館の二つを見物することにした。大手町近くにあるので便利だ。一度見ておきたいと思った施設である。鉄道と郵便が中心であると思ったのだが、前者には海と空、後者には電信、が加わっていた。むしろ、NTTのPR場のようにになっているのが不満でさえあった。二時の飛行機で帰福し、日教組大会も無事終了したときいた上で、済生会病院に寄り、検査と点滴を行った。血糖値が三三三、尿糖値がプラス四と異情だった。自覚症状がとくにないのでなぜこんなにとさえ思った。血圧も八四と一三九で平素の七〇と一二〇にくらべ高い。上京で疲れたのだろうか。

7月22日（金）晴

十一時半から海幸で問研関係者との懇親中食会があった。衣笠、福留、石川、東定、木下がメンバーであった。今年岡山から九大法に転勤の河野正輝氏も参加し久しぶりの面会であった。雑談に終始したが、八丁君の初盆も考えねばならないだろうし、協会系の運動全体が考え直される時期に来ていることは確かだ。午後久留米市長らが新幹線建設で陳情に来た。次に秋山エリカ新体操五輪選手があいさつに来訪。県警本部長に日教組大会警備について

お礼挨拶。五時半からパークホテルで長谷部忠士氏の「人は石垣人は城」出版記念パーティがあった。県自治労、社会党系の人達が二〇〇人ほど祝賀に集まった。私は会食には参加しないで帰宅。パーティ出席前に済生会で検診。数値は昨日に反し、平常化している。

7月23日(土)曇

休養日とされたので、少したまっていた揮毫に時間をあてた。高県議の紹介で揮毫してあげた藤井天道さんは立派に掛軸表装して箱書きを依頼してきているので、それも仕事のうちに入るし、高氏が又一人分頼んできたので、それも書いた。藤井さんのを見た人が是非と所望したからである。これは芳賀泉という人。藤井さんのは私自身まずは立派に書けたと思っている。揮毫することは数多いが自己満足できるものは少ない。急いだり短気ではいけないのだが、つついといい加減にしてしまうのである。箱書きとてもまだ正式に習っていないままである。何日習うことになるだろうか。

7月24日(日)曇小雨

この数日小雨、にわか雨など、もどり梅雨という人があるくらい多雨である。一昨日ふと思いで出して「鈴虫は」とみゆきにきいたら今年は死んだらしいという。気付かずに放任したままだったのだ。旅に出かけることも多かったし、放任忘れもあって、惜しいことをしたものだ。外で草抜きを一寸すると蚊の大軍が来襲する。十一時に元九大学生課長小林氏(現東大学生部長)が堀九大厚生課長を伴って来宅した。話は当然にファントム九大墜落二〇周年、その後の学生紛争封鎖解除に及んだ。この日記帳の古い当時のを引き出し中食を共にしつつ歓談した。彼はよく覚えている。

7月25日(月)雨

十時に済生会病院に行き点滴。検査の結果は血糖二八八、尿糖プラス三。午後歯学部に行って抜歯してもらおうとしたが、この高い血糖値では断念するしかない、後日に延期になった。岡部重幸氏と坂本県評議長が来訪、武漢市との技術交流につき県の支援をということであった。中食を県記者クラブの面々と庁議室で歓談しながら済ませた。どうして血糖値がこんなに高いのか、一その食養生をせねばと反省している。運動量についても一そう配慮する必要があるか。余の時間は「レク」だが、とりわけ次の土曜日の県民大学での講義原案(高齢化社会を考える)について時間をさいて関係職員と論議してみた。七時に帰宅。食後は身辺整理。たくさん課題がたまっている。

7月26日(火)曇

定例の庁議、記者会見。県立四王寺県民の森緑の少年団が総理大臣表彰をうけた報告に来訪。また日本青年会議所九州ブロック大会が秋に大牟田で開かれるとの報告案内に代表が

来訪。中食は社会党の小田氏と庁議室で。近づく党大会では役選が問題だとのこと。二時にホドリ姿のオリンピック宣伝隊が来訪し、東公園で接見挨拶。両筑土地改良区の役員、関係県議（山本、中島、井手）が水問題で小石川ダム利水を約束すべきと陳情。三時に朝の放送の録音をした。ユニセフ薪能が護国神社であるはずになっていたが、天候を心配して中止となった。定刻に集った人達は不満げだった。

7月27日（水）雨

十一時に YFU 派遣米豪高校生の表敬訪問があった。十人が二ヵ月福岡県下ホームステイ体験を積むのだ。豪では外国語教育に日本語が選ばれるほどに日本への関心が高まっている今日である。二時一〇分の ANA で上京。東京も雨である。六時から九段会館で奥田知事東京後援会の懇談会があって出席した。国会議員では多賀谷、河野、渡辺、中西の諸氏も出席してくれた。多賀谷氏には石特会計問題について、行方を心配していることを伝えておいた。後援会の人々の熱意が伝わってうれしい会だった。福岡出身の総評系幹部が約三五人出席していた。

7月28日（木）曇

十時からの九段会館における総評大会（七九回）第三日目の冒頭私から祝辞挨拶をのべた。すぐ羽田に向い十二時半の JAS で帰福した。羽田では早かったので空席待ちの手段を講じたが、夏休みで利用客でごった返し、ようやく JAS を拾うことができ、予定より一時間早目に福岡に着いた。機中県評の松田事務局と合席でいろいろ当面の諸問題で意見を交換。その延長で福岡では林県議団長を事務所に訪ね、又、夜は福留氏と電話連絡した。後者は労戦統一の新時代を迎え、問研に八丁君なきあと、県評サイドのブレーン要請にどう応えるかについて考えておいてくれと伝えたのが内容。今日も済生会病院で点滴、夜は手紙書きに追われた。血糖尿糖いずれも中食抜きのため著しく低下していた。

7月29日（金）曇

十時から庁内で県交通安全対策会議。このあと来訪者二件（徳田消防協会副会長、前通産事務次官福川氏）。十二時から西日本銀行会長、頭取の就任披露パーティ（ニューオータニ）に出席。帰庁後午後一時半から商工会連合の婦人部役員との対話のつどいを消化。決裁若干をすませて五時半に帰宅できた。又昨夜は睡眠不足になっていた。気分は今日の天気のように雨雲がかかっている。明日は県民大学の講義で秘書室が準備してくれた資料を頭に入れてととのえるのに夜の時間を費した。刀出の九一との電話で、二日ほど後に、打越の連秀らと福岡に行くとのことだった。冷夏で農業、商業、レジャーに影響が出てきたようだ。

7 月 30 日 (土) 曇

いぜんつづく涼しい日々。十時から県民大学で「高齢化社会を考える」と題して二時間講義した。まずまずの出来だったと思う。五〇〇人ほどの来聴である。中食は森山、安達、杉山三人を相手に庁議室で食べ、あれこれの県政課題を出し合って楽しくすごした。庁内のこと、行政課題、政治課題がどんどん出された。目くばり、気くばりの必要性を感じた。二時出発で、医師会館でのメディカルセンターの新情報機械導入の火入式に参加し、引きかえし市の体育館での中学校体協四〇周年記念総合体育大会総合開会式に出席した。誰もかも代理出席、本人は知事だけ。来る国体を皆意識しての大会だといえる。

7 月 31 日 (日) 曇後晴

昨夜おそくまで上田、河野を呼んでマージャンをしていたので今日は疲れを覚え、夜は八時半頃には就床。ひるまは揮毫にあてた。明日ぜひというのが何枚かあったし、その他又たまっていたのでそれらを一扫すると共に若干書きおきまですた。入江千代子さんの依頼で鳥飼に福岡女子師範跡碑を作るのに書いてくれとってたのを今日仕上げた。夏の甲子園高校野球の県予選は今日が決定戦で福岡第一が春に引きつづき優勝出場を決めた。これもどうせ挨拶に来て色紙を要請するであろう。夕方晴れてきた。八月は暑さがもどろろ。

8 月予記

できるだけ骨休みになるようにと祈る八月である。秘書室もそれなりの配慮はしてくれるようだが、やはり相変わらずの日程消化を要するようだ。全く自由というのがないので残念。書斎の机辺をみると課題が多すぎるのに気づく。よく書いていた「かな」の練習、古き時代の記録は無限の課題である思いである。「ゆとり」を見ないとそちらに手が届かない。古い時代の記録は何とか書き加えていきたい。戦争が終ってからもう四〇年余り、忘れ勝ちのものを思い出し思い出し書き加えていくことに無限の楽しさがある。ハワイ・ロスの旅行をどうするのか、一寸不透明である。できれば行かずにすむようになってほしい。

8 月 1 日 (月) 晴

辞令交付のあと十時半から死亡者叙勲の伝達式。午後四時から大洋ビデオホールで、ダウンタウン・ヒーローズの試写会。これは二時間かかった。例により山村謙一氏の招待による。松山高校の寮祭を中心に展開される旧制高最後のバンカラのロマン。城山ホテル一階の喫茶店でコーヒを飲んで山村夫妻とお別れした。山田洋次監督、主役の薬師丸ひろ子、中村橋之助の三人ご本人と試写会終了後に直接会うことができ、実によい夕刻を味わうことができた。三時に白石県議が田川の二組のお客さんを連れてきて昨日の色紙を進呈した。又少年野球九州大会に連続優勝の福岡学園からも大阪全国大会出場挨拶に来訪、色紙を進呈した。いよいよ本格的な暑い夏になって来た。

【「私もバンカラでした」（『西日本新聞』1988年8月2日）の切り抜き挟み込み】

8月2日（火）晴

盛夏になった。庁議、記者会見のあと大手門の県評大会に出て挨拶。会館で中食し、市民会館で開かれている全国作文教育研究大会で挨拶。原稿なしでかえって笑いを誘い好評のようであった。一時、東公園流水で子供の鯉のすくい取り会に出て稚魚を放流、子供達と楽しんだ。二時、甲子園野球出場決定の福岡第一高校の選手団、理事らが来訪、激励の辞をのべた。内田一郎氏紹介で西日本動物保護団体の人達が来て犬猫乱獲の残忍さを訴えた。四時半姫路の田中市議ら視察団が来訪。点滴ののち、七時高宮別館見学の記者クラブの諸氏としばらく歓談し、八時帰宅した。

8月3日（水）晴

七時五〇分に出発。列車利用で中津市往復。北大経済圏構想推進協議会がオリエンタルホテル（駅前）で開かれ挨拶。すぐ引きかえし、九地建局長との会談（庁議室）。これは筋書きの通り、関係部課長列席のもとで行われた。二時半から約一時間。残りの時間、昨日高木二郎氏（マルホ）から送り届けてくれた昭和萬葉集前書集をぺらぺらめくり読んでみて八月十五日を思いおこしてみた。四時半から五時半まで歯学部病院に行き、上右小白歯一本の抜歯をしてもらった。やはり気持ちのいいことではない。六時、ニューオータニで上杉昌也氏の事業、甘木でのセンチュリーゴルフクラブ発会祝賀会が行われ、挨拶。乾杯までいて中坐帰宅した。立派なゴルフ場が再来年オープンするという。

8月4日（木）曇 しぐれ

オリンピックフェンシング選手江村氏が中島県議に伴われて来訪。市内輝国二丁目に両親が住んでいるとか。三役協議は大ふくおか展、田川三線、県有地跡地問題など。午後は二つの組合大会（全電通北福岡と全通福岡地本）のあいさつ。前者はまなづる会館まで車での往復であった。五時に光円寺を訪問、お盆参りの意。しばらくの時間円日住職と歓談。六時から三光園で連合の山田事務局長（ゼンセン出身）らを迎えての懇談会。うちからは林副知事、征矢労働部長、永田室長が出席。連合の将来、地域労働戦線の動きなどが間接的だが理解できた。全通の宝樹氏が統一をいい出してからすでに二十余年が経過している。昨年末大きなうねりとなって動き出したわけだ。福岡にも大きな変化がみえてきた。

8月5日（金）曇一時雨

背振キャンプ場に直通した。知事との対話で何組かの緑の少年団が昨日からキャンプに入り、私が着いたときは竹トンボを作っていた。切出しナイフ、錐、ノコの使い方はまるで初歩、引率の先生も指導力を欠いている。対話の中では子供達（小学五、六年）からかんたん

な質問をうけたのち、ソウメン流しで中食となった。受け皿は福岡市森林組合であった。二時鹿大の学生部長をしている河野岩造氏が訪ねて来た。九大で民主教育研の夏季講座があって参加しているとのこと。ミニバイクで十一時間とばして来たといっていた。相かわらず風貌もかわっている。西日本新聞社及び甘木市長(友納氏)の来訪あり。新市長は助役人事で県に相談をもちかけている。帰途(五~六時)済生会病院で点滴加療。何とはなく疲れをおぼえるこの頃である。朝出発前椅子につまづき左足小指の打撲瘍生ず。

8月6日(土)晴

この夏最高に暑い。県民大学の北九講座。小倉商工会館、三〇〇人余。先週の福岡は五〇〇人をこえたようだ。車で往復し、帰福して直ちにケヤキ通りのフランス料理店ル・ギャマンに行く。一時半、八丁和生氏の遺族を呼んでの激励中食会である。新旧県評事務局長松田・岩崎の二人が雑談の中で口論したのが、雰囲気崩しになったが、おおむねなごやかに終わった。協会、問研も来いて形はついた。女ばかり三人で生きて行こうとしているが、不安はなさそうだ。二人の娘も十分に事がわかるようだ。四時頃まで四〇分わが家に帰って一休みし、グランドホテルでの婦人税理士会総会に出席し歓迎の辞をのべた。夜、藤江、森が来て麻雀。

8月7日(日)晴

墨すって揮毫。目的があつてのことではない、書きだめである。墨がなくなるまでどんどん書いてみた。色紙も。半裸が一番すきな恰好。ひるまテレビ FBS が昭和二九年三月一日のビキニ水爆実験につき放映してた。マーシャル群島の一島が人体実験にも使われたという。軍事目的ならこんなむごいことをしてもいいといえるだろうか。日本の政府もアメリカに追随していた。今日でも同じことがいえそうだ。昨日は広島、明後日は長崎の原爆忌である。忘れてはいけないのに、忘れ勝ちの世相がかなしい。夕方玄関前の道の草刈り作業に汗を流した。室内で三〇度。あと三日は多忙。

8月8日(月)晴

八時五〇分出発、午後八時すぎ帰宅。上京、午後は陳情。前半は県だけの政府関係機関の地方移転について、総理府、科技庁、大蔵及び国税庁。後半は西瀬戸経済圏知事会。これは愛媛、大分の知事、広島、山口、宮崎、高知は副知事で対応。国土庁、運輸、建設、そして道路公団をまわった。平松大分知事が先頭切つて陳情内容を説明したが、豊予海峡トンネルをまっさきに挙げていた。交通網整備に重点がおかれていた。企画の中村部長が同行、帰りは機内も一しょであった。今日から夏の甲子園野球がはじまった。今日も室内で三〇度、しばらくこの調子がつづきそうだ。高木二郎氏が作った「昭和万葉集前書集」は安達氏にみせることとした。県版の思いが私にあるのだが。

8月9日（火）晴

猛暑つづく。庁議なく記者会見はあった。電々労組福岡支部大会あいさつのため、原鶴温泉泰泉閣に往復。車中で中食、帰庁し、三時から国体時期決定の録音（残暦板設置に関する内容）をした。三時半、労働組合「連合」の県準備会の役員池末、鷺頭の二人が来庁、組合側の要請書を提示説明要談した。四時半香港駐在員一時帰国者から報告を聴き、げきれいした。五時半から点滴。今日は中食が十分でなかったためか、血糖、尿糖とも値が平素より低かった。終って大手門会館に行く。長崎原爆忌に出席して帰りの土井たか子委員長を迎え、社会党協力員千人突破の祝賀会が開かれた。小野、中西、渡辺の三国会議員、その他県議も顔を出し、私は乾杯音頭。土井委員長は二階のホールで講演をしてあとのこの祝宴だった。

8月10日（水）曇一時雨

林県議（社会党県議団長）と共に上京して総務庁官房副長官（石原信雄氏）と自治省の持永官房長の二人に会い大塚副知事人事についての配慮に謝意を表明した。大塚氏を自治省に引きとってもらえるかどうか以前に打診したことがあり、その後彼が来年七月まで任期一ぱいやりたいとの意思表示があったので、それを了とすることになり、両氏にいろいろ配慮してもらって元のさやにおさまったことへの謝意である。ふくおか会館での中食には、連絡してあったので児嶋正博氏と共にすることになり、又帰途につく前一時間は、住友建設会長の斎藤武幸氏が来訪し、県庁跡地対策をめぐって林県議との対話にあてた。黒川紀章氏が知事に会わせてくれと申出ている件について。

8月11日（木）晴

昨夜おそく直美が盆休みで帰ってきた。しばらく休みがとれるらしい。今日は休務で身辺雑用に時間をつかった。高木二郎氏が送ってきてくれた昭和万葉集前書集を読み進み北海道から南下し、東京の部まで来た。前書きにはすごい迫力がある。刀折れ矢尽きた八月十五日の日本がありありと思い出しうるからである。若干草抜きもしたし、揮毫もできた。夕方藤江君が来て河野氏を呼んで夜にわたりマージャンをした。すごく蒸す一日であった。揮毫が十分納得するまでに至らなかったのが心残りの一日ではあった。前書集は東京にとどまらずどんどん読み進めていきたいものだ。益するところ大である。兵より民の方が痛手をうけている。

8月12日（金）雨と曇

十時に歯学部病院に行き抜糸してもらおう。奥歯についてはもう少し様子をみようとのこと。このあと八幡西区故木原昇氏の初盆まいりに行く。帰途ピサに寄って中食をとる。牧坂氏も出てきてくれた。たたきつけるような雨が八幡でも、福岡でも降った。午後四時に国体会期の決定に伴う記者会見と本庁前の残暦板披露会があり、県体協の永倉会長も出席してくれ

た。太田昇身障者福祉協議会理事長も身障者スポーツ大会の関係で出席。四時半済生会病院で点滴と検診。数値は心配するほどのものではなかった。六時、山ノ上ホテルで随行秘書たちの私たち夫妻を囲む夕食会があった。松尾氏が呼びかけた者で佐々木、大石、森山、福原、今の斉藤、それにはじめの室長近藤、運転の是松、秘書の三笠が加わった。楽しい夜の一時をすごすことができた。

8月13日(土)曇一時晴

すごく暑い。今日、明日は休みだから、ゆっくり過ごせる。外出日程は自分で作らない。身辺雑用のうち、好きな句を選んで揮毫してみる。明日は三枚ほど清書しなければならない。また睡眠不十分で何となく疲れた感じである。「昭和万葉、前書集」をよみつづける。何とはなくひきつけるものがあるので次々とページをめくっていく。軍務に就いた者の方が「銃後」より楽だった訳だ。戦争末期はそのような事情にあった。とくに都市、施設は日ごとに空襲され、加速度的に生産力が落ち、ほどこす術なく、始末に追われてしまって八月十五日になった訳。

8月14日(日)晴

ひるをはさんで昨日のつづきの揮毫。色紙四枚、扁額二枚、条幅一枚を完成した。月の下旬に朝日文化センターがチャリティ用に依頼してきたものも今回で仕上げることができ、少しストックができたほどで、揮毫のためにはいい連休になった。盆休み気分もなくはないが、どこかに出かけるような気分には全くならない。午後になってマージャンをしようということになり、河野・上田の両人が来て遊んだ。彼らがひきあげて後、おそい夕食になった。民生部が中心になってまとめた調書「高齢者福祉対策の現状と課題」は適時の作業で、ひまひまに読んでいる。高齢者問題には通じていなければならないと自戒している昨今だった。

8月15日(月)曇一時雨

十一時五〇分からの、例の戦没者慰霊祭が大濠の武道館で行われた。中央でも国主催のがあった。十二時に黙禱が全国一せいに行われたであろう。小野、渡辺両参議のほか麻生太郎が顔をみせたほかはいつもより、一般も、参加が少なかった感じである。終って登庁したがクイーンでの中食、理髪をすませたあと、三時からの執務となる。五時に県少年の船の帰港式のため博多中央埠頭へ。八一五人の少年団員が四泊五日の沖縄の旅。自然の美しさと平和の誓いを体験したとのこと。家族の人達がたくさん出迎えての帰港式であったが、雨が降り出したので、流れ散会の形で終っていった。帰途、福岡斎場に寄って朝日の総局長の奥さんの通夜に参拝。台風気味の天気。

8月16日（火）曇

午前中は旅支度その他で時間を費してしまった。一時出発して、済生会で点滴と検査。それから三日間予定の筑後川温泉新泉荘におけるサマーイン。四時からののが四時半になり、二時間ばかり、企画部長中村氏より五項目にわたる県政当面の課題について説明をうけた。石炭問題については私の方から三池対策でモーションをおこそうと提案し納得してもらった。夜食はこのほか同行の二子石、家永、斎藤、原口と共にしたが、宴終りに新泉荘の経営者佐藤氏も入ってもらって大いに歓談、屋上のビヤガーデンに逆に案内されさえした。就寝前二子石総務次長、家永の二人が部屋に来て要談して十二時まで。

8月17日（水）曇一時雨

五時半に起床して浮羽町御幸中学校のNHKラジオ体操の会に参加。新泉荘に帰り一時休眠。十一時にホテルの主人の車で「細流」にヤマメ料理を食べに出発。鐘水町長も参加した。中食後、「細流」（せせらぎ）近くの古い藁葺の建造物（国指定重要文化財）を見学。又一ノ瀬焼丸田窯にも立寄った。新泉荘では夕方まで、力丸、田口両部長からそれぞれ水産林務、商工両部の当面の課題について説明をうけた。甲子園高校野球にみんなの関心が集まり、カタズをのんでテレビを見た。福岡第一が福井商に延長戦にもつれ込んだ末に勝ち進んで一同ホッとしたところで夕食会。あとでマージャンをすることになり、午前二時になってしまった。

8月18日（木）晴

おそめの朝食だったが、午前中は永田室長の車で田主丸町石垣の特養老人ホームひじり園視察に出た。ラフなスタイルで近くの巨峰園にも行った。中食をしながら社会党「一年生県議」との懇談会をした。十二時から三時まで。議会運営の中で理解できないことがあまりにも多いという。私にも十分それは理解できる。執行部と、又住民と、交流できるように努力してほしいと私から注文した。四時発で浮羽から高速でとばして小倉松柏園ホテルへ。六時半から安枝副議長の就任祝賀会。三つの部屋に別れて客を迎えるという大盛況。三箇所とも知事挨拶。九時に帰宅。疲れていて何もせず十時半に就寝。虫の音がきこえる。

8月19日（金）晴

九時半から済生会病院で点滴と検診。糖の数値は高くなっていた。十一時からサンヒルズで海区漁業調整委の発会式、同中食会。帰庁執務ののち、二時半から九月分朝の放送打合せなどを行い、小倉松柏園ホテルでの三笠宮歓迎レセプションに出席した。全国氏子青年協議会の大会が明日開かれるが、それとの関係である。三笠宮は神道の他の宗教と同一視できない点の示唆発言は興味をひいた。今日も亦多忙。帰宅は夜九時近く。あとは何もする気がなくなってしまう。漁業調整委は三海区別に決められ、任期は今後四年間。九大OBの塚原氏が

総括的存在で、会長席についている。近頃は遊漁者とのトラブルも多くなっているのが注目される。

8 月 20 日 (土) 晴

ひるまの甲子園高校野球で、福岡第一が準決勝に進出することが決定 (江の川に勝つ) したので、明日は今日の大塚副知事に加え、私が又応援に出かけることになった。日曜返上となる。午後、西新の早良市民会館で開かれた社会党県本の定期大会に出て挨拶。すぐ新幹線で小倉へ。厚生年金会館での全国氏子青年協大会に出て挨拶した。県の車を小倉にまわして、それで福岡まで帰る。ゆとりがあったので、大濠公園池の浄化工事の現場を視察する。湖底のヘドロ固化形である。池の魚、空缶などのゴミ、ガチャーなど飛び出^てて行かない住みついた鳥。外壁をキャンバス代わりとした近辺子供会の絵などが注目された。六時半から三時間、中国総領事館で外交部々長補佐、文遅氏の来館歓迎レセプションがあった。

8 月 21 日 (日) 晴

長い一日だった。甲子園で福岡第一高校が勝ち進み、今日は沖縄水産高と準決勝。どうしてもというので八時福岡空港発で応援に行く。十一時から三壘側アルプス席へ。(大阪事務所の車出迎え) みゆき、直美も同行、秘書室、学事課も対応。一時すぎ当方が五対一で決勝に進出。汗にぎる好ゲームだった。両腕が火傷のようにひやけた。電話連絡していて、新幹線で姫路へ。三時五分、九一、晴久が出迎えてくれ、斎藤君随行で刀出に行き、和代も来て墓参り。本家にもあいさつに行く。九一には十二日に初孫が出産した (娘)。夕方、芳男氏、裕一も来て、九一ところの二階でスシの料理で夕食をごちそうになる。裕一が送ってくれ午後七時五十分姫路発の新幹線で博多へ。秘書室の城、原口の両氏が迎えてくれ、今夜はみゆき大阪泊なので二人が留守番役で泊ってくれた。

8 月 22 日 (月) 晴一時雨

九時一五分出発。泊ってくれた両君は後発。九時半から郵貯会館で九州地区学校保健研究大会。十一時から信用金庫理事たちが都ホテルに集まり、知事と懇談中食。帰庁して執務。今日十二時半からの決勝戦は広島商が福岡第一を一对ゼロで勝った。一時間ほど知事室で記者クラブの人達も多数つめかけてテレビ観戦したが、福岡は後味悪い負け方をした。でも、総じて、福岡はよく頑張ったといえる。六時から飯塚の寿会館で九工大情報工学部を中心としたファジィ (FUZZY) システム応用国際学会が行われ (レセプション) 出席して挨拶した。三〇〇人ほどの学者、実業家が集った中、外国から四〇人も来飯したとのこと。

8 月 23 日 (火) 曇

九時出発、八時帰宅。近頃の日程つまりすぎ。庁議なく記者会見。ハワイからの高校野球選

手訪問あり。十一時、朝銀三五周年記念寄付金の福祉協議会への贈呈に仲介。十一時半消費生活審の建議をうける。庁議室で中食しつつ県民の会の意見をきく。一時二〇分農政連の陳情があった。一時半から三時半まで国保、老人保健、高齢者の各問題につき、勉強会をする。高齢者対策は県の事務組織をはじめ、各方面で他県より遅れをとっている。済生会病院で検診と点滴をし、このあと第一高校の球児が帰福し、報告会をするというので、学校に行く。第一薬科大学の隣である。準優勝という好成绩のため、歓迎、祝意をこめた市民が沸いていた。私も祝辞をのべた。優勝を逸したのは残念至極だ。

8月24日（水）晴

七時五〇分発、八時半帰宅。小倉の厚生年金会館で同和教育夏期講座に出席挨拶。帰庁、中食後、朝の放送の実録。次いで福岡第一高校準優勝報告一隊が来訪。理事長、学校長、ナイン、監督らである。三時から八仙閣で中小企業団体中央会の青年部の知事との懇談会が行われた。これが三時間、六時まで。次いでホテルタカクラでさきのブラシル移民八十年祭に行った人達の懇親会があった。中島、中村信両県議ほか、執行部側、それに西日本新聞旅行社の久保さん。この会は中島県議が撮ったビデオの試写会のような形になった。未編集だから余分の時間もかかった。中小企業中央会ブロック役員との話し合いは青年たちだけあって、やる気満々のいい雰囲気では話はずんだのであった。

8月25日（木）晴

朝のうち九州各県の観光連盟（協会）の役員会議がグランドホテルであり挨拶。総合法律事務所を訪ね前田弁護士と要談。済生会に寄って例の検診と点滴。今日はリューマチのことが指摘された。慢性的な症状があちこちに数値で問われるのが最近の状況。三時頃上京。ふくおか会館で通産省系の福岡県人会（満福会）が開かれるので出席。大坪、中村、田口の各部署局長らも出席。六時半から八時半まで。東京は雷雨しきり。満福会は「ふるさと」の歌でしめくり九時に終わった。知事の出席を感謝してくれた。

8月26日（金）晴

東京は今日も雷雨はげしかった。十時四〇分羽田発で十二時すぎ帰福。登庁して何かごたごた用務があって消化。三時から北九州高速道の再建方策案について土木部長から説明をうけ大筋了解した。五時、本庁玄関脇で九州青年の船の出発式を行う。県旗、激励、誓いなど。六時すぎ帰宅したが疲れを感じまとまったことをする意欲がなく、例の昭和万葉俳句前書集を読みつづけた。絶望的な降伏拒否の損害と混乱が生々しくえがかれていて、読みつづけることに飽きない。今日からぐっと涼しくなる。開け放った部屋には松虫などの涼しい音がさし込んでくる。

8月27日(土)晴

八時四〇分に出発し、来福の佐藤農相と一時間後空港 JAL のVIP ルームで会って挨拶をかわした。十一時一〇分の JAS で上京。ふくおか会館で中食したのち、小休憩。二時半から東京福岡県人会青年部の人達との対話集会を行った。福岡県をよくするために、県外から見てどう注文するかに話題を集中させた。東京の男子寮、女子寮関係者も参加し、郷土福岡に強い関心を寄せていることがわかった。県の広報活動がもっと積極的であってほしいと注文された。東京が情報受信しにくい面があるので、発信を多くしてほしいという。来年の「大ふくおか展」にかかわってもらいたいと伝えておいた。

8月28日(日)晴

早目にふくおか会館を出て、有楽町駅、上野、新幹線東北大宮に行った。十時四〇分着。駅前デパート SOGO の隣に埼玉県方式といわれる開発ビル、ソニックシティ大宮の見学である。県秘書課長、ビル管理側が出迎えてくれてビデオその他案内により、建物内容を見学。福岡県庁跡地開発の参考にさせてもらった。畑知事がビル内食堂で中食をごちそうしてくれた。しばらく知事と歓談。成田一大宮のリニア線敷設の案についての弁説はさわやかであった。逆コース。モノレール利用で福岡空港に着たら六時近かった。すぐニューオータニで開かれているスターカップ、プロ・アマ、チャリティゴルフ前夜祭に出席。上杉昌也氏佐一郎氏、松本英一氏らとあう。

8月29日(月)晴

午前中在宅したが、昨夜からの連絡で村島誠一郎夫妻が行橋から来訪し、その対応をした。駅弁のおみやげをいただいて中食とし、十二時四〇分出発。一時から大濠公園池の浄化工事の現場視察。公園事務所職員を激励。済生会病院に行って検診点滴ののち登庁。福岡の青年会議所の者が中心にやっているプロ球団誘致に関する運動をめぐって各紙が取り上げており、それが否定・論評さまざまに記されて話題を呼んでいた。午後六時ガーデンパレスで九月補正予算案につき、社党県議関係幹部との懇談会があった。夕食を伴う。夜は冷気と呼ぶ頃となり虫の音もしきり。

8月30日(火)晴

庁議のあとの記者会見では二十八日の各紙が報じたプロ野球南海チームの福岡への誘致についてのコメントを求められ、夕刊をみたら「知事談話」が各紙とも掲載されていた。話が煮詰ってもいないのに、との声もあるが、こんな話は大きいほどいいと思う。あとは熱意をもって取組む以外にない。十一時、九月補正予算査定について説明あり。総務部長査定分は今日発表される。一時半、亜東関係協会の陳宝樹理事長の表敬あり。台湾との友好関係について、とくに物、文化の交流につき協力を深くする話が出た。三時半竹井教育長が来室。博

物館に調査費がつきそうで、将来への盛り上げにつき意見を交換した。五時半帰宅。

8月31日（水）晴

午後四時に出発ということで他の時間は揮毫などにあてた。宮崎宮の放生会のボンボリ用のも今日書いた。三役会議が夕方まであり、共産党が「亀井知事を偲ぶ会」挙行に対する公的関与に異論を唱えている件について、従来からの成り行き上、やむをえない面もあって、中止要求に応ずることはできないということになった。プロ野球誘致の問題では当面静観することになった。六時からサンヒルズで県警の人達と夕食をかねて要談した。明日から九月、多忙になりそう。十時半すぎに帰宅した。

9月予記

九月議会への手順であれこれ多忙。ハワイ、ロス県人会移民一〇〇年記念双方への出席は六日から大塚副知事に行ってもらう。二十五日の和歌山の兄の十七回忌法要はみゆきが出席することになった。私が行けないのは、その日に中津で両県綱引き大会があってそれに出席せざるをえないなどのためである。九月議会では北九州高速道への県費つぎ込み二五億円の同意を求める件がヤマ場となるので、根まわしが必要。県庁跡地についても論議必至。新幹線鹿児島ルート^の着工順位が四番になった点への非難も出よう。慎重にやればいずれも乗切れるだろう。

9月1日（木）晴

八時十分に出発。辞令交付（情報公開制度審査会委員）のあと、九時から九月補正予算案についての各部長の復活要求ヒヤリングに一日をかけた。中で監督者研修の知事講話をはさんだ（三F講堂）。三時にマレーシア大使来訪、これは福岡のアジア博出展の接渉のためという。三時半からのヒヤリング結果の調整は、博物館誘致関連予算と温州ミカン農家補助金の二件を残して早目に完了した。六時半には帰宅することができた。藤江君が来て庭木に撒水してくれた。河野氏を呼んでマーじゃんをした。整備新幹線の着工順位は深夜に決定され、鹿児島ルートは四位にしかねれないので皆落胆した。

9月2日（金）晴

九月補正の査定時刻に若干変動があったため、その間の時を利用して済生会病院に検診と点滴に行く。数値は依然よくない。途中西部ガス本社が入居した新営再開発ビルに立寄ってみた。千代町が見違えるようになっているのだ。査定は正午頃申渡しを終わった。午後は解放同盟の県下各幹部の知事要請に応じた会見、行橋市長らの日豊線高架化要請、福岡地区原水禁からの玄海原発事故に関する事後処理要請というように陳情攻めに受けて立った。その間、県警本部の交通管制室の見学、アメリカ、ウエストチェスター大学の日本校（水城学園）

の代表の表敬をうけ、決裁多数。六時半三光園で報道責任者との懇談会。九時すぎ帰宅。

9 月 3 日 (土) 曇後雨

四時近く帰宅ののち、雨になった。今日は朝から出発して国立夜須高原少年自然の家の開所式に行った。中島文相が出席、五〇〇人の来客があった。十余年の念願が叶ったわけで、全国十一番目の文部省社会教育施設。三〇〇人余の子供の合宿が可能である。佐賀、大分、熊本各県も利用者範囲に入る。今の子供の多くが自然とのふれ合いを失った生活をしているが、少しでもその欠けた要素をとりかえそうというのが狙い。しかし、指導する先生にも同じく欠けた側面があるから、先生の訓練も求められるのではないだろうか。地元の中牟田小学校六年の子供たちが親孝行息子の昔話をテーマとした合唱をアトラクションとして披露してくれたのがよかった。中食レセプションの時にこの子等と写真におさまった。

9 月 4 日 (日) 雨

止むことなく終日降った。八時発、大牟田の文化会館で開かれている青年会議所の第 35 回九州地区会員大会に出席して挨拶。中食は帰途高速の食堂でとる。二時すぎ帰宅。墨をすって少したまって来た依頼につき揮毫。ゆっくり時間がとれていくらか書きだめもできた。涼しくなってクーラーもいらぬ。「昭和万葉俳句前書集」は今日内地篇を読み終え、台湾の部分に入ったら高馬睦夫氏が台北の飛行場で沖縄決戦の時に台湾にある飛行機を沖縄に投入する役割の部隊にいたことが読みとれた。全く無謀、絶望的な用兵になった時期である。

9 月 5 日 (月) 雨

昨日ほどではないが、どんどん降った。三時半出発まで、暑中見舞状点検返信書きをした。五時すぎ大塚副知事ら一行がハワイ物産観光展とロス県人会一〇〇年祭に出席するのを見送りに空港に行く。秘書室から杉山、それに商工部田口部長、大石課長ら、県議もかなり多数の旅立ちである。帰庁して事務連絡をすませ、六時すぎホテルニューオータニへ。中国共産党の中央委宗平氏ら一行八人の訪日団歓迎パーティが総領事館主催で行われ、県社会党役員、知事ら招待された。九時半帰宅。一行はこの三日間福岡県に滞在という。(社会党の招聘)

9 月 6 日 (火) 曇一時雨

庁議、記者会見からはじまり終日多忙。中食は北海道と神奈川県との交換派遣職員と歓談しながらすませた。一時半に自然環境保全審議会つづいてインドネシア招待学生の表敬に対応した(外務省の友情招待者二八人)。五時半ニューオータニで昨日から来福中の宗平氏ら中国共産党代表団の表敬交歓をうけ引きつづき社会党福岡県本の同代表団歓迎レセプションに出席した。代表団は今日一日、総合農試、みつば水栽培、柿農園を視察という行程であつ

た。レセプションには社会党系の各種団体代表が参加。団員は明日帰国の途につく。八時すぎ帰宅。秋の虫の音が一きわ涼気を高めている。

9月7日（水）晴

九時半発というので藤棚にのぼって刈り込みをしたら汗ばみシャワーをあびた。三笠宮寛仁親王を十一時に岩田屋に迎え皇室の国際親善特別展の八階での開会式に出席。つづいてニューオータニにおける午餐会にも出た。毎日新聞社主催ということだ。外国からの勲章その他の贈物展である。二時、経済同友会（九電川合、福銀新木など）からの久留米鳥栖テクノポリスに関する提言に対応した。「グリーン21C」の記事原稿、消費税についての私の発言部分について異存部分を訂正し、三時半済生会病院に寄って検診・点滴をうけ、五時すぎには帰宅できた。ゆったりした時間をもつよう今日もまた注意をうけた。貧乏症なので困る。

9月8日（木）晴

小倉のひびき荘で現業職労組の年次大会があつて十一時半からの挨拶に行った。古賀で中食をとり、帰庁して日常業務につく。途中読売新聞のインタビュー要請に応ずることになったが、内容は福岡へのプロ野球誘致について（県の態度いかん）ということであつた。両当事者が強く否定する中で、話はかなり進んでおり、九月中に決着があるとすらいわれている。決裁もすませ、五時すぎに帰宅できた。山戸女史がたずねて来た時は裏庭で草抜きをしていた。夕食もビールをつき合い八時頃に、久しぶりの歓談ののち彼女は引きあげた。暑中見舞状にこれで三日対応したことになる。（ハガキ書き）

9月9日（金）晴

午後の出勤で、ひるまでは本を読んだり墨筆に興じたりで時間つぶし。午後はあれこれの来訪客に対応した。佐々木人事課長がきて福岡県が天下り人事で異様に多い点の説明をした。部長課長につき少くとも六人やそこら返上して地元の者の昇進の途を開いてやらないと志気にもひびくというのである。亀井時代からの仕来りであり、少々難問。しかし、総務部長、地方課長、労働福祉課長の三ポストは早く解決したいとのこと。五時、大手門会館地区労で県民の会の発行するグリーン21Cに使う写真とりを内田一郎さんと共に果たす。五時半に帰宅。夜はゆったりである。

9月10日（土）曇 霧雨

九月九日が救急の日、それから一週間が救急医療週間。そのことで十一時二〇分から天神で街頭宣伝隊に加つてビラ配布、のち、西新ももちパレスで一時から「救急の日」のつどいがあり、表彰状、感謝状の授与に立った。午後二時から JICA 関係の青年海外研修員として派

遣された人達(OB)を十数人対象として広報の「対話のつどい」を箱崎の議員会館で行った。アジアアフリカなど発展途上国に行っていた人ばかりで、話の中で日本の海外援助の姿勢が欧米のそれに劣ることがとくに指摘された。

9月11日(日)雨

降ったり止んだり。休務なので墨すり機で朝から揮毫。書きだめのつもりで、特に目的はなかった。雨の間を利用して玄関への通路、昨日のつづきで草抜きなど手入れ。夕暮れくらくなくなってやっと終って汗ばろばろ。入浴洗髪したがまだ汗が止まなかった。ところで肝臓のせいだろうか皮膚に理由のない血跡が出る。心配だ。できものを掻きむしったような形になる。それに体重も少々減っている。夕食前の入浴時にはかってみると五一キロ余。二キロ近く減っているのではないか。ひとは元気がないという。どことなく故障があるように思える。無理な日程ではないのに。

9月12日(月)晴

雨あがり。朝から晴。十時から郵便貯金会館で老人福祉大会があり、表彰状を渡すところまで出席。あと登庁。今日は九月議会に提案する補正予算案など議案説明の「県政懇」が三回、県民クラブ、社会党、農政連の順に庁議室で行われた。例によって農政連は農業関係予算が少いと注文を投げかけた。北九州都市高速道の経営改善のための県費支出については二五億という高額のために、どの会派も一応は文句をつけている。四時半頃、特別の記者会見があり、主題は、北鮮に行った社会党山口書記長から第18富士山丸の船長、機関長の問題で展望が開けると伝えてきて、政府も軟化しそうだという事について、私の感想コメントである。

9月13日(火)曇

十時に出発して済生会病院で検診点滴。糖はいぜん高い。一時から交通安全大会がサンパレス大ホールで開かれ、多くの人が表彰をうけた。三時から県政懇、公明と共産。前者は博物館誘致特別委で小郡の井手宗夫が知事こきおろし質問をするとの挙により、私は欠席した。井手は新幹線の順位決定の八月末に、私が陳情に行かなかったのを非難し、そういう事では国博誘致に他県の協力はえられぬのに何と心得ているかとの質問に答えよというのであった。いつも知事より俺がえらいといわんばかりの態度でブツ男である。共産党の県政懇がすんだ頃、ダイエーの南海ホークス買収ばなしで記事はバタバタしていた。六時からニューオータニで中国漁業代表団の歓迎レセプション。八時すぎまで。

9月14日(水)晴

ダイエーが南海を買収し福岡にフランチャイズをおくというニュースが公然と流れ、否定

的発言をする者がなくなった。ダイエーも南海も株価が急上昇と報ぜられている。球場はもち埋立地にとのニュースも流れている。今日は終日多忙。庁議記者会見、そして九月議会招集の代表者会議があった。田川三線関係市町からの陳情、農政連陳情レク、東洋エクステリアの広工団地への進出調印式、農産物ブランド化推進協の発会式（ガーデンパレス）があった。四時半、県評がソ連ドネツク州労評の代表団を表敬に案内してきた。又岩崎、名田の二人が日本語学校に来る中国人への県助成について話をもって来て共に中食。県庁跡地の暫定利用方針につき、三役会。七時帰宅。

9月15日（木）晴後曇

早良区の一〇〇歳者と久留米の同じ長寿者のお祝いに行った。久留米では市民会館で敬老大会があって出席した。久留米に行ったのは今年がはじめて。中食は久留米市長が華香苑で招待してくれた。少年科学館、リサーチコアの建設が進んでいる久留米である。敬老大会も大入りで市長も私が出向いたことを快しとしてくれた。東京方面は台風十八号の影響が出ているらしい。九州では今年も台風をのがれられるのだろうか。四時まえに帰宅でき、余の時間は揮毫にあてた。いくらか宿題が残っていて、ねる前には全部すませることができた。西日本新聞トップ記事はダイエーのドーム球場建設のはなし。

9月16日（金）晴

電気ホールで県構造政策推進大会があった。昨年より農業危機感は一そう進み、真剣に模索が始まってはいる。十一時四〇分～三井ハイテック社長が来訪、中食を共にしつつ要談。一時半久留米と浮羽三町農政連の耳納山麓事業についての負担軽減陳情。二時からは大牟田市をはじめ筑豊各町の公立病院赤字対策陳情。二時四〇分青年海外派遣関係者二人来訪、激励した。三時から朝の放送と対話事業についての打合わせ。日中経済セミナー（中国総工会、県評）の代表団がひる前来訪あり、夜レセプションがあったが、私の分は代理に出てもらい、今日は五時半に帰宅できた。疲れて何もせず。

9月17日（土）晴

テレビでソウル・オリンピックの入場式を見て途中で出発。十一時半グランドホテルでブラジルから来県の行徳夫妻とその娘、留学中の直美君と中食前の軽いコーヒー会に付き合った。国際交流課長らが中食に対応した。物価が高い話が出た。揮毫をさし上げた。十二時からグランドホテルで社会党市議高松光俊氏の市議二十五年表彰農林水産省大臣受賞の祝賀会があって、社党の面々、後援会一地域の人々が祝賀に来ていた。松本小野参議、河の衆議、林その他西方面県議、全市議らである。二時すぎ帰宅。夕方早目に藤江河野来てマージャン。

9 月 18 日 (日) 晴

直方の市民体育館で県民体育大会の開会式が九時半からあり、八時に出発。このあと十一時から、鞍手町の長谷寺で六ヶ岳を考える会グループを相手に「ふるさと対話」を行った。三〇人ばかりの若者が直鞍地域の振興に思いをこめて発言。中食弁当をはさんでの熱気ある対話になった。この寺には国宝十一面観音像があり、安置所は寺の裏で完成したばかり。それで一時保管の町文化会館に像を見に行った。鎌倉か室町のものといわれる。作者は稽主勲というのだそう。勉強してみないといけない。県議の野下氏がずっとついてくれた。対話には山本県議も。帰途、篠栗町の上岡氏宅に寄り、弘二氏に条幅を贈呈したが、一家揃って歓待してくれた。帰ったのは六時半。

9 月 19 日 (月) 曇後小雨

夕方から雨になった。県民体育大会に支障はなかったろうか。十七日から始ったソウル・オリンピックも順当に進んでいる。ソ連など東欧諸国がアメリカと並んで強そうだ。今日は代休の形となり、一日在宅。たまっていた宿題のように、ハガキ、手紙を十余通書く。墨書が主体となった。食後は三度横になって休みをとったが眠れたわけではない。眠れることを願って横になるのだが、やっぱりねつけない。一日をこうして特別の用務なく過ごす日があるのはいいことだ。教養部に電話したら学期試験があつているとのこと。昔のことを思い出し、納得できた。

9 月 20 日 (火) 晴

天皇の容体が昨夜から吐血輸血などひどくなったとの朝刊報道。定例の庁議、記者会見、日本赤十字厚生省表彰伝達式、県政サロン手話者知事表彰、勤労青少年福祉推進功労者知事表彰と中食懇談、衛生連創立 30 年記念式と行事消化後、東京へのトンボ返りの旅行となった。今朝は五時から記者団が来宅して会見となったり、空港の出発時、帰港時の記者会見となったり、天皇病気のことで記者に追われることが多かった。東京では一般に渋滞、とくに皇居周辺はひどかった。オリンピックよりもこちらの方が重大ニュースだそうだ。羽田から直接、指示された乾門を入り宮内庁前を通って車寄のところで記名し、一たん事務所へ帰ったが容体急変なしという予測が立ったので、七時発で帰宅した。九時すぎだった。

9 月 21 日 (水) 曇

十一時から予定の九月議会開会は一時間のびでの提案理由説明になった。天皇の病気についてもふれることになった。中食をはさんで二つの寄付金贈呈があつた。上杉昌也氏と西部ガスである。前者はプロ・アマゴルフ、後者は新社屋ビル竣工記念のしるしである。そのほか今日はいろいろ来客があつて多忙をきわめた。四時から大牟田の労働組合団体（大地評、有明地評）がそろって、失業対策について要請に来庁した。三池の石炭が不振で人員整理が

進み、化学系など関連産業も共倒れに近い苦境にあるためである。ただこの構造不況には効果的対策がないのが残念。夕方済生会病院で検診と点滴、糖の数値が高いので心配つる。七時帰宅。右肩筋肉がずっと痛む。

9月22日（木）曇

八時に出発して戸畑往復。市民会館で宇宙ステーション利用ワークショップがあつて挨拶、三〇〇人ほどの集会である。帰福して十一時半庁内で来年の国際青年の村事業の推進会議を開く。午後上京。三時半外務省で第18富士山丸のことでお礼と陳情。そのあと議員会館、自民党及び社会党の本部に行き、東京ふくおか会館泊という日程。宇野外相に会えた。議員会館は自民党九州出身者が国博誘致の議員連盟を作ってくれたことに対するお礼まいりである。社会党は山口書記長が北鮮で第18富士山丸事件につき努力してくれたことへのお礼。霞ヶ関境界は恰も大喪に服したかのように禁足模様で静かである。天皇の容態不変とのこと。

9月23日（金）曇

東京の朝は小雨。八時半朝食ののち電話連絡したら直美、ライヤ、サリが来ることになった。ふくおか会館食堂でスキヤキ定食の中食をとった。サリが子供らしさを増し、丸々と太っている。調子がよさそうだ。食後別れて私は日程どおり池袋の西武百貨店に山崎社長を訪ね、来年の「大ふくおか展」につき協力をお願いした。大石課長も落合って同席、東京事務所長も。デパート内を小走りで見せてもらったが、その広さと客の賑わいにびっくりさせられた。大石氏と一しょに空港まで来たが、彼に、東京でやれる自信ありやと問う程であった。かなりな工夫をしないと失敗するかも知れぬと思ったほどである。県では議会ともども相談して、今日、県民の天皇見舞記帳を玄関で受理することになり、三二〇〇人の見舞客が来訪したという。七時半帰宅。

9月24日（土）雨

昨夜は斎藤君が泊ってくれ、朝食を共にし、八時に出発、吉井町へ。宮田転作団地を雨中視察。あと農協へ行き町長などから要望聴き。まわりで行われていた農業祭も視察。うどんで中食をごちそうになり、大牟田へ。一時から文化会館で「マチづくりインおおむた」集会に臨み挨拶をのべ、急ぎ県庁に帰る。天皇陛下の容体が今朝来よくないので、庁内では対応に苦慮している。記者がコメントを求めた。見舞記帳の人達が昨日につづき雨の中県庁玄関につづいている。万一の場合は私もすぐ上京ということになりそうだと心にきめて六時頃帰宅。今日も斎藤君が泊ってくれることになったが喪服の準備をするやら、明日にも備えて落付かない時間が経過した。

9月25日(日)雨・曇

天皇のことで山国川綱引大会に行かない事になったため、今日は休み、在宅。斎藤君がいてくれた。県庁は見舞記帳客がひきもきらず、秘書室職員も多忙。十五夜月見を拙宅でやろうとの予定も流れてしまった。ひょっとして月見ができるかも知れぬ雲行きが一時見られたので、東のヤブでススキを切ってきて花瓶に挿してはみたが、職員多忙でこれないとの連絡あり、又暮れ近く雨も本降りになってきて、すべてあきらめとなった。大相撲の千秋楽を見て時間を費した。コウ・テン・リム君が一寸訪ねてきた。みゆきは八時半頃帰宅。新幹線は超満員だったという。(和歌山の兄の十七回忌法事) 斎藤君九時すぎ引きあげ。雨は止んだ。体調が若干悪い。早目に寝る。

9月26日(月)曇一時雨

十時半に出発。十一時から城山ビルで玉露煎茶ドリンク缶開発々売の発表式があった。県の農試と購販連とが共同でウーロン茶缶ドリンクに対応する形のを緑茶の側から挑戦しようとしたもの。まずまずの県産品となろう。喪服に着がえてスターレーンで開かれた前知事亀井光氏を偲ぶ会に出席した。二千人も財界、政界、県OBらが集った。献花、スライド、会食の形をとった。コウ君も来ていた。家族としては長男、娘さん(太田氏)の二人だった。早目に引きあげて私は済生会病院で検診、点滴。あと帰庁して決裁。秘書室職員は今日も「記帳」受付、整理で多忙である。左翼五団体が、天皇見舞(議会発言、皇居記帳、県庁玄関記帳受付)につき抗議文を出している。

9月27日(火)晴

九月議会代表質問の第一日。八時に出て答弁打合わせ。十一時からひるをはさんで自民吉村元秀、社会手嶋、農政中村信の順。社会手嶋は天皇の病気についてはふれなかった。吉村は最敬礼黙禱までした。答弁は比較的順調にできたと思う。終って一休みして五時すぎ林県議と同乗して吉井で開かれている西鉄労組大会への挨拶に行った。夕食時になってしまい、泊地の原鶴温泉の泰泉閣と咸生館の両方五カ所の夕食席をまわってあいさつ。帰福、夕食したのが十時近くになっていた。今日は自宅付近で美しい月を見ることができた。答弁資料は十時すぎ届いたが、十分でないものでしかなかった。今日は疲れた。十一時すぎて就寝。やはり議会はしんどい。

9月28日(水)曇

例のように八時半から答弁内容の検討会を行い代表質問の二日目に対応した。少しおくれたの開会ではあったが、黒岩(民ク)が始るとき様子がおかしかった。午後の質問の始まりを議長は時刻明示なく散会。午後の始まりも一時間は遅延した。和田(公)の質問のあと、最後の高(共)氏の質問に対し、自民党筋の明らかな身構えが感じられた。派内に共産党の

発言に対する封じ込めの強硬派があり、これが党内大勢及び議長の采配をも左右するまでに成長したようだ。午後の再開に対し、自民党席は珍しく全員出席の観を呈した。最後の高氏の登壇以降、自民党席は騒然となり、高氏の天皇病気をめぐる意見発言はほとんどききとれぬ状況となり、高山議長は休憩を宣してしまい、遂に流会となった。（七時まで時間延長の議決はあったが、七時すぎても再開されず流会となってしまった）

9月29日（木）曇

病院に寄ってみてもらった。今朝まで変化はなかったし、結果も特別判定はなかった。九時半に登庁し、答弁資料検討に加わったが議会の方は表面の動きなく経過し、待機の当方も中食後横になるなど時間を経過させた。五時前に時間延長一時間とし、六時前の十分間で天皇見舞決議で時間切れ流会となって今日は終わった。決議案上程の折共産党から異議の動議があったが議長壇の安枝副議長から無視された。新聞は、昨日の流会にふれ、自民党席からの騒然たる声と高山議長の休憩宣言を発言封じの暴挙として批判する声ものせていたが、今日も共産党の代表質問に時間を与えぬ議会運営に終わってしまった。明日はどうしても共産党に発言の機会を与えて正常化するしかないだろう。七時帰宅。

9月30日（金）晴

答弁資料の検討会には少しおくれたの参加であったが、県議会は今日も審議に入らぬまま空転して終わった。天皇問題をめぐる自民と共産との対立感情が議会運営にも真正面から突っぱねあっているせいでもある。全国的に幾つかの県で似たような衝突がおこっている。北海道でも神奈川でも。新聞論潮は天皇問題利用による右傾化に警戒を示しつつも現実には自民の多数に押し切られているとあってよい。いわば危険な傾向である。五時すぎて、審議の目途は立たず月曜にもちこされることになった。六時からニューオータニで中国国慶節三九周年祝賀会が総領事館主催で行われ、祝辞をのべ、七時すぎに帰宅した。右肩うしろの筋肉が痛む。

10月予記

自分のしたいことは何一つはかどらず「昭和万葉俳句前書集」をよみ、天皇病気のことに後半は時間をさかれ、又わが身を病から護るべく気を使い続けた九月という総括だ。それではいけないとむちうちたい十月ではあるが、これ又夢のごとく過ぎていきそうだ。何か残して満足のいく十月にしたいものだ。

10月1日（土）晴

全日空による厚生省からの赤い羽根伝達式が十時半から知事室で行われた。社協関係の吉本、多川氏も出席してくれた。さんぱつ、中食後、一時半からシティホテルで公明党の主催

による九州の国際化問題のシンポジウムが行われ、五人のパネラーの一人として出席した。韓国総領事の金権萬氏もパネラーとして参加、よろこんでくれた。三時半まで二時間の熱心な発言があい次ぎ、みのり多い集会だった。二〇〇人ほどの参加であった。このあと四時から国際ホールでの松の実会にかけ込み挨拶した。九大の女子学生OBらで組織されている。今は女子学生 OB 六〇〇〇人ほどになっているという。今日の参加は五〇人ほど。キャリア・ウーマンが主流。高橋学長、手島法学部長も姿をみせていた。

10月2日(日)晴

十時半に港湾労働福祉会館で行われている福岡地区労に出席して挨拶をのべたほかは休務であったので、若干揮毫した。午後ソウルオリンピック最後の見せ場であるマラソンがあったのでテレビをみたが、期待された中山は四位だった。気温が高くてみんな記録をのばせなかったようだ。わが家において秋の涼気を満喫できたのは満足に値する。悠々時間のたつにまかせた。天皇の病気をめぐって空転していた議会は、明日集約した一般質問に入ることになったのだが、冒頭から共産党の登壇をめぐって紛糾する予感がする。天皇の病状も一段と進行しているようだ。予測つかず。

10月3日(月)晴

八時半から答弁資料再検討のあと、議会は十二時になってやっとまわりはじめた。共産党の代表質問打ち切り後空転しているので、又今日は一般質問を一日で終るという方針を出している。どう転がしはじめるかが山だった。十二時すぎ一般質問に入りトップの常守(共産)の出だしの終りの所で一時騒然となったが、何とか副議長がおさめ、休憩後、山本、吉永、畠中、若狭、高岡と各派一人ずつで、五時には一般質問は全部終了した。吉永が後味悪い質問というか演説をして、印象感を害したほかは穏当と思われるものばかりであった。六時すぎ帰宅し、あとは秘書室の連中十余人がやって来て、十輪ほど咲いた月下美人を見る会。モツ料理で前の家を利用しつつ、わいわい騒いだ夜の時間をすごした。

10月4日(火)曇

十時すぎに褒賞状伝達式。つづいて耳納山麓土地改良問題三町一市の代表、関係県議らの陳情があった。比較的ひまな時間をすごしながら、午後二時、ダイエー社長、中内功氏らの来訪をうけた。彼は市長、市会議長、永倉氏ら重要関係者を歴訪し、ホークス球団の福岡への進出について仁義をきったのである。軍隊の時に一しょだった加古豊彦氏の話も出た。加古は故人だがダイエーの副社長もしていたという。球団は十一月に発足することになるという。三時すぎ済生会病院で検診と点滴をうけた。尿糖がプラス四でよくない。それに舌に、今朝からできものが出ている。身辺整理に夜の時を過ごす。

10月5日（水）雨

止むことの少ない雨の一日。いま時分に台風が近づいているという。県議会のゆくえも安心できそうな休務日。墨すって頼まれものを片づけるために筆を持つ。夕方五時頃までかかりきりでたまっていたのを全部すませた。中を見て、昭和万葉俳句前書集を読み進め、午後八時に九〇〇ページの終りまで読了した。インドネシアや南洋諸島で疫病と飢餓と戦い、アメリカ軍とは全く戦いにならなかった状況が綴られている。現地自活という言葉はその当時私も練兵の中できいたが、今は、飢えにさまよいつつ抗戦を唱え勝利を信じて苦闘する努力、しかも無駄骨のこと、別称であることがしみじみわかる。

10月6日（木）晴

台風は沖縄本島の東方にそれて、晴れ。今日も議会の動き不要ということで、ゆったりした公務。天皇病気でかえって簡約された議会々期となり、知事が得をしたとひやかす者がいるほどで、各委員会とも知事保留なしに、四日のうちに終わってしまった（一つは昨日）。今日も楽な一日である。済生会福岡病院横の県有地払下げがうまくいく予測が立ったため、近藤氏と小川院長が来訪、お礼をいってゆかれた。一しょに中食しながら、ついでに労働会館の敷地はどうなっているのか、会館はどう運営されているのか、気になるということが話題になった。夕方、グランドホテルで三井商船の「富士丸」が来春就航するというので、横浜、福岡、上海の旅ができることのお祝いレセプションが西日本新聞主催でおこなわれ出席した。

10月7日（金）晴

十時から KBC 広場で第二電々サービス福岡開業式があり、十一時に日本テレコムの上長来訪、開業の挨拶があった。両方とも NTT と同じような電話サービスなどをすることになり、三者競合の通信網時代になった訳だ。東京までだと NTT より安く、茨城までだと高くなるという。電話網の有無が新会社と NTT との差ということのようだ。三時半から講堂で、京都国体秋季大会選手の結団式があった。予定の万歳はこの際割愛された。天皇病気による自粛ムードへの批判が高まっている。「不況」を呼んでいるのである。五時前には帰宅できた。河野さんに連絡して上田さんと呼んでマージャンを楽しんだ。

10月8日（土）晴

十時半から旧県庁跡地で交通安全フェア一開会式が行われた。跡地にこれまで何回か催物が開かれたが、今回は二千万円（？）もかけて公園のように整備して後のはじめての使用である。公式、公共の用途に開放することになるので、多くの行事が人の寄りを考えて、ここを利用することになる。「暫定」ということにしてあるので、今後何か半永久的な施設建設の着工までの利用となる。九月議会では特殊事情のため施設につき議論が出なかった。午

後、前のうちに生い茂っていた夏草を取った。

10月9日(日)晴

碧空、雲一つなし、まさに秋の快晴である。今日は運動会もあちこちであっているだろう。一時半に岩田屋近辺での衛生部長らと共に腎移植の推進のための登録キャンペーンに参加。そのあと西区の基病院へ県議山北氏を見舞に行った。みゆきも同行であった。肺結核とのこと。二ヵ月半も入院、片肺を切除しているという。近く退院らしい。ついでに白水隆さん宅に電話してみたが電話に出ないので久しぶりに訪ねてみようとの思い付きは果せなかった。三時半帰宅。夕方東側の柿ちぎりをしたり、前の家の荷物押入れの中味点検など、めったにない身辺整理をした。気持よい一日だった。

【欄外記入】

村上華林堂 腎バンク登録拡大全国統一街頭キャンペーン

10月10日(月)晴

全日休務。快晴がつづいている。裏庭各所にたまっている枯枝落葉を焼いたり、前の屋敷の、残っていた草抜きをしたりで一日暮れた。途中、伊三男夫妻が来訪、四人でスシを中食としながらしばらく雑談した。来意は彼女の方の父原田鹿三氏の快気祝を持参してくれた。珪肺で入院中だった。草抜きも前の敷地全体が残らず終わりきれいになった。洋蘭の鉢がどっさり並べてあり、これから寒くなっていくので手入れしながら、内に入れることを考えねばならない。前回は経験があつてわかっていながら多寡をくくって半袖で作業したので、夜になって両腕のあちこちにすり傷ができて痛み出し、しまったと思って手入れをした。明日以降回復することを祈る。

10月11日(火)曇

九月議会の予定最終日。十一時から本会議が開かれそうなので議会棟に移った。代表者会議に教育、人事両委員各一の候補人選を提案。本会議の開会を待った。二時五〇分になってようやく開かれ、三〇分足らずですべて議了。あっけない幕切れともいえる。共産党の発言をめぐってすべて時間を費した形の九月議会で、極言すれば議員の胸中はずち越されてしまったといつてよい。それだけに次期が厄介だろう。夕方まで三役会を開いて種々つもる処理案件を討議した。吉塚駅付近の土地取得、大濠公園浄化工事に伴う施設(大濠会館増築)それに天皇病気問題など。七時すぎに帰宅。九月議会終了とは思えぬ一日であった。天皇病気についての対応には判断しかねる面が多い。

10月12日(水)晴

今日も一日休務。議会と天皇の病気がらみで行事予定がカットされた関係もあるようだ。休

みといっても揮毫整理をしていたら三時すぎになって明日への準備が終った。あちこちホコリが多いのできつと目につくところの拭き掃除をし、西日本文化連盟依頼の「師について」の原稿にとりかかった。夜の九時頃に一応十五枚の予定どおり書き上げた。仕上げは後日にしよう。大陸殿兵団を読み終ったので編者の魚住孝義先生に読後感をまじえての書翰をしたためた。執念で書いてあるのに感激したからである。これにつづいて他の戦記ものにとりかかることとする。

10月13日（木）晴

ぐっと冷えこんで快晴。もう雪のところもある。九時に人事委員会勧告をうける。二・二九%の給与アップほか週休二日、土曜閉庁などにもふれてある。十一時から死亡者叙勲伝達式。午後は中央市民センターでの防犯運動県大会に出て表彰状授与。二時半からは原発反対の市民運動団体の知事要請をうけ、議会厚生常任委に呼び出され、県医療地域計画について答弁を求められた。その他今日は明日からの関西方面への旅行を前にあれこれ用務が錯綜し、多忙だった。白石、豊島両県議が来て、労使関係の正常化、不当処分取り消しについて、時間がせまっているので、知事も動いてくれと要請された。六時半帰宅。夕食後一彦宅に電話、明日彼は四二歳厄年を迎えることを気にしている旨伝えた。明日からの旅行にはみゆきも和代を誘って同行することになった。京都国体の開会式が大げさなのはあきれる。

10月14日（金）晴

この二日、しっかり冷え込む。十時三五分 ANA で大阪へ。ホテルプラザに着いて中食してのち、一時半から県工場適地説明会。知事あいさつ八〇人ほどの出席、途中で退席。三時に民族学博に寄り、留守ながら梅棹館長に表敬。京都全日空ホテルへ。県人会の宮崎副会長らと雑談しばらく。六時半からホテルフジタで開かれた県選手団の役員らの激励パーティに出席した。七時すぎここを辞して駅前の新阪急ホテルに投宿している和代、みゆきを拾い新幹線口の食堂で夕食。すませて全日空ホテルの私の部屋に招致し、さし入れの果物をいただきながら十時まで雑談。斎藤氏随行。大阪空港から全行程は大阪事務所の車で行動。十一時すぎ就寝。

10月15日（土）晴

この全日空ホテルの部屋からは二条城がきれいに見える。八時半朝食、十時半に出発して国体メイン会場である西京極総合運動公園陸上競技場に行く。十二時頃から演技その他開会式行事がつづいていく。皇太子の代わりに浩宮の臨席があり、各県選手団の入場行進を中心に行事は進められた。寒いと予想していたが、むしろポカポカの天気。三時半頃一応すんで選手団退場というところで私達も退場。一たんホテルに帰って休んだが、県庁からの連絡で明日の奈良シルクロード博の見学をやめて帰福してくれとのこと。「記帳所」へのいたずら

事件が起っている。六時から都ホテルで国体役員たちの全国懇談会。早目に引揚げ近くの美濃吉(食堂)で夕食し、八時少し前全日空ホテル着。

10月16日(日)晴

シルクロード博に行く予定を変更して九時半の新幹線で帰福した。県の三役は山ノ上ホテルに集まっているというので急行した。運動体側から県評の松田、社会党の小田、県議は豊島(政審)、それに室長、家永、杉山、高原らであった。両副知事は告訴すべしとの気持で永田室長もやむをえないかなどの気分でいたが、小田、松田、豊島、杉山らはそんなにすると後がこまるといい、私も政治的なにおいの強いこと、「記帳所の紙を破ったから罰する訴えをする」ようなことはできないと主張した。二時から四時頃までで結論なし、むしろ告訴せずの方向で散会した。議会との関係が調整課題として残る。告訴を強く要請している警察はどうするだろうか。

10月17日(月)曇

九時半から教育委、人事委の辞令交付。十一時から職員研修所に行って一時間、新任者研修講話。中食は研修所で行い、午後はゆっくりした時間乍ら来る三県知事サミットの内容についてのレク、三時半から「大ふくおか展八九」の第一回実行委員会。県と両政令市主催で池袋の西武デパートで来年四月下旬に開こうというもの。商工部通商観光課が大車輪で準備に奔走せねばならぬ。記帳所事件で議会との間で告発するせぬで室長や林副知事が忙しく動いている。六時半帰宅。奈良県知事に手紙、御礼状を書く。

10月18日(火)晴

九時から庁議、次に記者会見と平凡にすぎた。あと、熊井バレエ師が神戸での国民文化祭に出場するというので挨拶にみえたので激励した。十一時から来る三県サミットについて西日本新聞社からの取材に応じた。中食は庁内でとり、待ち時間をとった。永田室長や林副知事らが奔走し、自民党県議々長らと連絡のうえ、記帳所問題の告訴につき、庁舎管理課長が告訴人となることで合意がついた旨報告をうけた。県警本部長からも告訴につき善処方の電話があった。二時すぎ済生会病院へ行き検診、点滴をうけた。肝機能は一寸悪い。四時すぎに帰宅できた。なるべく休み時間を多くとるよう忠告をうけた。吉野孝弘氏の「騰越玉砕記」を読んだ。

10月19日(水)晴

北九厚生年金会館での交通安全シンポジウム、都久志会館での快適環境シンポジウム、電気ホールでの福岡市PTA40周年記念式、この三つに出席して挨拶をのべた。又夜は来福中の総評議長黒川、事務局長真柄を山ノ上ホテルに招待して夕食歓談した。県評の坂本、松田、

西鉄労組の池末、自治労の岩田、両委員長も同席、秘書室からは杉山が付合った。今年の十二月には県評に代わった地方連合が新たに誕生することになっているので、労働戦線も面目が一新することになる。四〇年近い総評の歴史が終り新しいページがはじまるわけだ。黒川氏は選挙について社共という形ではダメということを強調していた。県レベルでも、次の知事選は組み合わせが違ってこよう。

10月20日（木）晴

十時半から薬事功労者知事表彰。つづいてニューオータニで日本赤十字社の紺綬会厚生大臣感謝状伝達式と中食会。このあと唐津に走る。スムーズに走りいい景色をみられた。シーサイドホテルで長崎、佐賀、福岡の三県知事サミット（懇話会）に出席である。三時から四時四〇分頃まで。五時からは記者会見。例により大そう大げさなものであったが、今回は空気もやわらかであった。六時から九時まで別室で懇親夕食会。湾内のヨット群、虹の松原のたたずまいが殊の外美しかった。長崎知事らの夜ふけまでマージャンをして楽しむことになった。

10月21日（金）曇

少々温度が高い。九時までに三県知事朝食会が終わり、帰庁。一休みして北九州へ。真鶴会館で北九地評議長らと中食をとり、一時半からの地評定期大会に列席してあいさつ。中西、小野両議員（渡辺も）列席だった。豊島県議の紹介で健康医学会議（国体関係）について陳情をうけ、三時すぎ帰庁した。林県議が来て大濠公園浄化事業に伴う周辺整備工事の緊急追加につき、建築都市部長を呼んで予算措置などに打開策を求めることを話し合った。来年三月のアジア博にまにあわせるためにである。公園整備がぐっとしまってくるだろう。六時すぎ帰宅できた。身辺整理の仕事がたまっている。

10月22日（土）晴

天皇の病状が安定していて記帳所がだらだら業務に近い状態。一昨日あたりから案内所横に入れてつづけている。午前中は来年度予算編成方針、産炭地予算問題、中部有明協議会問題などの説明ですぎて行った。大濠浄化では緊急予算が必要な情勢になり、追加経費をいかに捻出するか工夫すべきだと財政当局には告げておいた。一時から商工中金大会議室で中小企業団体青年部の大会があつてあいさつ。つづいて大手門会館で母親大会があつて出席した。第三〇回というのが創設は昭和三十年。この間社会党、共産党の折合いがつかず流れたことがあつたらしい。私は鶴崎知事の初期昭和三四年に「黒い羽根」が母親大会で提起されたことを回顧して挨拶した。

10月23日(日)晴

昨日も今日も裏庭に放置状態になっている鉢物の土替えを行った。サボテンを移しかえる時にはどうしてもトゲが刺さるので面倒だが、その仕事を中心であった。もちろん立派なものではないのでどうでもいいのだが、気になっていた。夫婦同伴で二時から四時まで「中国帰国者をはげますチャリティショウ」に行った。魚住孝義氏が造営した御所ヶ谷文化小ホールが会場。舞踊(日本、琉球、インド、モンゴル)、太極拳、それに飛入りで県警の人と紹介されたがハーモニカの演奏もあった。帰りは今吉まさえさん、娘さんと浄水通りに出てアイスシャーベットを食べ、徒歩で帰宅した。

10月24日(月)小雨

十時に田川市郡からの陳情団が来訪、水資源開発についての三項目につき私が答えることになった。十時半からは自治会館で産炭地域振興協議会の臨時総会。石特会計確保のための行動について緊急協議であった。午後は一時からもちパレスで国民健康保険法五〇周年式で表彰状渡しが行われた。三時から庁内で玄海レクリゾート地域整備推進協議会の発会式があった。県の基本調査が基本計画に至る段階での運動体づくりの必要が生じたためである。帰宅したらみゆきはお布施事件の集約集会に出席留守だった。京都の安田利政氏から京都国体の時の写真を送付してくれた。

10月25日(火)晴

七時四〇分に出発。空港でマレーシア、シンガポール慰霊巡拝結団式見送りを行う。池田出納長が団長。帰庁して庁議、定例記者会見。あと宗像総合庁舎落成式。車中で中食。電気ホールでの国体県民運動推進大会に出席。ここで標語、音頭、踊りが披露された。三時から、リーセントホテルで中部有明地区活性化推進協議会が開かれた。昨年につづき二回目。産学官協同で構想づくりに取り組もうという事で、熊本側も副知事、荒尾、長洲の関係者が出席。三井鉱山、物産、通産局、地域振興公団など。又、九経連に調査の野村総研等々が顔をみせ、熱心な討議が行われた。六時前に帰宅できたがみっちり詰った一日であった。大牟田の落込み対策に一るの望み。

10月26日(水)晴

午前中にさんぱつをして早目の中食は庁議室で県民の会の主な人達と共にした。天皇病気への知事対応への抗議の会であった。午後久留米市民会館で覚醒剤シンナー禍絶滅県民大会があつて出席。挨拶と表彰状渡し。講演に入って退席、のち久留米視察になった。テクノロジーパーク、青少年科学館、高良山の大社と森林公園、そして禅寺千光寺。それぞれ珍しい経験になった。六時からは筑後川温泉新泉荘で済生会の幹部との懇親会。両副知事、衛生部長、室長が同席、二日市病院長は欠。帰宅したら九時半をまわっていた。天皇問題での

共産党の追及で不愉快な一日となった。

10月27日（木）晴

十時から現業労組との労働協約調印式、つづいて身体障害者スポーツ大会結団式、納税者表彰式と行事がつづき、又十二時からは八女郡森林組合が森林の基金についての陳情があった。午後、大手門会館での自治労県本部の定期大会。帰庁してあと、県巡回診療車やまびこ号運行開始式テープカットがあった。三時から九州地方知事会のレクと朝の放送録音にかなりな時間がかかった。帰宅したのは六時半。夕食後は疲れを感じたので入浴してそのまま就床した。八時すぎだったと思うが、十時半まではねむってなかった。プロ野球日本シリーズの決勝、西武が勝ったところをテレビでみて、本格的に就眠した。

10月28日（金）曇

ゆうべはよく休んだので今日の済生会での検診はいいかも知れないと思ったが、相かわらずでよくない方だった。三時から五時まで、点滴と検診に費したほかは一日中揮毫にあて、公務はなかった。次々に揮毫依頼があるのにことわらないからたまっていく。結構一日かかるほどの分量になったところで都合よく代休みたいになっている。無理なく揮毫依頼が消化できるのでいい。気になるのは近頃、自分の身辺整理と思うような事が殆んどなされてないことだ。前は忙しいといいながら筆をもって字の練習もできていたのに、今は体を休めることが先立つせいもある。自分のことが消化されていない。こうして経過するのだろう。

10月29日（土）雨

急に寒くなり、小雨が降ったり止んだり。仙台、福島など半作のところがある上に、アメリカは米の自由化について期限付きで要求してくるとのニュース。十一時から全国青年大会結団式、午後一時からライオンズホテルで中立労連大会と二つの行事があったほかは、公式のものなく、二時半には帰宅できた。庭いじりのつづきがあって放置されていた鉢物を整頓して夕方まで費した。藤江君が来て夕食を共にし、あと河野氏に連絡してマージャンの夕べとなった。教養部は学園祭らしく新聞には、横田氏が講師となって天皇制についての討論会をするという。天皇病気問題への反応の一半がここにも出ている。

10月30日（日）晴

九時半もちパレスで中小企業勤労者スポーツ大会、十時二〇分都久志会館で森林フォーラムがあり、双方に出席して挨拶、中食前には帰宅できた。寒い日ではあったが、陽あたりがよければポカポカ気持よく、裏庭の鉢もの整理など小まわり仕事をした。書斎では四通の手紙を書いた。先日の久留米訪問の際、高良大社、千光寺にお世話になったことへの礼状である。一通は上岡氏の「感想」文なるもので、これには時間を要した。ペン書きで七枚、エ

ッセー風にした。原稿を書いて清書して時間がかかったわけだ。今日はわれら結婚四十五周年。

10 月 31 日 (月) 晴

十時から都市高速の西公園ランプ開通式。登庁して「福岡なす」ネーミングについての記者会見、職員図書室オープン視察。午後すぐ宮崎市へ飛ぶ (日本エアシステム)。サンホテルフェニックスで三時から九州地方知事会と九経連の意見交換会。これは五時まで、六時半から同懇親会とつづいた。ホテルの窓から見る一ツ葉海岸の松原、フェニックスホテルのコンビは絶妙。松原内のゴルフ場は有名らしい。無限の沖と空の境は太平洋らしい。意見交換は新幹線、高速道路、それに農業問題 (牛肉、オレンジ、米の自由化) にしぼっての会議となった。いずれもこれから年末にかけての陳情の主題である。九経連とのこの会は四回目。来年は福岡が当番である。

11 月予記

天皇病気の問題が一つの重みとなって過ぎた九月下旬から十月一ぱいだった。今後どこまでか誰もいえない。十一月は上京の機会が多く、他の行事も加わってアツというまに過ぎるだろう。十二月議会の準備や来年度予算編成の仕事が出没する。中央では消費税導入をはかる自民党の姿勢が強い風となっているが、リクルート株譲渡問題がますます強い逆風となって吹きまくっている。今年中に来年度政府予算案が出てきそうにない。年賀状のこともあろうし、不安定要素を多くかかえたままどんどん日が経っていく十一月である。

11 月 1 日 (火) 晴

太平洋にのぞむ宮崎サンホテルフェニックスの朝まぶしい。八時から朝食、九時から事前会議、九時半から九州地方知事会議、十二時少し前から中食会そして散会。学園都市を見学しつつ、二時半宮崎発、三〇分足らずで福岡着。四時から三役会議 (大濠浄化工事について)。五時すぎ秘書室の者がみんなで知事室に集まり、私の誕生日祝賀をしてくれた。シクラメンの大鉢、バースデーケーキと紅茶。十分あまりで出発。全日空ホテルでの十都道府県議長会懇親会に出て歓迎のあいさつ。午後七時四〇分発 JAL で上京。九時四〇分にはふくおか会館に着く。きりきり舞いの一日。直美と啓二に電話して次の日曜六日の上京の時に啓二宅訪問を約束した。

11 月 2 日 (水) 晴

九時半赤坂プリンスホテルにゆく。ペンシルバニア大学研究所関係の国際シンポ「二十一世紀の東アジアと世界」ということで北九州市長、新聞 (朝日) 側とともに挨拶。次に石炭勘定がなくなるのを阻止しようということでの陳情。(労働省、エネ庁、大蔵省、地元出身自

民党国会議員）——大蔵省は北九州空港再開の件での陳情——最後に衆院副議長室に多賀谷氏を訪ね、同じ問題につき要請、中西績介氏も同席してくれた。当方は大塚副知事、中村企画振興部長らであった。山本添田町長ほか産炭地町議らも同行。末吉北九市長もシンポジウム、空港問題では同行。帰宅したら午後九時近くになった。多忙な一日だった。

11月3日（木）晴

なるべく休養をとという趣旨で、今日は例年の、西日本、フクニチの両紙がやっている文化功労表彰式出席を企画振興部長に代ってもらい、私は全日休みとなった。でも身辺いろいろあるもので、時間はいくらでも経過した。庭いじり、揮毫が主。大はさみでツツジを揃えていると、あとで筆もつ手がふるえてどうにもならなかった。鉤が重いせい、体力が衰えているせいどちらだろう。こんな日はマージャンをしようという事になり、河野氏と森氏に連絡し、四時頃から、夕食はスシを出前してもらって夜おそくまで享楽した。疲れのための休みになってしまったと思えてならない。

11月4日（金）曇後雨

十時半から自治会館で、町村長と知事の協議懇談会があり、農業問題をはじめ、産炭地、土曜閉庁その他多くの懸案が出され、立食方式の中食会とつながれた。三時から農協五連、農政連県議らの自由化問題をめぐる諸問題につき来年度予算編成をにらんでの陳情があった。夕方は講演のため来県の高木通産商工立地公害局長を囲む懇親会（於嵯峨野）ひきつづき小りんんで共産党県議との懇談会があった。これは七時半から十時頃までかけた。天皇病気問題で知事に物申したいというのが要点。結局和気あいあいの会食となった。夜雨となる。

11月5日（土）晴

十時半から済生会病院で検診と点滴。このあと登庁して決裁をすませ中食後桂川町の嘉山解放センターで行われた人権宣言四〇周年記念集会に出て挨拶。嘉穂町の二回目の地域おこしまつりに顔を出した。フルーツ共和国の人達も来ていてリンゴを送りますと伝えてくれた。まつりの場所は役場横の某小学校々庭。大隈である。あちこちでグループのスナック要望がありポーズをとった。福岡に帰ったら丁度五時でまに合った。大名町の「くだおれ」で姫高会、十五人集った。常連のほか熊本の長野さんら新顔あり。鳥山、岡田の両先生はみえなかった。実はこれに先立って九州寮歌祭があるはずだったが取消しになったのだった。

11月6日（日）晴

九時に出発した。みゆき同行。二泊の東京出張を機会に啓二、ライヤ、沙理に合う日程。直美が迎えに来てくれて浜松町駅で斎藤氏と別れ、渋谷経由で二子玉川岡本に行った。（福岡空港十時、浜松町十二時）折悪しくライヤがおたふく風邪と連絡されていたが、行ってみた

らどうやら起きて動ける状態になっていたので安心できた。沙理はカタコトの日本語をよく話し、まるまる太って快活だった。おたふく風邪を保育所でもらって母親にうつしたという。今日は予定の保育所バザーも休んだとのこと。ノリ巻きの中食、スキヤキの夕食で久しぶりになごやかな団欒の数時間だった。タクシーでふくおか会館に九時二〇分に着いた。家永参事も来ていて明朝早いので打合わせて十時に就寝。

11月7日(月) 晴

ふくおか会館を六時二〇分に出発。神田青果市場に行き、福岡県産青果のせり現場二カ所で挨拶した。鬼丸県園芸連会長、岩村農政部長らも同行してくれた。知事がこうして現場視察に来るのは八県目だとのこと。風が強くて寒い日だった。あと、上野のタカラホテルで朝食会。東京事務所に帰って休息ののち二時から「博多なす」発表会、県青果物京浜地区販売促進会、同夕食懇談会とつづいた。県園芸連の主催で行われた今日の行事だが東京で高い信用を固めている事に驚かされた。筑後市の蔵内県議の議会での質問があって実現した視察である。途中時間があって上野アメヤ横丁を見学した。六時すぎ帰館、休息。

11月8日(火) 晴

昨夜から今朝、ベッドでゆっくりできた。十時すぎに東京事務所を出て銀座の千疋屋視察をした。朝倉、浮羽の柿の評判がいいようだ。アップルジュースをごちそうになり福岡事務所に帰った。十二時半から赤坂プリンスホテルで中食会を兼ね九州新幹線鹿児島ルートについて関係四県の知事、出身国会議員らの懇談会を開き、陳情書を決定し、のち自民党の細田小委員長、渡辺政調会長、安倍幹事長に四県知事らの陳情となった。「難工事部分の着工」がポイントである。五時羽田発 JAL で帰福(みゆき同乗)七時前に帰福。途中でグランドホテルで開かれている私鉄総連地方議員全国総会の懇親会に顔出し、挨拶。今泉のスカイラークで夕食を共にし、帰宅したら九時になっていた。

11月9日(水) 曇

八時二〇分にわが家を出て、小倉ホテルにたどり着いたのが午後十時二〇分。庁議、記者会見、から始まって次々に用務が待ちうけ息つくひまもなかった。中食時間も職員組合幹部との会食要望きき。姫路(打越)から前田肇夫妻が来訪、みゆきも来て、知事室でしばらく歓談した。又、四時から五時まで済生会病院で検診と点滴をうけた。小倉にくるまで、八幡の料亭千草で倉田通産政務次官ら出席してもらって明日からの伝統工芸品月間行事を前にしての歓迎の夕食会を行った。北九州市長も共催者側であった。ほんとうに種々あわただしい一日であった。ベルギー大使、永井道雄氏の来訪、柑橘園再編対策本部発会式、香椎操作場整備陳情、一般廃棄物処理場打合せ等々。

11月10日（木）晴

小倉ホテル朝食後西日本総合展示場に行く。九時一〇分から第五回伝統的工芸品月間国民会議全国大会合同開会式という長い名称のセレモニーに出席。寒い風の中、主催者としてのあいさつ、次いでテープカット、展示場内一巡。こんどは厚生年金会館で表彰式次いで歓迎レセプション、いずれも挨拶文を読んだ。次回は大阪府という。展示実演は時間をとって見学したかった。三時前に宗像市の役場に着き、市長、助役と懇談ののち市民総合会館ユリックス（新築）を視察。次いで宗像大社神寶館に参観させてもらい、このあと、玄海町魚屋（料亭）で市及び郡各町長、伊豆、小山両県議ら、県側は力丸部長、家永参事出席のもと懇親会を開いてもらい、終って帰宅したら午後八時半頃であった。楽しい午後の数時間であった。

11月11日（金）晴

朝八時にうちを出て、夜十時に帰宅するという強行軍。石炭対策予算陳情（全国レベル）のため東京往復、帰庁してから十二月補正予算総務部長査定ヒヤリング、七時からリーセントホテルで社会党県議団にそれを基にした補正方針説明と懇談夕食会という日程。東京では全共連ビルで石炭関係六団体の全国代表者会議。その結果をうけての陳情は三グループ分担になり、私はエネ庁長官、石炭部長への陳情団のキャップになった。税制改革で石炭対策予算一千億円の安定的確保が困難になると心配されたこの秋ではあったが、今日の陳情で当面は何とかなりそうだとの見とおしがえられた感じであった。

11月12日（土）晴

今日の出席行事は耳納の市、松友会、土木長友会の三件。八時半に出て十時二〇分田主丸の緑化センターでの耳納の市イベント壇上であいさつ。四回目。浮羽三町二巡目トップの田主丸である。チビッコたちが午後にならないと参加しないとのこと。昨年の大雨に比し今年は晴天。新機軸をうみ出してくればよい。福大セミナーハウスでの松友会は出席三三人とやや少な目。会場は立派な新施設で旧交をあたためることができてよかった。三時から平和楼での土木長友会に出て挨拶。知事が出席してくれたとよろこんでもらった。耳納の市の時鐘水浮羽町長（今日は欠席）の托された渋柿二箱を帰宅して早速むいて干柿とした。昨年同様だし、立派なのができる事が期待される。楽しみだ。

11月13日（日）晴

日曜休務。午前中は宿題になっている色紙その他墨を使う仕事をした。天気がよいので外に出たくなり裏庭の伸びている樹、藤棚に鋸、鋏を入れ、思いきって枝の整理をしたので久しぶりにすっきりした。梯子を使うので用心して作業。夕方からたまっていた手紙書き。これも墨を使う。五通に及ぶ。又今夜から二階に寝ることにしてその用意に、階段に手摺り縄を張る。落ちないための用心にである。半年ほど前にも二階にと試みたが数日して又下にかえ

たのだが、家の中の整理の都合で二階に寝る方がよいとの結論に再び戻ったわけ。

11 月 14 日 (月) 晴

九時半から十二月補正予算の知事査定。一日これに費した感じ。部長たちから復活要求の趣旨説明、三役と財政総務で協議、三時五十分から申渡しを行った。商工、農政、教育の三つが不満をいい、再考した結果調整して決着。予想外に時間がかかった。こうした公務の間をぬって、駐日韓国大使の表敬、ニューオータニでの日経新聞新社長就任披露宴、秀村氏らの県立公文書館建設建議をうけるなどの諸件が入ってきた。決裁をすませ帰宅したのは六時半すぎであった。ひるま、元首相三木武夫氏逝去との知らせがあり、従来河本派との関係もあって対応を要することを指示した。八十一歳という。天皇病状もだんだん悪化の中での小康といわれる。

11 月 15 日 (火) 曇

かなり冷え込んできた。定例の庁議、記者会見。何ごともなく経過した。午後は、商工、農政、土木、建築都市、総務の順で六時近くまで 64 年度重点施策についてヒヤリングを行った。昨夜よく眠れなかったので、こうした詰めた事務対応は若干つらかった。夕方、杉山氏から「うえ田」すし屋にみながいるからは是非寄ってほしいというので行った。元協会系の者が県政について論議し飲んでいところだ。竹村、山川、大塚、高崎、安達、西山の諸氏がたむろしていた。あいさつ程度につき合っ別れたが、予期に相違して四角四面な話題はでなかった。スシをみやげにもらって七時半帰宅。

11 月 16 日 (水) 曇一時雨

来年度施策重点ヒヤリングがつづいた。十時から衛生、労働、水産林務それに国体事務局、教育庁まで。とくに感じたのは国体のやり方が繁雑華美になる一方であるのに、事務局も副知事らも当然のこととしてそれに拍車を加えるような議論をしたことで、私はガッカリした。京都の場合、入場式に一日費し、立ちづくめで倒れる人も出る程なのに、なお短縮どころか時間のかかるような方向で儀式を進めようとしているのが福岡ではないかと思う。形華美が重んぜられるわけだ。午後六時から北九州厚生年金会館で九州ハイテク会議の懇親会。往復する。こんなので忙しいばかり。

11 月 17 日 (木) 曇

三木元首相の告別式には高山さん随行でみゆきが行ってくれた。朝八時四〇分に出て夜七時半に帰宅。九時半からステーションプラザで全国自治体病院協議会九州地方会議が行われ挨拶。あと直方市民会館での県職労大会に行く。十一時あいさつ、花束をもらったりで歓迎された。帰庁してレクなどあり、三時半から有明地域振興協の陳情をうけた。例年同様、

大牟田塩塚市長が一般陳述。五時から済生会病院で検診と点滴。数値は高めだがやや安定している。昨日今日一寸雨があり、久し振り歓迎すべきもの。午後白石県議が田川の老人クラブ連合の役員三人を伴って来室、香春岳の石をもってきてくれた。置物にいい。

11月18日（金）曇後晴

寒さが加わってきた。風も強い。十時半から国民年金事業功労者表彰式、午後一時半から県統計大会。いずれも庁内の会議室、講堂での儀式。三時半から五時半まで、来年度重点施策のヒヤリング（出納事務局、企業局、警察本部、企画振興部の順）。終ってすぐ旧県庁前の東急ホテルでの日中平和友好条約十周年祝賀パーティーにかけつけた。中国側は総領事館、中国民航留学生すべて招待客約二〇人。主催は県九経連、四市、商工会議所連合、日中友好協会などで構成する実行委員会であった。郭総領事のあいさつは立派で、かえって知事のそれよりよかった。二人だけのあいさつで祝宴。二五〇人以上参会してくれただろう。四市とも市長は来なかった。国会議員もなし。

11月19日（土）曇・小雨

登庁して県職労役員から給与改善問題について希望をきく。午後早目に柳川支店（労働金庫）開設の集会のため大川文化ホールに飛ぶ。挨拶を終えたあと、柳川地区県民の会の人達との懇談会に臨む。知事選を熱心に動いて来た人達二〇人ほどが集った。特別の議題はないが、知事の顔を見たいので集ったのだという。一時間ほどこれに費し近所の浜松屋という所で、地区労役員たちとウナギ料理をたべながら懇談。三地区労関係で労金支店を開いたことになるので関係役員が集ったわけ。帰宅後森、藤江の二人が待っていて、麻雀となる。

11月20日（日）晴

晴れたり曇ったりの休日だった。裏庭のミカンがウイルスに罹っているのが気がかりで、梯子を使って縮んだ葉を一応全部摘みとった。あとは揮毫。チャリティ出品のしめ切りが近まっています。これまた気になっていたのが課題を果たし、色紙を三〇枚ほど書きだめした。問研が私の教養部での講演速記をおこし、月報にのせるので見てくれといってきた分。きたない文字の速記録を手直しするのに時間がかかった。今吉まさえさんが喜寿祝賀をするのに出席のため、中山日出子さんが私の祝賀色紙を贈るのでということを受け取りに立寄った。

11月21日（月）晴

さわやか、ポカポカの秋晴れで動くと汗ばむ。朝夕は冷え込んでいる。十時に登庁。朝の放送打合わせは農産物のブランド化と婦人問題。中食休み時間は胡弓の演奏をきいた。講堂の職員厚生用開放の一例である。午後は県政懇、県民クラブと共産党、の二組。予定の社会党

は時間が折れ合わずやめ。早目に帰宅できるので、久しぶりに問研に立寄った。丁度衣笠氏も来ていて、農政連の中村県議からももらったイチゴを披露していただいた。リクルートコスモスの株譲渡問題で江副氏と、二人の前次官が国会に喚問された日だ。逃げ道をうまく行く人は追にくいようだ。政治不信が一般にひろがっている。

【欄外記入】

胡弓——趙国良さん

ピアノ——神崎正子さん

11 月 22 日 (火) 晴

十時から済生会病院でいつものように検診と点滴。十一時半に県庁近くの成蹊幼稚園児が勤労感謝の日を意味する知事表敬。午後二時に決算特別委員会に呼び出され、古賀次夫氏から県立病院について質問された。三時、国道への昇格につき玄界灘沿岸九市町村から陳情があった。レクリゾート関連である。四時半農政連との県政懇。いつもの通り予算のつけ方が少いと不平。とくに井上(勝)氏はくどかった。中味は何もないのに。ハワイ州から前知事有吉さんが二人の県人と共に来庁。ホノルルで日本文化センター建設につき応援をとること。夜は全日空ホテルで会食、日本移民の苦労を伝えたいとのことであった。

11 月 23 日 (水) 雨

揮毫の宿題があってこれをすませたあと、中国古典名言事典からかなり拾いあげて新しい材料を作る仕事をした。ずっと小雨がつづいていた。午後五時から八時まで協会系の活動家が集って当面の諸問題について話し合った。やって来たのは高崎、大塚、杉山、安達、村瀬県議に衣笠教授の六人だった。今後に向けて第一に十二月議会での教育長問題と年頭の辞の重点、新年度予算の重点、人事、施策、労働戦線(メーデー、共産党)、県民の会のあり方などかなり重要課題がひしめいていることが改めて認め合うことができた。秘書室の改造がせまられている。人事はかなり思い切って改造せねばならないということだ。

11 月 24 日 (木) 晴と曇

風強く急に冬らしくなってきた。十時から県職労交渉(職員課別室)。ベ・アの交渉が軌道にのることだろう。三役会では監査委員会からの指摘事項について各部から順次事情説明をうけた。午後は今日明日開かれる九州沖縄ブロック技術市場交流プラザの開会式、夕方の交流会(於ニューオータニ)に出席して挨拶。これは県も予算上かなり手伝っているので商工部が深く関与している催事であった。六〇〇ほどの企業の出席があっていた。四時半原田種夫氏の米寿祝賀会(これもニューオータニ)があつて出席。氏はにわかに入院で欠席だった。根性の限りの文人である。

11月25日（金）晴、曇、雨

荒れ模様の空。風強く雨も降る。不規則だが庁議、記者会見、それに代表者会議で十二月議会招集の件。二時四五分こども劇場代表者による陳情。ファジー理論の山川先生があいさつに来庁。三時すぎ朝の放送録音。県議会自民党の中に教育会館跡地をNTTに売る話について文句をいっているのがいて、もめているとの話が伝わってくる。十二月議会も平穏ではなさそうだ。四時すぎから飯塚にとぶ。寿会館で開かれている日韓熟年交流の会に立寄り、歓迎のあいさつ。これで三回目という。飯塚の人達がやっている珍しい民間外交だ。柏の森近畿大学工学部で六時半から開かれる「筑豊地域おこしゼミナール」で講演。あと質問、問題提起をうけ、九時に終了。帰宅は十時すぎであった。

11月26日（土）曇・雨

九時すぎ久山町長が上海中国医大の人を伴って訪庁、中医大学を誘致する話が進んでいるという。北九州市へとんで小倉駅前での新北九空港の建設運動の一環としての宣伝広告塔の除幕式、中食会、期成会理事会があった。除幕式は私が遅刻した上、風が強く、一寸に幕が吹っ飛ばされる一幕もあって市長は前途多難ですねという。五時半から門司倶楽部で那波公明氏の議員三四年引退をたたえる会があった。三〇〇人ほどの来客だった。議員たちも皆集った。その間数時間あいたので松永県議の案内で下関豊浦黒井浜、メカリ公園などドライブ。荒天、みぞれすら降った一日。

11月27日（日）曇

三時半になって中西忍・樺島章生両氏が来訪した。久しぶりの樺島氏である。今夕の会に出席の二人である。私は大相撲の千秋楽に出るため、一寸話ただけで出発せねばならなかった。千代の富士は優勝したが今日の最後の一番で大乃国に敗れ連勝記録は五三でストップした。知事賞を渡したのち箱崎の「あと山」に行った。「奥田資本論研究会」メンバーの懇親会を島津、河野の二人が幹事役となって招集したものだが十五人集った。東定、相原、坂梨、安達、浅野、大島、大山、馬渡、中川、岩永らが集まり、みゆきも同席した。すき焼きを機縁としたいということで、あと山を会場に選んだとか。二十五年ぶりと、話に花が咲いた。中洲のメン・バーにて二次会。十二時すぎに帰宅した。

11月28日（月）曇・雨

夕方は雷さえ伴う荒天の一日。朝のうち職員三〇年勤続の表彰式、午後は監査委員との懇話会が主な行事。夕方は早目に退庁、済生会に寄って点滴して帰宅した。一寸風邪気味だ。ひるの三役会では田川三線に対する県の支援について三億円ばかりはやむなしとの基本線を確認した。甘木線の場合とくらべ現地の各界の態度はむしろまちまちで、県が支援すると先約してほしいということである。赤字ローカル線第三次切り捨ての対象だが、現地では地域

荒廃を防ぐため是非第三セクター方式で残したいという声が強い。県からの職員派遣も要請されている。

11月29日(火)曇後晴

数日つづいた荒天が午後やっと晴れた。庁議、記者会見は例のとおり。十一時からセンターで中小企業団体の代表者との懇談会。これは中食をはさんで当面する中小企業活性化問題について要請に対し知事が答えるという形で進められた。会館建設や大店法対応など有意義な話題がたくさん出された。二時から庁内で勤労者知事表彰。三時から新日鉄杉山常務の来訪があってスペースワールド建設について挨拶懇談があった。四時、セントラルホテルで済生会永年勤続者表彰と懇親夕食会があった。看護婦さんたちがスナップに撮らせてくれと近より、何回もポーズをとった。前知事はこうした席に出てないとのこと。六時四〇分JALで上京。午後九時にふくおか会館に着く。

11月30日(水)晴

東京も今日はすばらしく霽れた。北の丸公園の紅葉、武道館のたたずまいは東京ならではの美しさ(午後散歩)。今日の陳情行動は大蔵省に二度、自民党本部幹事長、建設省であった。九州知事会として国庫補助負担率復元の件、北九都市高速の件で北九市長と共に、又国体関連都市公園整備の件で北海道、石川の人達と陳情を共にした。どの省庁も毎日のように、こうした陳情攻めにあうならたまらないだろうと思った。北九州高速の問題にはまだまだ隘路が多いことがわかった。散歩のあとふくおか会館に入室休息し、六時半から労働省福岡県人会に出席した。労働県といわれるだけに多士済々の出席だった。遠藤、桑原ら。

12月予記

十一月末からぐっと冷え込んできた。例年より寒い。国会がリクルート問題、消費税問題で揺れていて、十二月はじめに、すでに、来年度政府予算決定が一ヵ月おくれることが明らかになっている。県議会は波風少く進むと思うが、下旬に政府自民党に対する陳情は例年どおり行い、一月末にさらにくりかえさねばならぬ見とおしである。おしつまって三十日に刀出で餅搗きをしようという事が可能になるかどうか。だんだん年をとると、こういうことがたのしみの一つになってくる。年賀状については未だに決心がつかかかっている。書かないことになるのではないか。面倒なのではなく、混乱するので迷うのである。

12月1日(木)晴

福岡も東京もすっきりはれている。午前中はあいていたので、池袋の豊島文化会館にある古代オリエント博物館に行った。紀元前何世紀もの遠い人間の営みに接することができた。本物かコピーかは知らないが、よく集めてあると思う。十二時からキャピトル東急ホテルで九

州国立博物館設置促進国会議員連盟役員の人達との中食こんだん会に出席。長崎の西岡氏が今日はトップの役割を果たしてくれた。来年度は是非調査費をとということで大蔵陳情をしてくれることになった。私は予定の陳情には加わず、早目だが帰福することができた。二時すぎのJASで、帰宅したら四時半だった。佐方から柿が届いていて、啓二と直美にリンゴなど混ぜて果物一包ずつ発送した。去年もこういうことがあった。

12月2日（金）晴

十二月がよいよ始まった。県議会本会議が予定の十一時に開会されず、三時四五分にやむなく開会せざるをえない点にまで達した。九月議会での天皇病気をめぐる状況に対する共産党の代表質問をどうおさめるかで各党まちまちのまま、話合いがとうとうつかなかったようだ。議会棟に移ったまま、田川三線第三セクター化助成金陳情、福岡高校運動場拡張陳情、津留県議用写真とりなど用件をすませた。提案理由説明を終え、休会に入った。上海大廈からの来訪やら決裁やらで、きりきり舞いの結果、六時からの老松での朝日国際マラソン（次の日曜）前夜招待宴に間にあわせた。八時少し前に帰宅。寒さ加わる。

12月3日（土）晴後曇

九時に出発して飯塚の文化センターでの「せっけん大好き」福岡県民集会（大町多喜子ら）に出て挨拶。すぐ引きかえして東平尾の県営総合プール建設現場に行き、広報室の写真撮影に従う。国体にまに合うよう「槌音高く」建設が進められていた。一時からサンパレスで行われた県評坂本隆幸議長の藍綬褒章祝賀会に出席して祝辞をのべる。このあと西ノ浦漁協に行く。漁協青壮年協（筑前海区）との対話のつどいのためである。片口いわしの水揚げ加工場の作業現場を視察したあと漁村センターでの対話とあとの懇親夕食会。これは三時五〇分から七時二〇分まで、三時間半の楽しい見学になった。漁業者のなやみが次々に出されたがゆったりと語り合えた。八時すぎに帰宅できた。

12月4日（日）曇後雨

どんより重々しく曇り風もないアサヒ国際マラソンの日。朝はゆっくりし、庭を掃き、墨すって色紙など若干揮毫した。何だか体調は依然爽快でない。三時すぎ、河野、上田の二人との連絡がとれてマージャンの午後となった。気になっていた刃物とぎを久しぶりにして気持がよかった。小刀や鋏が身近で切れ味をなくすと嫌なものである。マージャンが終わってから揮毫したものに落款してみて、出来があまりよくないので落胆したが、何とか受け取ってもらうことにしよう。書き癖が一寸もなおらないし、それが気に入らない。何回でも同じように思う。緊張が足りないのであろう。十一時すぎ就寝。

12月5日(月) 小雨後晴

十時半から市民会館で農協大会があつて農業危機につき挨拶。天皇病気の問題深刻化しているとのこと。午後一時から大牟田市茂登山開拓畜産団地視察。知事歓迎の横断幕がかかげられ大牟田の全県議、農政部長らも来訪。ミカン農園、肥育牛舎、堆肥生産現場を歩いて焼肉大会で中食。あと三時から近くの山内小学校々長室を借りて市長と要談(大牟田活性化について)これは企画部からも列席があつた。帰福してニューオータニで福岡今日会の呈茶。家元鵬雲斎さんの講話、立食懇親会があつた。五時半から七時半まで。福銀の新木、岩田屋の中牟田、それに宇治川氏ら多くの著名人が参加していた。

12月6日(火) 晴

九時二〇分から済生会病院で検診、今日の結果はよくなかつた。十一時から九州地区私立中学校協議会の補助金陳情。一時から九産大体育館で反差別国際会議福岡集会があり、挨拶に立ち、これは夜六時半からも三光園での夕食会の席でもつき合うこととなつた。三時半からさんぱつ。四時半に福岡学園女子バレーチームが九州大会優勝報告に来訪。引接して額入り色紙を贈りはげました。五時から県労働者福祉協議会の役員ら十人近くの者が要請書をもって例年どおりの陳情を行った。労働四団体、労働組合福祉事業団体の陳情だが、従来、県費補助はたいへん少いの、その殻を破りえないでいることに感慨深いものあり。

12月7日(水) 晴

今日から県議会代表質問。例により八時半から答弁資料の勉強会。十一時の開会が二十五分おくれ、佐伯(自)、松永(社)、古賀(農)の三人の順に進められ、四時十分に終つた。産業廃棄物処理の公的関与が今議会では共通の関心なので、これにふれる人が多い。三区衆院候補予定の高石前文部次官のリクルート疑惑についても共通の興味が示された。教育長竹井が、強気の内容の答弁をしていたが、今議会で一般質問、文教委などでまだ尾を引くに違いない。五時に読売新聞の新春記事取材があつた。昨夜の睡眠不足がこたえた。

12月8日(木) 晴後曇

八時半から代表質問二日目の勉強会。吉永允俊(公明)に対する答弁の多さにはうんざりした。一時間半以上かかり、大塚副知事も疲れたといつた。二十五分おくれで始つた本会議、一時間半以上かかって吉永のだけ終つて中食休憩。後半の高(共産)の質問への対応で議院内各党まとまらず、後半のトップ陣矢(県民ク)が始まつたのが四時。途中で時間延長して次の高氏が終つたのは六時少し前だつたらう。高氏の発言中に自民党席から下品な野次がとばされたが、九月議会のような発言封殺には至らなかつた。社会党の林団長が休憩中に各党間の調整にかなり骨折つたらしい。補正予算を流すと自民がおどかしていらしい。七時一〇分帰宅。

12月9日（金）曇後雨

かなり冷え込んできた。八時半から例のごとく答弁の勉強会をして一般質問のはじまりを待ったが、今日は空転がつづいてとうとう流会してしまった。「九月県議会の反省に立つ」という約束だったのに昨日の共産党代表質が反省を表わさなかったということで、与党の責任をとると、野党がぐずつき、共産党は発言封じの反省こそ先決と自民の責任を主張してつっぱね、双方折れ合わなかったというのである。夕刻になって、中央ではリクルート疑惑をめぐって空転している参院審議を軌道にのせるため、火中にある宮沢蔵相が辞したとのニュースが流れた。消費税ごり押しのための「尻ぼ切り」にすぎないと、社共は反撥している。

12月10日（土）曇

九時半にオーストラリアの武道会集団が新宮議員の紹介で来訪した。十時半県警のヘリコプターで県内視察、永田室長同行。十二時まで一時間十五分北九、玄海部分を五〇〇～八〇〇メートルの高さで飛んだ。国体会場をみるということだったが、こまかい印象はとどめられず、門司、関門海峡のこまかに映った、北九州市がやはり大きく印象づけられた。帰庁し中食後、大濠公園で秘書室職員関係の子供達と、グリーン 21C 新年号の写真撮影。北九州にとんで厚生年金会館での「広がる希望のつどい」障害者の日集会に出席。入賞作文をきいた。夜、上田、河野氏を呼んでマージャンをしたが、河野氏が酔いつぶれて困った。

12月11日（日）曇小雨

午後表、裏の落葉を対象に小雨の中掃除。自分の部屋を若干ととのえた。九一から電話で年末のことで連絡があった。二九、三〇、三一の三日間姫路に行く心づもりになっているので、そのことについて概要了解をえておいた。みゆきがどうするのがいいか迷いが出て来た。直美が二五日頃から帰ってくるので対応がむずかしい。夕食前に中島寿子さんが久しぶりに訪ねて来た。歳暮、短歌色紙など携えて。まだアニマルセンターにパートで勤めているという。腰がまがる程になっているが、元気そうだった。ひとり暮らしの老人のことを念頭に浮かべざるをえなかった。短歌が生きがい、いいことだ。

12月12日（月）晴

九時から一般質問の二日目分の答弁資料検討会を行ったのだが、結果として今日も本会議は開かれず、舞台裏のかけ引きで暮れた。代表質問での高議員の発言につき、一部取消しまで共産党が折れたところに、陳謝せよとたたみかけ、共産党が妥協しなかったため、空転となっているようだ。待ち時間を利用して力丸部長に豊前海区の漁業につき空港補償と振興につき私の現在の思いを伝え検討するよう要請。直方の野下県議は二月の凧あげ会につき青年代表を連れてきて参加要請をした。五時半から県民の会代表が来訪、会としての知事要

請をのべた。両内田、山川、大塚らであった。帰宅は七時前だった。ひるま、社党の高石問題調査団の来県があった。

12月13日(火)晴

九時から一般質問の答弁資料検討会で、予定の最終まですませたが、今日もまた本会議が開かれないまま経過した。時間延長となり、六時半に本会議が開かれ、共産党高議員の発言の一部取消しと議事日程変更を決め十分間ほどで閉会した。共産党が抵抗したのだろう。つまり陳謝要求はなかった。当然といえば当然。夕刊には高石邦男氏の三区から衆院への出馬断念が大きく報道されていた。リクルート疑惑の解明はふせたまま、消費税の審議は進んでいる。竹下首相も強引のきわみである。県議会は三日間進展なかったが、明日以降どう取戻すかだ。

12月14日(水)晴

十時半に、県医療審議会から(桜井医師会長)地域保健医療計画の答申があった。やっということである。十一時一五分から本会議が開かれ、ようやく一番質問開始の運びとなった。津留、樋口、野下の三人で中休み、後半は西原、近藤、江頭、瀬川の四人、計七人。なるべくかんたんにというのが後れをとりもどすみんなの気持であった。思ったより早目に切り上げられ、時間があつたので済生会病院に行き、点滴をしてもらうことができた。三日間もくい違った議会日程だが、一般質問は取り下げの人も出され、明日で終わりそうだ。帰宅後、テレビでの「新春挨拶」の放映の原稿を点検した。年末、年始の準備に多忙の時期になった。

12月15日(木)曇一時みぞれ

十時から死亡者叙勲伝達式。あと稲富さんが伴っての緑化関係組合の役員による陳情。情報処理訓練校を直方へと市長市議たちの陳情。さらにスパイ防止法反対の要請(若狭、津留県議の同伴)。十一時十五分から五時半まで一般質問があつてこれは本日で終了。議会のあと三役(鉱害復旧でいちゃもんがついている件)。六時半頃までRKB社の録画。県政サロン、年頭に語るというテーマ(於知事室)。こういう訳で便所にもいくひまがないほどキリキリ舞いの一日だった。寸暇をぬって知事を使うというかっこうなのだ。帰宅は七時すぎ。ぐったりと疲れる。一般質問は水戸、藤田(一枝)、山本、岩佐、中島、大石、井上(澄)の七人。水戸は福教組攻撃をさかんにやっていた。効果はない。

12月16日(金)曇

ゆうべは荒天で若干雪を見た。九時半から新年取材が集中し大忙しであった。議会は各常任委員会。夕方の三役会は春日米軍跡地三分割の詰め。県が総合福祉センターを予定している

所、自衛隊が広く要求し、県と春日市がこれに反撥している問題。もう一つは県立の黒木、遠賀両病院の再建について各種素案が説明されたのであった。午後七時から筑紫のがみ会館で部落解放筑紫地区（三市一町）協議会三〇周年祝賀会が開かれ挨拶した。「炎のごとく」（資料集）出版記念でもあった。八時半帰宅。ひるま、年末に刀出と佐方に行くスケジュールを決めたので帰宅後それぞれ電話連絡をした。随行の斉藤氏も、餅つきについていくとのこと。二泊して三十一日に帰福する。

12月17日（土）曇

九時二〇分に旧知事公舎に着き、北九福岡両市長と合流。KBC朝日放送の注文である新年録画対談をした。気分爽情に整った雰囲気を作ってあった。帰庁し、畠中県議らの陳情（田川郡に社会教育施設を！）。十二時半から県庁講堂で「石炭勘定」存続を要望する県下産炭地域六団体の、国会議員を招いての県民大会が開かれた。一〇〇〇人は参集したであろう。二時から大手門会館で「連合福岡」の結成大会に行つて挨拶。これは五時からグランドホテルでの結成記念パーティにつながれた。この間、同じ大手門でローフレンズの例会、忘年懇親会があつてそれにも一寸顔を出した。今日も多忙。夜は森、藤江が来てマージャン。

12月18日（日）晴

休務。一日中在宅。前から気になっていた台所と居間を区分している障子のキシミを修繕してうまくなおつてスキツとした。硝子障子なので重みのため経年のうちにキシミが出て来るのである。その他の時間は全部揮毫にあてた。色紙、条幅、扁額もの。どうもマンネリ化して思うようにいかない。気ばかりいら立つ。諦観するしかないのだろうか。外国向けクリスマス年賀を五枚かいた。今年は国際交流課はクリスマスカードを出さないとのことだ。寒さはかなり厳しい。洋蘭何鉢かは室内に入れてあり、見る人も少いが立派に咲いている。

12月19日（月）曇

知事保留は午後四時商工常任委一件だけが片付いた。文教、土木、総務のそれらは進展せぬまま、明日にもちこされた。外国の来客二件、亜東関係協会と仁川市長の二つ。鉱害復旧工事につき、方城炭礦の側から訴えをおこしている趣旨につき山根県議ともども説明のため所長が来訪。鉱害を食物にしている事への抗議の思いがこめられていた。田川三線第三セクター化に県が支援すべきとの意見書が交通対策協議会（林県議ら）から提出された。甘木鉄道にも新たな対応が必要になってくるという。明日、会期中に議案審議が終わるかどうかが心配。商工の知事保留は畠中氏が地域振興につき、かつこうをつけるため行つたもの。

12月20日（火）晴

十時に先日発足した連合福岡の役員が挨拶に来訪。次いで田川三線第三セクター推進県議

連の要請があった。今日中に十二月議会の審議があがるのを待ったが、土木、文教、総務の各常任委がもつれて進まず、最後まで残った土木が決着したのは午後十時すぎであった。会期も一日延長となった。この間私は知事室でずっと待機。年頭挨拶の録音、決裁、読書で時間を費した。夕食はニギリずし。この三委員会では知事保留はなく、部長と副知事で消化できた。むだ時間のようだが、やむをえない。明日は全部終って上京せねばならぬ。帰宅は十一時をすぎている。知事追及がなかっただけに今回の会期延長はそう苦にならなかった。

12月21日(水)晴

十時半に登庁して議会の動きを待つ。一時半に代表者会議(追加提案)、二時五〇分からいよいよ本会議。それが三十五分間で議了。あいさつまわりなど議了後の動きをおえ、五時四〇分のJALで上京。東京事務所で夕食して会館の部屋に入ったら午後九時をまわっていた。待機中に、かなり読書できた昨日今日であった。議会側は何か手間どることはないかと探しまわって、何でもコツンコツンと当たっているような感じだが、こっちも時間だけが次へのエポックになる要因だと思って呑気でいられる。東京に着いてきくところによると、今日の参議院で消費税につき委員会強行採決があった由、後遺症があろう。

12月22日(火)晴

八時から全共連ビルで「九州はひとつ」開発推進大会があり、各県知事らとそのあと、政府自民党に新幹線高速道につき陳情にまわった。(建設大臣、幹事長、総務会長、新幹線特別委員長、官房長官政調会長ら)東京事務所に政府予算対策本部を設置。午後、長崎、佐賀、大分とともに九州横断自動車道の建設促進につき建設省、道路公団に陳情。三時すぎからは県だけの課題で、北九州市とも携えて農水省、国土庁を歴訪陳情した。牛肉オレンジ自由化、農業基盤、レク・リゾート、水資源ダムなどに関してである。午後六時から、ふくおか会館で、社会党国会議員と夕食懇談会を開いた。七時二〇分散会。

12月23日(金)晴

九時から長崎、佐賀を加えた三県で赤坂プリンスホテルで朝食会をかね、西九州自動車道建設推進協(含福岡市)を開いたあと建設省に合同陳情。十一時半から又同所で、自民・民社所属の国会議員を招いて、県と両市の予算要望懇談中食会が開かれた。この時参議院の福田幸弘氏が今朝死亡との報が入った。午後は建設、運輸、文部と陳情行動を展開した。文部省では国立博物館建設が項目に入っていたが、大蔵はもちろん担当省でさえ、まだ十分理解させえてない状況にガックリ来た。劔木事務所にも行ったが、この問題はさらにまきなおすほかないと思った。午後六時から又々赤プリで公明党議員に来てもらって予算懇談夕食会。夕方一時間ホテルを利用して休憩した。

12月24日（土）晴後曇

十時二〇分に外務省に陳情。あと帰福は二時半だった。まっすぐ帰宅時刻だ。東京は快晴なのに福岡は曇である。外務省に行っても感ずるのは応対に立てくる人がいわゆる役人的でなく温い気持で迎えてくれるということだ。外国人と接する事が多いからであろうか。鈴木参事官はよく語り、ていねいであった。来年は北九州に国際研修センターがオープンするが、地域で包んでよくしなければならぬと沖縄の例を出して話していた。第十八富士山丸の件も話題としてこまかく話してくれた。夕方、藤江、森の二人が来て夕食をはさんでマージャンをした。長すぎて少々疲れてしまった。身辺整理の仕事がどっさりたまっている。やる気が追付かないのが残念。

12月25日（日）曇 小雨

昨夜はほとんど眠れなかったみたいだ。休みの一日。うすら寒い。疲れたからだではあったが、歳暮のうち礼状を出すべきものについて数通をしたため、一本寄稿すべきものの草稿を作った。二時に元秘書随行役の福原氏が来て、私の揮毫した軸物の箱書き依頼をしたのでそれも果たした。何とはなく年末情緒がする。午後八時ごろ直美が正月休みに帰省してきた。スキヤキを囲んでの夕食になった。書斎を片付けなければならないのにその気にならないのはなぜだろう。ゴツタ返して片付けようもないのも事実だ。筑山・城戸満氏に小倉百人一首和漢朗詠集をいただいた礼状も書く。立派なできた。

12月26日（月）晴

午前中に、田川の社保短大の四年制大学への昇格につき答申（九州人間科学大との仮称）をうけ、黒木町長ら八女郡からの林業試験場存置の陳情、公明党県議の政策要請をうけた。中食は歳末の気持をもって問研の人達とフランス料理を共にし、光円寺に行ってあいさつ、済生会病院で点滴検診（肝臓数値がとくによくなかった）。帰庁して決裁などしてあと歳暮のあいさつに出る。創価学会の吉橋氏、高山県議々長、多川福商副会長、それから二日市の上杉佐一郎の四件。帰宅は七時半であった。肝炎の問題が気になるが、頭が重く睡眠が十分でないとの自覚はあるものの、他は何が症状なんだろうか。右肩が少し痛いのがつづいている。小川先生は疲れているようですねという。

12月27日（火）晴

朝出発前に思いがけなくも龍さんが来宅。前例にもあったが、花鉢をもって来てくれた。山川町で病院誘致の件で頼みごとがあるという。秘書室に取りつぐよう連絡した。うまく話は進まなかったようだ。世界青年の船団員二人が来訪。ついで北京延慶県からの訪日団の来訪をうけた。これは新宮県議同道。午後あいさつまわり。北九方面から順次、住吉、助信、浜中、松尾、山本、三木、福岡に帰って永倉の諸氏。五時ごろ一旦帰宅して小休ののち、六時

からの三井アーバンホテル日本亭での木梨弁護士の組織した忘年会に参加した。知らぬ人も半分はあった。二十一人。学者では森、権藤、中尾、石村がみえ、あとの二人が九時すぎ、拙宅まで送ってくれた。船小屋の樋口軒夫妻も出席だった。

12月28日(水) 晴

年末の儀で十時半記者会見、庁議とつづき、KBCが新春の取材にきた。決裁、さんぱつをすませ、室に戻ってみるとザワついている。記者会見での天皇責任云々の長崎市長発言について意見を求められ答えた私の発言が、昼のテレビに出て共産党系から批判の電話が相ついでいるとのこと。この問題は夕刊にも報じられ、共産党の県議控室の山口氏からも拙宅に電話があり、明日の「赤旗」に送る記事を書いているのだが、「革新」らしくない発言はどういう意図なのかという。私なりに「責任」の問い方についての真意を伝えたが、年明けて問題にしたいとのことであった。今日の歳暮まわりは松本、北風の二件。(五時すぎ帰宅)

12月29日(木) 晴

九時半の列車で、姫路のモチツキに行く。斎藤氏が随行。十二時頃相生駅に章が出迎えてくれ、駅前食堂で中食後佐方へ(斎藤氏は赤穂見物)。おばあちゃん、倭さん、和子さんに会い、佐方の墓参りもすませた。西相生から斎藤氏と同じ列車で姫路は五時すぎ着。晴久、東京の毅、それに網干から和代も加わって飾西の準備された会場「富貴ずし」へ。打越の連秀ほかいとこ半の諸氏も加わり、全部で十四人で、私を囲む近親者忘年会をしてくれた。打越の雅明、西脇の捨雄さんも来てくれた。この料理屋の運びののろいにはみんな不気嫌をおさえられぬ程だった。六時から九時前まで。引きあげるときに、序に捨雄さん宅に寄って芳子さんに面会した。雅明の運転。晴久宅に寄って小休ののち、二人で九一宅に投宿。

12月30日(金) 晴

七時半起床。すぐモチツキの準備に入る。昨年と同じ。私も杵をもったが、力が弱くなっていることを自覚した。アンコモチなどはじめの臼で朝食。ひる頃搗き終り、中食はうどん。午後は墓参り。九一の案内で打越に行く。斎藤君は晴久と毅の案内で姫路城と書写山に行った。打越は、あや子さん、前田肇さんの両家を訪問した。肇さんは私の来るのを待ち構えていてくれた。宅を訪ねたのははじめてだった。著名なひらがな書家で、部屋にも作品が一ぱいだった。三〇年の書家歴をもつという。夜は晴久宅で彼の一家はもちろん九一夫妻、東京の毅、斎藤君を加えての鍋ものでの夕食会になった。餅つきの場に、吉田繁太郎氏が訪ねてくれた。満ち足りた年末になった。

12月31日(土) 曇、後雨

七時半起床。お鏡もちなどおみやげ品の荷物を作って九一宅で朝食。おもやのおばあちゃん

にあいさつをして帰路出発。九時四五分の列車での帰福。九一、毅が姫路まで見送ってくれ、和代が駅まで干柿をもって来てくれ、おみやげが更にふえた。博多に予定どおり着いた。二時前には帰宅できた。もう正月を迎える気分は十分だ。裏庭と前宅のそれぞれの隅に粗大な枝草切り捨てごみが目立つので作業衣に着替えて燃やした。火の用心も大切なので時間をかけた。夕食後は書斎に入って平素の来翰物、新聞や雑誌の類に、整理の手をそめたが、何だか空しいほどに整理がつかないのに気づく。何をしているのかわからない。年を越しても仕様がなと思う。ほんとうは捨ててしまうべきなんだろうに。……

補遺

二月二十五日

済生会病院に人間ドック入り。検査の結果、依然血糖値が高いし、肝機能の数値が高すぎる。食後その他の時間の休憩が重要との院長の勧奨である。私にはこれという自覚症はない。が眠りが足りないことも加わってか、日常の張りがなことは確かだ。平常的執務の時、とくに、職員から業務上の説明を受けたりする時間帯は眠くてしょうがない。スタミナがないとか、張りがなといわれる限り、肯定するしかないのが近頃の傾向である。睡眠時間はたっぷり取ってあるのに眠れないのだ。

四月八日

今朝はねむれなくて早起きしてしまった。昨夜おそく西日本新聞記者が拙宅に電話するやら、来訪するやらでひとさわぎがあったのだが、都留大治郎が九時に死亡したというのでコメントを取りに来たのである。八丁、高田光雄、そして都留。その間、大神健太郎、高岡新の母というように、この十日ばかりの間に、身近に葬式が実に多い。自分も又入院三日という事態。うちで天井イタチだろうがどんどん駆けまわる。凶兆というのかな、気分のいいものではない。医師にも訴えたのだが、どうも近頃心も身も張りがなわけだ。「しっかりせい」といわれる状態だ。

四月三十日

何と評されようと、何といわれようとあまり気にならなくなっている自分を近頃気づきはじめている。ある意味では生気がないのかも知れない。別に悟りの境地に達したとは思わないし、生気がないとも思わないのだが、ひとのすること言うことが理解できるように、そして即反撥しないようになったのであろうと思う。寛容という言葉は前から好きな言葉であるが、それに近づきえるならよいことだ。自己主張の前に他を理解する。近頃色紙に書く文字に「舍己従人」というのがあるが、己れを捨てて人に従うと読み、今の気持を表現していると思うのである。それから——時間があれば、こそこそ何かをしている。しないと気が落付かないようだ。ひっくりかえってテレビを見るのもいいし、無念夢想に陥るのもいいでは

ないかとひとにいわれる。それができないのだ。貧乏性というのかも知れない。何かをする、じっとしておれない。どこからそういう気性ができたのだろうか。こつこつ辛抱強くする。そんなのは生まれつきなのか、家庭の訓陶なのか、自己練磨なのか、単なる性分なのか。単なる性分で片付けたいのだが、それでは解答にならない。吉村裕子さんが長男が勉強せんで困るとの手紙をよこした。どう返事したらよいのだろうか……三月下旬に九大受験四度失敗で悲嘆にくれている母親から手紙が来た。依頼でもないが私に書くことによってウツを晴らそうとしたのであろう。私は、子を叱るなどといって返書を出してあげたのだが、早速に返して来て、心の重荷がおりた、今後とも親子で頑張るといふ。吉村氏の場合、よく知った家庭だし、それほどあっさり言えない。勉強する子としない子の差がどこから生ずるのか、私には今もってわからない。しかし、しないのならしないだけに、どこかに長所があるからそれを伸ばすように指導できないかと思うのである。一彦の長女久美は自分できちんと勉強もし立派というが次女レイはそうでないらしい。どこから違いがでてくるのか、やっぱりわからない。

六月二日

大分市で九州知事サミットつづいて九州地方知事会議がある。東京一極集中と高速交通体系のおくれが問題の基底にすえられたサミット。それにしても出てくる時、みゆきが、啓二は住居を変えるが、こんどの家賃は月三十万円だそうと話す。いくら東京一極集中とはいえ、あきれてしまう。地価の狂騰がそうさせるのであろう。がそういう高い家賃を出す価値があるものなのか、それを払う収入があるのか、全く理解に苦しむ。本人達が冷静に判断してのことであろうがこの距離では理解できない。昨日、森山英明氏が娘さんを伴って来訪。彼女は今南区で間借りしていて、月三万五千円とか。いずれにせよ大変な時代になったものだ。

七月四日

明日から六月議会代表質問。つゆはまだあがらぬ。山笠で町はにぎわっている。今朝も済生会病院に点滴に行った。肝臓の検査結果がよくないので、できるだけ体をいたわり、点滴回数をふやすようにといわれている。激務は避け、無理な日程を組まないよう秘書側にも注意がまわっている。私はみんなから監視をうけているのと同然である。自分が自分を監視することが一番だと思うが、特別の自覚症状がないので、チェックの仕様がむずかしい。

七月十六日

大手門会館で日教組大会が開かれるのを阻止するとして全国の右翼が続々結集しはじめ、県警も全力をあげて警備に力を注ぎ、私にも自宅から出て留守するよう計画が固められた。全く大がかりな対応である。

九月十九日

昨日鞍手からの帰途篠栗の上岡宅に寄ったら一家揃って歓迎してくれ、若杉山の中腹に新造した研修所なる別荘に案内してくれた。上岡氏は、みゆきを大変褒めてくれた。お布施事件の時の態度が大変気に入ったとのこと。又飾り気や気取りがないのがいいともいっていた。多くの人が上岡氏と同様に評価しているのを耳にする。有難いことである。ひとにいい印象を与えるよう心懸けなければいけない。上岡氏は「ひとの欠点を言う勿れ」ともいっていた。県議会の例もあげて説明していたが、自民党の井手宗夫のごときは批判されよう。

九月二十二日

井手宗夫がいうのは、国博誘致自民国会議員連盟発足の会を竹井教育長が私に連絡なしに八月の何日かにどこかでやった際、宮崎の議員が福岡の知事は出てこないのか、九州は一つといいながら、……宮崎にも国立博物館を作る理由はあるのにといったとか。又八月末に整備新幹線の着工順位決定に際し、鹿児島、熊本の知事は徹夜して状況の推移を見守ったのに福岡の知事は顔を出さなかった、これでは九州は一つとはいえないと誰かがいったとか——井手氏は「奥田知事はこれら知事に劣るが、心境如何」とわざわざ県議会の国博特別委に知事出席を求め、時間ストップで私を追及、委員長吉塚輝雄が井手のごねに応じて知事呼び出しをかけたのであった。竹井、井手の芝居的一幕であったのだが、「日程作成上の不手際でした」との答弁で逃げ本気で対応しなかったのが、芝居に終わったのである。ひとの評価によれば、国博誘致にしる、新幹線にしる、平素奥田知事がどれだけやってきたか知りもしないで、あんな質問追及したって仕様があるまいと、いわば笑いもの。井手は胸をはって、さも急所を突いたぞといわんばかりの質問の仕方であった。もちろん程度は知れている。ひとをこきおろすことだけが目的で何の前進的な解決にもならない。宮崎の江藤議員も程度の知れた発言だ。これでは「九州は一つ一つ」と皮肉られても仕方がない。こんなのが多い。

九月二十八日

今朝三時半近くにわかには左腹部が痛み出し、二〇分間ほど呻吟した。まもなく安定剤のせいか眠ったが、代表質問をうける今日一日どうも後遺症のある感じで、秘書室でこれを訴え、休憩におちていた議会の再開待ちのとき、午後六時すぎ済生会の小川院長と連絡をとり電話で症状を訴え、明朝一寸診断を乞うことになった。腹の痛みはその後なくて経過したが、頸の部分に左右とも何となくかゆみがある。どうも二年前の帯状疱疹の時と似ているように思えて仕方がない。前回はクビがひどく痛くなって入院後に腹痛があったのだが、今回は腹の方が痛みクビの痒、痛はそれほどではない。今夜の経過で再発かどうかがわかるのではないかと思う。再発でない事を祈る。県議会も大変だし、何だか命にすら関係せぬかとすら心配する。

十月三十日

前の日曜日千秋楽での知事賞千代の富士に渡したあと、箱崎の「あと山」で奥田資本論研究会同窓会があった。嶋津氏らが企画したもので十三人がかけつけて来た。二十数年ぶりの再開であるといえる。私がやっていた研究会が吐切れてからそれだけの時間がたっていたかと思うと感慨無量なるものがある。考えてみると学生部長というような行政的公職について研究会をつづけることができなくなってしまったことを示している。平凡な大学人だったからこそできたのである。人材養成になったかどうか知らぬが、多くはかなり強い印象をうけ後への影響があったことは確かといっていた。松下村塾も短期間だったはずである。

十二月三十一日

この秋以来、天皇の病気のことが、われわれの身边に無言の影響を与えたのが特徴的だったと思う。危篤ともいえる状況が三ヵ月、一〇〇日以上つづいて年をこすことになった。それが一つは「自粛」、ムードをつづかせた。クリスマスもひっそりだったと思うし、今日も街かどを見て感ずるのは、ほとんど注連を見ないことだ。松飾りもそうだ。多くの人々の意識の中に何とはなく「自粛」があるのだろう。姫路から帰宅して、みゆきに、「注連は？」と問うと、しないと答える。私はそれ以上いおうとも思わなかった。当然と思ったのだろうか。買わんでも済んだという気持が何となくあるのであろうか。他の商品の年末の売れ行きがどうなのかは知らないが、それぞれに影響はあるに違いない。先日、木梨さんのまわりの人が集って忘年会をした時、「ゆう苑」の淵上さんが、和服のことを話していた。一月十五日までに万一のことがおこったら着物が売れないので困るとのこと。成人式に着物を新調する人の数が減るといふのだ。万事かくかくの如くである。このごろ年賀状の話も出さないとか、違った形にするとかで当局の必死の売り込みにもかかわらず、賀状は当然減る。その面はともかく、「天皇の戦争責任」論議が出て私もそれに引き込まれた。長崎市長本島発言をどう思うかとの報道陣の質問に対してである。共産党をふくむ「左」の側から、十二月二十八日の記者会見における私の発言に抗議があっている。今日も一通の手紙がそれを示している。逆に、夕方庭の掃除をしていると上の高柴さんが上から声をかけ、いい発言でしたネともち上げてくれたように、「その通り」と思っている人もいるのだが、ともかく波紋をよんでいることは事実。加えて、左翼からは「記帳所」設置の経費につき監査請求、つづいて支出不当との告訴まで出る始末で、とうとう被告にされてしまった。要するに天皇病気のこの三ヵ月で左からどんどん突っかかられる羽目に陥ってしまった。これ、明けてどう転ぶだろうか。労戦も加って持越し課題となったわけ。